

ラジコンカー

スパイマシーン

July

1988 7

Super Machine

1/10はオフだけじゃない!!

■マッカリスター・アウトロー

■京商・フォードRS200

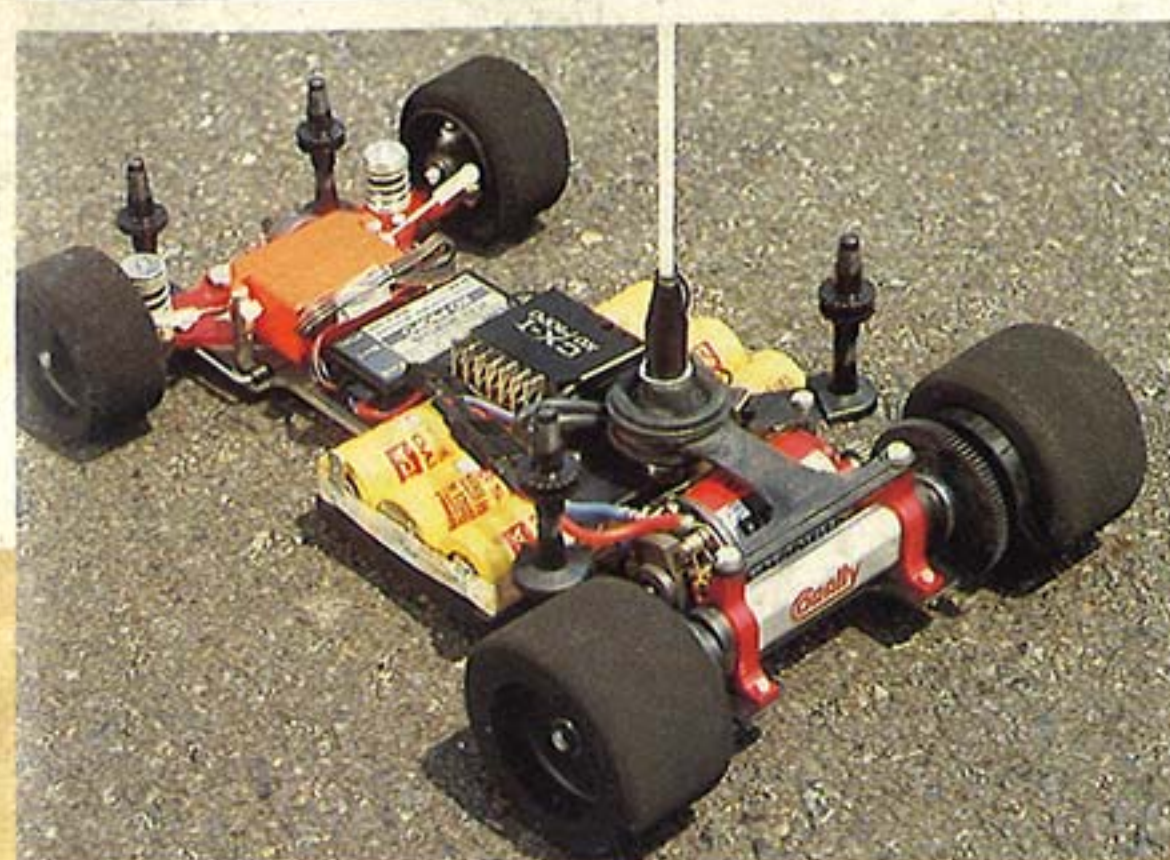
The E-P
RACING '88

■京商・アクシスEX
■PK・コラリーSP II



'88
ニューマシン

■京商・ダブルディア4WDS
■JG・オプティマミッドCov
■タミヤ・サンダーショットQD



- ヨコモ・スーパードッグの製作
- デルタ・P4
- タミヤF-1グランプリ in 青山
- スペシャルモーターテスト

85-1/10GPレーシング世界チャンプ
ロディー・ローム氏来日

広坂選手圧勝/
リーディー・スプリング
インターナショナル・レース

エキサイティング RCカーマガジン

(株)電波実験社

450 YEN

これがF-1だ。

NEW

このフォルム、この走り。誰もが見とれる。誰もがあこがれる。
ついにやって来た、F-1の名を語れる初めてのR/Cモデル。
例えば精緻な全輪ダブルウィッシュボーン4輪独立懸架サスペンション。
機能も機構も実車を再現。
見せかけだけでない本物の走りへのこだわりの美学。
身震いするほど華麗なレースが、今はじまる。

●実車そのもののダンパー機構付ダブルウィッシュボーン4輪独立懸架サスペンション。●実車の認可を得たスケール感あふれる迫力のフォルム。●精密なパワートレインとデフギヤによりキビキビとした走りを実現。●手頃なコンパクトサイズだからちよつとしたスペースでレースが可能。●ハイパワー ル・マンDM20モーター付。



1/18スケール電動レーシングカー
F-1レーサー
ロータスホンダ



1/18スケール電動レーシングカー
F-1レーサー
マクラーレンタグターボ



1/18スケール電動レーシングカー
F-1レーサー
ウィリアムズホンダ



キット価格各¥9,800 ●全長/238mm ●全幅/118mm ●全高/60mm ●全備重量/360g ●ル・マンDM20モーター付 ■バッテリー/7.2V-270mAhスクエアバック(別売) ■プロポ/ミニカー用2chアンプ仕様(別売)

F-1レーサー・フルセット価格各¥31,000 <F-1レーサーキット/サンワMサンクコムラスプロポ/7.2V-270mAhスクエアニカドバッテリー/専用ACクイックチャージャー>

for F-1's RUN

●スクエアバック
7.2V-270mAh
ニカドバッテリー
¥2,500



NEW

●ACクイック
チャージャー
(7.2V-270mAh専用)
¥3,900



●DCクイックチャージャー
(7.2V-270mAh専用)
¥2,500



'88年版KYOSHO総合カタログ
京商カラーカタログをご希望の方は、模
型店で一部500円。直接当社へ申し
込みの場合は750円(送料込)を郵便普
通で替または現金書留で、'88京商総合
カタログ係までお申し込みください。



京商RCテレホンサービス 03-264-7131

KYOSHO
THE FINEST RADIO CONTROL MODELS

京商株式会社 厚木事業本部/〒243 神奈川県厚木市船子長町153
☎0462(29)1511(大代表)/アフターサービス部☎0462(29)4115(お客様専用)
本社/〒102 東京都千代田区平河町1-9-3

「でかぶっ」って
 1/10は
 オフ
 だけぢや
 なし!!



● **MCALLISTER OUTLAW**
 by HPI JAPAN

■1/10スケールと言うとEPオフローダーが
 まずはじめに思いつくが、実感豊かなボディ
 をまとったオフローダー以外のマシンも存在
 する。今回はそうした2台を紹介しよう。

● **FORD RS200**
 by KYOSHO



アメリカで人気No.1の
ビッグレーサー



マッカリストアウトルー

by HPI JAPAN

最近、アメリカでは1/10EPオフロードはもちろんのことだが、1/10EPレーシングがかなり盛り上がっている。もともとフラットダートをオフローダーでカット飛んでいたものから進化していったのがこのカテゴリーで、今では1/12EPレーシング以上のマニアがレースを楽しんでいる。当初は

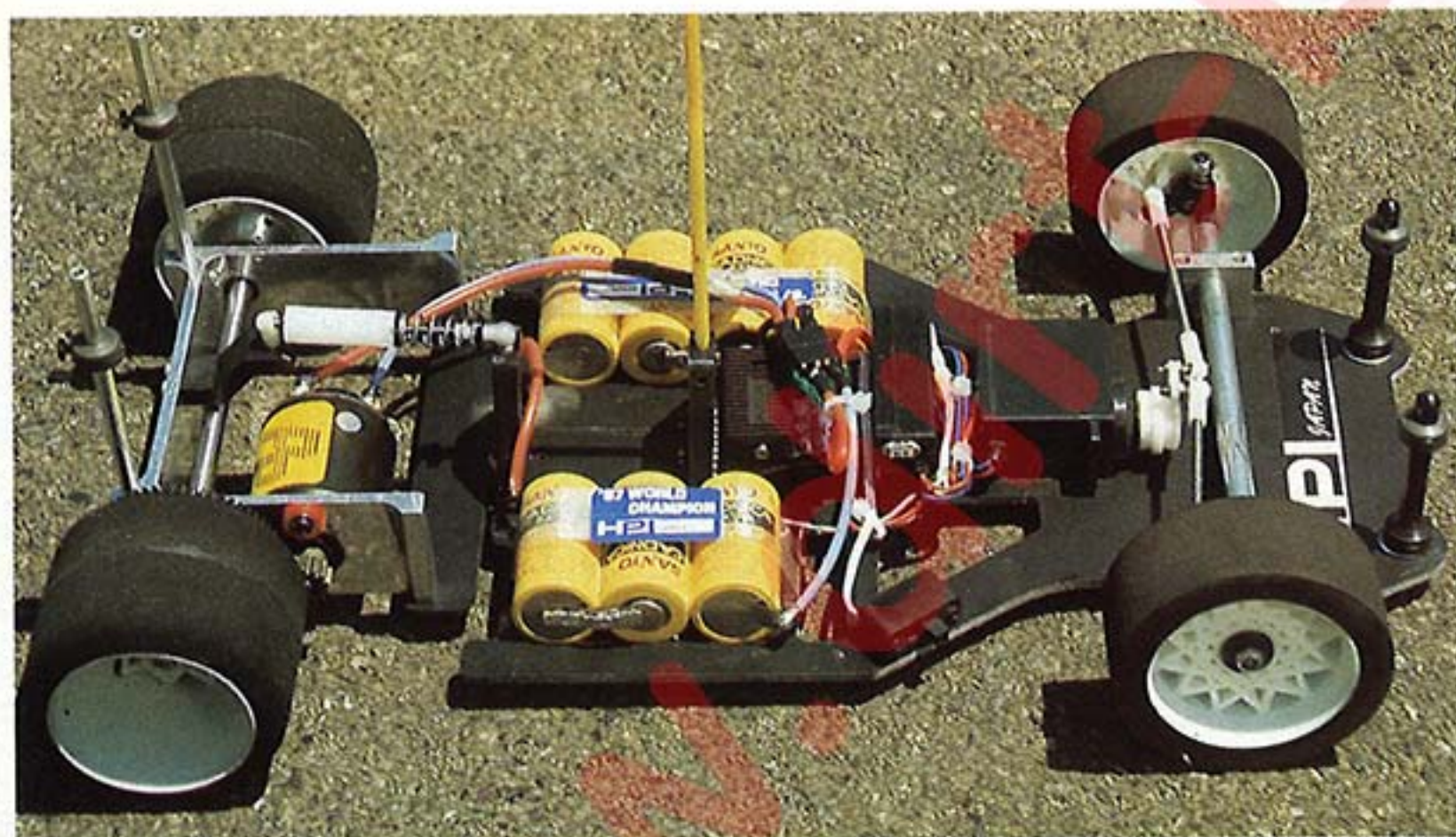
オフローダーをシャコタンにしてオンロード用にコンバートしていたが、最近では専用シャーシがメーカーから発売されているほどのエスカレートぶりだ。

先月号のデルタ・ビレインもそのひとつであり、今回のマッカリストア社の『アウトロー』もこの1/10レーシングカー・レー

ス（ほとんどがオーバルコースで行なう）用に開発されたものだ。

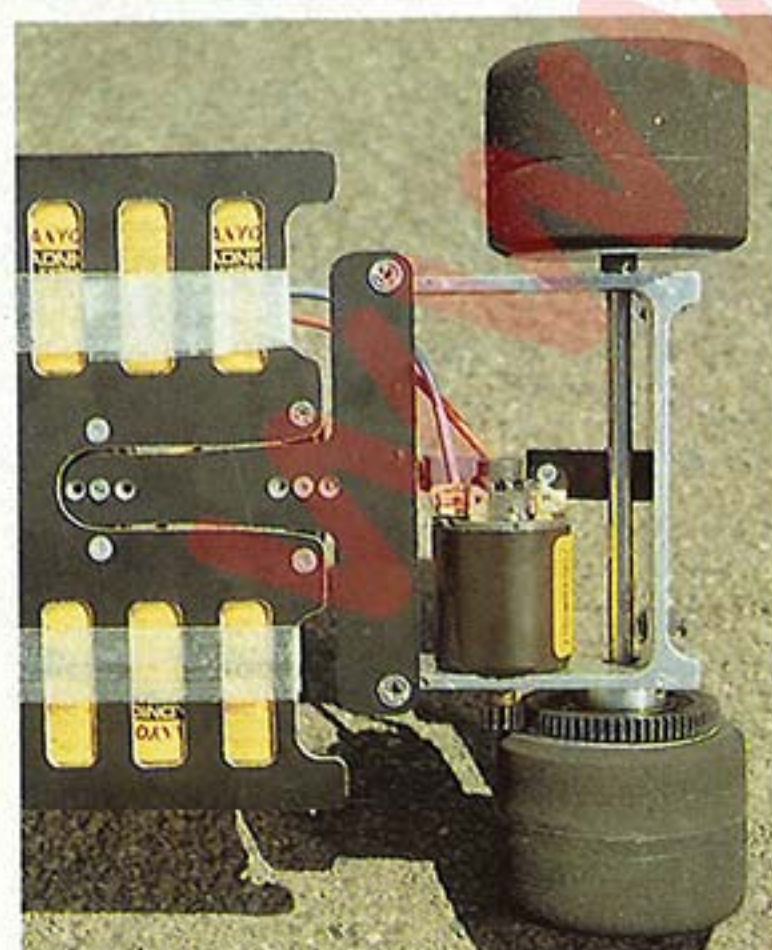
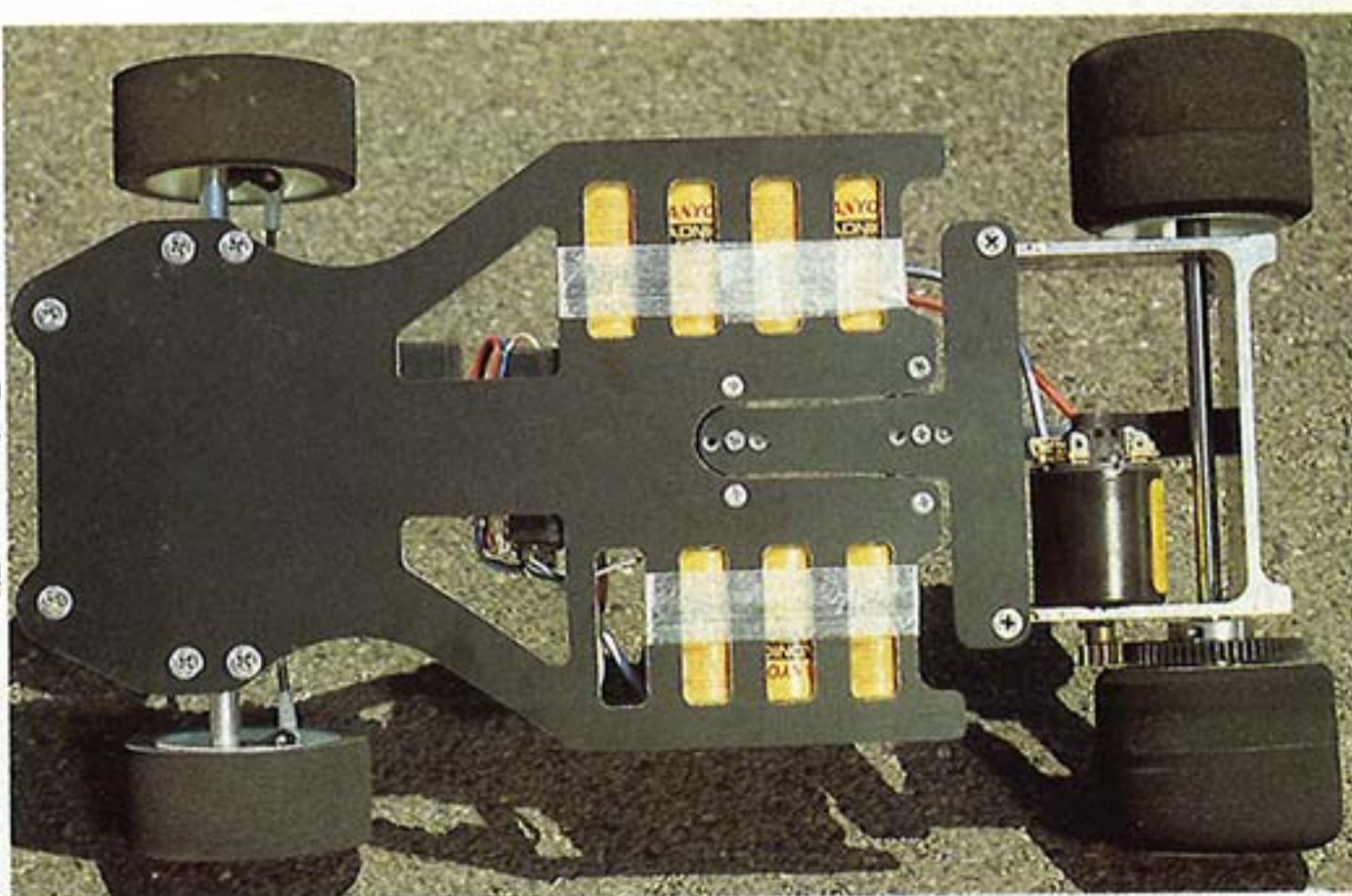
基本的にはデルタと同じレイアウトだが、オーバルコースでのレースを考えて、よりシンプル化されたシャーシとなっている。メインシャーシはワイドカッティングのブラックFRP製で、Tバーによるリヤサスとキングピンコイル式のフロントサスを持つスタイルだ。バッテリーは8セルまでマウントでき、オーバル用モーターとの組み合わせで、ロケットのようなモノスゴイ速さを見せつける。

国内発売元はHPIジャパンで、ファイヤーバードのボディ付きキットとして発売される。価格は未定だが3万円以内となりそうだ。

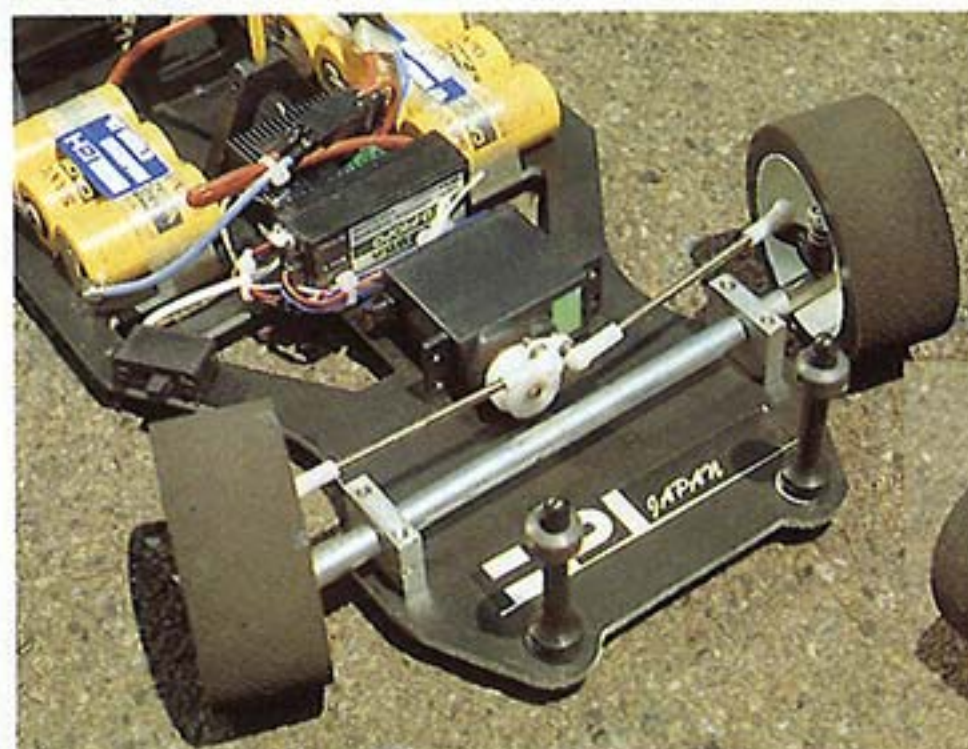


←すべてに余裕のあるシャーシ。1/12EPレーサーをそのまま巨大化したレイアウトを見せる。

→シャーシは2・9mm厚FRP製を使用。8セル分あるバッテリーがモノスゴイ。



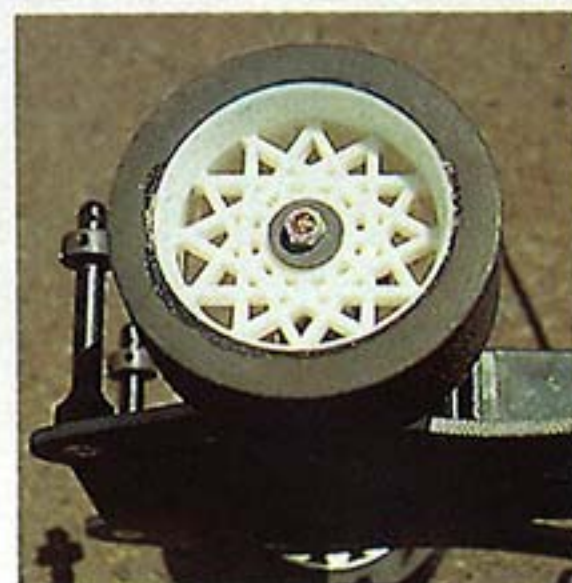
↑モーターのサイズを見れば、モーターマウントの巨大さがよくわかる。



↑フロントサスはオーソドックスなキングピンコイル式。



→リヤポッドはジュラ削り出し。ダンパーは樹脂製のフリクションタイプが付く。



↑白いメッシュのホイールはなかなかオシャレ。専用で作られたものだけにスゴイ。

3デフ+シャフト4駆の
オン・オフ
兼用



Gr.B
マシンを
再現!

フォードRS200

by KYOSHO

実車の方はすでに活躍の場を失ってしまったGr. Bラリーマシンだが、その過激なスタイリングは未だに人気が高い。特にグラマラスなスタイルで人気の『フォードRS200』は、意外とモデル化されなかった。

今回、京商から発売されるこのマシンはこのGr. Bラリーマシンのムードを10エンジンパワーで楽しめるように開発されたもので、オン&オフ兼用のデュアルパーパスマシンだ。シャーシのメカニズムの方もな

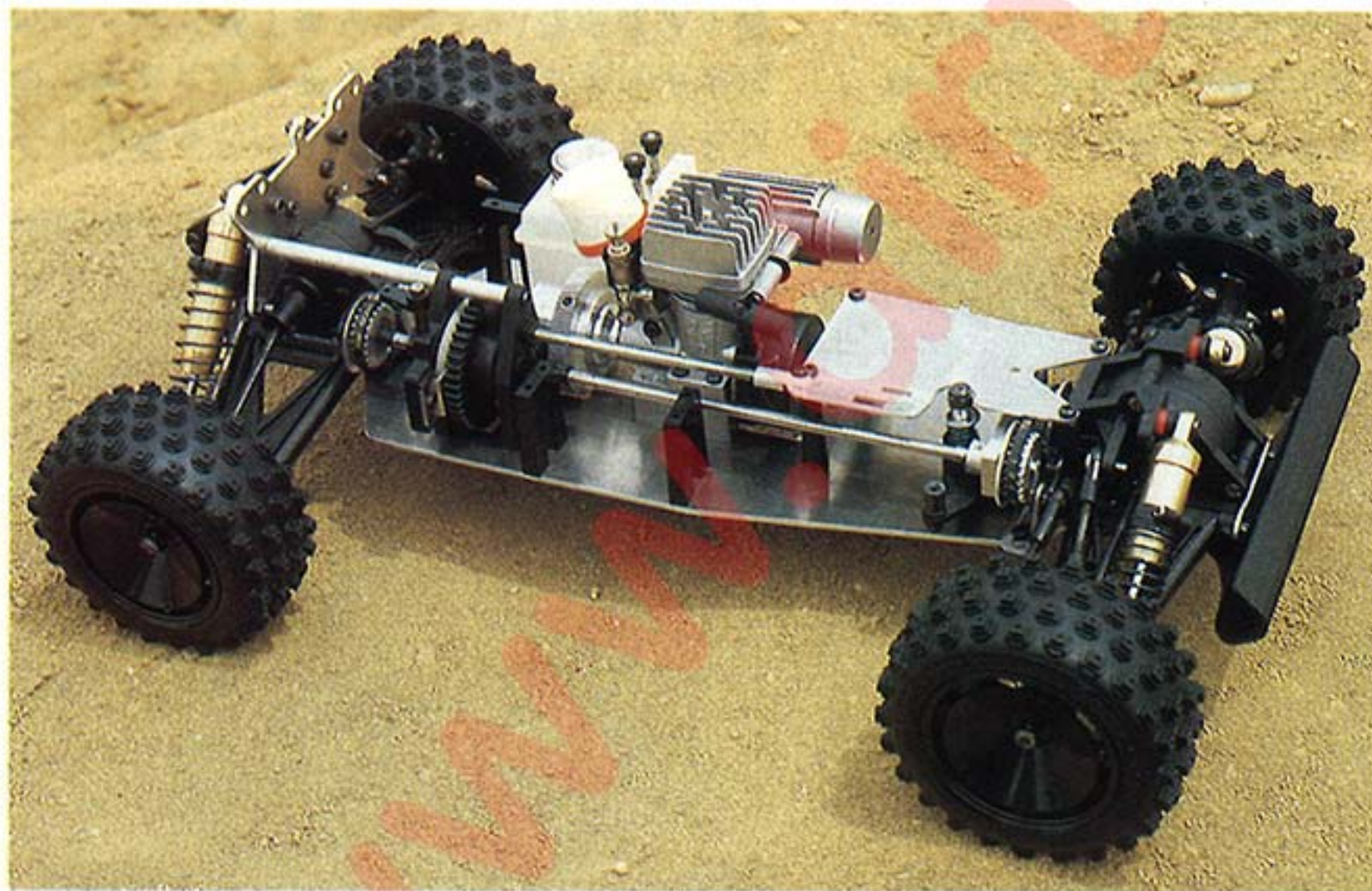
かなかで、フラットパンシャーシになんと3デフ・シャフトドライブ4WDシステムを採用。エンジンもシャーシセンターにマウントされており、バランスの点に関してはカンペキと言える。

サスマわりはオプティマ系用を流用して、走りの方もかなり期待できそう。

タイヤは市販時にはラジアルパターンのスケール感あふれるものが付き、オン&オフ兼用モデルらしいチョイスと言える。

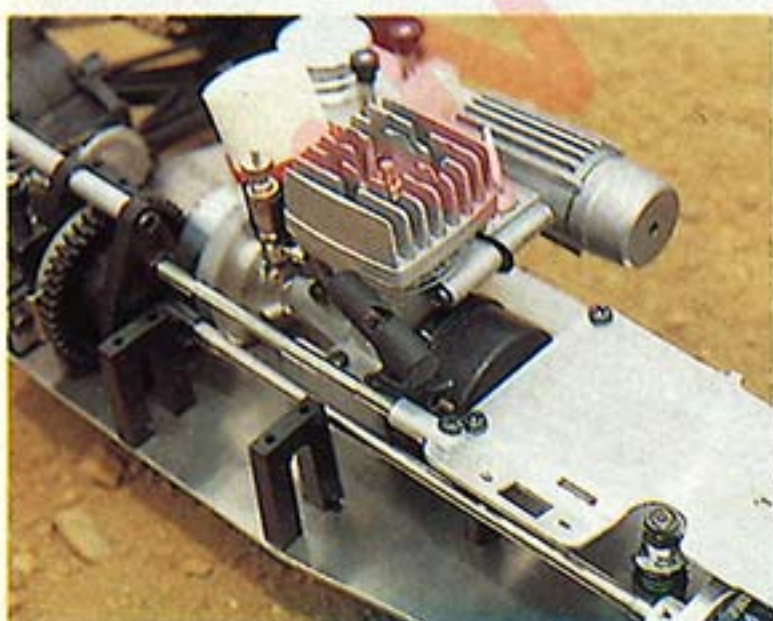
エンジンはOS・10FSRがキットに付属するが、ビギナーでも手軽にエンジンモデルが楽しめるように、リコイルスターターを採用しているのが注目できよう。スターターロープを引き上げるだけで始動するこのシステムは、まさにビギナーにとって歓迎できるものだ。

キット価格はエンジン付きで29,800円。実感豊かなボディとシャーシの好バランスは、非常に楽しめる1台と言えよう。

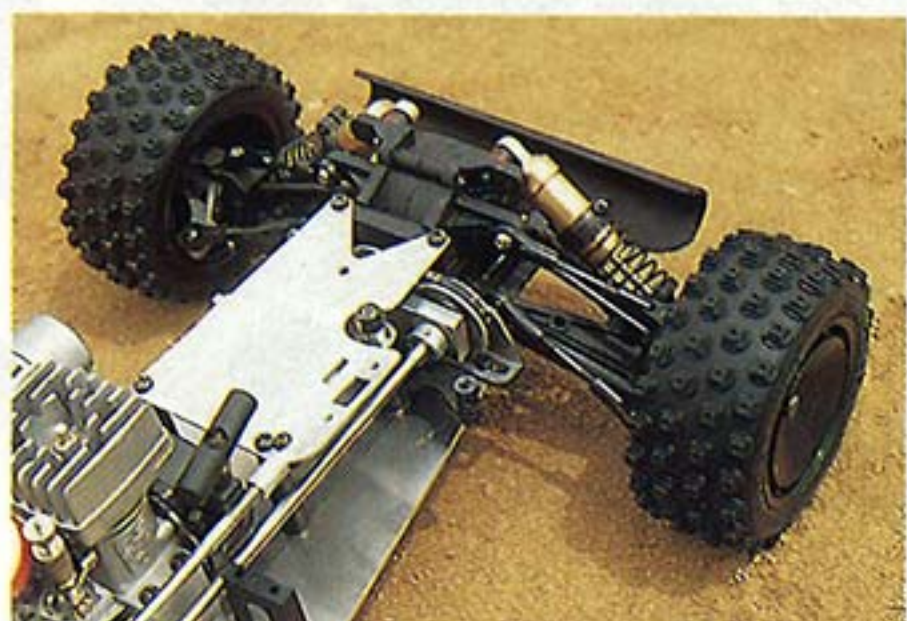


←タイヤはラジアルパターンのものとなり、細部は多少変更されるようだ。

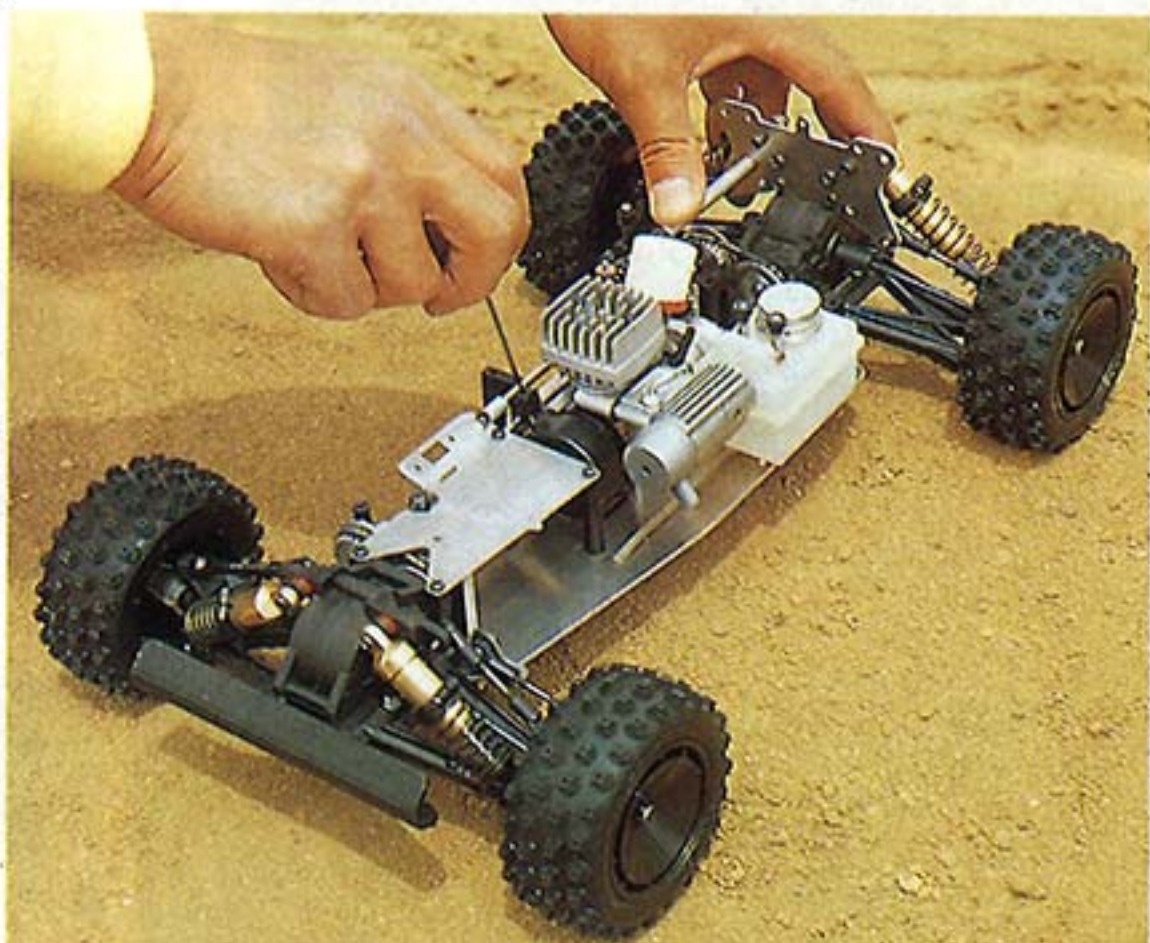
★ロープを引くとエンジンがスタートするリコイルスターターが付く。



←エンジンはOS10FSRがキットに付く。センターデフ付きのドライブシャフトも良くわかる。



←前後のドライブにはベルトも使われている。サスマわりはオプティマを流用している。





**'85世界チャンプ
ロディー・ローム氏来日**

**サーパントの
ニューマシン
国内初見参!**

■ '85世界チャンプのロディー・ローム氏が来日し、SPLスピードウェイにて素晴らしいテクニックとニューマシンの速さを見せてくれた。このニューマシンがウワサの『サーパント・スプリント』で、大幅にシェイプアップされた進化モデルだ。

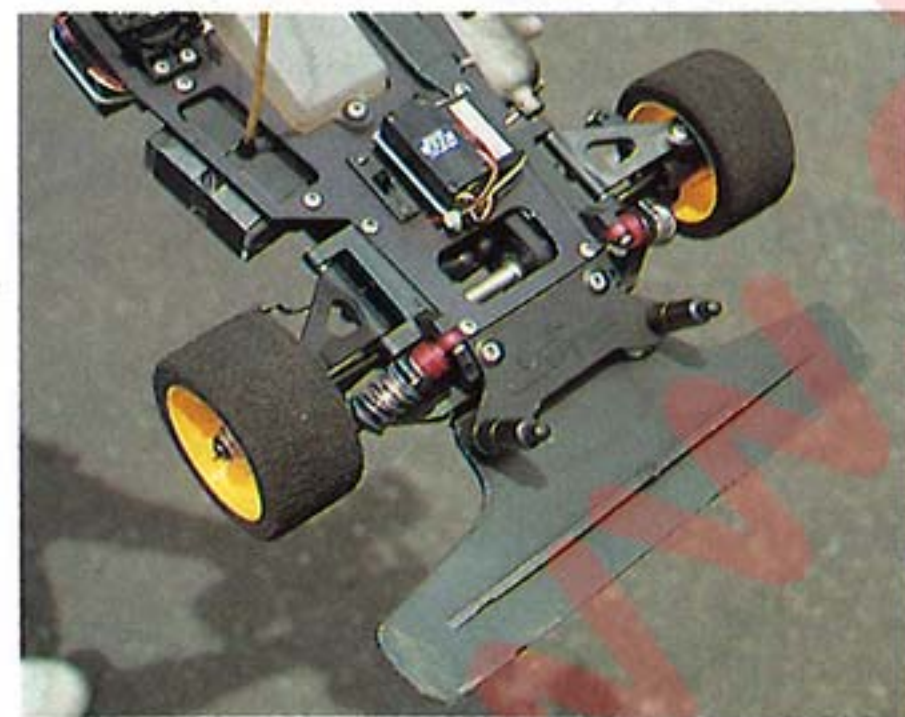
'85年の東京大会では高麗選手を振り切り優勝。'87年のアメリカ・カリフォルニア大会では6位にとどまったが、一時トップを快走するなど速いところを見せているサーパント・ワークスのナンバーワン・ドライバー、ロディー・ローム氏が、ナンバーツのハン・ヒッペ氏とともに去る5月12~15日、来日した。ロディー・ローム氏の速さは初走行となったSPLスピードウェイでもきわだっており、いきなりコース

レコードに匹敵するタイムをたたき出すほど。もちろん同氏のテクニックも素晴らしいが、今回持ち込んだサーパントのブランニューマシン『スプリント』のポテンシャルの高さも注目であった。

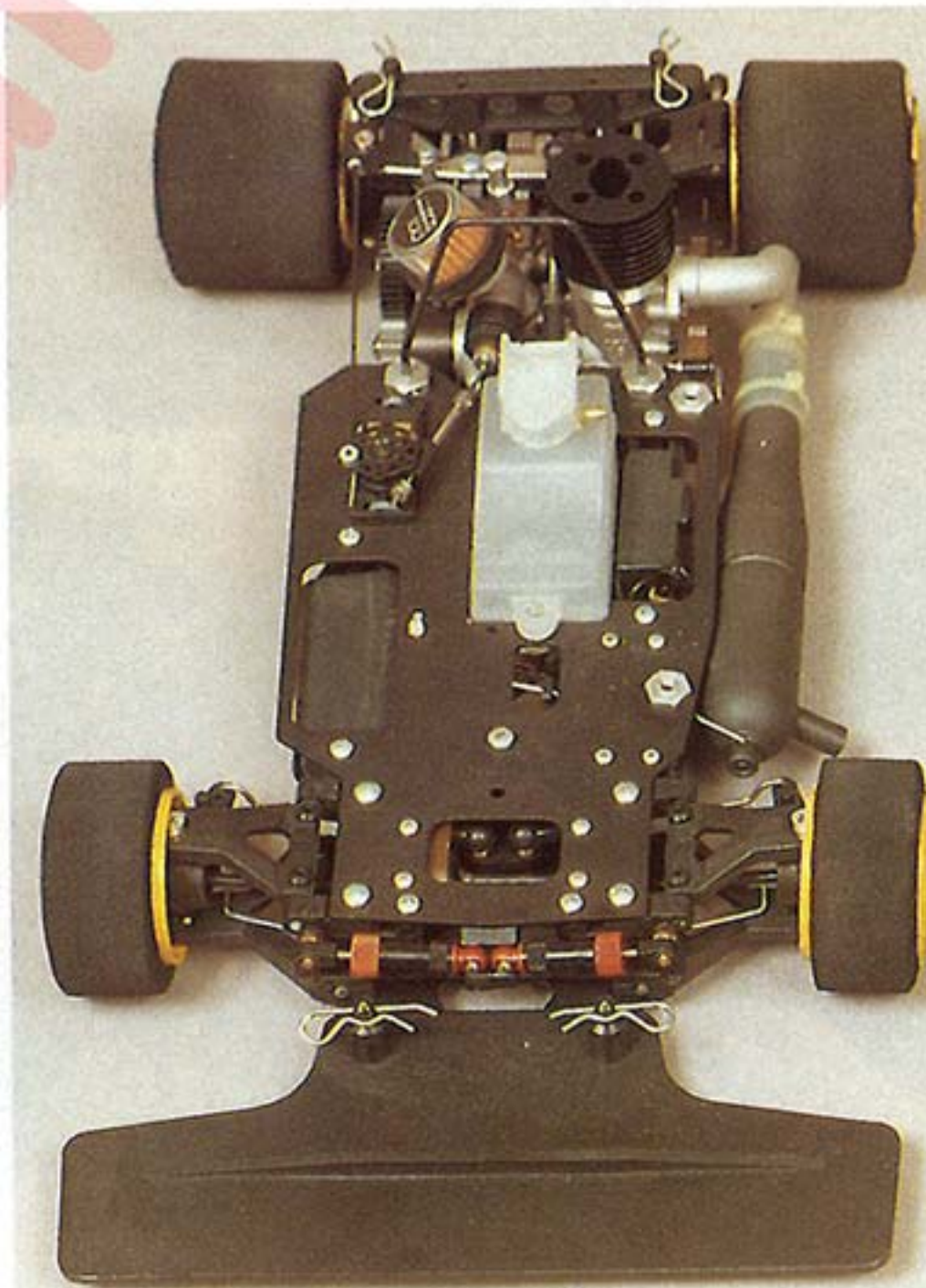
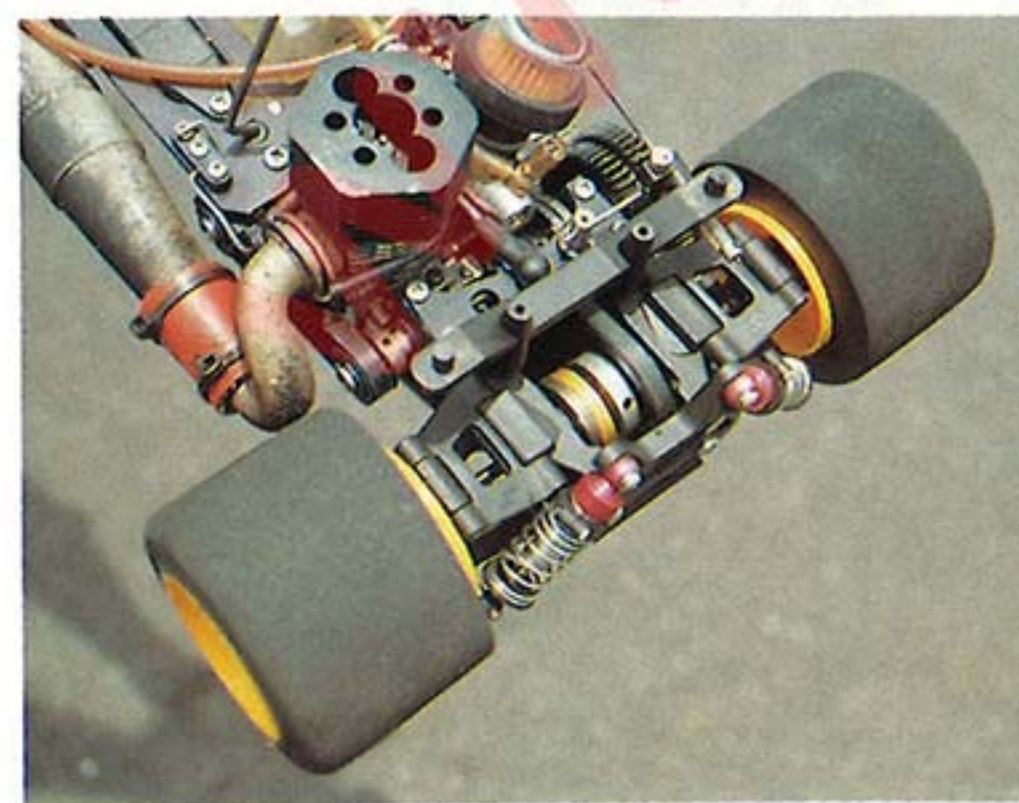
この『スプリント』はブランニューであるが、基本レイアウトは前モデルの『クアトロ4WD』と同じであり、いわば進化モデルである。クアトロが2WDモデルをコンバートして4WD化したのに対し、この

スプリントは当初から4WD専用シャーシとして開発されたわけだ。

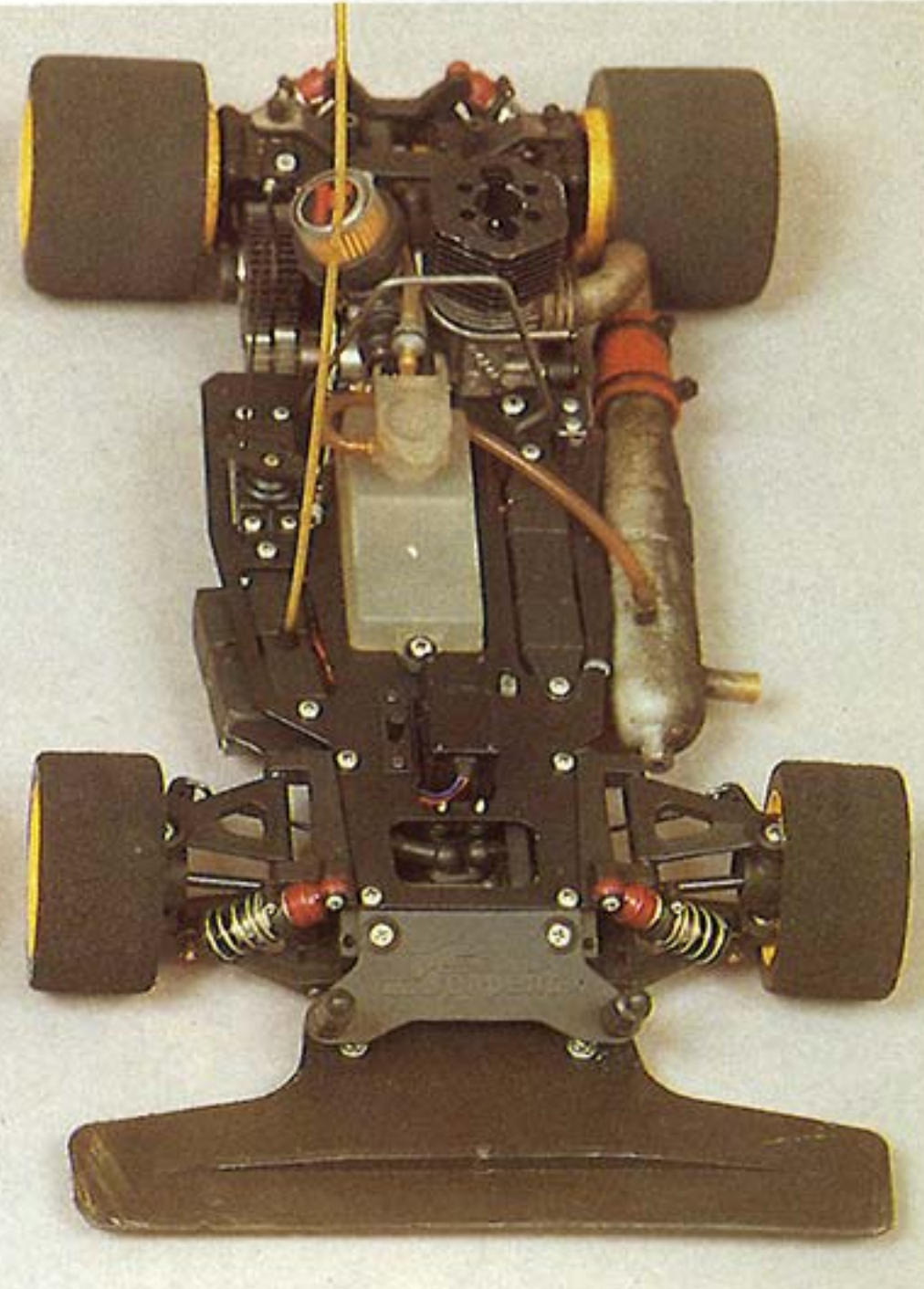
シャーシは肉抜きされたブラックフィニッシュのジュラ製であり、日本で主流となっているカーボン製ではない。これはこのスプリント自体が2500g内に収まるほど軽量にデザインされているため、カーボンを使う必要がない…という考えからだ。アッパーデッキはダイレクトサーボセイバー用にカッティングされているジュラ製で、フ



←一新されたフロントまわり。メンテナンス性は大幅に向上している。メンテナ

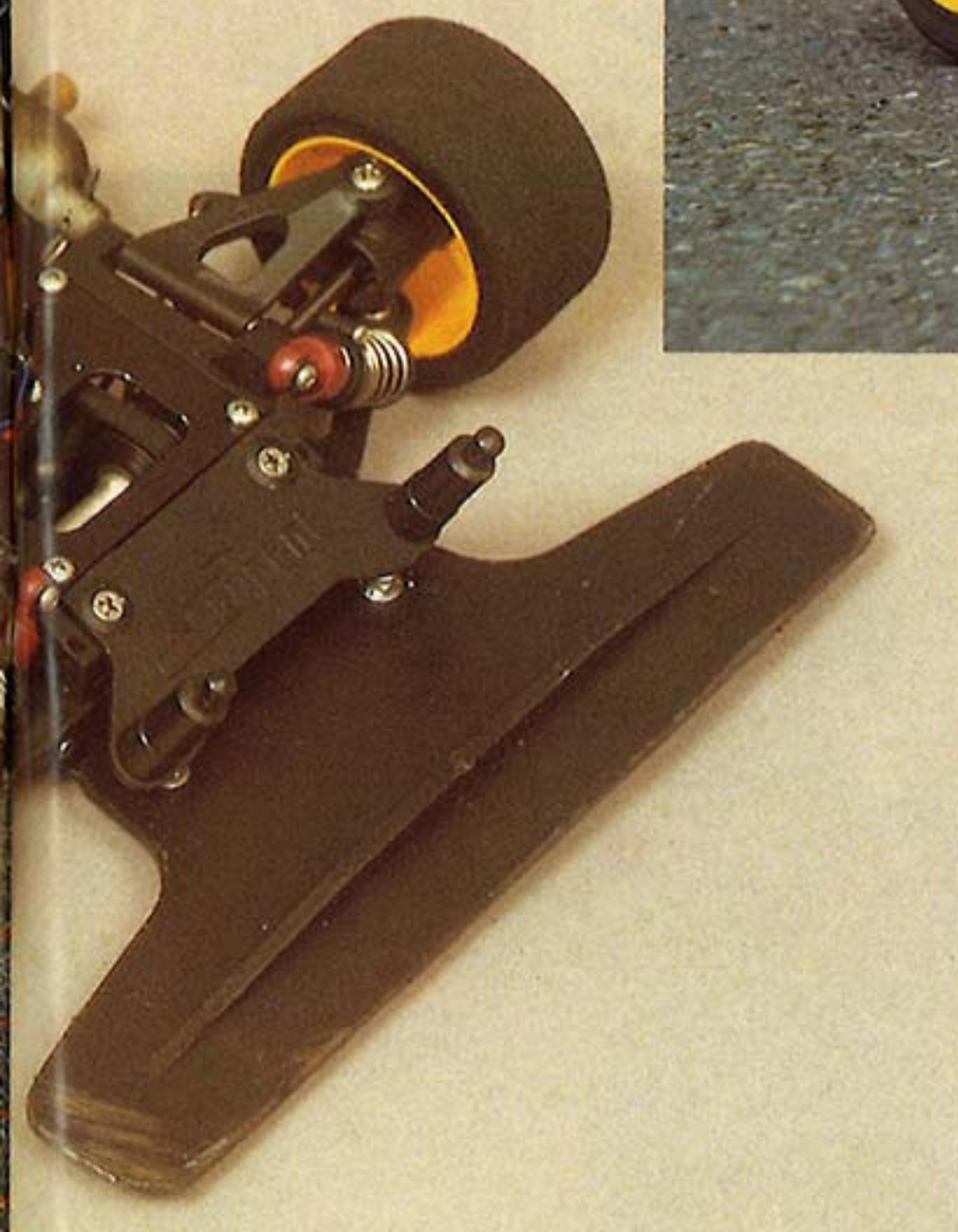


←ダンパーが変更されたリヤまわり。カウンターシャフト部も改良されている。



↑左が前モデルのクアトロ、右がスプリントだ。すべてが一新されている。

Serpent Sprint



↑ボディはローラ T 530 を使用。コカコーラのサポートを受けているというからおどろき。

↓ロディーの好みか、フィーリングは E P レーシングに近い感じ。



フロント駆動用のロングベルトを左側へ移動し、メカレイアウトが変更になった。これにより燃料タンクをキャブレーターに接近させることに成功している。

サスマわりは一新され、フロントサスアームは思い切ったシェイプアップがされている。しかし材質の見直しにより耐久性は向上したとのこと。ダンパーはダイヤフラム内蔵タイプとなり、マウント方法も変更された。また、今までのクアトロはフロン

トのアップパーアームはアップパーデッキに、ロアーアームはメインシャーシにそれぞれ取り付けていたが、今回のスプリントは左右別々のバルクヘッドにサスユニットがそのままつく形となり、メンテナンス性は大幅に向上している。リヤサスはサスアームの形状を変更し、軽量化をはかっている。

ドライブトレインはカウンターシャフト部のマウントをひろげ、2速ギヤシステムの首ふりを防止。さらにこのユニット自体

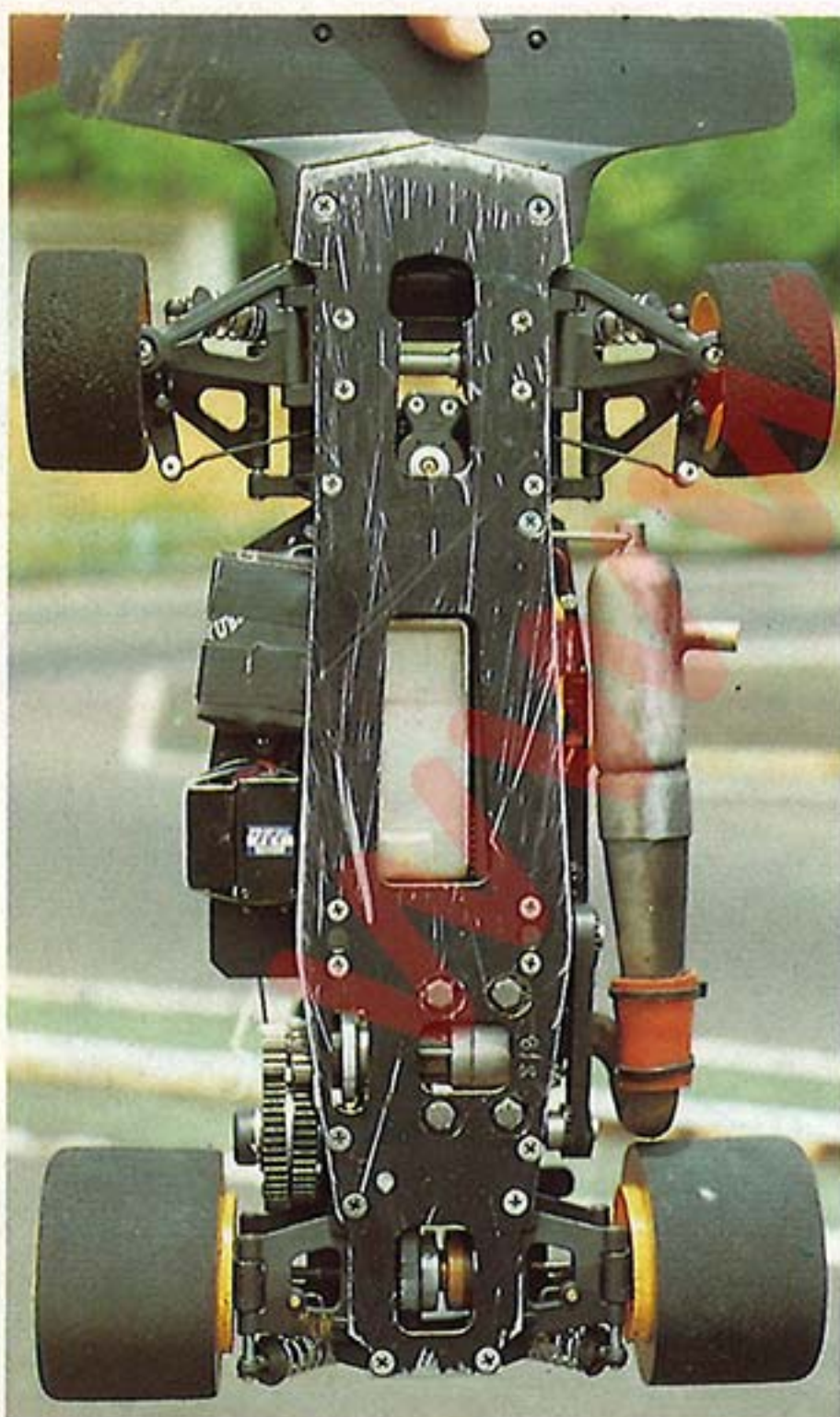


↑右がロディー・ルーム氏、左がハン・ヒッベ氏。共にサーバント・ワークスだ。

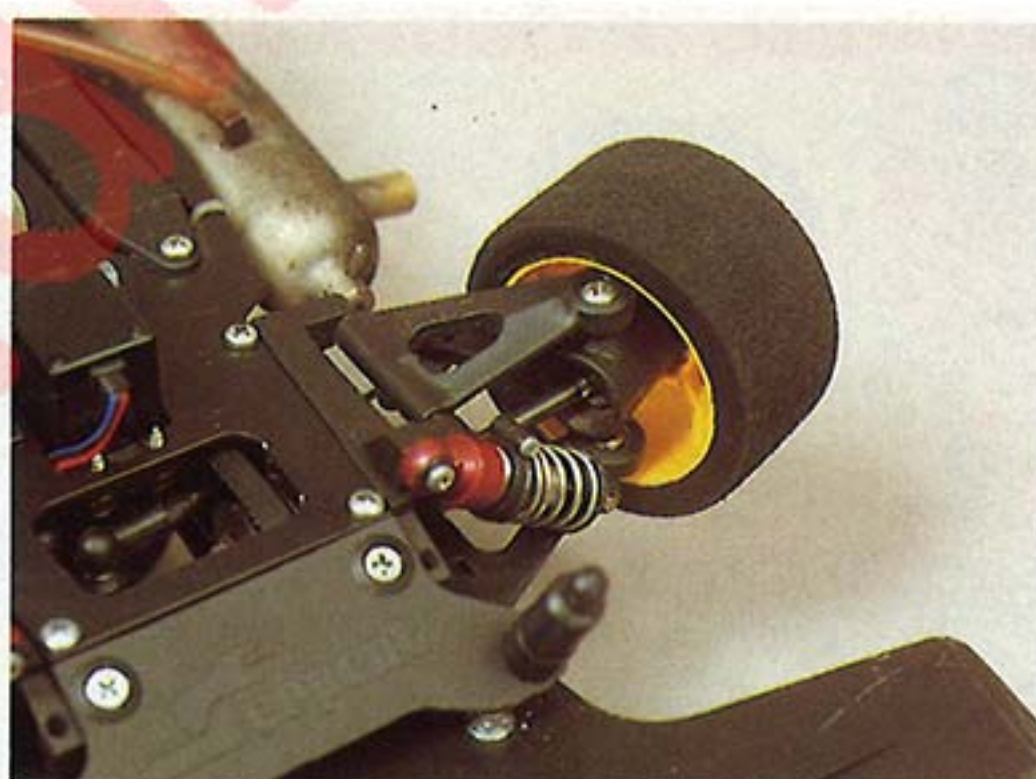
をシャーシの中央寄りに移動している。ベルトはより駆動ロスの少ないピッチの細かいものに変更。また耐久性も向上しているとのことだ。

ホイールは今までサーバントの顔だったメッシュタイプからデザインを一新し、より軽量なものに変更された。

このように細部まで見直されたこのマシン、国内に市販モデルが登場するのは7月末になるとのことだ。



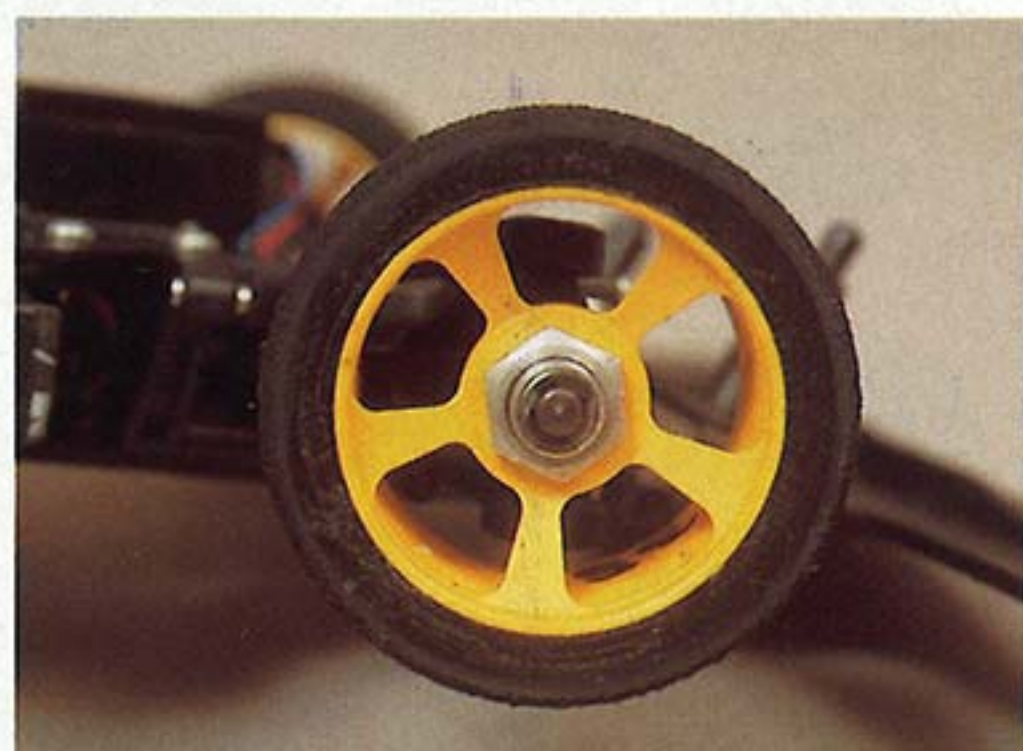
←メインシャーシはブラックフィニッシュのジュラ製。肉抜きされ軽量化がはかれる。



↑思いきってシェイプアップされたフロントサスアーム。ダンパーも新型だ。



←リヤサスも形状変更された。ダンパーも新型のダイヤフラム内蔵タイプだ。



↑ホイールはデザイン一新。軽量化された5本スポークタイプだ。



アクティブ4WSシステム ツインモーター大足車 DOUBLE DASH

ダブルディア

1/10 SCALE ELECTRIC-POWERED OFF-ROADER

●好評のカークラッシャーシリーズに、ニューフェイスが仲間入り。第3弾はツインモーター&4WS仕様の、迫力モンスターだ！

ツインモーターでデビュー！

道なき道を走り抜き、乗用車をも踏みつぶして走ってしまう、アメリカで大人気のモンスタートラック・レース。それらのモンスターをスケール・ダウンしたカークラッシャー・シリーズが京商から発売されているが、このシリーズへ新たに加わったのがこの『ダブルディア4WDS』だ。

このモンスターの一番のセールスポイントは、その名からも想像できるとおり、モーターを前後にダブル（2個）装備している点だ。4WDの機構はしごく簡単なもので、前後に装備されたモーターにより、前

4WDS by KYOSHO

後輪をそれぞれ単独でドライブする。この方式は、チェーンやシャフトなどの面倒な取り回しもなく、また確実にパワーを伝達できるため、より以上のモンスターランを可能にしている。

4WSも装備

足周りに関しては、カークラッシャーシリーズのビッグブルートと基本的に同一のダブルウィッシュボーン・タイプの4独サスペンションだが、フリクションダンパーは各輪に2基ずつの計8基が標準装備となった。

さらにこのクラスで要求されるラフロー



ドで威力を発揮する、4WSシステムも装備されている。システム自体は、一つのステアリング・サーボで前後輪を操舵させる逆位相（前後輪がそれぞれ逆向きにステアする）だが、これにより小回り性が格段に向上していることは言うまでもない。

またカークラッシャーの最大の特徴でもあるタイヤも、ビッグブルートのφ136×80



※サスペンションは基本的にブルートと同様だが、フロントにもモーターを装備。



↑4WDに加えて、1サーボによる4WS（逆位相）も装備。

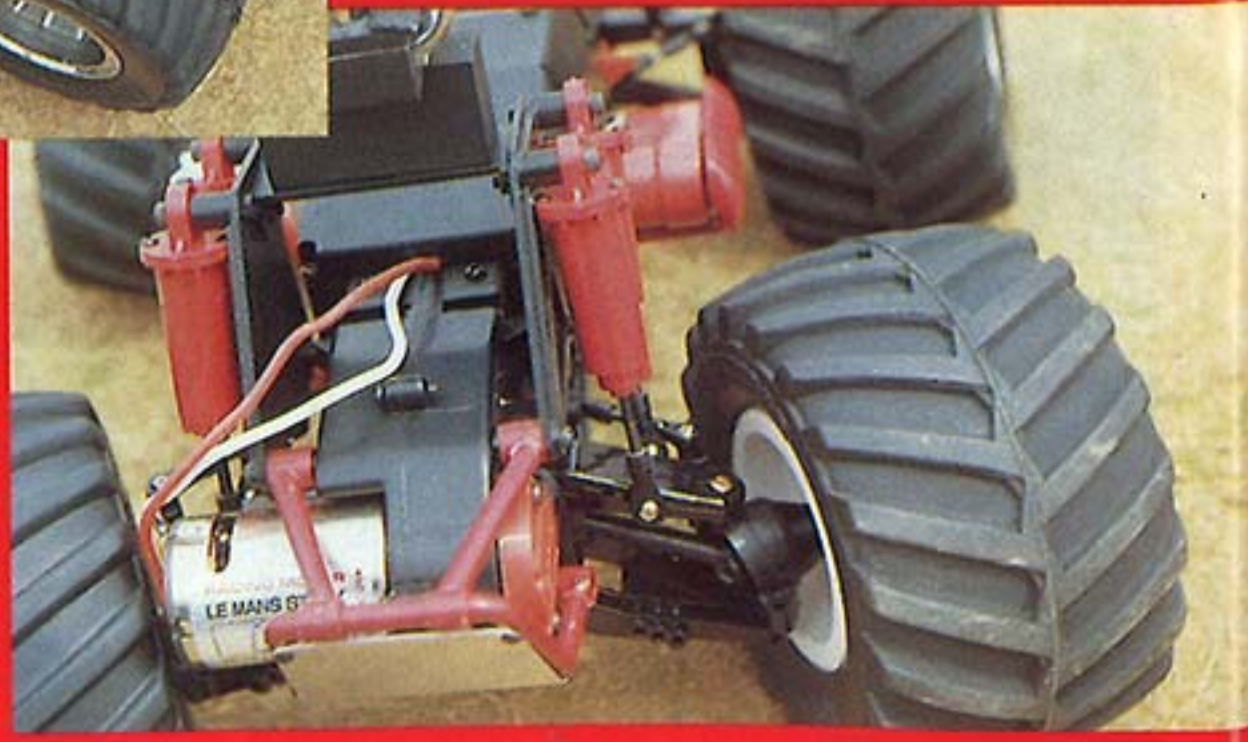


※タイヤはブルートよりも直径で10mm大きいφ146×73mmとなり、迫力アップ。



※リヤサスペンションもブルートと同一だが、前後輪合わせて計8基のダンパーを装備。

※フロントのドライブトレインは、リヤと同様のギヤボックスを持つ。



チーム導入の

(ビッグフット)

RE



mmからφ146×73mmと直径で10mm拡大され、走りとともに外観でも迫力を増している。

アクセサリも充実

ボディは実車レースでも活躍中のダットサントラックを忠実にスケールダウンしたもので、ポリカーボ製。また走りとともにこのクラスでは重要な“外観面”でも、フ

ロントボンネットに突き出たエアファンネル、エキゾーストパイプ（メッキ仕上げ）や大型バンパーなど忠実にスケールダウンされている。

充実したアクセサリによる外観と、ツインモーター&4WSがかもしだす迫力の走りは、カークラッシャーの名に恥じないモンスターだ。

SPEC

全長440mm 全幅310mm
全高295mm 全備重量2800g
タイヤφ146×73mm(4輪とも) ルマンストック05モーター2個付
キット価格19,800円



ツインモーターと4WSにより、迫力のモンスタースタイルを披露する。
ボンネットから突き出たエアファンネル、エキゾーストパイプもグッド。



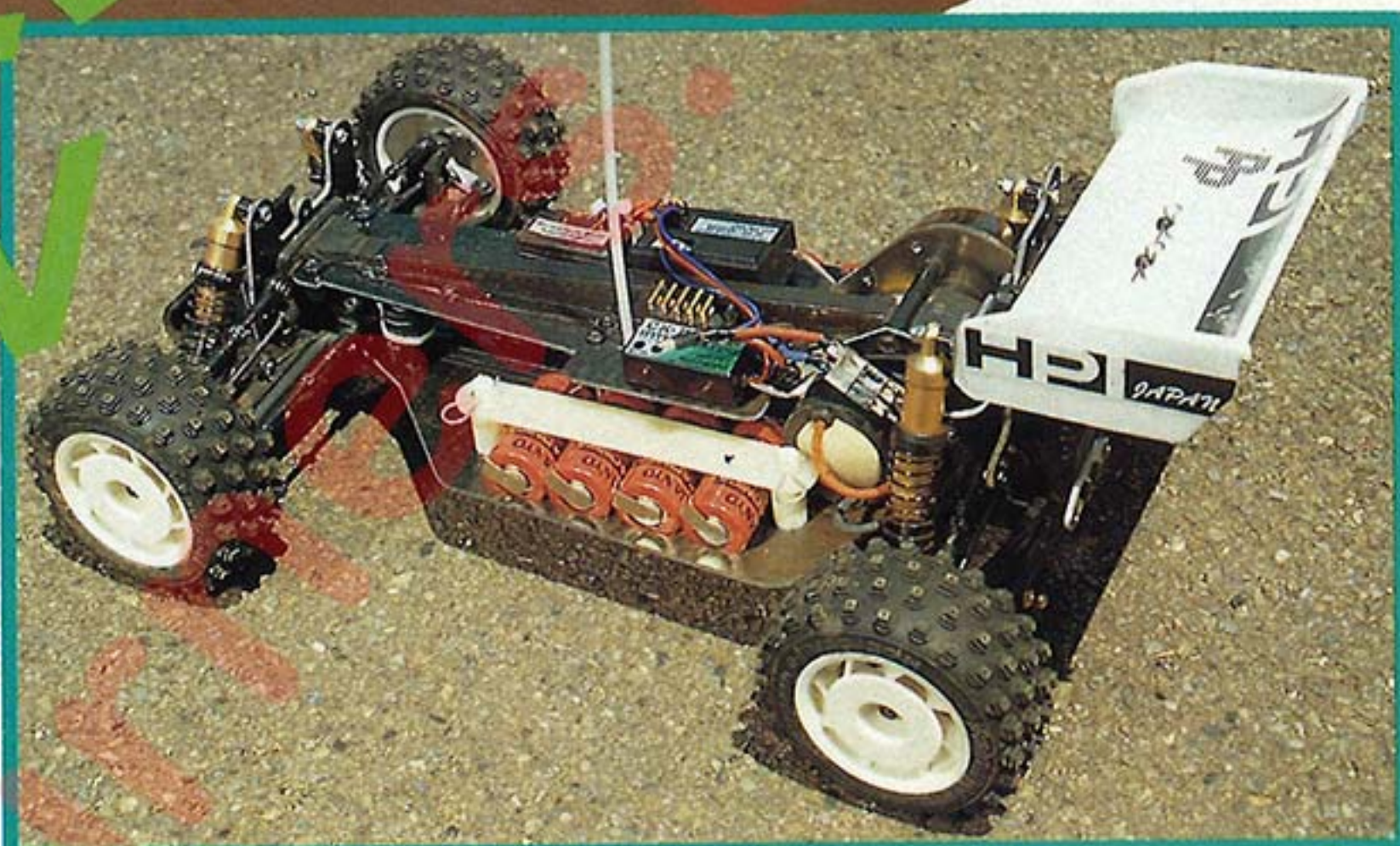
コントローラーは、新型のロータリー（前進3速・後進1速）タイプ。

グラフィイトで 完全武装された ミッド

JG オプティマミッド COV

by HPI JAPAN

■EPオフ・キングのオプティマミッドを強化する、本場アメリカのJG社のスペシャルシャーシがHPIジャパンに入荷。



デビュー直後から各地のレースで大活躍の京商オプティマミッド。日増しに煮つめられて“カンペキ”になりつつあり、まだまだ速くなっていきそう。また、スペシャルパーツメーカーもこのオプティマミッド用のチューニングエキイップを開発して、

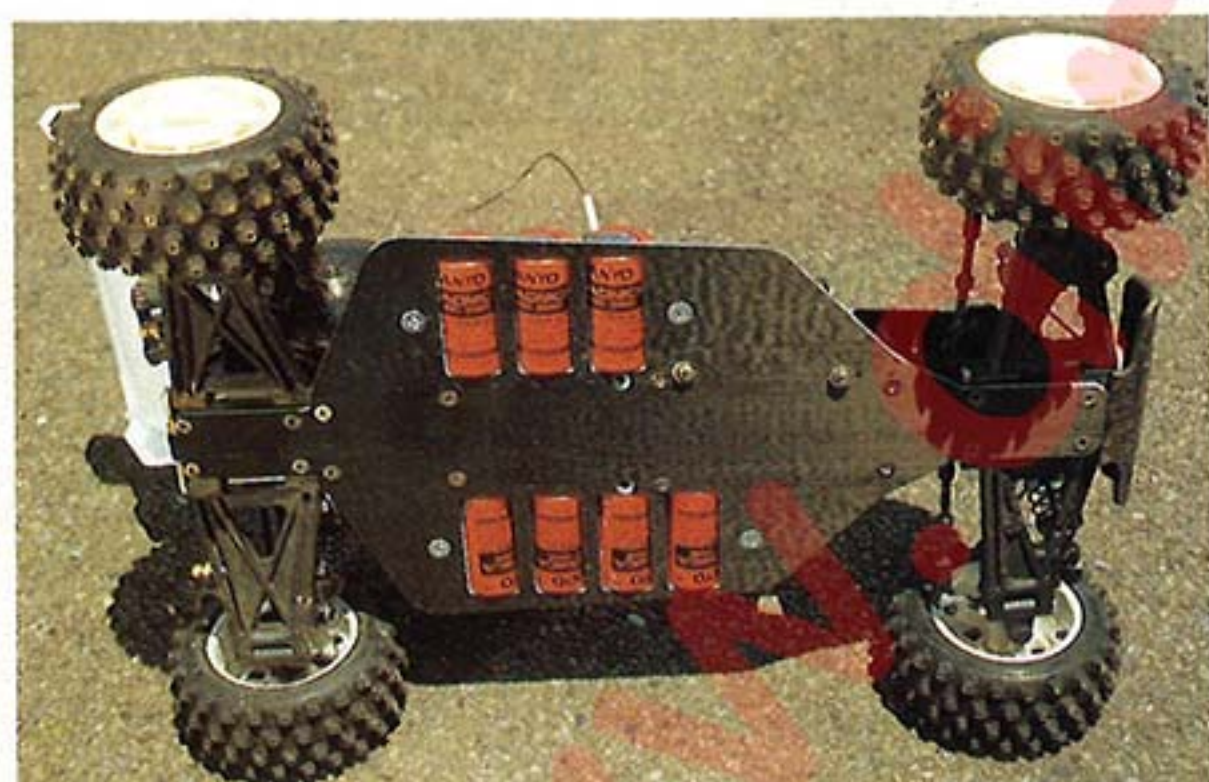
ユーザーに供給するなど、速くなっていく要素はたえることはなさそう。

このオプティマミッド用のグラフィイト材からカットされたアメリカ・JG社製のパーツがHPIジャパンに入荷した。アメリカのJG社と言えば、今まではFRPや

カイダック材を使用したスペシャルパーツでおなじみだったが、今回のミッド用パーツはグラフィイト（D&Dのものと同一）を使い、一段とキャパシティアップされている。

今回入荷したのはメインシャーシとメカプレート、前後のショックステータで、メインシャーシはセパレートバッテリー用のワイドなものを採用している。厚みは2.5mmと、このタイプとしては最も厚く、シャーシ剛性はグラフィイトとは言え、群を抜いて高いと言える。バッテリーのマウント法も、サポートプレートとポストによるもので、非常にガッチリとしている。

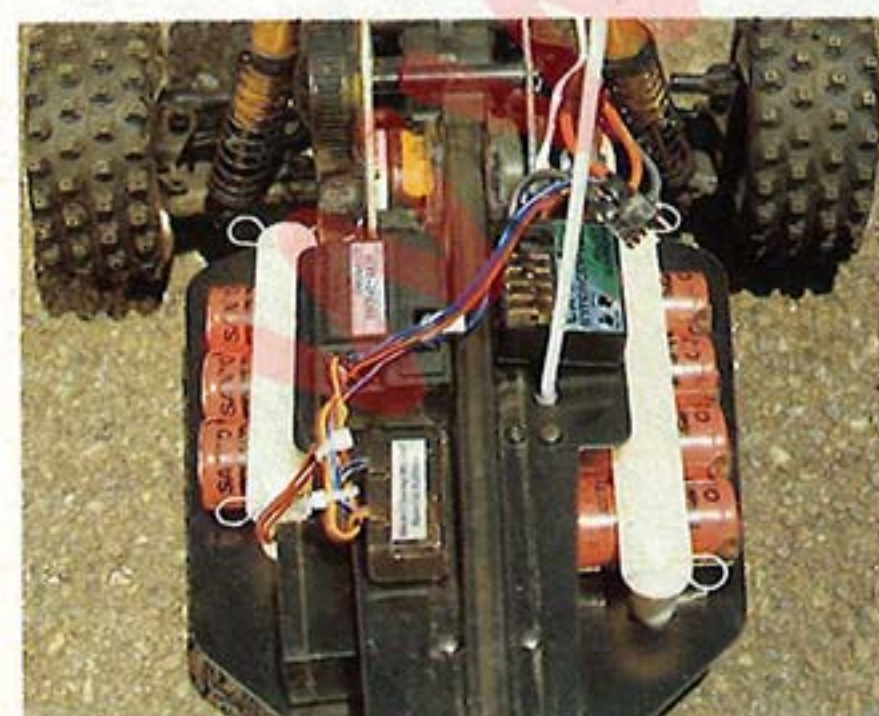
ショックステータはダンパー取付用の穴がノーマルのものよりも多く設けられているので、セッティングの幅も広がっている。価格は今のところ未定である。



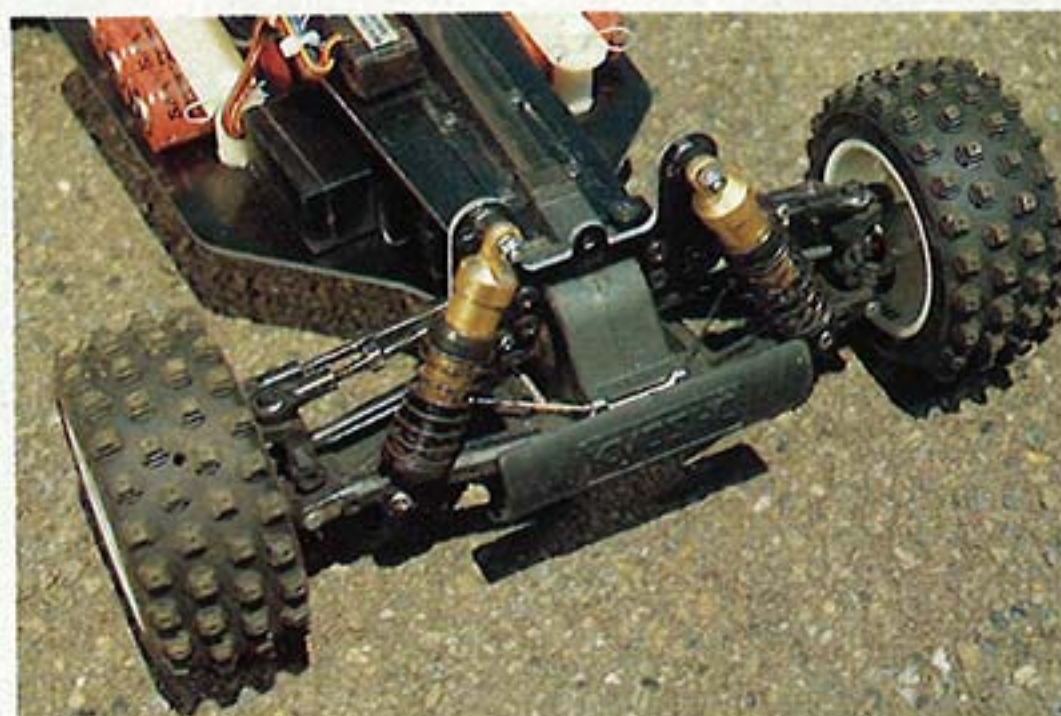
↑2.5mm厚と充分なキャパシティを持つカーボンシャーシ。



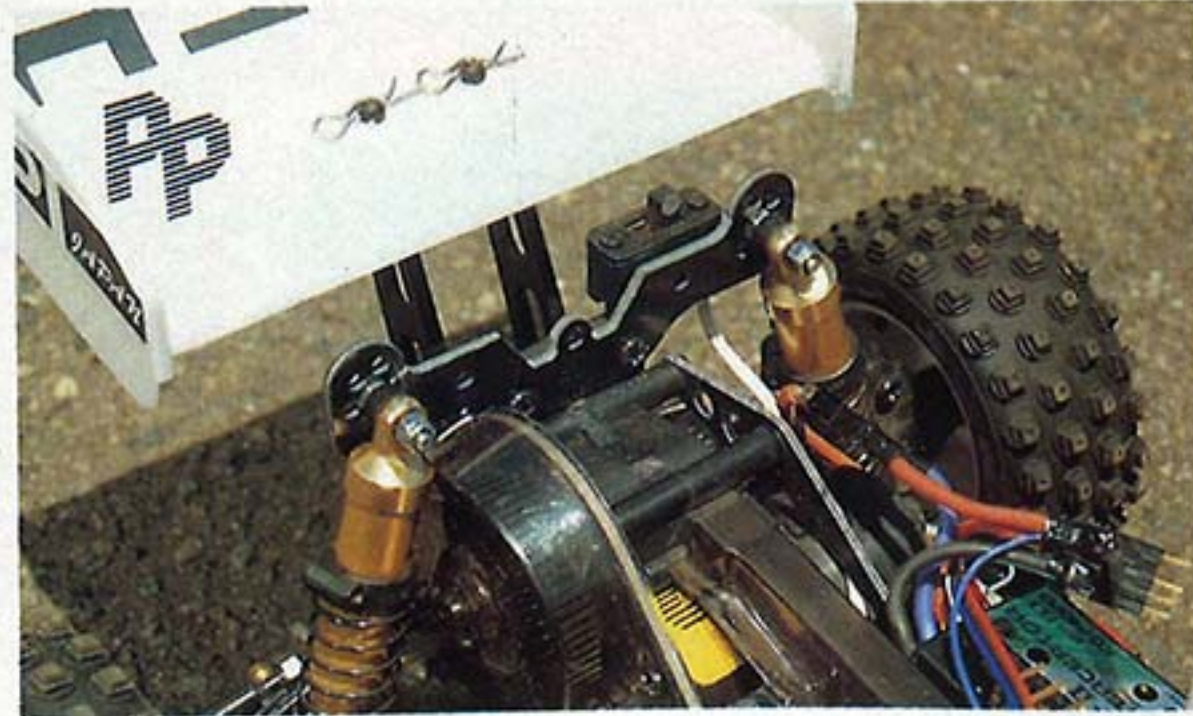
↑やや大きめのメインシャーシが特徴。ノーマルのミッドとイメージが異なるJG仕様。



↑バッテリーは7セルまでマウント可能。サポートプレートで固定する方法だ。

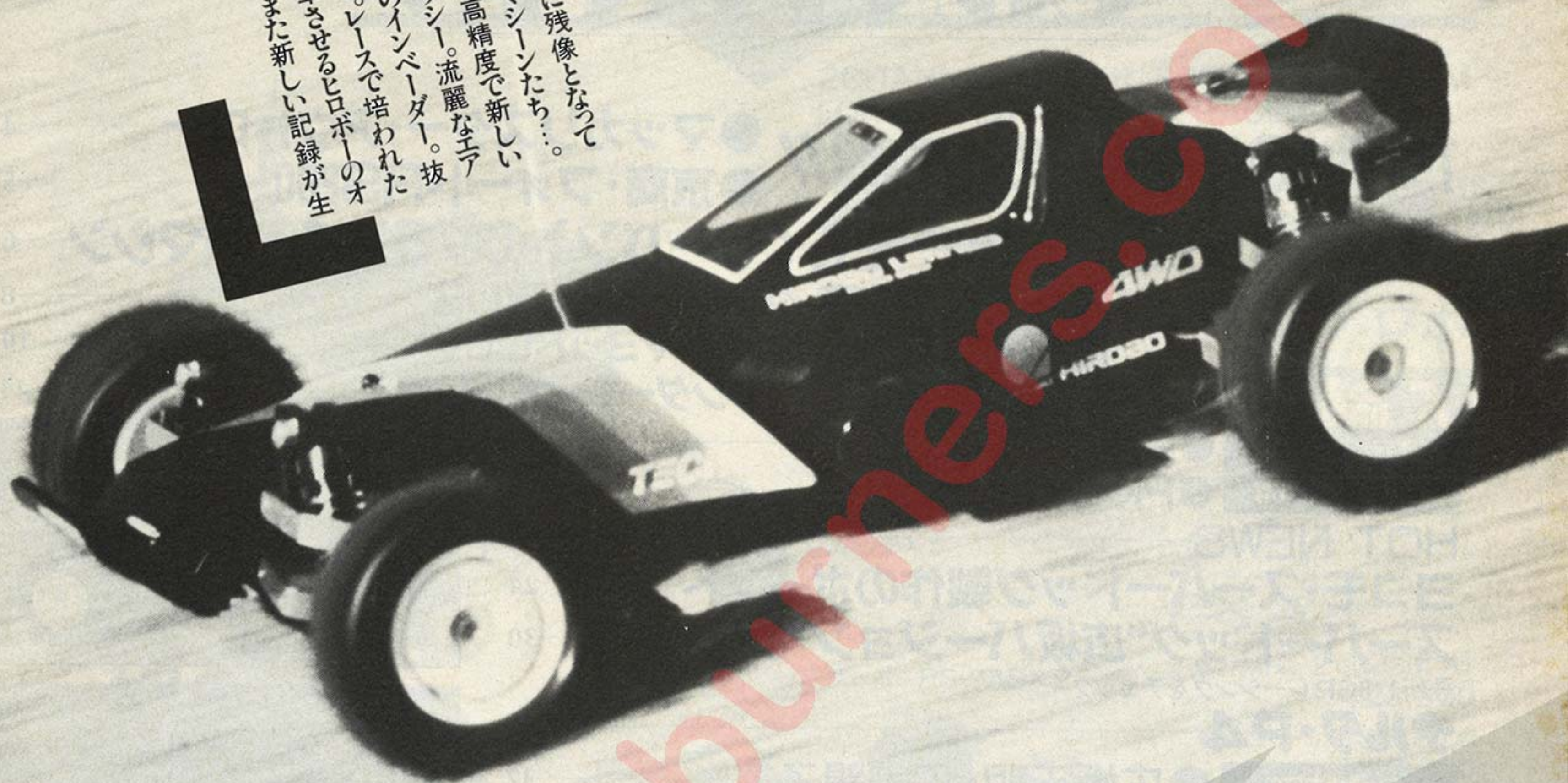


↑形状がノーマルと異なるフロントショックステータ。これもグラフィイト製。



↑リアショックステータもノーマルと穴位置が異なり、セッティングの幅が広がる。

砂塵をあげ、草を噛む、瞬間に残像となってしまふレースに感動を残すマシンたち……。卓越した高級感と高剛性・高精度で新しいバギー時代を告げるジェラシー。流麗なエアロフォルム、パワフルな走行のインベーター。抜群の操縦性のエイリアン。レースで培われたノウハウを高次元で昇華させるヒロボのオフロードバギー。この春、また新しい記録が生まれる。



究極のファイター

ジェラシー NEW-4WD JEALOUSY 1/10 SCALE R/C MOTOR-DRIVE 4WD RACING BUGGY

- ミッドシップモーター及びバッテリーを低重心設計。
- 高剛性モノコックの新フレーム、アルミ削り出しのサスペンションを採用した超高級電動バギー。
- 全長/420mm ● 全幅/240mm ● 全高/125mm
- 最低地上高/40mm ● ホイルベース/270mm
- フロントトレッド/205mm ● リヤトレッド/205mm
- 全備重量/1,650g
- 無線機/2ch. 1サーボ1アンプ

キット標準小売価格
¥68,000



ALIEN MID 4 SS BEC 1/10 MIDSHIP 4WD RACING BUGGY エイリアン

- 前後足まわりをすべてにわたって強化。

キット標準小売価格
¥23,800



INVADER SR/Si 1/10 MIDSHIP 4WD RACING BUGGY インベーター

- メインシャーシは2.5mm厚のアルミ(17S)採用。
- 無線機/Siは2ch. 2s. BEC仕様 (SRは2ch. 1s. アンプ仕様)

SR仕様
キット標準小売価格
¥25,800

Si仕様
キット標準小売価格
¥29,800

※写真は
インベーターSiです。

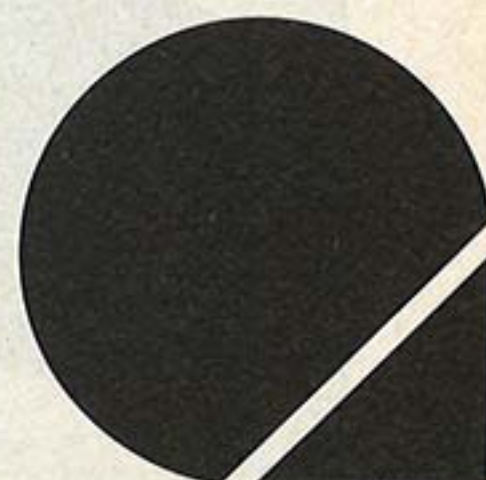


'88年度 大会予定 ヒロボ 電動オフロードレース

- イン
福山
- 4月24日(日曜日)
 - 7月24日(日曜日)
 - 8月28日(日曜日)

※詳細は、弊社営業部にお問い合わせ下さい。
日程等変更になる場合がございますのでご注意下さい。

- 価格及び仕様は予告なく変更する場合がありますのでご了承下さい。
- カタログご希望の方は下記金額(切手でも可)を同封の上、当社迄お申し込み下さい。
- ▶ 総合カタログ ¥600 (送料込)
- ▶ BBC/BBL/SST ¥200 (送料込)
- ▶ INDEX87-88 ¥200 (送料込)



技術で拓く真心のクオリティー ヒロボ株式会社

広島県府中市本町530-214 〒726
TEL: (0847) 41-7400(代) FAX: 41-9361
TELEX: 645760 HIROBO J
東京出張所
TEL: (03) 633-4505 FAX: 633-4557
HIROBO LIMITED
530-214 MOTOMYAMA CHO, FUCHU-SHI, HIRO-
SHIMA PREF. JAPAN 〒726 TEL: 0847-41-7400
FAX: 0847-41-9361 TELEX: 645760 HIROBO J
CABLE: HIROBO FUCHU HIROSHIMA

CONTENTS

1/10はOFFだけじゃない!!	●マッカリスター・アウトロー	4
ロディー・ローム氏来日! そむてサーパントのプランニューマシン	●京商・フォードRS200	5
'88 ニュー マシン	■京商・ダブルディア4WDS	8
	■JGオプティマミッドCov	10
	■タミヤ・サンダーショットQD	44

The E・P
RACING'88

●京商・アクシスEX	112
●PK・コラリーSP II	114

HOT NEWS

ヨコモ・スーパードッグ製作のポイント	24
スーパードッグ“広坂バージョン”とは	30
最新1/8GPレーシングをチェック	

デルタ・P4

36

2大特別
インタビュー

●広坂正明・正美親子	32
●ロディー・ローム氏	40

チームスピマが大量エントリーで圧勝!

タミヤF-1グランプリin青山	47
-----------------	----

ピンナップ GP250ワークスミュージアム	60
-----------------------	----

1/8バギー全日本選手権・関東地区予選参戦記	64
------------------------	----



連載	■(ま)のがんばれぼくらのスペシャルモーターくん	52
	■ケムール霜鳥のびるど&らん	54
	■あかびとのRCカー雑記帳	66
	■みにか〜ウンチク学入門	70
	■まんが すばまのマキちゃん 睦月はじめ	73

ランダムハウス

●イラストGC戦	82
●読者通信	84
●売ります買います	90

レースガイド	94
--------	----

編集後記	101
------	-----

ザRCレースシーン	14,103
-----------	--------

広坂正美選手パーフェクトウイン!

リーディー・スプリング・インターナショナルレース	116
--------------------------	-----



信頼あるお店作りへ

イリサワ は応援いたします。

新規開店の方もお気軽にご相談下さい。
親切にアドバイス致します。

2CHANNEL SUPER STEERING SYSTEM
FOR EXPERT CLASS RACING

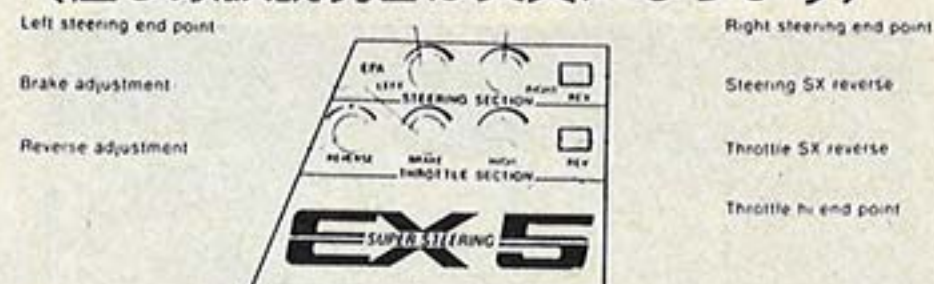
EX-5

(KO製輸出仕様)

究極の2チャンネルプロポ

イリサワ独占 **逆輸入**

(但し取扱説明書は英文になります)



電池BOX,
スイッチ×1

サーボ: PS-201S×2

●27MHz 2ch2servo
¥25,800

●ミニサーボPS-51S仕様
¥25,800

受信機: KR-285A×1

●EX-5取扱代理店募集中

業務用スロット・レーシング・カー設置ご希望の方は、
お気軽にご相談下さい。親切にアドバイス致します。

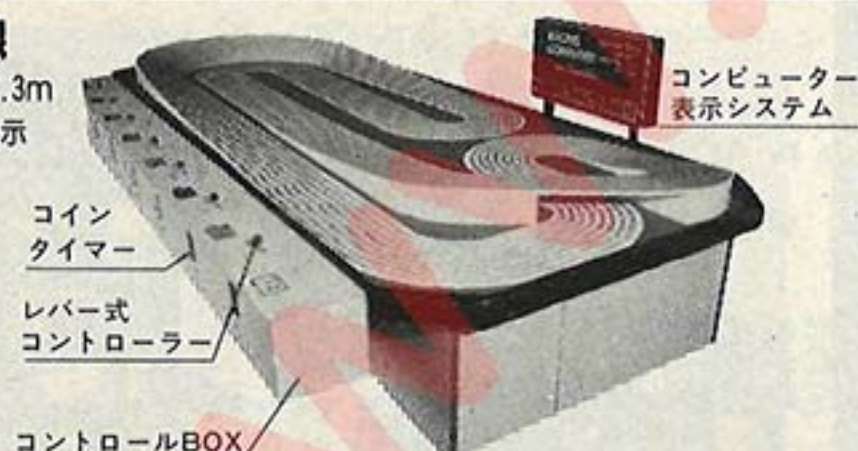
イリサワ オリジナル・パーツ

サイズはミニマムだけど、メンタルな要素が求められる——立派なモータースポーツ

業務用HOスロットレーシング・コース 取扱中

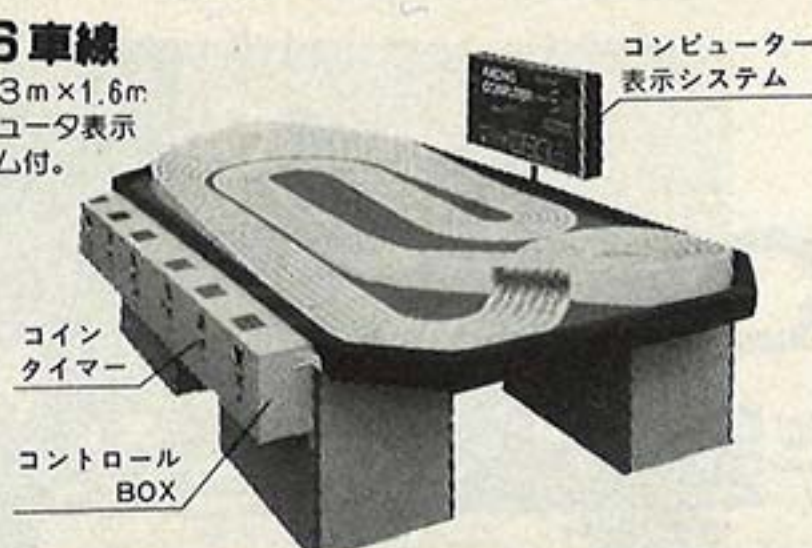
H08車線

サイズ: 4.7m×2.3m
★コンピュータ表示
システム付



H08車線

サイズ: 3m×1.6m
★コンピュータ表示
システム付。



HO用スーパー
コントローラー
(25Ω) ¥3,000



ウルトラ コバルト マグネット



X-2用 ¥1,300 (2個)



440用 ¥800

各種ホームコース、レーシングカー

チューンナップ・パーツ 取扱中

業務拡張のため

社員募集

応募資格: 高校、専門学校の64年度卒業予定者(要普通免許)

待遇: 当社規定により優遇。健保・社保完備。独身寮有り
日曜・祭日・第3土曜日休み

応募方法: 電話連絡の上、履歴書(写真添付)をご持参下さい。

※中途採用者も随時募集しております。

電話連絡の上、履歴書(写真添付)をご持参下さい。



株式会社

イリサワ

第3営業所(エンジン部)

東京都台東区蔵前2-4-5岩金ビル ☎03-862-0868~9

第1営業所: 東京都台東区蔵前4-12-10 ☎03-862-0568(代)

第5営業所: 東京都台東区蔵前2-2-6 ☎03-862-9801(代)

八王子営業所: 東京都八王子市元横山町2-3-16 ☎0426-45-4101(代)

新潟出張所: 新潟県新潟市東幸町15-26 ☎025-244-8088

'88CECA540&F-1レース

快晴に恵まれ、なごやかムードに終始

快晴に恵まれたさる2月21日、愛知県豊田市のひよこサーキットにおいて、上記レースが行なわれた。ふだんのレースとは異なり、RS540S支給クラスとF-1クラスの2種目で争われるとあって、いつものピ

リペリとした感じはなく、選手一同なごやかなムードの中、レースは進行。F-1ターボクラス決勝では、ポールシッターの蟹江選手が、全く安定した走り、全車ラップのぶっちぎりで優勝を果たした。そして

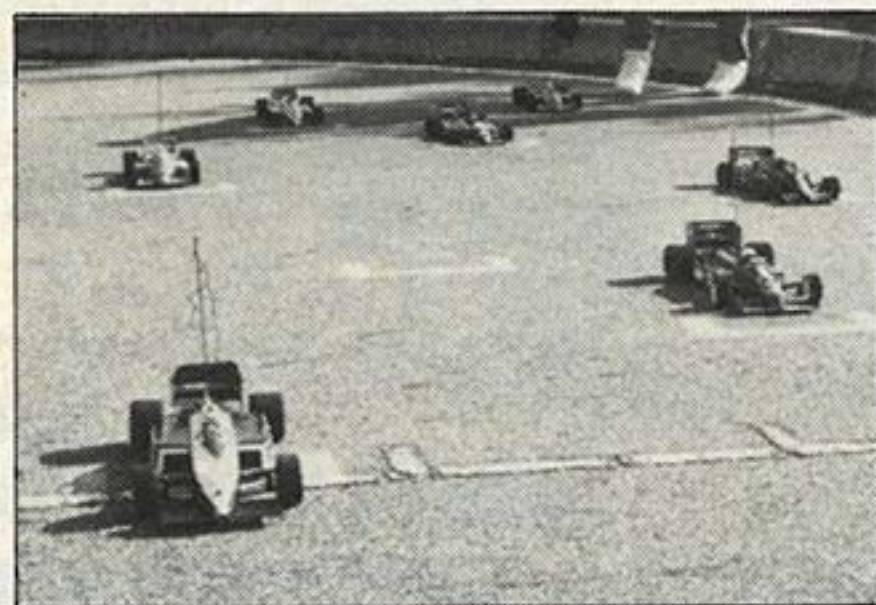
540エキスパート・クラスのほうは、2位以下の熾烈な争いを尻目に、水越選手の圧勝となった。

〔レース結果〕540EXP…①水越康之、②坂部向志、③長谷川育生、④田中秀則／540OPN…①三輪孝雄、②中島正人、③鈴木義典、④村手敬／F1ターボ…①蟹江秀有、②水越康之、③藤本能孝、④長谷川育生／F1ノンターボ…①糟谷匡則、②中林正人、③糟谷卓司、④大場弓彦。



↑いつものレースとは異なり、ドライビング・スタンド上、おどける選手も…。

↓各車スタート地点につくF-1クラス。



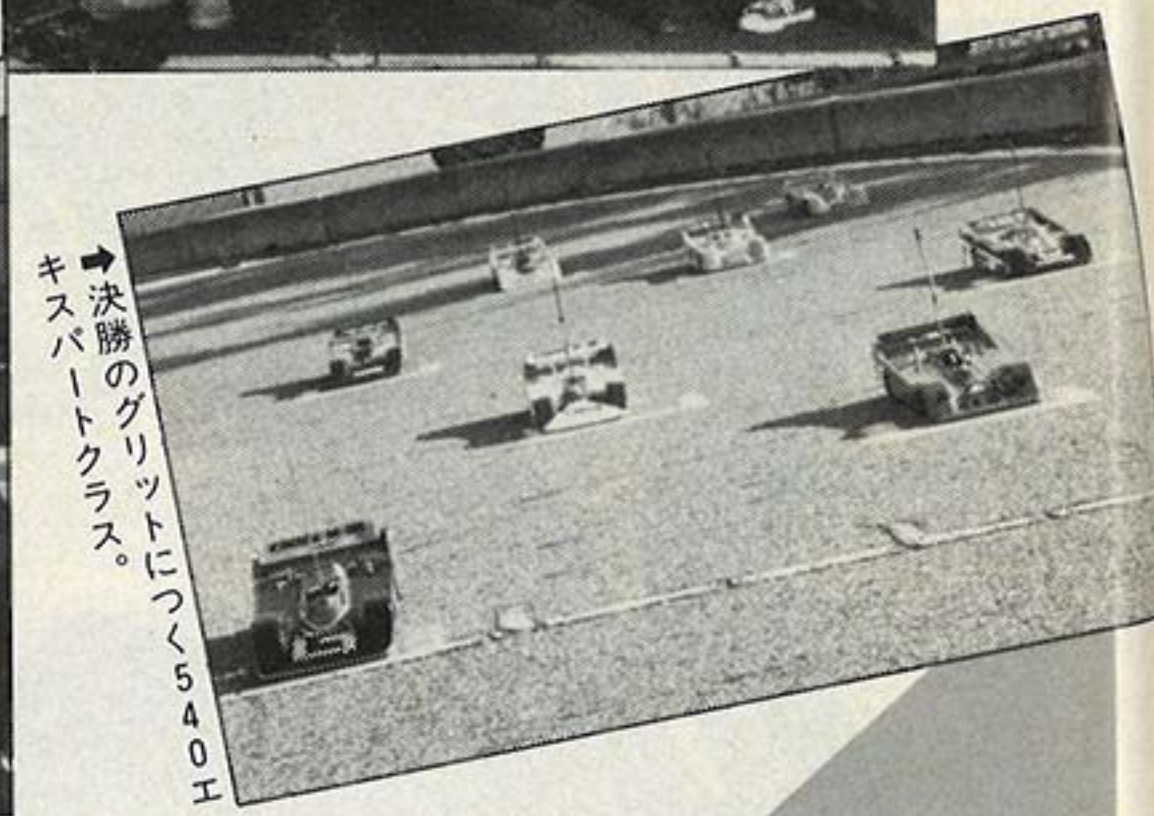
↑F1ターボクラス入賞者。前列左から1、4位、後列左から5、8位の各選手。



↑コーナーへさしかかる3車。ライン取りがきわどくなりそう。



↑エキスパート入賞者。前列左から1、4位、後列左から5、8位の各選手。



↑決勝のグリッドにつく540エキスパートクラス。

KYOSHOライダーズカップ in KYOSHO

ドラテク安定、総合力で尾藤選手が優勝

雨の心配もとりこし苦労に終わり、すこしやすーい日となった3月13日、厚木市の京商サーキットにおいて、上記ライダーズカップが行なわれた。このレースも今回で3回目をむかえたが、毎回エントラントが変わり、バイクファンの層の広さをうかがわせている。とまあ全員が存分に楽しめたレースであった。

〔レース結果〕スラローム…①宮川力、②尾藤照佳、③北條友康／オーバル…①大熊康夫、②尾藤照佳、③内田勝幸／テクニ

カル…①内田勝幸、②大熊康夫、③尾藤照佳／コンクールドエレガンス…①竹田芳徳、②船瀬健、③吉羽正雄／総合…①尾藤照佳、②大熊康夫、③柳幸文。



↑オーバル入賞者。台上は左から内田、大熊、尾藤の各選手。

↑京商サーキットに集まったヤングライダーたち。

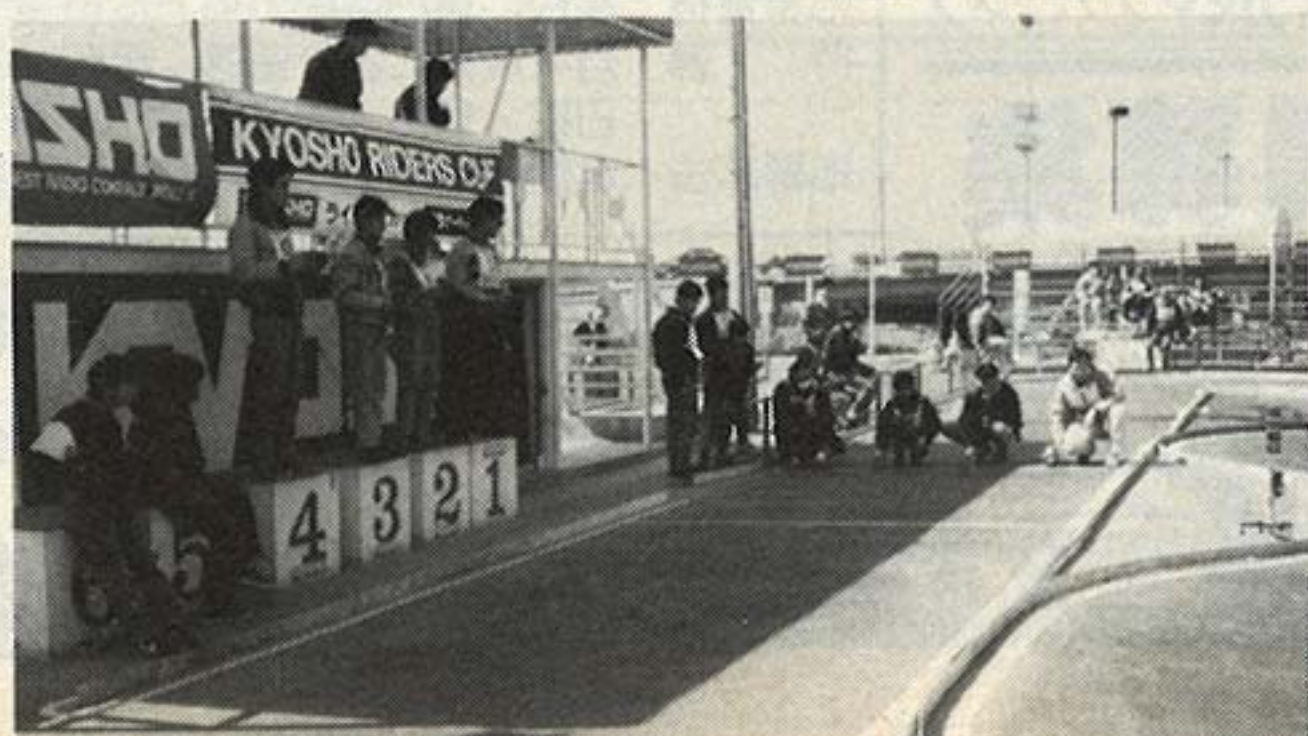


↑私たちはボディのカラーリングで勝負しました。



↑スラローム2位、オーバル2位、テクニカル3位。尾藤選手が総合力でまさった。

↑助手の力を借りてスタート。バイクレースならではのシーンだ。



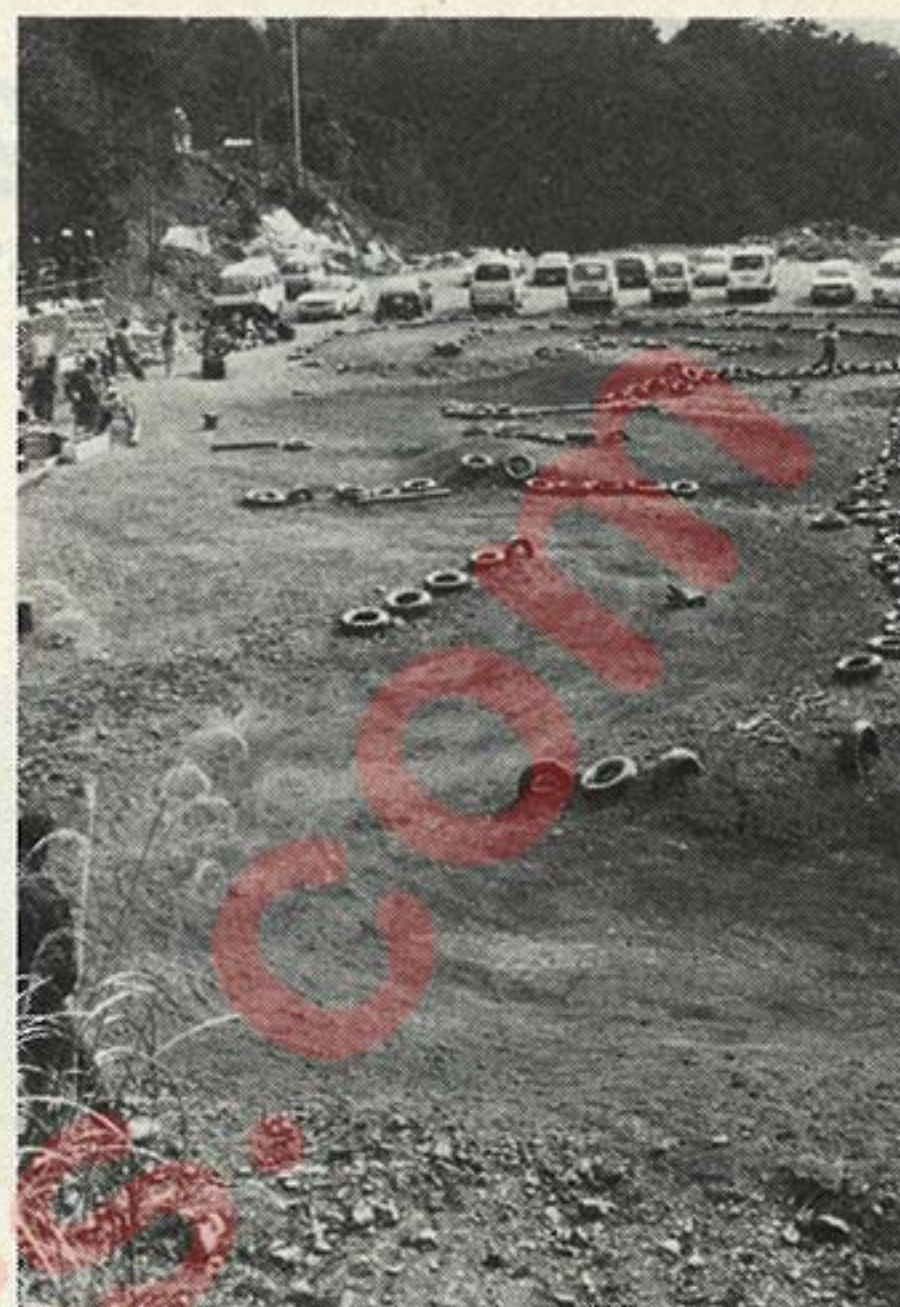
'88KBLグランプリ第1戦 久礼野バギーランドにバーンズ快走

高知市の久礼野バギーランドの主催、モデルショップ・デイトナの後援による上記1/8エンジンバギー・レースが、さる2月14日に開催された。出場マシンは、今回も京商バーンズにOS21VFエンジンの組み合わせがほとんどとなったが、各車10分間3ヒートの予選にチャレンジ。そのベストタイムにより、準決勝レースが行なわれたが、路面のギャップは徐々に大きくなり、決勝では4台ものリタイヤが発生。たいへん荒れたレースも、次のとおりの結果となった。

〔レース結果〕①名東明範、②峠国土、③小笠原清、④橘満敏、⑤矢野誠一、⑥山本信人。

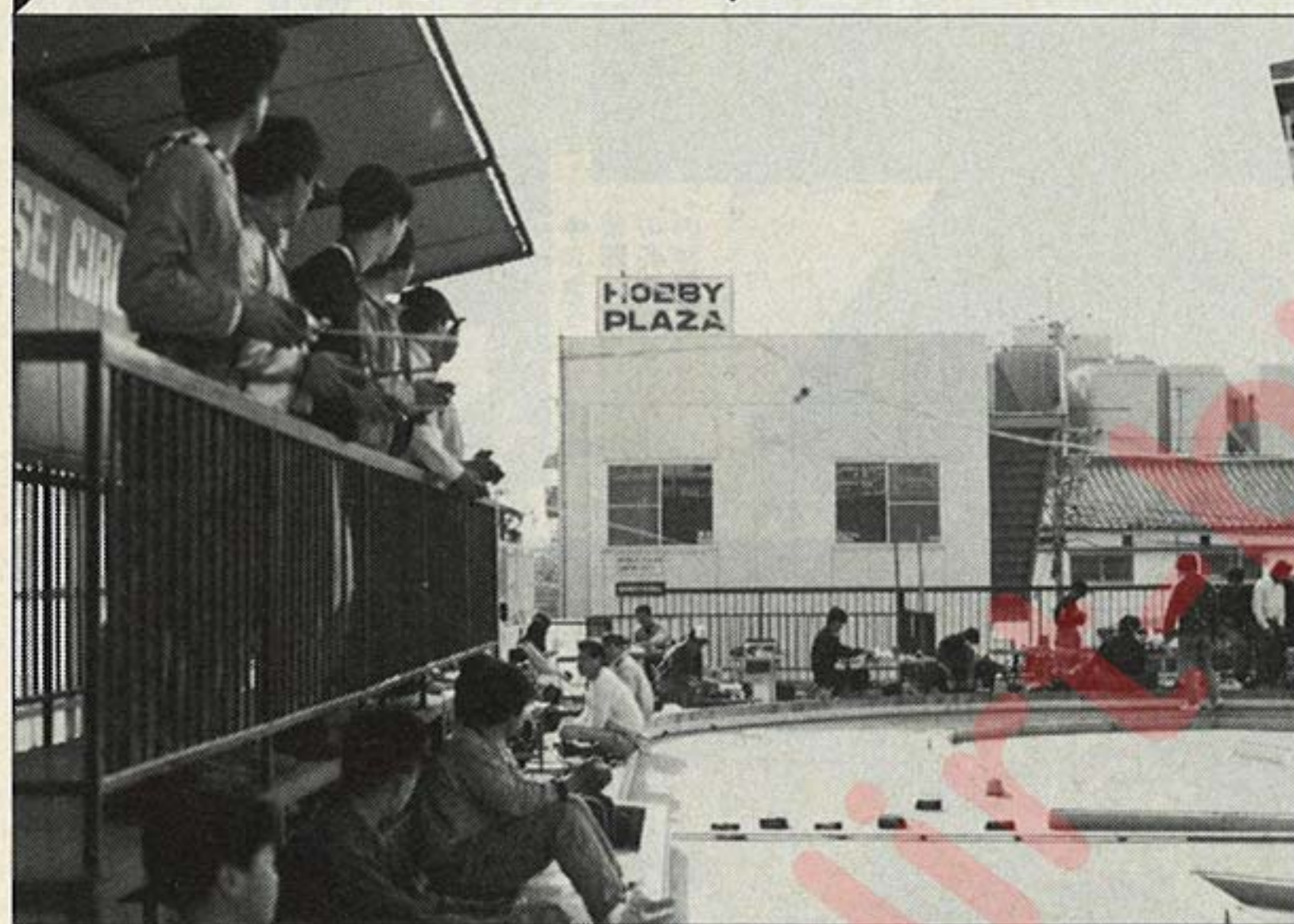


←上位入賞者。左から②峠、①名東、③小笠原の3選手。みんなバインズでした。



←古タイヤでレイアウトされたKBLサーキット全景。

'88第3回キセイグランプリ 土井秀行選手、カレラ4WSで快勝



さる4月3日、大阪・寝屋川市のキセイサーキットにて、1/12電動レーシングカー・レースが43名の参加者を集めて行なわれた。マシンは京商12台、アソシ11台、A

BC 6台、カワダ4台、その他…という勢力図となったが、ABCカレラ4WSを駆る土井秀行選手が抜け出し、ただ一人37周をマークして優勝を果たした。



↓わてら、なにわのレーシング野郎でっせ。

←お店と隣接して設けられたキセイサーキットに熱戦がスタート。

→各メイン優勝。土井、津田、森本、本宮、堀井の各選手。



〔レース結果〕FRM…①本宮茂和、②工藤隆、③渡部真一／EXP…①土井秀行、②中谷洋信、③中嶋護、④綾井大祐、⑤久保田武士、⑥高島敬富。

チームリバーサイド1/12レーシングGIC第2戦 エキスパートは百崎選手、ノービスは永田選手が制す

佐賀市のチームリバーサイド主催の上記1/12電動レーシングカー・レースが、さる3月6日に行なわれた。レースはエキスパートクラスでは、アソシ12Lを駆る百崎選手が優勝、2位にはTRCプロ12の中山選手が入り、12Lの貞富選手が3位に入賞した。

またノービスクラスでは、カワダM300の永田選手が見事に優勝を果たし、エキスパートクラスへのキップをものにした。



←永田選手をはじめとするノービスクラス入賞者。

↑エキスパート入賞者。百崎、中山、貞富の各選手。

'88ひよこGC第2戦 三輪選手がコンマ7、 山田選手をおさえる

カワダM300が圧倒的な優位を占める上記GC第2戦が、雨あがりの中、さる3月27日に開催された。全日本の1次予選が近いとあって、各選手とも最後の調整段階といったところだが、まず今回から新設のF1クラスでは田中選手が快勝。そしてプログラムは順調に進行し、エキスパート決勝…。山田選手を先頭にスタートが切られたが、最後方から出た三輪選手が猛ダッシュを見せ、3位につけて、トップをうかがう、という態勢。4分後、山田選手がミスするスキに福村、三輪の両選手が抜き去り、1、2位に上がる。そして7分30秒後、スピードのぶった福村選手を、ついに三輪選手が抜いて待望のトップ。しかし今度はその三輪選手もスピードダウン。2位に上がって来た山田選手との差はぐんぐんちぢまる。しかしここで8分のコール。わずかに0.7秒差で三輪選手が優勝を果たした。

〔レース結果〕F1…①田中秀則、②水越康之、③三輪孝雄／B…①糟谷卓司、②後藤章弘、③栗田尚規／A…①村井正順、②深谷正行、③神尾正敏／EXP…①三輪孝雄、②山田竜彦、③水越康之、④福村芳登、⑤柴田直一、⑥西尾鉄也。



↑緊張感が伝わるような、エキスパートクラス決勝前のシーン。



←名前はチームひよこでも、実力は誰もが認める強豪選手たち。

↑今年の全日本、ファインナルへ何台進出するか、カワダM300。

→ピットで余裕を見せる山田選手。今年も全日本で見せ場を作るか！



→テール・トゥ・ノーズのままヘアピン・コーナーへ…。

↓さすがにGC戦、気合いの入り方がちがう。



↓Aクラス入賞者。前列左から①村井、②深谷、③神尾、後列左から④田宮、⑤石山、⑥五十嵐選手。



→Bクラス。後藤、栗田、糟谷、の各選手と、N S Rの林選手。



'88デイトナ・オフロードGC第2戦 オープンはおブM、2WDは自作FF!

なんと2WDクラスは出場25台中、15台が自作FFマシン、しかも上位を独占…という上記レースが、さる2月20日、高知市にて開催。さてオープンクラスの方はオプティマミッドが圧倒的に強く、これまた上位を独占。また、ここデイトナGCの名物レースとも言えるべき、フラットダートクラスでもオプティマ系が大活躍を見せた。

〔レース結果〕オープン…①名東明範、②松岡計生、③松本誠司／2WD…①小笠

原清、②石田明一、③名東明範／フラットダート／①小笠原清、②天野誠一、③岡繁。



↑フラットダートクラス入賞者。天野、小笠原、岡の3選手。

←今年の全日本はあてえらぐもったきに、許いとせ!

第10回ジュニアチャンピオンシップ タミヤサーキットに183選手が大集合

あたたかな晴天に恵まれた3月13日、小中学生のウデ自慢が集まって、第10回ジュニアチャンピオンシップが静岡のタミヤ・サーキットで開催された。回を追うごとに参加者が増えているこの大会だが、当日は前回は大きく上まわる183人が参加。新人も多く、RCファン層の拡大を感じさせる。中でも人気のストック4WDクラスは、全参加者のおよそ半分に当たる78名がエントリー。サンダーショットやスーパーセイバ

ーなどのニューカーで出場する参加者が目だち、マシンにはウイングやCVAダンパーが装着され、思い思いの性能アップが施されていた。

〔各クラス優勝者〕FRMフォーミュラ…大塚賢治/FRMスポーツ…村上達也/ストック2WD…塚本圭一/ストック4WD…鈴木之博/ビッグタイヤ…鈴木賢治/EXPフォーミュラ…丸山真司/EXPスポーツ…丸山真司。

→Fフォーミュラ入賞者。①大塚賢治、②大塚龍也、③寺田の各選手。



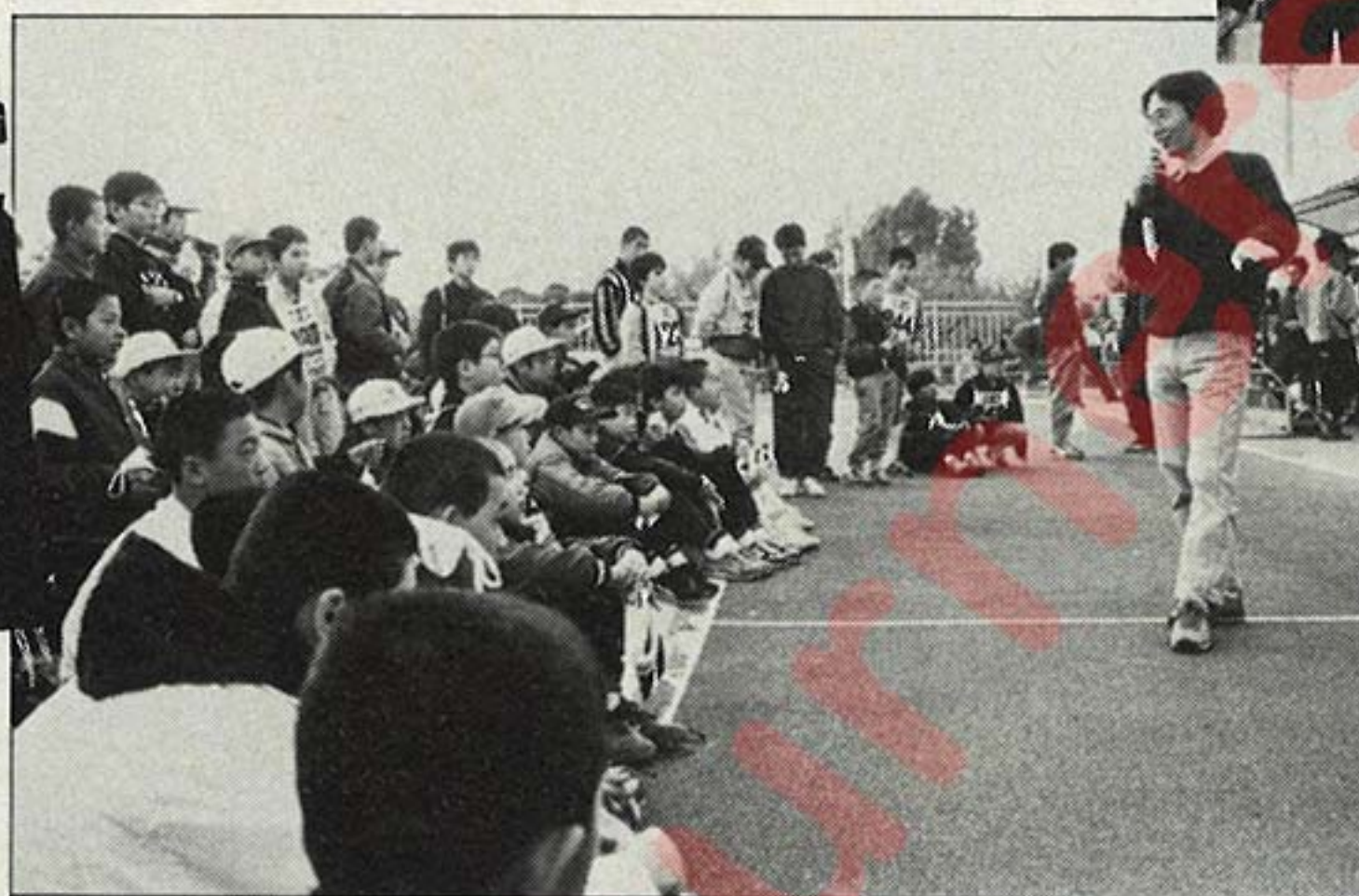
←ストック2WD入賞者。①塚本、②村松、③長谷川の各選手。



↑Eスポーツ入賞者。①丸山、②石山、③森主の各選手。

↑チミー、サイクロンループって知ってるザンスか。教えてちょ。

→レースの前に説明を良く聞かなくちゃね。



1/10電動オブ中京地区第1次予選 in シンナゴヤ 松波(オープン)、坂(2WD)の両選手がトップで通過

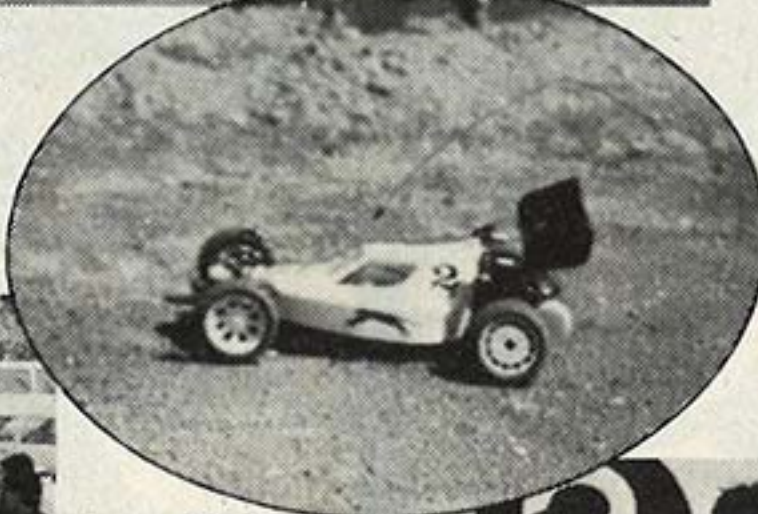
さる3月20日、名古屋市のシンナゴヤ・オフロードコースにおいて、1/10EPバギーの第1次予選が行われた。当日はオープンクラス77台、2WDクラス58台のエントリーがあったが、CATとRC-10が台数でまさるオプティマミッド、アルティマを抑えて、上位に食い込む活躍を見せた。

〔レース結果〕2WD…①坂和樹、②松田長司、③加藤隆史、④荒川卓、⑤青木琢也、⑥木下政勝/オープン…①松波廣光、②上林博、③加藤隆史、④松田克己、⑤八木モトヒロ、⑥松下耕史。

↓スタートノTQの松波CATが好ダッシュ。



↑コース整備に本物のマシンまで登場。



↑2WDクラス2位となった松田選手のアルティマ。
←135人が参加/激烈をきわめた第1次予選だった。



↑水をまくのは、RTQの高ギヤー。
←2WDクラス。前列右から1、4位、後列右から5、8位。

KO PROPO

近藤科学株式会社

〒116 東京都荒川区東池袋4-17-7 ☎03(807)7751代

折学がある。



なによりも実戦でのデータのみをフィードバックしたい…。がんこなまでにこだわるこの開発スタンスが生んだEX-IIレーシング。設計主眼を電動レーサーにおいて、その速さを極限まで引き出す付加機能の数々。そしてあらゆる状況で抜群の安定性を発揮する基本性能の高さ。オン・オフを問わず、ドライバーの意思を忠実に走りに生かすことができる、理想のプロポシステムの姿がここにあります。レースに生まれてレースが育てた、真のレーサーマシン。そのゆるぎなき自信は、経験とノウハウに裏打ちされた、確固たる哲学がバックボーン。だからこそ、多くのチャンピオンのマストシステムとして活躍し続けているのです。

EX-II RACING

●電動カー=24,800円<KR-283レシーバー/PS-51Sサーボ×2> ●ハキ-22,000円<KR-283レシーバー/PS-VM3サーボ×2>
●アンバーション・電動カー=26,100円<KR-283レシーバー/PS-51Sサーボ/インターセプターFETアンプ> ●アンバーション・ハキ-24,300円<KR-283レシーバー/PS-VM3サーボ/インターセプターFETアンプ>

**EX-9**

●電動カー<AM> 27MHz 42,800円 40MHz 46,800円 ●ハキ-<AM> 27MHz 44,800円 40MHz 48,800円 ●エンジンカー<FM> 27MHz 53,800円 40MHz 57,800円

**EX-7**

●標準セット、BECセットともに12,800円 ●ミニカーセット 14,800円 ●オートハイセット 14,800円 ●ミニサーボセット 15,800円 ●ZX-400セット 18,500円 ●インターセプターセット 16,800円

**EX-2 アエロフォルムMod**

●標準セット、BECセットとも 27MHz 14,800円 40MHz 16,800円 ●ミニRCカーセット 27MHz 14,800円 40MHz 16,800円

**リードI**

●標準セット 12,500円 ●BECセット 12,800円

カタログご希望の方は、切手200円を同封のうえ、直接当社にお申し込み下さい



好評発売中!

PS-51FETサーボ 12,500円

近日登場!

(静岡モデルショーで発表いたします。ご期待ください)

- NEW EX-I/EXセンセーション再び/6月中旬リファインテビュー予定
- ZX-500FETアンプ/バック付大容量FETアンプ
- CX-III FETアンプ/ついに登場レーシングハキ-専用FETアンプ 強力無比の大容量!

幹部候補生募集!

- 職種/生産技術・設計・メカニカルサービス・営業
- 資格/30歳くらいまで
- 待遇/当社規定により優遇・昇給年1回・賞与年2回・交通費全額支給・各種社会保険完備
- 勤務時間/8:30AM~5:30PM
- 休日/日曜・祝日・第3土曜日・年末年始夏季
- 勤務地/東京本社
- 応募方法/履歴書郵送 後日弊社より連絡いたします



★当サーキットでのレースには、AMBオートカウンターシステムを使用しています。

★サーキット使用料
 ●中学生まで1日...300円
 ●高校生以上1日...500円
 ※使用時間...平日 AM11:00~PM8:00
 土・日 AM10:00~PM8:00
 昼間の走行料金でナイターもそのまま使用できます。

●いちむらサーキット・レース日程
 ▶7月3日 いちむらチャンピオンシップ第4戦

無料走行券プレゼント!!
 ●当店で買い上げ¥5,000につき1枚、1日無料走行券をプレゼントしております。

★ニューマシーン続々登場!!

●京商 1/8フォーミュラ・シリーズ

●タミヤ サンドーショットQD

RC-12L用
 スペシャルパーツ

●ダンパーポスト強化バー

(アンテナホルダー付)

ダンパーポストのガタつきと
 シャーシのタワミをなくし、
 ダンパー効果を増大させる。

¥3,000



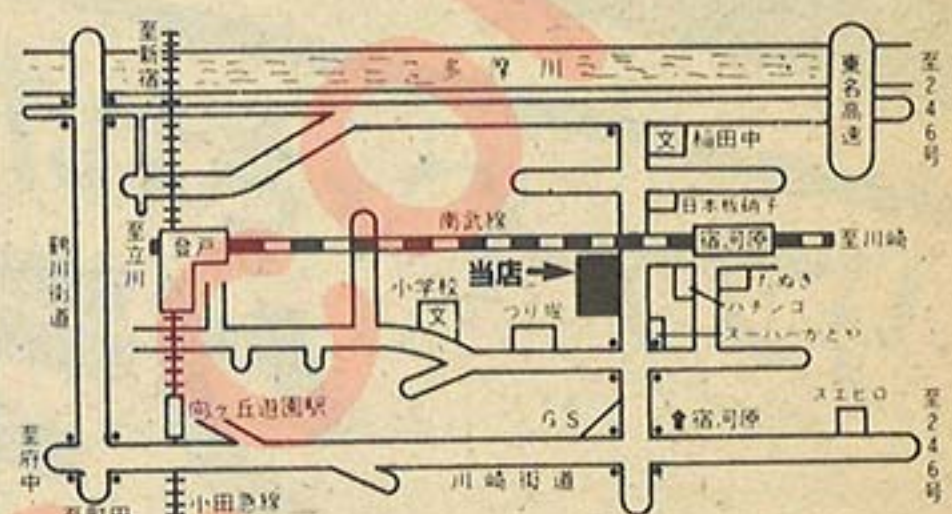
●AYK BOOST

●京商 ヤマハYZR500

●タミヤ アバンテ4WD



(電動カーサーキット・駐車場・有り)



●営業時間 (毎週木曜日定休)

平日...AM11:00~PM8:00

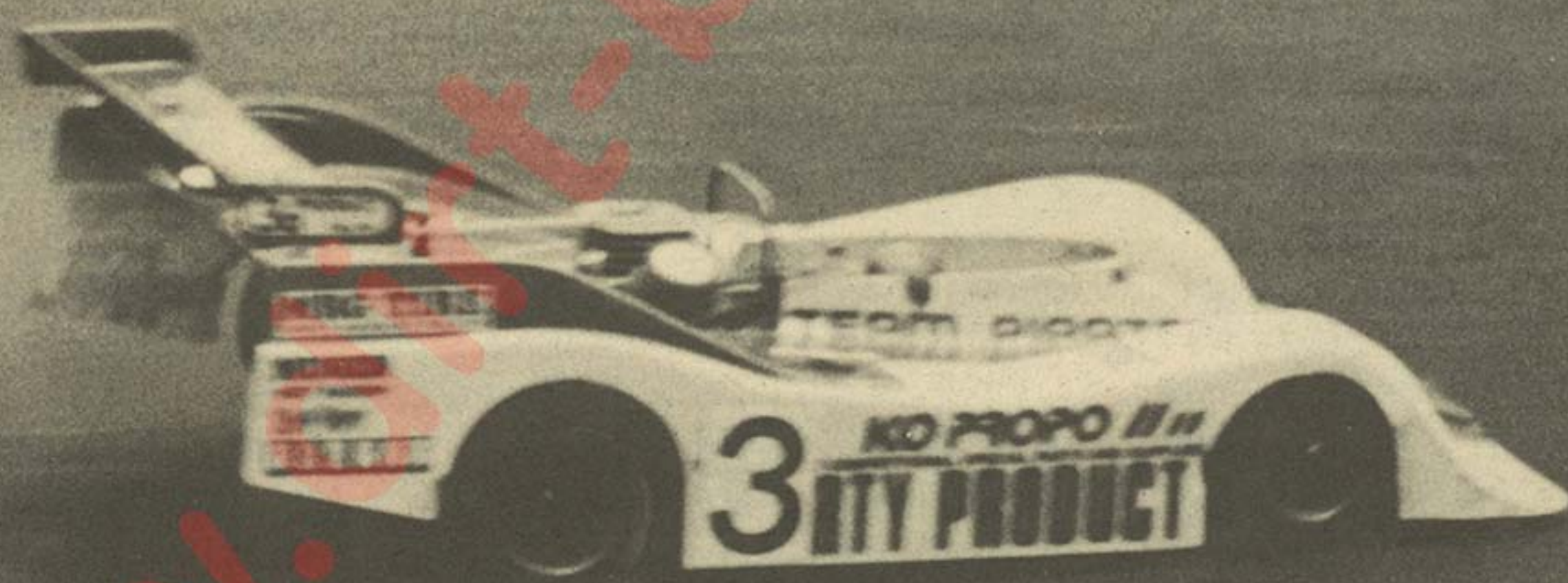
土・日・祭日...AM10:00~PM8:00

技術と信頼の
いちむら模型

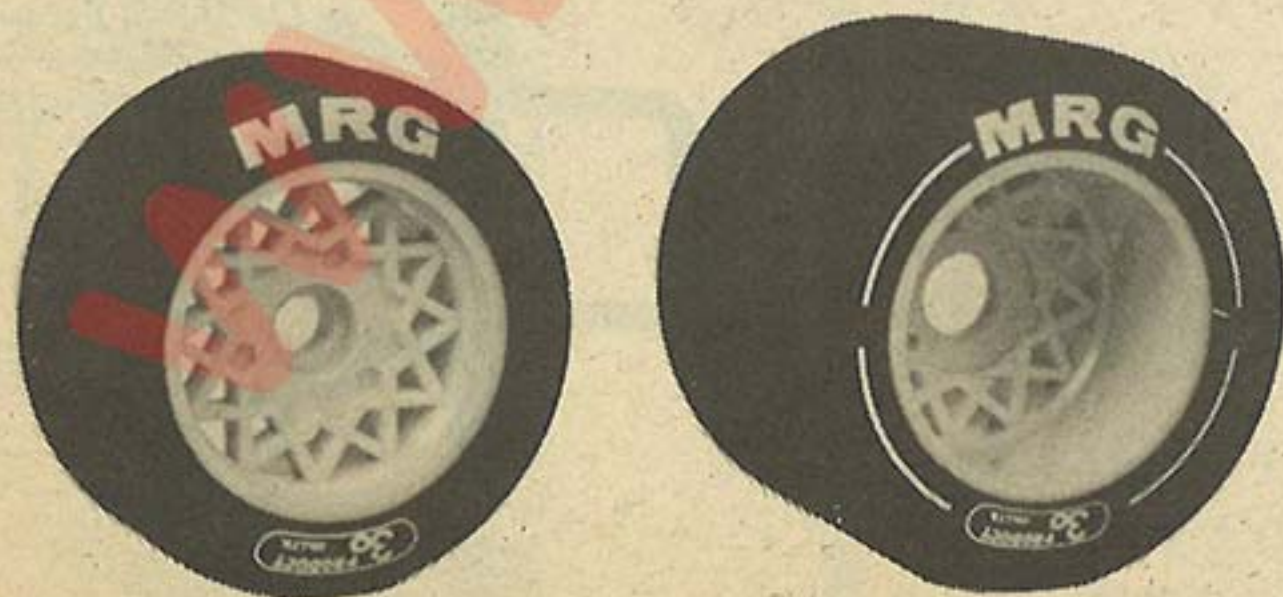
〒214 川崎市多摩区宿河原 2-4-12

☎(044)933-3939

〈1/8レーシングボディ〉 ●FORD MTX-4



RCモータースポーツのトップを走る MRGレーシングタイヤ。



サーティ・プロダクト

30 PRODUCT
 CO., LTD.

TEL 03-794-0581 (代)

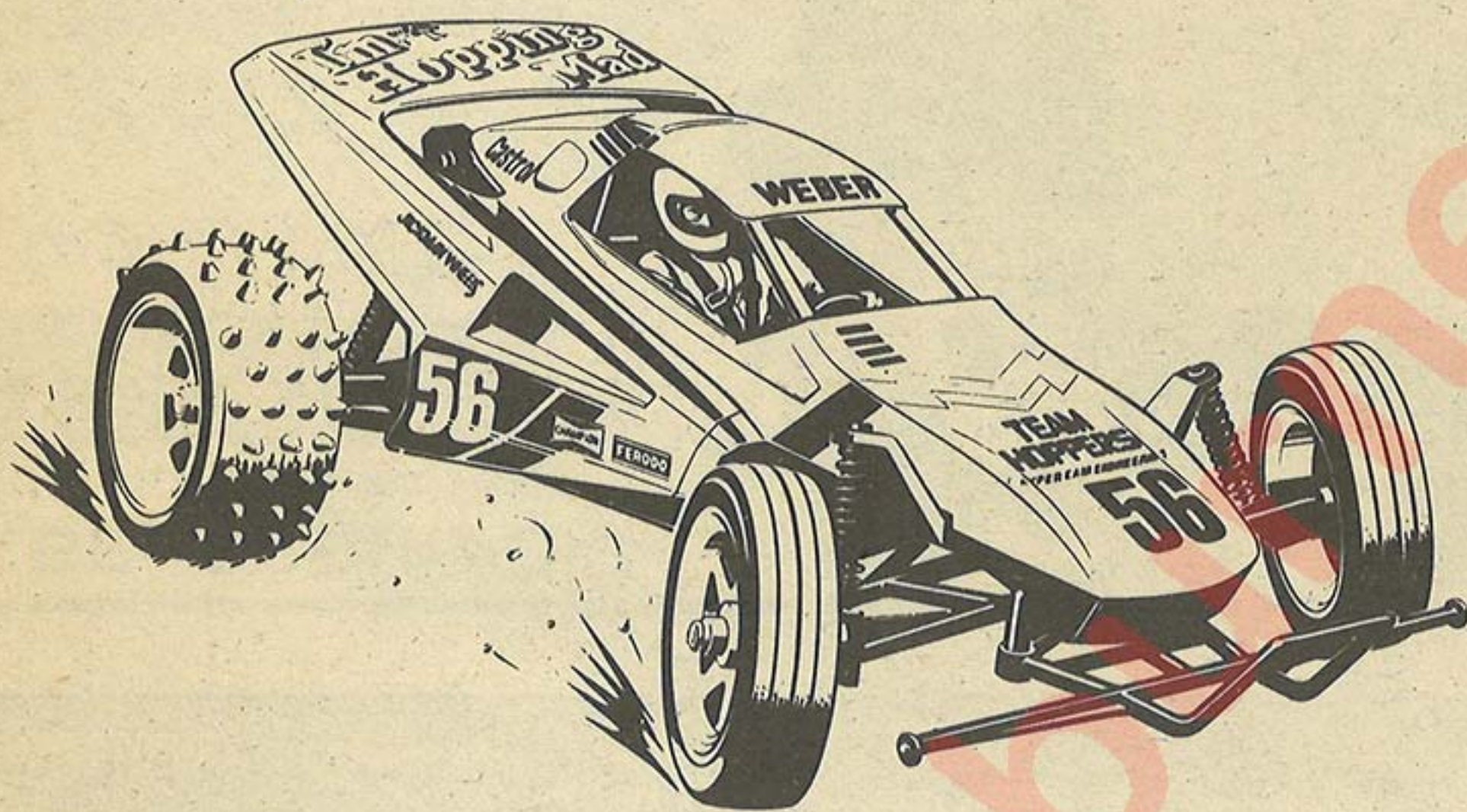
〈MRGレーシング〉 ●フロント...30° 35° 40° 各¥3,600 〈1/10電動バギー用スポンジタイヤ〉

●リヤ...20° 25° 各¥4,200 ●フロント ¥1,700 ●リヤ ¥1,800

〒152 東京都目黒区洗足 1丁目28番3号

188 HOT NEWS

リファインされたベーシックマシン グラスホッパーⅡ



グラスホッパー…入門用2WDオフローダーとして、多くのRCカーマニアを育ててきたモデルだが、このグラスホッパーがまる4年ぶりにモデルチェンジされ、『グラスホッパーⅡ』として生まれ変わった。

R S 380 S モーターの性能を100%発揮するように配慮されたシンプルなドライブトレインや、軽量なバスタブ型シャーシ、手軽にカラーリングの楽しめるスチロール樹脂製ボディなど、全くの初心者にとっても安心してRCカーが楽しめるようにデザインされていたグラスホッパーだが、これの基本的コンセプトはそのままに、各部をリファインしての登場だ。

ボディは従来と同じスチロール樹脂製のもので、角ばったスタイリングから丸味を帯びたエアロフォルムにデザインし直された。ウイングはボディに一体化されたバーチカル・スタイルとなり、サンダーショットのデザインに通ずる、流れるような曲線美を見せる。また、プラモデル用塗料で自由自在に塗装できるので、カラーリングが気軽に楽しめよう。

シャーシはE.P.L (エンジニアリング・プラスチック) 樹脂製のバスタブ型フレイ

ムで、軽量かつ高い強度を持つ定評あるものだ。メンテナンス性にたいへん優れ、トラブルが起きてもすぐにわかるなど、入門者にとって非常にありがたい。

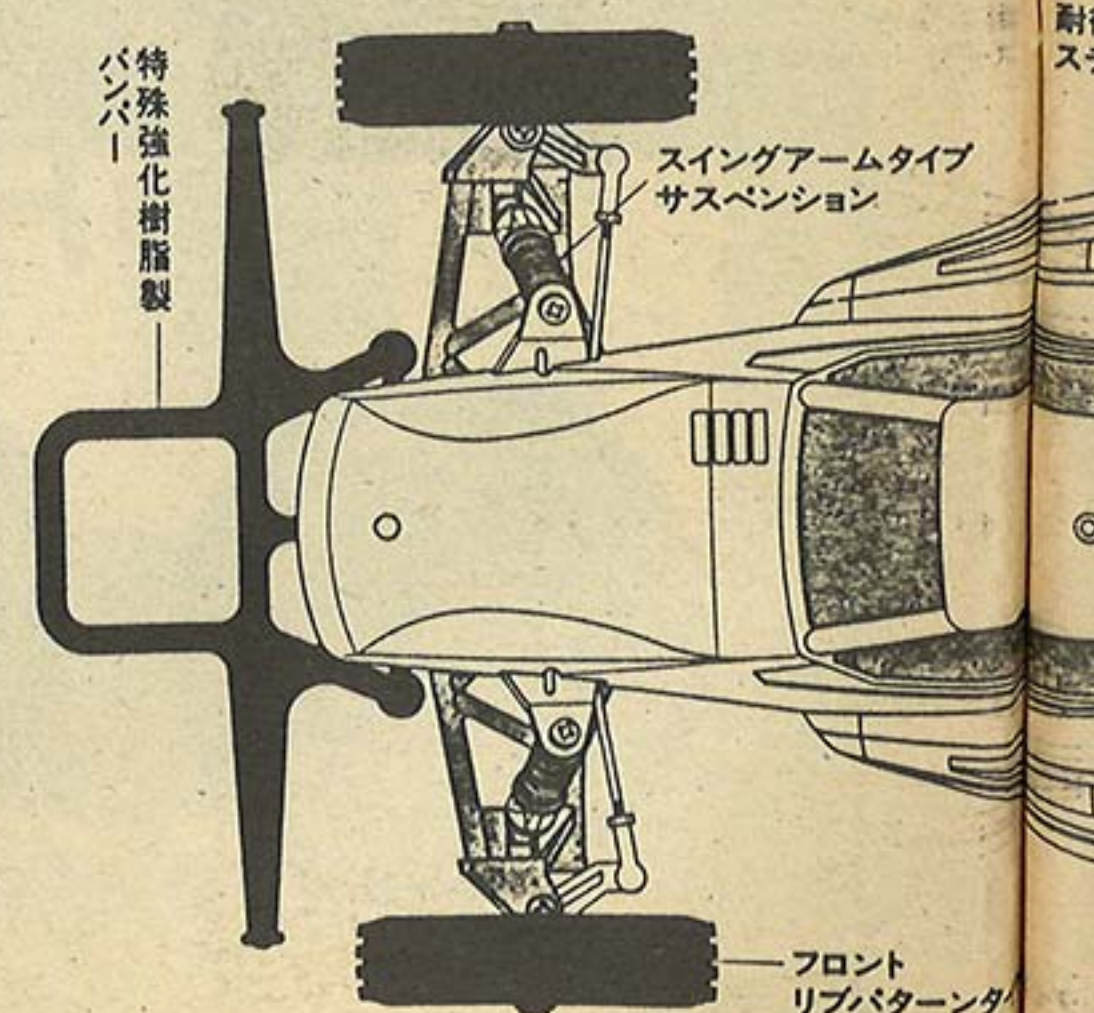
サスペンションはグラスホッパーと同様、フロントがスイングアーム、リヤがリジットだが、リヤはホーネットで採用されたローリング・リジットとなり、リヤの追従性とコーナリングの安定性を高めている。ダンパーは当然のことながら装備されておらず、コイルスプリングのみで前後のサスユニットを“つる”ようになっている。しかし、プアなパワーユニットにはこれでも充分で、入門者には全く問題はなからう。

タイヤは2WD車用としては最もオーソドックスなフロント・リブパターン、リヤ・スパイクタイプを装備。このあたりはストライカーやソニックファイターと共通であるが、もちろんオプションとして発売のピンスパイクやオーバルブロックも使用できる。

ドライブトレインはシンプルなスパー&ピニオンの組み合わせで、ジョイント類を使用しない駆動ロスの少ないもの。このへんはグラスホッパーと同レイアウトである。

静岡ホビーショーで タニヤのニューモデル デビュー!

このようにシンプルにまとめあげたこのマシン、チューンアップに対する余裕も充分、タイヤの変更やボールベアリングへの換装、モーターを540タイプやテクニ系にしたり、よりスムーズなスピードコントロールが可能なCPRユニットの搭載、さらにサスにCVAダンパーを取り付けるなど、性能アップはかぎりなくできそう。価格は今のところ未定で、8月発売予定となっている。



タムテック “テストロッサ”に好敵手現わる カウンタック クアトロバルボレ

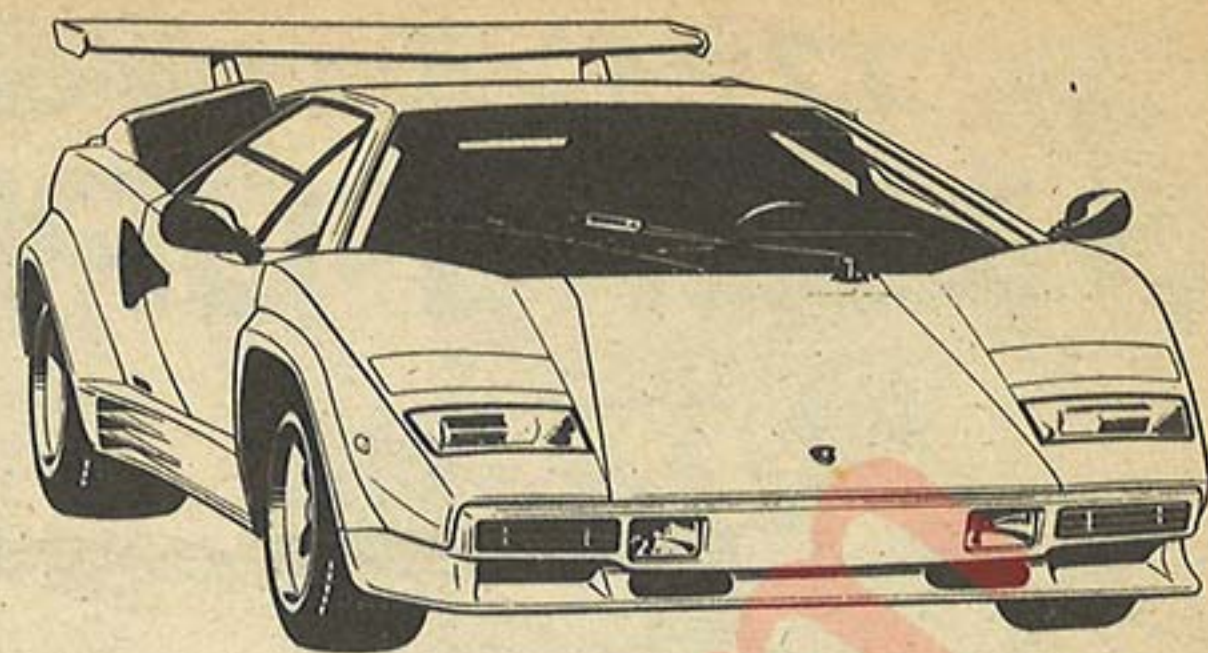
ショートホイールベース・シャーシの登場によりボディバリエーションも豊富になったタムテックに、久々にニューモデルが追加されることになった。フェラーリの最大のライバルであるランボルギーニの最高峰モデル・カウンタックがそれで、1985年のジュネーブショーでデビューしたパワーアップバージョンである4バルブ仕様の『クアトロバルボレ』をモデル化している。

カウンタック独特のウェッジシェイプのきいたボディ、巨大なリヤウイング、サイドスカートにオーバーフェンダーなど、その迫力あるスタイリングを余すことなく再現している。

もちろん激しいクラッシュにも耐えられるように一体成形ボディとなっており、ウ

インドーパーツはテストロッサと同様に成形時に一体化させる、2色成形となっていて、高い強度とスケール感はさすがにタミヤ…といったところだ。

シャーシはテストロッサと同じショートホイールベース・タイプで、すでに定評あるもの。上下分割式のモノコックスタイルで、サスはフロントがキングピンコイル式、リヤが3ポイントリンク式のリジット…このへんは変更なし。タイヤはハイグリップなスポンジタイヤ、モーターはマブチFK-180SH。実車同様、テストロッサの強力なライバルであるカウンタック・クアトロバルボレの登場で、レースがより楽しくな

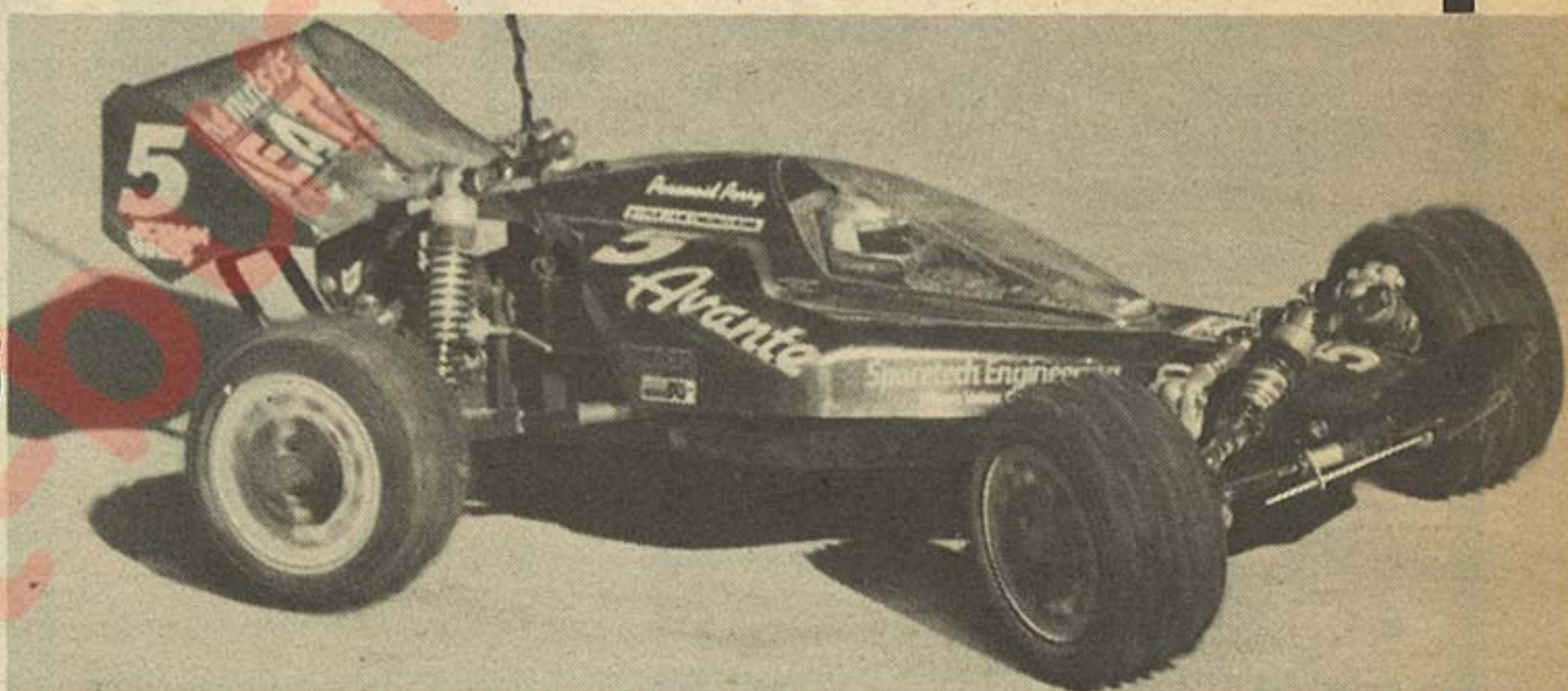


るだろう。

プロポ(タムテック201)、バッテリー&充電器がセットされたフルセット、車のみの車輛セット、そしてスペアボディの3スタイルで発売されるので、今までタムテックを持っていた人やこれから始めたい人にもピッタリと言える。もちろん別売のベアリングセットや他のスペアボディへの換装もできるので、楽しみ方は無限大と言えそう。

なお、ホイールベースは97mmにも変更できるので、プラモデルのボディを流用して楽しむこともポイントと言える。価格はフルセットが21,800円となっている。7月発売予定だ。

アバンテを より“マジ”にさせる 純正オプション アバンテ用ホップアップ オプションズ

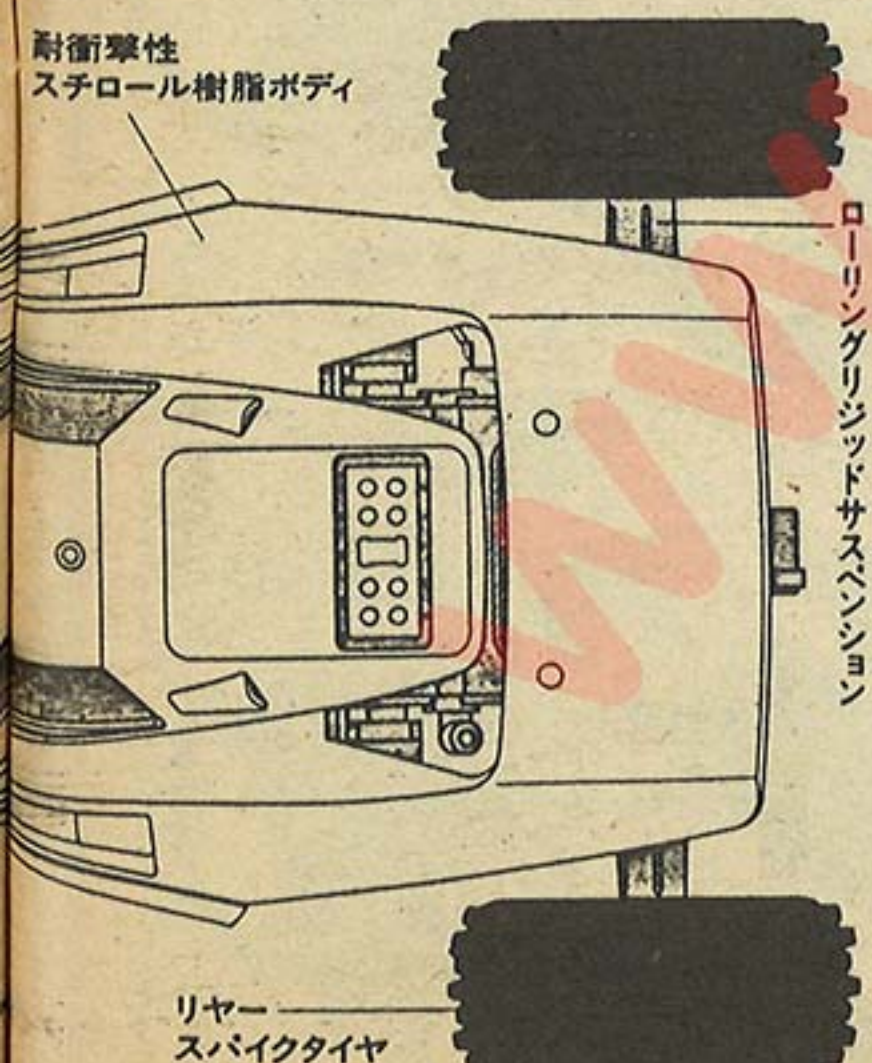


デビュー以来、各地のサーキットでそのポテンシャルの高さを見せつけているアバンテに、純正オプションパーツ『ホップアップオプションズ』が登場した。今年のビッグイベントを狙うためにリリースされたアバンテだけに、このオプションパーツはユーザーにとってたのもしき限りだ。今回のホビーショーで発表されたオプションパーツは以下のとおり。

- 1 ダイナテック01Rモーター
- 2 ダイナテック01R用9019ローター
- 3 ダイナテック01R用ブラシセット
- 4 テクニゴールドEXローター
- 5 ライトウエイトホイール(ナロー)
- 6 ライトウエイトホイール(ワイド)
- 7 シリコンダンパーオイルセット
- 8 1150ラバーシールベアリング(4個)
- 9 688ラバーシールベアリング(4個)
- 10 チタンビスセット
- 11 3φ×6チタンビス(10本入り)

- 12 3φ×10チタンビス(〃)
- 13 3φ×15チタンビス(〃)
- 14 3φ×20チタンビス(〃)
- 15 3φ×8チタンタッピングビス(〃)
- 16 3φ×12チタンタッピングビス(〃)
- 17 3φ×15チタンタッピングビス(〃)
- 18 3φ×10チタン皿タッピングビス(〃)
- 19 3φ×18チタン皿ビス(〃)
- 20 3φ×8チタン皿ビス(〃)
- 21 3φアルミナット(〃)
- 22 3φアルミロックナット(〃)
- 23 4φアルミロックナット
フランジ付き(〃)
- 24 チタンロッドセット
(以上、価格は未定)

といったところで、ニュータイプのモーターやチタンビス&ロッド関係が非常に注目できよう。このへんは来月号でくわしく紹介したいと思っている。アバンテユーザーは今しばらく待ってほしい。



1個ずつファインチューンされたオフ用モーター トムスピードUP240SE

ダンディーダッシュやスーパースプリントがレースで活躍中のニッコー商事より、今年の全日本選手権用にファインチューニングをほどこしたモーター『トムスピードUP240SE』が発売された。

このモーターはモーターチューナー『TOM SPEED』で1個1個仕上げられたもので、マグネットとローターの位置決めの見直しやエンドベルの精度出し、ベアリングの芯出し等がされている。これらの

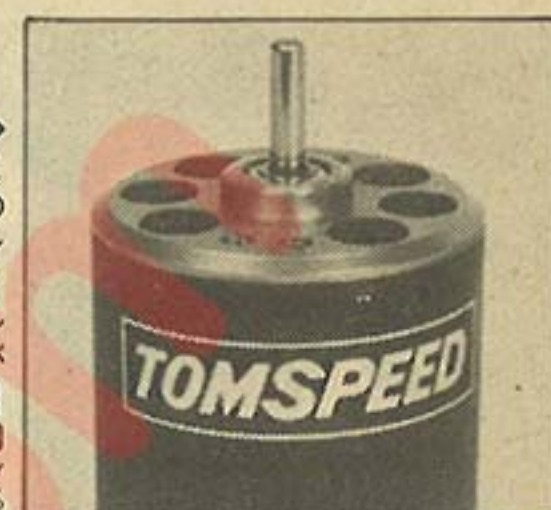
調整により、回転数やトルクは5~10%向上し、消費電流も少なく設定されている。ギヤ比は11~12:1が指定されているので、他車にもOKだ。価格の方は5,800円となっている。ニッコー商事 (☎ 03-620-3218)



トムスピードUP240SE。

→このシールが目印だ。

ニッコー
商事

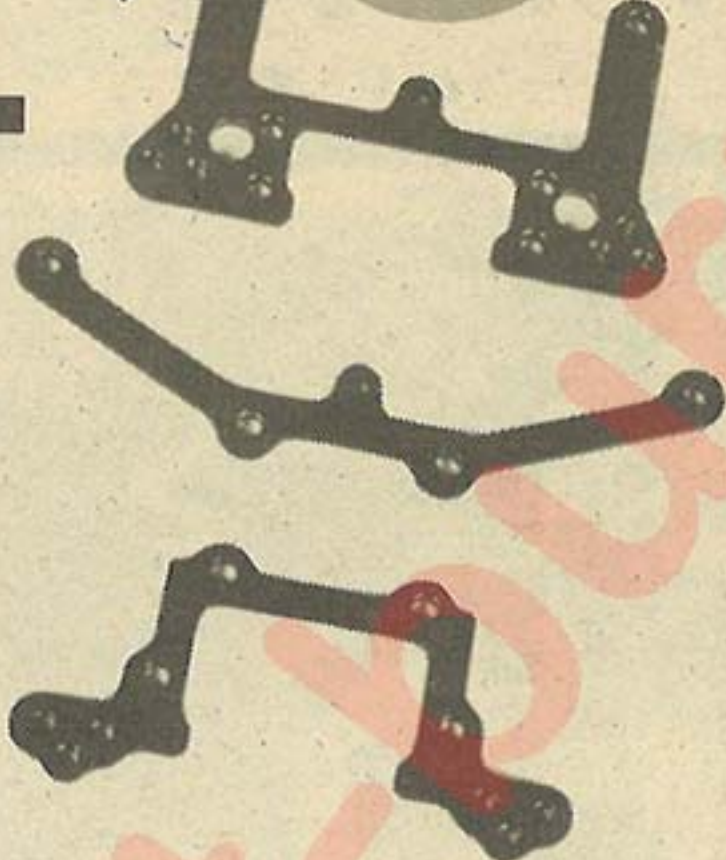


オブティマミッド用ヘビーデュー ティーパーツ 超ジュラ製 ダンパーステアー

EPオフローダー用のパーツの開発や、外国製品の販売でおなじみのホビーショップ・スズキより、オブティマミッド用のスペシャルパーツ『超ジュラ製ダンパーステアー』が発売された。

このパーツは航空機などに使用されている超硬質なジュラルミンからカットされたもので、ノーマルのFRPや17S製のものに比べ、非常に剛性が高く、ダンパーの性能を100%発揮するもの。また、形状も必要最少限のデザインとなっていて、非常に軽量である。ブラックの表面処理もされ、

ホビーショップ・スズキ

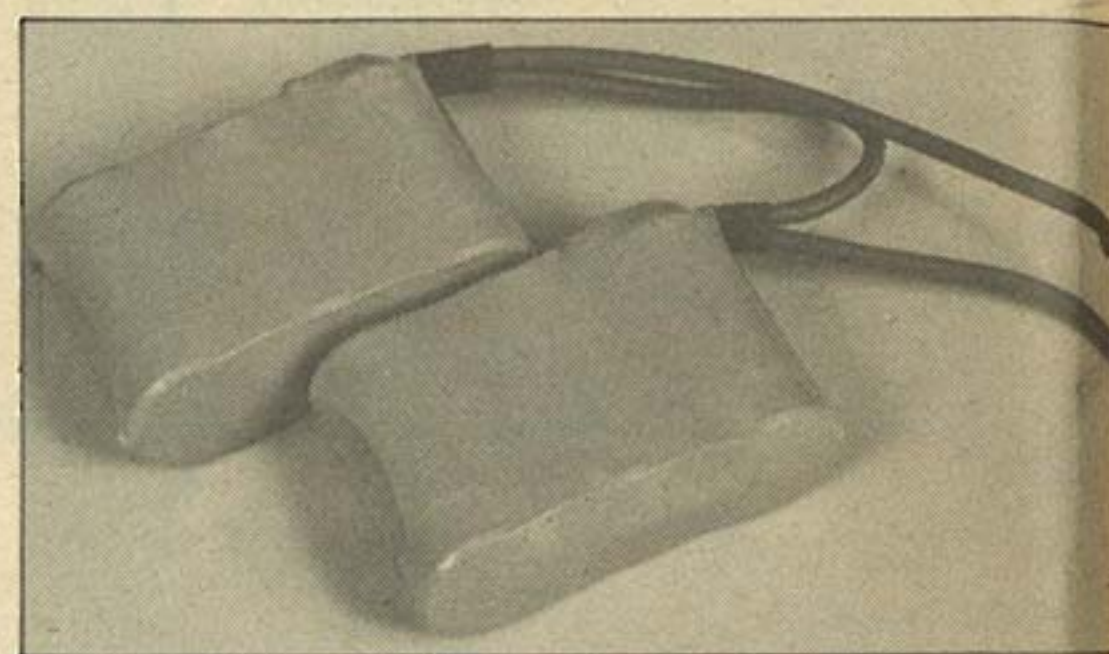
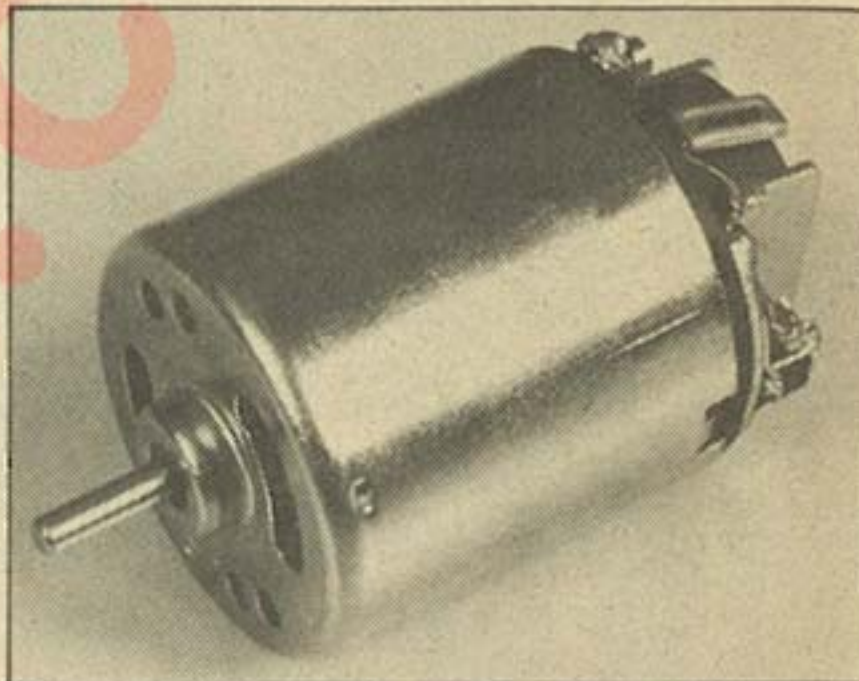


50台限定だ。価格は1台分で4,350円。

ホビーショップ・スズキ (☎ 0489-25-1737)

チーム・ヨコモのパワーUP アイテム登場

→ヨコモ・エスプリモーター！



YZ870Cスーパードッグファイターが好調なヨコモより、EPレーシング&オフロード用パワーUPアイテムが登場したので紹介しよう。

まずは『エスプリ』モーターで、放熱効

ミニ四駆にニューモデルが追加

スーパーセーバーJr& サンダーショットJr

単3電池2本だけで、イキのいい走りっぷりを披露するレーサーミニ四駆シリーズに、新たに『スーパーセーバーJr.』と『サンダーショットJr.』がラインアップ。どちらも従来のミニ四駆同様、シャフトドライブ4WDで、接着剤不要の簡単組立。買ったその日に、レースも可能だ。もちろん両モデルとも、兄貴分の1/10オフローダーのボディを、そのまま“ちっちゃく”したボ

ディをまとい、走りも迫力満点。また、グレードアップパーツも続々登場し、チューンアップも楽しめる。価格は両Jr.とも、600円となっている。田宮模型 (☎ 0542-86-5105)



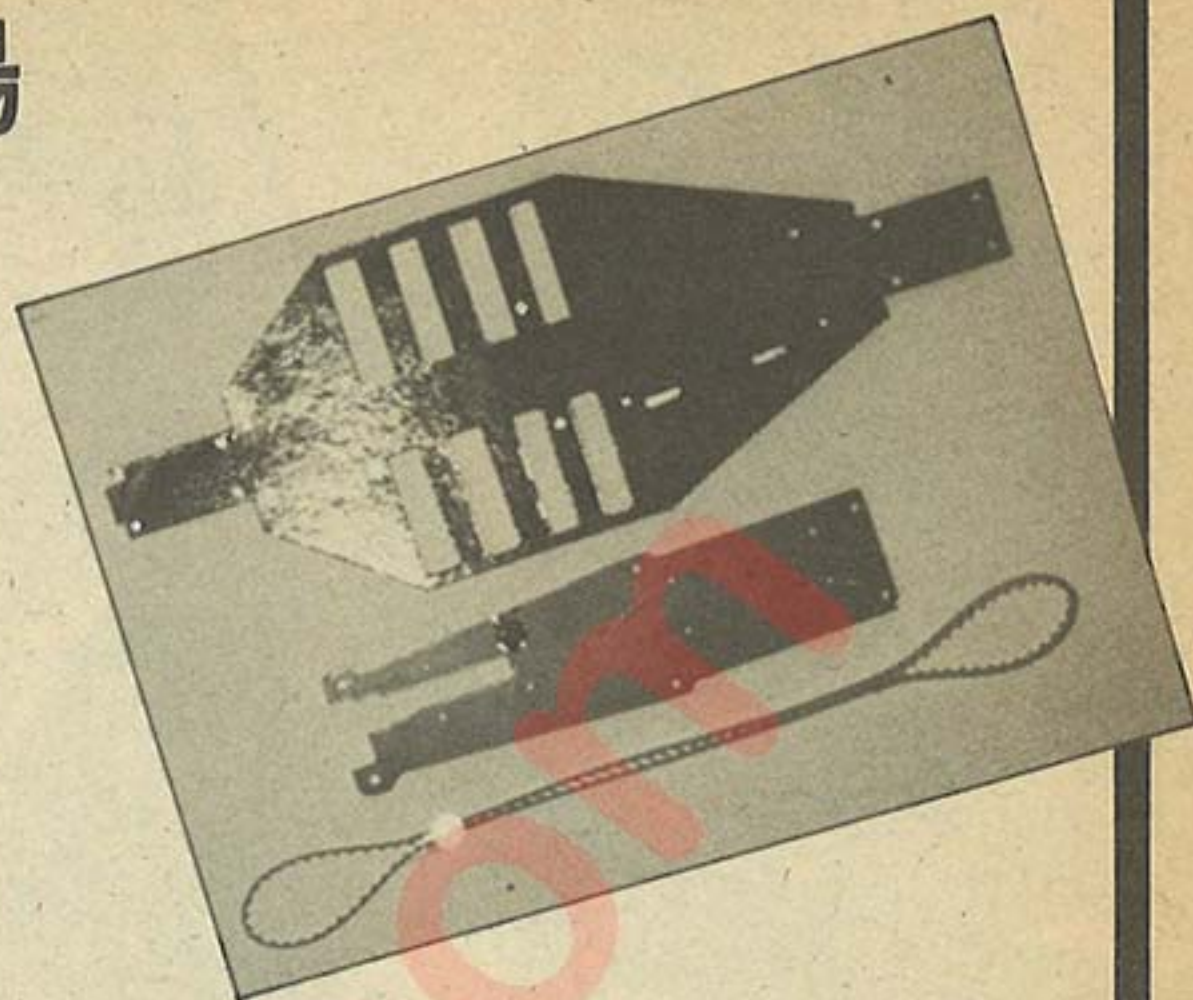
タミヤ

オプティマミッドをロング化するキット登場 ミッドオプティマXL コンバージョンキット

作品
No.101

EPオフロードのレース活動が活発な大阪のホビーハウス作品No.101より、オプティマミッドをロングホイールベース化するコンバージョンキットが発売された。このロングホイールベース化は、京商から発売され

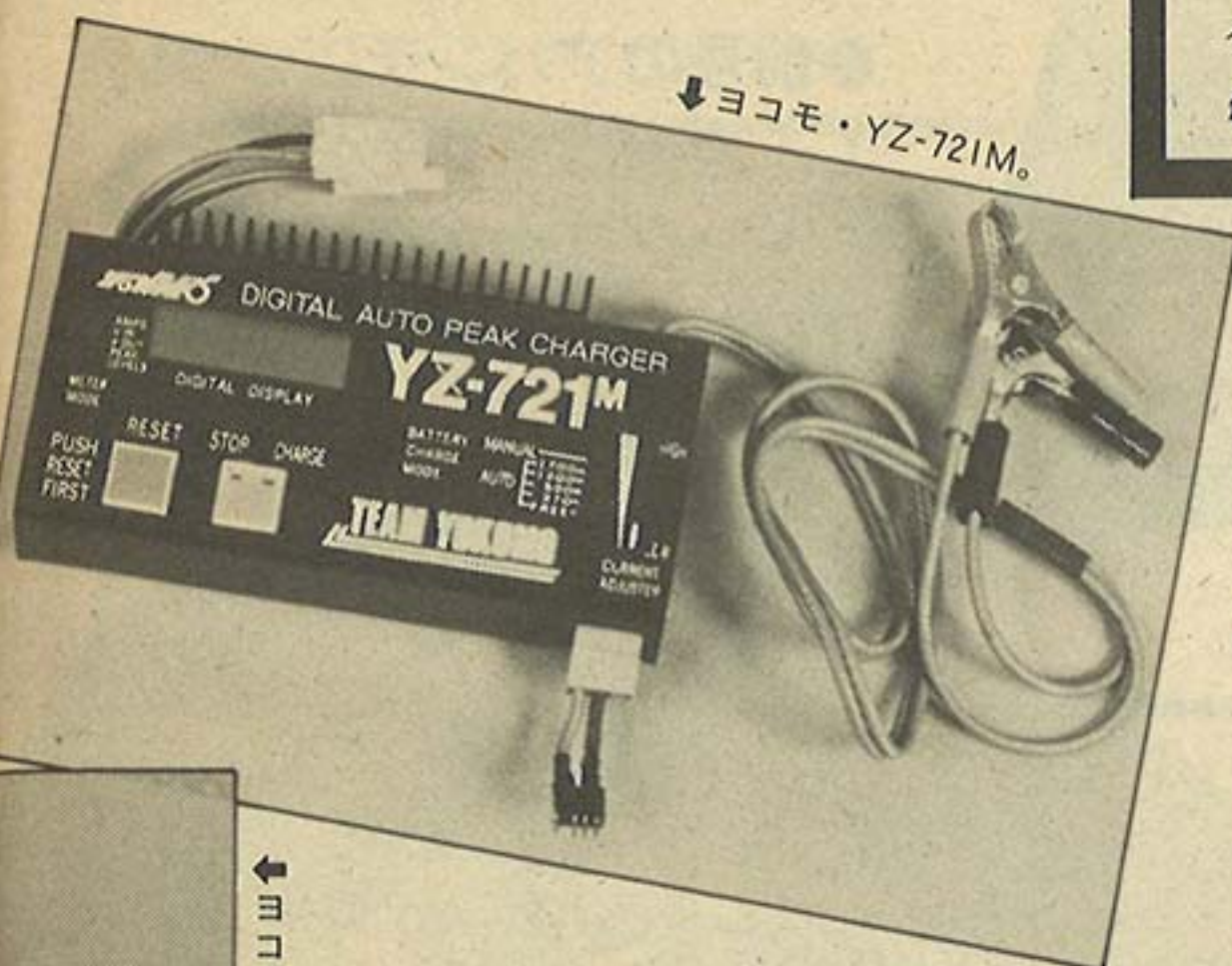
る限定モデル『ターボオプティマミッド・スペシャル』と同コンセプトのもので、いち早くユーザーに供給しようというものだ。このシャーシは2.5mm厚カーボンからカットされていて、アッパーデッキと専用ベルトもセットに含まれる。なお、サーボセイバーは旧オプティマ用を使うように指示されていて、ビス穴はもちろん皿加工済みだ。



価格は19,000円である。

作品No.101 (☎0725-45-1659)

↓ヨコモ・YZ-721M。



↑ヨコモ・1700SCE。

ヨコモ

果の高いニュータイプのブラシホルダーを採用した新設計のモーターだ。バリエーションは5種におよび、メタル支持だがハイパワーをはこる『05スーパーストック・オフロード』(1,980円)、オフ用5分間仕様の『ハイトルク・オフロード』、オフ用スプリント仕様『ハイRPMオフロード』、レーシング用テクニカルコース仕様『ハイトルク・レーシング』、レーシング用ハイスピードコース仕様『ハイRPMレーシング』(以上すべて4,800円)がある。それぞれ用途に応じて使い分けたい。

次は1700mAhの振り分けタイプバッテリー『ヨコモ1700SCE』だ。これは今ウワサの大容量セル1700mAh SCEをセパレートタイプにパックしたもので、1700mAhでありながらパンチ力を重視したものをセレクトしている。価格は5,500円。

最後はFET使用のピークカットオフ・チャージャー『YZ-721M』だ。充電効率の良いFET素子を使用した回路を採用し、標準装備されたデジタル表示メーターと相まって、確実なチャージができる。サイズもコンパクトで、価格は29,800円。

ヨコモ (☎03-881-2446)

YZ721M&エスプリモーター

RC-10ユーザーに
使ってホシイ!
アルミホイール他

1/10オフローダーの2WDクラスで、絶大な人気を得ている『アッシRC-10』用のチューンアップ・パーツ3種が、フェニックス・インコーポレーションから発売された。

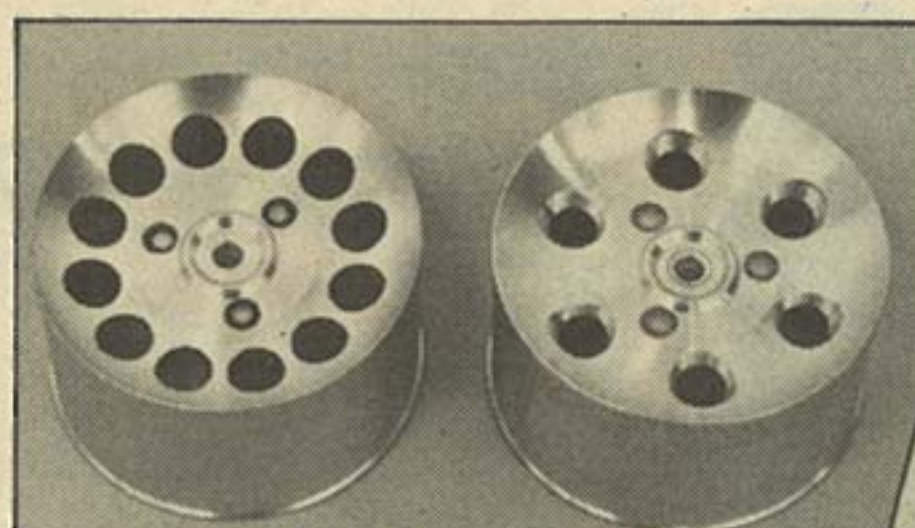
まず一つめは『ステンレス製ユニバーサル・ジョイント』で、駆動ロスの低減とドライブ・シャフトの脱落防止に効果がある。材質もステンレスなので軽量かつ剛性アップにもつながる。2本1セットで2,980円。

次は『アルミ削り出しホイール』だが、バランスが良く、強い衝撃にも変形することはない。重量も超軽量のため、レース用として最適。RA、RBの2パターンがあり、価格はホイールアダプター2個付で3,800円。

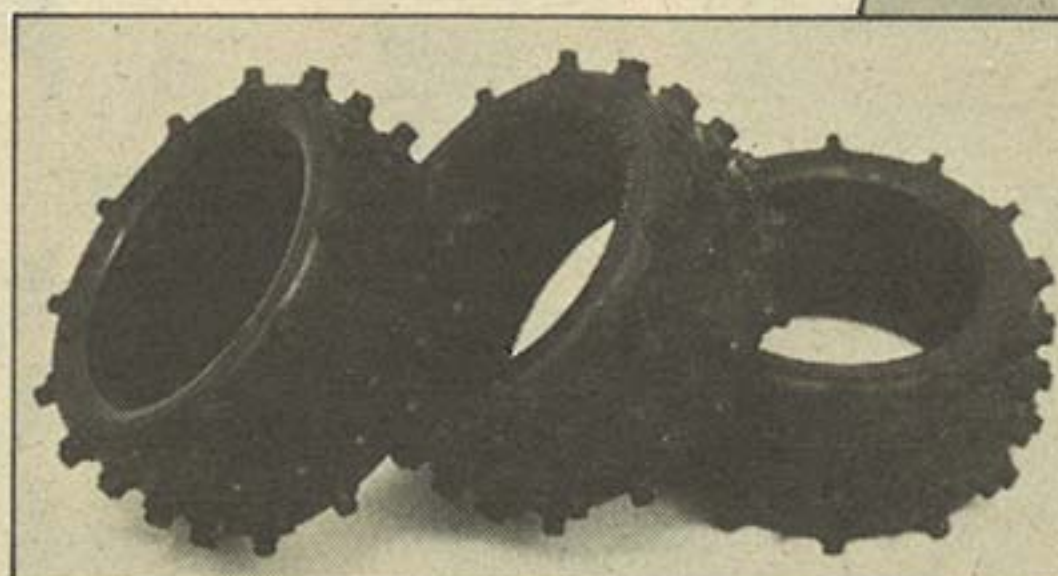
最後は『アルミホイール用ロープロタイヤ』。2段ピン付きのロープロで、スーパーソフト、ソフト、ハードの3種類があり、価格は各1,400円。

フェニックス・インコーポレーション (☎03-251-1144)

フェニックス



↑RC-10用アルミホイール。



↑RC-10用ロープロタイヤ。



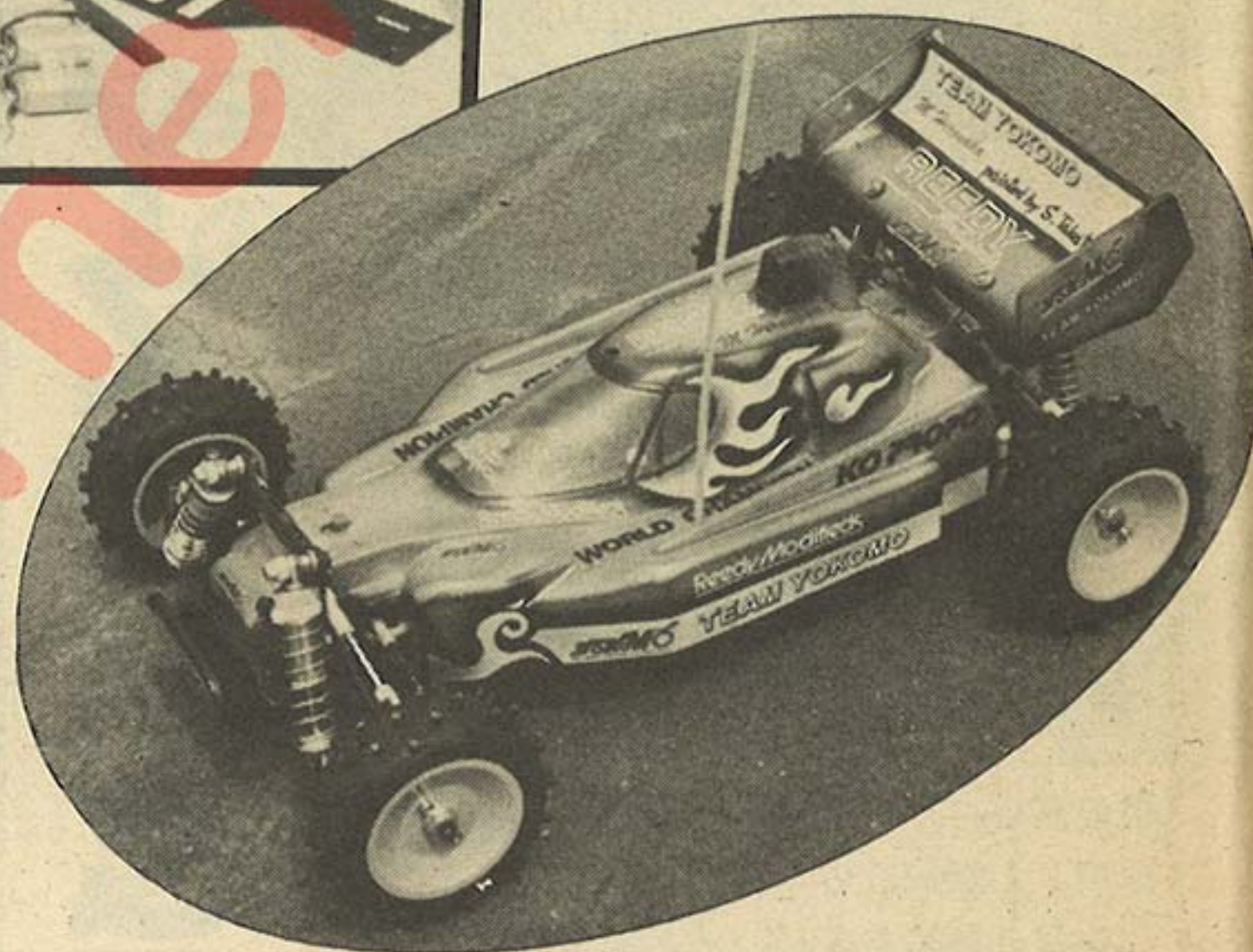
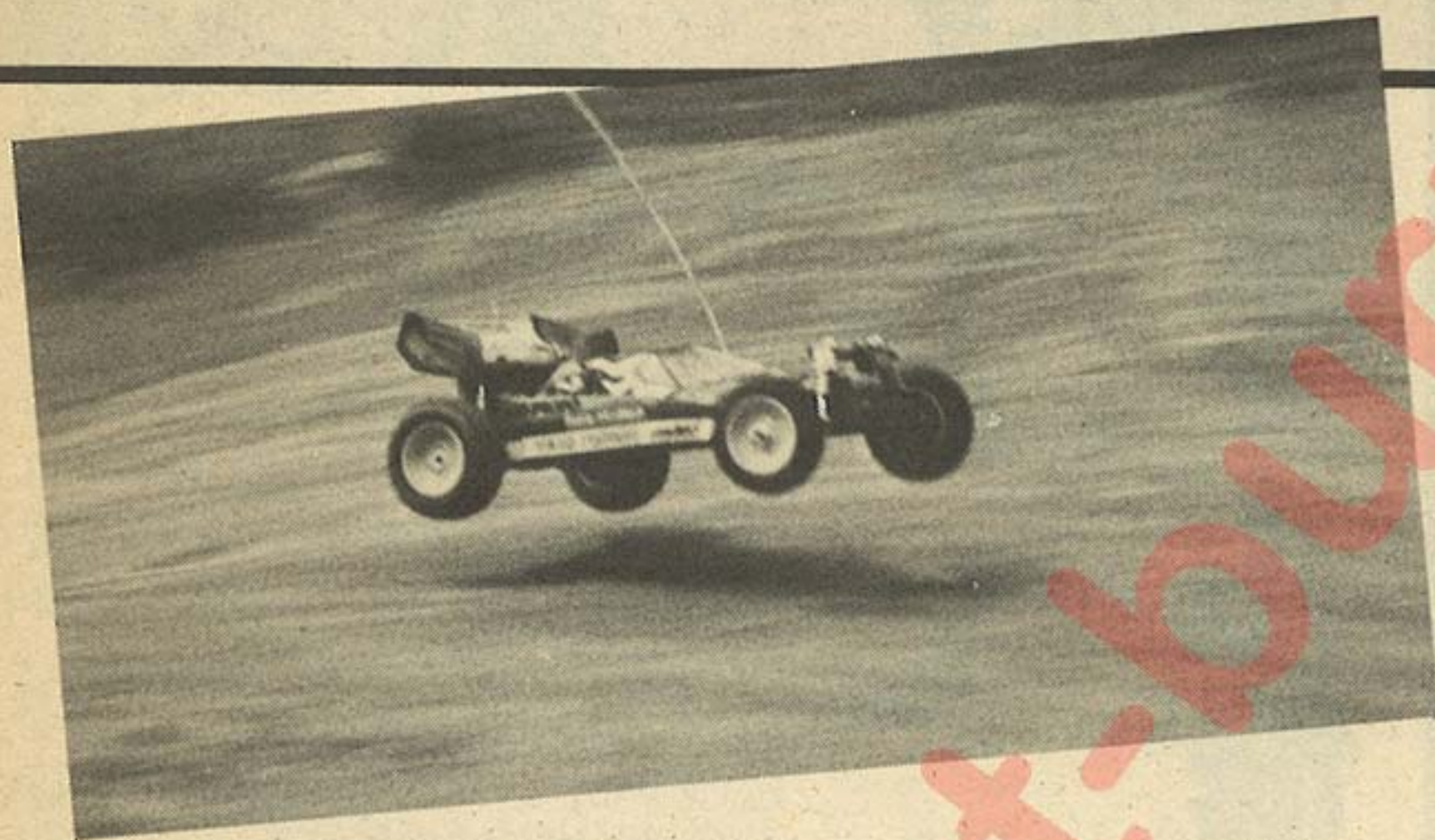
↑RC-10用ユニバーサルスイングシャフト。

188 HOT NEWS

モンゴル石神
の特別講座

ヨコモ YZ-870C

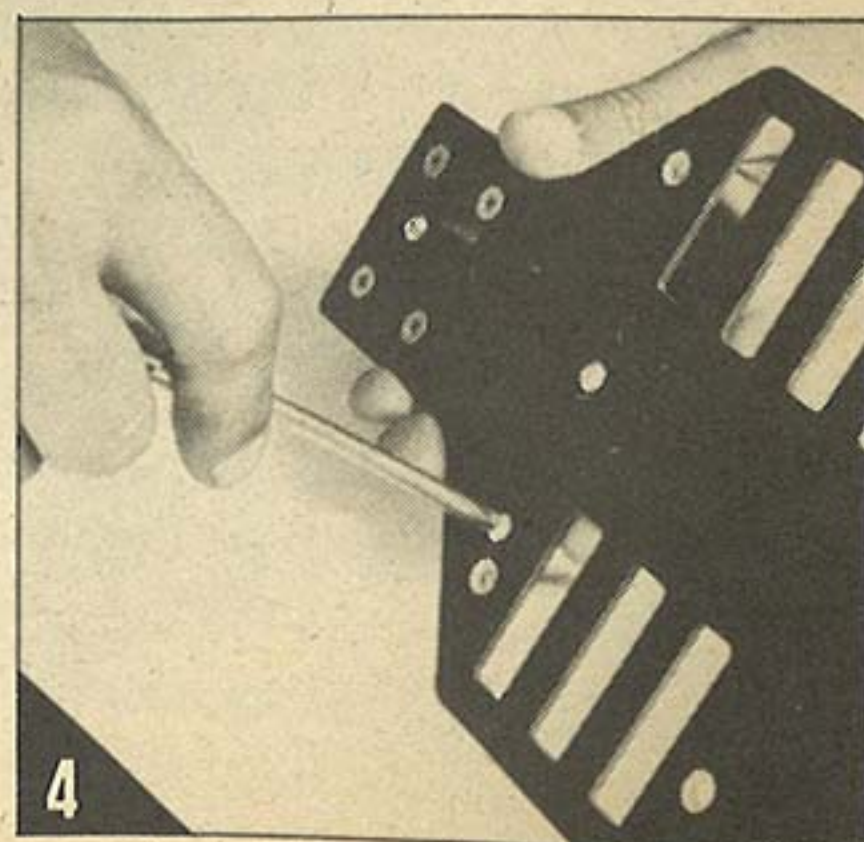
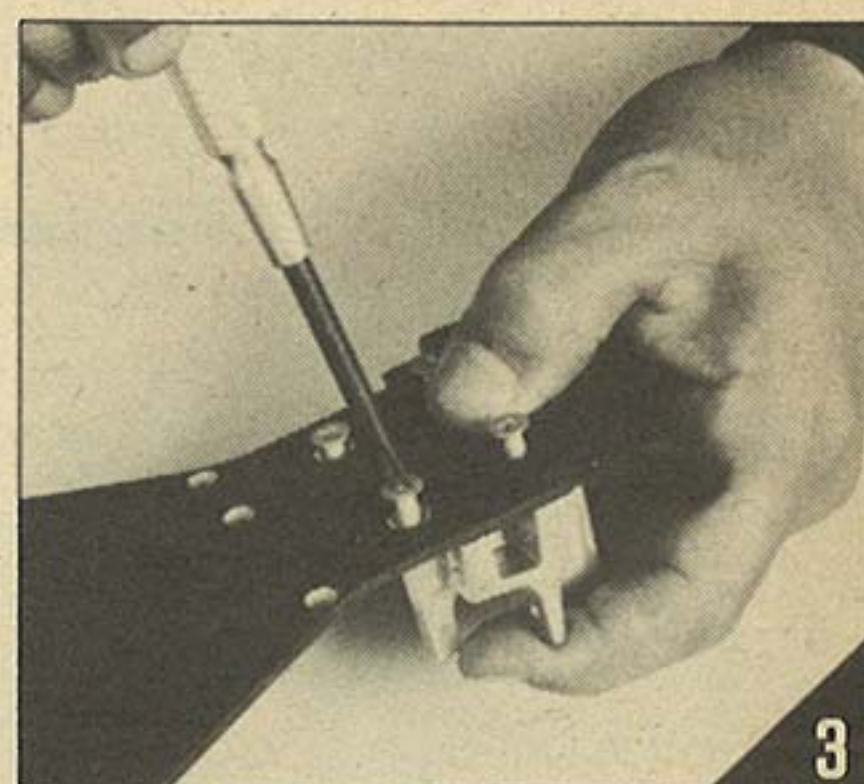
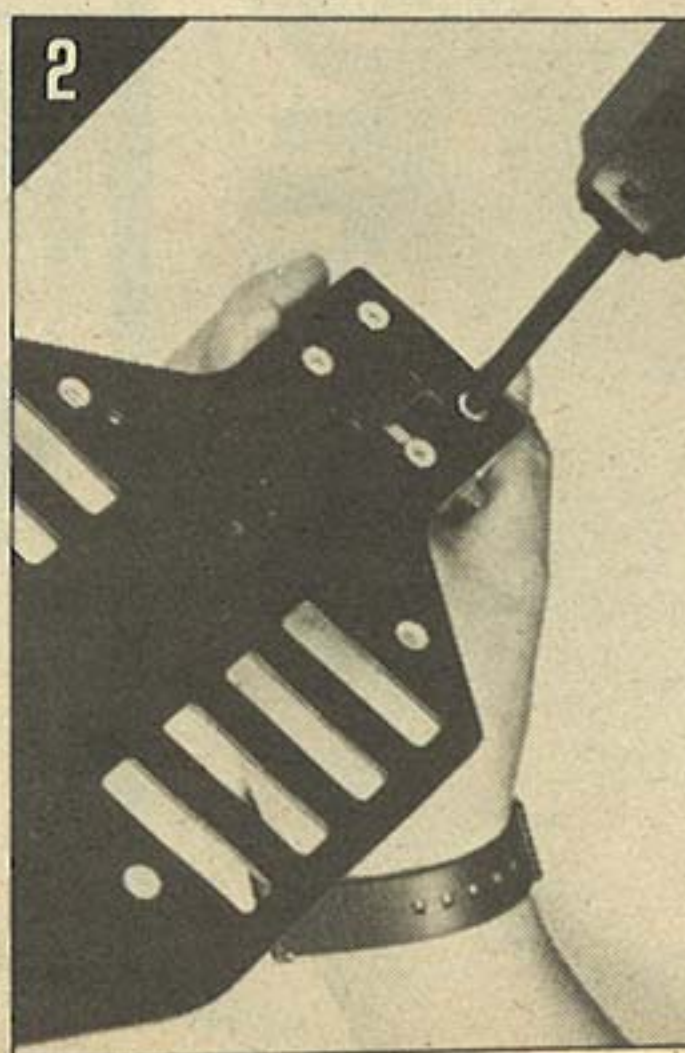
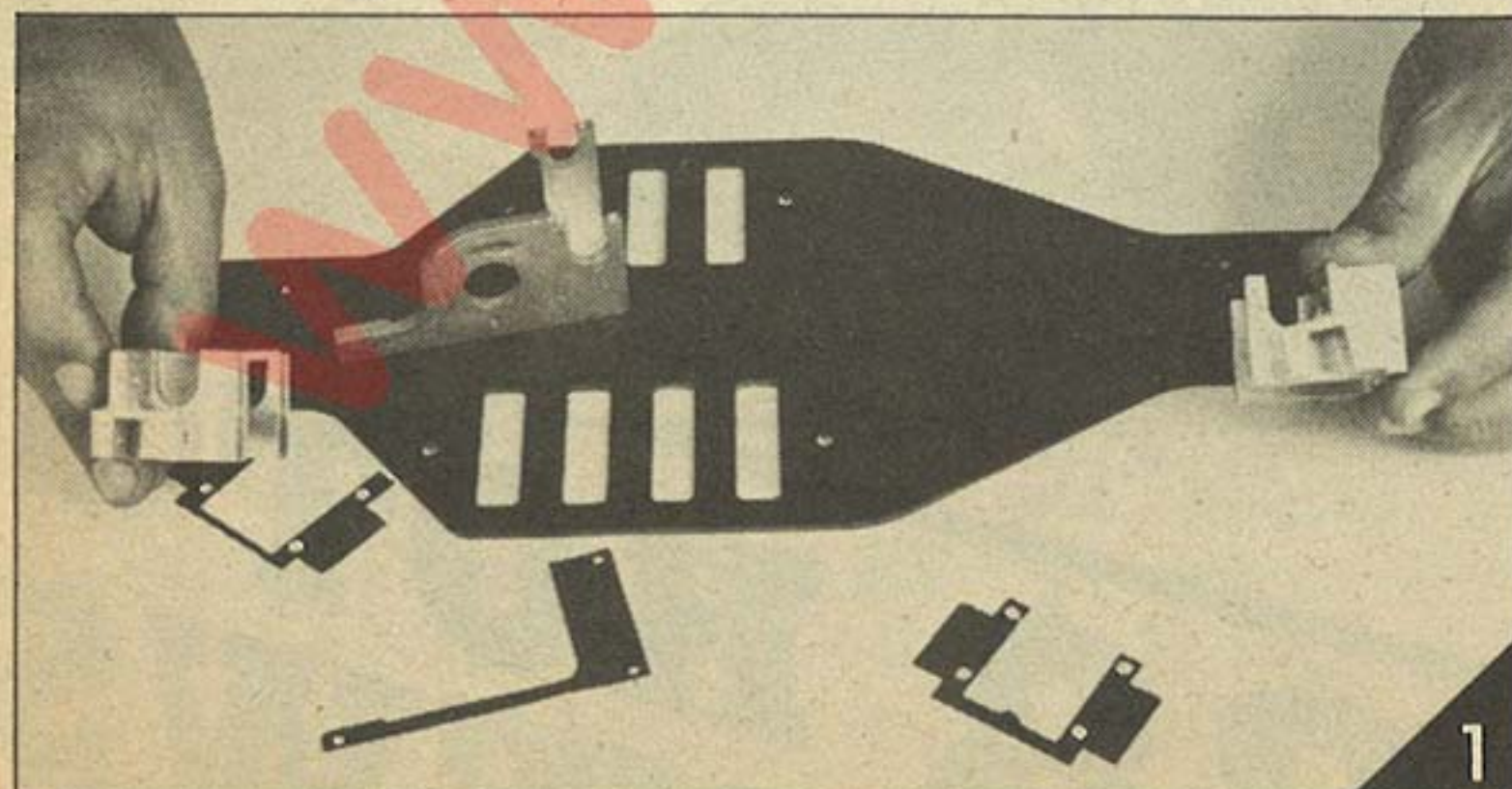
●前号のアバンテにつづいて、今回はヨコモのスーパーダッグファイターを組み立てたゾ！ 秘めた戦闘力は期待充分!!



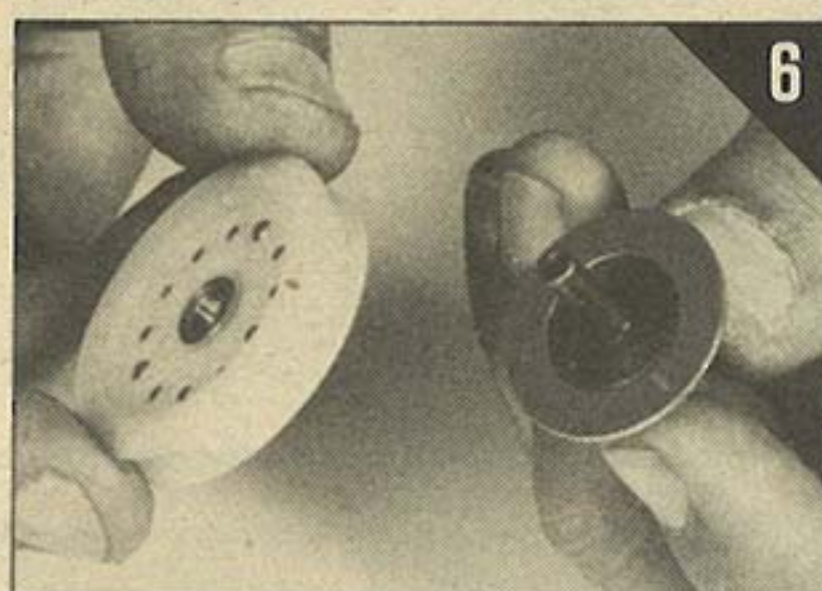
ステップ1 動力関係

シャーシ ギヤボックスの 取付

ギヤボックスの固定ビスはアルミ製なので、必ずピットリと合ったドライバーを使う必要がある。

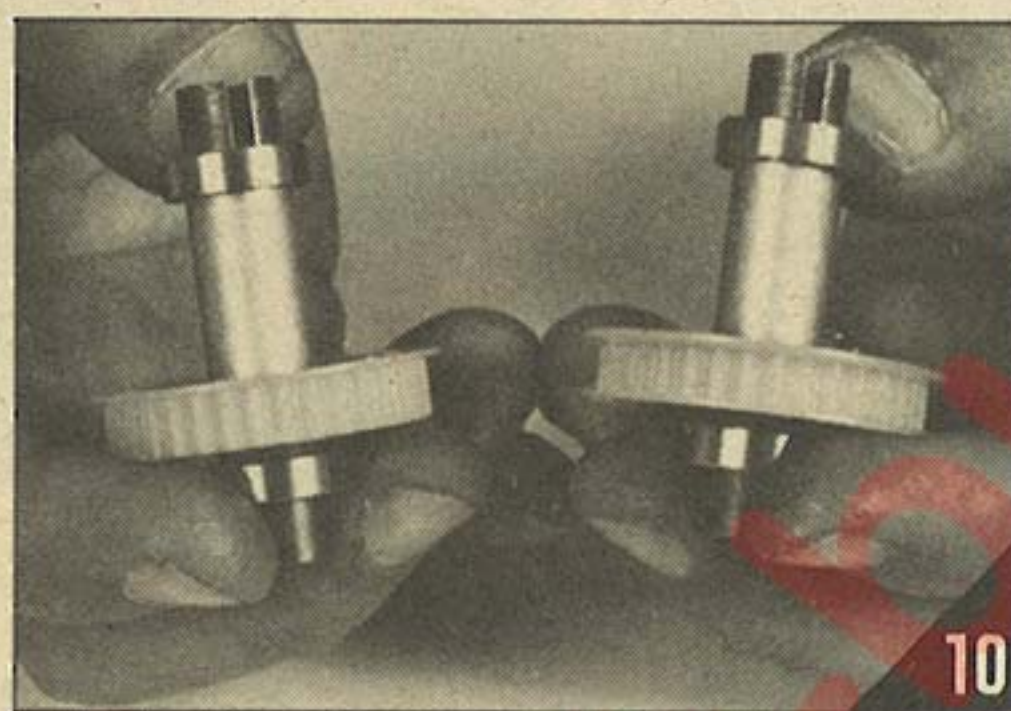
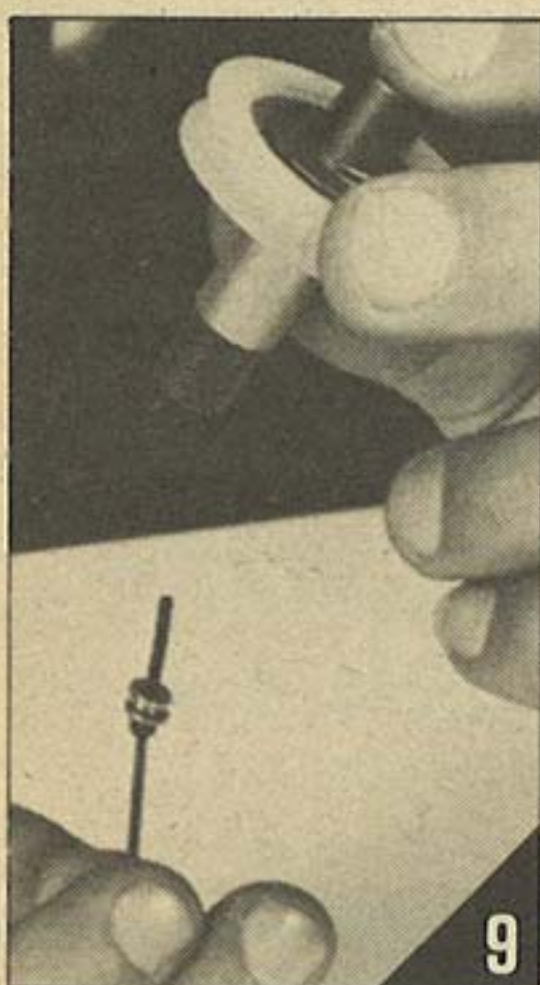


スーパードッグ ファイト の組立



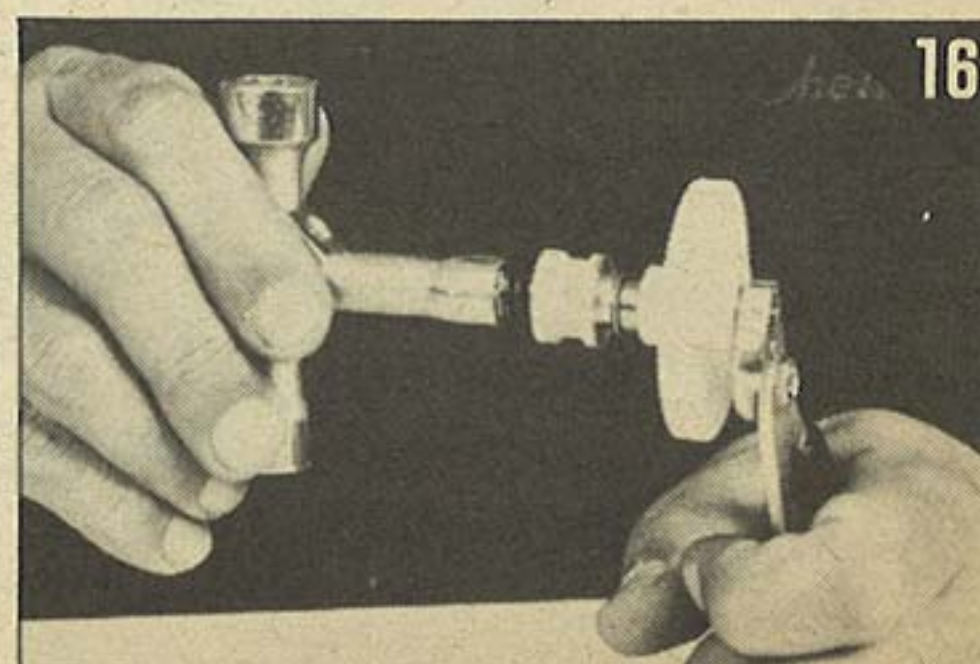
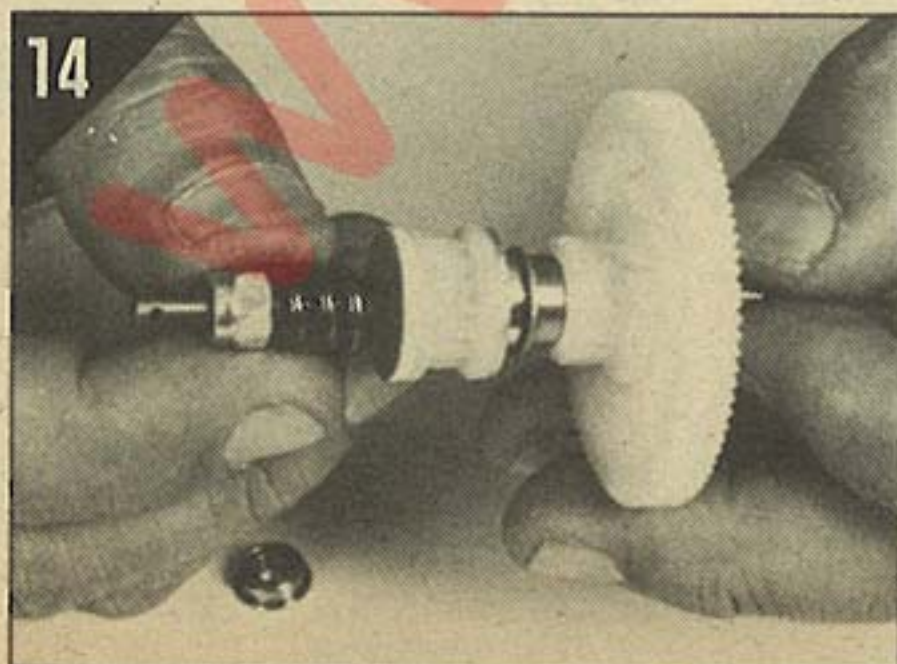
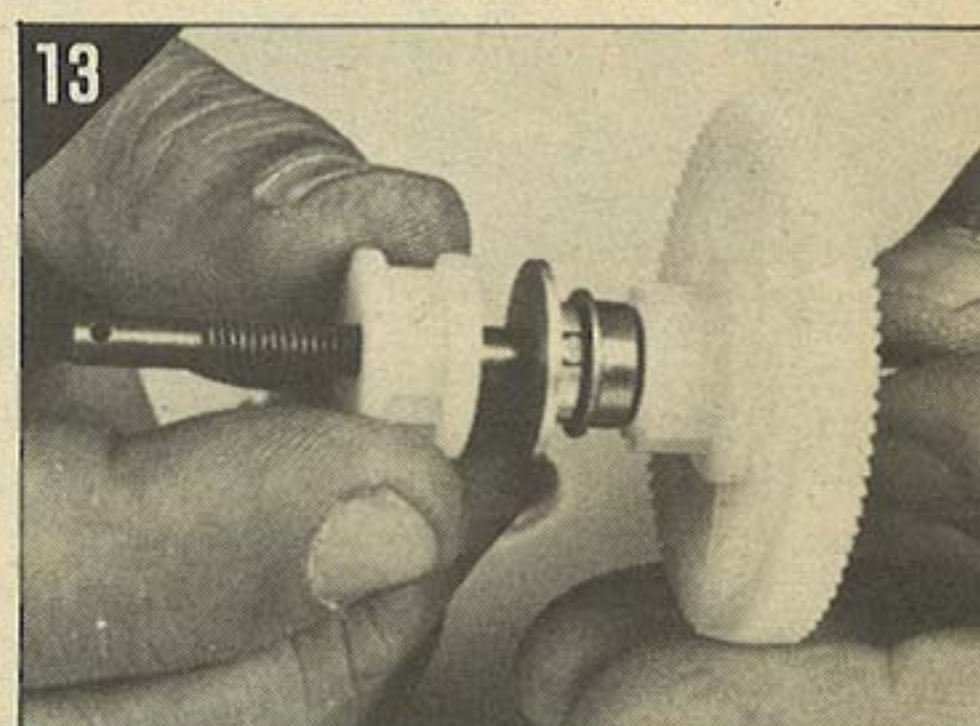
前後デフスプロケットの 組立

前後デフはボールタイプである。スプロケットにボールをセットするときは、1カ所ずつボールを入れ、ボールペンのオシリなど、少し凹んだもので押し込むと良い。

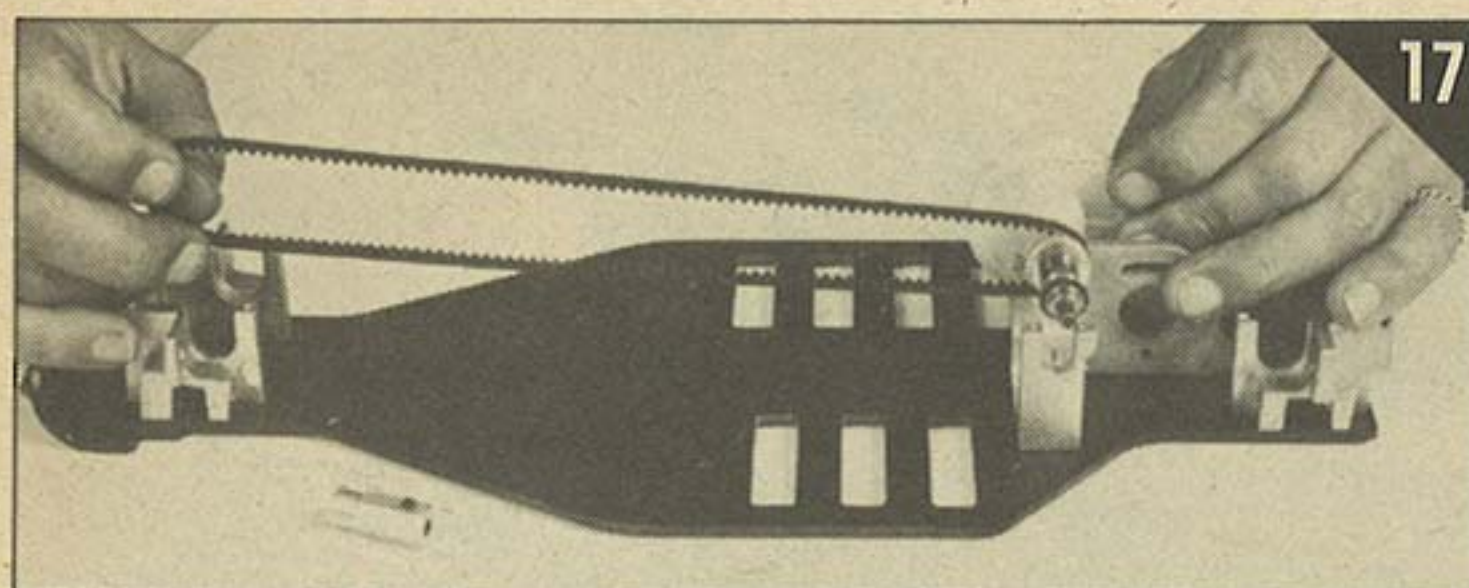


1次ギヤの組立

センターギヤには、ダイレクトハブかワンウェイのどちらかを選んでセットする。トルクリミッター部のナイロンナットは、取りあえずいっぱいにしめておくこと。

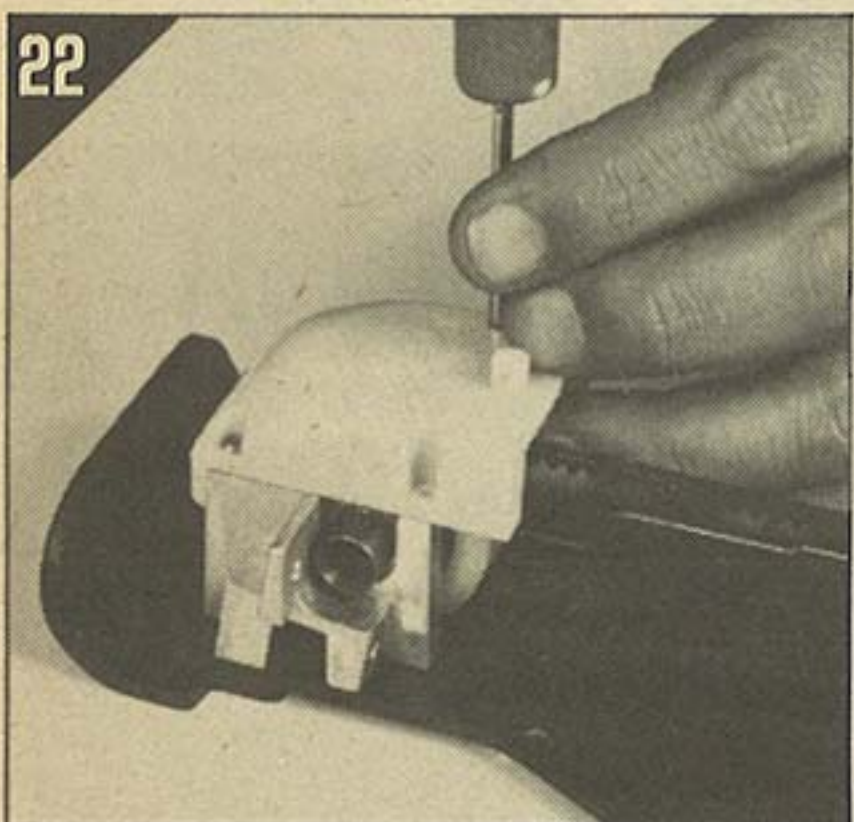
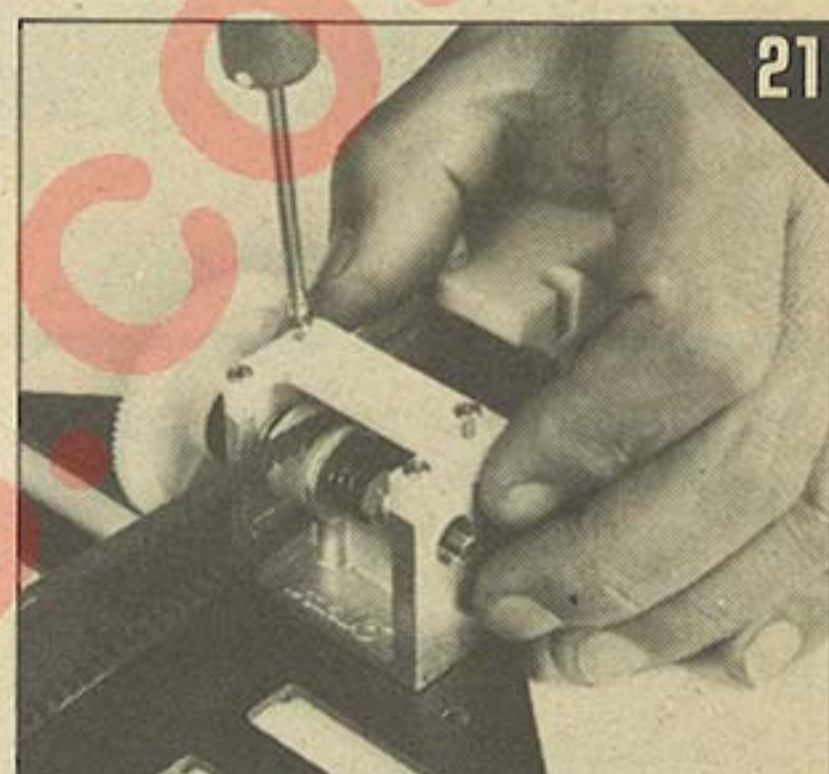
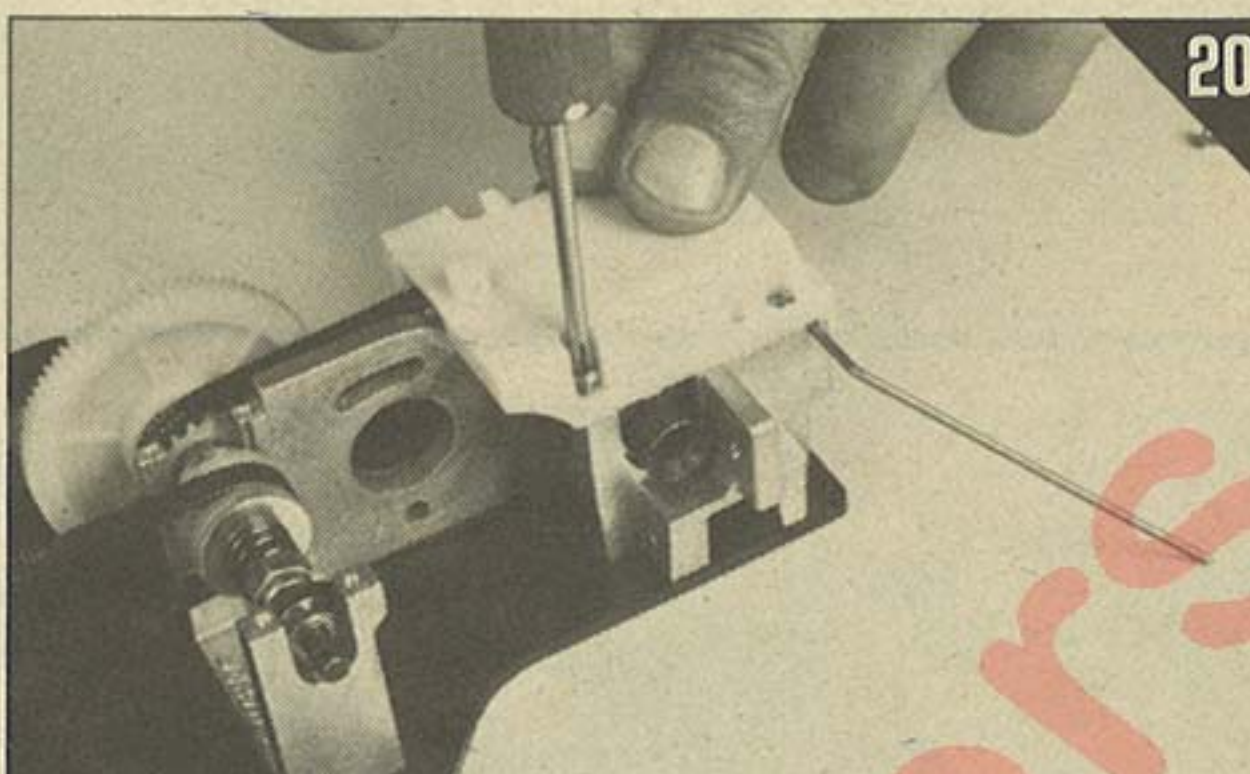
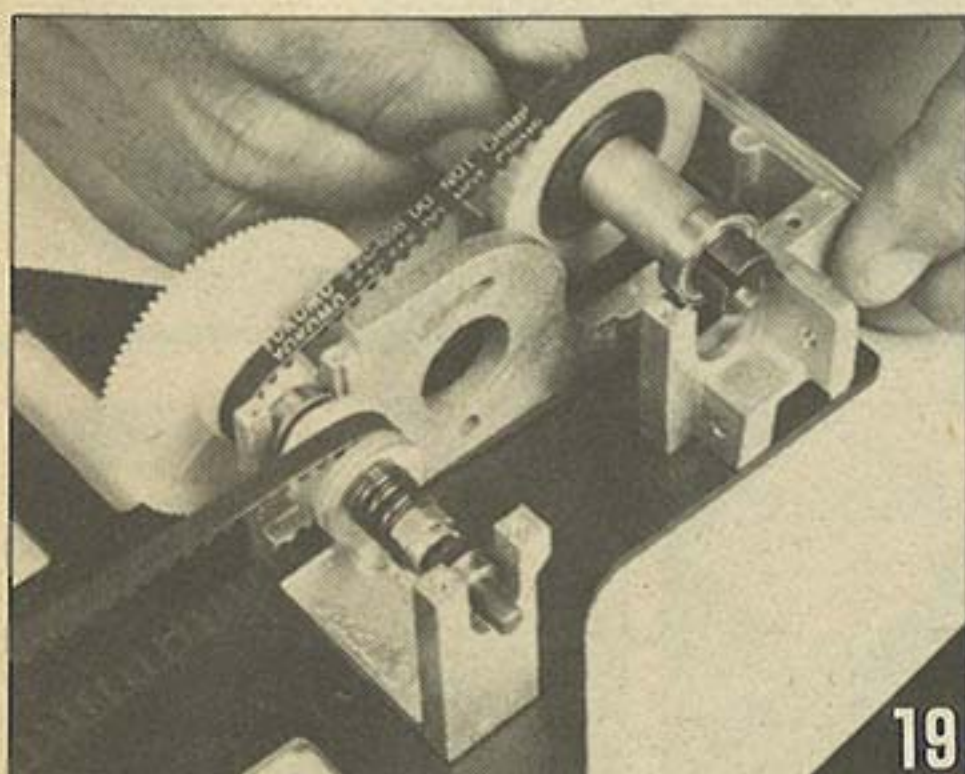


ステップ1のつづき



ベルトの すえつけ

セッティングしたセンターギヤや前後デフにベルトをセットして、ケースにはめ込む。ベルトをキズ付けないように。



待ちに待ったヨコモのスーパードッグファイターが、ようやく発売された。まったくの新製品とあって、メーカーとしても大変な苦勞があったようだ。単なる試作とちがって、市販となると、いろいろな問題もおきてくる。それほど量産するというのは、むずかしいことなのだ。

特にスーパードッグファイターのように、デビューしたら「即レース」が宿命づけられている車となれば、より以上に完璧なものとして市販せねばならない。最終的な量産タイプが決まるまでに相当なやんだあとがある。それだけに、今市販された量産車

を見ると、素晴らしい車に仕上がっている。スーパードッグファイターは、その開発コンセプトのひとつとして、徹底的なシンプルさがあげられる。デザイン的には過去からの続きで、フラットパンシャーシに各部品がつく、もっともオーソドックスなスタイルである。

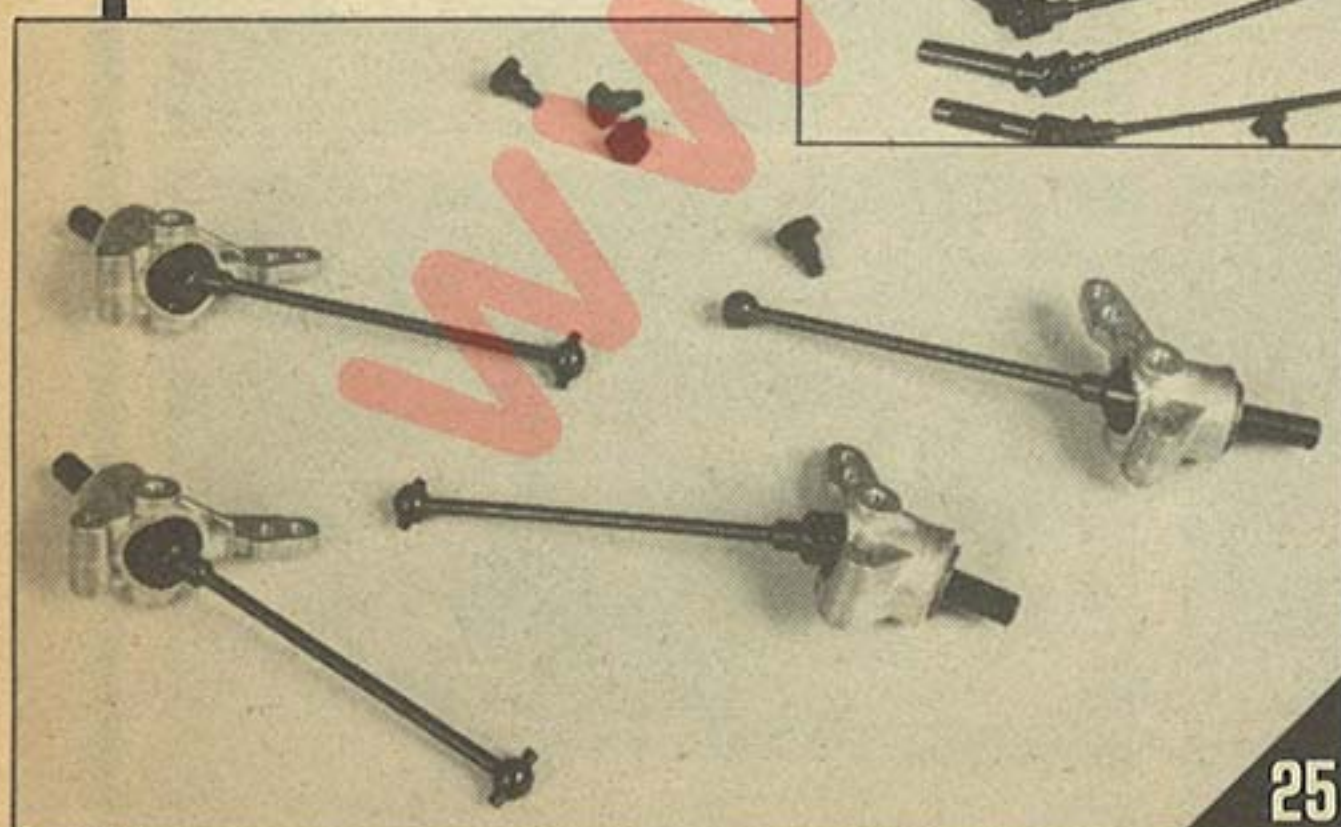
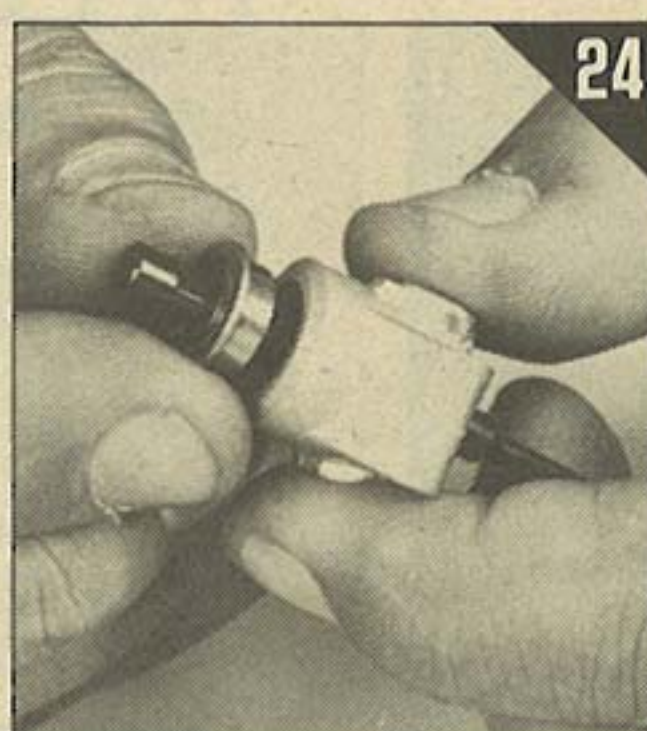
特に私のような古いマニヤになると、デザイン的には、目新しいものは感じない。しかし、ことレースをするという点に関し、例えば、デザインが古いとか新しいとかはまったく関係がないのである。

今現在のRCオフロードカーは大変レベ

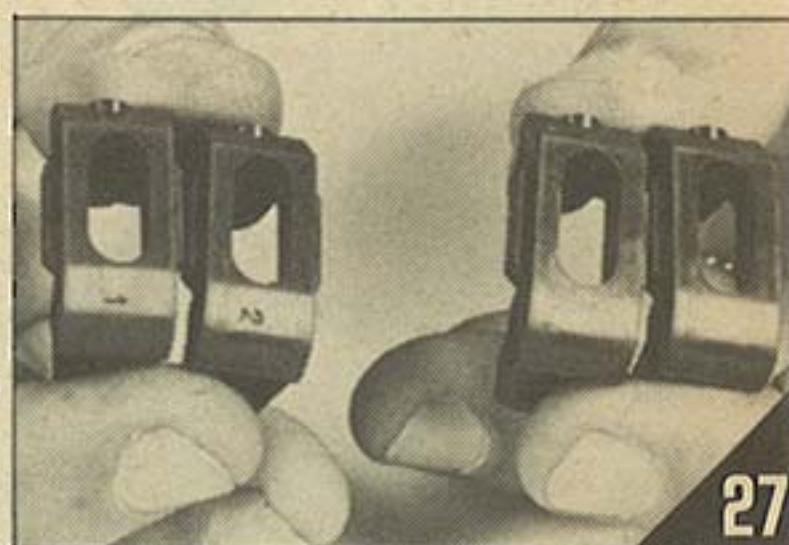
ステップ2 足まわり

ナックルは前後共通部品である。ユニバーサルシャフトをセットし、ホイールハブで固定する。

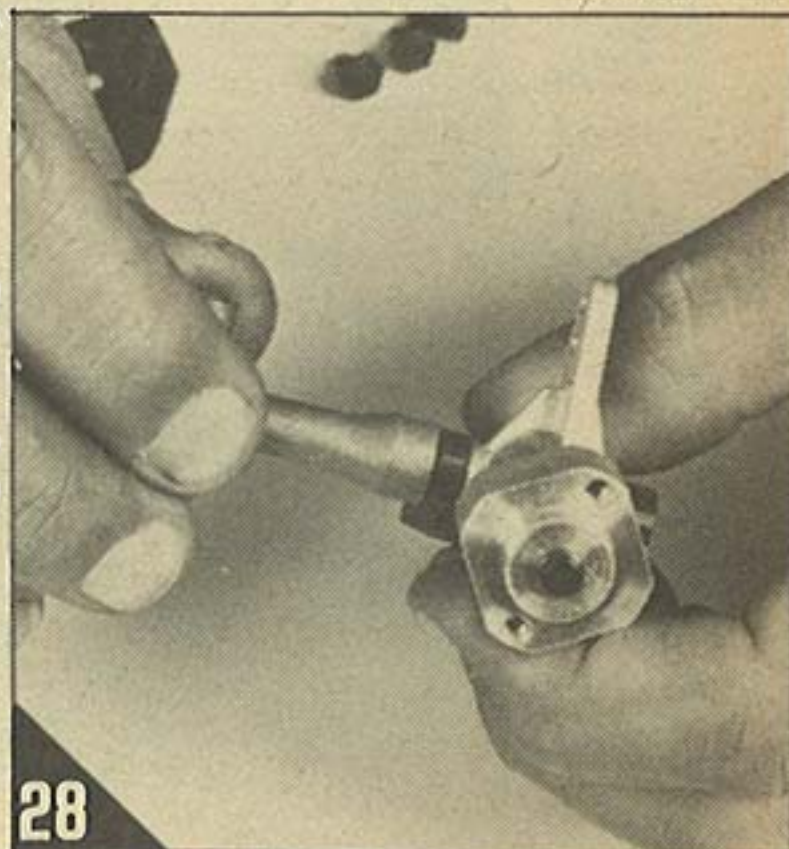
前後ナックルの組立



ナックルホルダーの取付



↑ナックルホルダーがキットには2種類入っており、左側の番号付きのものを使用する。



↑ナックルとナックルホルダーをキングピンで固定する。

ルが上がっている上に、レース自体もキビシイものがある。無難に1日レースをこなすだけでも大変だ。特に全日本とか、大きなレースとなると、レースそれ自体を安全にこなすことが重要な要素となるのだ。

過去の経験によれば、まったくのトラブルフリーでレースをすごせるのは、80%以上と比較的高い確率であるが、残りの20%のトラブルが問題なのだ。RCレースにおけるレースと整備時間には密接な関係があ

る。レースとレースの間に大きなトラブルが生じると大さわざである。

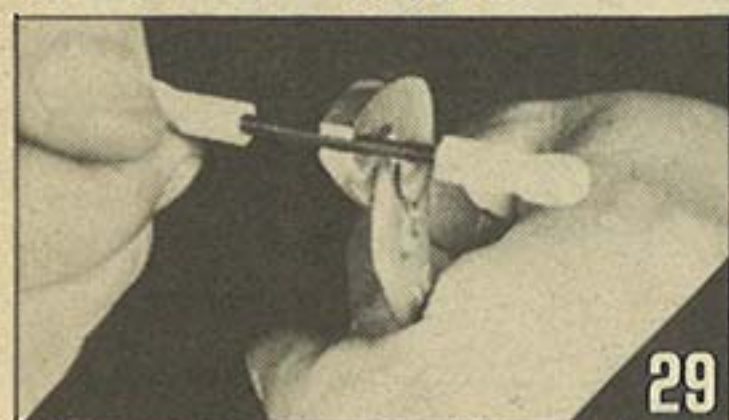
レースとレースの間には、それだけでなくバッテリーの充電と、モーターのコンディション維持という大切な作業がある。これに加えて、トラブル処理となると、どれだけ大変かは読者にも判るであろう。

こういった場合に、スーパードッグファイトのシンプルさは大きな戦力となるのである。足まわりなどは大差はなく、他メ

ーカーと同様な方式であるが、動力系に関してはずいぶんと異なっている。6月号でタミヤ・アバンテのメンテナンス性の良さをほめたが、スーパードッグファイトの動力系はそれ以上である。動力系のすべてのパーツが、簡単に交換できるのだ。

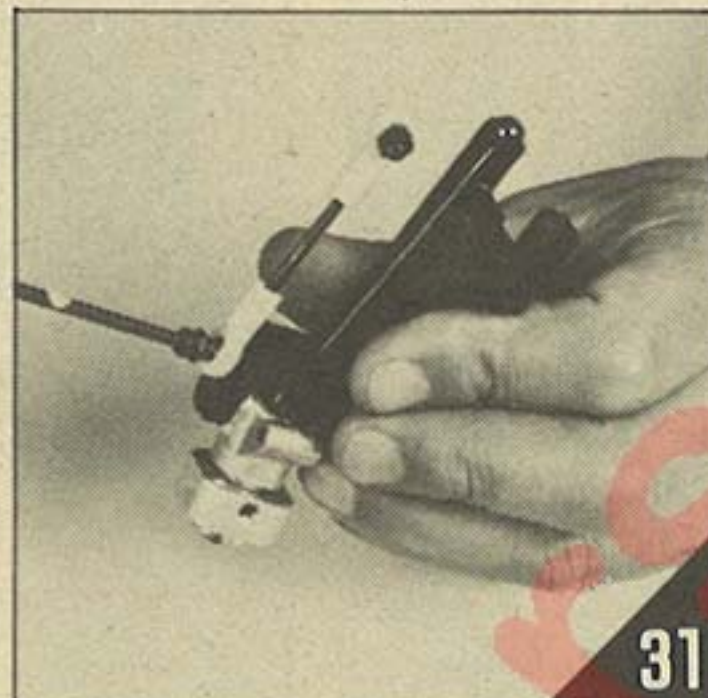
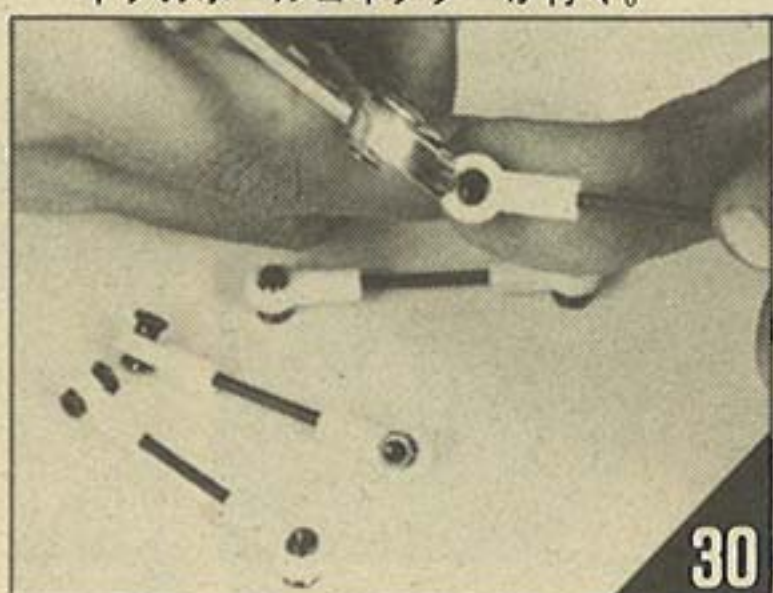
特に前後のデファレンシャルのホルダーが上下分割となり、ダイキャスト製の下側とプラスチック部品のフタによる簡単な形式である。このような分割方法だと、ボー

ピボットの組立・取付

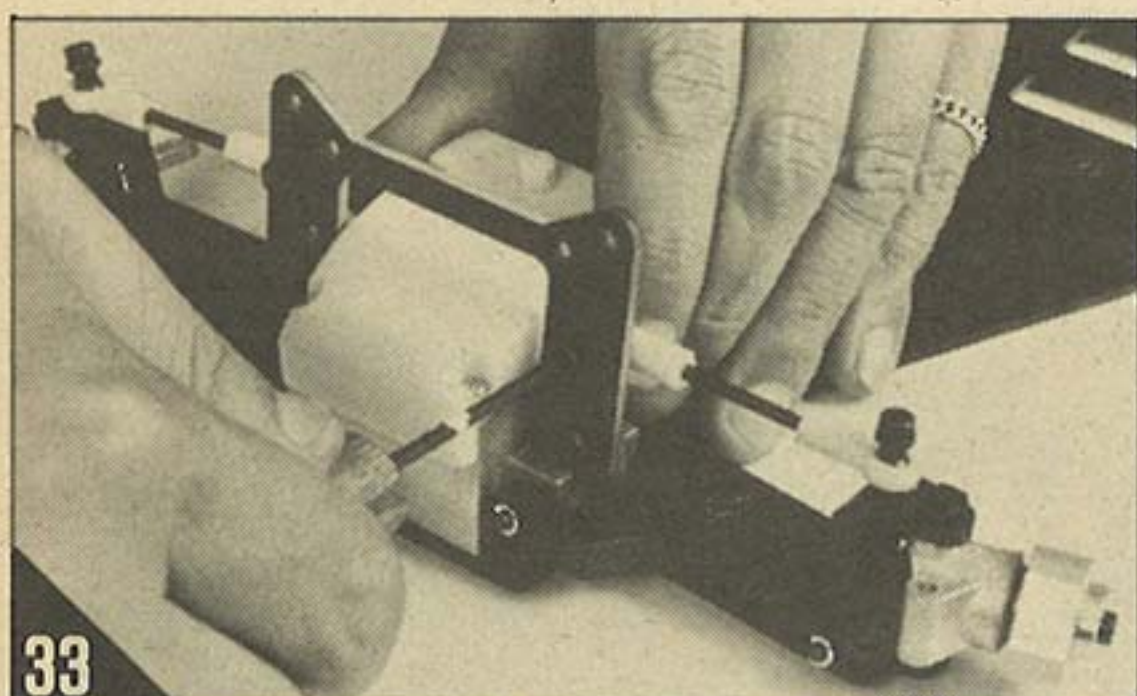


↑サスのIアームには、逆ネジのターンバックルがほしいところだ。

↓ボールエンドには、すべてブリットタイプのボールコネクターが付く。

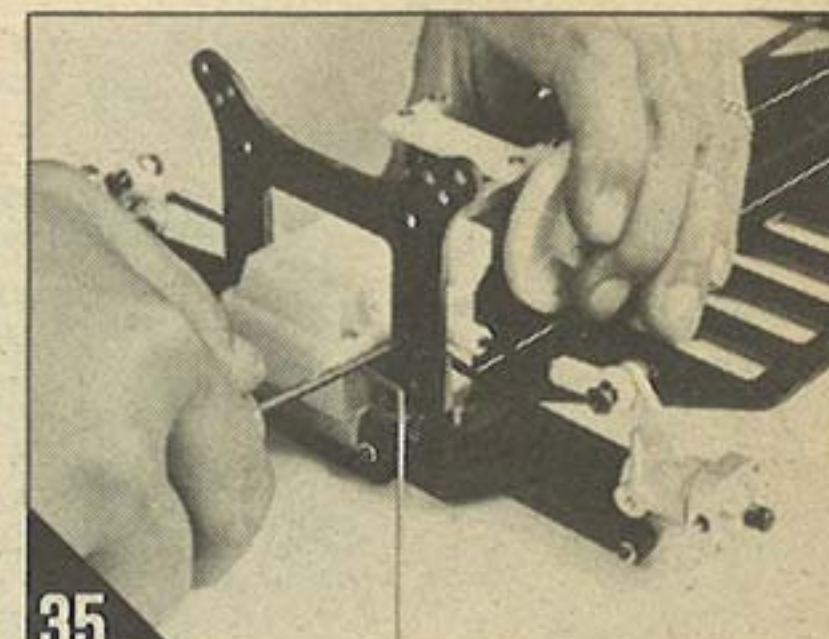
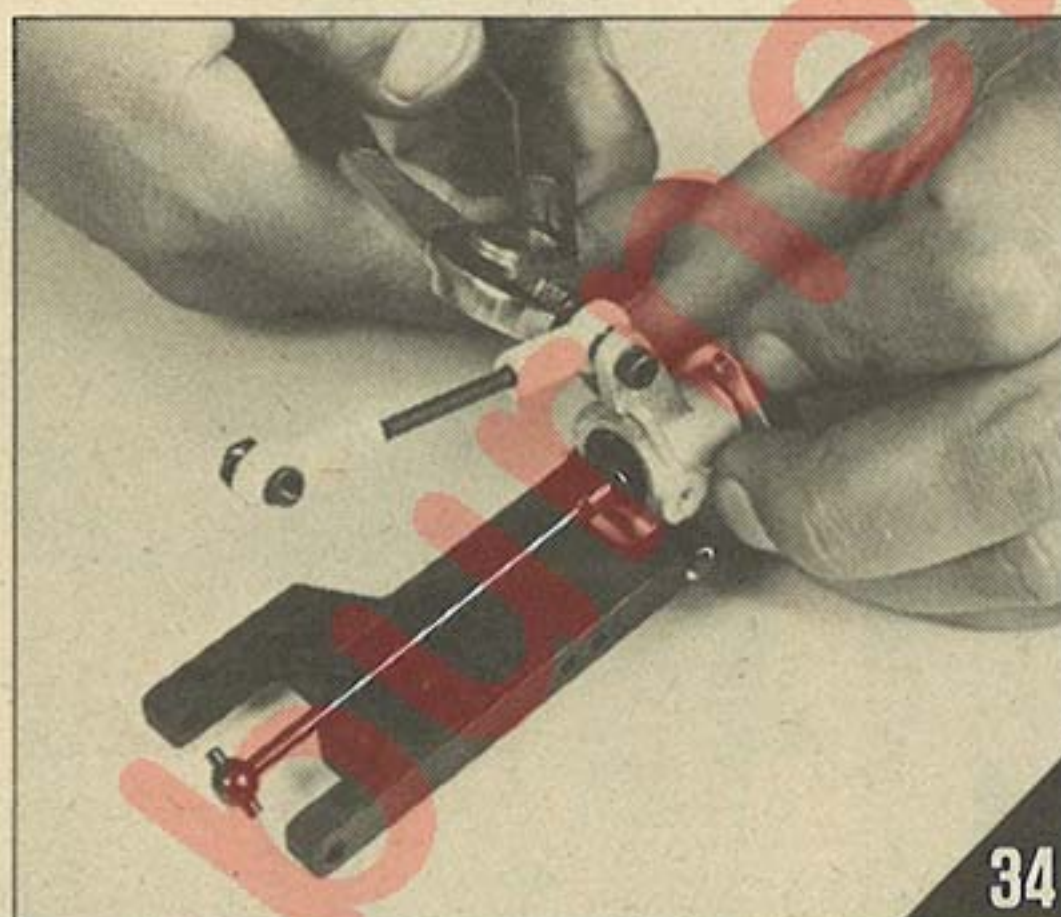


←ナックルホルダーにIアームピボットをビス止めする。



↑ベストポジションとして決められた穴位置であるが、セッティングしだいで別穴も。

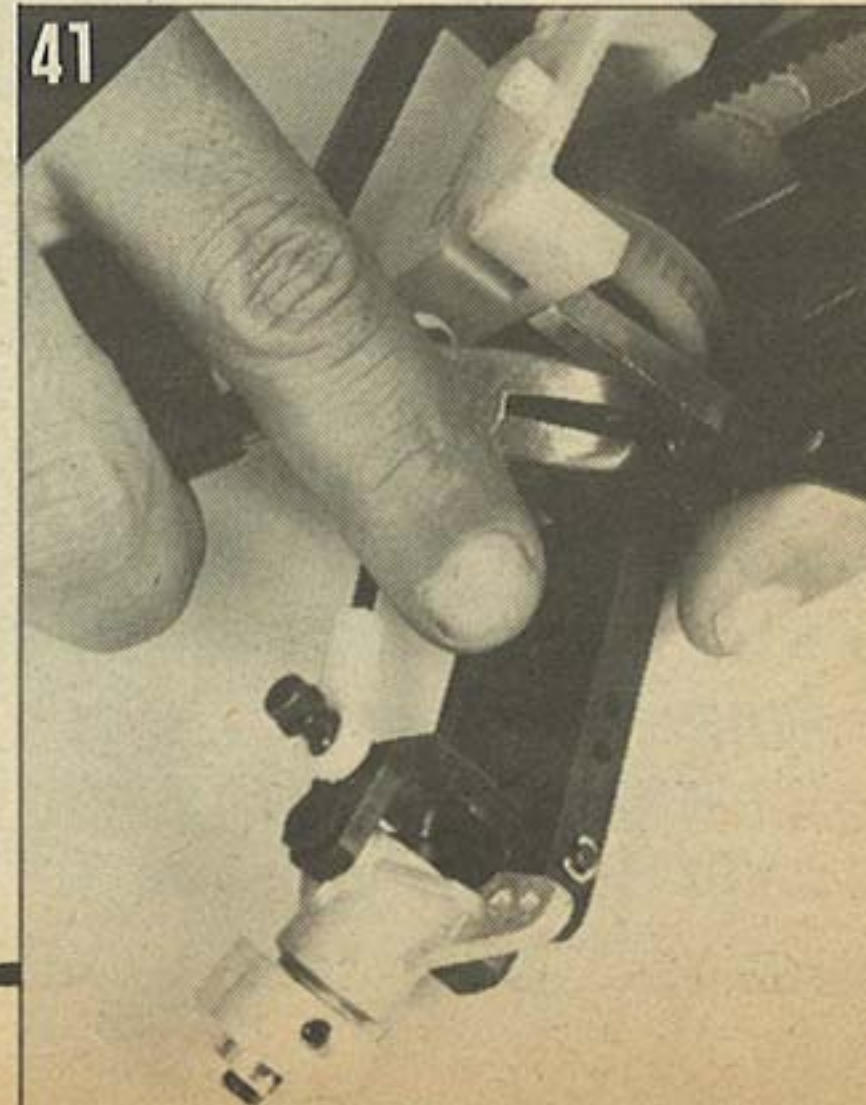
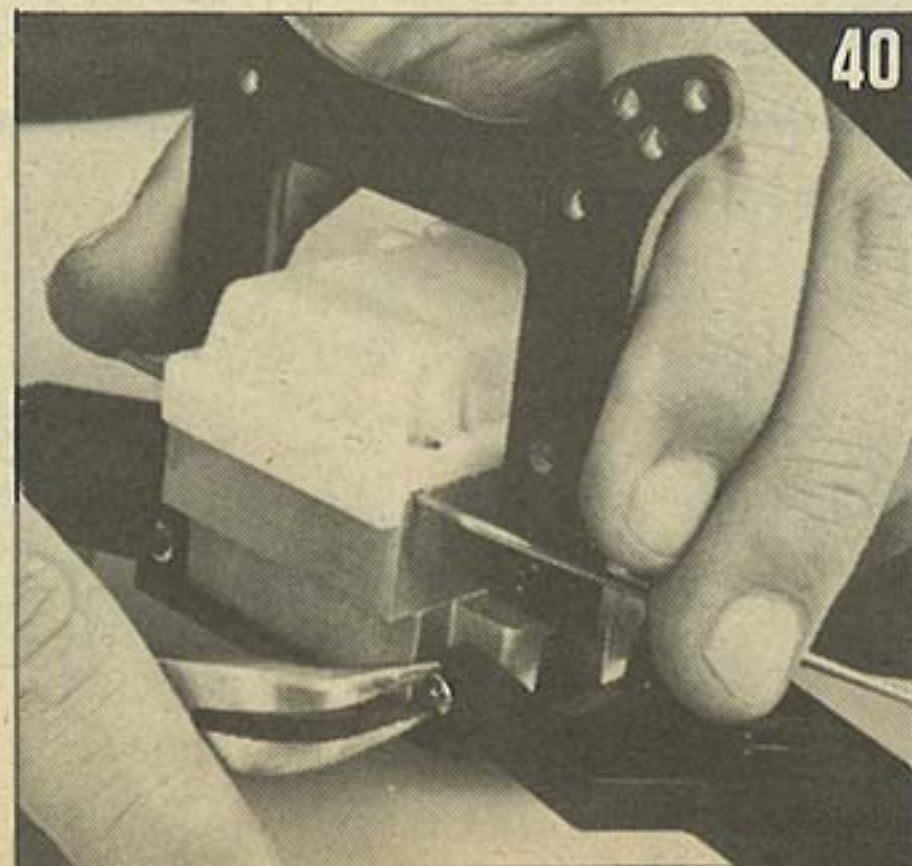
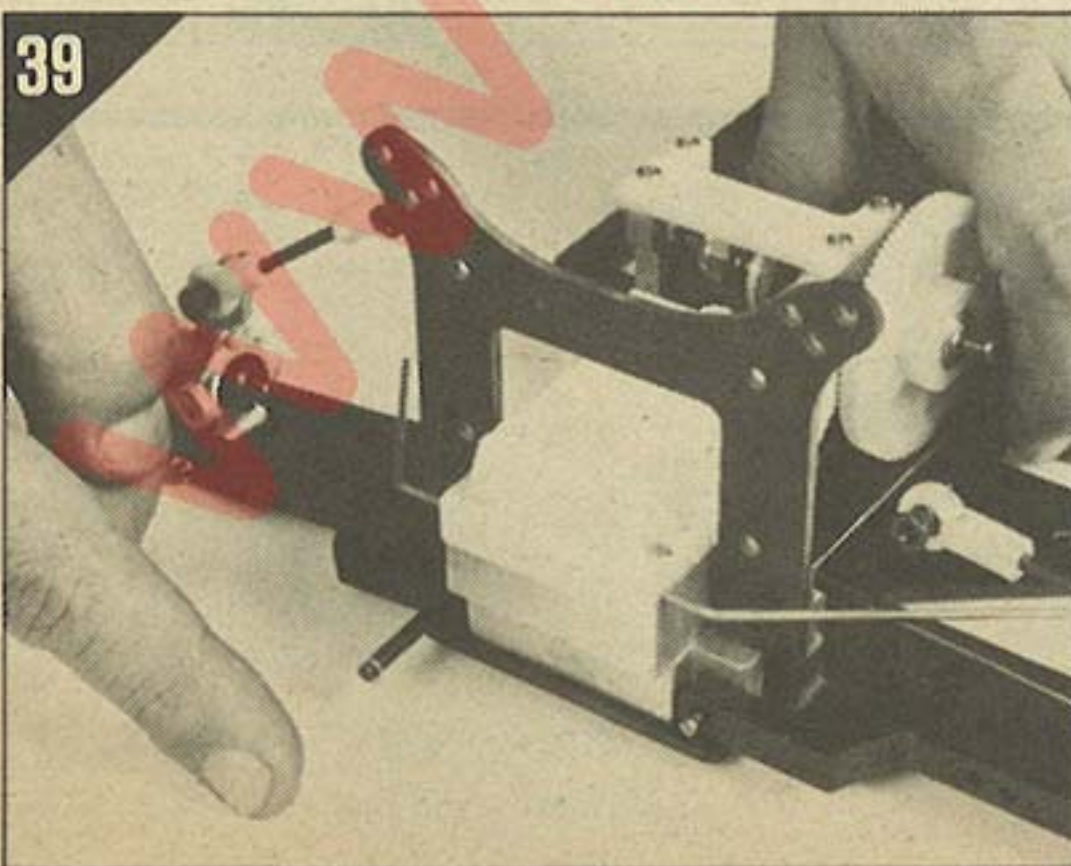
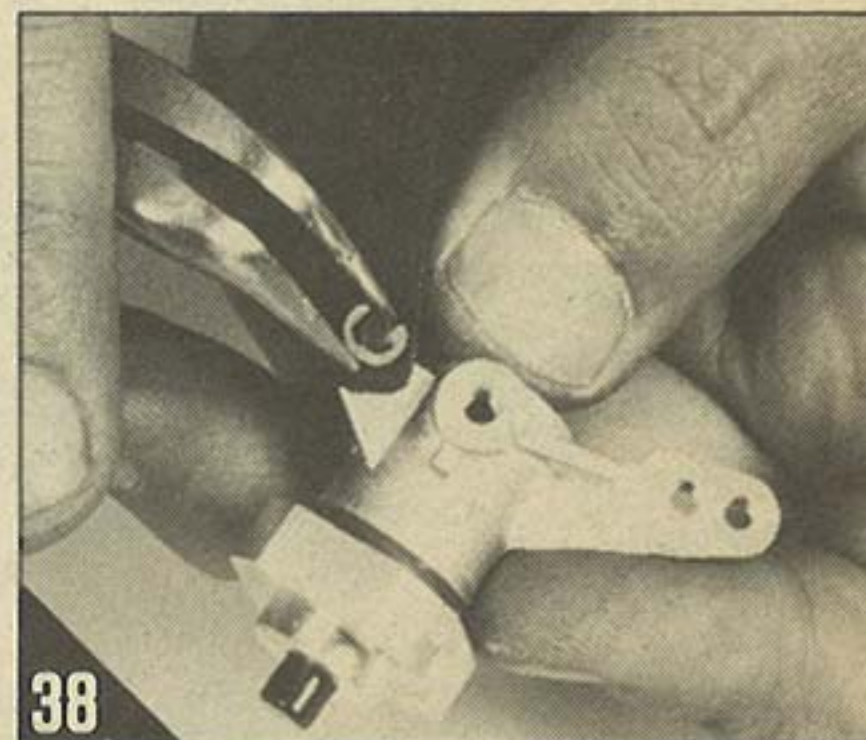
→この部分は両側ネジ切りのため、少々やりづらいところだ。



↑リヤのIアームも同様に、ダンパーマストに固定する。

サスシャフトの組立

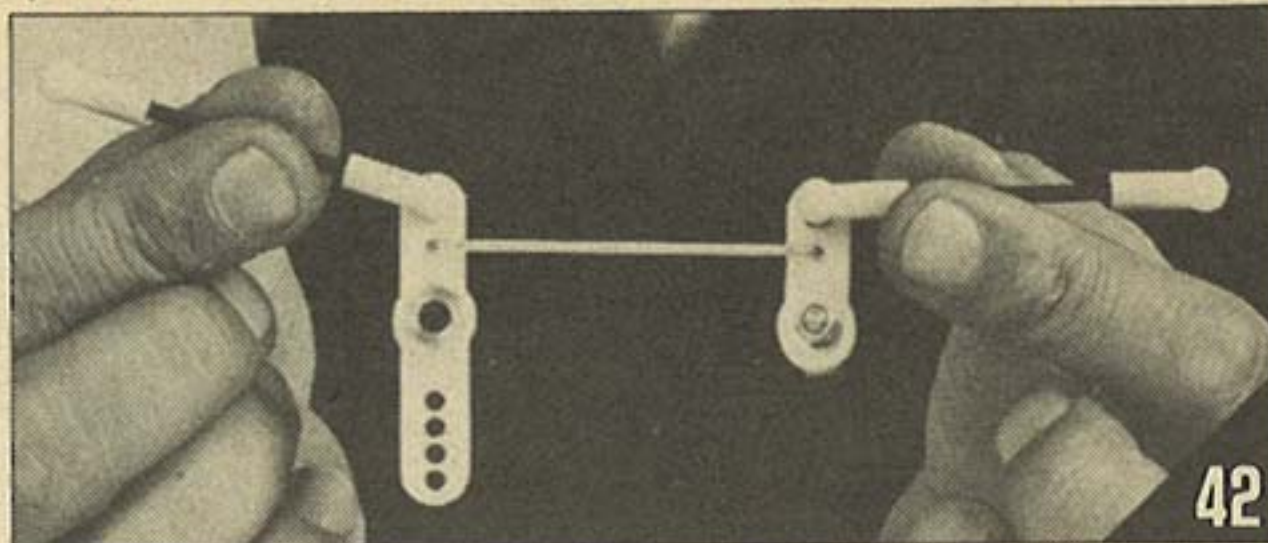
サスシャフトは事前にすべて片側のみEリングをはめておくと、後が楽だ。小さいEリングをなくさないように。



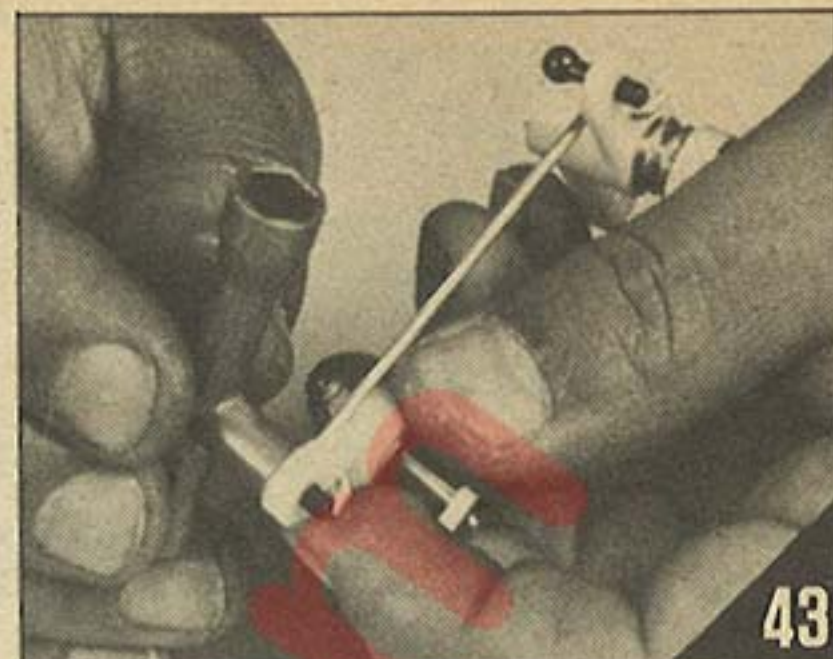
ステップ3 セットアップ

フロントは3分割のタイロッド方式である。

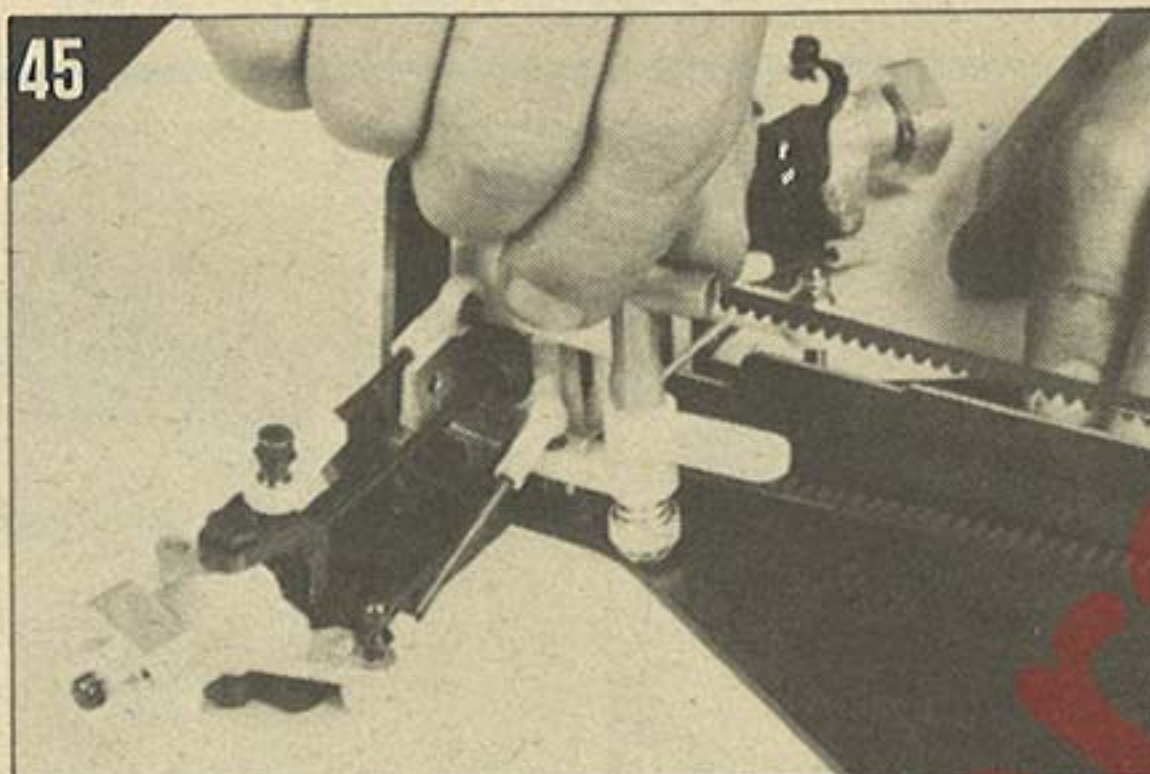
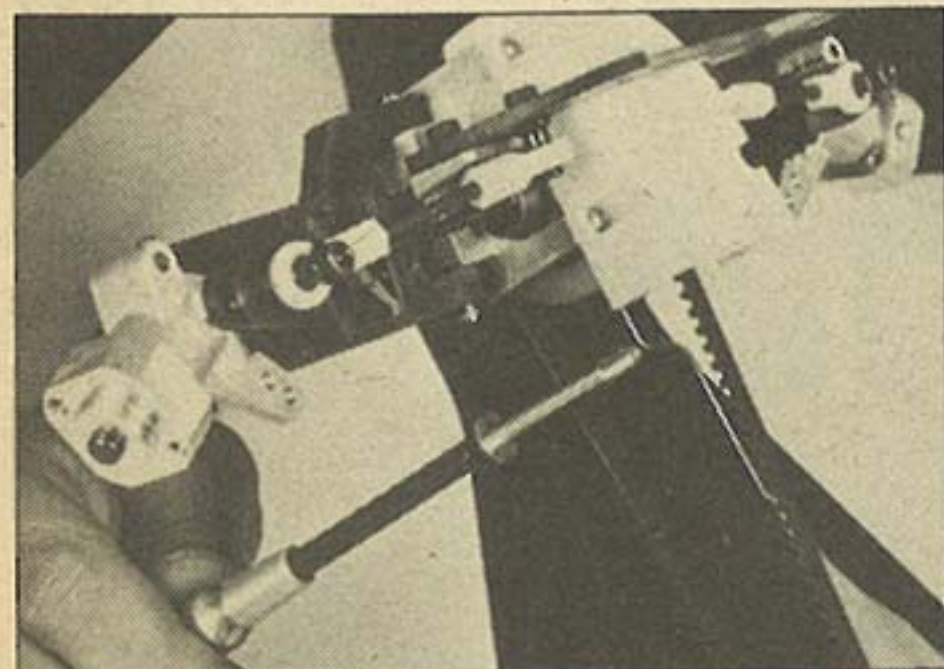
ステアリングリンケージ



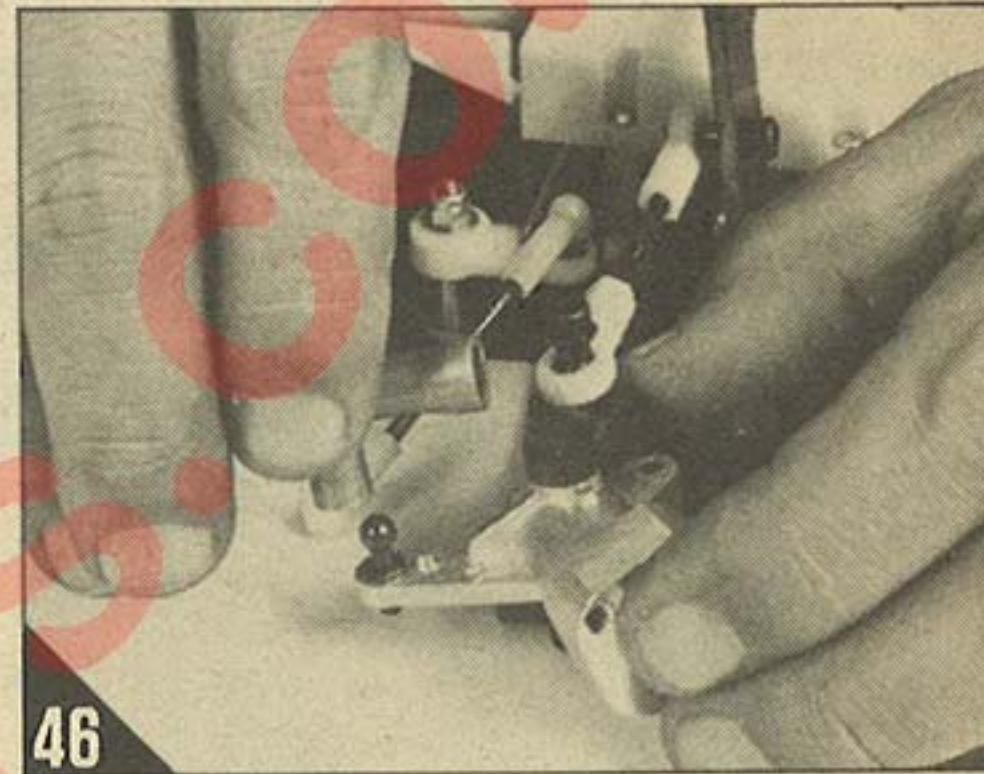
42



43

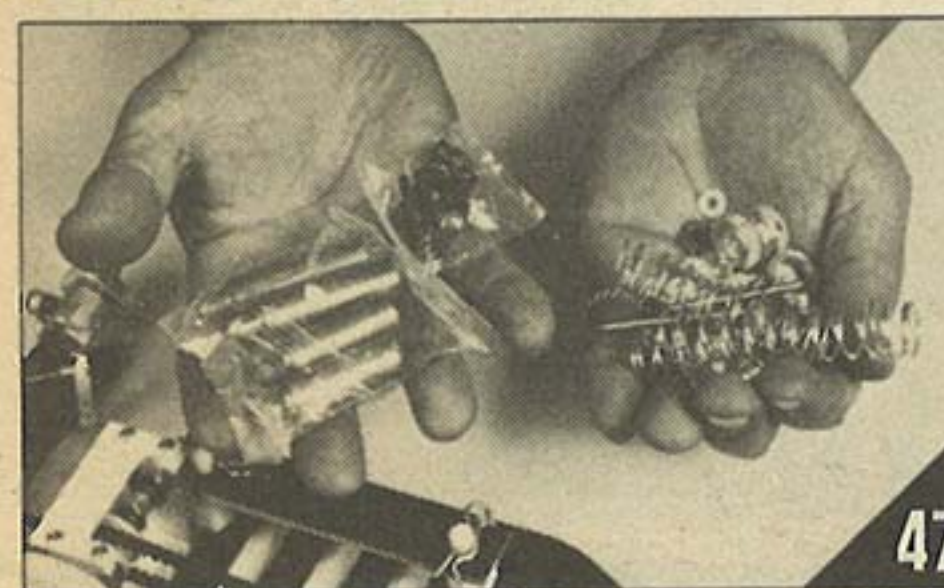


45



46

前後オイルダンパー



47

←比較的パーツ点数の多いオイルダンパー。



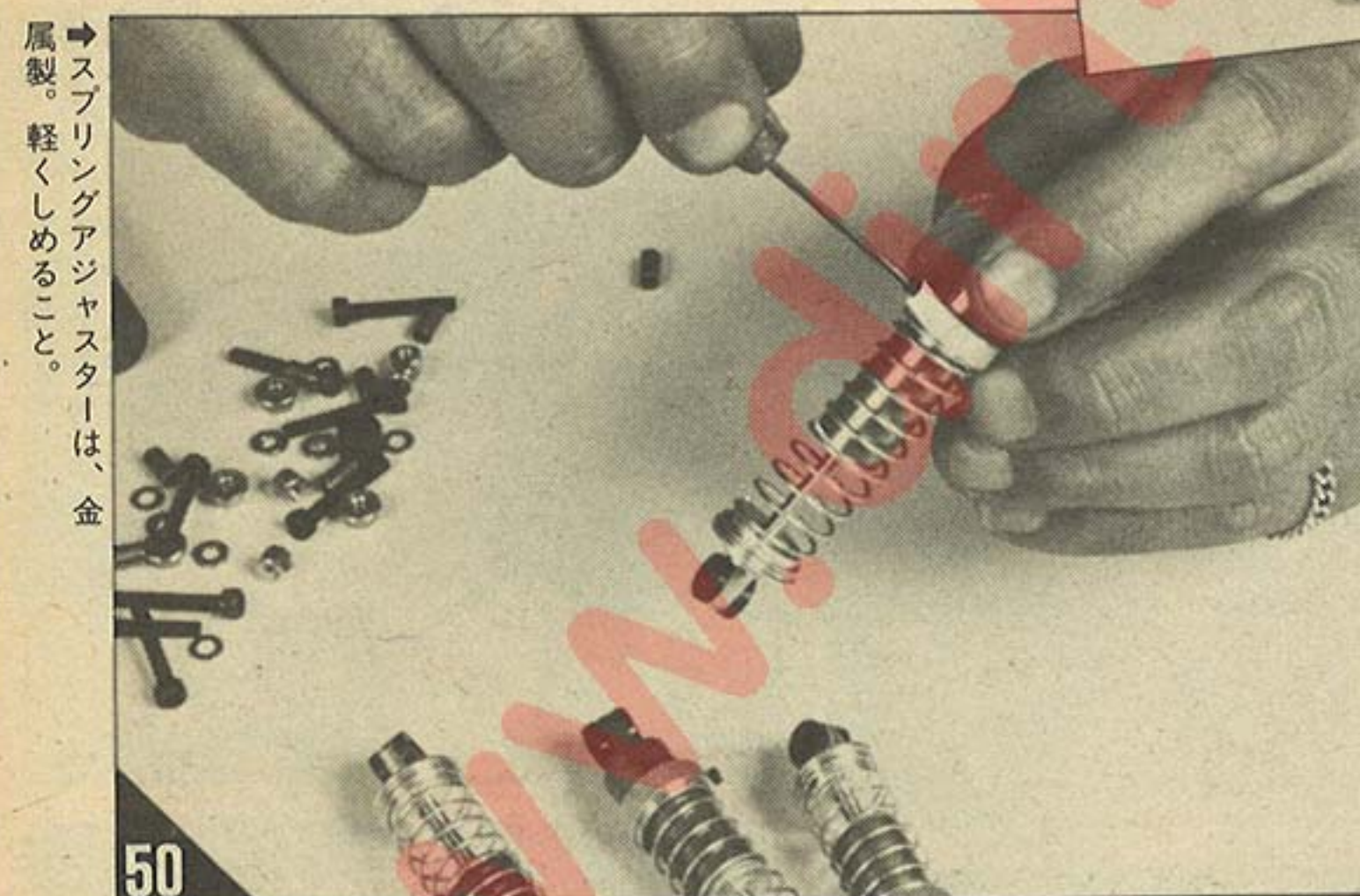
←シャフトエンドは、シャフトに横ビスで固定する。

48



49

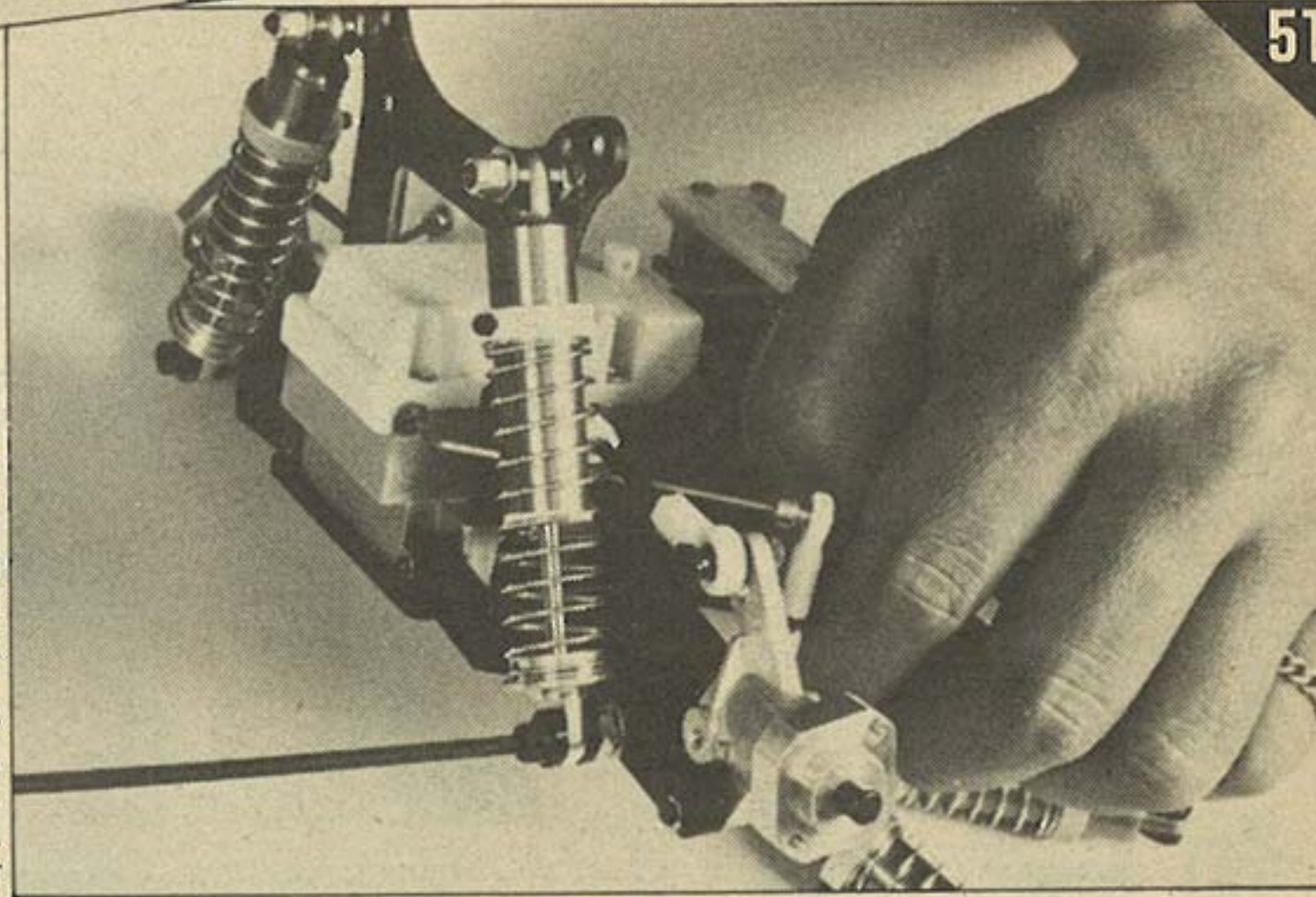
←オイル入れは、あまり好きくない作業のひとつである。



50

→スプリングアジャスターは、金属製。軽くしめること。

→ダンパー両端はゴムブッシュ付である。



51

ルベアリングのホールドがむずかしいが、U字型のみぞに落とし込むカタチで、これは奇しくもタミヤ“アバンテ”と同一である。

センターのギヤホルダーも同様で、この3カ所は、フタさえ取れば簡単に交換可能だ。動力系で目立つのは、センターギヤに組み込み可能のワンウェイベアリングである。このワンウェイベアリングは、モーターからの駆動を前輪と後輪とに完全にふり

分ける目的を持つ。スーパードッグは標準で前後のタイヤ幅が異なるから、ワンウェイベアリングを使うことにより、よりいっそうクイックになる。またダイレクトハブもキットに入っており、好みでどちらでも選ぶことが可能である。こちらは常時4駆で、車はマイルドになる。

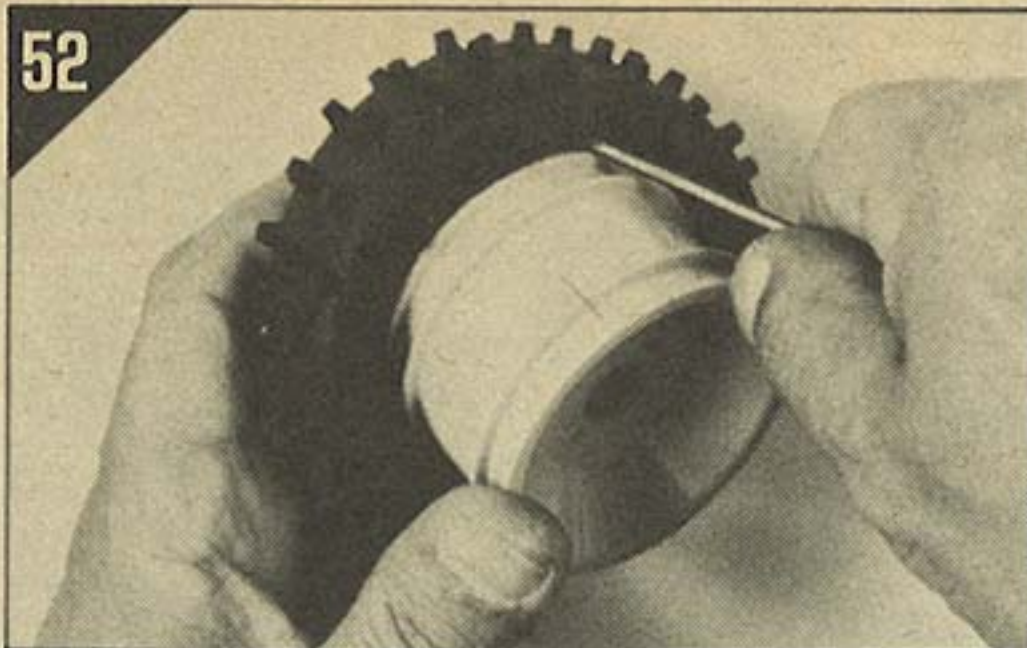
さらにフロント側の伝達は、トルクリミッターを使用しており、前後のトルク伝達を0～100%の範囲で調整可能である。一般

的に言って、このトルクリミッターをすべらせるとクイックになり、また加速が向上する。

デビューしたてのために、各部分のトラブル率や、ウィークポイントに関してはハッキリとしたデータはないが、いずれにしても重大なウィークポイントは少ないだろう。今後の熟成しだいでは、トップコンテナーの資格は充分にあると言えるだろう。

(石神純一)

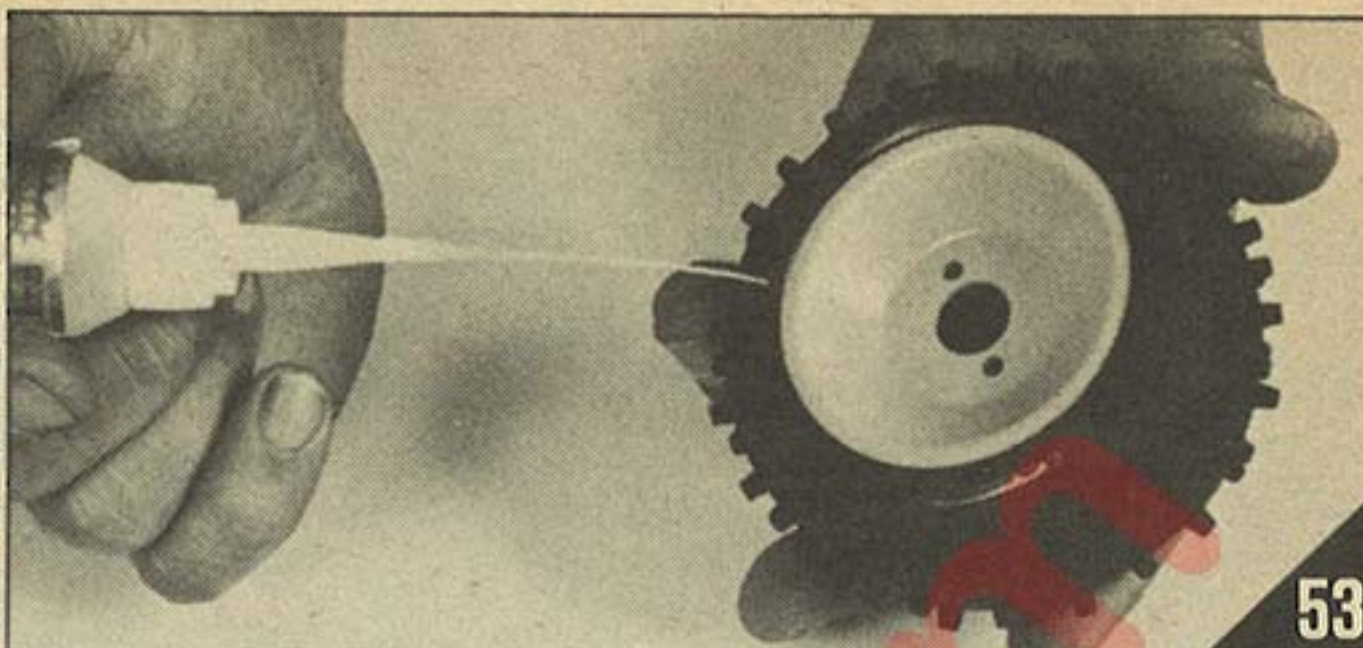
タイヤ& ホイール



52

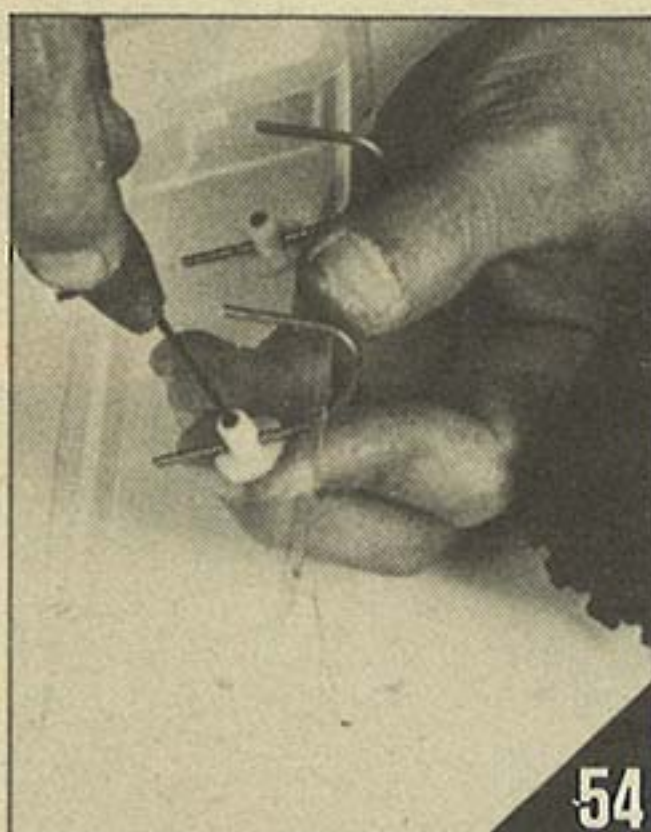
←ワンピースホイールにタイヤをはめるときはドライバーで...

→必ず瞬間接着剤を流して固定する。



53

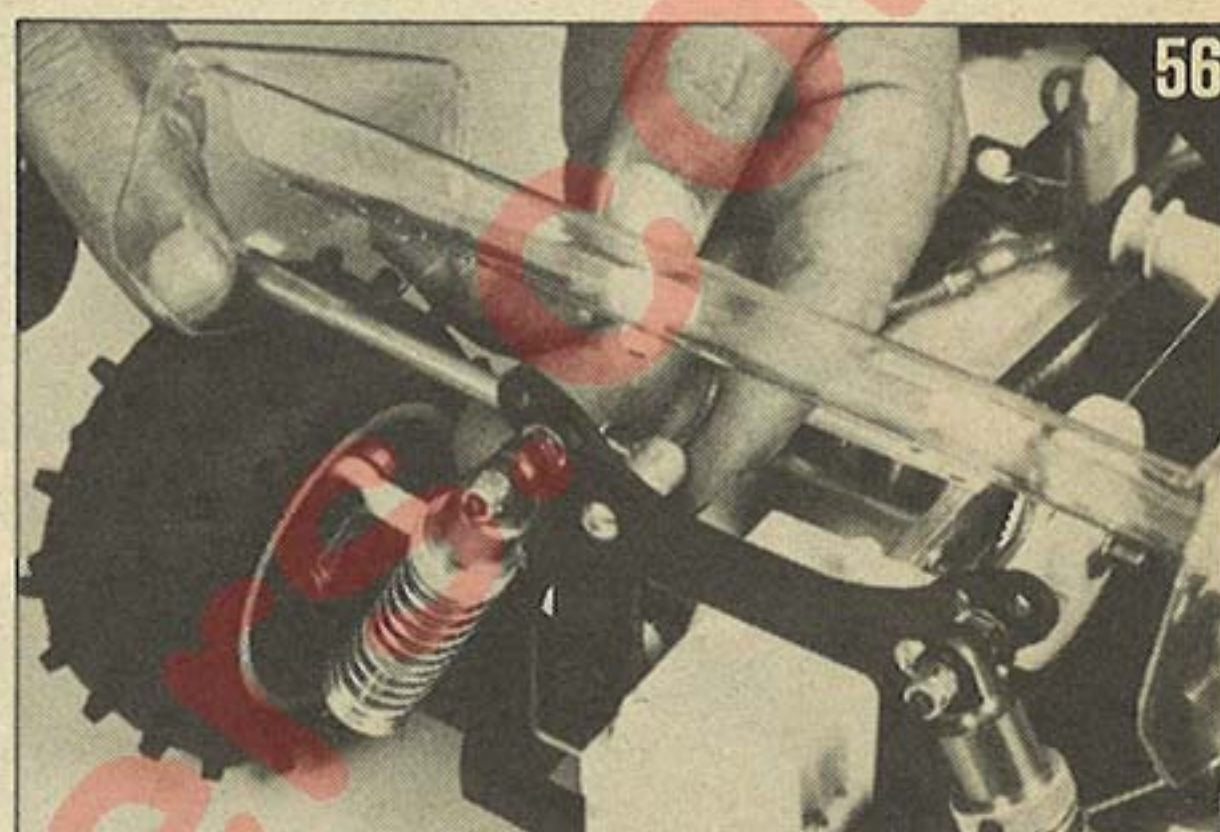
リヤウイング ホルダー



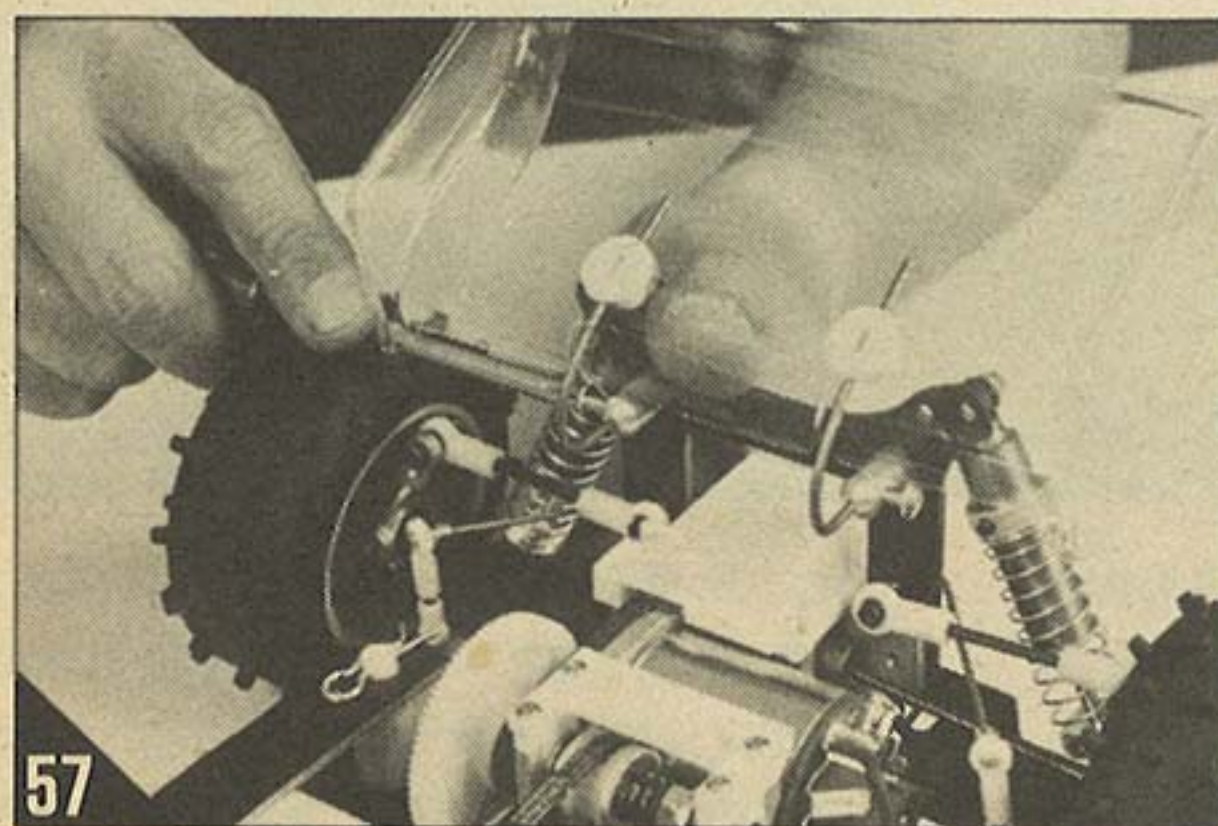
54



55



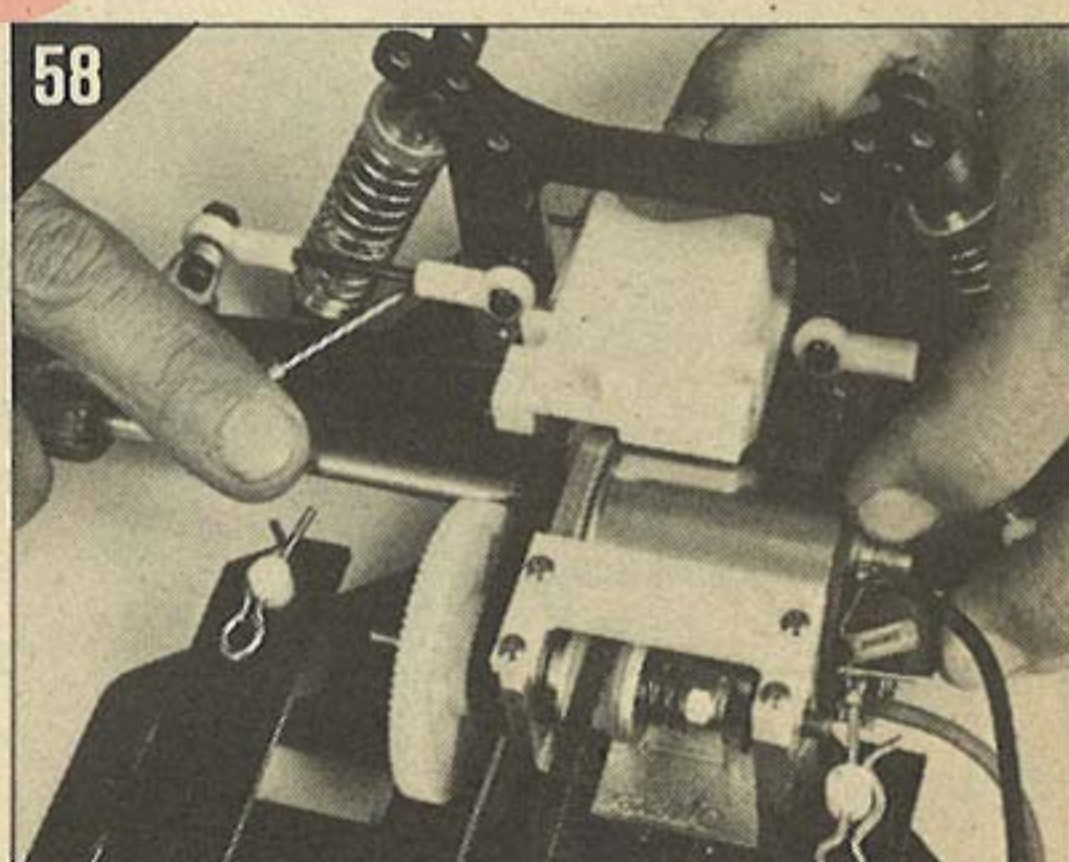
56



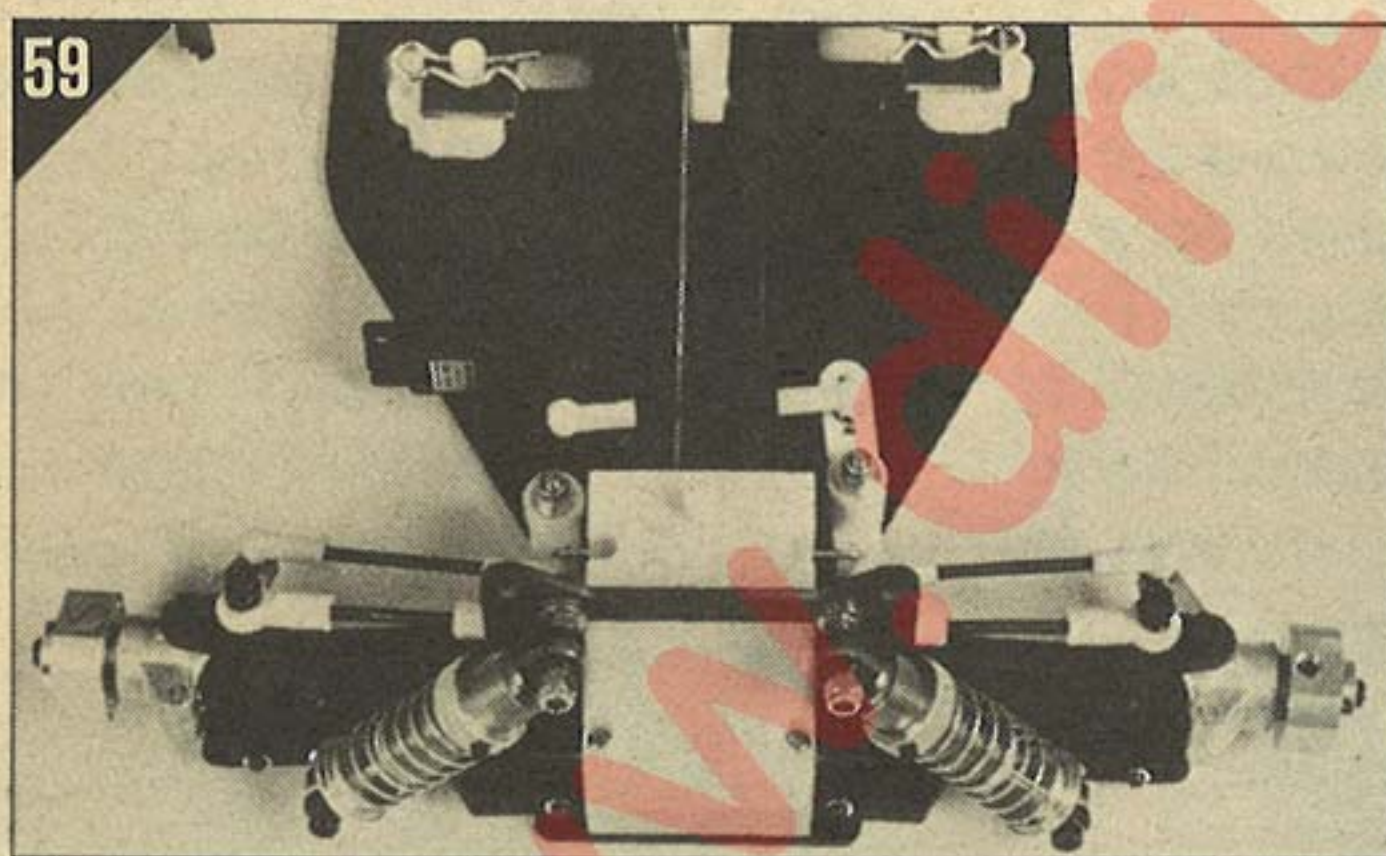
57

ウイングの固定法は、なかなかのスクレモノアイデアであるが、ワイヤーは一体式が望ましい。

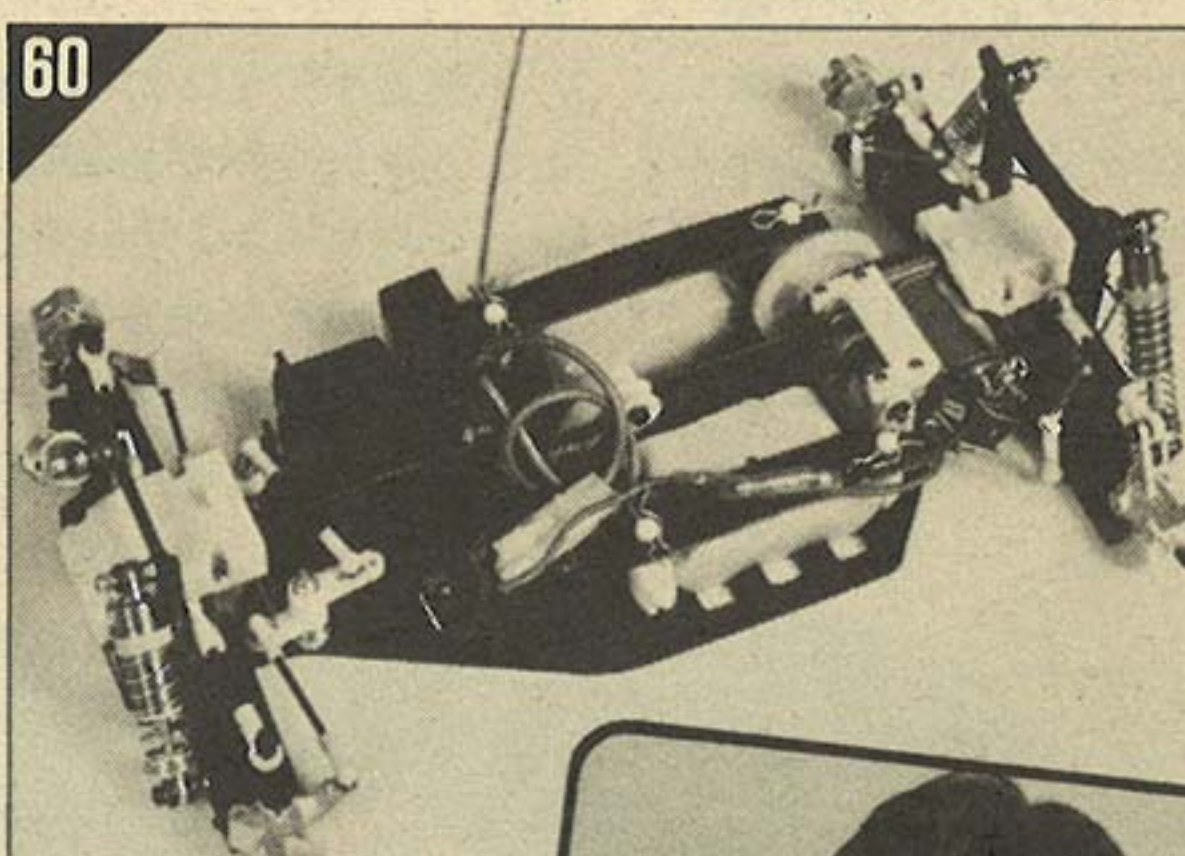
モーター& メカ積み



58

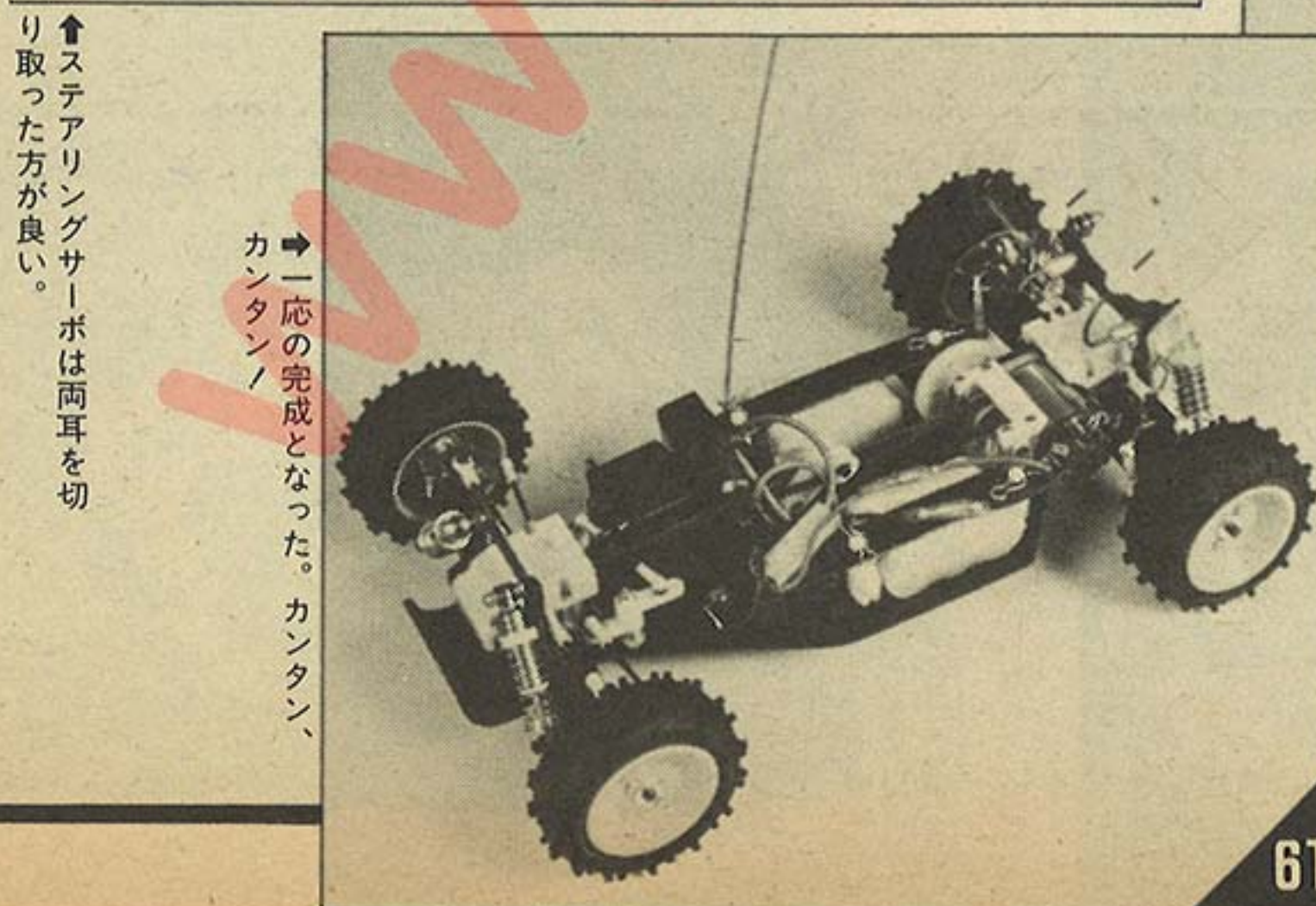


59



60

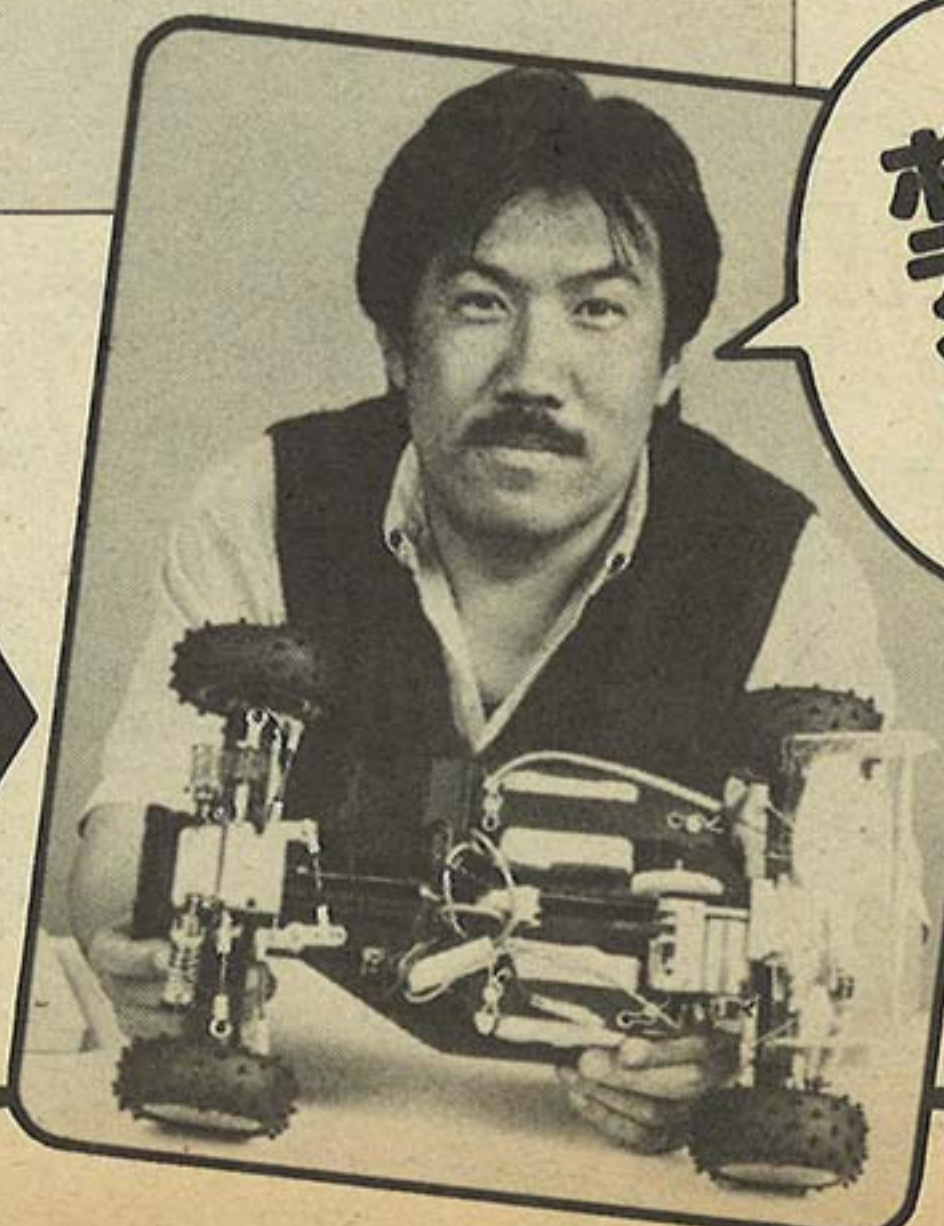
↑モーターは必ずコンディションをととのえてから使用する。
↑メカ積みはやや工夫がいる。ワイヤー止めがアイデアである。



61

↑ステアリングサーボは両耳を切り取った方がよい。

→一応の完成となった。カンタン、カンタンノ



あとは
ボディじゃ

'88今年の広坂正美と 新戦力YZ870C スーパードッグ

マシン
レポート
ロYマ



■EPオフロード世界チャンプの広坂正美選手の今シーズン用マシン、ヨコモ・YZ870Cスーパードッグ。この最強コンビの“最強ぶり”を、本誌マリエルがレポートしてみよう。

チーム・ヨコモのメンバーとなった正美選手、レーシングはアソシ、そしてオフローダーにはYZ870C（スーパードッグ）を得て、いよいよ今シーズンの活動を始めたわけだが、活動開始そうそうのリーディー主催によるオフロード大会（116ページ参照）で、見事に勝利を手中に収めて、その実力を発揮してくれた。わがスパマ編集部

も、この注目の広坂正美+870Cの実力度をチェックすべく、'88シーズンはこの車で挑む予定の本誌をレポーターとして送り込んでみた。

基本的にはあまりいじらない！

正美選手のYZ870Cは、見てのとおりのほとんどノーマルであることがわかる。オプションのカーボンシャーシ+カーボンダンパーステーを装備している程度だ。

ただし、細かな部分には充分気を配っている。とにかくすべての可動部はスムーズに…をモットーに、セイバー（三分割）間

のピアノ線をボールリンクに、デフはスリップ限界近くまでスムーズに軽く作動するように心がけられている。そのスムーズさを欠くことから起こる“走行中のクセ”を極力減少させようとしているのだ。実際マシンに手をふれてみると、そのノーマルにみがきをかけたスムーズさはピカイチのもので、仕上がりの良さがわかる。

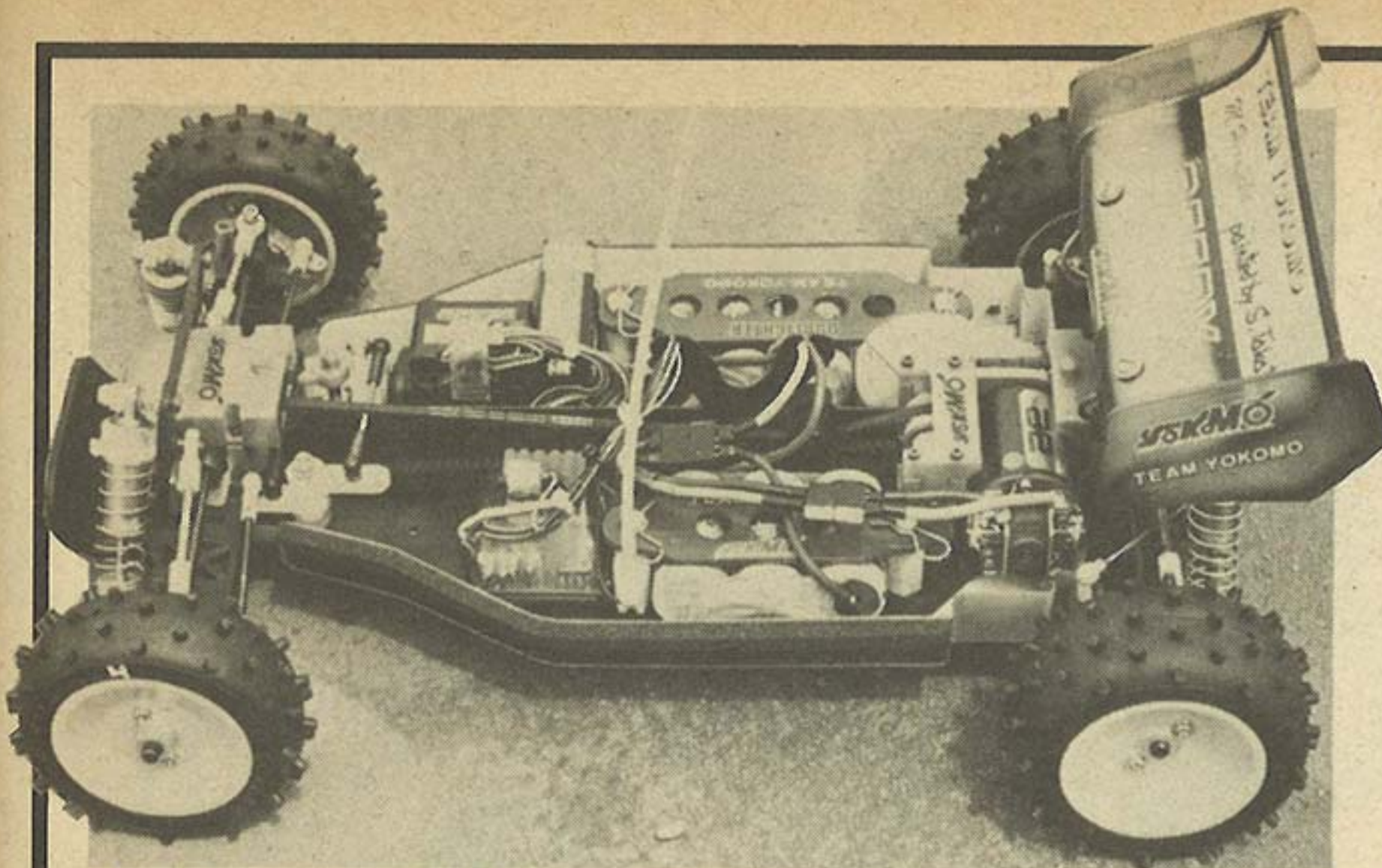
正美選手にとどまらず、エキスパートならばだれでもそうかもしれないが、マシンの初期のクイックさをねらってセットされているのが、フロントのワイドトレッド用の穴で、専用のユニバーサルジョイントで



◀広坂選手のお父さん正明氏にセッティングを伝授してもらったマリエル。



▶約30パックのバッテリー。広坂選手は半日でこれを使い切ってしまうほど走るのだ。



↑純正オプションパーツを組み込んだだけのスーパードッグ“正美仕様”。



↑ボディはもちろん正美カラーにペイントされている。

YZ870Cスーパードッグ“マサミ”仕様

コネクトされる。ステアリング角も、ノーマルより、さらに切り込めるようにと、ハブキャリアの加工を施している。㊦の持ち込んだドッグとの違いはこんなところだ。

意外とアンダーで、 コントロールラブル

マシンにはさほどの差はなかったものの、走らせ方がちがうので、セッティングについてはまるっきり異なっている。㊦のマシンはパワーオフ前後に入り込むようにセットされているのに対し、正美選手のマシンはいっこうに入り込んでくれない。そう、いわゆるアンダーステアのマシンなのだ。

しかし、このアンダーステアのマシン、パワーOFFからの急激なアクセルONに対しての安定性は、超のつくレベルで安定している。実は、まさしくこれが正美走りのセッティングと言えるわけだ。というのも、ヘアピン等のコーナーは、クリッピングポイント直前まで目いっぱいインベタで走り、クリッピングポイントでブレーキング、そしてマシンの方向もムリヤリ変換し

てパワーONするという、いわゆるスピントーン走りを完成させていて、これをコースで見せるという点でもなさ。

しかも確実にキメると、パワーOFF時のわずかな惰性でクリッピングポイントまで待つよりも、速いということになり、コーナリングでグングン差がついてしまうのも納得できる。もちろんパワーのセットも、このコーナリングを活かすための超立ち上がり重視セットと言ってもよく、後半ののびはそれほど力を入れず、とにかく出足がめちゃくちゃ良い。

と、初めはやや走りにくかった広坂車ではあったが、走り込むにしたがって、なかなか攻め込めるようになった㊦であった。「走りやすいマシンでテクニックを身につけた選手が、そのマシンを走らす…」を頭にたたき込んでいて、それをそのまま行なっているのが正美選手ということになるのか。マシンの安定性に関しては何も文句のつけどころがない。

正美選手のマシンに近づけるべくセットを重ねた㊦のマシンも、コーナリング以外



←正美君とマリエル。ドライブ中の険しい表情とはちがいに、にこやか。

は近づいたようなセットになった。ただ、ちょっと近づけなかったのはタイヤのセットで、それこそグリップさえすればいいというものではなく、自分の走りに合った適当な組み合わせを見つける事が重要だ。これらも練習によって得られた“勘”であるようだが、わずかな時間でのチョイスは、かなりのセンスと言え、やはり世界チャンプのレベルは一枚も二枚も上手のようだ。

(立花迅人)



←マリエルのマシンをドライブする正美君。基本的な特性のちがいを指摘してくれた。

→マリエルのマシンのトルクリミッターを調整中の正明氏。かなりロック気味にすると良いとのこと。



特別 インタビュー

YZ870C スーパー ドッグは 可能性充分!



広坂 正明・正美親子

■昨年のEPオフロード世界戦制覇以来、向かうところ敵なしの広坂正美選手と、お父さんの正明氏。今年からチーム・ヨコモのスタッフとして活動中である。今回はYZ870Cを中心に①と②が話をうかがってみた。

プロトとは

全く異なった市販タイプ

立花 まず新発売のヨコモ870C、スーパードッグファイターですが、走らせてみての印象をうかがいたいのですが。

広坂 思ったより良かったですね。

立花 今までいろいろな車を走らせてこられたと思いますが、それらと比べていかがですか。

広坂 シュマッカーなんかは走らせてから8カ月くらいたって、はじめて自分に合った車になったわけですが、スーパードッグの場合、まだ1カ月くらいですから、完璧に煮詰まってはいませんが、かなりのポテンシャルを秘めているように感じますね。

立花 本誌でもプロトタイプのときに、走行インプレをやらせていただいたのですが、プロトタイプとの比較はいかがでしょう。

広坂 プロトとはかなりちがいます。あれはアンダーでしたね。

石神 去年の世界戦の時点ではじめてヨコモさんがプロトを持ち込んで、デザインな

んかはシンプルでいいなあ、と思ったのですが、アメリカ選手が走らせているのを見ると、タイムをかせぐのに、少々つらそうでしたよね。それが今日はじめて走りを見せていただいたら、ずいぶん軽くなったという印象を受けました。

お父さん あのプロトから比べると、重量面でも120~130g軽くなっているんです。キャットに比べるとまだ重いのですが、キャットはどちらかというと軽すぎるほうですから、今の状態がちょうど良いと思います。まあ、プロトの段階からシンプルな構造で、トレッドなんかも簡単に換えられるようになっていましたので、そのへんを調整して、大分良くなってきたんです。フロントのワイドなんかも一長一短あるのですが、コースによって使い分けると、けっこうおもしろいんじゃないかと思います。ともかくサスの取りまわしとか、細かい点を煮詰めて行ったらいいですね。ダンパーの位置なんかもプロトとはかなり変わっているんですよ。

石神 スーパードッグの場合、デザインの

には従来からあるスタイルで、けっして目新しくはないのですが、レースに使うには、シンプルでたいへん良いと思うんですよ。お父さん 今までキャットをやっていて、それと比べると、あいうオープンタイプというのは、たいへん抵抗があったんです。と言うか不安感がね。で、やっぱり最初はトラブルが出たんです。ベルトがひっくり返ったりね。でもボディとの密着を強くしたりして…。世界戦でも向こうの連中は防じんカバーを付けていましたが、結局、部分的に防じんするより、キャットのように全体を防じんするほうがメンテ性をそこなわないんで好ましいんです。テープとスポンジとで二重に防じんすることによって、少しくらいの水たまりなんかは、全く苦にしませんし。まあ、このへんがプロトから市販タイプに移る過程で、一番最後に残った問題だったわけです。マジックテープとスポンジテープの併用がたいへんうまくいったんですね。

立花 なるほど。お父さんがセッティングを煮詰めて市販タイプとなったわけですね。で、ここは正美君がやったという部分は…。お父さん かなり煮詰まってくると、走りを見ているだけでは、オーバーかアンダーか感覚だけではわからなくなるんですね。ですから、タイヤの選択なんかはすべてまかせてしまうんです。ぼくらはグリップするのが良いと思いがちですが、正美に言わせると、グリップが良すぎて走れない…。というケースも出てくるんです。また逆に正美のフィーリングは良くても、タイム的には落ちることもあるわけで、そのへんは臨機応変にやっていますが…。



↓かなり煮つまってきたYZ870C。でも、まだまだ速くなりそうだ。



ろいことに二人ともスティック派でしょ。
 広坂 スティックとホイールじゃ、走り方がちがうもんね。

石神 ぼくが2, 3年前にスティックからホイールに代えて、前よりうんと良くなったんですよ。スティックの頃はアンダーの車でないと走らせられなかったですが、アンダーの車だと、ぼくはタイミングが取れなくて、ある限界までしか行けなかった…。それがホイールに代えて越えられたんです。クイックの車のほうが基本的に好みだったわけですね。そのへんに何かあるんでしょうね。

広坂 オンロードだったら良く判りますね。走り方がいろいろでしょ。タイヤにしても何にしても。オンロードだと曲がらなければほとんどダメだけど、オフロードなら曲がらなくても、それなりに走ることはできますから。

石神 ドライバー自身がもともと持っている感性と、車の機能を合致させる…。そこが判るまで、ふつうの人だとずいぶん時間がかかると思うんです。だからスティックが良いかホイールが良いかじゃなしに、すべてをトータルしたシステムがその人に合うか、合わないかの問題になってくる…。

お父さん だから私も他の人の車はセッティングできないんですよ。大体こういう傾

向になるということは判っていても、その人の好みには合わせられないと思うんですよ。しかし正美の場合だと、何を要求しているか判りますから、できるできないは別にして、どういう方向へ進めば良いかは判断しやすいんです。

石神 まあ広坂さんたちはぼくらより数段上のレベルですから、かえって他の人のセッティングに対してアドバイスをするのに遠慮が多いと思うんですよ。ぼくらだと、おまえオーバーだとか、アンダーだとか平気で比判してますけどね。シビアなところまで知っておられるだけに安易なことは言えないんでしょうね。

お父さん なかなか言ったとおりにならないんですよ。たとえばサスのセッティングでも、タイヤを換えればすべて変わってしまいますし、組み合わせを考えたら、とてもセッティングできる範囲ではありません。

まずタイヤを決める

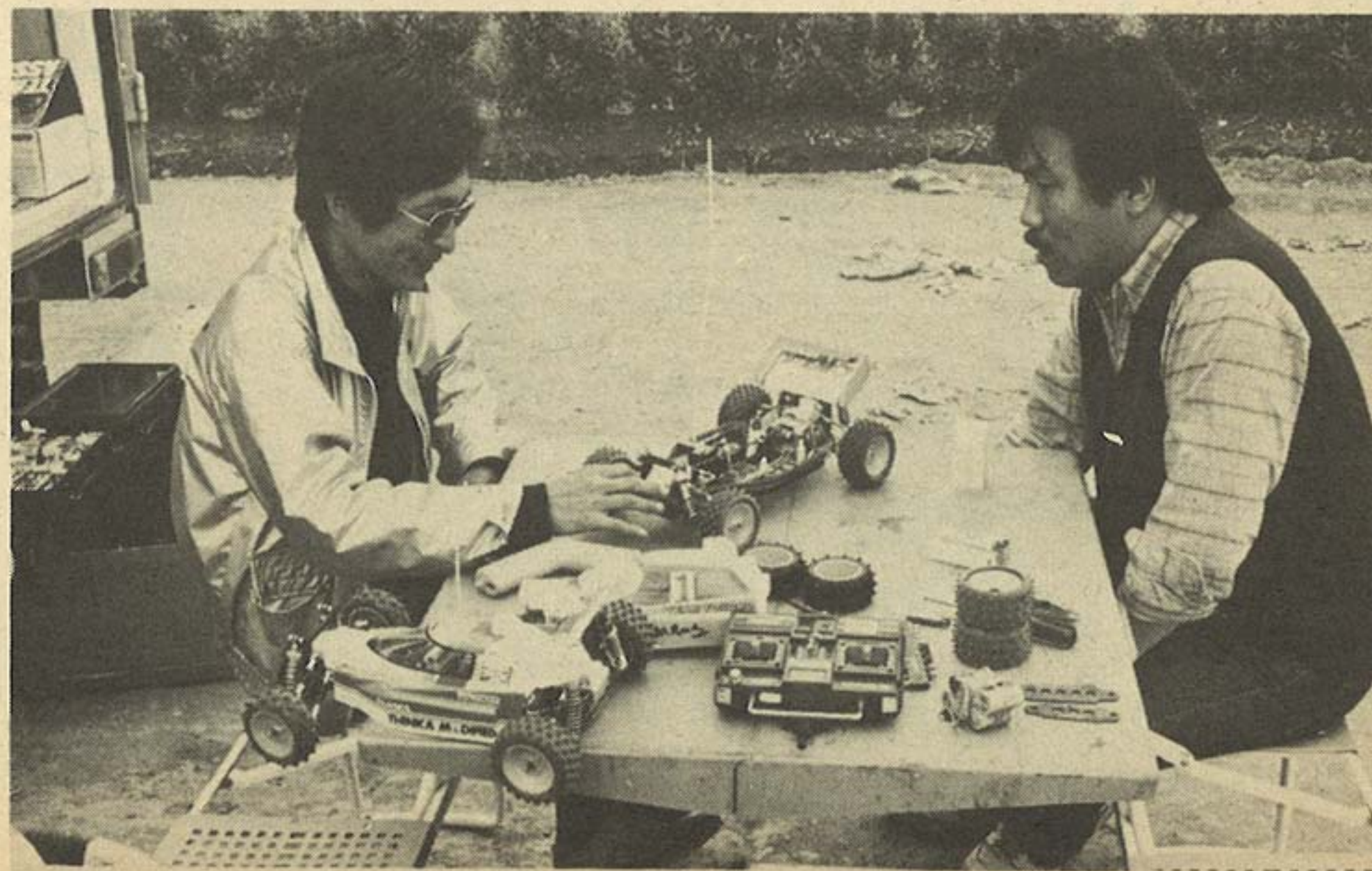
石神 ところで今日は船橋市のフタバ模型のコースにおいでいただいたわけですが、あのコースははじめてですか。

お父さん はい、はじめてです。

石神 フタバならフタバで、そのコースに通いつめて、前後のタイヤはこのセットとこの状態が良いと、判ったうえで、また細かく詰めて行けるんでしょうけどね。

広坂 世界戦のときもそうでしたね。

お父さん ぼくらが一つのサーキットでセッティングを煮詰める場合、まずタイヤから入るんです。車のセットは標準にしておいて、いろいろタイヤを試してみるんです。全然使えないタイヤをハネて行って、最終的に使えるようなものを三つくらいに絞り、それを基本にしてサスのセッティングをチェックするんです。実際タイヤの選定というのはものすごくシビアで、その性格も良く知っています。コーナーでグリップするが進みが悪いとか、ギャップには強いけど、



◀広坂正明氏にスーパードッグについて説明を受けるモンゴル石神。

石神 今までレーシングを中心にやってこられたわけですが、セッティング面での相違点はありますか。

お父さん レーシングもそうなんです、一番たいへんなのが左右のバランスですね。正美の要求でも、右と左を確実に合わせてくれ、というのが一番多いんですよ。あとギャップの走破性と、オーバー、アンダーですか。ひと口にアンダーと言っても高速でアンダーなのか、低速でアンダーなのかという問題があって、全体的にオーバーにしてくれとか、アンダーにしてくれ、と言うのなら楽なんですけど、高速では曲げて低速では曲げない…というような要求が出たりして、セッティングはたいへんです。

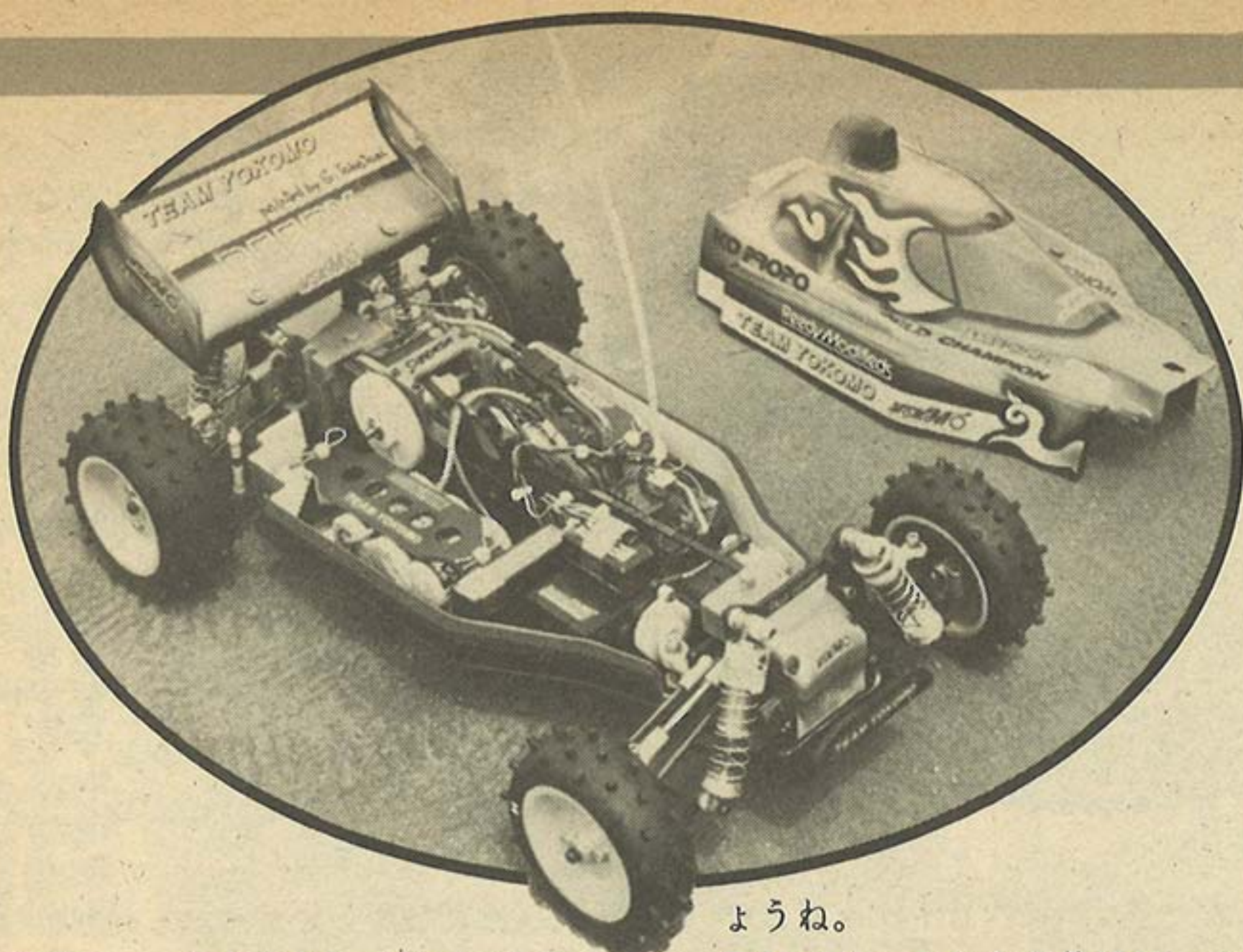
石神 バギーの場合、空力にたよれないから、特にむずかしいですね。

お父さん 理論的に矛盾することを要求されるとつらいですね。

石神 正美君の場合、セッティングの好みは一定なんですか。

お父さん 大体一定してますね。レーシングでも、バギーでも。とにかく初期反応を要求するんです。しかし、みんなは正美の車はオーバーだと思っているようですが、実はアンダーなんです。そのへんは実際に走らせてみれば判ると思いますが…。パワーをかけると入ってくるんですが、ブレーキングでは入ってこない…。だから根本的にはアンダーで、パワーオーバーなセッティングなんです。ブレーキングではほんの一瞬きっかけを作って、パワーで曲がる…というようにね。

石神 広坂君の場合、車の好みは近藤勝則君に似ているように感じるんです。おもし



他はダメとか、タイヤは必ず良い面と悪い面の両方を持っています。すべてが良いというタイヤはまずないから、良いところ、悪いところを全部出して、それで最終的にどれがメインになるか、路面に合わせて行くわけです。

また、タイヤ以外のセッティングも三とおりくらいに絞って行き、最低二本立てのセンはいつも持っているんですね。で、そのときの状況によってセッティングを使い分けていくわけですが、まず正美にタイヤを聞くんです。今日はどれを使うか…って。それがグリップは良いけどオーバーが出やすい…という性格のものなら、それをできるだけカバーするセットにするわけです。

横より前を重視

石神 先ほどスーパーダックを走らせていて、後輪を積極的に変えているときと、前輪を変えているときと、二とおりの状況がありましたが、どういうわけで分けていたんですか。

広坂 後輪が決まったから、それに合った前輪をさがしてみよう…、そんな感じですね。行きあたりばったりですが、一応やっておこうというわけで。

お父さん 最近ではタイヤと路面状況とのマッチングがかなり判ってきたんですよ。完璧ではないんですが、傾向という意味です。それでセッティングの時間はかなり短縮されました。また後輪に比べると前輪のほうが種類が少ないから、まずリヤのほうを重点的にやるわけです。

広坂 このリヤを使うと、今のフロントでは、ちょっとオーバーグリップだから、同じ種類で、少しグリップの落ちるものを使おう…ということですね。

石神 好みの基本は、まずグリップがある程度あって、コントラブルなタイヤ？

広坂 そうですね。だから前が悪ければ、後ろも悪い、という感じで…。

石神 あれだけパワーをかけてふりまわすところがあると、そうになってしまうんでし

ょうね。

お父さん それと正美はけっこう“進み”を気にしますね。横方向のグリップだけではなしに、前方への進みですね。実際レースなどで並んで走っている場合は判るんですが、一台で走っているときだと、タイヤのグリップが良くて進むのか、モーターが回っているから進むのか、見ているだけでは、よく判らないんですよ。そのへんの判断は正美はシビアなんです。見ているほうではグリップさえ良ければ、安定して走っているほうが良いと思いますが、本人はあばれていても、ガーと進むほうが、逆にコントロールしやすい…と言うんです。

石神 別の意味かもしれないけれど…。

広坂 4駆は前で引っぱりますからね。前もけっこう気にしないとね。

石神 単純に1台だけでレコード・タイムに挑戦しているわけじゃないから、競い合いをしたときに勝てる車、勝てるシステムじゃないと意味がないわけですね。自分がベストだと思っても、相手がそれより速ければ勝てないわけで…。

立花 さっき実際に、ぼくもやらせてもらったんですが、広坂君の言っている意味がぼくのレベルじゃ判らないんですよ。ぼくもスーパーダックをやっていますが、ちょっとスロットルをいじったときに、出るとか、出ないとかの感覚が…。ぼくの車とは確かにセットはちがうんですが、広坂君の言う、オーバーとか、アンダーの感覚が理解できないんですよ。

広坂 最近ではラジコンに関しては、ずいぶんとぜいたくをしているから、微妙なところが気になるんでしょうかね。だから最近は無理をしても細かな点をしつこいくらいにチェックしています。でないと、いざというときについて行けませんよ。

お父さん 最近では本人が自分でも判ってきたんだと思いますね。以前は周囲から見ればアンダー気味にセッティングしているのを、本人に聞いても判らなかつたんですが、それが最近では、自分から細かなセッティングの要求をするようになった…。そして

今度は周囲の人が判らなくなってきた、本人だけは判っている…、そんなケースがけっこう多いんですよ。今回のリーディーカップ（イギリスで行なわれたレース。今号116ページ参照）でも、モーターのほうはリーディーさんにお任せだったんです。

石神 私の経験ですと、シビアになればなるほど、正美君自身の気分を維持するのがたいへんになってくるんじゃないか…と思うんです。一箇所でも納得できない部分が出てきたりして…。

お父さん そのへんはいつも言っているんです。すべて良いものというのは理想ですけど、どこかを良くすれば必ずそのうら返して、悪いところがでてくる…。ですから、セッティング面の要求が出ると、ならどこを犠牲にして良いかというヤリトリを行なうわけですね。モーターに関して言えば、とにかく加速、加速なんですよ。そのかわりトップスピードは落ちてしまってもいいから…といった具合にね。もちろんコースによってはその逆もありますし、あのギャップは通れないからセッティングをかえてくれ、というような場合、今度はジャンプがつかなくなる。しかしジャンプなら何とかカバーできるから…というように、テクニックでカバーできるなら、そういう方向へ持っていくわけですね。

立花 まあ車やパワーソースに関しては、これからまだ煮詰めるところはあるにしても、大体のメドはついた、ではあと何が必要だとお考えですか。

お父さん やはり仲間じゃないでしょうか。一人でやっていると暗中模索なんですけど、複数でやれば、お互いのデータも交換できますからね。

広坂 やはり親しい人にうまい人がいて、そういう人と一緒に走りたいですね。どこで走っても自分と競り合っていけるような人と…。

石神 RCカーのすべてのジャンルを通じて、どこのコースでも速く走れる人って、広坂君を含めて2～3人くらいしかいないんじゃないかな。そのコース、コースのスペシャリストはいてもね。

お父さん そうですよ。ですからぼくも特定のサーキットでやりたくないというのは、そういうところがあるからです。はじめてのコースに行くと、いかに速く走ることが大事だと思います。

石神 世界選手権へ行っても、日本の一般選手はCメインに残るのすら、たいへんですもんね。だから、初コースに対して、いかに早くセットアップして、ドライバーの手もそこに慣れさせるか…という問題ですね。1カ月も走り込めば、みんな同じになるけど、世界戦なんかは絶対的な時間が足りないから…。

ワンウェイの調整がポイント

立花 スーパードッグについてなんですが、今日はぼくの車もコースに持ち込んだわけですが、アドバイスをもらえませんか。

広坂 セッティングについては、全く問題ないと思います。ぼくの車と同じように走りましたから。あとは慣れることじゃないですか。ぼくは完全に慣れましたから…。

お父さん おもしろいことに、スーパードッグのキットを発売するに当たり、最終チェックとして説明書に不都合がないかを確認する意味で、正美に1台組ませてみたんですよ。まあ、それを練習用に使っているわけですが、この間、デイトナさんのコースをお借りして走らせたなら、私の組んだ車と全く同じタイムで走るんですよ。正美はキットはあまり組んでいないから、どちらかと言えば雑な組み方だったんですが、私がていねいに組んだ車よりも、むしろ走らせやすい、と思うほどでしたね。

まあ、他にも何人か組んで走らせてもらっているのですが、ほとんど同じなんです。ですから、あとは好みで、タイヤとか、サスとかを調整して行けばいいんじゃないですか。まあ、ほとんどタイヤで決まってしまう感じです。その他ではワンウェイの締め具合、ロックさせてしまうかどうかですね。それで大きく変わりはしますが…。はじめて走らせる人は、かなりクイックに感じるようですね。

立花 ぼくも走らせてみて、ドッグファイターをそのまま進化させたマシンのように感じました。入るとグイグイ入ってしまうという感じで…。

お父さん それで私はダイレクトハブも標準装備してくれと提案したんです。そしてワンウェイも標準装備して、操縦しやす化したんですよ。あとは好みに応じてセットして下さい…ということ。

立花 はじめ正美君の車って、ぼくらのレベルじゃ操縦しにくいのでは、という先入感があったんですが、意外と思えるほどやりやすかったですね。

広坂 そうでしょ、走りやすいですよ。ぼくだって扱いにくい車じゃ、走れないですよ。

石神 そうですね。うまい人の車って、みんな走らせやすいんです。高麗君にしても、石原君にしてもね。だから、その走らせやすい車を、うまい人がさらに速く走らせている…、そんな感じです。

立花 先ほども、ブレーキできっかけを作って、パワーで曲げる、という話が出ましたが、今日実際に教えてもらいましたが、ハッキリ言ってレベルがちがうって感じで、ぼくらにはなかなかできませんね。

お父さん 実はその走り方は、昨年の世界戦で、ジョンソン選手の走りを見習った結



果なんです。彼は2駆クラスでかなり速かったんですが、アンダーの車をブレーキで曲げていると聞いて、まねたわけですね。今まで、なんの気なしにブレーキを使ったりしていたわけですが、正美がその走りをマスターし、自分のものにしたのは、あの世界戦のときなんです。けっこう他の人の走りを見てますからね。

立花 ぼくらは今まで中間を速くして、すべるところをマイルドに走っていきこう…と考えがちだったんですが、今日、正美君の走りを見せてもらってショックでしたね。

お父さん いや、正美の走りがベストかどうかは、疑問ですよ。一流選手はみんな走り方がちがいますし、その人に合った走りでないといね。

石神 みんなが正美君の走りをマネして、それをマスターしても、正美君の後ろしか走れない(笑)。

お父さん それを正美にも言ったんです。ジョンソンの走りをただマネするだけじゃ

ダメだと。いかにそれを自分の走りの中に有効に取り入れて行くかが問題なんです。

立花 さっき正美君のマネしたけど4回に1回くらいしかうまく行かなかった(笑)。

石神 右手と左手の同調の問題だよ。

お父さん 操縦法なら操縦法だけマネしてもダメなんです。車と操縦法がうまく合ったとき、一番良い結果が出るんじゃないですか。ですから、アメリカのリーディーカップでジェイの車を正美が借りて走らせたが、やりにくかった、ですが、ジェイにしてみればその車が最高の車だろう…とね。

石神 それはトップクラスの人の場合の話で、一般の中級レベルの人が、トップの人のマネをするのは、手っとり早いし、有効な方法ではあるでしょうね。

いや、今日はどうもありがとうございました。発売されたばかりのスーパードッグファイターですが、広坂君が走らせるとあって、注目しているファンも多数いると思います。がんばって下さい。

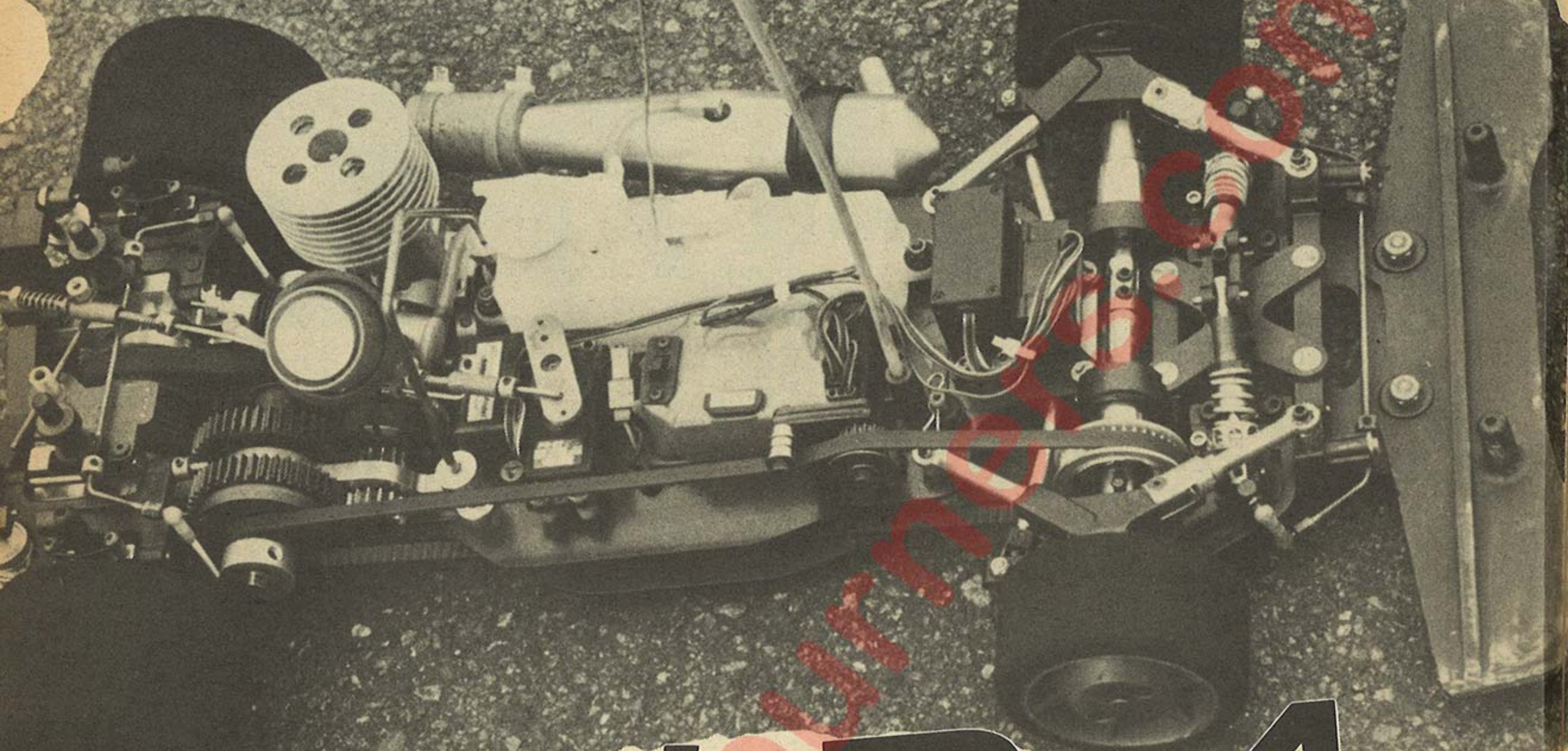


⇒フタバサーキットにて、取材後にパチリ。今シーズンの広坂選手は注目。

正美君の要求したセットを即実行し、テストをくり返す…といった努力はモノスゴイ。

1/8エンジン・レーシング

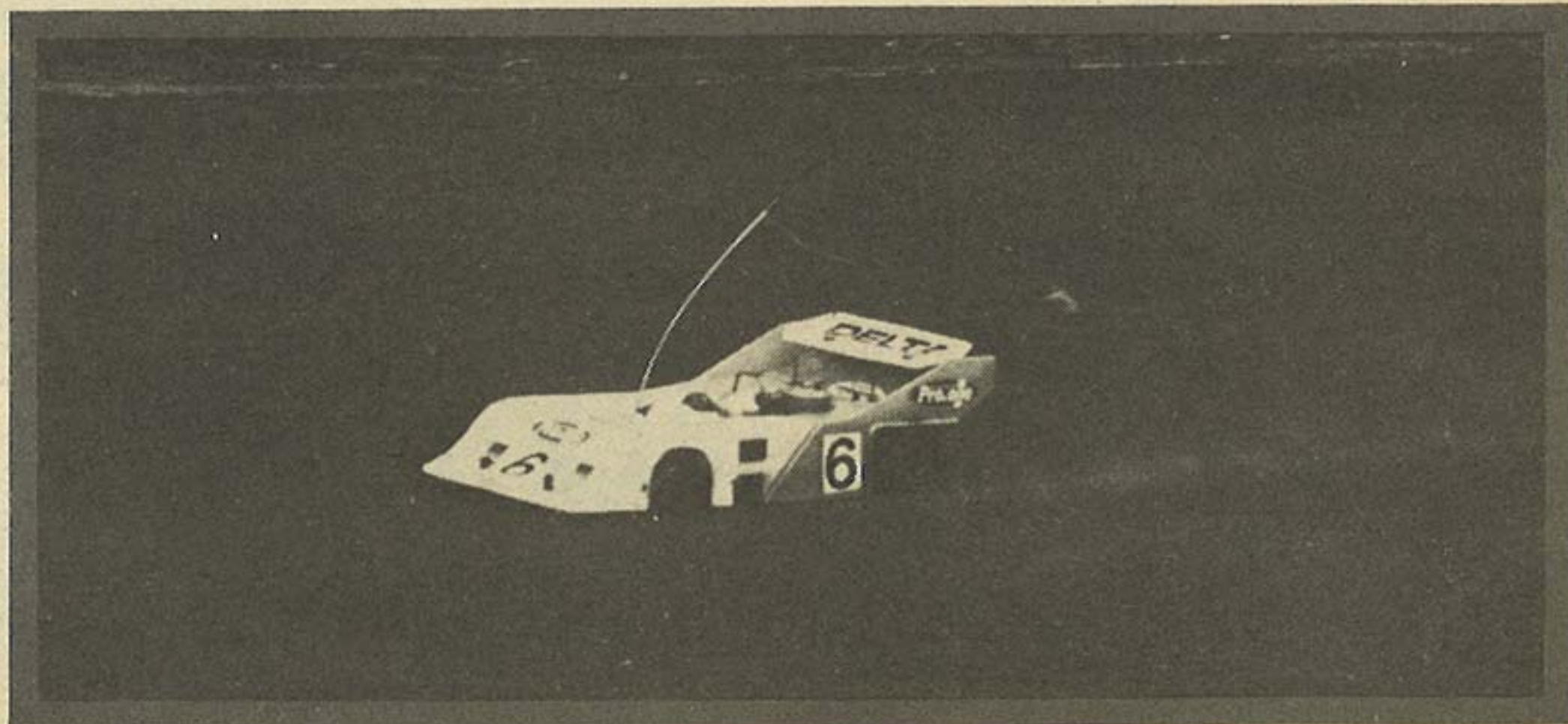
ワークス・セッティング!!



デルタP-4

●数々の戦歴を有する、アメリカ・デルタ社製1/8エンジンレーシングカー『デルタP-4』。その優れたポテンシャルとセッティングを、本場で活躍中の橋本明久氏が紹介する。

レポート by 橋本 明久



◀筆者・橋本明久氏は、現在アメリカ・デルタ社で設計開発のアドバイザーとして奮戦中の27歳。

↑ボディはアソシエイテッドのエルフィン・カンナム、またはローラT530を使い分けている。



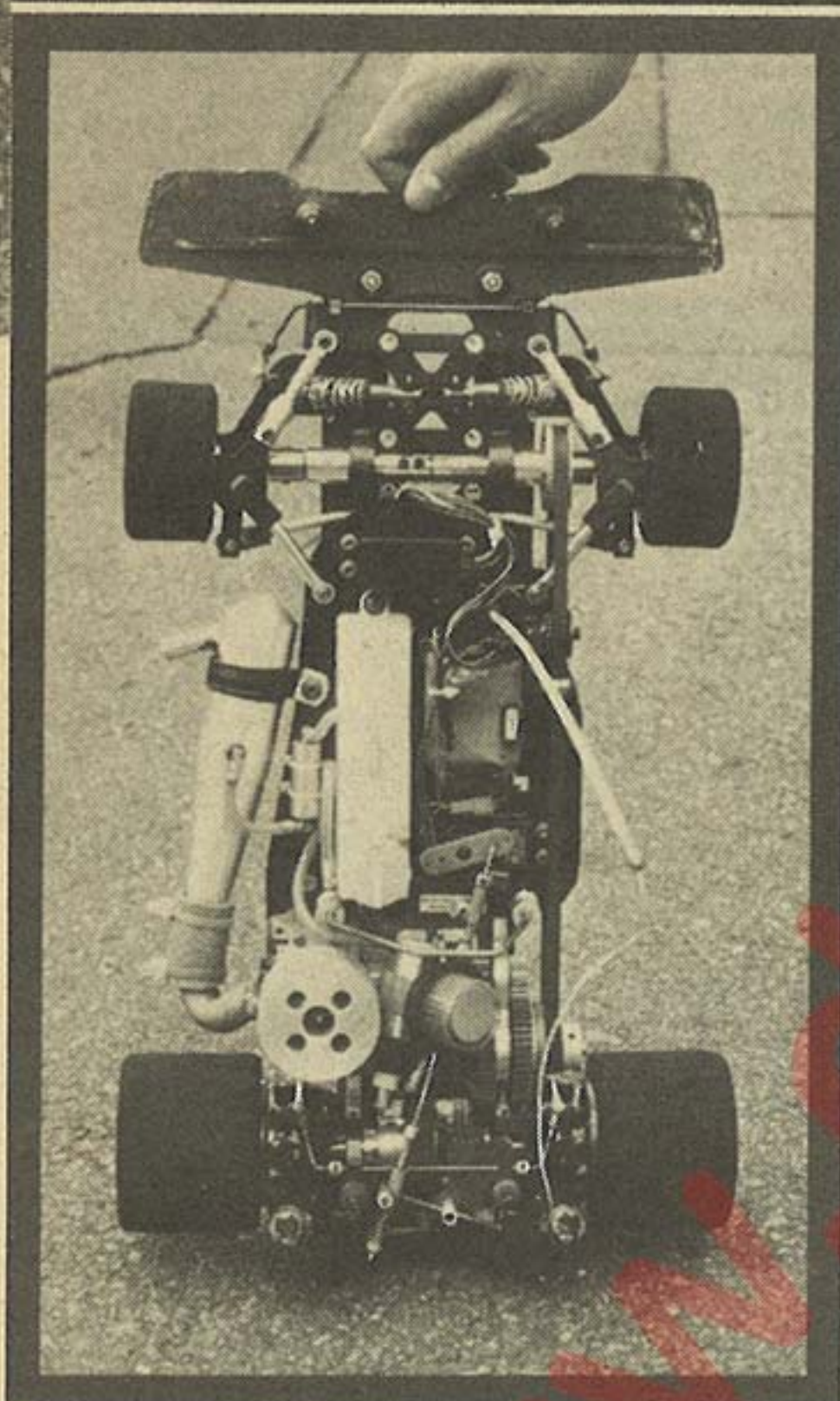
第3回世界選手権で優勝し、ワールドチャンピオンメーカーの仲間入りを果たしたデルタは、マニアックで高性能、高品質なレーシングカーを送り出すメーカーとして有名である。そのデルタから発売されたP-4も約2年がたち、昨年の世界大会後、細かな変更が加えられ'87仕様となったので、その変更点と最近のSPLにおけるセッティングの特徴について紹介しよう。

現在ワンオーワンから発売されているキットには、軽量化を目的として開発された1ピース・グラスファイバーシャーシ(9,800円)、フロントと同様のスタイルにして耐久性が向上したリヤ・ドッグボーン・アッセンブリ(18,200円)、ダイレクトサーボセーバーホーン(1,400円)が使用可能なラジオプレート、以前はオプションであった2スピードとデフなどがセットされている。同時に、軽量で高剛性なカーボングラファイトシャーシ(48,000円)とエンジンの放熱を助け、リヤの剛性をアップするヒートプレート(4,480円)がオプションパーツとして登場している。

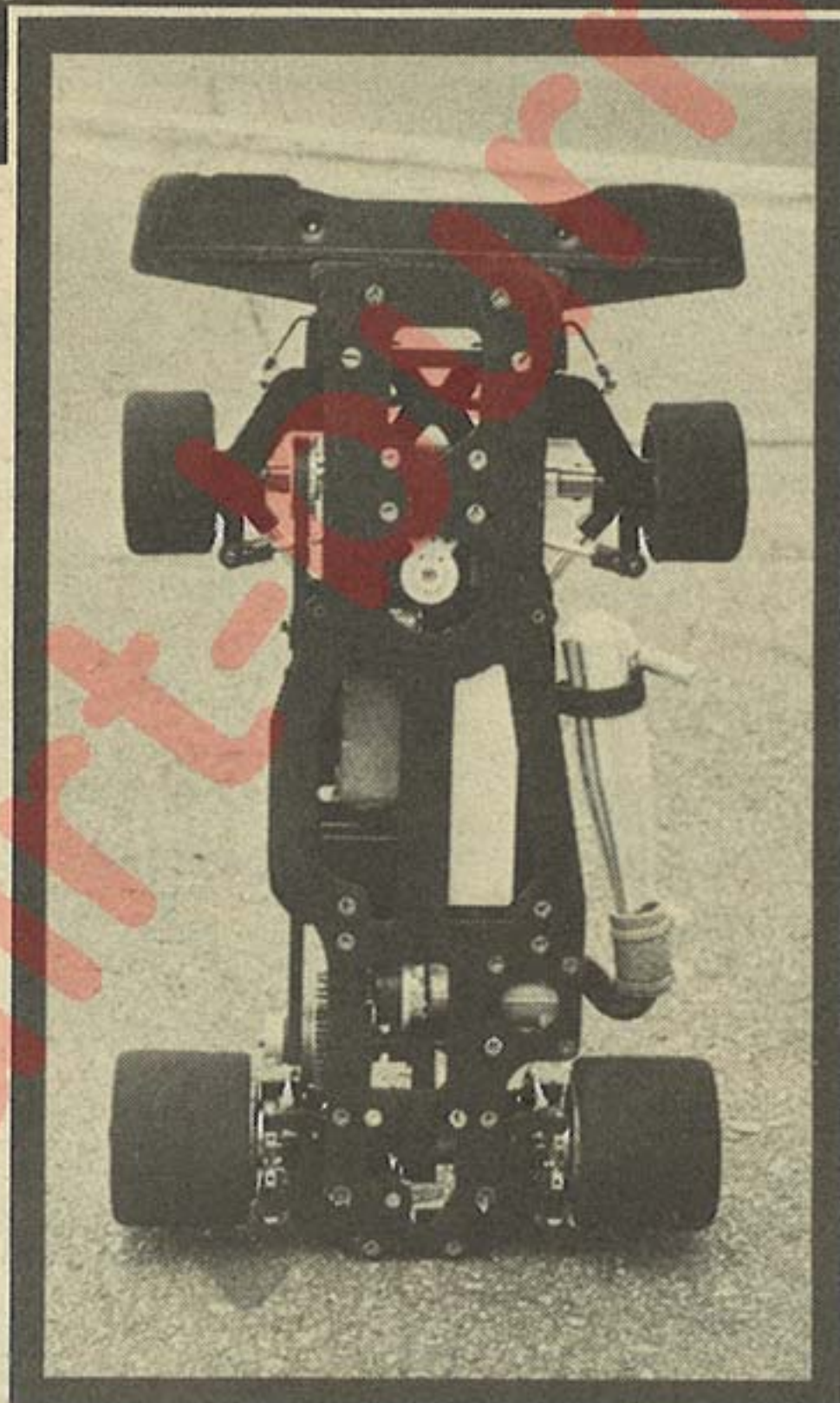
また、車の挙動が安定し、リヤのグリップが向上するリヤスタビライザーも近々発売される予定である。これらのニューパーツの使用法を中心に、セッティングの話を進めよう。

まず、ヒートプレートを取り付ける場合、その厚みによってラジオプレートが持ち上がるので、フロントバルクヘッドとフロントアッパーアーム後部のラジオプレート取付部分に、ヒートプレートと同様の厚みのワッシャを入れる必要がある。

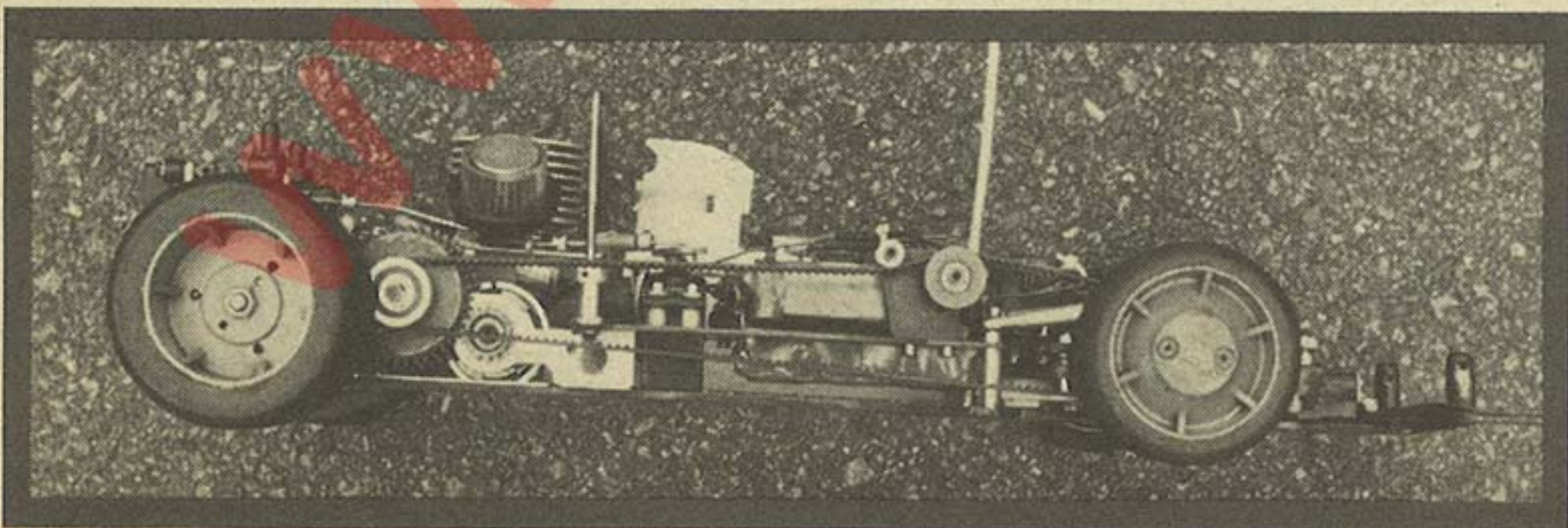
次に現在ほとんどのP-4ユーザーがダイレクトサーボセーバーを使用しているが、この取付の注意点として、タイロッドは必ずサーボセーバーの上側に取り付けるようにしたい。この方がタイロッドがサーボセーバーをこじる動きが少なく安全である。



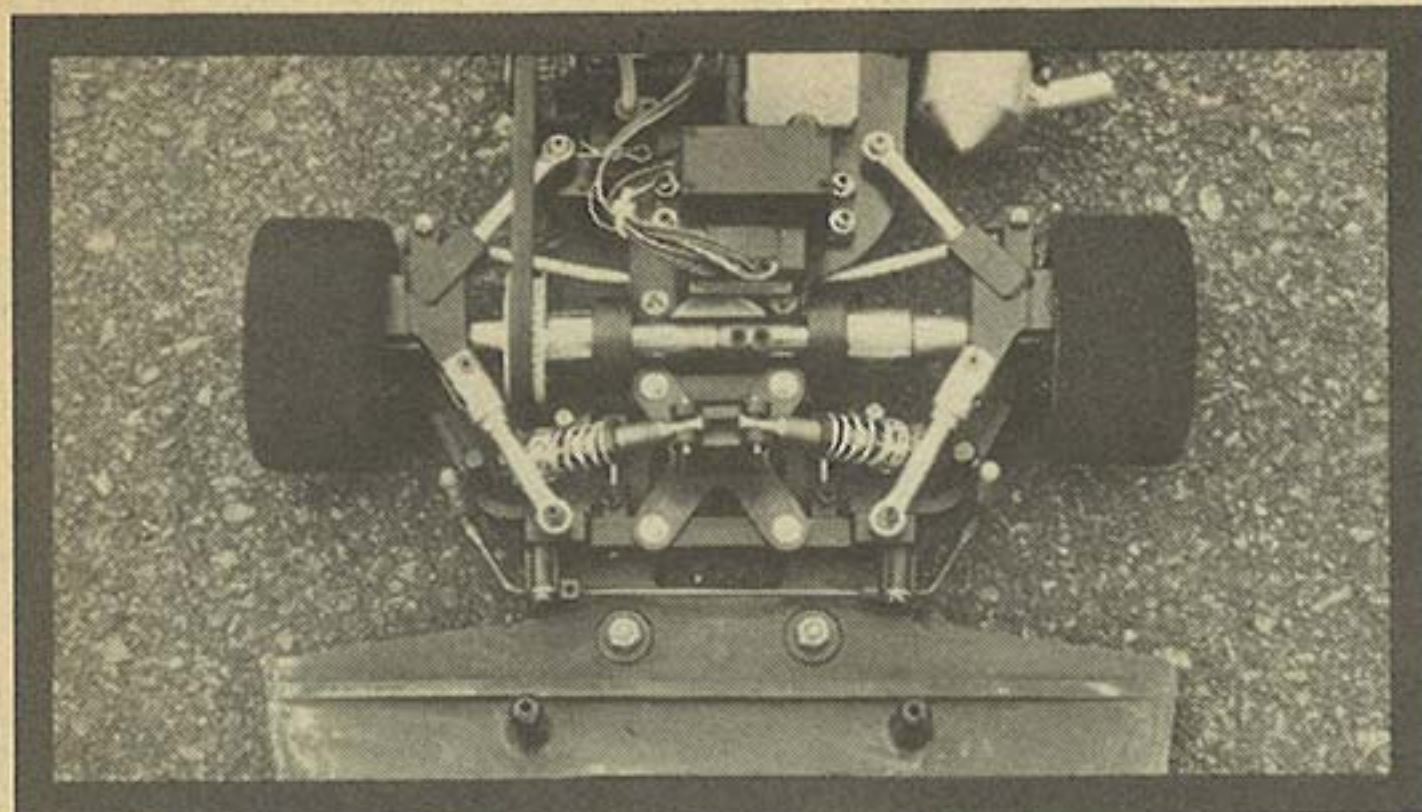
↑2.1mm厚グラファイト製の自作ラジオプレートを使用し、RCメカ類をコンパクトにまとめている。



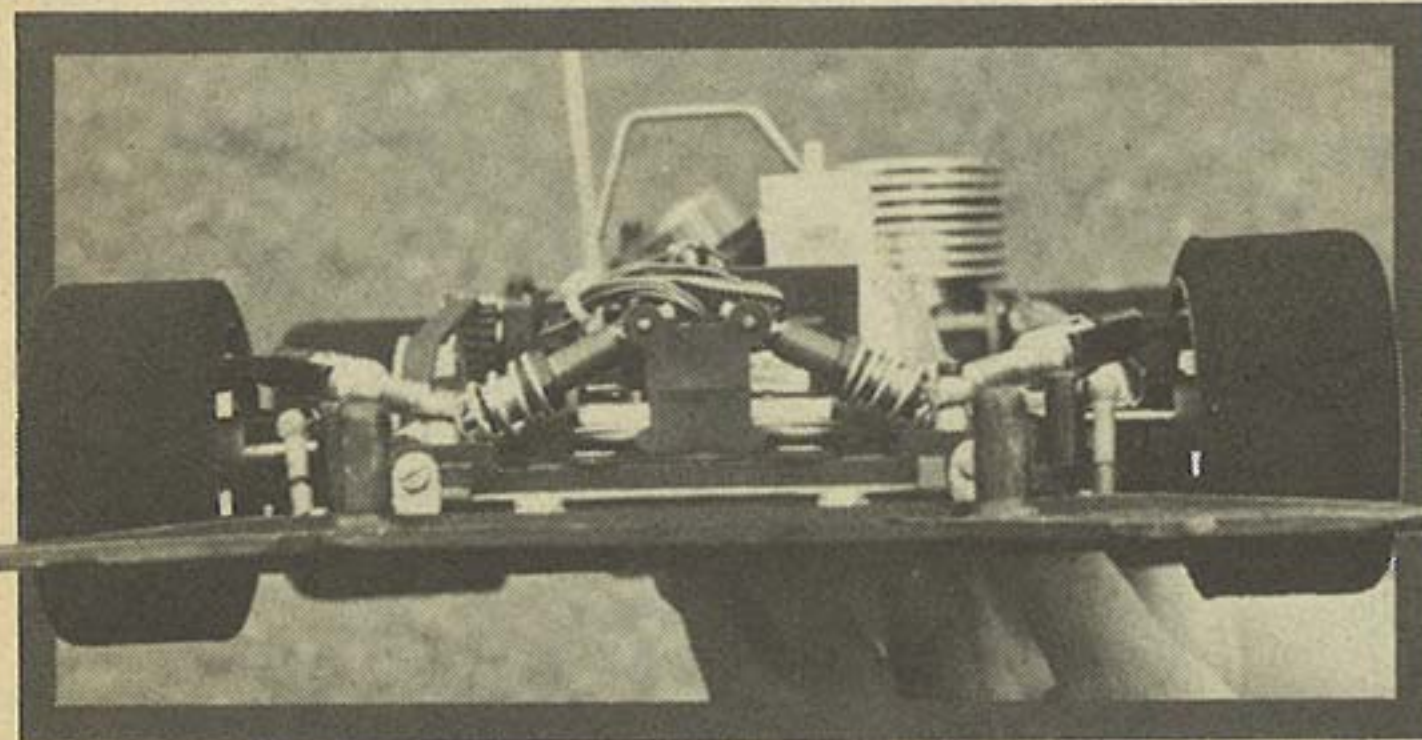
↑メインシャーシは、オプションのワンピースグラファイトシャーシを肉抜きして使用。



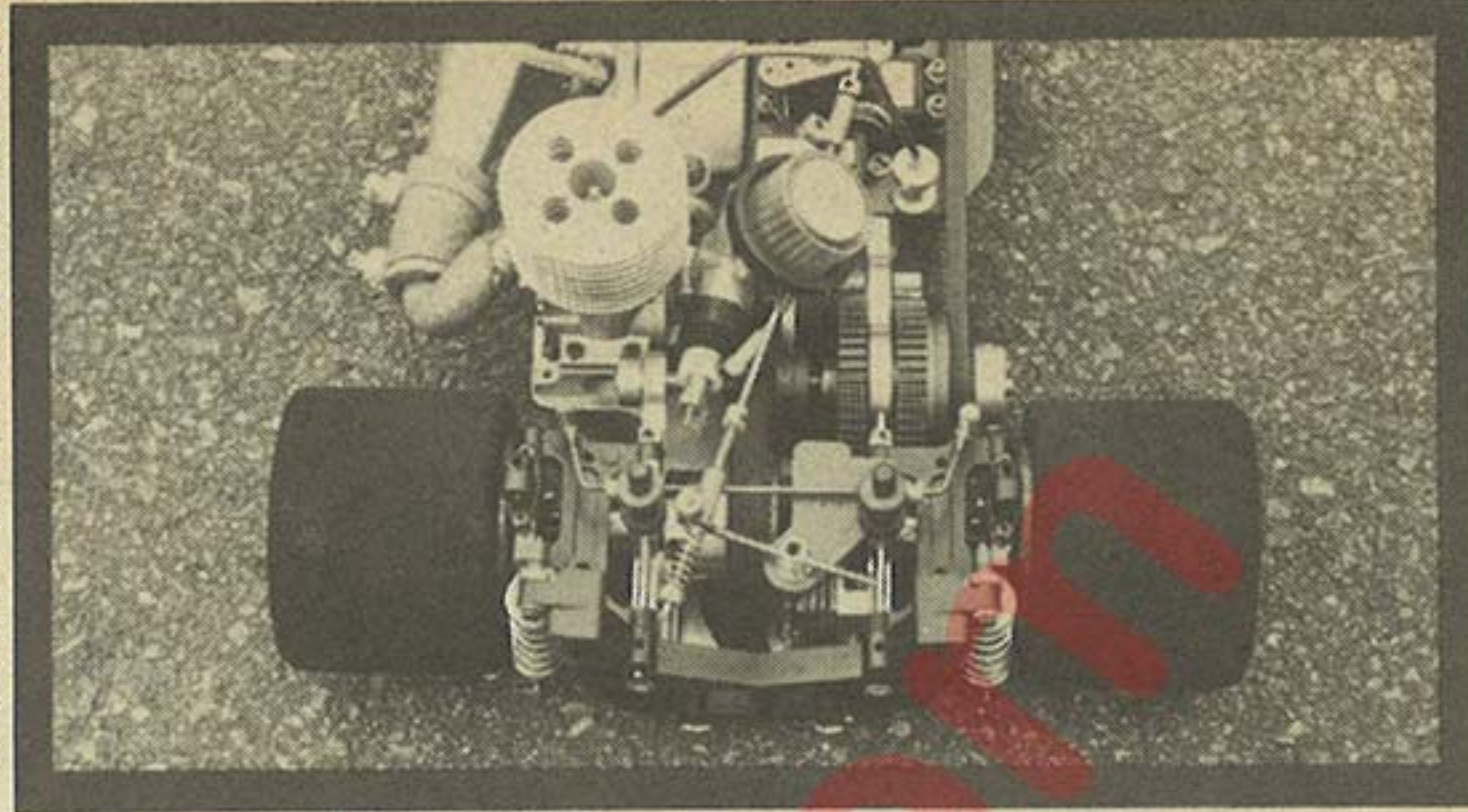
↑タイヤ径は予選時フロント68mm、リヤ78mm、決勝時はフロント71mm、リヤ81mmがベスト。



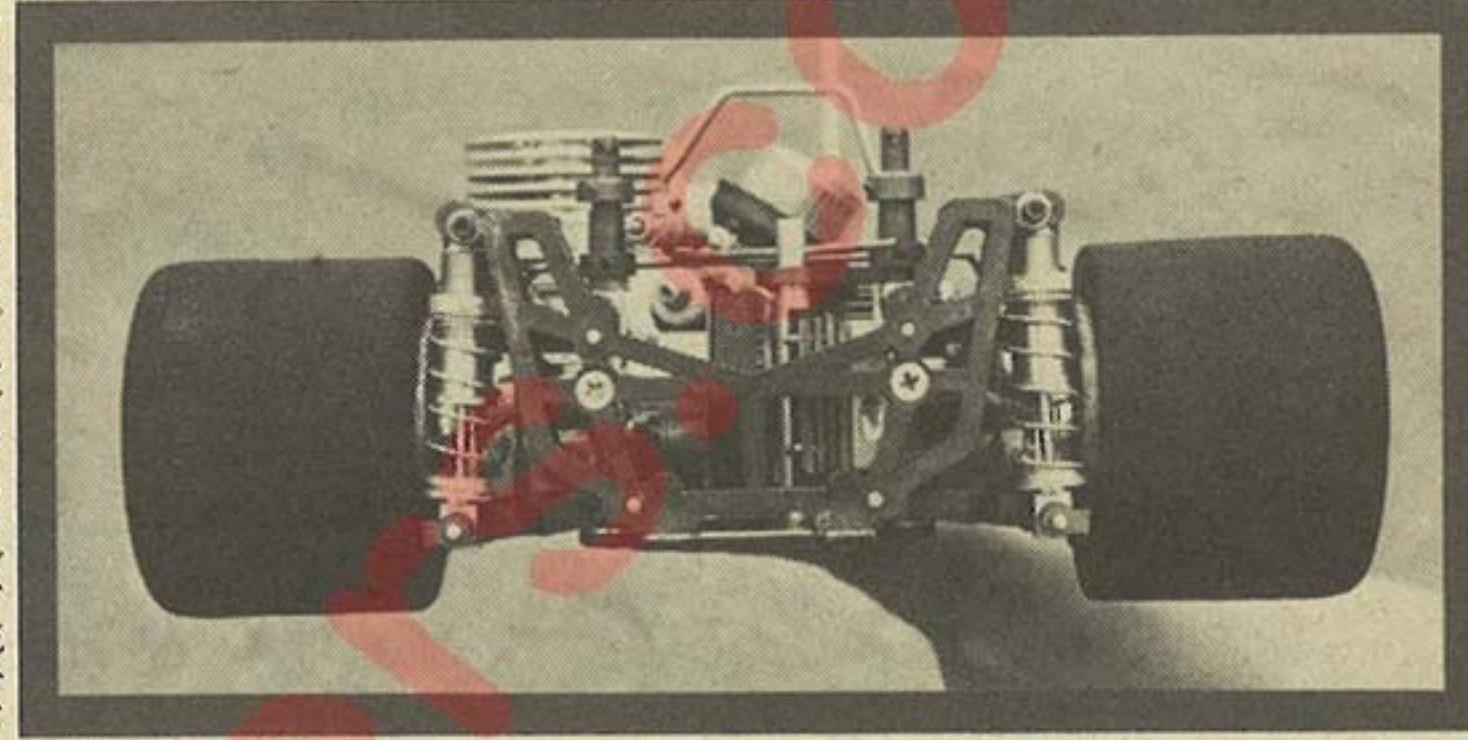
←キャンバー、キャスターなどのアライメントをすべて調整可能なフロントまわり。



←ストロークを増すために、ダンパーマウントを改造している。



→十分な剛性を持つリヤサスペンション。スタビライザーはオフショーンで発売予定。



→ブレーキはトリプルディスクで、十分な効きを示す。

またこのサーボセーバーホーンは、もと1/10バギー用に作られたもので、1/8用としてはストローク、強度ともに完全なものではないようだ。そこで、もしタイロッドがフルロック時にサーボセーバー中心部に当たるようであれば、タイロッドをへの字に曲げてやる必要がある。またサーボの取付の高さをサーボセーバー、タイロッドともに、どこにも当たらないようにするよう注意してもらいたい。また、私は自作のラジオプレートを使用しているが、これは重量物を中心に集めるためとクラッシュから受信機とバッテリーを守るため、いずれ市販される予定である。

次に近々登場予定のリヤスタビライザー

であるが、これはセッティングの幅を広げられる物で、取り付けの場合、リヤのグリップが向上し車の挙動が安定する。しかし、これはひとつのセッティング用部品であり、必ず装着した方がよいというものではない。

近ごろ極太のスタビを前後に装着するのが一部で流行しているが、太すぎる物は、本来サスペンションがもたらすはずのコーナリング性能、ギャップの収束力をスポイルしてしまうと思う。P-4に於いてはノーマルのスタビで充分と言っておきたい。

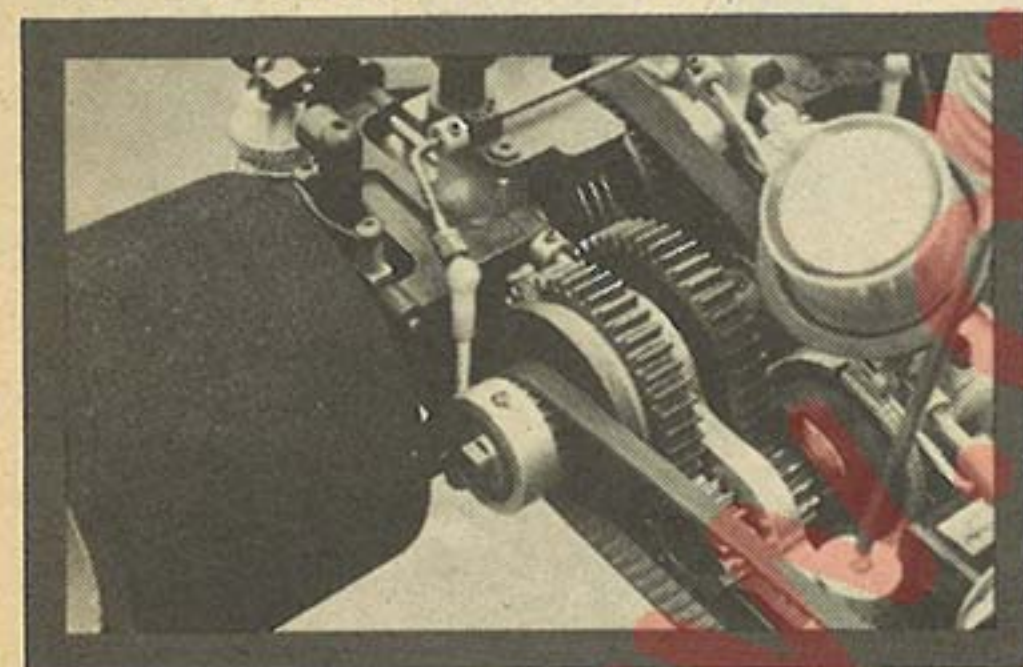
次に車をセットアップする上で、最も重要なタイヤについてお話ししよう。

フロントタイヤはここ数年あまり変化はなく、世界的にも使われている30プロダク

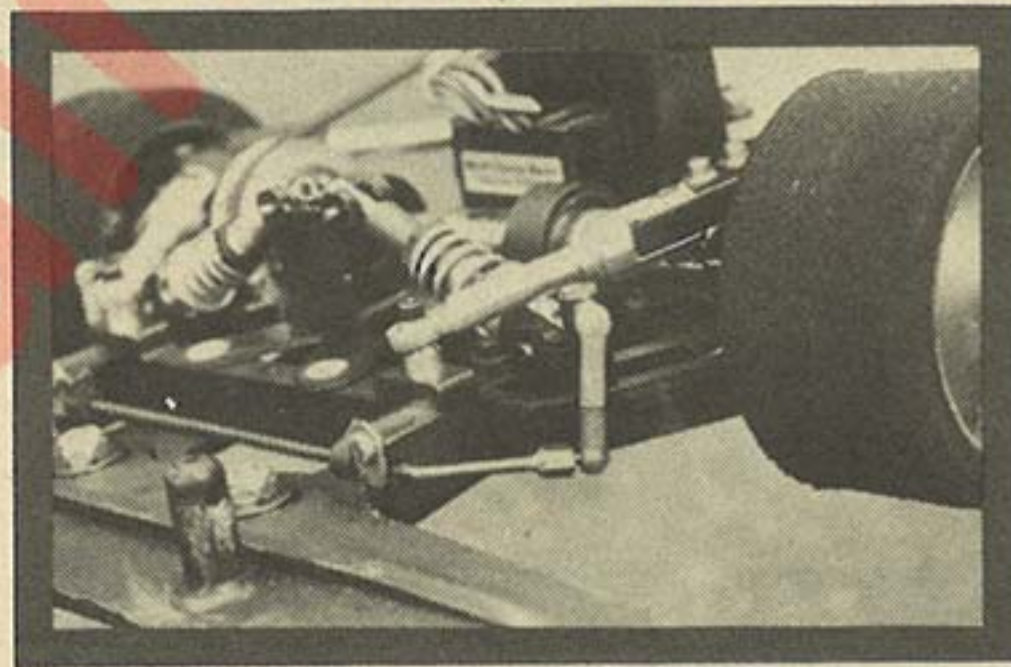
トの30°~35°を使用している。また、リヤタイヤはハイグリップでロングライフということで、京商NET27を使用。しかし私個人としては、かつてのアローズ・シルバーが最高と思っており、予選時のみ、それに最も近いSG3639Sを使うこともある。いずれにしてもタイヤ径は予選時フロント68mm、リヤ78mm、決勝時はフロント71mm、リヤ81mmがベストであると思われる。

そして目に見えない部分としてデフの固さがある。私はデフケースの中のスラストベアリングのワッシャを一枚増やして、かなり締め込んでいる。固くしたデフのために悪くなってしまったコーナーの入り込みをフロントタイヤ、サスのセッティングで良くし、立ち上がりは駆動ロスの少ない固いデフによって一気に加速するといった方向でセットしている。この極端な例がアメリカ流のセットで何とデフなしである。しかしSPLでは、荒れた路面と小さいヘアピンコーナーに対処しなくてはならず、安定性と小さく回る必要性から、どうしてもデフを装着しなくてはならない。

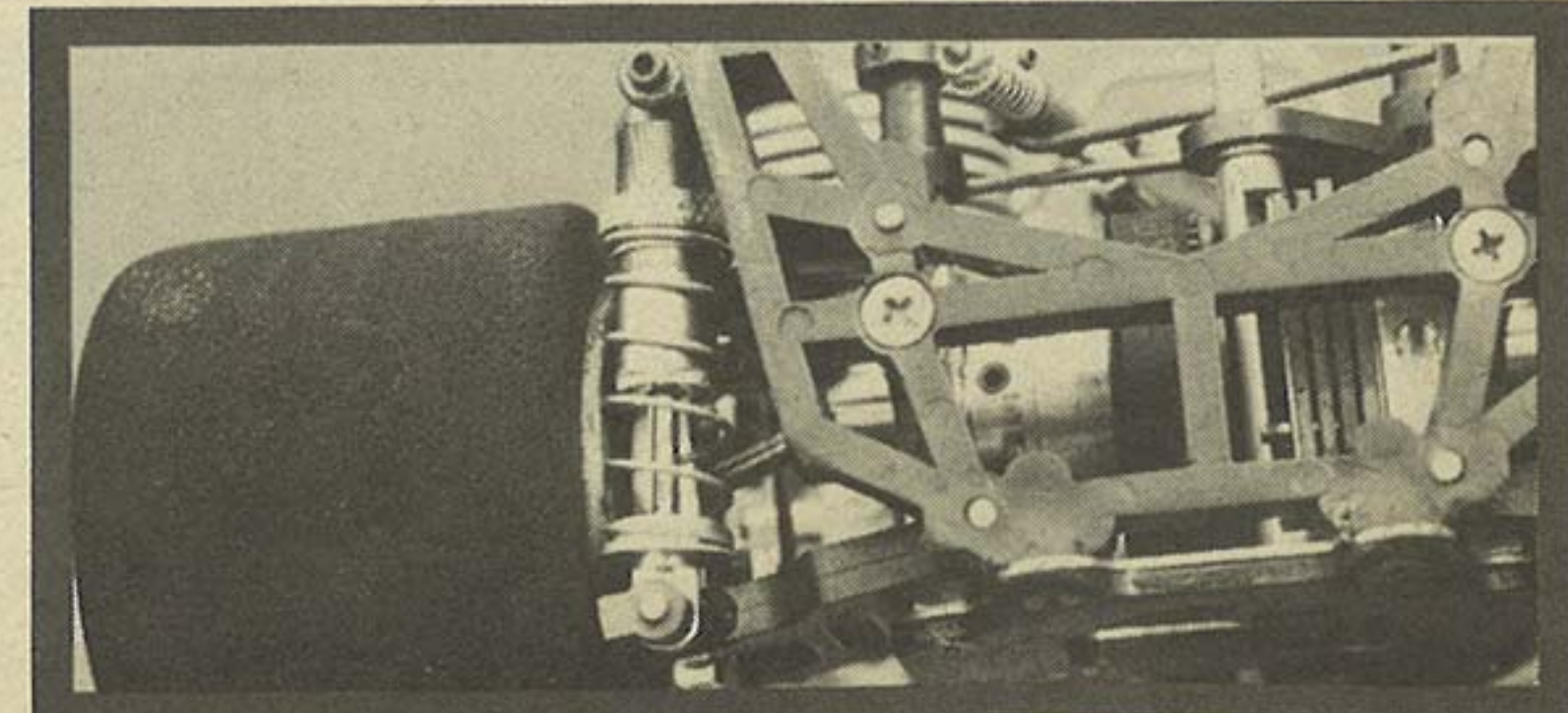
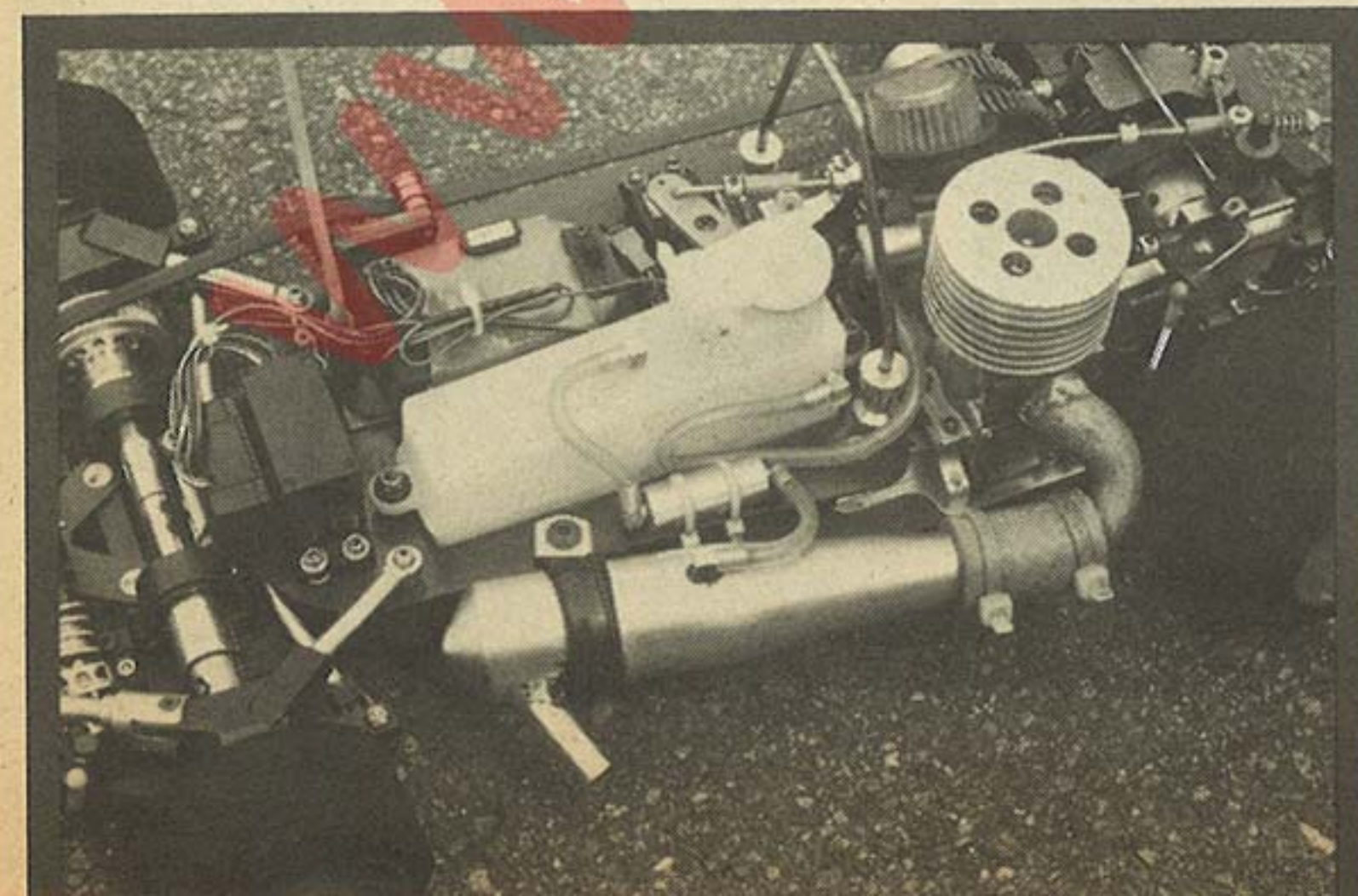
最後にボディについては、基本的に現在主流であるローラT530とエルフィンがあ



↑ジュラ製のハンガーをはさんで取り付けられる2スピードは、耐久性に優れる。

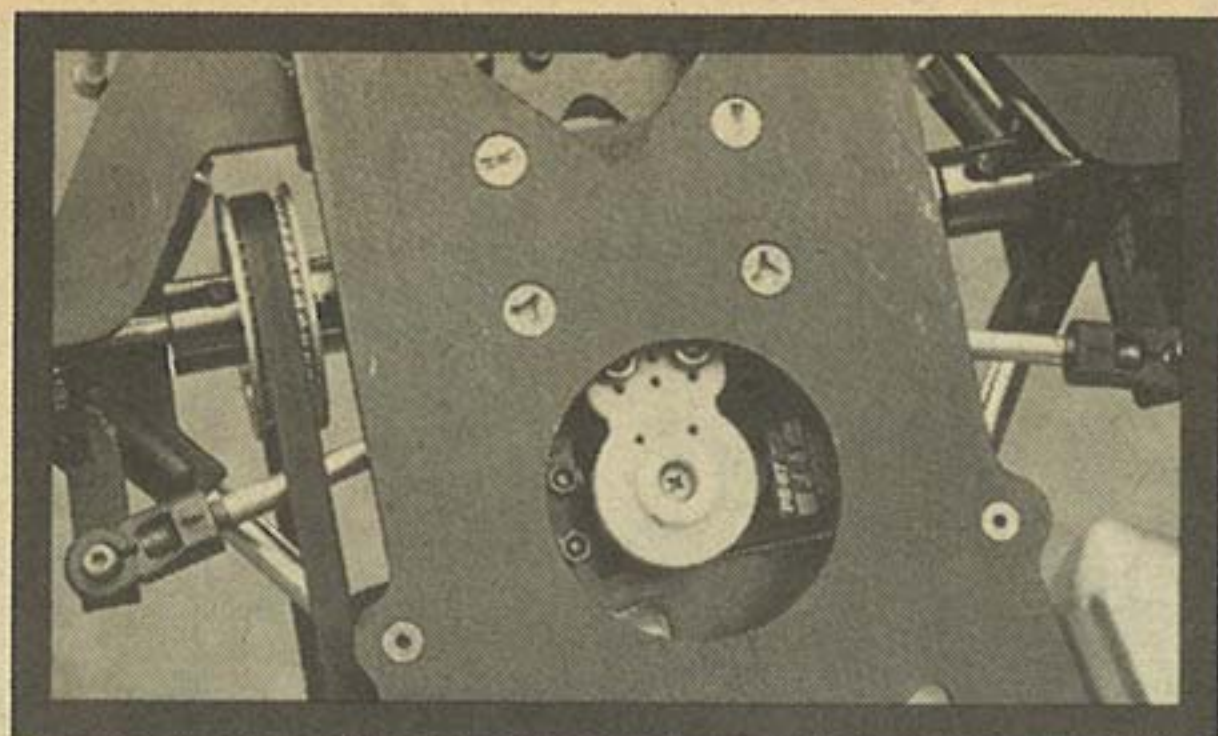


↑キット標準装備のφ2.3mmスタビライザーは、確実な効きを示す。



←エンジンはプロ1チューンのOPSを搭載。

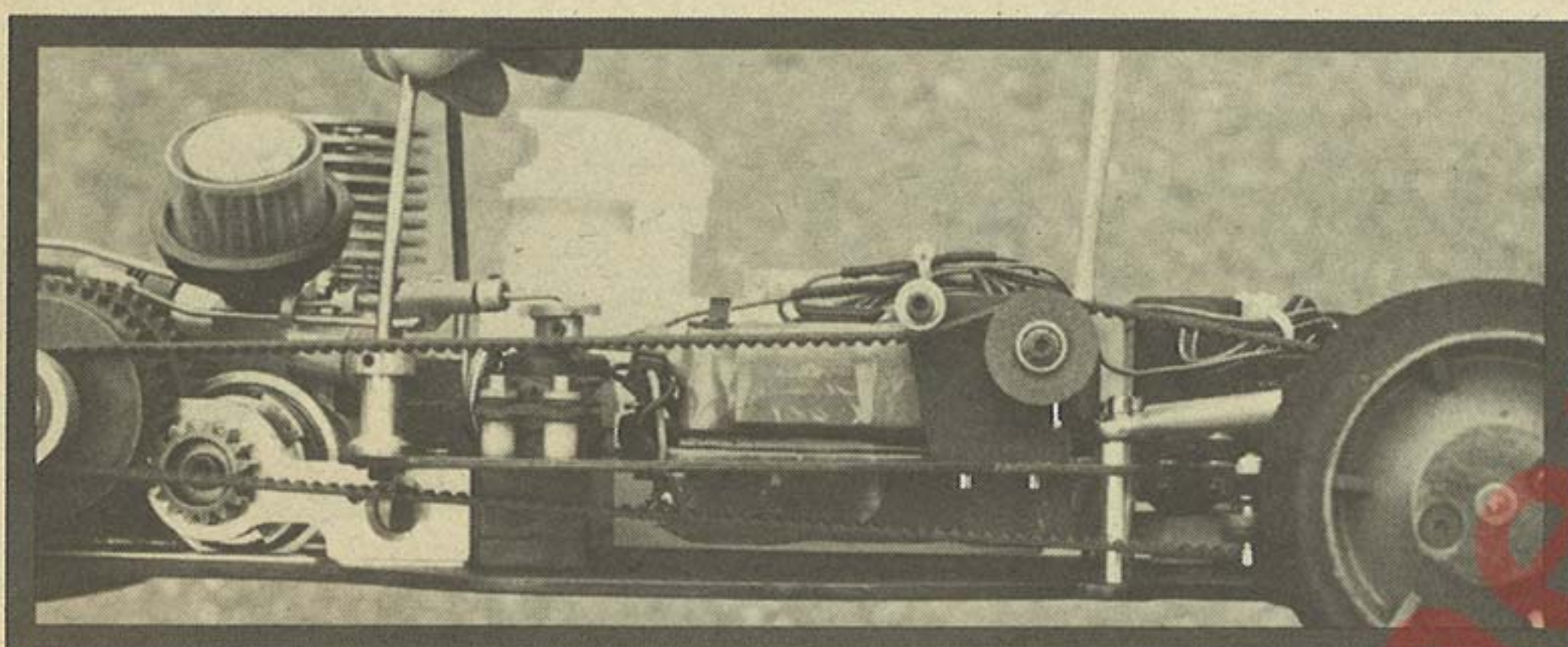
↑リヤダンパーは、キット状態よりも外側に取り付けている。



↑オプションのダイレクトサーボセーバーホーンを使用。

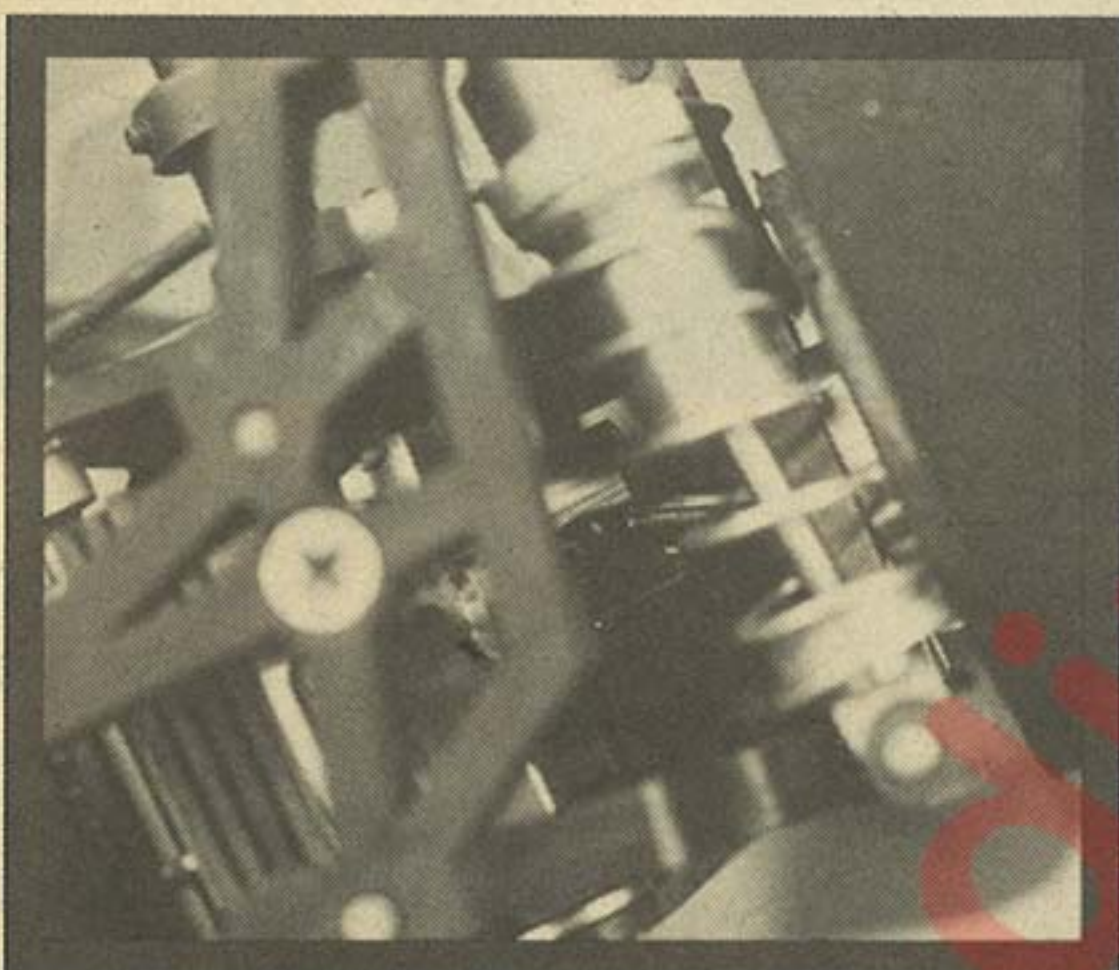


↑走行時は真剣そのもの。この姿勢が数々の優れたパーツ、シャーシを生み出すのだ。

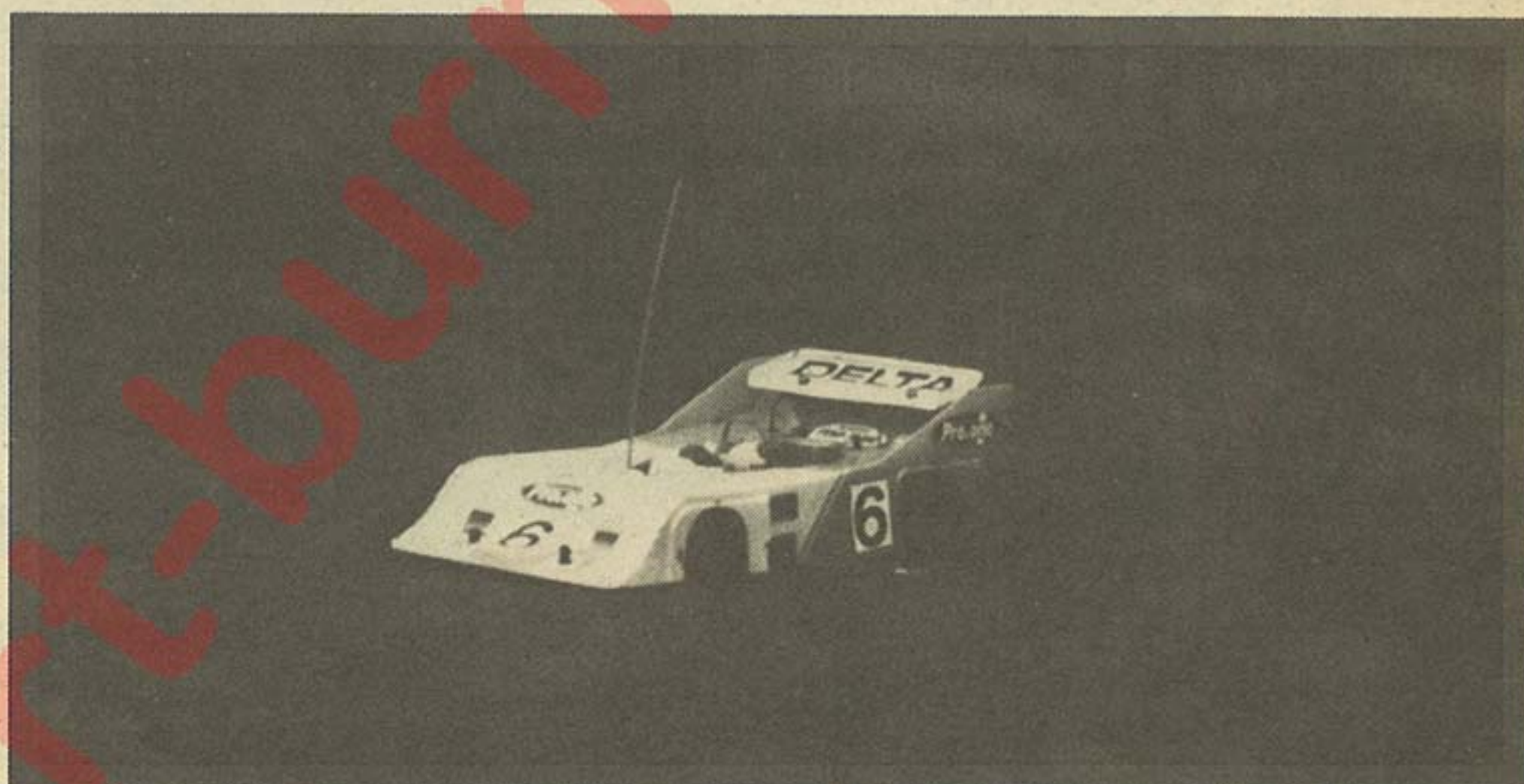


↑耐久性に優れたアメリカ・ユニロイヤル製のベルトを使用している。

⇒どのようなコース（サーキット）でも、ウイングは必ず装着して走行。



←新型のリヤ・ドッグボーン（ハーフシャフト）は、耐久性が向上している。



↑セッティングは、デフをかたくしめた立ち上がり重視にポイントをおいている。

るが、どちらでもよいと思う。ただエルフィンの方が少しくイックであるということからほとんどのP-4ユーザーがこちらを選択しているようだ。またエルフィンを使用しているのがデルタとアソシ・ユーザーのみであり、その他はみなローラT530系であるというのはおもしろいことだ。

そして今流行のウイングレスについてであるが、P-4ユーザーは今のところみなウイングを使用している。日本のレースはそのほとんどがワンデーレースで、当日のグリップは走ってみなければわからないのが現状だろう。そんなときに、ほんの5mmか10mm動かすだけでセッティングが微調整できるウイングはとても便利だし、もしそれが無い車はスタート前の2、3分間でどれだけの対処ができるだろうか。ウイングレスが多くの特長を持っているとしても、このウイングの持つ便利さを上まわることはないと思う。

最後に、今シーズンJRCCでは松本清悟選手（横浜チームフライレーシング）がなみいる強豪を相手に第3戦、第4戦と連

勝している。彼は純然たるアマチュアレーサーだが、わずか2年たらずのRC経験のためか、常に練習を怠らず、きちんと車を整備することを重視している。これは敬服に値するところだが、きちんと整備すればトラブルは確実に起きにくくなり、ドライバーの要求に応じてくれるのが特徴のデルタP-4によるところも大きいに違いない。キット価格は高いが、ベストの状態を維持する容易さと、自然消耗してしまうパーツの少なさは世界最高であると言えると思う。

ここで紹介しきれなかった細かなセッティングについては、ワンオーワンに問い合わせただけであれば、適確なアドバイスが受けられるはずだ。また私もアメリカからの最新のP-4の情報をワンオーワンを通して、みなさんにお伝えすることができると思う。そのようなアフターサービスも、P-4でレース活動をするひとつのメリットと言って良い。（橋本明久）

ロディー・ローム in JAPAN

●1985年の1/8エンジン・レーシング世界チャンプのロディー・ロームがニュー・カーをひっさげて来日したので、紹介しよう。



ニュー・カーを探る!!

インタビュー

石神純一

—— 良くいらっしゃいました。久しぶりの日本だと思いますが、確か2回目ですね。ロディー ハイそうです。前回(1985年、第5回世界選手権大会・東京デイズニード)は大変良い思い出になりました。あのときは大変お世話になりました。

—— 今回は、バンコクでレースに出て、香港をまわって東京にいらしたようですがその目的は？

ロディー ニュー・カーのキャンペーンです。バンコクではレースにも出ました。まったく新しいサーキットができていましたよ。日本では、レースを主催して日本のレーサーと親睦を深めたいと思います。

—— 確か5月15日にSPLでレースを行なうんですよね？ 私は残念ながら他の用事でレースには出られませんが、みんな楽しみにしていると思います。

ところで、最近のヨーロッパのレース事情はどうですか？ 特に専門の1/8レーシングについてお聞きしたいのですが？

ロディー ヨーロッパでは、レースがとてもポピュラーになって、ますます盛んになりつつあります。1/8レーシングでも、サー

キットが増え、レースの数は増える一方です。

—— ヨーロッパにおける1/8ドライバーの数は？

ロディー そうですね、正確にはわかりませんが、だいたい1万人くらいだと思います。ヨーロッパではクラブ組織になっていて、その数は無数です。

もちろん他のRCカーも盛んで、特に1/10オフロードは年少者に人気がありますが、主体は1/8レーシングだと思います。

—— 日本でもサーパントの人気は大変なものがありますが、ヨーロッパにおけるサーパントのシェアは？

ロディー 私の口から言うのもなんですが、75%は下らないと思います。

—— 大変なもんですね。

さて、本題のニュー・カーですが、まず開発の目的は？

ロディー いろいろありますが、前の車の開発から6年がたち、少しずつ改良を続けてきたのですが、さらに良くするために、全体を見なおしたわけなのです。まず現在の車の欠点を改めること、よりシンプルに

直撃 インタビュー!!



すること、耐久性を高めることが目標でした。

—— 具体的には？

ロディー 前の車は当初、4独車として開発され、その後4駆の機構を追加したわけで、細部の点で問題が残りました。まずドライブトレインのデザインやシャーシのバルクヘッド、サスアーム、スイングシャフトなどです。また、レースにおける経験なども、当然盛り込まれています。

—— サーパントのニュー・カーは今初めて見るのですが、以前の車に比べてずいぶんシンプルになっていますね。

ロディー はい、その点も大きな目標でした。シンプルであるということは、レースにおいて良い結果をもたらします。

もっとも大きな変更点は重量です。キットは、2500gになるようにデザインされていますが、これは最低重量の規定にピッタリです。アメリカなどではもっと軽い車もありますが、現実的には大変高価なものになってしまうようです。しかもレースでは、逆にバラストを積むなど、無駄も生じてしまいます。その点このニュー・カーでは、キット状態で2500gにおさまります。

—— この車はロームさんの車ですが、なにか特別なパーツを使っていますか？

ロディー いいえ、私たちはレース活動をする上で、特別な材質とかスペシャルパーツは使いません。それがもっとも良いこと

だと信じていますし、結果を見ても何ら問題はありません。

—— もう一度ニュー・カーに戻りますが、主な変更点は？

ロディー 外観的に大きく変わったのは、前後のオイルダンパーです。コイルオーバータイプになり、スプリングの調整が簡単かつ正確になりました。それと、ドライブトレインのフロント系が右側から左側に移り、タンクがキャブレターに近づきました。これにより、左右コーナリング時のタンク液面変化の影響が少なくなります。

—— サスアームなども形状変更されて、

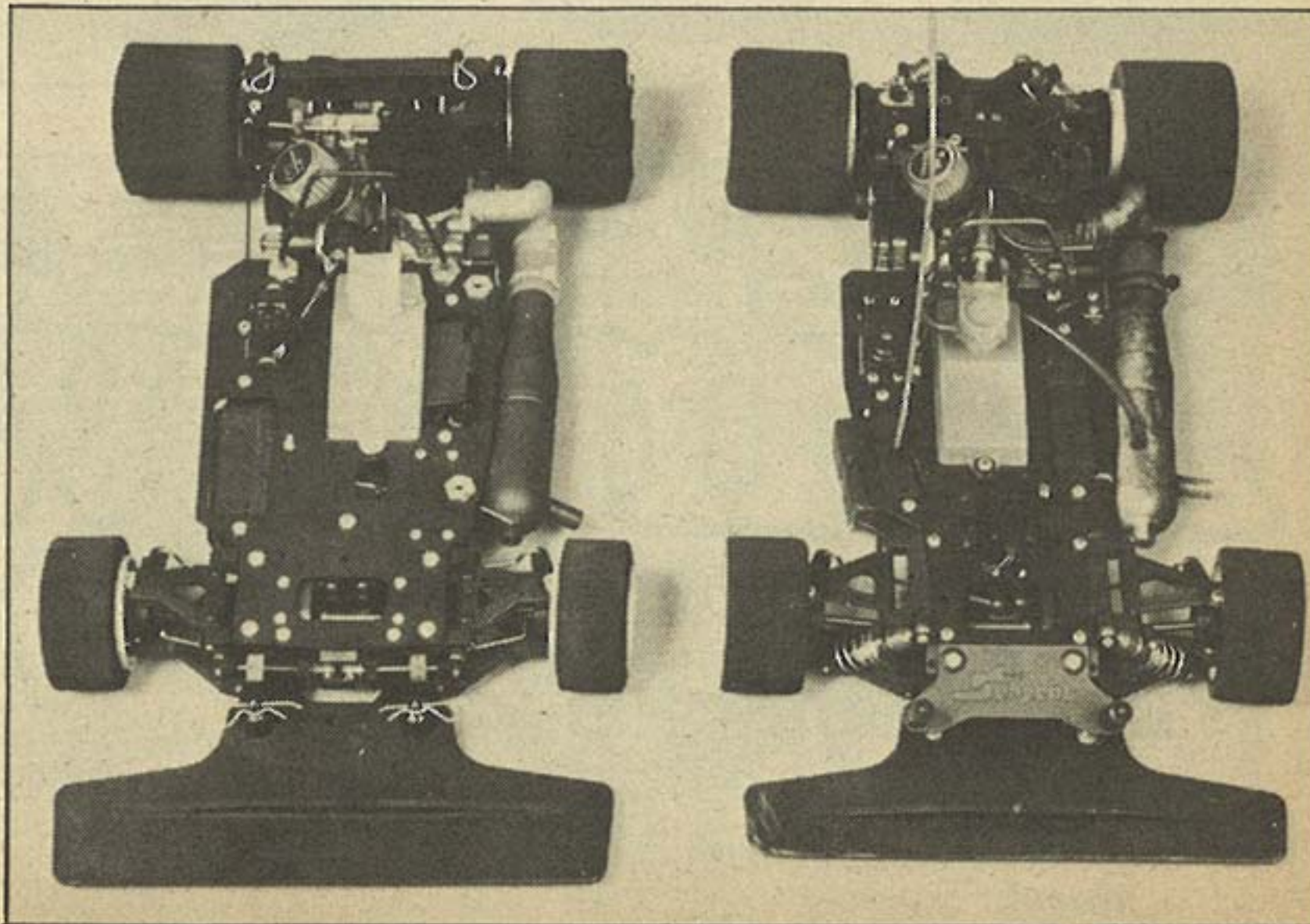
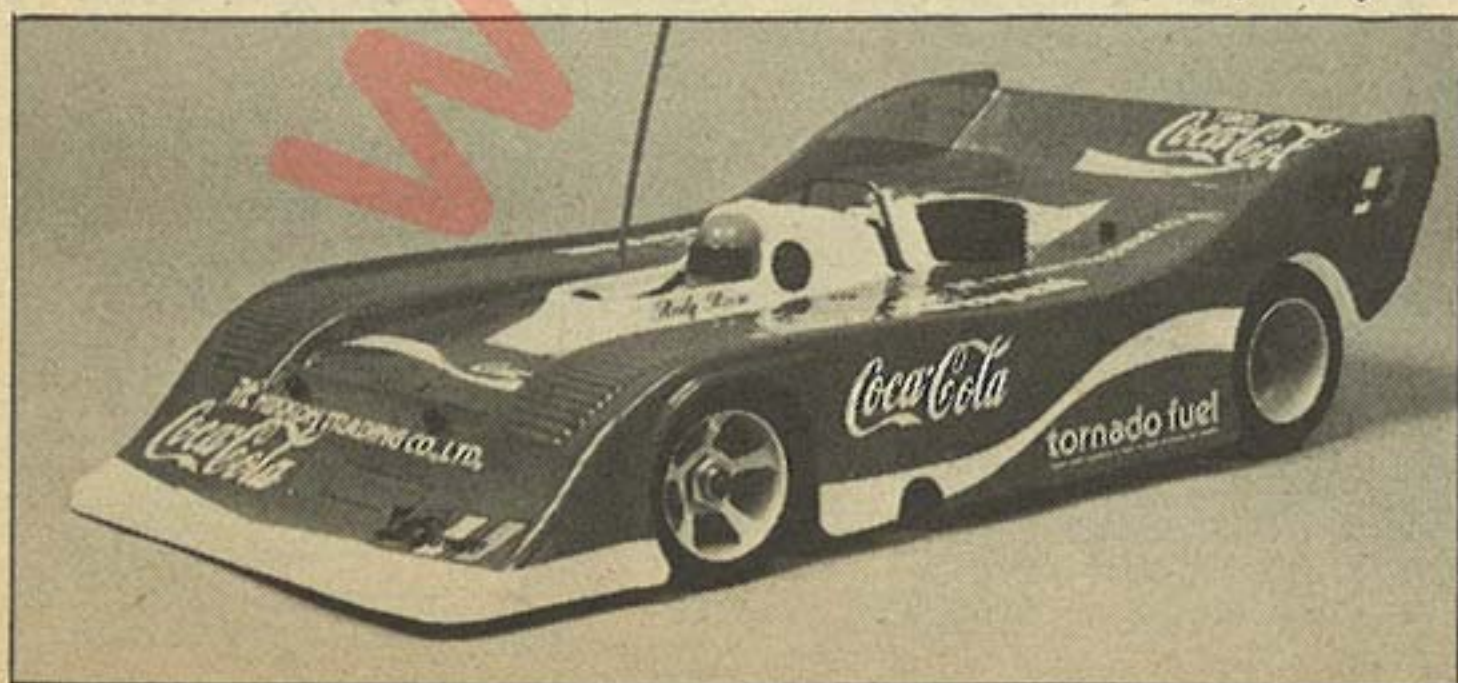
うすくなりましたね。強度的にどうですか。

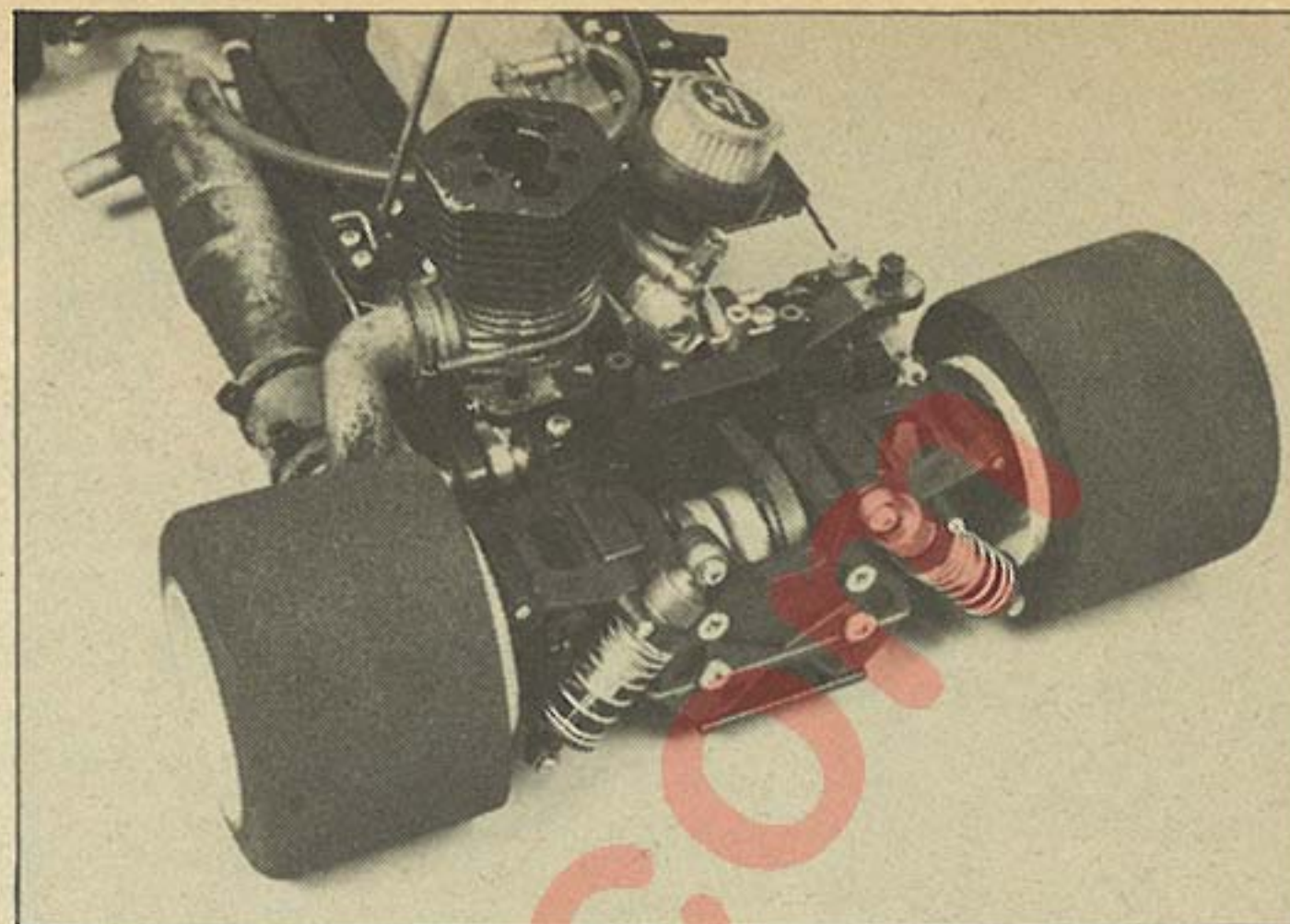
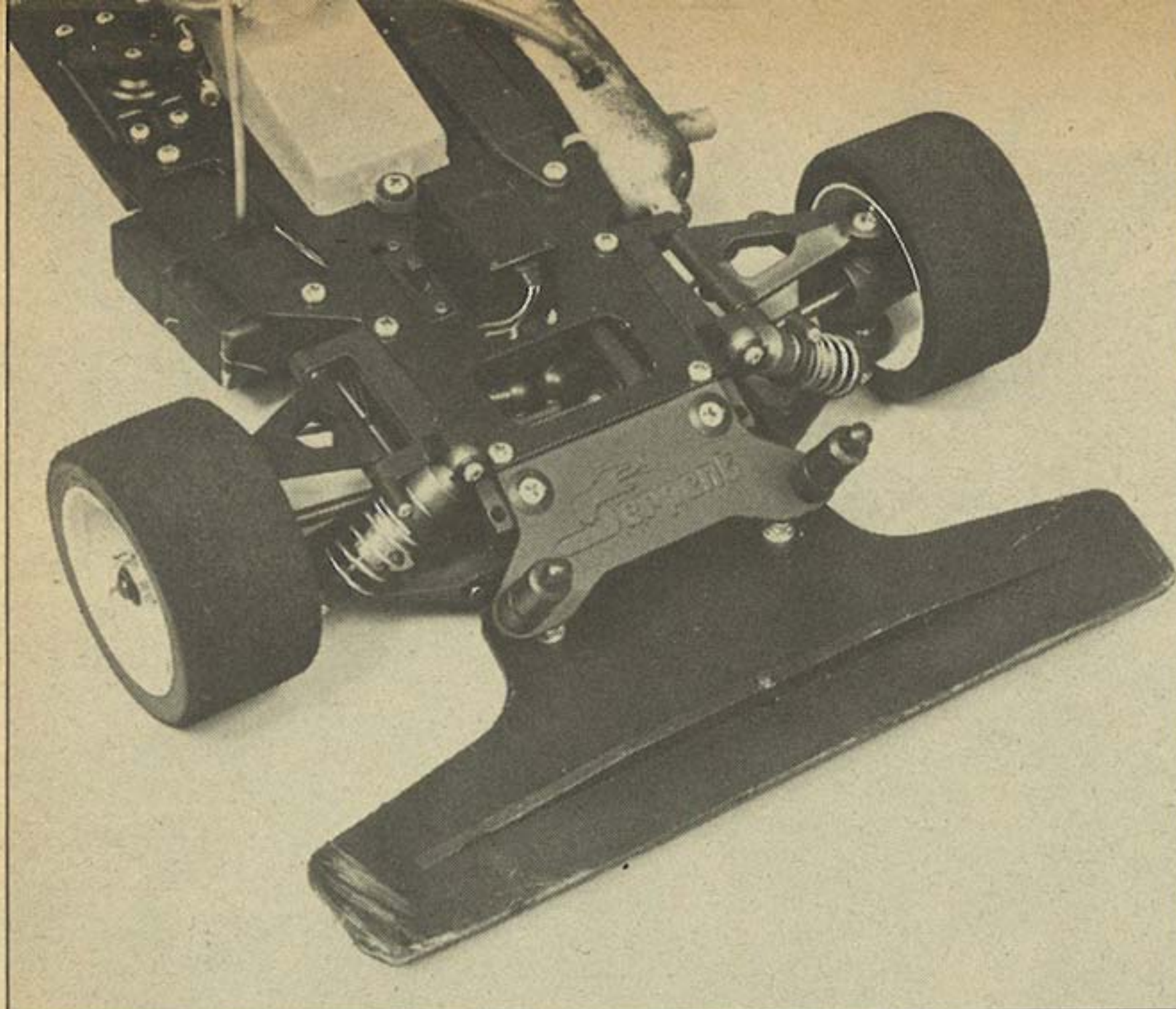
ロディー その質問は良くうけます(笑)。大丈夫です。テストを繰り返していますが、問題ありません。形状とともに、材質も変更してあります。

—— スイングシャフトが両端ピンタイプになりましたが、これはどういう理由ですか？

ロディー 以前の六角ヘキサゴン・タイプでは、新品のときは良いのですが、30分を過ぎるとやや甘くなり、トラブルもおきました。この点ピンタイプは、まったく問題がありません。

→左がサーパント・クワトロ、右がニュー・カーの外観。大きな変更点は、オイルダンパー。ボディは、ここ数年ローラT530を使用している。カラーは赤/白のコーク・





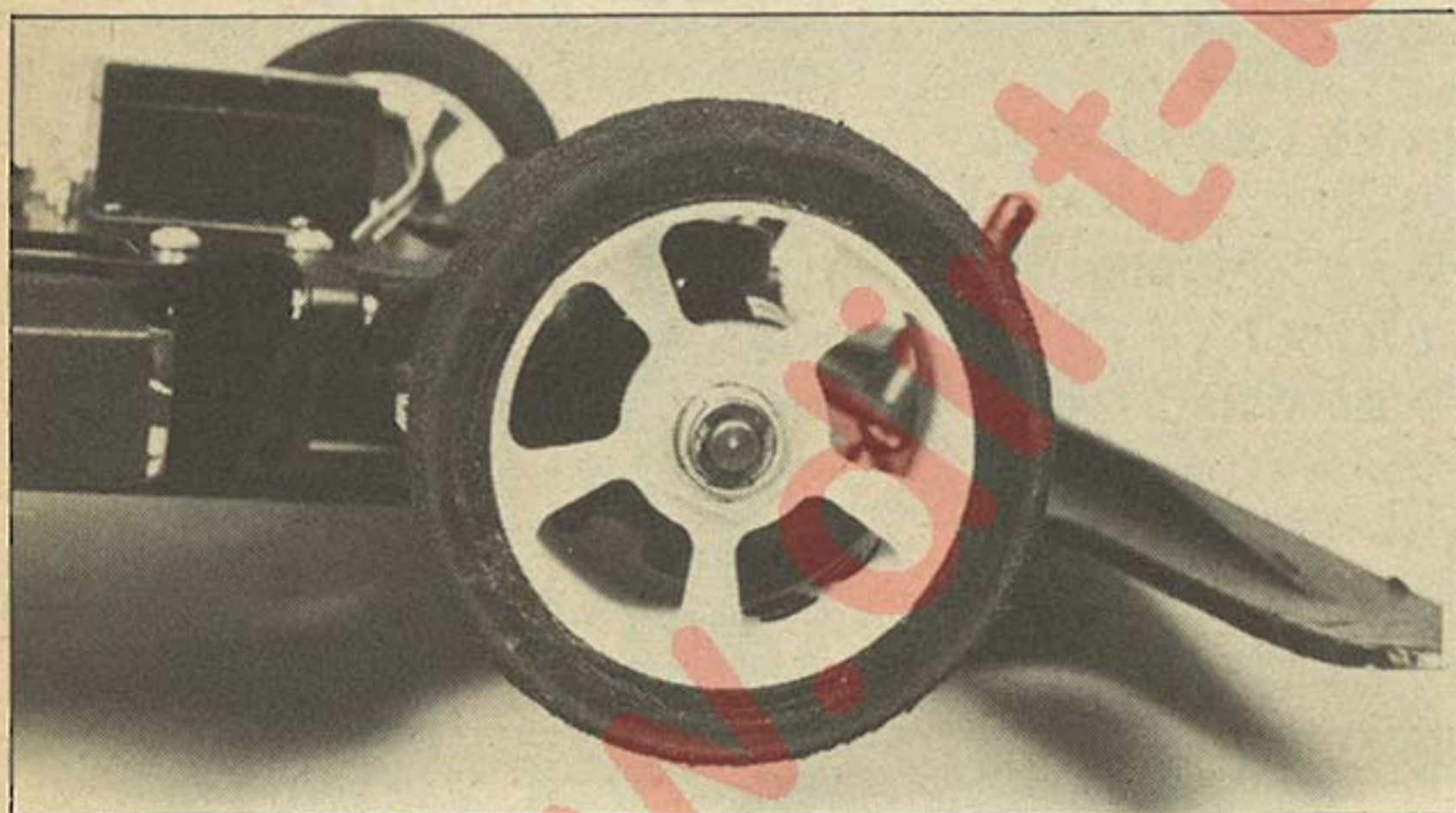
↑リヤダンパーの取付方法は、リヤバルクヘッドとロアアームにセットされる。

←プレッシャータイプのダンパーに変更され、サスアームも形状・材質ともに変更。

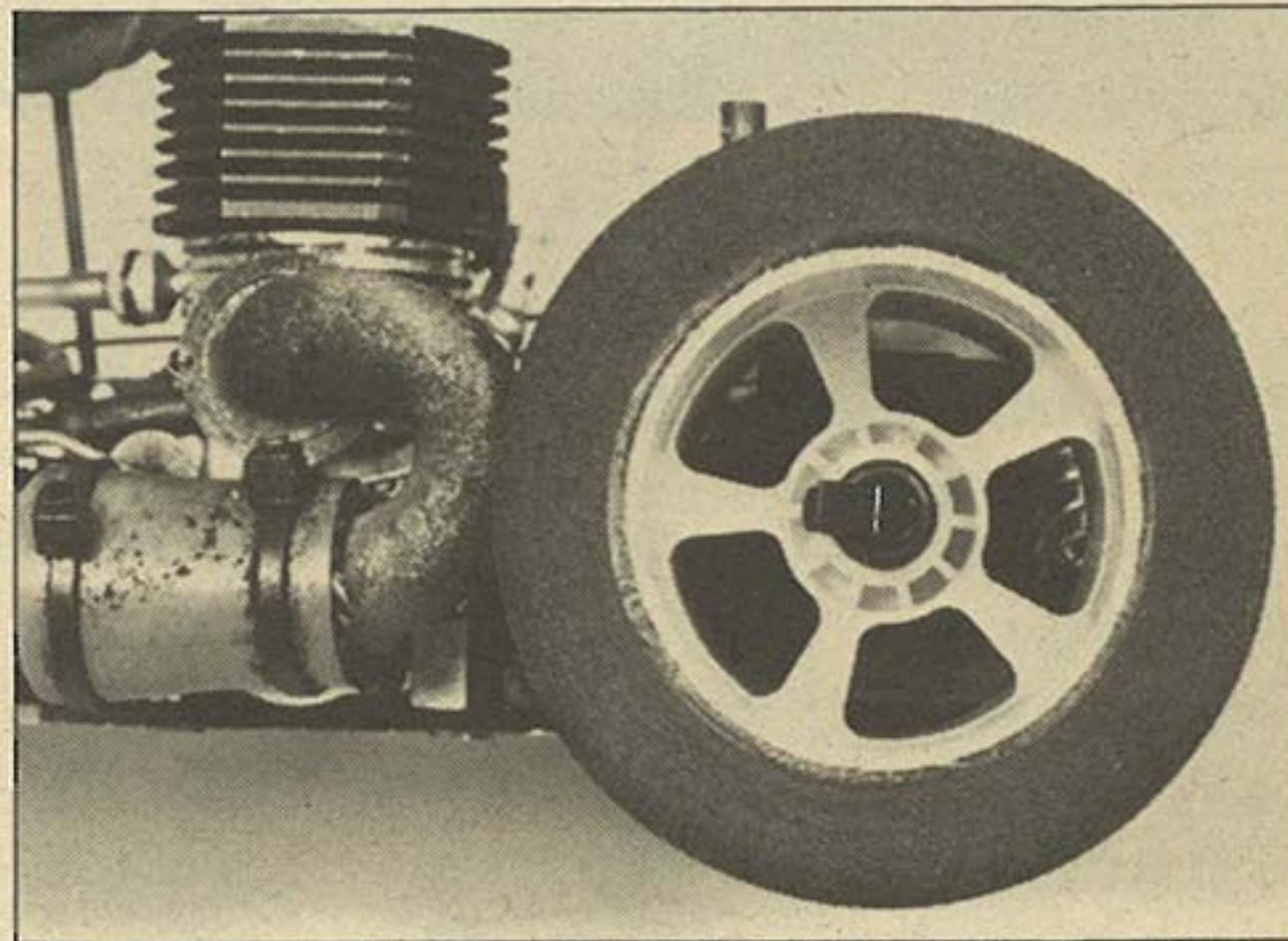
—— ホイルも新しくなりましたね。
ロディー ええ、強度アップと軽量化のためです。サイズは同じですが、フロントホイルの穴径が1mm大きくなりました。
—— 次にSパワー・エンジンについてお聞きしたいのですが、Sパワー・エンジンの開発の目的は？
ロディー 私たちは長い間、OPSエンジンを使用してきましたが、車用のエンジンとして専用のものがはしくなったので、ロッシ・エンジンと協力して造り上げました。キャブレターやエンジンシャフトなども、車用に使いやすくなっていると思います。

—— 来年、 $\frac{1}{8}$ レーシングの世界選手権がオランダで開かれますが、どこで行なわれるのですか？
ロディー レースは我々のホームコース、会社（サーパント社）の近くで開かれます。1周が275mで、ラップタイムは17.268秒が最速です。良いオーガナイズができると思います。
—— さて、ニュー・カーのセッティングについてお聞きしたいのですが？
ロディー 基本的な考え方は一緒です。キチンと組めば走ります。ダンパーのオイルとスプリングの固さによって、性格が変わ

ります。キットの状態をミディアムセッティングとすれば、スプリングを固くしていけばグリップは弱くなり、軟らかくしていけば強くなります。ダンパーオイルも同様です。
—— 車高の調整は？
ロディー まず裸のホイルをセットして、平らな面の上でシャーシが平行になるようにします。高さは1mmが基本です。
—— 日本では、タイヤ径によって変えるのが普通ですが？
ロディー 私は変えません。サスペンションの働きが充分に必要ですから、動きを少



←デザインの一新とともに軽量化された、Fホイル。



←フロント同様に、ニュータイプが採用されたRホイル。

ニュータイプのホビーショップ 参上！ 愛と音楽と模型があれば……

Rainbow

ラジコン&プラモデル……レインボー

TEL 0462-29-4929

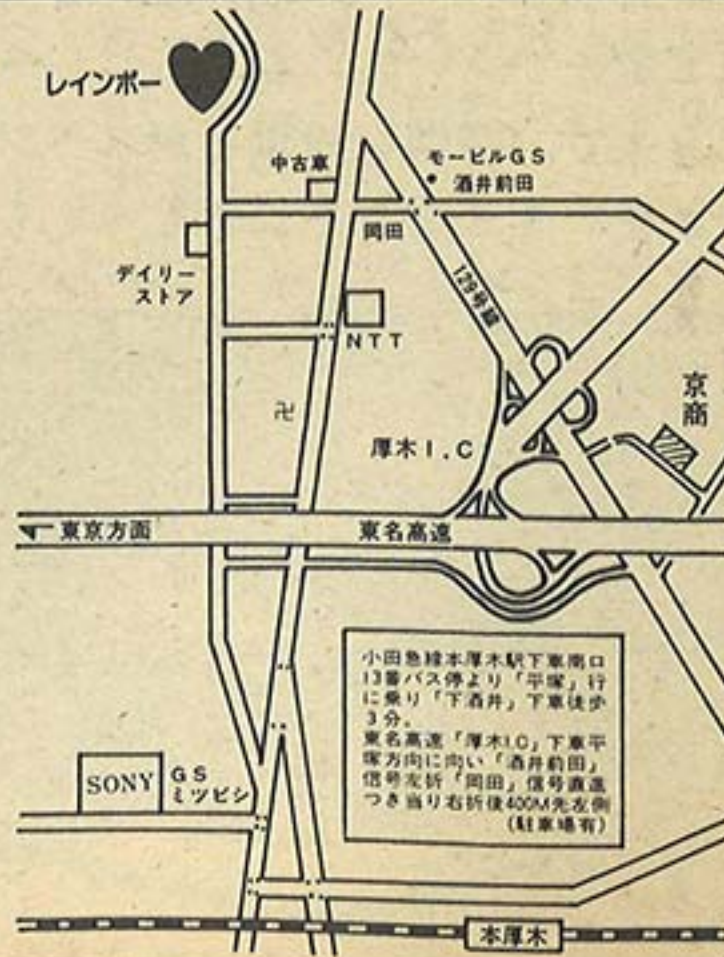
FAX 0462-29-4892 店長：砂原正章

〒243 厚木市酒井2087-10

営業時間：AM12時～PM8時 定休日：毎週火曜日

京商サーキット
に一番近い
お店です！

練習走行やレース参加のアトは
レインボーで楽しくおしゃべり。
どんどんひろがるRainbowの仲間達。



なくする方向にはセッティングしません。

—— 日本のサーキットは荒れた路面が多いので、シャーシが底つきしないようにするのですが？

ロディー 私たちのサーキットはスムーズ（フラット）なものが多いので別に気にしませんが、サーキットの問題は大変大きい部分なので、スムーズな路面でレースをすれば楽しいし、ファンも増えると思います。

—— 最近日本では、スタビライザーバーを固くする傾向があるのですが、その点はどうですか？

ロディー スタビライザーバーは、重要です。まず左右のサスペンションの動きを平均化できます。どのように調整しても、何パーセントかは左右で違ってきますから、スタビライザーによって同じ働きにするのです。スタビライザーバーはリヤよりフロントの方が重要で、調整はもっぱらフロントを行ないます。

私たちはいろいろなサーキットでレースをしますから、そのサーキットによって変更する部分はできるだけ少ないのが理想です。大体の場合は、フロント側の反応の調整です。

—— ボディは相変わらずローラ T530 ですか？

ロディー ええ今のところこのボディが一番良いようです。何年かずっと使っています。

—— ロームさん個人のことをお聞きしますが、年間何回くらいレースをしますか？

ロディー そうですね、大体30レースくらいです。そのうち、大きなレースが20レースくらいですね。

—— ほとんど毎週ですね。

ロディー ええ、ご存知のとおりヨーロッパは地続きですから、いろいろな国へ行ってレースをしています。特に各国のグランプリレースは大きな大会です。エントリーも多いし、楽しいですよ。

—— ロームさんは自分の車は自分でメンテナンスをするのですか？

ロディー ええ、すべて自分で行ないます。

人によってはチームを組んでやる人もいますし、例えばシャーシのメカニック、エンジンのチューナーと組んで、自分はドライブ専門という人もいますが、私の場合は一人でやっています。その方がお金もかかりませんし、全部自分の責任でできます。

—— サーパントの社長『ピーター・ベルボー』氏はお元気ですか？

ロディー ええ元気です。彼はレーサーはやめてビジネスに専念していますよ。

—— そうですか。

また、ニュー・カーにもどりますが、この車はいつ頃発売されるのですか？

ロディー あと2～3週間はかかると思います。それから日本に送るのですから、日本のみなさんには1ヵ月半（7月初め？）あとくらいになると思います。

—— ニュー・カーについてのコメントはあ

りますか？

ロディー 一段と精度が良くなっていますから、どなたにも組みやすいと思いますよ。特に以前からのサーパントユーザーであれば、何ら問題はありません。まず説明書どおりに組んで、それから自分たちのサーキットに合わせると良いでしょう。調整法の基本はさっきお話ししたとおり、ダンパーの調整です。

—— タイヤのサイズはいかがですか？

ロディー そうだ、忘れていました。私の場合、後が83mm、前が73mmくらいから始めます。この状態が一応の基本です。

—— そうですか。

それでは、どうも長い間ありがとうございました。今後も活躍を願っています。

ロディー どうも。また日本へ来ることができて、大変うれしく思っています。



北海道札幌 No.1
話題の新製品も大特価!!
RCならやっぱりオーム!!
好評! オームのビッグサマーセール!!
(セットでお買い上げの方には万全のアフターサービスを保証します!)

ヘリコプター用
RCカー用
スペシャルから
オリジナルまで
パーツ1000点在庫

※オリジナルパーツ発売元
(株) オーム電機

◎駐車場完備30台可
田宮:サンダーショット

クルマからヘリコプターまで
RCならなんでも

特別価格品大量山積!

RCカー競技会毎月実施中!!

アソシエイト製品特約店

オーム模型オリジナル高性能レーシング用バッテリー

OHM RACING
7.2V
1200mA

変換アダプター
コネクター付
通販は現金書留で送って下さい。
①郵便番号、住所②氏名③電話番号
④希望商品名と数量 ⑤代金+送料
※送料は1個の時→350円 2個以上の時→700円

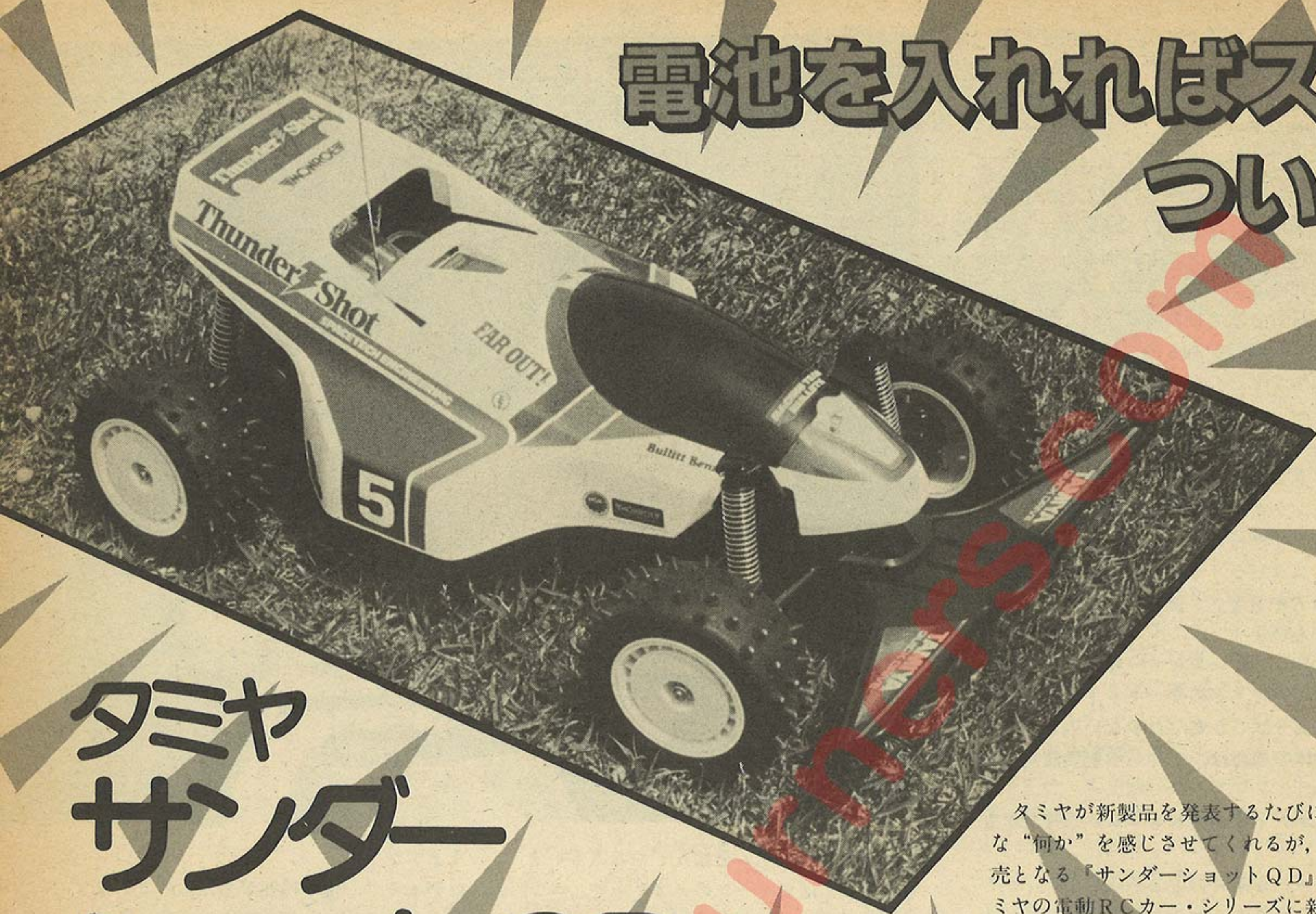
オーム特選バッテリー
(1700mA)
特価 ¥3,500

◎営業時間: 平日am10:30~pm8:30
休日am10:00~pm8:30
◎定休日: 第2・3火曜日

北海道模型専門店会加盟店
株式 会社
OHM MODEL
〒062 札幌市豊平区平岸3-14(平岸小前)
TEL (011) 821-1367 ★地下鉄豊国駅徒歩2分
Fax (011) 832-1223

◎1/20、1/24オームサーキット完成!! (コーボオーム2F) ●営業: 土、日、祭日10:30~18:00 ●料金: 会員¥200 一般¥500

電池を入れればスグ ついに



タミヤ サンダー ショットQD

タミヤが新製品を発表するたびに、新たな“何か”を感じさせてくれるが、今回発売となる『サンダーショットQD』も、タミヤの電動RCカー・シリーズに新たな1ページを加えるものだ。

クイックドライブシリーズのNo.1として発売されるこのモデルは、その名が示すとおり、すぐに走らせられる…ということを前提に設計されており、なんと完全組み立て済みの状態で発売されるというからおどろき。車のサイズは1/14というやや小ぶりで、トイRCカーに近い大きさだが、その性能は1/10スケールのマシン並みのものを秘めている。

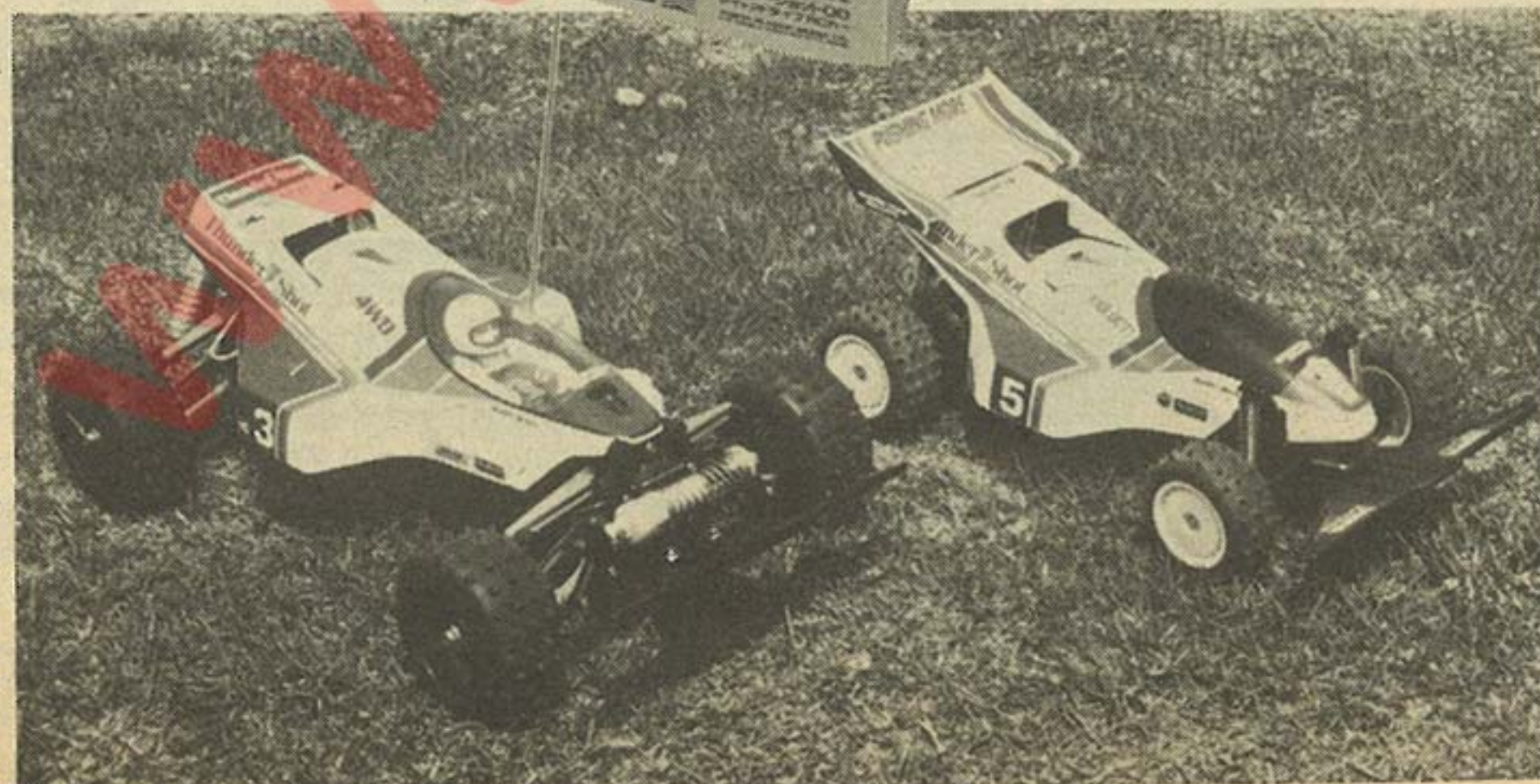
この“テ”のトイRCカーは一定のスピードしか得られず、また一定角度しかステアリング操作ができないものが多いが、このQDでは本格的なデジタルプロポを採用し、通常のRCカーと同じフィーリングで走れる。

またクリスタルの交換により、27MHz 1～6バンドを設定できるので6台同時走行も楽しめる。これならレースもできるので、“ナリ”は小さいが走りはいちよまえと言える。クリスタルはタムテックと同じものが使えるので、心配はない。プロポはアドスベックをそのまま縮小したホイラータイプのものが付き、なかなかその気にさせる。バッテリーは006P乾電池1個を使う。

ホーネットを小さくしたシャーシ

車の方に目を移すと、サンダーショットをそのまま小さくしたボディをまとった2

■タミヤから完全初心者ターゲットにしたお手軽モデル『サンダーショットQD』がデビューした。電池を入れればスグ走行可能だ。



↑これがサンダーショットQDのパッケージ。5月31日発売予定だ。

→サンダーショット(左)と比べるとひとまわりほど小さいのがよくわかる。

走る完全完成モデル タミヤから登場



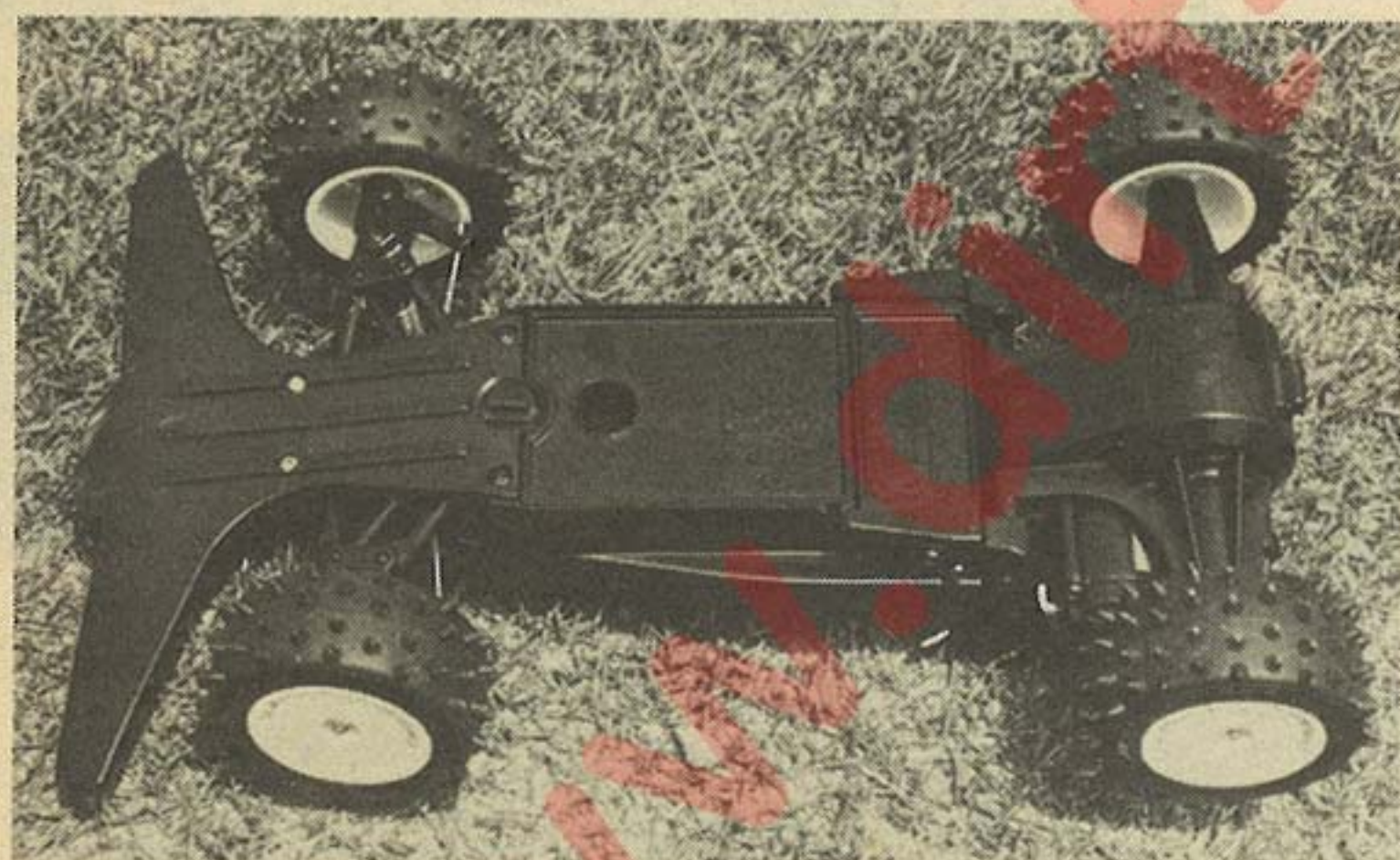
え、ヒートシンクをはさみ込むカタチにセットされている。スピードコントローラーは電子回路による前進2段、後進1段が採用されているが、これに合わせてプロポのトリガーもダッシュレンジが設けられ、変速のタイミングがわかるようになっている。

ドライブ系はそのシャーシのデザイン上、ホーネットのものに似ているが、外部のレバーによりカウンターギヤをスライドさせて、ローとハイの2モードのギヤレシオが選択できる。全くの初心者が初めて走らせるときはローレンジ、走行に慣れたらハイレンジをセレクトすれば良いだろう。

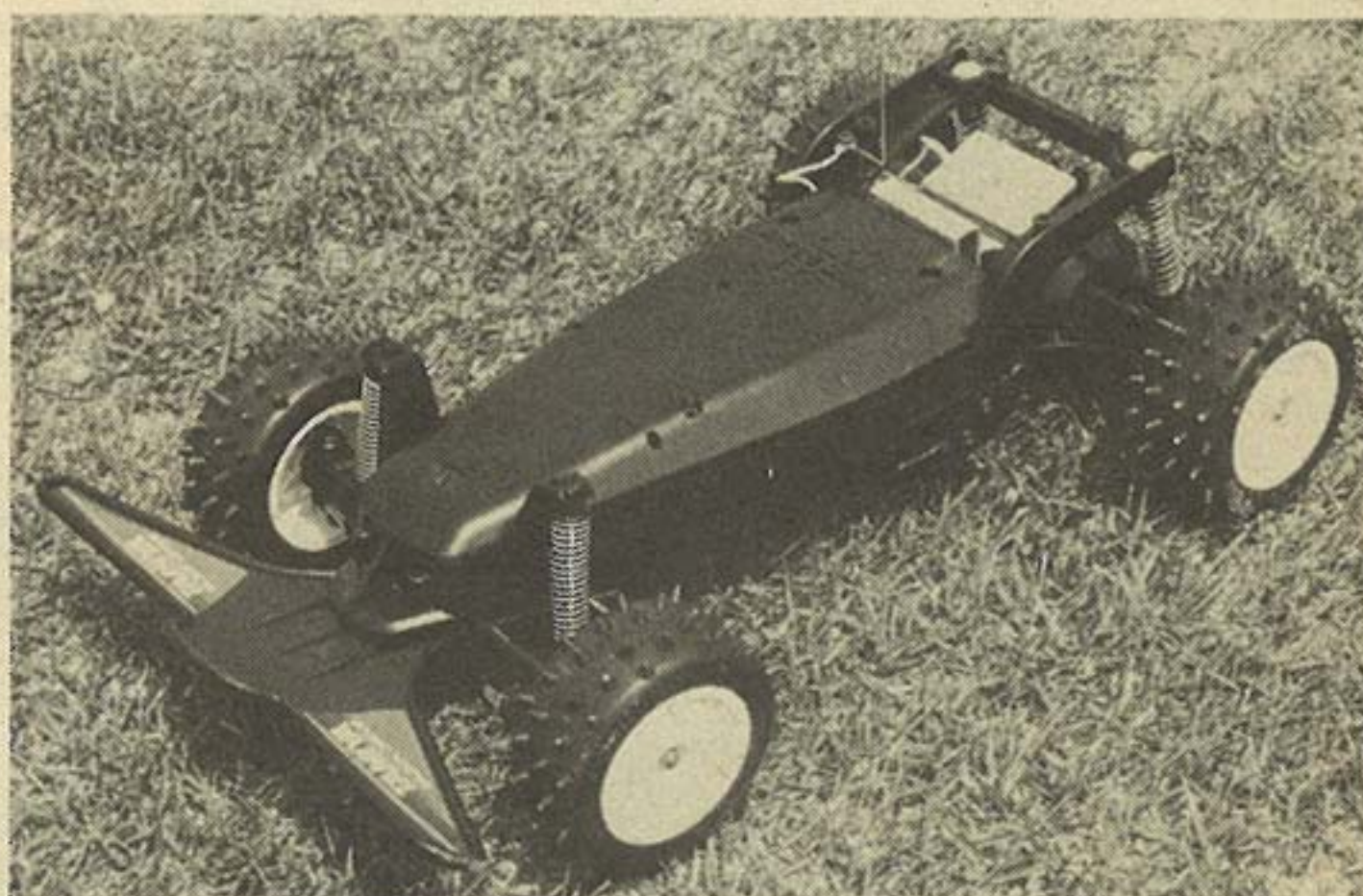
WDオフローダーとなっていて、基本シャーシはホーネットのものを縮小したようなデザインだ。樹脂製のバスタブ・フレームに、フロント・スイングアーム、リヤ・スイングリジットというサスが付き、まさしくホーネットと同じレイアウトである。ダ

ンパーはこの車の性格上装備されていないが、これで充分である。

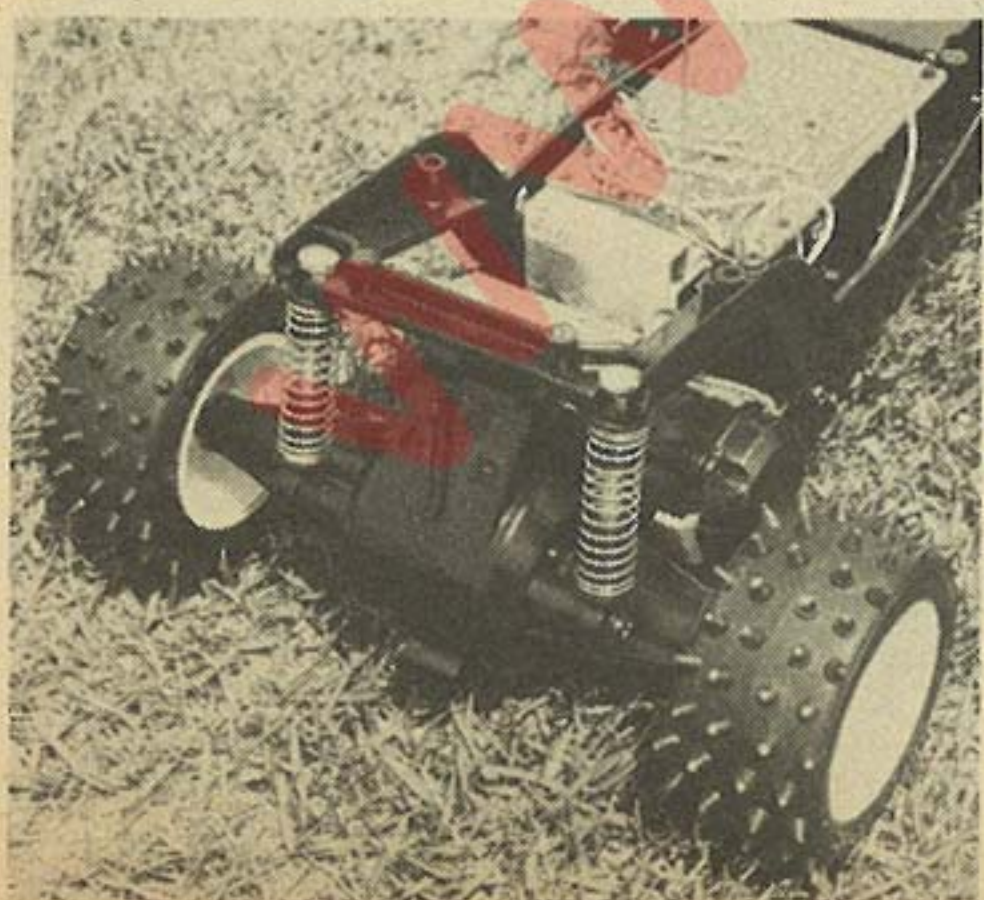
モーターは280タイプと思われるかなり小型のもので、基本的にプラスチック製カバー内に収まり、外からは分解できないようになっている。しかし、やはり放熱性を考



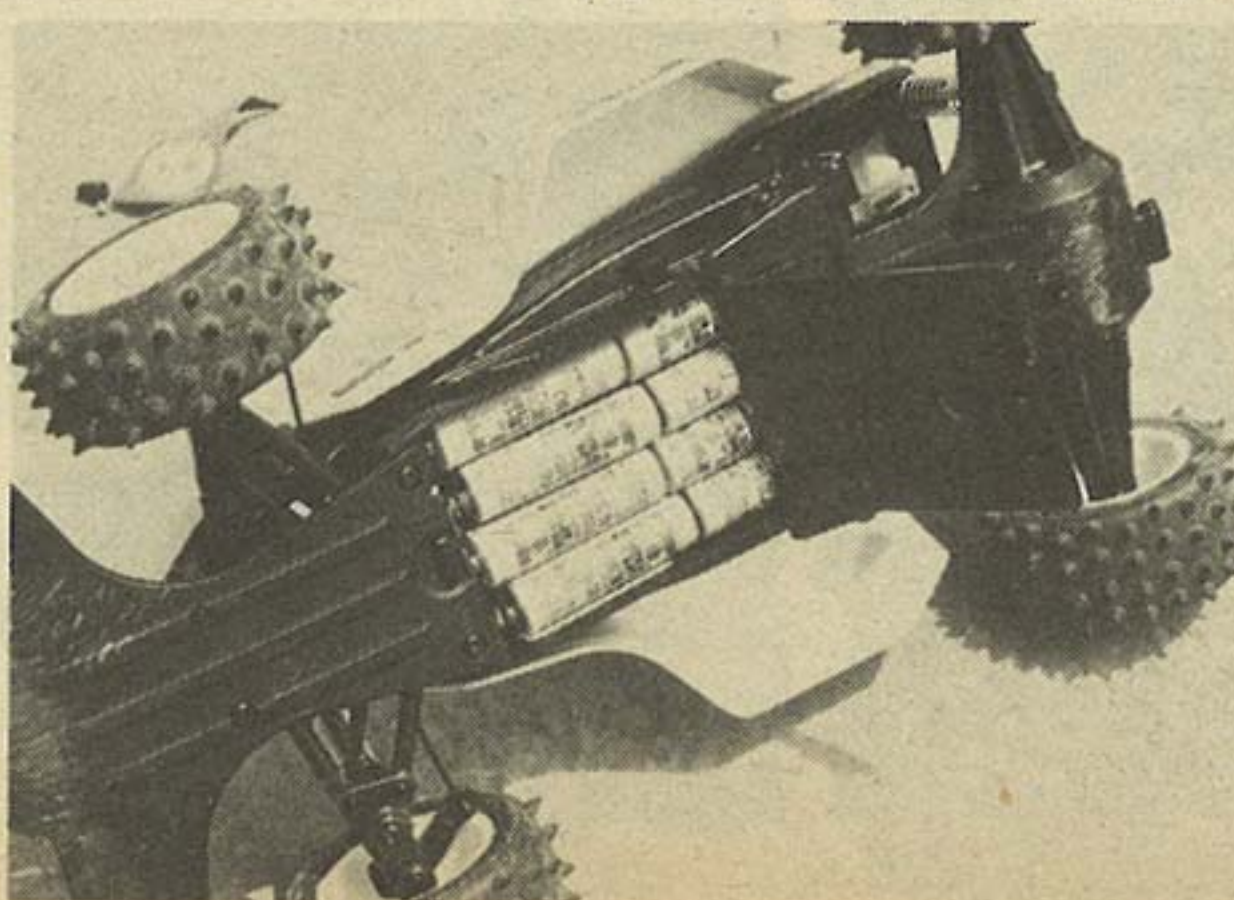
←ホーネットに似たシャーシ。バッテリーのマウント位置も同じだ。



←ブラ製のダストカバーがピス止めされていて、内部メカをガードする。



←リヤサスはホーネットと同システム。中央のレバーでギヤチェンジする。



←バッテリーは単3型電池を8本使用する。アルカリやニッカドも使用できる。

↓なんとウイングもキットに付くので、好みに応じて取り付けると良いだろう。



真のビギナーにうってつけ、ベテランの トレーナー用としても

毛利兼治

(田宮模型・企画部)

今までの1/10スケールのバギーにしても、1/12のレーシングカーにしても組み立てられない人がけっこういるそうですが、そんな人にQDを使っていただきたいと思います。ボディにデカールをはり、電池を入れれば即走行できるので、まさにクイックドライブそのものです。スペアパーツも完備していますので、みなさんにどんどん走っていただいて、テクニックをみがいて上級モデルにステップして下さい。

ど小さいので、体感スピードはそれ以上と言える。

また走行時間の長さもこのQDの特長で、アルカリ乾電池／ローレンジ時に約60分も走行できる。またニッカド時にはロー側で25分、ハイ側で15分の走行が可能となり、1/10モデルの約5～10分から比べると、2～6倍も楽しめるということになる。さらにアルカリ乾電池でもニッカドと同等のスピードが出るので、このへんはタミヤの技術の証明とも言える。

今回はタミヤ第2サーキットでテストを行なったが、ニッカド仕様のハイレンジでの走りは十分に速く、なかなか楽しめる。ステアリングも1/10スケールと同様のフィーリングで、ニュートラルステアな感じ。パワーもラフにかけるとなんとスピンしたりするので、けっこうパワーコントロールもシビアになったりする。これでレースでもするとけっこう“アツク”なりそうだ。

価格はプロポ付きて、9,980円！

バッテリーは単3を8本使用！

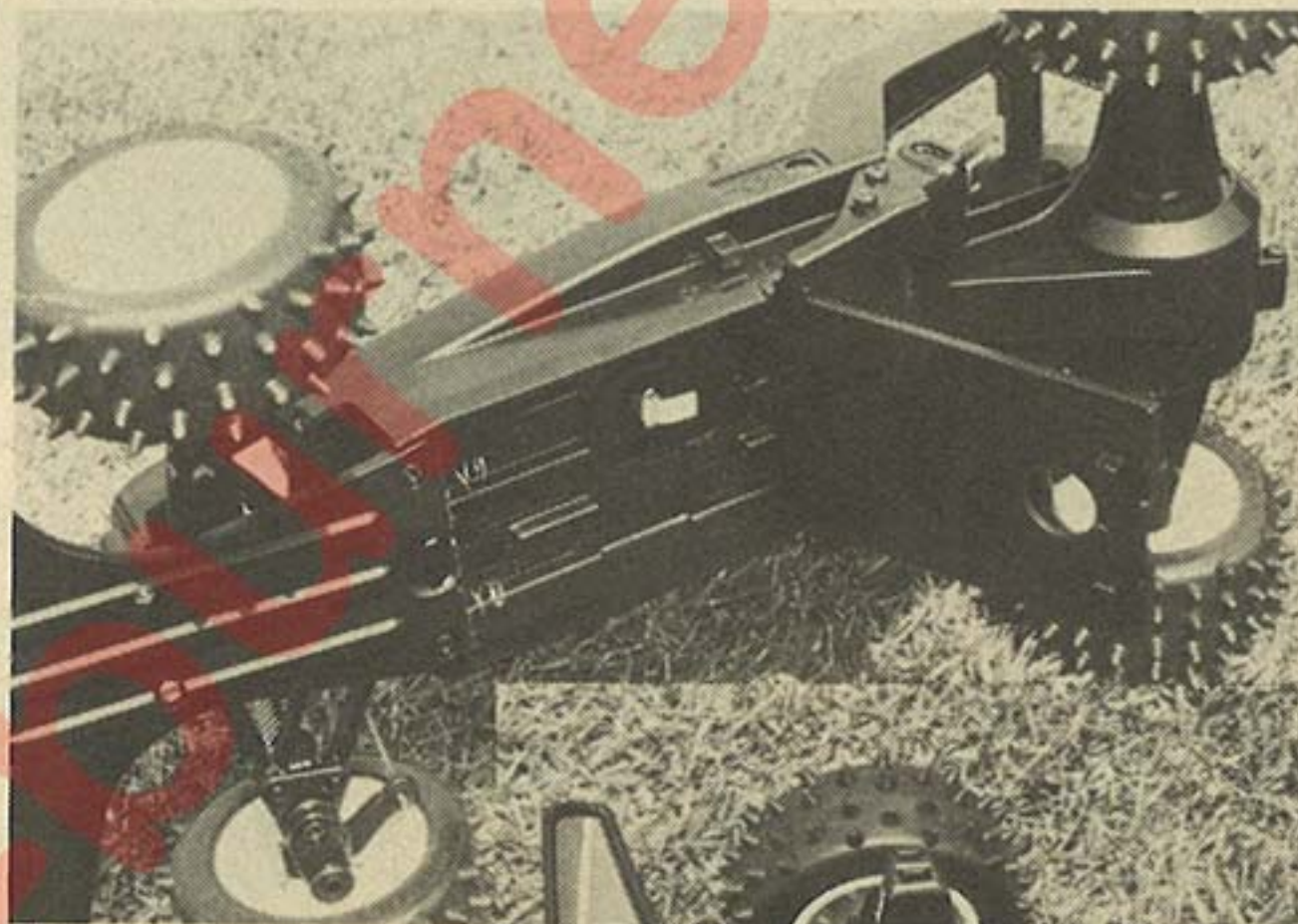
走行用バッテリーは単3型乾電池を8本使用するが、同サイズのニッカド電池も使用可能だ。当然ニッカドの方がパワーも出るの、ギヤをハイレンジで走行させると、

トップスピードはストック状態のグラスホッパー（RS380Sモーター仕様）と同レベルになる。当然車のサイズがひとまわりほ



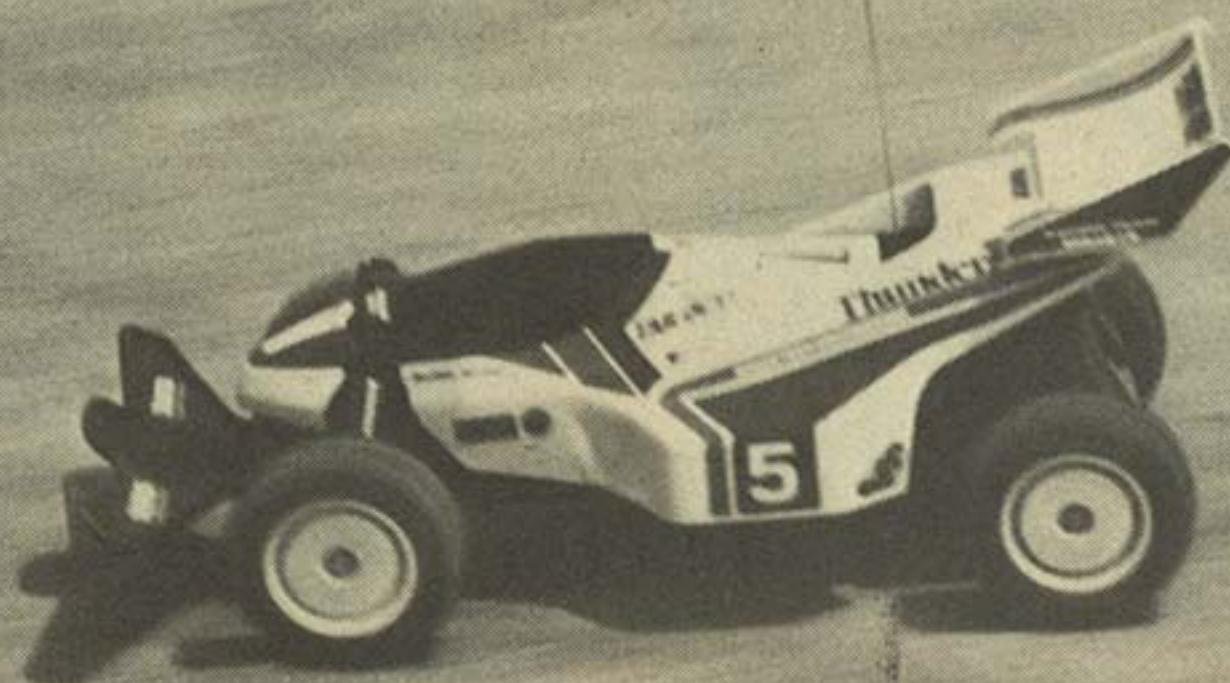
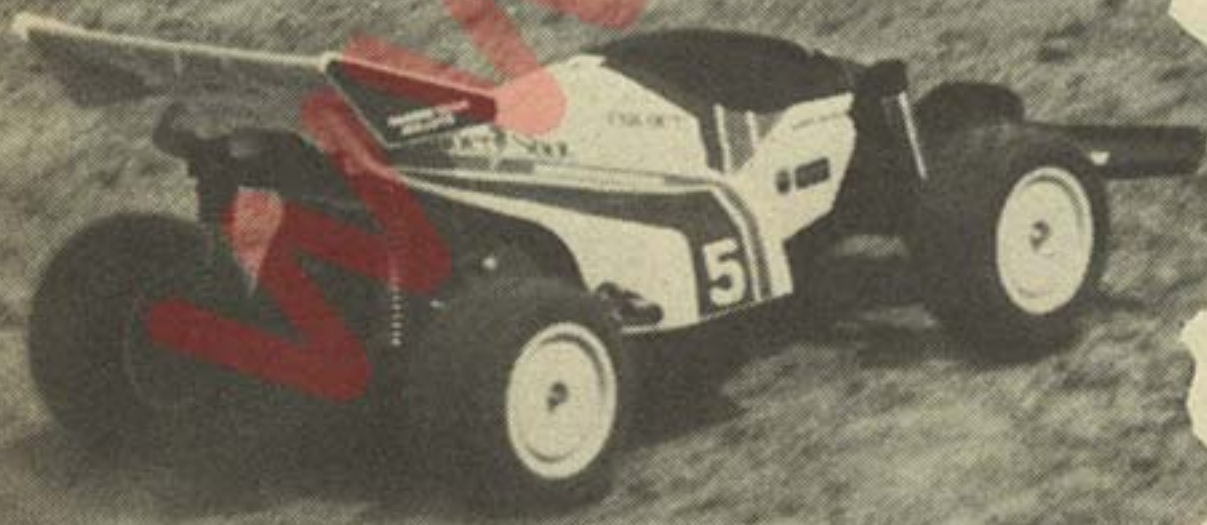
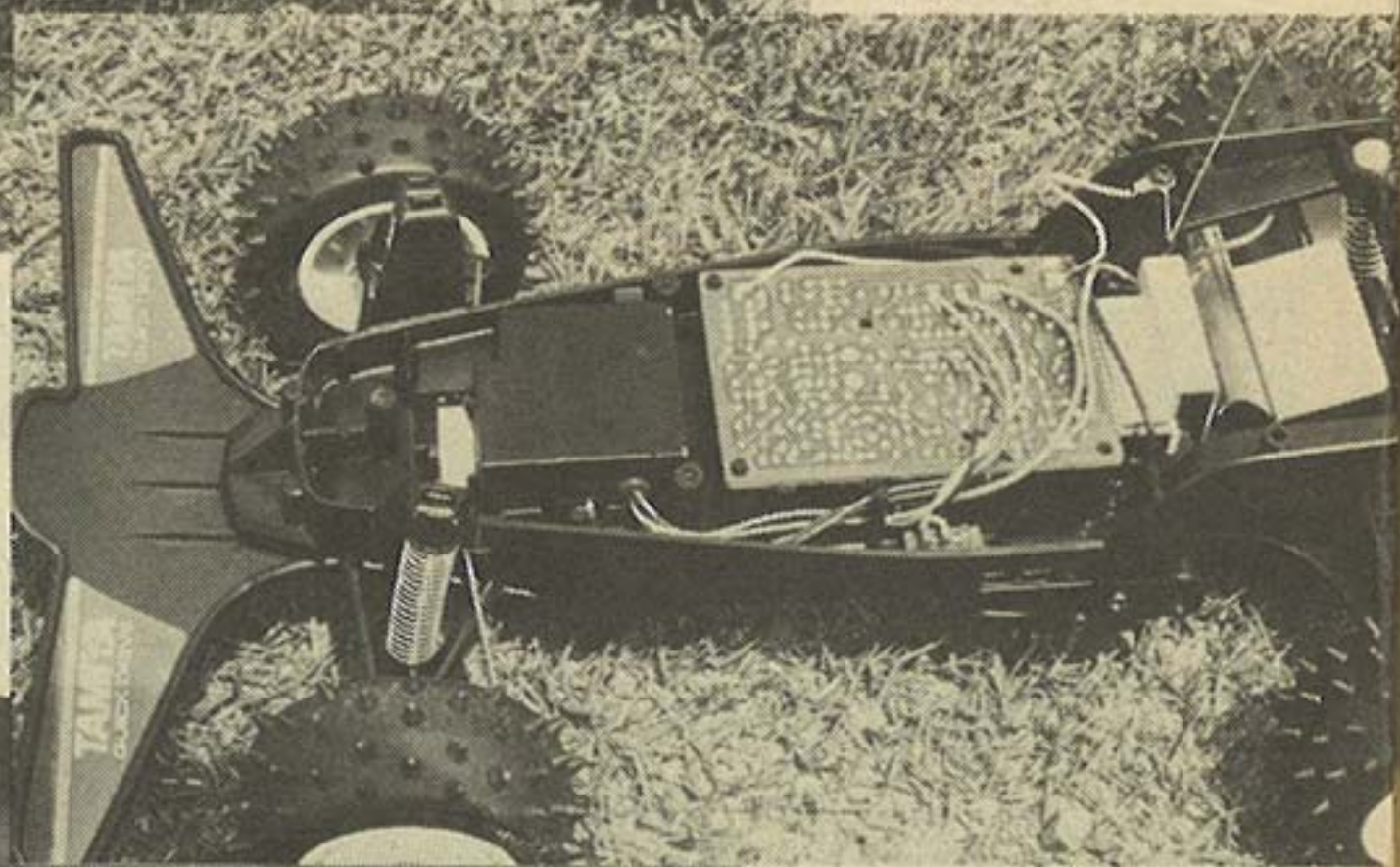
←プロポはホイラータイプ(左)。アドスペックと比べるとかなり小さい。

↓走りはなかなかキビキビしていて楽しめる。ちゃんとスピンもする本格的な走りだ。



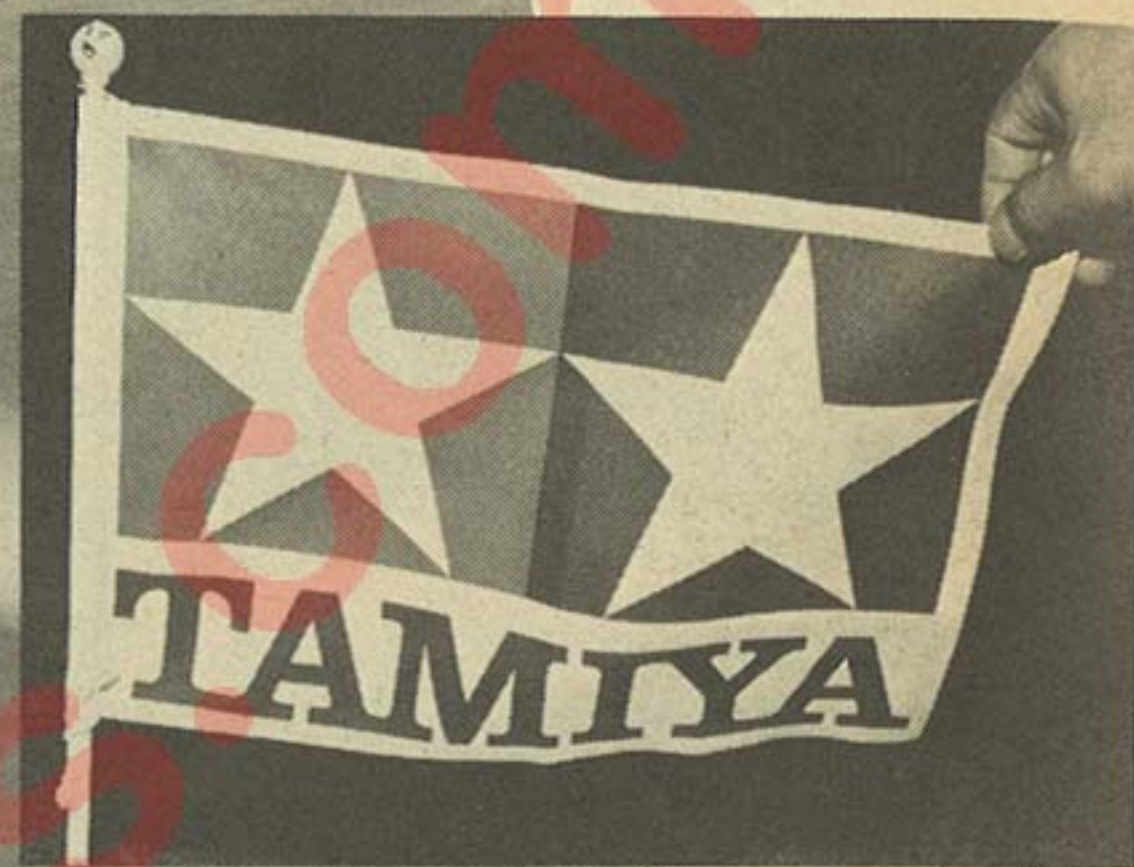
←車側のクリスタルは、バッテリーの下にはいる。タムテックのものと同じだ。

↓スピードコントロールとサーボがシャーシ内に収まる。サーボセイバーも付いている。



開幕!

タミヤ F-1グランプリ in 青山 (雑誌社対抗レース)



出足快調!

ワン・ツー・スリーで決めたゼイ!

■まいどおなじみの“青山F-1GP”に、
いつものようにエントリーした我らチーム
スパマ。前代未聞の9カーエントリーでい。

エッファングランプリッ、インナオヤ
マ!

大〇「F-1グランプリも88シーズンの開幕戦をむかえました。みなさんこんにちは、実況の大〇和彦です。今日はタミヤF-1グランプリの模様を、東京・港区青山のホンダウェルカムプラザ裏の特設サーキットからおとどけしましょう。解説はモータージャーナリストの今□純さんです。今□さん、今年もいよいよ開幕ですね。」
今□「はい、タミヤF-1グランプリはこの青山を舞台にくり広げられるのです。このサーキットは非常にグリップが良くなく、各チーム、ドライバーとも苦戦しているようですので、いかにグリップさせ、いかにおさえて走るかにかかっています。」

大□「なるほど。それではピットからの情報はこの人です。日本のレーシングカーの開発にたずさわってます、ノ×エンジニアリングの△脇基恭さんです。」

△脇「ハイ、△脇です。大〇さ～ん、実は僕自身おどろいたことがひとつありましてですね、チーム・スーパーマシーンが大挙エントリーしているんですよ。これはもう、意気込みはモノスゴイですね。去年チャンピオンをとり逃しているだけに、気合いがちがいますよ……。」

……といつものようなノリで始まる(かどうかは知らんけど…)のが、タミヤF-1グランプリ。今年は青山で全4戦が予定されていて、もちろん我々も全戦エントリーあるのみ…と意気込み(だけ)満々である。レギュラースタッフであるモンゴル、マリエル、Yucchiはもちろんのこと、それに付け加えブンチン、あかびと、どっこい、おねむ、沖野ボール、そしてナゼカトミー村田も参入して、ナンと9カーエントリーとなってしまった。これはもう他誌チームから見ればヒンシュクモンである。

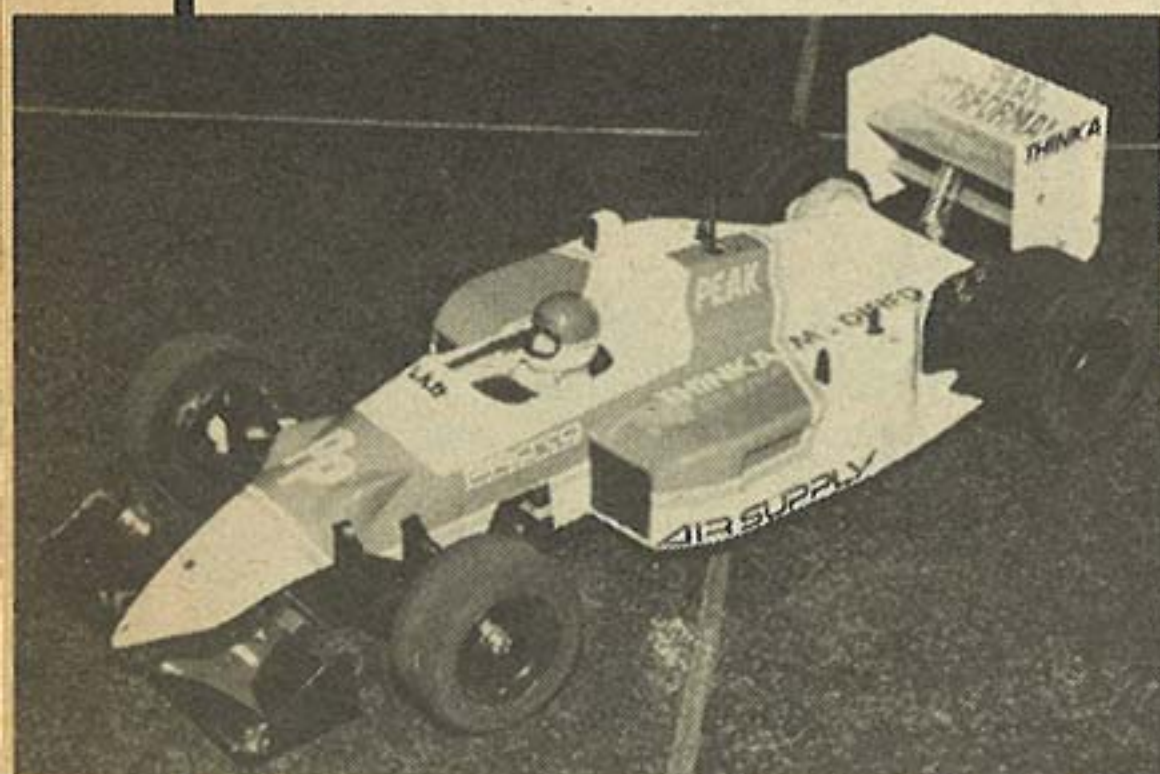
しかし、我がチームもヒンシュクなら、



姉妹誌である「ラジコン技術」チームも、ハッキリ言ってそれに匹敵する勢い。レギュラーのツノやんや佐野やんはまだしも、1/8レーシングできたえた古沢さんや、昨年EPオフ全日本のファイナリスト山田さんの参加は、モノスゴイの一言。でも我々の方が、このコース状態を知りつくしているだけに、負けられないのである。

あとの強敵は、ラジマガからエントリーのピ〇ト▷小□であったが、当日になって姿を見せなかったのが、ひと安心。しかしそのかわりに去年のチャンプである某☆出氏が参加し、気は抜けない感じだ。

なんと今回は大挙エントリー だい



↑レギュレーションに合わせてほぼノーマル仕様のマリエル車。

⇒ロードウィザードのボディのままモンゴル車。ウイングだけロータス用に変更。

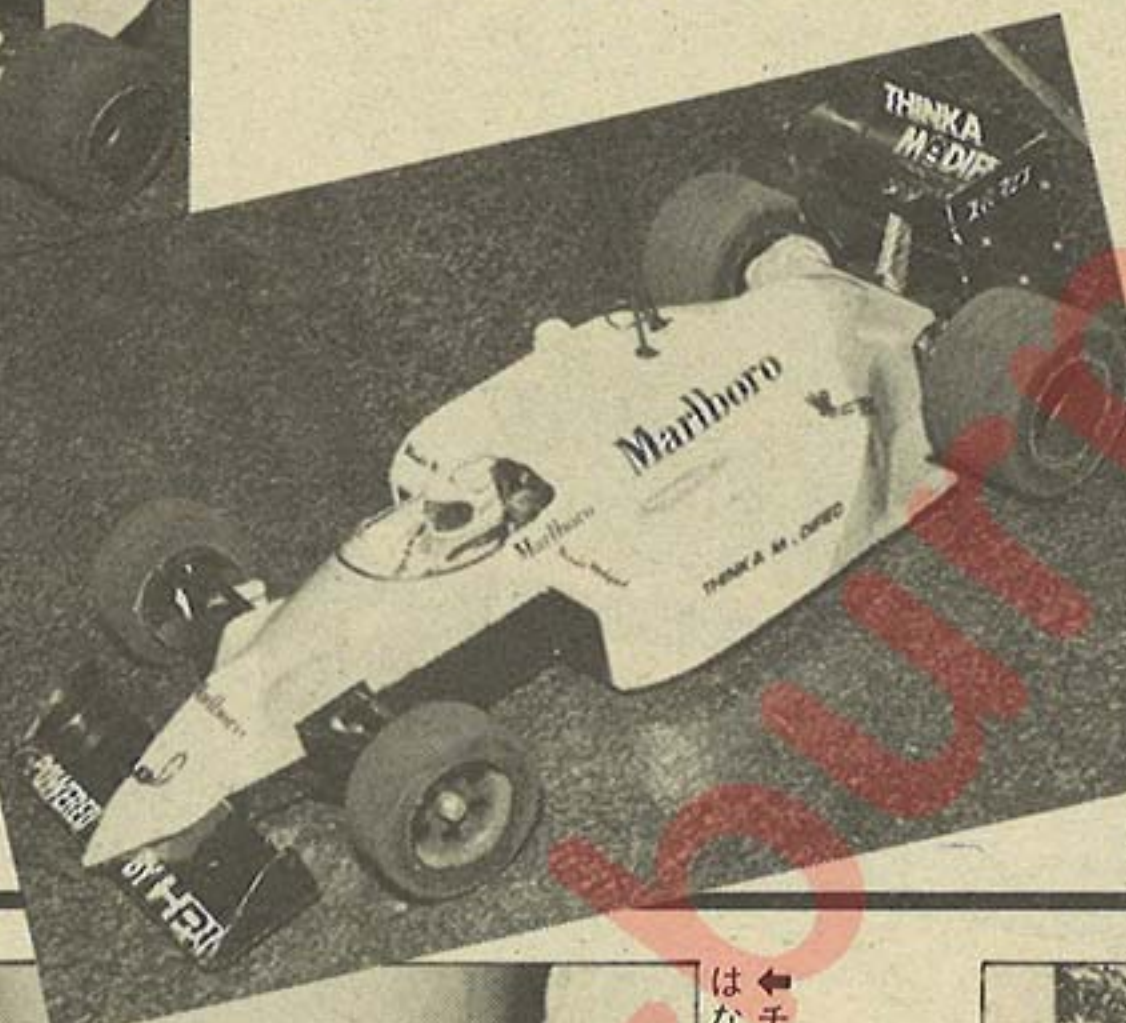


↑遅くても、トラブっても言いわけのきくYucchi車。スコールバンディットRAM04だ。



↑極めて低くマウントしたボディでマクラーレンに仕上げたブンチン車。MP4/3仕様か？

⇒青白のマルボロカラーのため、ファミリーサーキット仕様と呼ばれたどっこい車。



↓自作リヤウイングの製作に追われ、ニューボディが間に合わなかった沖野ボール車。



←ブンチン車に似たマクラーレン仕様だが、ドライバーはなぜか星野一義のおねむ車。



←チームスパマのビット。別にたいしたモノはない。

⇒予選のスナップ。沖野ボールとどっこいの対決だ。



100分の何秒で争う予選

路面はハッキリ言って、今回も“最悪のグリップ”で、ノーマルタイヤでは全く走れない。しかし、この日のために我々は秘タイヤを持ち込んだ。1/8レーシングカーのタイヤを加工して、ノーマルタイヤの上にひと皮接着して整形しただけのものだが、これがモノすごくグリップする。ブンチンいわく「こりやサギだ」まさしくノーマルではツルンツルンして走らないのに、これに換えただけでガンガン走れてしまう。しかし、これも1セットしかなく、9台エン

トリーの我々にはツライところ。このためモンゴルやマリエルは秘のヤクにたよることに…。

予選は5周の2ヒートとなり、1分前後のタイムとなる。1ヒート目はマリエルがただ1人1分を切る59秒85を出してトップだったが、ブンチンとどっこいが2ヒート目に逆転、トミーも1分0秒8を出し、チームスパマはAメインのフロントとセカンドローを独占してしまった。しかし、これ以下も混戦で、沖野ボールにいたっては100分の3秒差でBメイン落ちという状態。まさしく実車のF-1なみの予選となったわけだ。

Aメイン進出はブンチン(58秒49)、どっこい(59秒62)、マリエル(59秒85)、トミー(1分0秒58)、古沢さん(1分1秒06)、山田さん(1分1秒17)で、Bメインは沖野ボール(1分1秒20)、ツノやん(1分1秒31)、佐野さん(1分2秒89)、某☆出(1分3秒45)、モンゴル(1分4秒13)、Yucchi(1分4秒80)といったところで、タイムは非常に接近しているのがスゴイところ。

しかし、おねむとあかびとはCメインにやっと…というのみなさけない話。ツタク、ナニしてんだっ！



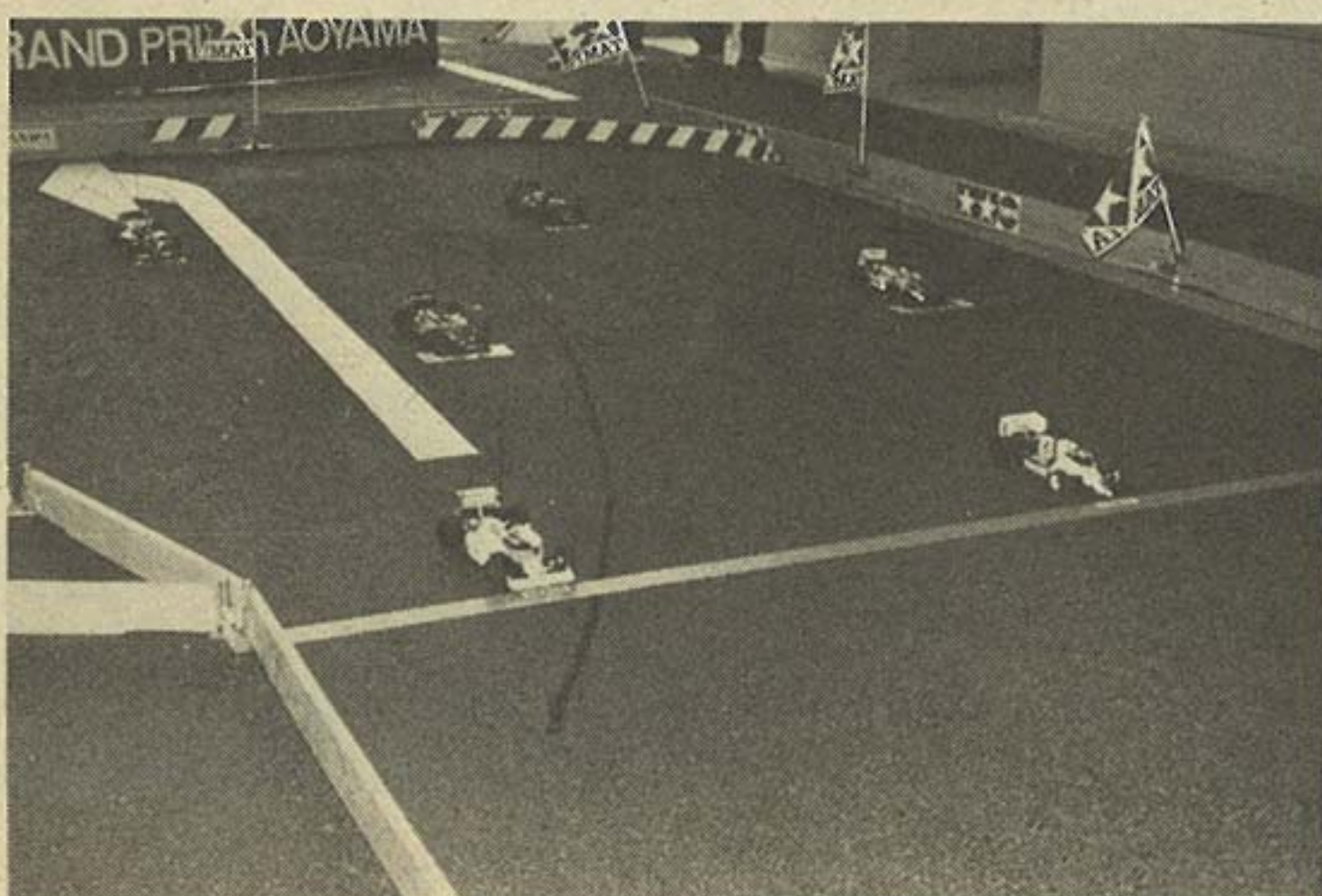
第8回第7期D-1グランプリIN青山 競馬社刊

クォーター			第1分		第2分		第3分		予選位	決勝位	順位	
B.M.	No.	氏名	T.E.A.M.	秒	秒	秒	秒					
69S	12	大野健弘	スガ・マシン	1	1.73	0	58.42	0	58.49	1	0	0.00
4 S	16	立花浩久	スガ・マシン	1	5.75	0	59.02	0	59.02	2	0	0.00
10	10	立花浩久	スガ・マシン	0	59.85	19.97	0	59.85	3	0	0.00	
65	23	村田英一	スガ・マシン	1	1.20	1	1.06	1	1.06	4	0	0.00
4 K	2	古沢利夫	スガ・マシン	1	2.01	1	1.06	1	1.06	5	0	0.00
3 T	8	山田正一郎	スガ・マシン	1	1.17	1	5.79	1	1.17	6	0	0.00
68S	14	神野正一郎	スガ・マシン	1	2.41	1	1.20	1	1.20	7	0	0.00
1 K	3	角田英一	スガ・マシン	1	1.31	1	1.87	1	1.31	8	0	0.00
C K	4	角田英一	スガ・マシン	1	3.63	1	2.89	1	2.89	9	0	0.00
7	21	大石伸一	スガ・マシン	1	6.94	1	2.45	1	2.45	10	0	0.00
2 K	9	大石伸一	スガ・マシン	1	5.05	1	4.13	1	4.13	11	0	0.00
1 S	7	上野正一郎	スガ・マシン	1	4.89	19.97	1	1.89	12	0	0.00	
2 K	13	田井寛一	スガ・マシン	1	7.70	1	10.34	1	7.70	13	0	0.00
68S	1	横井寛一	スガ・マシン	1	12.69	1	8.78	1	9.78	14	0	0.00
2 K	5	西村正一郎	スガ・マシン	1	11.54	1	16.21	1	12.77	15	0	0.00
2 K	22	西村正一郎	スガ・マシン	1	10.44	1	12.77	1	12.77	16	0	0.00
1	14	田井寛一	スガ・マシン	1	15.60	1	18.79	1	13.60	17	0	0.00
2 K	20	坪井金雄	スガ・マシン	1	18.02	19.97	1	18.02	18	0	0.00	
8	8	佐田正一郎	スガ・マシン	1	19.97	1	27.91	1	19.97	19	0	0.00
3 T	19	塚本正一郎	スガ・マシン	1	30.59	1	34.17	1	30.59	20	0	0.00
2 T	18	藤田正一郎	スガ・マシン	1	33.88	1	31.64	1	31.64	21	0	0.00
3 F	17	高宮正一郎	スガ・マシン	1	41.93	19.97	1	41.93	22	0	0.00	
3 F	16	渡辺正一郎	スガ・マシン	1	42.04	19.97	1	42.04	23	0	0.00	

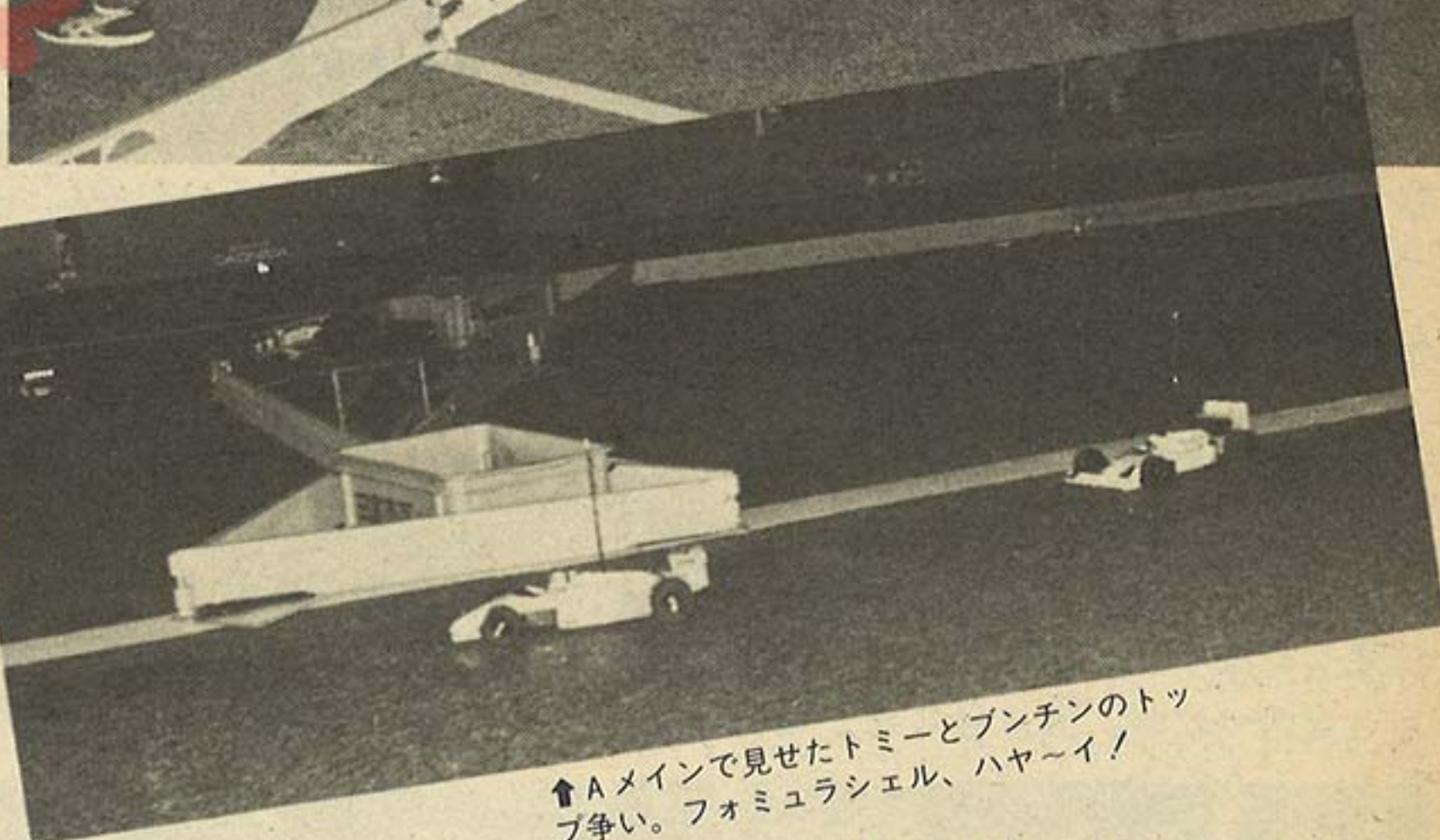
決勝はスガ・マシンの大活躍
 O Epn 28 マシンで決勝を制した。

↑これは予選の結果だが、激戦
ぶりがよくわかるでしょ。つー
わけだ。

↓Aメイン決勝。坪井氏の足もとのブラックマークはナンだろう。まっいいか。な、西永。



↓いつもの精彩を欠いていた坪井氏のチェッカーだが、それでも秒間30連発をほこる。



お〜み〜ご〜と〜の
ワン・ツー・スリー!

さて、いよいよ決勝。おねむとあかびとが出走するCメインはおねむが終始トップをキープしてチェッカー（このときのフラッグマンは海野氏だったが、坪井氏ほど美しくはなかった？）。あかびとが2位だ。

Bメインは、ポールについての沖野ボール（略して“沖野ボール！”）やモンゴル、Yucchi に期待がかかるが、見事に逆ワン・ツー・スリーを決め（？）、佐野さんが勝った（なさない）。

さてAメインは好スタートを見せたトミ

ーがブンチンをおさえて走り、この2台が10周以上も1 m以内に接近してバトルをくり広げ、歓声が上がったほど。しかし、F-1を知りつくしたブンチンがトミーを抜き去りトップとなり、2位に“ファミリーサーキット”仕様のマシンを駆ったどっこいが上がり、そのままゴール。ブンチン、どっこい、トミーの順で坪井氏の秒間30連発のチェッカーをくぐり抜けていった。

つーことで、我々がチームスパマの大勝利となったわけだが、次回は本来のレギュラーメンバーのみで参加する予定。これでモンゴルもAメイン入りだよな。



モンゴル
in SPL

1/8エンジン・レーシング JRCC'88GC第3戦



●マフラーアダプターがこわれちゃって、おそろおそろ走った第3戦。でもBメイン3位に…。



こわれちゃった自作の マフラーアダプター!

4月のJRCCは、いつも桜の季節である。私の家からSPLに行く間、何ヵ所も桜の名所があって、その中を走るのは気持ちが良いものだが、ナント今年は4月10日になっても桜は満開になっていなかった。

それはそれとして1週間連チャンで1/8レーシングをすることになった私は、ロクな手入れもしないでSPLに向かったのである。前週横浜グランプリで特設コースを快走した愛車は、外観的にはどうということもなかったが、実は目に見えないところ

に大きなダメージを受けていたのである。ロクな手入れをしないツケは、徐々に愛車をムシばんでいたのだった。

さていつもどおり、水島君のお父さんに助手をしてもらい、コースへ出ると、まるでグリップをしない。ツルツルと言って良い。例年春から夏にかけてSPLのグリップは複雑に変化をする。3月に比べて今月は極端にグリップが悪い。前週の横浜の特設コース以下である。通常、常設コースはグリップが良いという頭があるから、つい

パワーも入れがちになってしまうが、その点を差し引いても、いきなりクルッと横を向いてしまうコーナーがあるのである。

とりあえず何もできないので、そのままスタートする。5～6周する間に、何となく排気音が大きくなっていく。これが前兆だった。いやな感じが全身をつき抜ける。電動ファンには味わうことのできない感覚である。

さらに2～3周すると一段と音が大きくなったので、自主的にピットインをする。私としてはマフラーのジョイントパイプがはずれたか、破れたのであってほしかった(修理が簡単だからである)。ピットでは、水島君のお父さんが、マフラーアダプターがこわれていると簡単におっしゃった。ガン!

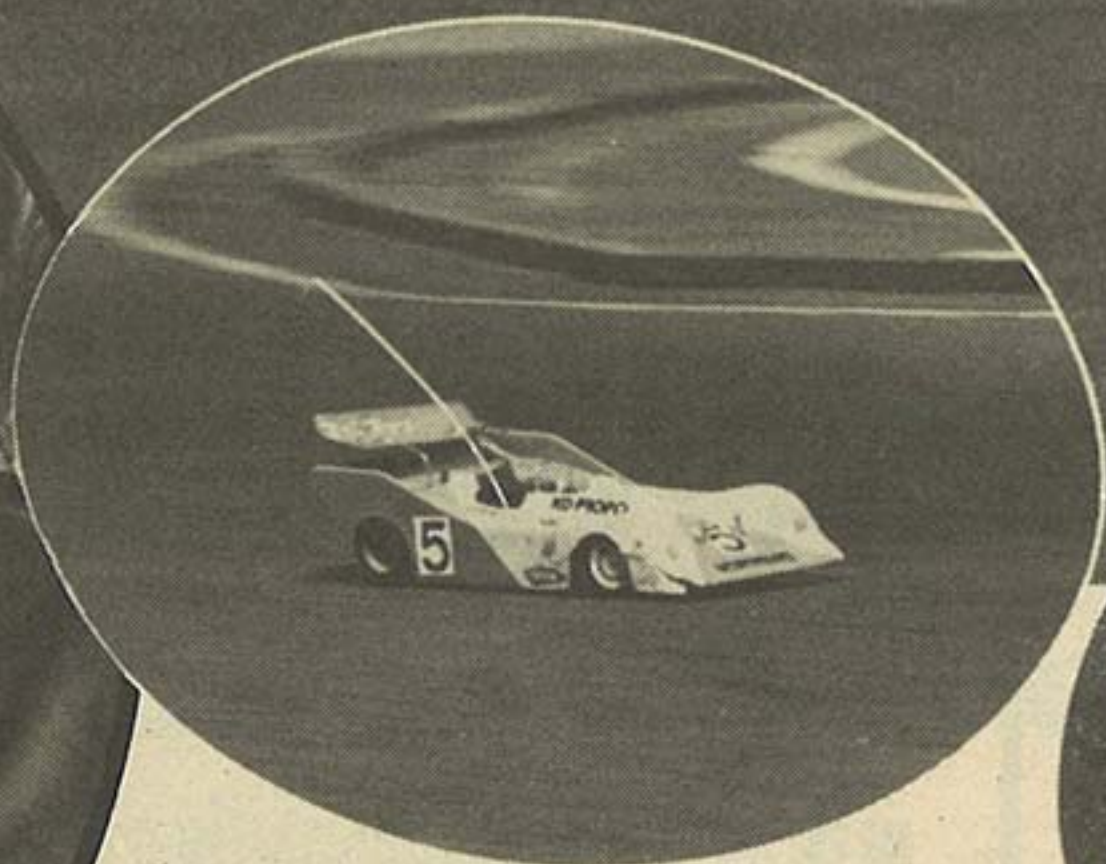
マフラーアダプターは昨年OS2ISE-Rをのせたとき、市販で適当なものがなく自作したものである。ズーッと使っていてノ



←朝の車検風景。いつもと同じシーンだが、レースのほうは、そうは行かんゾ!

→エキスパートAメイン優勝の松木清悟選手。昇格3戦めに於ける快挙だ。





←ピットで余裕を見せるモンゴル。うーん、腹が出ているノ

→最近イラスト・ボディの減った1/8レーシングだが、宮下選手はキャラ・ボディで参加。



リザルト

〈エキスパート〉 Aメイン…①松本清悟、②下高章、③村屋武昭/Bメイン…①角田一博、②水島登、③矢作潤/Cメイン…①土方寿孝、②長坂光生、③木村正夫。

〈インターミディ〉 Aメイン…①古沢利夫、②古川和彦、③掛札裕/Bメイン…①北澤孝之、②水島仁、③石神純一/Cメイン…①根岸照道、②齊藤重義、③岩崎昇。

〈ノービス〉 ①高野橋裕一、②露木吉信、③川名徹。

〈フレッシュマン〉 ①細野誠、②西方敦、③根岸正二。

ントラブルであったので、何もチェックしていなかった。その自作したマフラーアダプターがこわれたのである。最悪のケースと言って過言ではないだろう。何しろ交換すべき部品も、修理できる道具も何もないのだから。

マフラーアダプターを良く観察して見ると、溶接面から少しはなれたところにヒビが入っている。このままではもちろん使えないが、補強すればなんとかなるかも知れない。とりあえず、ハリガネでしばることにして、ハリガネを調達する。ついでに滝博士手持ちの耐熱エポキシをヒビのまわりにゴテ盛りした（これでなんとか持ってくれ）。

第2ヒートは恐る恐るスタートさせた。1周2周、何とか持っている。しかし3周目あたりから音が変わって来た。一度もフルスロットルにすることなく、レース終了。

アーなんとか持ってくれた。

パドックへ帰って、アダプターをチェックすると、耐熱エポキシは溶けて盛り上がり、はずれる寸前である。ハリガネによる固定がなければ、当然こわれていただろう。

さて、結果を見ると、ナント12周台でBメインの6位にランクされている。記録的にはいつもと変わらないが、グリップが悪くてみんなの記録が落ちたので、上がったわけである。マフラーアダプター大事に走ったのが好結果を呼んだのである。逆にいつもはいかにムダな走り方をしていたのか判る結果ともなった。

さて、Bメインの決勝レースは10分間となった。私の頭に浮かんだのは…持たない…である。そこで徹底して強化することにしたのである。あの程度の修理で5分間走ったのであるから、倍の量のエポキシを使えば10分間は大丈夫であろうという、純技

術的な見地からの判断である。またまた滝博士のエポキシをもらって、単にゴテ盛りを大きくしたのであった。

さて、この日は参加人数も一段と多く、大変ニギヤカである。このところ1/8レーシングには新規参入者が多く、好ましい現象だ。それとともに運営がいそがしくなってきた。むずかしいところである。

決勝レースでは、これもまた恐る恐る走った。10周をすぎたあたりから、少しずつ音が変わってきたが、とにかくガマンのレースである。ぶつけないようにと、ていねいに走ったのである。

いつもより長い10分間レースが終わってみると、ようやく3位となった。心臓に悪いレースであった。（石神純一）



←この日の優勝で、インターミディのポイント・トップに出た古沢利夫選手。



←ノービス・クラス入賞者、①高野橋、②露木、③川名の3選手。



←フレッシュマン・クラス入賞者、①細野、②西方、③根岸の3選手。

まの ぼくらの

がんばれ

スペシャルモーター

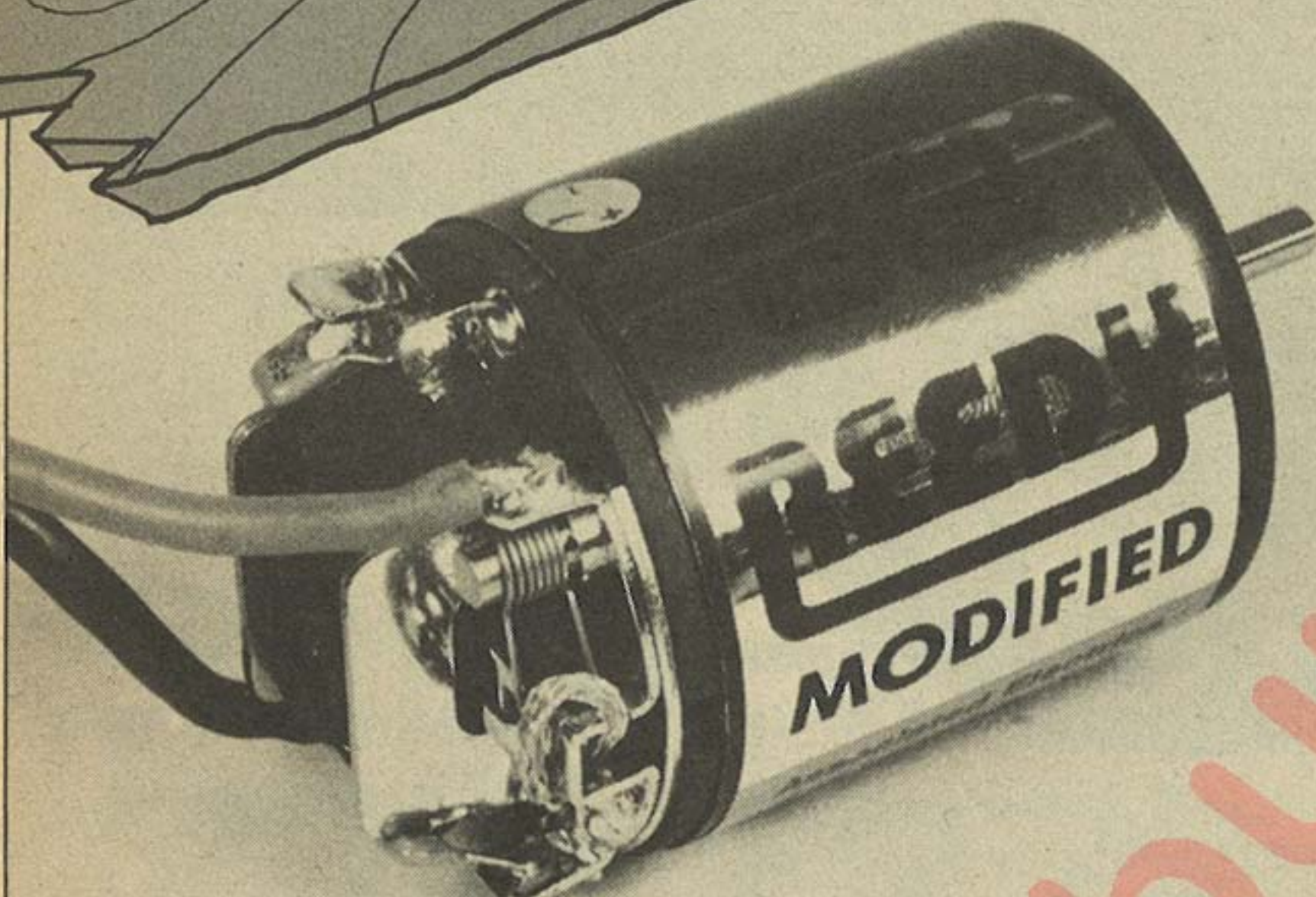
とん

第 3 回

今月のメニュー

リーディー スーパースプリント (オーバルトラック用)

■復活してから3回めをむかえた今号は、リーディーモディファイのスーパースプリントを紹介しよう。オーバル・コースでカッ飛ばすには、最適なモーターだぞ！



伝統のパワーが生きる“おニュー”

今回はモーターコーナーでは、どちらかと言えば“お得意様”となっている「リーディー・モディファイ」にスポットを当ててみることにした。以前も紹介したことのあるリーディー・シリーズではあるが、今回はヨコモのニューモーターである「エスプリ」をベースにした、まったく新しいタイプのモーターとなっているため、注目度は高いと言えよう。

今回はシリーズ中、最もホットなバージョンである、AS-6523・エスプリ・ベース、 $\frac{1}{10}$ オフロード用スーパースプリント（オーバルレース用）をチョイスして、その実力のほどをじっくりと味わってみることにした。

モーターの巻線&ターン数の設定というものは、モーターのベースの性能によって

大きく異なるものであることは、当然だが、このニュータイプのヨコモ・エスプリをベースとしたリーディーにも、大きな仕様変更が多く見受けられる。

そのポイントを語る前に、まずはベースとなるヨコモ・エスプリについて見てみると、二つの異なる点がある。ひとつは、外見からは判断のできないマグネットの変更だ。ヨコモ05に比べて数段熱に対しての磁力低下が少なく、磁力のアップがはかられたウェットタイプのマグネットを採用しているのだ。

以前、誌面上でエスプリの試作バージョンをテストした事があるが、そのときと比べると、市販タイプはやや磁力をおさえ、エアギャップを広げることによって回転数を生かしたセッティングを可能にしたマグ

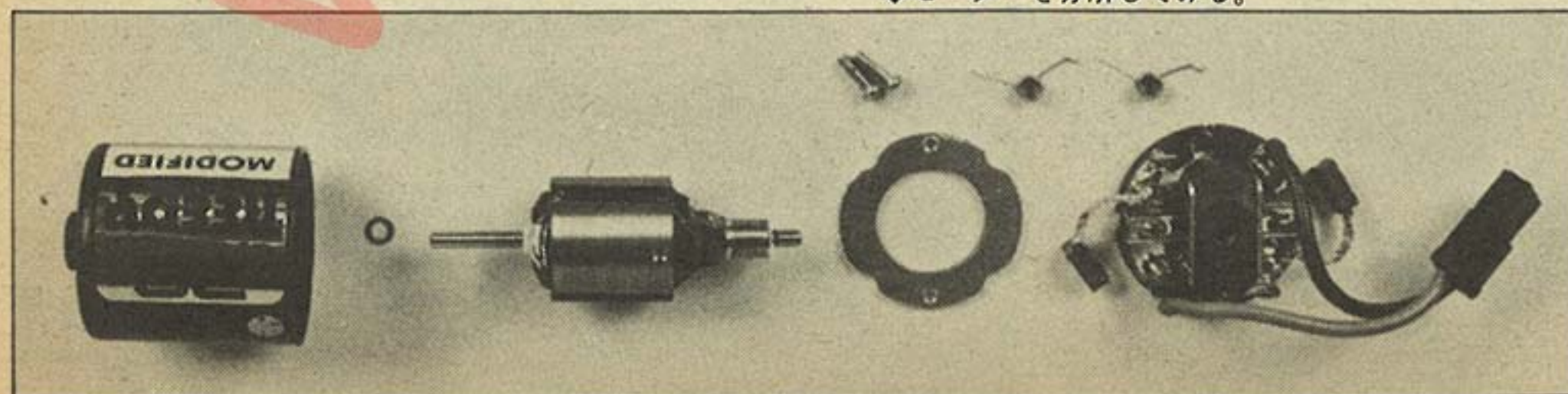
ネットになっているようで、扱いやすいタイプである。

もうひとつは見ればわかるが、リヤエンドベルのブラシホルダーの形状が大きく変わり、熱ダレ防止に大きく貢献しているということだ。モーターの場合、大きな発熱ポイントとも言えるブラシ&コミュテーターに一番近い部分だけに、その効果は絶大なものと言って良い。

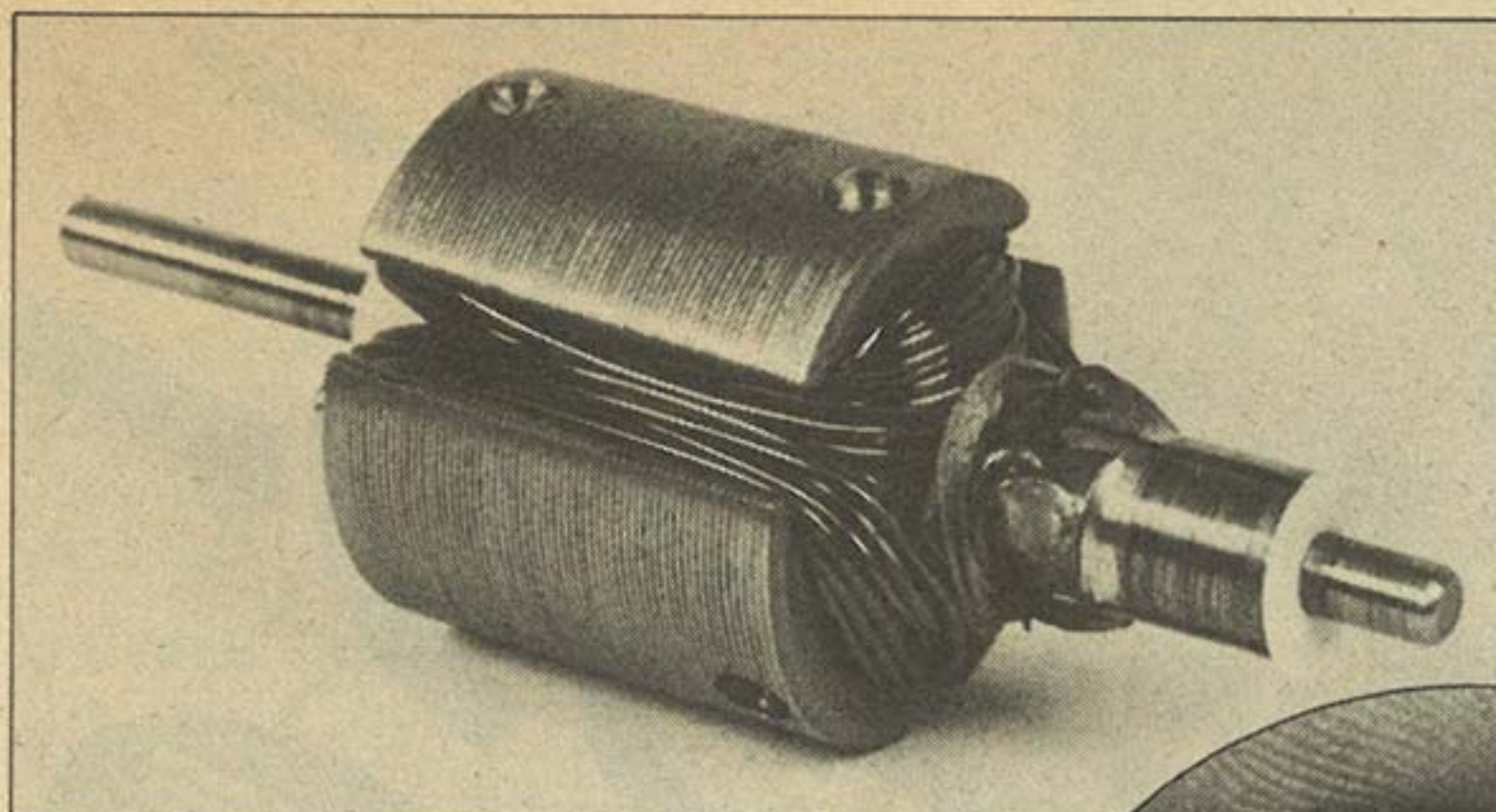
この2点によって、よりホットなバージョンを設定することが可能となり、かなりカゲキな完成度を見せている。以前のトリプルターンからダブルターンに改められているが、0.65φを上回る太さの線がダブルで15~18ターン巻かれているようで、捻破りの仕様と言える。

オーバルトラック用ということで、やや

⇒RS540SHとプロペラテストで比較する。
↓モーターを分解してみる。



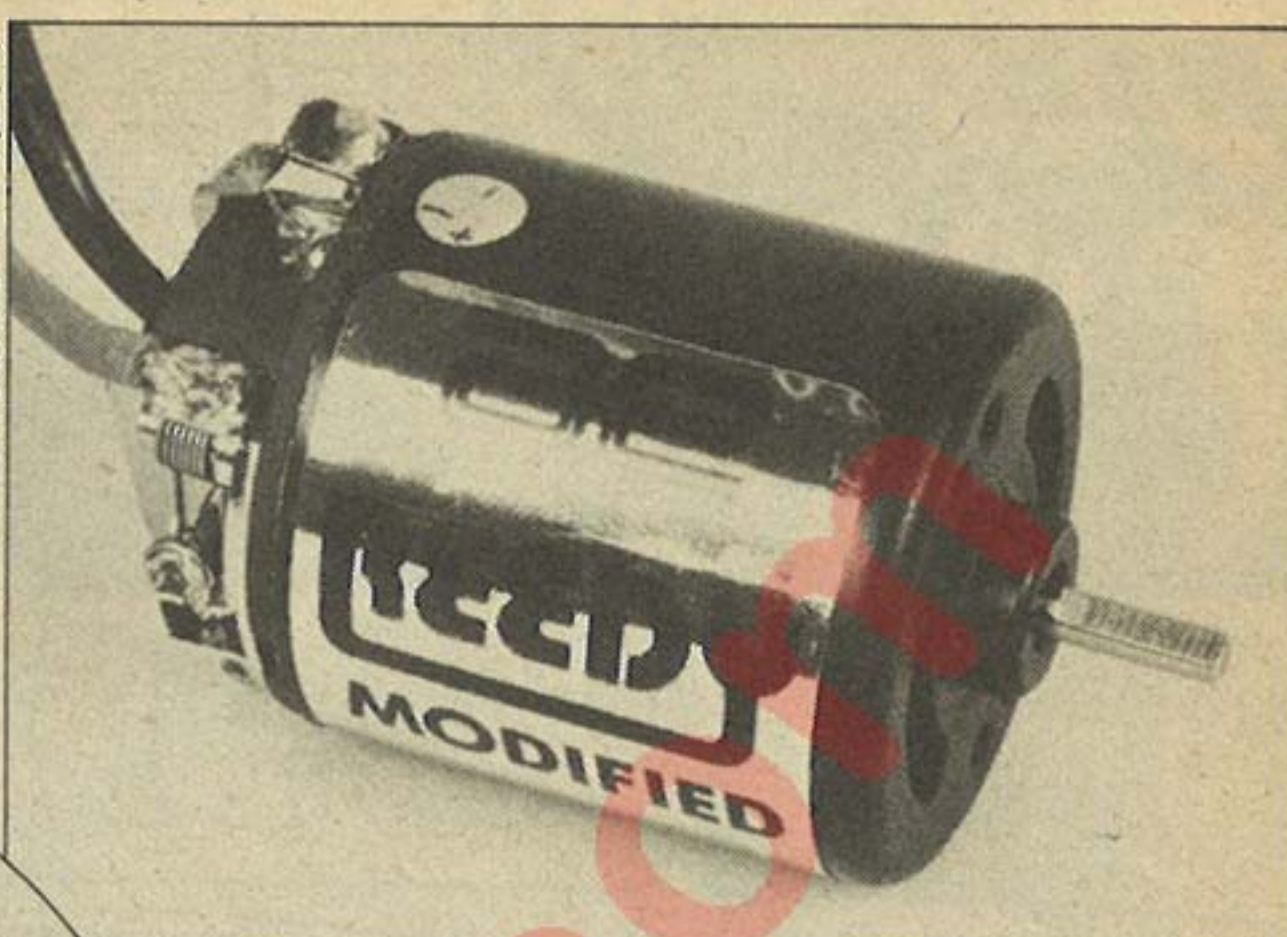
モーター プロペラ	RS-540SH		リーディモディファイ	
	消費電流 A	回転数 r.p.m.	消費電流 A	回転数 r.p.m.
無負荷	1.7	19,300	2.5	31,300
6×3	11.0	13,100	26.5	17,400
6×4	13.0	12,600	32.0	15,700
7×4	16.5	11,000	37.5	13,200



好、ダブルターン仕様のローター。

↓ローターを正面から見る。

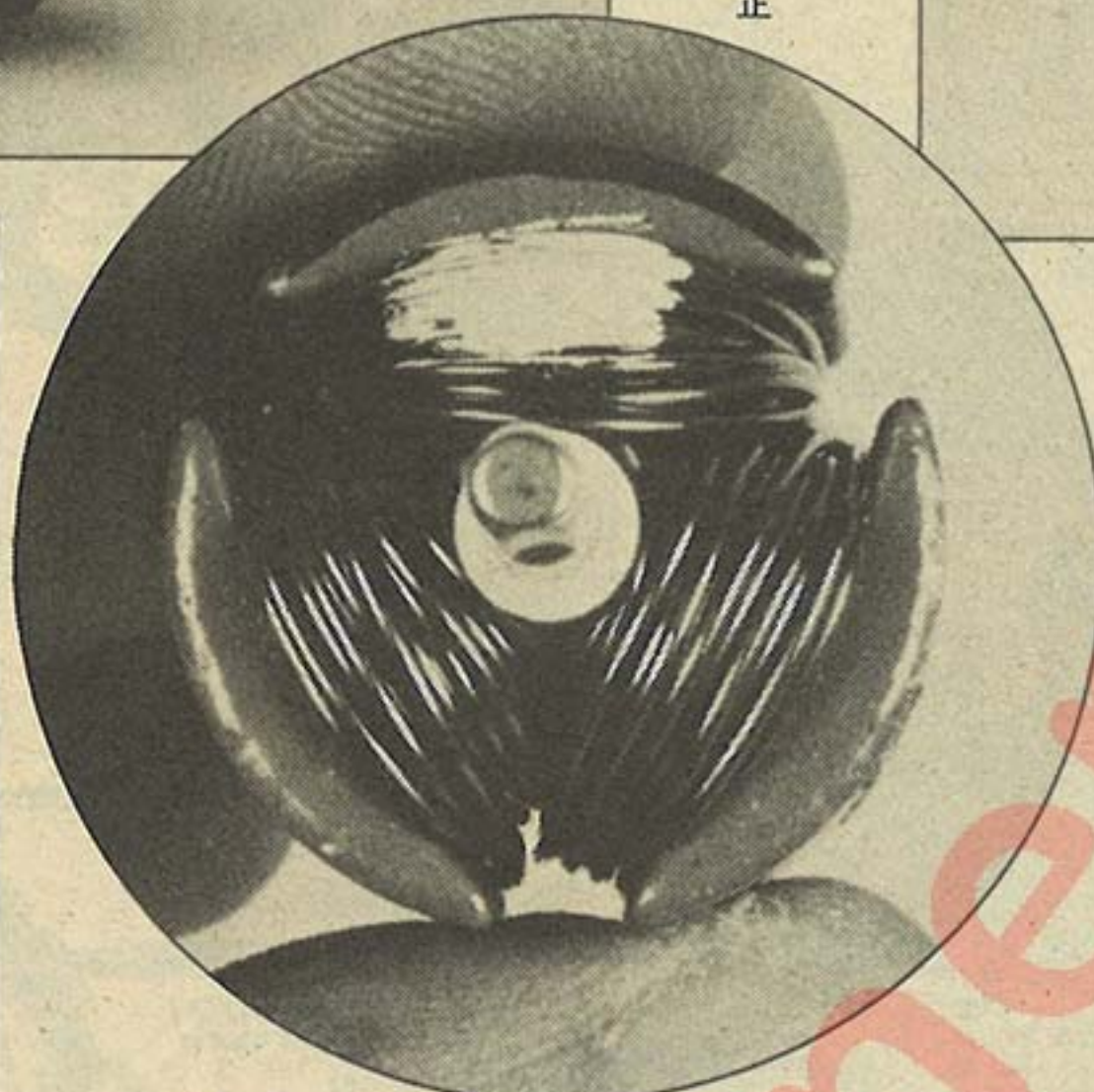
→外觀からも高級感のたようモーターだ。



荒削りなイメージのワインディングではあるが、それなりにコンパクトなまとめ方で好感は持てる。しかし、ワイルドなワインディングに対して、きめの細かさを見せるのが、そのバランス取りとコミュカットの仕上げだ。バランスの良さもそうだが、コミュはリーディ独自の方法？ のためか、他とはまったく異なる回転音を示す。なかなか所有感を満足させる仕上がりだが、マニア向けでうれしい限りだ。

ハッキリ言って回転型です！

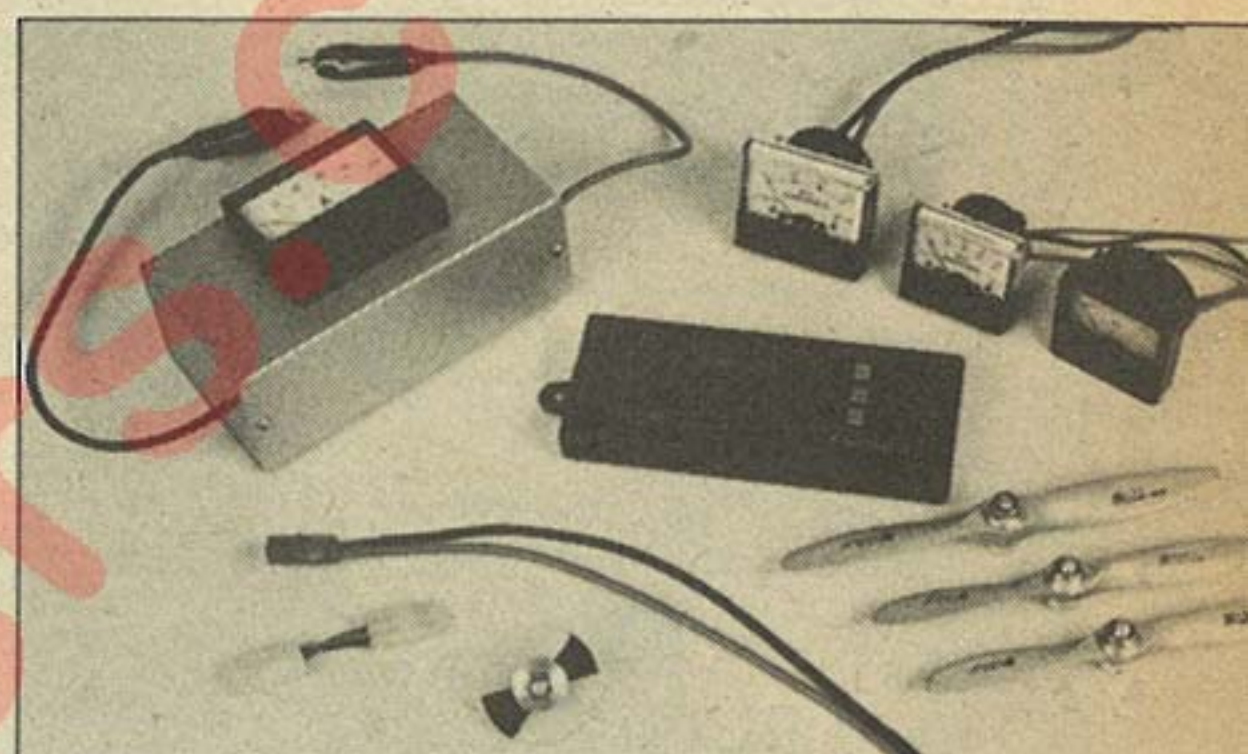
ブレークイン及び進角の調整（適正で効率の良い位置）済みという“いたれりつくせり”仕様ではあるが、2～3時間はブレークインしてから使おう。



テストの方は川口サーキットのオーバルと、いつものメニュー。オプティマ（ミッド）で0.6モジュールピニオンの19Tを使用。スロットルを開けていくが、あまり低回転域のトルクがないようだ。これはペラを使っての値でもでているが、オーバルトラック用なので、ある一定を越える回転数になってからが、このモーターの一番おいしいポイントと言える。

さすがに中速以後ののびはかなりのものを示しているが、もう少し下のトルクはほしい。進角を増やして（テストでは4コマ）回転数を上げていくというのも、ひとつの手ではあるが、やはりこのモーターは高速レイアウトのコースでのびのびと使ってやるに限ると思う。

インプレッションの方は、テクニカル・コースにはあまり向かないかな？ という



↑プロペラテストにあたっては、5A、20A、30A、50A-MAXの電流計を準備。簡単な方法ではあるが一応の目安にはなる。

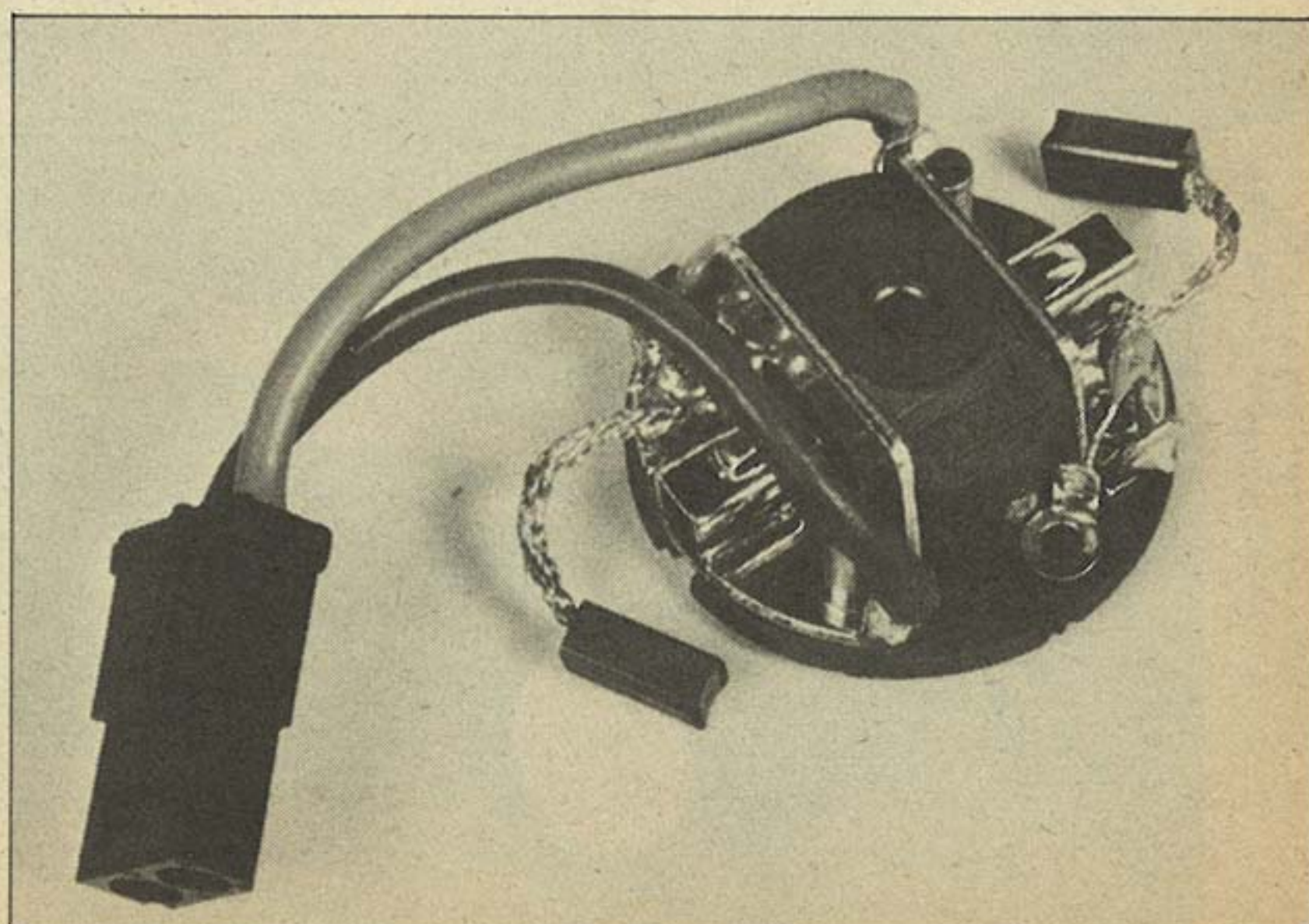
感じて、スピードののびを重要とする高速コースでは、中盤以後の圧倒的なパワフルさを味わえるという感じである。低中速域ではややマイルドという点が、ピックアップのスルドさに重点をおくマニア好みではなさそうだが、フラットですべるコースでは、目いっぱいその実力が発揮されるであろう。

バッテリーは、5分30秒ぐらいでダウンしてしまっただが、コントロール性とパワフルな高速域では充分におつりがきてしまう。使い方によって大きく明暗がわかれそうな感じはするが、充分に高速タイプとして扱っていけば、オーバルトラック用のピーキーなパワーが存分に楽しめるはずで、使用前にはピニオンとよ〜くにらめっこしておくべきだろう。（立花迅人）



←オプティマミッドを使用して走行テストを行なうマリエル。

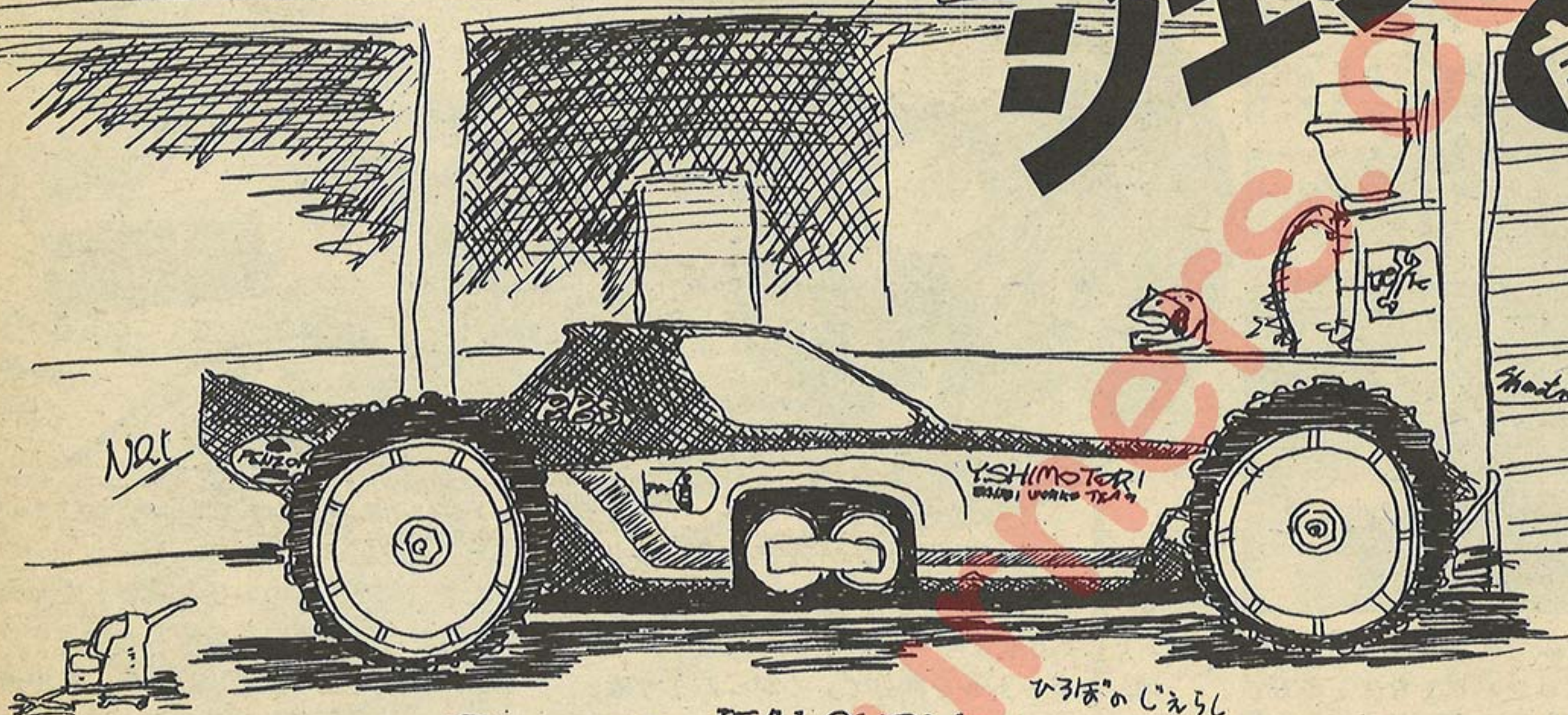
→性能アップにひと役買っているのが、ブラシホルダーだ。



ケムール霜鳥の びるど&らん

ヒロボー ジェラシー

前編



●HIROBO JEALOUSY

あ!! いかん
ヤベな... ホットホット...

■まいどおーきにのこのコーナー、今月からはヒロボーのジェラシーをテストしてみよう。ヒロボーのフラッグシップモデルだけに、その走りにも期待できそうだ。

みなさんこんにちは、いやあ〜、陽気もよくなってきて、心ウキウキのケムールです。

さて今月からは、あのヒロボーのジェラシーのレポートをお送りします。2年ほど前のモデルショーで参考出品の形ではありましたが発表され、我々に大きなショック

を与えました。そして2年間の沈黙を破り、突然デビューしてきたのがこのジェラシーです。このジェラシーの最大の特徴は、前後にジュラルミンの削り出しのサスアームを使用している点と言えます。そして、このクラスとしては、現在最も高価な値段のついているマシンであり、いろいろな意味で、多くのマニアから注目を浴びているマシンの1台ではないかと思います。

しかし実際にキットを目の前にしてみると、スゴイのはサスアームだけではなく、いろいろな場所に削り出しのパーツがふんだんに使われていますが、その箇所はナックルはおろか、ハーフシャフト、ギヤ、プーリー等にもおよび、見た目ではわかりにくい部分でのぜいたくな作りに、あの高価格も納得がいつてしまう説得力がありました。

今回はスリムなシャーシに合わせ、アンプにボルテックス、モーターにニッコーのUP240SEをチョイスし、13Tのピニオンで仕上げてみることにしました。それではさっそく組立に入る事にしましょう。



↑↑独特のスリムなボディが特長のジェラシー。ヒロボーのマシンはエイリアン以来だ。



組立説明書

例によって恒例の組立説明書の評価ですが、私のいただいたキットは発売前のサンプルキットなので、この組立説明書もコピーによるものでした。実際のキットに入るものとはいくぶん違いがあるのではないかと思います。今までの（少なくとも私が組んだことのあるヒロボー製キット）ものと比較しても、けっこう良くなっていると思いました。

こういったマシンを購入する人は、おそらくベテランの人だと思いますので、説明書に関してはあまり初心者を対象にした書き方はしなくても良いわけですが、たとえば2種類の組みかたがある場合、どちらが基本になるのか…と言ったような説明があまりされていませんでした。実際に組み立ててみて、自分で判断しろ…という意味なのかもしれないのですが、やはりそのへんは記載しておいてもらいたかった部分でもあります。それ以外は比較的わかりやすく書かれていますので、安心して組立は行なえるのではないかと思います。

組立の注意点

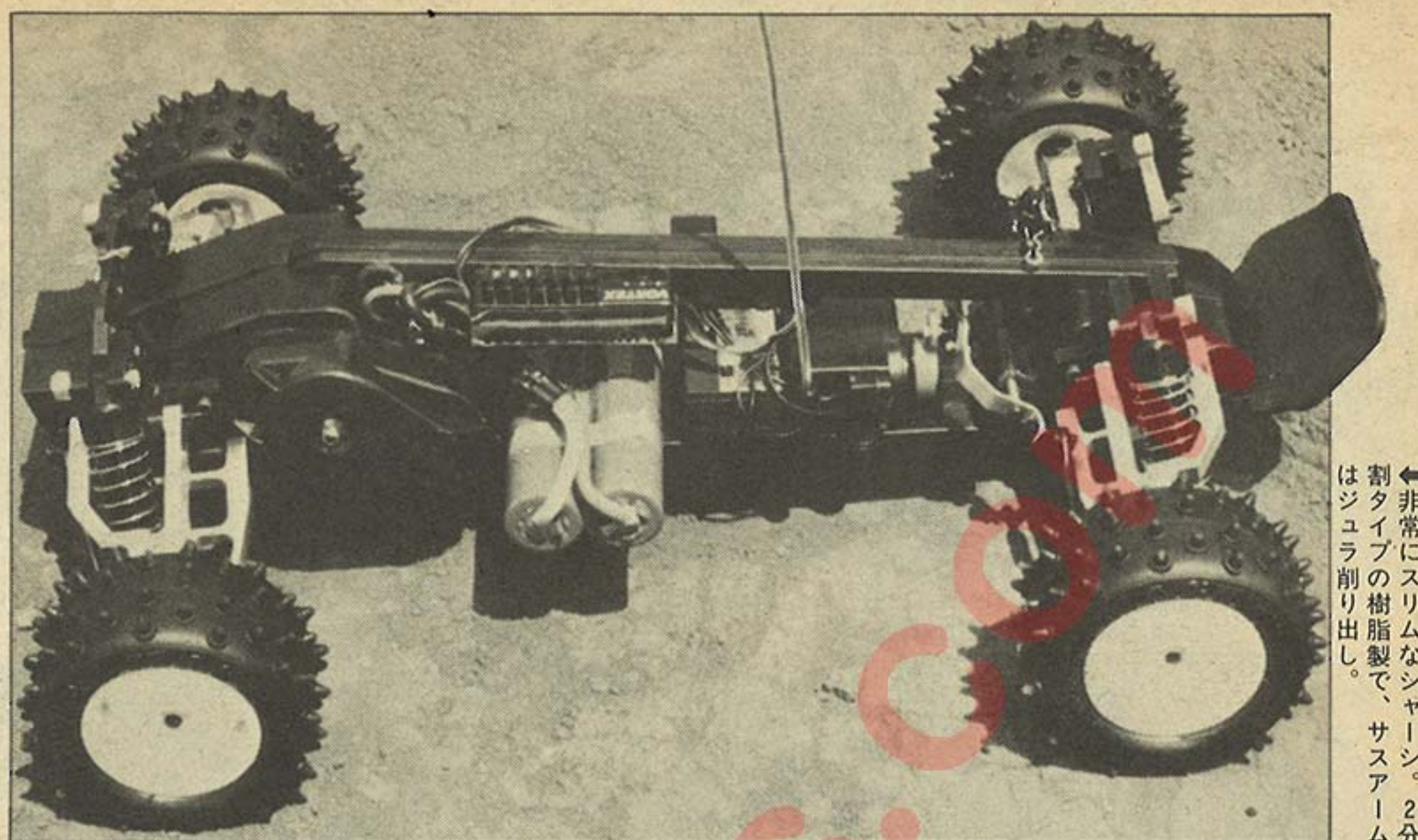
このジェラシーの組立での注意点としては、これは…と思うほど気になった部分はありませんでした。しかし、常識的な部分での組立の注意箇所は、キチンと納得のゆくまで組み直しを行なってください。たとえば駆動系のチェックとかダンパーの組み直しなど、あたりまえの部分ではありますが…。

特にこのジェラシーはほとんどのパーツが削り出しによって手作りされており、成形品とはまた違ったチェックが必要になってきます。各パーツに生じるわずかな誤差などからくるパーツ同士の組み合わせを、いろいろと行ない、納得できる組み合わせを作っておくことが必要になります。

気にいった点

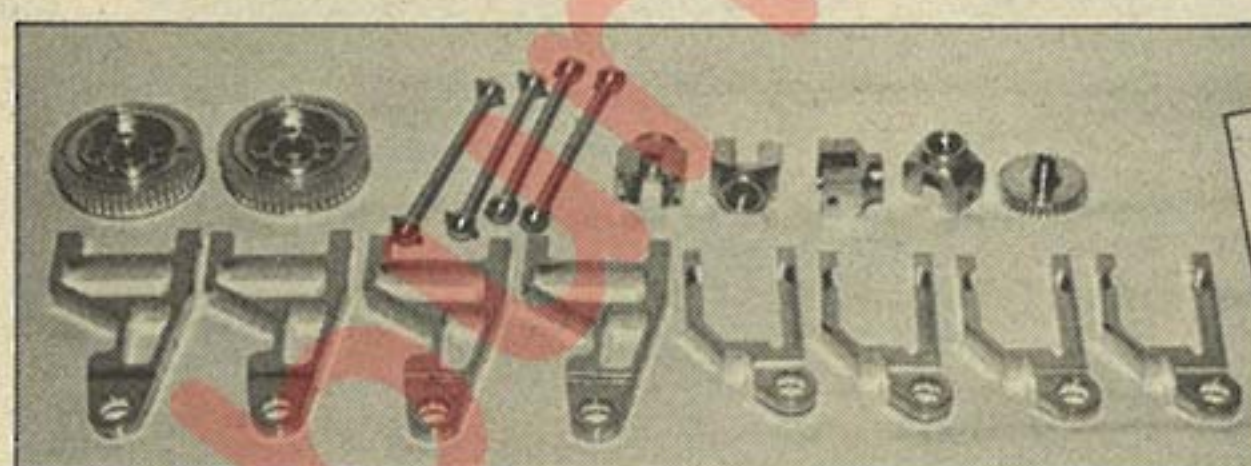
ジェラシーで気にいった点は、何と言っても、いかにもハンドメイドされたと言わんばかりの削り出しパーツをふんだんに使った、スペシャルマシンの要素からくる『優越感』『満足感』といったことが、十分に味わえるマシンといえる点です。実車等にもよくありますが、○□スペシャルとか、△○カスタムなどの性能は変わらなくても、特別仕様のカスタムカーなんかをわざわざ欲しがらるあの感覚に似ているものが、このジェラシーにはあります。

実質的な面からも、従来のヒロボーマシンと比較してメンテナンス性等も格段に向上しており、なかなかキテるマシンとも言えます。

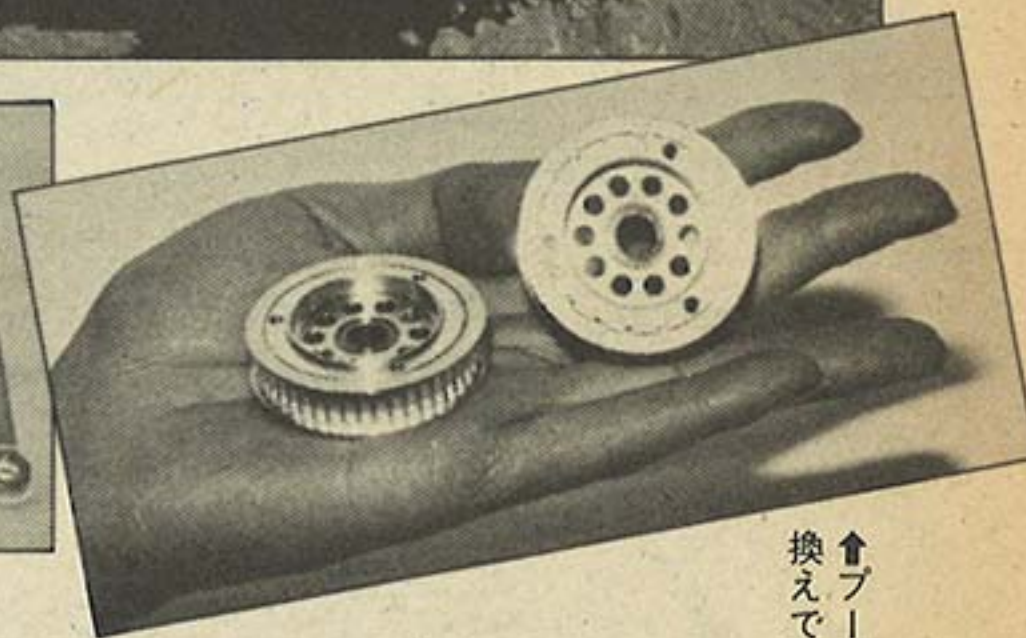


◀非常にスリムなシャーシ。2分割タイプの樹脂製で、サスアームはジュラ削り出し。

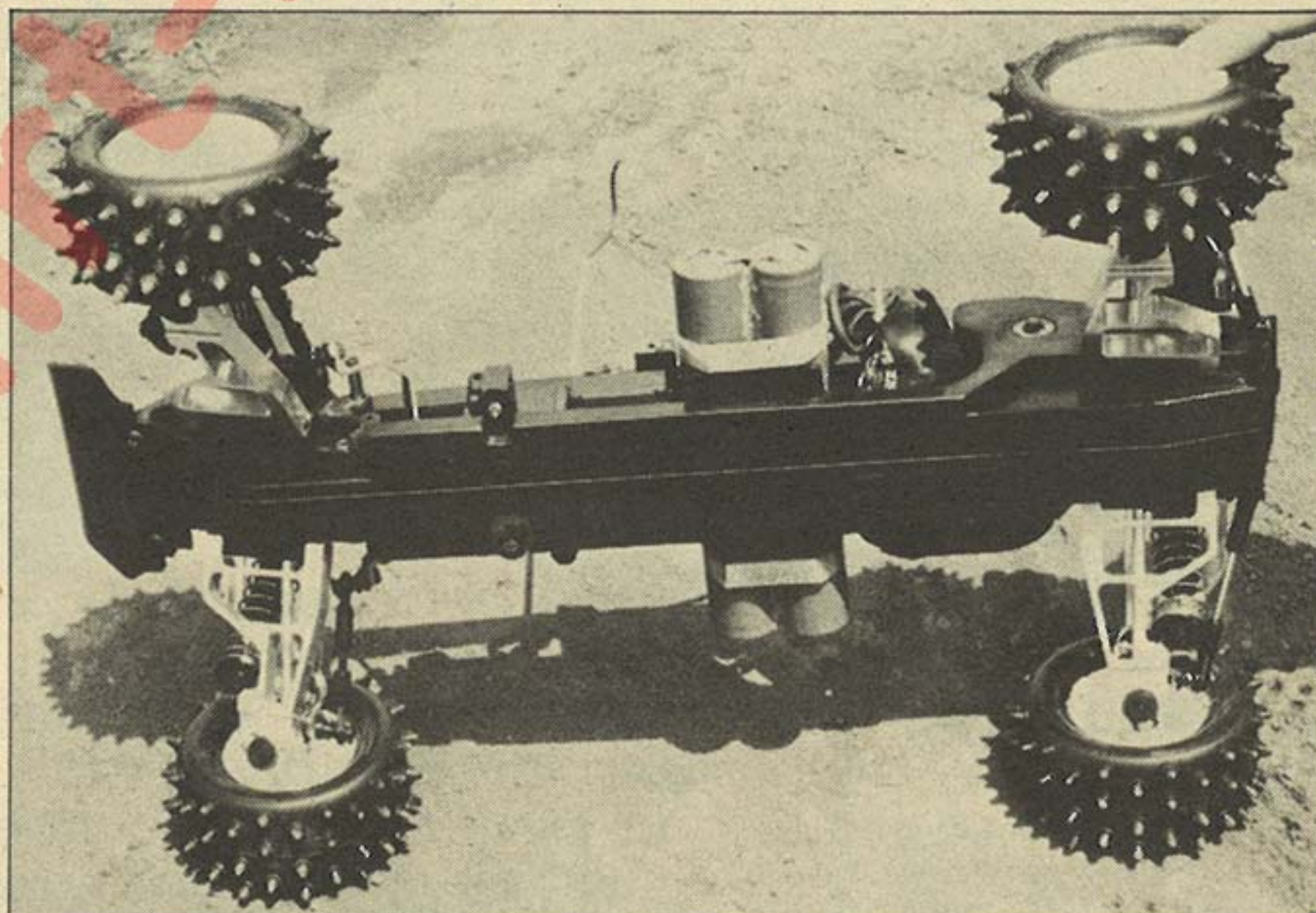
→メインシャーシがベルトカバーをかねるため、独特な形状となっている。



↑ジュラ削り出しパーツは、サスアームだけではなく、ハーフシャフトやギヤにも採用。



↑プーリーは45Tと47Tがあり、これの組み合わせで特性が選べる。



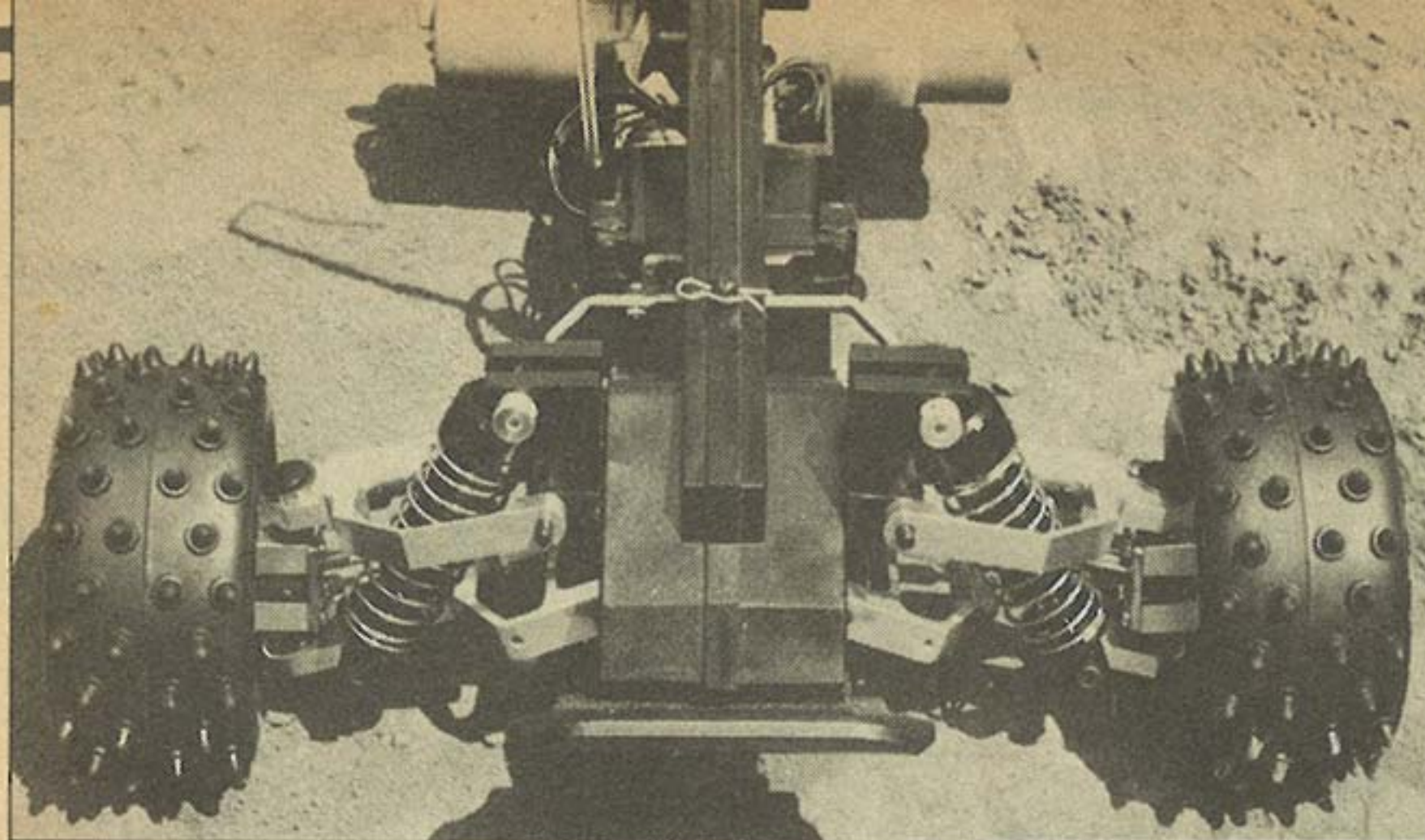
←シャーシのスリムさがよくわかる。モーターはミッドシップマウントされる。

気になった点

このジェラシーを組み立てて気になった点と言えば、パーツの流用などにやや無理な部分を感じられたことです。たとえば前後のサスアームを共通にすることなどは外国製品や国産マシンの一部にはありますが、ダンパーやスプリングまでもが共通パーツ

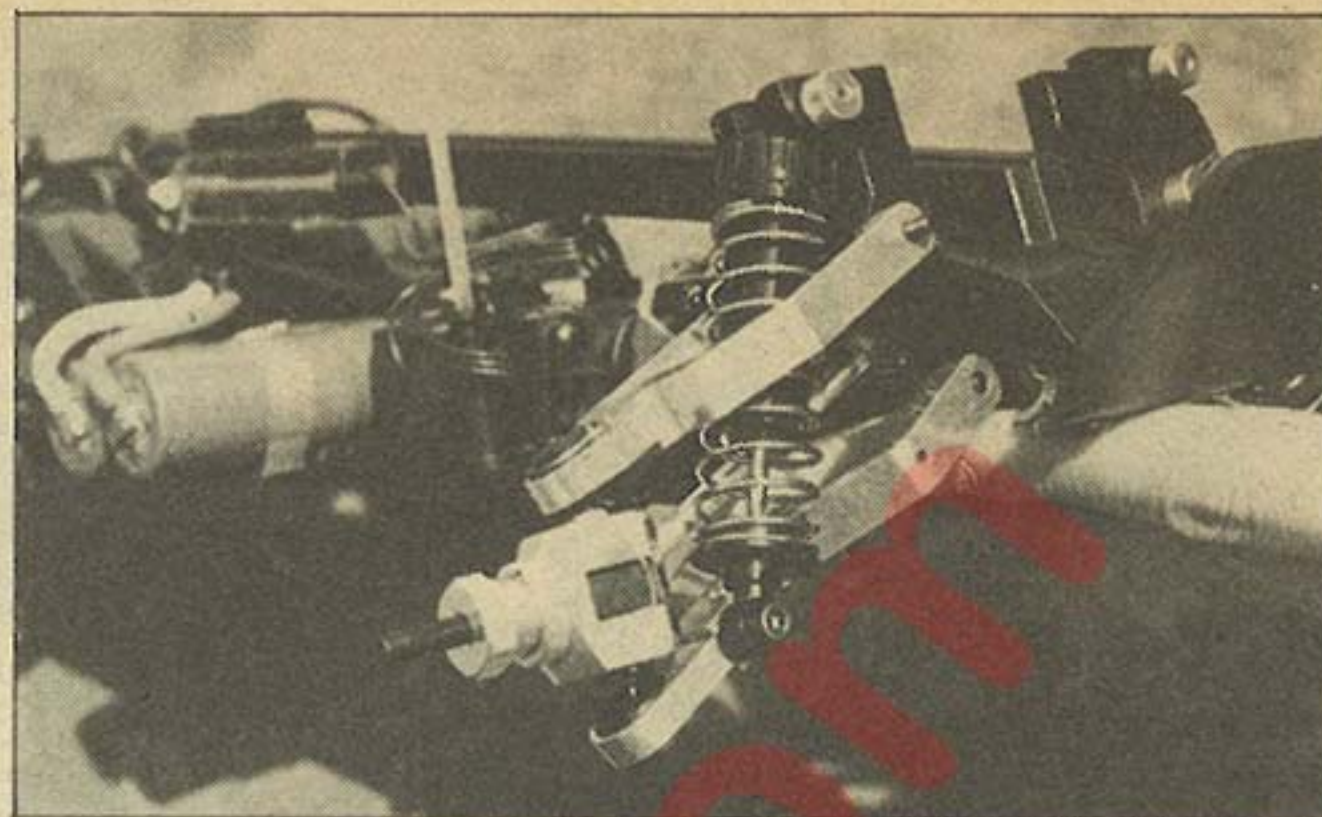
になっている点です。

これは私が思っているだけなのかも知れませんが、同じ長さのダンパーを使用しても、前後のスプリングレートまで同じにはならないはず。そのダンパーそのものも、ショートタイプのものを使用していますが、あまりストロークを有効に使っていない感じを受けました。このダンパーは通



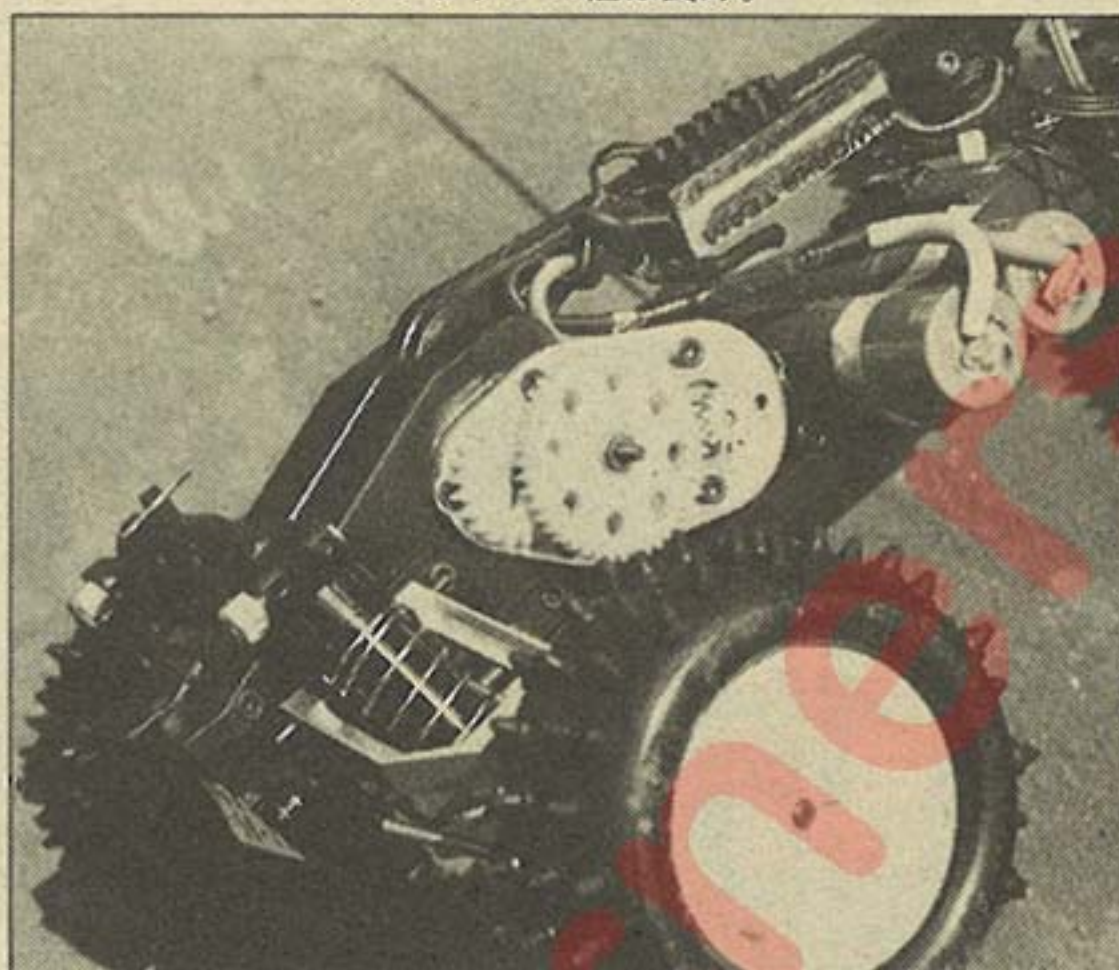
↓エイリアンやインペーダーと同じシステムの3分割式タイロッドを採用。

←サスアームはジュラ削り出し。バルクヘッド部にシムを入れるとキャンバー調整が可能。

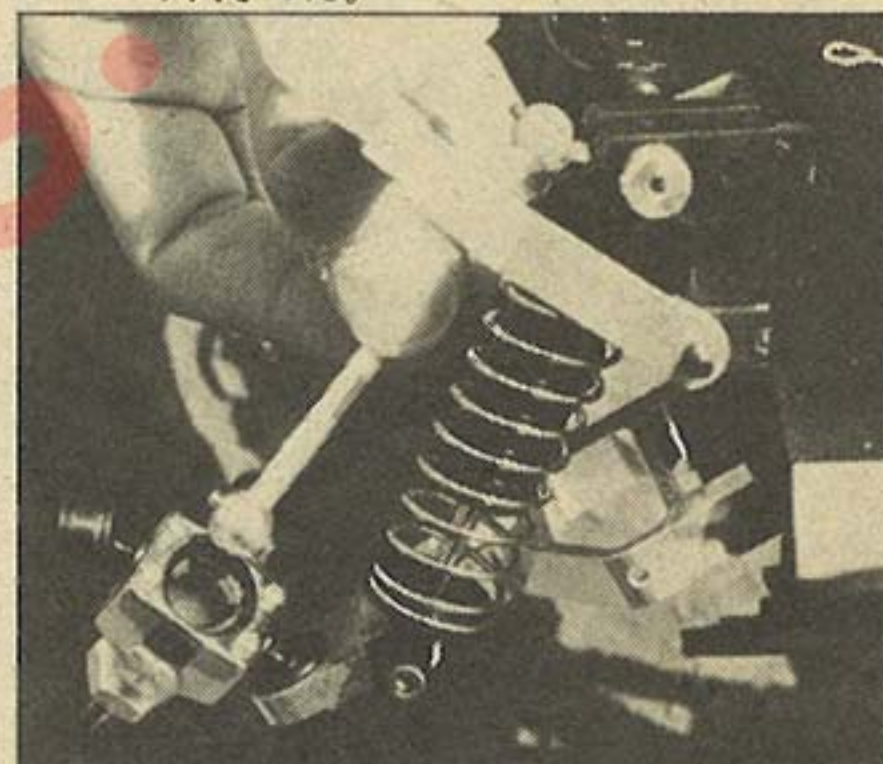


↑アッパーアームを貫通する形で付くダンパー。ややしぶい感じが残る。

↓ギヤ関係は従来車と同じもの。この部分のメンテナンス性は良好。



↓ハーフシャフトのジョイントは、ややサイズが大きめだ。



常作動には問題はないのですが、ななめに力が加わった場合にしぶくなるようです。つまり、ジェラシーのシャーシとのマッチングはあまり良好とはいえないようなんです。どうもOリングの暴れから来るようなんですけど…。そして極めつけはスペアパーツの確保でしょう。もともとジェラシーというマシン自体が、どちらかといえば特殊な注文生産的なマシンであるので、しかたがないかも知れませんが、説明書に書かれているスペアパーツリストを見てビックラこきました。そのリストには納期ランクA、B、Cというのがあり、Aで約1週間、Bで約1ヵ月、Cに及んでは約1ヵ月半という期間が必要になります。

Aの場合は従来のヒロボー製品からの流用パーツ（タイヤやスパーギヤ）がほとんどですが、Cはマシンの性格上、受注生産品となり納期に時間がかかります。さらにこまったことは、重要なほとんどのパーツがこのCランクになり、万が一パーツがいつてしまってからでは手遅れ…となりそう。

ボディ

このジェラシーのボディは、大変にスリムにそして長いフォルムになっていて、今までのマシンにはあまりないタイプに仕上がっています。今回の私のマシンの塗装ですが、突然スケジュールの関係で決まった取材日の前日（本当は当日になってしまった）に塗装した物で、夜中にマスキングテープがないのが発覚!! セブンイレブンで

もマスキングテープは売っていないのであきらめ、それに見合った塗装法でとりあえず切り抜けましたが、ご覧のような何となく私のマシンのイメージとは、ほど遠いデザインになってしまいました。

テストランだあ〜い

さあ〜て期待のテストランですが、今回は所沢のブリッチさんのコースを借りてみることにしました。4月からコースレイアウトを一新し、テーブルトップジャンプ等を加え、いままで以上にスリリングなレースができるデザインに変更されたので、いっちょ走ってみますか…てなわけ。

簡単にトリムを合わせコースイン、まだコースを変更したばかりなので、今までのレイアウトのときの跡が残り、けっこうギャップは多くマシンは思わぬ方向にホッピングしてしまいます。全体にダンパーのしぶさを感じていましたが、ギャップ走破性は期待したほど良好ではないようです。

しかし、ステアリングレスポンスは従来のヒロボー製マシンと比較してみると明らかにクイックな運動性を持っています。いままで比較的大きめなタックインが現れたヒロボーマシンではありますが、このジェラシーではかなりマイルドなタックインと言えそうで、コントロール自体はいたってイージーな印象を受けました。駆動配分をFF傾向としフロントのデフをかなりゆるめにセットした私のマシンは、大きな負荷がかかるとフロントのボールデフが滑るよ

うなセットになっているので、立ち上がり時にFF傾向特有のアンダーステアが出にくくなりました。実際にはこの方法が正しいのかどうかは、やや疑問があったのですが、編集部側でテストを行なったマシンやメーカーが組み立てたマシンはみなリヤ駆動重視の組み方でしたので、私はFF傾向で…と思ったんです。私は実際にリヤ駆動重視のマシンとFF傾向のマシンとを走り比べたわけではないので、いちがいにどちらが良いとは言えないのですが、このセッティングのまま私は通してみることにします。FF傾向と言うものの、プーリーサイズで45Tと47Tの差ではほとんど変化しないのではないかとはいいますが…。

そんなことを考えて組み立てた私のジェラシーではありますが、どうにもこうにもバンピーな感じでは、いっこうに状況はわからず、リヤのスプリングを思いきって硬めにしてみました。今度は比較的突き上げによるハネがなくなり、スムーズな走行ができています。これなら…と思った瞬間、予定外のマシンの挙動によりフェンスに全開でヒット、フロントに大きなダメージを与えてしまいました…。

マシンを回収し各部をチェックしてみると…ウゲッ!! そうです、ヤッてしまいましたゴメンナサイ!! 今までのヒロボーマシンの場合、このぐらいのダメージを受けたときにはサスアームが…のパターンなのですが、さすがはジェラシー、ジュラルミンサスアームは全くダメージを受けてい

ないのです。その代わりに他の部分にしわよせが行ってしまい、ステアリング周りのパーツ全体が、少しずつ曲がってしまいました。ああ〜ど〜しよ〜、私は精神的にも大きなダメージを受け、この後の走行は中止することにしました。どひゃあ〜、どうしましょつ、ナンてことやってる場合じゃない、来月のレースに向けてなんとかしなきゃっ、じゃねっケムール霜鳥でしたっ。

●先日バーズを買ってから、エンジンのならしもそこそこ、初めてレースなるものに出してみました。10クラスは5年以上前からやってたので平気なのですが、こと21エンジンの1/8バギーは初めて。結果的にまともに走ったのは1ヒートのみ、他はプラグトラブルやらでなかなかピットアウトできず。こんなこと書くと怒られるちゃうけど、エンジン屋さんってボディきれいに作ってる人ってあんまりいないのが残念。モデルカーなんだからきれいな方がカッコいいに決まってるんだけどなあ〜。でも、あのパワー、スピード、豪快さはクセになりソ。今年マジにやってみっかな…。ではまた来月。

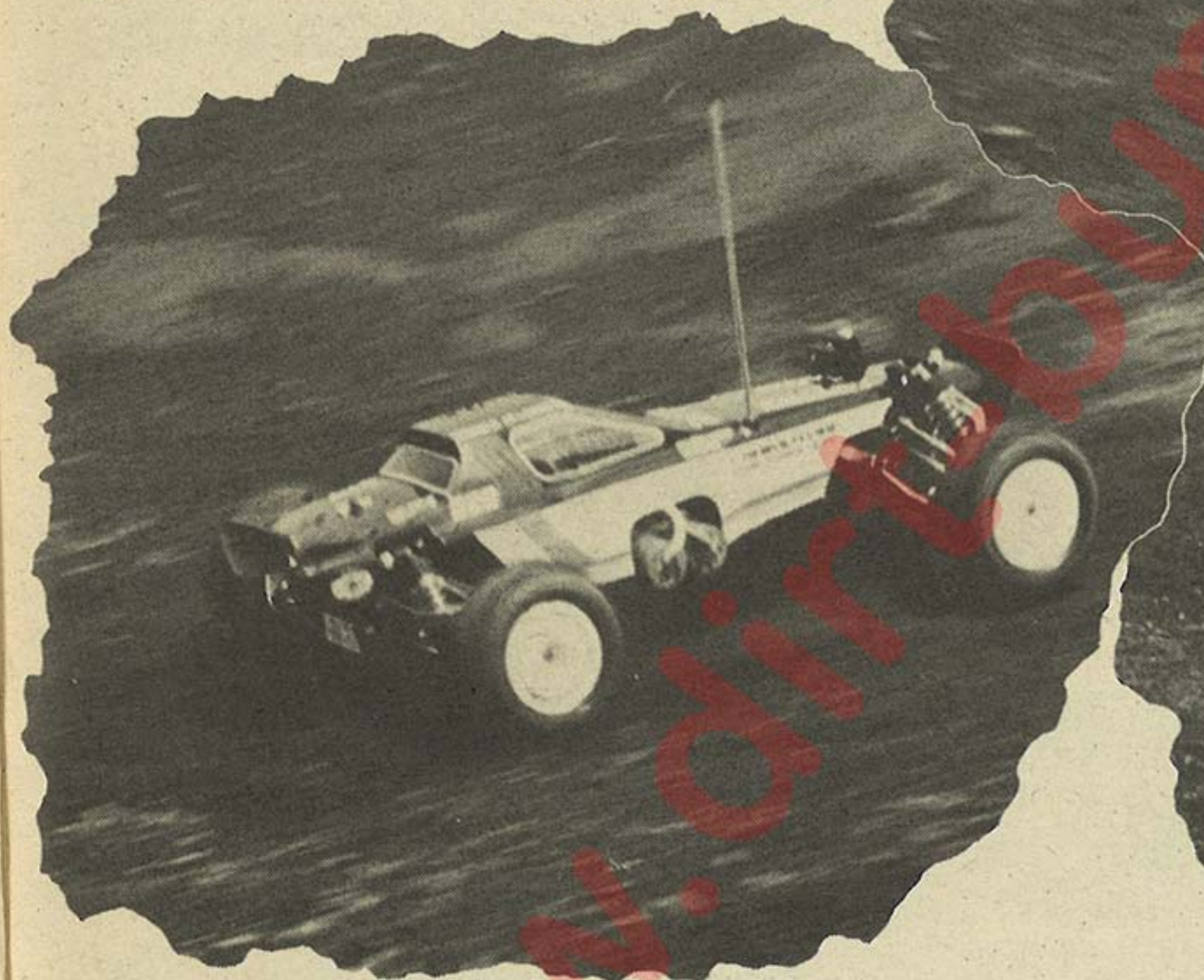
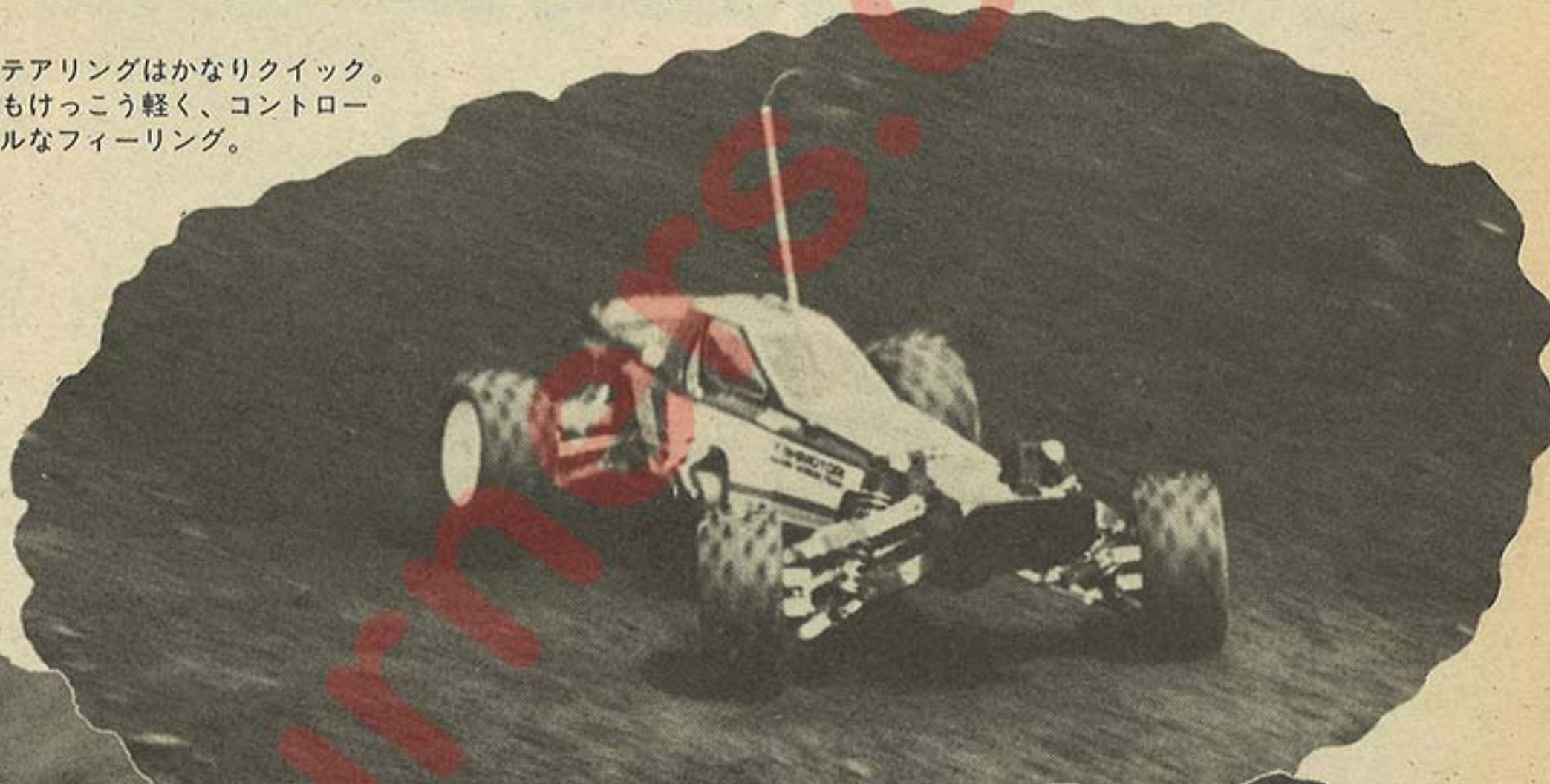
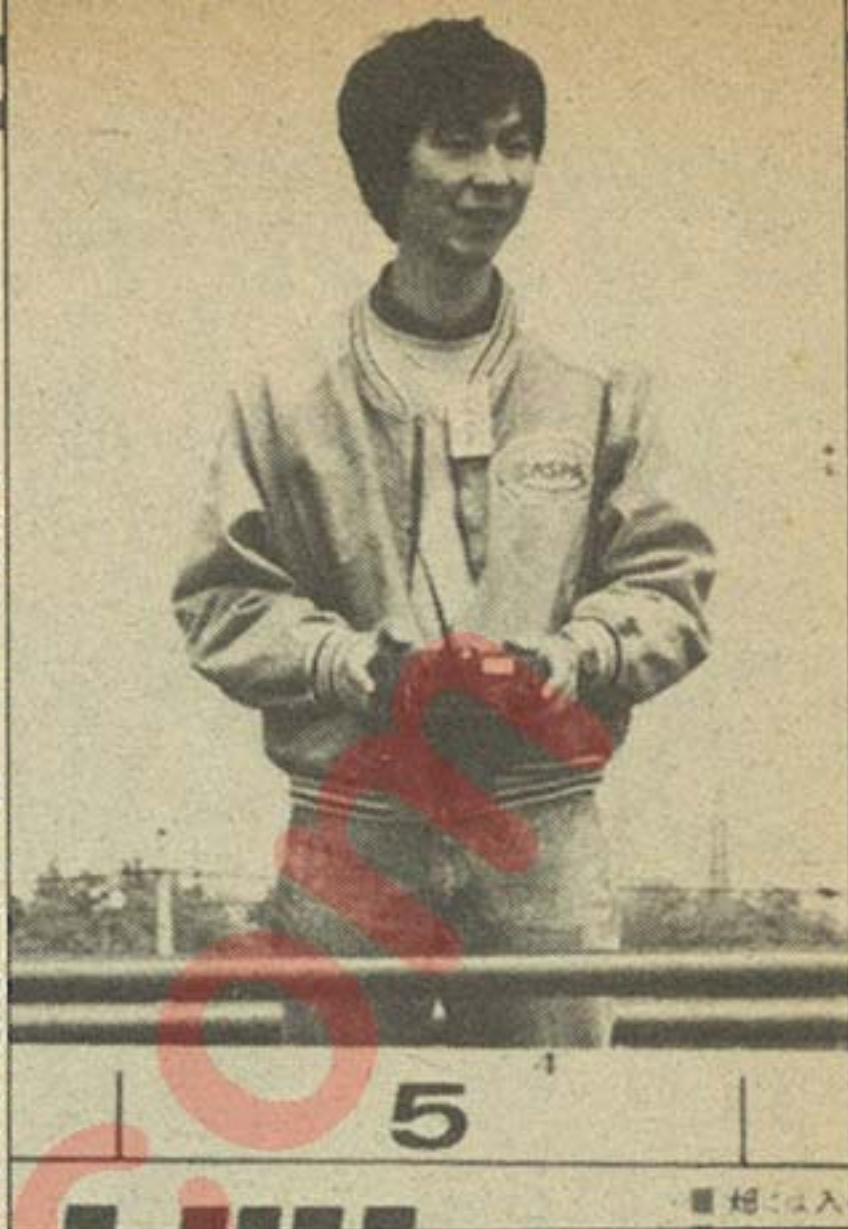
(霜鳥由明)



↓ステアリングはかなりクイック。走りもけっこう軽く、コントロールなフィーリング。

←サス関係を煮つめているケムール。ダンパのセッティングがカギだ。

→従来のヒロボー製マシンと比べ、ポテンシャルは向上している…とケムール。



究極のオンロード・コース 川口サーキット

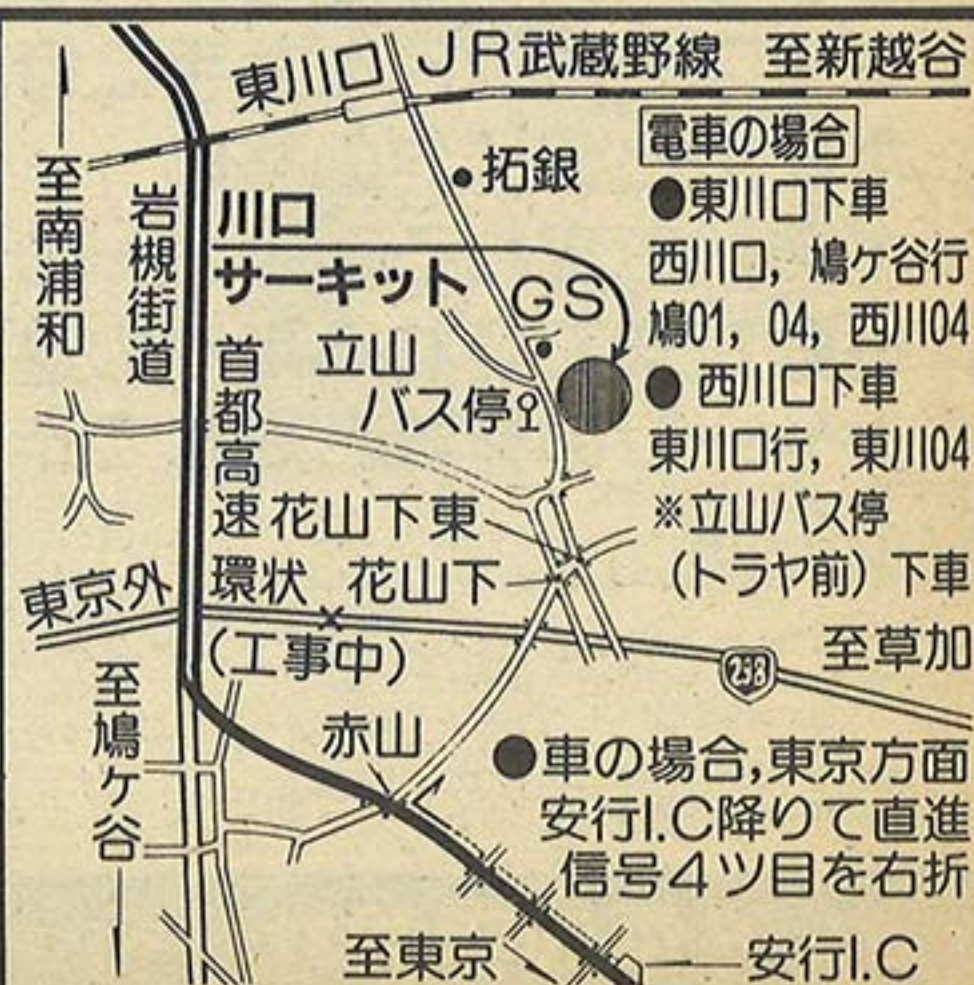
- 完璧な設備が君をまつ(30m×20mナイター設備有)
- 営業時間：AM10:00～PM5:00(レストハウス完備)
- 使用料：ビジター1,000円(1日使用の場合)

サーキット事務所

〒333埼玉県川口市長蔵新田256

Tel.0482-95-5495

御使用の際は当所の運用規約をお守り下さい。



絶賛発売中!!

ラジコン技術86年9月号臨時増刊号

CHALLENGE

the 電動レーシング

定価880円 送料75円

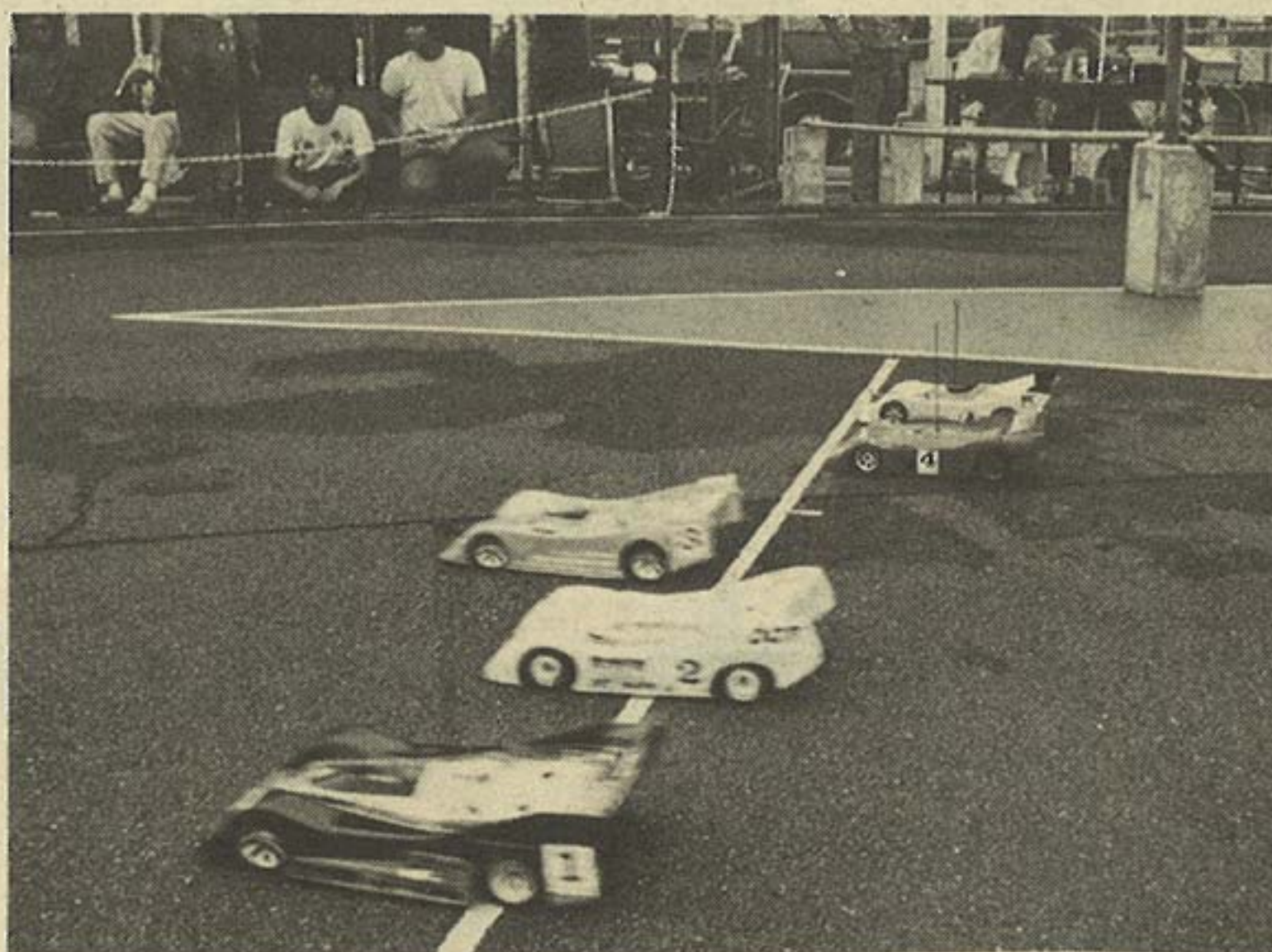


●電動レーシング・カー・レース…1度はみたことがあると思います。あのスピードと迫力は、味わった人でなければ分かりません。でも、いざ自分がはじめようと思ってもなかなか手が出ませんし、電動レーシングカーをもっている、なかなかレースにでる勇気が出ない…人も多いのではないのでしょうか。

本書は、電動レーシング・カーの入門者、初心者の方々を対象に、電動カーの選び方からレース参加までの実際を分かりやすく解説しました。電動レーシング・カーに興味をお持ちの方、レースに参戦したい方はぜひご一読を…。

○主な内容

- ☆市販電動カーの実情と選び方
- ☆ラジコン装置の基礎知識
- ☆モーターの正しい扱いを覚えよう
- ☆工具を上手に使い分けよう
- ☆電動カーの各称と働き
- ☆上手なハンダ付けをマスター
- ☆ノイズ・カットを上手に行なおう
- ☆ホイールとタイヤの整形
- ☆ボディで変わる電動カーの走り
- ☆駆動方式で変わる走りの違い
- ☆シャーシの材質と形状で走りが変わる
- ☆その他



●本書をご希望の方は、最寄りの書店または模型店にてお求め下さい。入手困難な場合は定価に送料を加え、現金書留または振替口座(東京3-76758)で弊社までお申し込み下さい。直接ご注文の時は、住所、氏名、書名をハッキリとお書き下さい

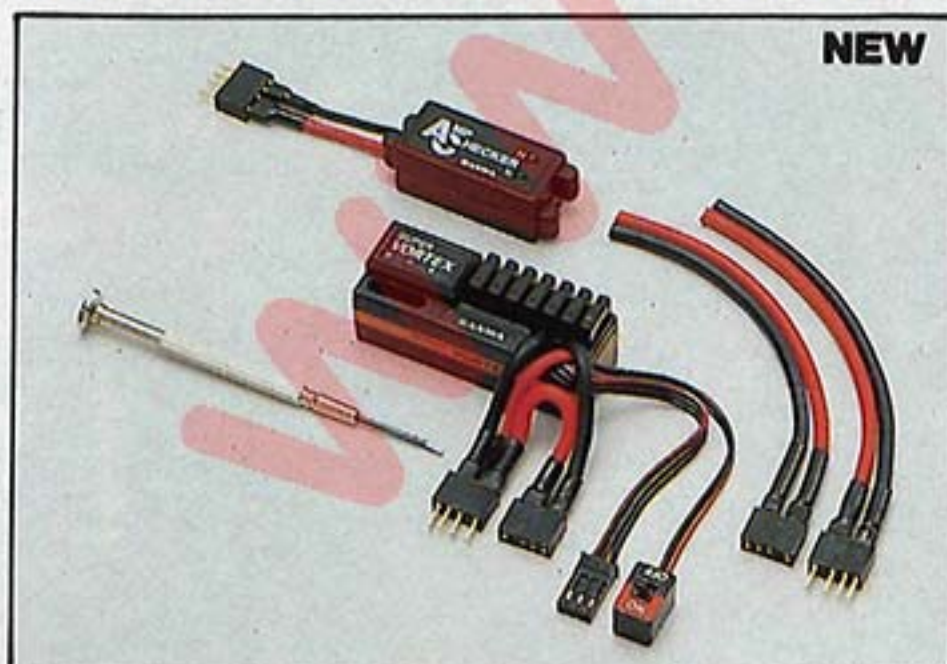
SUPER VORTEX



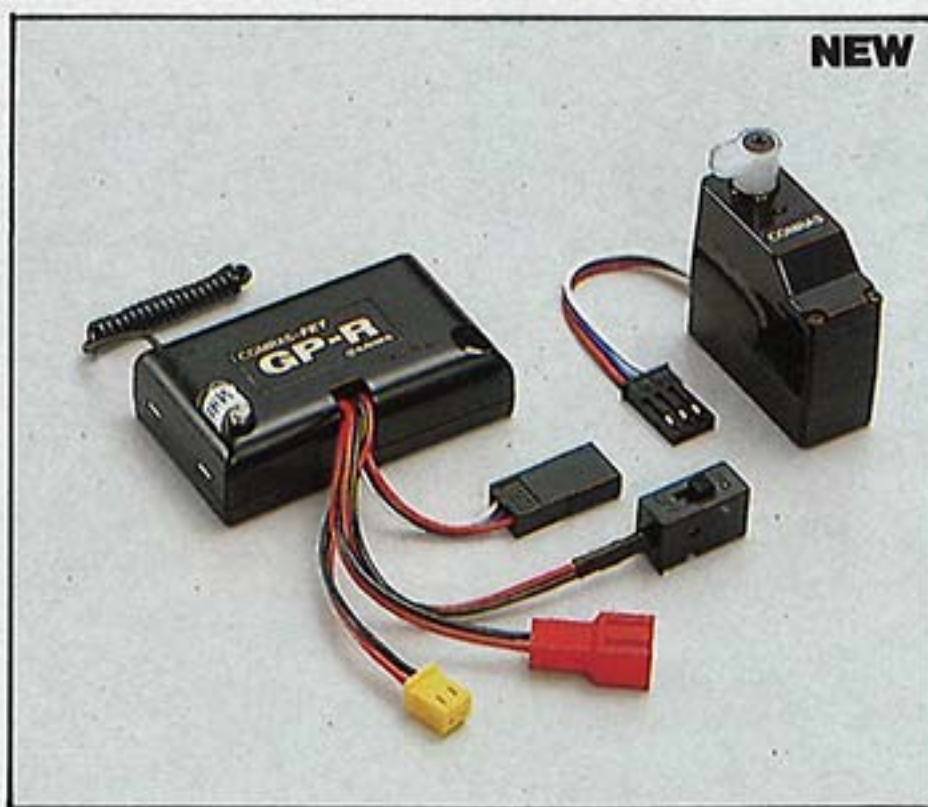
SUPER VORTEX

- 使用電源: Nicd 7.2~8.4V
- 瞬間最大電流: 1260A
- 連続最大電流: 360A
- ロス抵抗: 0.0033Ω
- 寸法: 53.7×19.5×20.0mm
(FETヒートシンクプロテクター含まず)
- 重量: 26g(コネクターリードSW含まず)

'88 静岡ホビーショーでも注目の的! SANWA NEWアンプシリーズ!



SUPER VORTEX
¥18,000 (カスタム仕様) ¥19,800



COMRAS GP-R

- (レーサーアンプユニット)
- 受信周波数: AM27MHz帯
 - ①~⑥バンド (SANWA 2ch プロポ専用)
 - 使用電源: Nicd 6.0~7.2V
 - 瞬間最大電流: 220A(前選のみ)
 - 連続最大電流: 55A(前選のみ)
 - ロス抵抗: 0.02Ω
 - (専用マイクロサーボSM-541)
 - 速度: 0.13sec/60°(7V)
 - トルク: 1.8kg-cm(7V)
 - 寸法: 34.0×14.0×32.0mm
 - 重量: 22g
- ¥9,800**



'88 オリジナルTシャツ

(サイズ) M/L ¥1,000
(NEWデカール1枚付、送料込)

'88 オリジナルTシャツが完成しました。いま、お申し込み頂きますと NEWデカール1枚付、送料込み¥1,000でお届け致します。奮って 御応募ください。
<申し込み> 住所、氏名、TEL、サイズ、デカールの種類(例: CAR用黒)を明記の上、〒578 東大阪市吉田札場28-1 三和電子機器 株式会社 まで。

(NEWデカール) ■CAR用...黒¥150、白¥150
■SKY用...黒¥150、白¥150

三和電子機器株式会社



<プロポ事業部> 東大阪市吉田札場28-1 〒578 ☎0729(64)2531 <東京営業所> 東京都台東区柳橋1-23-3 ☎03(862)8857

GP250ワークス



AJINOMOTO
HONDA NSR250
世界GP仕様
清水 雅広



AJINOMOTO
HONDA NSR250
全日本仕様
小林 大



J-TRIP RS250R



ミュージアム

全日本選手権ラウンド1 in 鈴鹿



UCC YAMAHA TZ250改

本間 利彦



SUPER ANGEL TZ250

'88 7月

1 金

2 土

3 日

4 月

5 火

6 水

7 木

8 金

9 土

10 日

11 月

12 火

13 水

14 木

15 金

16 土

17 日

18 月

19 火

20 水

21 木

22 金

23 土

24 日

25 月

26 火

27 水

28 木

29 金

30 土

31 日

MEMORANDUM

GP250 ワークス・ニュージラム

→清水雅広選手のNSRは、他のテラカラーとは異なる世界GP仕様。



↑青と白で構成される、全日本仕様のテラカラー。マシンは田口益充選手のNSR。



↑缶コーヒーでおなじみのUCCは、250で本間、500で片山をサポートする。



↑ディスコで有名なJトリップが新規参入。独特のカラーリングが特徴。



↑ワークスではないが、カラーのバランスがとても良いチームグリーンマシン。



↑WGP第1戦、日本グランプリで3位入賞を果たした小林大。

←昨年、全日本チャンプとなり、今年は世界に挑戦する清水雅広。



↑UCCのスポンサーを得、ヤマハのエースとして走る本間利彦。

90kgそこそこの車重にオーバー75psのハイパワーを持つ250ccマシン。500ccほどではないにしろ、またこれもモンスターと呼べるマシンだ。'88年WGPでは、ホンダのNSR、RS、ヤマハのYZR、TZに加え、ストップ・ザ日本製を掲げるアプリリアをはじめとするヨーロッパ勢が介入し、熾烈な激戦を展開している。

国内（全日本選手権）では現在のところ、ホンダNSR250が一步抜き出ているが、

マシン自体は'87年型とくらべ大きな変化はない。それだけ'87年型が良くできていたと言え、'88年型は熟成へのプロセスが進んだと言えるだろう。スポンサーは昨年同様、味の素（TERRA）が、小林大、田口益充らをサポートする。

また今年は、ディスコで有名なJ-TRIPのスポンサーを得て、エンデュランス・レーシングチームより、宇田川勉がRS250Rでエントリー。

ヤマハ系では、本間利彦が缶コーヒーでおなじみのUCCのスポンサーを得てエントリー。マシンはTZ250改。TZとは言え、各部にワークスの手が入っており、そのポテンシャルはYZRに迫るものがあるようだ。UCCヤマハは500にもエントリーし、片山信二がYZR500を駆る。

今年は、バイク業界以外からのサポートが目立ち、レースをより熱くしている。

（資料／写真提供・TAKE OUT／design Co. & 松本浩明）

ラジコン技術 1987年 3月号臨時増刊号

電動カー困ったときのQ&A

身近にあったたのしいやつ!

定価880円

送料75円

最近の電動カーは、組立キットに入っている説明書をみれば、ほとんどだれでもが完成させることが出来ます。ところが、実際には細かな所でわからない部分、こまった所が出てくるはずですよ。例えば、クリヤ・ボディをもっときれいに仕上げたい…、Eリングをすぐに飛ばしてしまう…、取り付けたサーボがガタガタに動

く…、もっとパワーのある充電をしたい…。初心者ならずとも、必ず“ある壁”に当たります。

本書は、特に入門者や初心者が、困ること、困ったこと…などを数十項目にわたってピックアップし、解決法をアドバイスします。

持ち歩くバイブルとして本書をどうぞ。

(主な内容)

本書は、①組立編 ②走行編 ③メンテナンス編 ④チューンアップ編 ⑤一般編 ⑥プロポ編に分かれています。

組立編 市販キットを組み立てる時に出てくる素朴な疑問に答えます。例えば、ベアリングが入らない、Eリングが入られない…など。

走行編 車を組み立て終わり、初走行の時にフト出てくる問題に答えます。例えば、ニッカド電池を充電したはずなのに走らない、ギヤがすぐに欠ける、モーターが熱い…など。

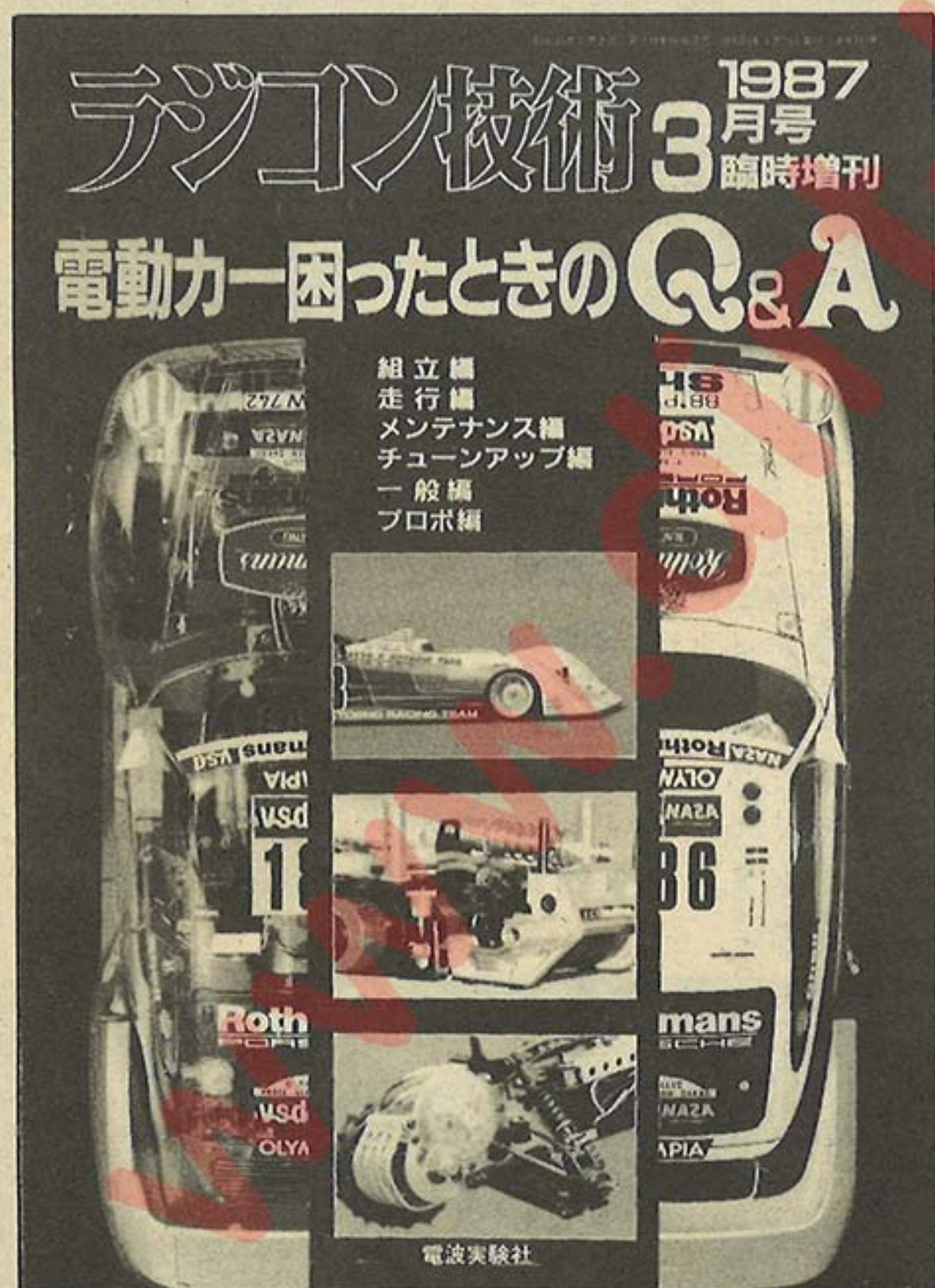
メンテナンス編 走行後、レーシング・カーでもバギーでも汚れます。この汚れを上手に清掃する方法などは、過去にあまり誌面では紹介されません。また、ダンパー・オイルが漏れる、ナイロン・ナットがゆるくなった…など。単純な疑問に答えます。

チューンアップ編 ノーマルのままでは満足しない/人よりも少しでも速く走りたい…という人のためのチューンアップを教えましょう。

一般編 この項では特に電動カー用ニッカド電池、充電、放電についての各種疑問にお答えします。

プロポ編 はじめてカー用プロポを購入する時、スティック式とハンドル式(ホイール式)のどちらがよいか…など、アドバイスをしましょう。

その他 電動カーではありませんが、電動カーからのステップアップとして09~10クラスのエンジン・バギーを紹介します。



チーム
スパマ

“全日本”への道(なんてネ!)



今年は1/8バギーもヤルゼ ブンチンとケムールが本戦に進出だ!!

■たまには1/8バギーでもやろう…ということで、いきなり全日本の予選会に参加することとなったが……。

…しかし、何を血迷ったのか、我らチーム・スパマの“電動屋”であるYucchi、ケムール、ブンチン、そして沖野ボールにジャイロ保戸塚、ミルミルモダの6名は、1/8エンジンバギーの全日本選手権・関東地区予選に参加することになった。理由はただひとつ、ちまちましてグリップもしないコースで欲求不満気味に電動バギーをやるよりも、でっかいコースで思いきり“カッ飛び”ができる1/8バギーの方が魅力的と思えてきたからなのだ。

1/8バギーも、最近の車はよくできているので、こわれもしないしよく走るし…で、ノーマルでもいけそうなので、いきなり行ってもソコソコやれるのでは…とスケベ心をいだいたのも事実。

つーことで、我々は関東予選会の行なわれる静岡・沼津のヨコタサーキットに向かった。しかし当日はものすごい雨で、ほと

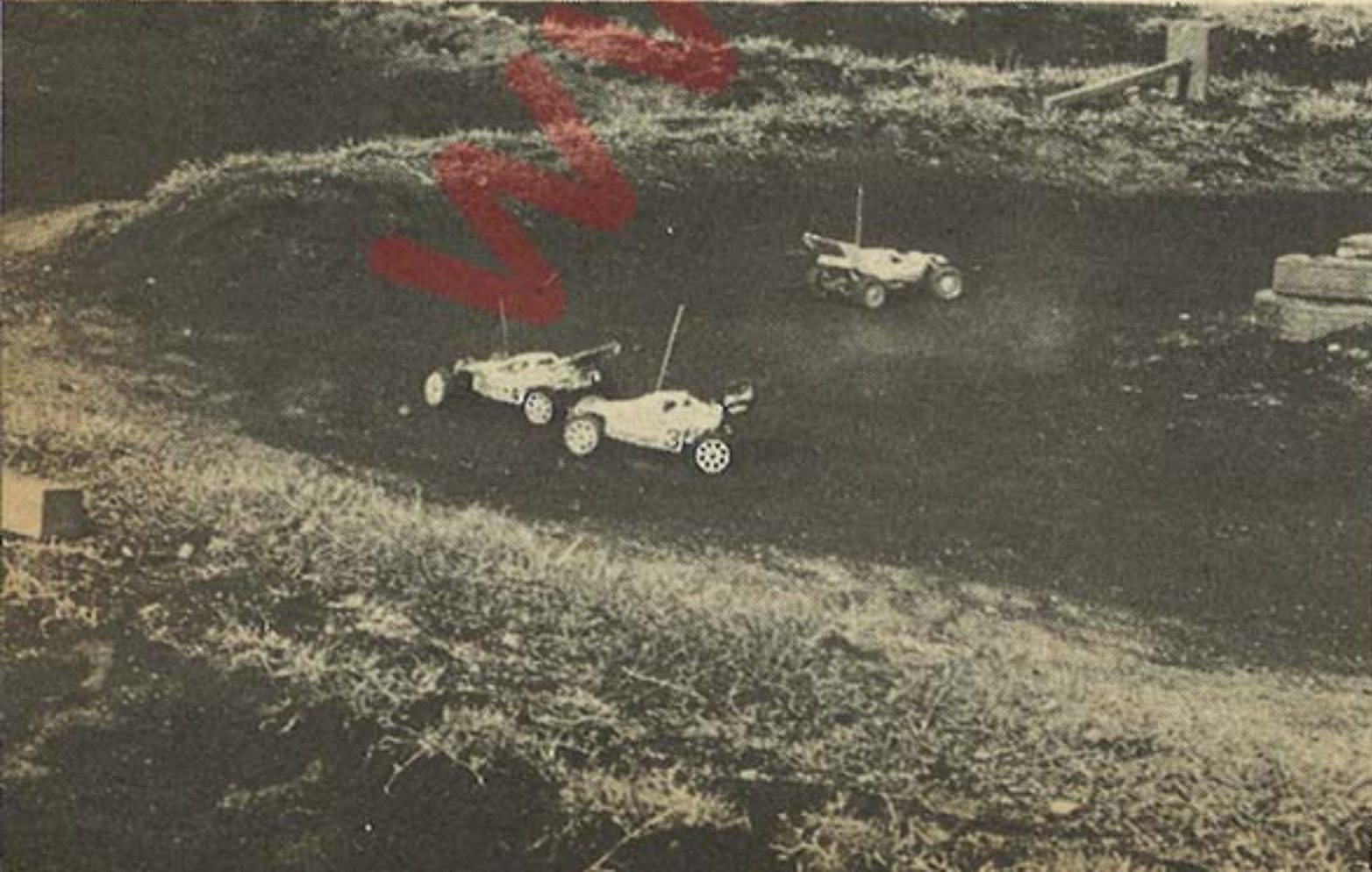
んど中止かと思われたが、9時ごろには上がり、急速に天気良くなってレース開始となった。ヨコタの路面は吸水力バツグンという利点と乾燥すると“タツマキ”ができるほどホコリがすごい…という欠点があるが、今回は雨のおかげでホコリからは開放されて、ルンルン気分でレースできそう。レースは5分間で何周まわれるか…とい

う例の方式だが、1周目は計測せずに1周をクリアしたときから5分間…というシステムがとられた。このためスタート直後のゴタゴタがあってもカンケーないわけ。しかし反面、タイムは非常に接近していて1秒以内に4～5人というところもあるほどシビアになって、気は抜けないというところ。

⇒約100人以上が参加。本戦に出られるのだが…。この中から35人が

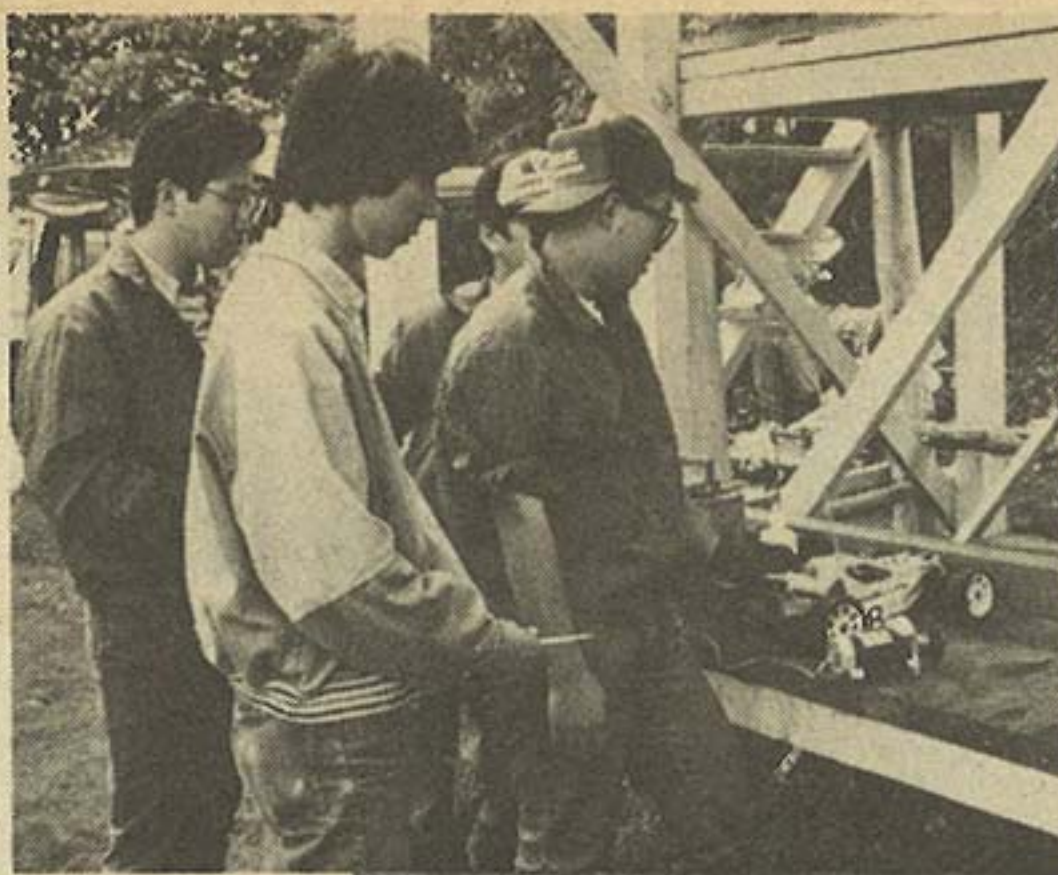


⇒スタート後の①コーナー。1周目は計測していないので、レースの展開がラクだ。
←インフィールドでのバトル。ゼッケン③がケムールのバースズ。





←もともと10エンジンレーシング屋だったケム氏。ただ今エンジンの調整中。



→ストリートが青春だ！と沖野ボール。青春を楽しむため(？)に、モダさんの車のビットをとめるブンチンとケム氏。1ヒート目はスアームポッキーでリタイヤに...



→大量の雨を吸い込んで、ヨコタサキットの路面が黒くなった。
←某ラマガの村氏と同ヒートとなったケムール。スムーズな走りですり通過。



→いよいよケム氏のスタート。タイヤについたドロがブンチンをおそいやや逃げ腰気味。



→見事本戦へのキップを手にした35名の選手。やはり大人中心である。
↑新たにジャンプが2カ所設けられ、ここがポイントとなった。



リザルト

①一式 勉	8周5分09秒4 (1R)
②橋北進一	8周5分09秒5 (1R)
③真田幸治	8周5分09秒7 (1R)
④金井祐一	8周5分10秒2 (1R)
⑤八木則行	8周5分15秒8 (1R)
⑥小島久佳	8周5分16秒5 (1R)
⑦小泉和寛	8周5分17秒2 (1R)
⑧森田正智	8周5分21秒6 (1R)
⑨落合英美	8周5分23秒9 (1R)
⑩大野敦弘	8周5分24秒1 (1R)
⑪鈴木清史	8周5分25秒2 (1R)
⑫大村 進	8周5分25秒2 (1R)
⑬青野淳一	8周5分25秒5 (1R)
⑭木本弘光	8周5分25秒8 (1R)
⑮樋口正信	8周5分27秒1 (1R)
⑯首藤 広	8周5分27秒8 (1R)
⑰崎本賢一	8周5分28秒4 (1R)

⑱館野秀雄	8周5分29秒3 (1R)
⑲鈴木清美	8周5分30秒4 (1R)
⑳小林康宏	8周5分30秒9 (1R)
㉑向山敏男	8周5分31秒1 (1R)
㉒土井龍平	8周5分32秒1 (2R)
㉓粉川 章	8周5分32秒1 (1R)
㉔平林寛治	8周5分32秒5 (2R)
㉕望月庄一	8周5分33秒6 (2R)
㉖森下忠芳	8周5分35秒3 (1R)
㉗竹川廣幸	8周5分35秒7 (2R)
㉘平尾 徹	8周5分36秒4 (1R)
㉙霜鳥由明	8周5分38秒6 (1R)
㉚江原信一	8周5分39秒4 (1R)
㉛並木政夫	8周5分39秒5 (1R)
㉜大槻直彦	8周5分40秒2 (1R)
㉝大石和弘	8周5分47秒5 (2R)
㉞大山 豊	7周5分00秒0 (1R)
㉟佐藤和弘	7周5分00秒2 (1R)

注...カッコ内はそのタイムを出したラウンドを示す。

我々は全員バーズを使った。我々の中で1/8バギーレースの経験があるのはYucchiとブンチン、そしてケムール(2レース目)だけで、沖野ボールとジャイロ君、それにミルミルモダは初めてで、車もまだ1度しか走らせていない...という状態。しかしバーズの完成度の高さと、ニードル調整のラクなOS21VF-BRのおかげで、他の選手のマシンと同等の走りを見せてくれそうだ。

我々自体、1/8バギーの経験が浅いので、1ヒート目は様子を見ながら...と思っていたが、これがとんでもない間違い。2ヒート目以後はコース自体が穴だらけになってしまい、どんなにガンバってもタイムが出ないのだ。つーことで1ヒート目に好タイムを出していたブンチン(10位)、ケムール(29位)の2人がクリアしたにとどまった。おしかったのは沖野ボールで、あと2人の37位(それもコンマ数秒差)になり、予選不通過となってしまった。

なお、1/8バギーセットアップでおなじみの金井選手は4位となり、さすがの実力を見せつけていた。ブンチン、ケムールともども、本戦での活躍に注目したい。

あかびとの RCカー 雑記帳 その12

決定! 第1回 キングオブ感動賞

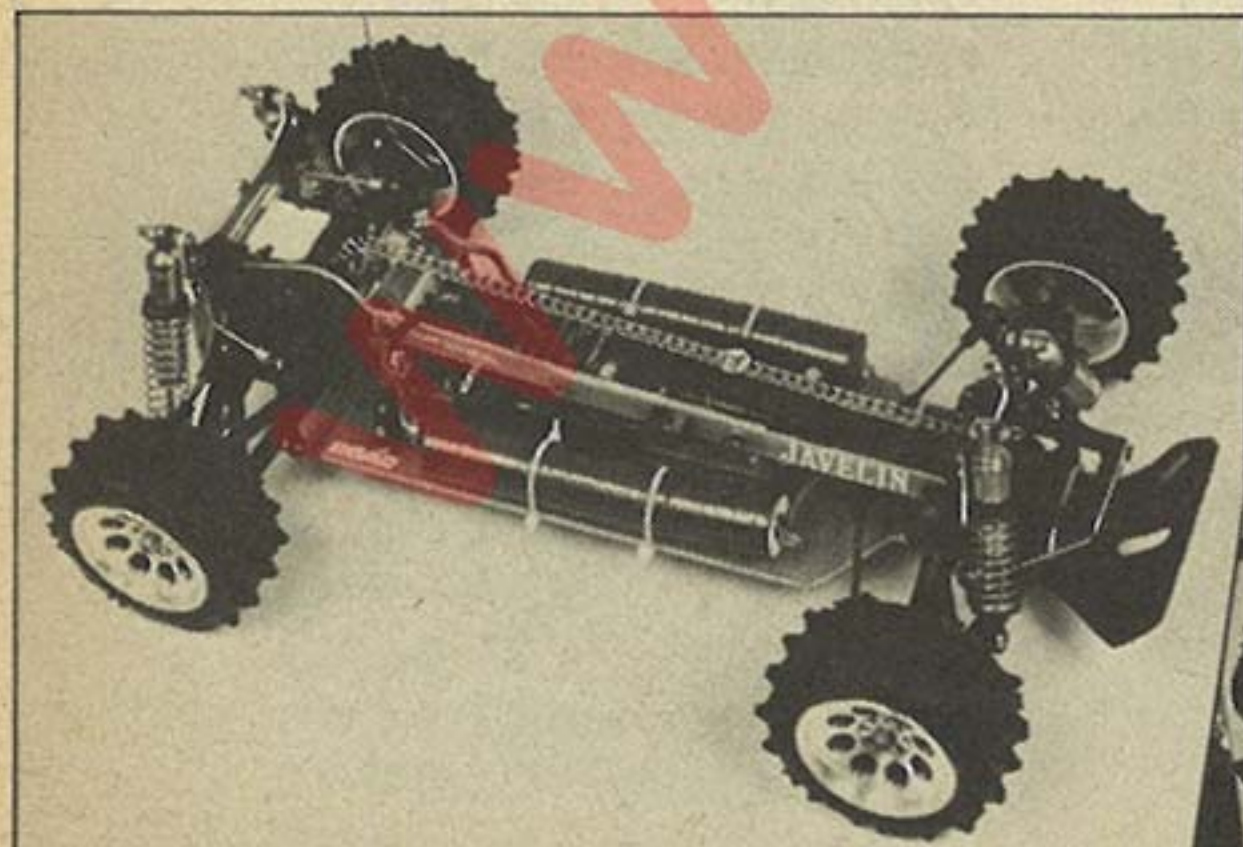
唐突ですが2年目です

“唐突ですが地方人です”の書き出して始まったこのコーナーも早くも2年目をむかえた! 感動の炎が猛り狂い、独断の嵐、偏見の竜巻きの湧き起こる雑記帳の大地に雄々しくそそり立つ12の勇士たちのエナジーの、なんとすさまじかったことだろう! そしてまた、黒雲を刺して広野を突く一条の光明のような読者のみなさまの暖い支持(長い)の、なんと愛に満ちていたことだろう。ただ喜びの涙が流れおちるのみである。それでは決算編の始まり始まりー。

初代感動王、いよいよ発表!

覇を競いあった勇者、総勢12名、その戦いにも一つめのくぎりがつこうとしている。

まず12位。水戸の柴田兼吾君のライト・オーガニゼーション・オブティマは'88年1月号でのエントリー。オブティマベースのミッドシップカーだった。柴田君はまだ中



↑水戸市の柴田兼吾君のオブティマ改ミッドシップ。

学生ということで、今後の活躍が楽しみ。

11位は、トムキャットをベースに、ユニークな構成が光るミッド2WDを製作した埼玉は坂戸の山下寛文くん。'88年3月号でのエントリー。彼は13歳。金銭的制約を工夫で切りぬける姿勢に好感。

10位の武川君は岩手県大船渡から。アルティマベースのRRマシンはちとオーソドックスだったが、確実な造りのマシンだった。'87年12月号で紹介。

9位はアルティマシャーシとタミヤのドライブ系のドッキングという、ウルトラCを見せてくれた(もちろん4ダブ)後谷君。富山からのエントリー。今思うと点が辛すぎたかな? 初挑戦者はツライね…。'88年9月号で。

さ〜て8位…と思ったら、なんと6位が3名いるので8位も7位もないんですねー。

6位は前述のとおり3名いる! まず、ワンスカの愛称で現在も人気の、ワンダースカッツをひっさげて富山からエントリー

↓トムキャットベースのミッド2WDマシンは埼玉・坂戸の山下寛文くんの愛車。



■今回が12

回目となったこのコーナー、いよいよ

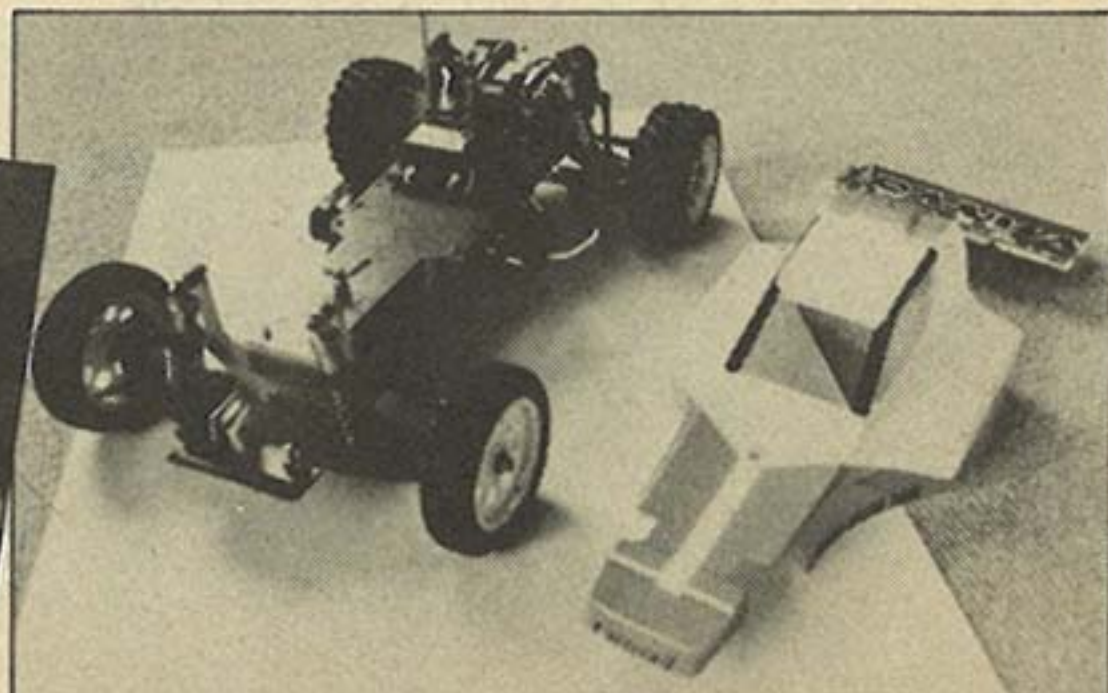
1年の総決算、第1回感動賞を発表しよう。さてチャンピオンは誰か? あかびとの答はこれだ。

した中平君。同郷ということで心を鬼にした点数だったが、90点はあげても良いクルマだったよ! アルティマシャーシとニンジャの駆動系のドッキングが見事。後谷車と同じく'87年9月号の初挑戦車。

同じく6位、'88年5月号のミッド・スポーツは築城彰良君。名古屋からエントリー。フォックスとブメ子の融合が美しく、D&Dカーボンのシャーシが迫力。タミヤ戦へのエントリーも可能だ。また同じく6位に入ったのは北九州から'88年4月号にエントリーの河原孝選手。アルティマベースのミッドシップカーで、理にかなった作りと美しい仕上がりが良かった。

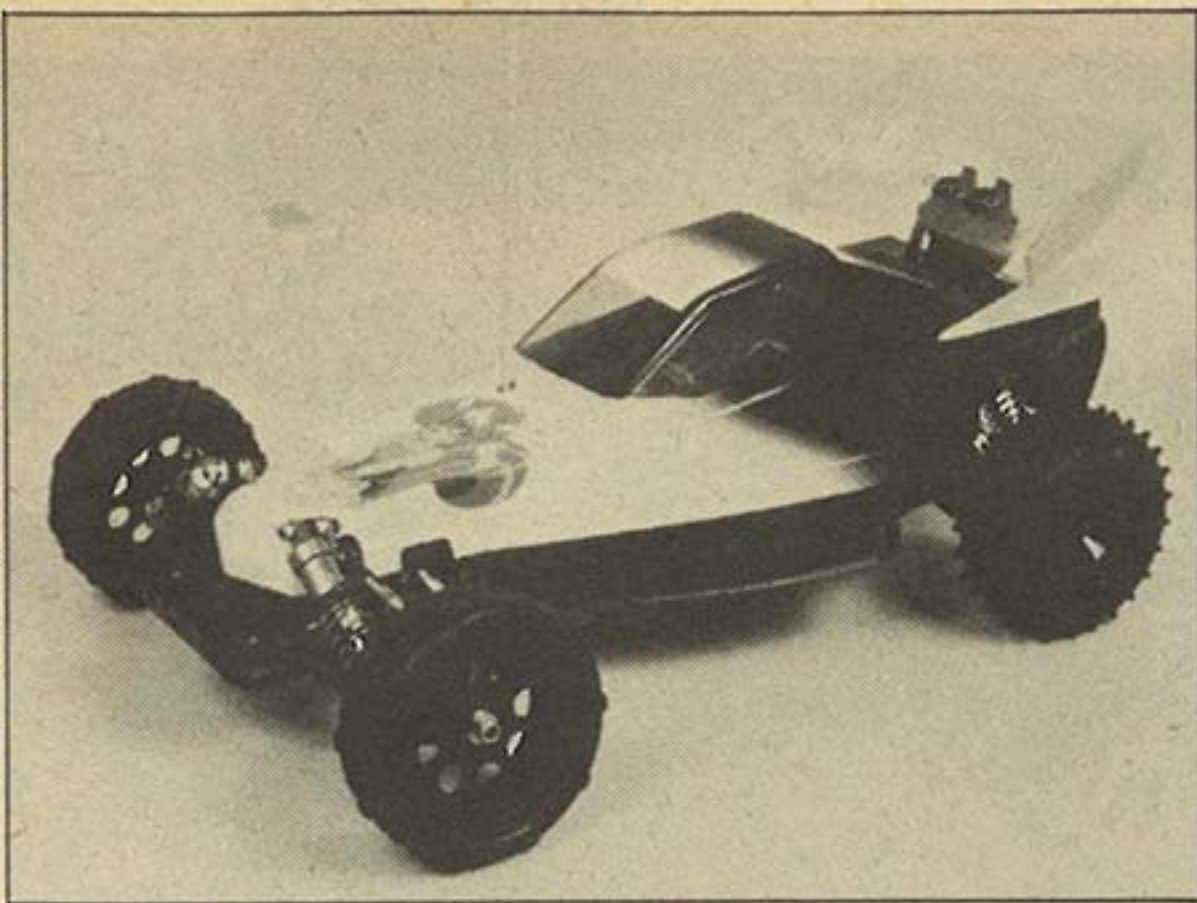
5位…といきたいところだが、なんと4位も複数! 十河雅行選手は、トイラジコンベースとはとても思えないフル・スケールのナイト2000でエントリー。北海道は札幌からの挑戦者だった。'88年1月号。

さて同点4位は、あの、岩手県大船渡からエントリーの佐藤義樹選手が削り出しパーツという^{おきてやぶ}掟破りの武装で'88年3月号に発表した“FAIRY”。象が踏んでも壊れ



↑大船渡の武川哲也君のマシンはアルティマベースの2WDだった。

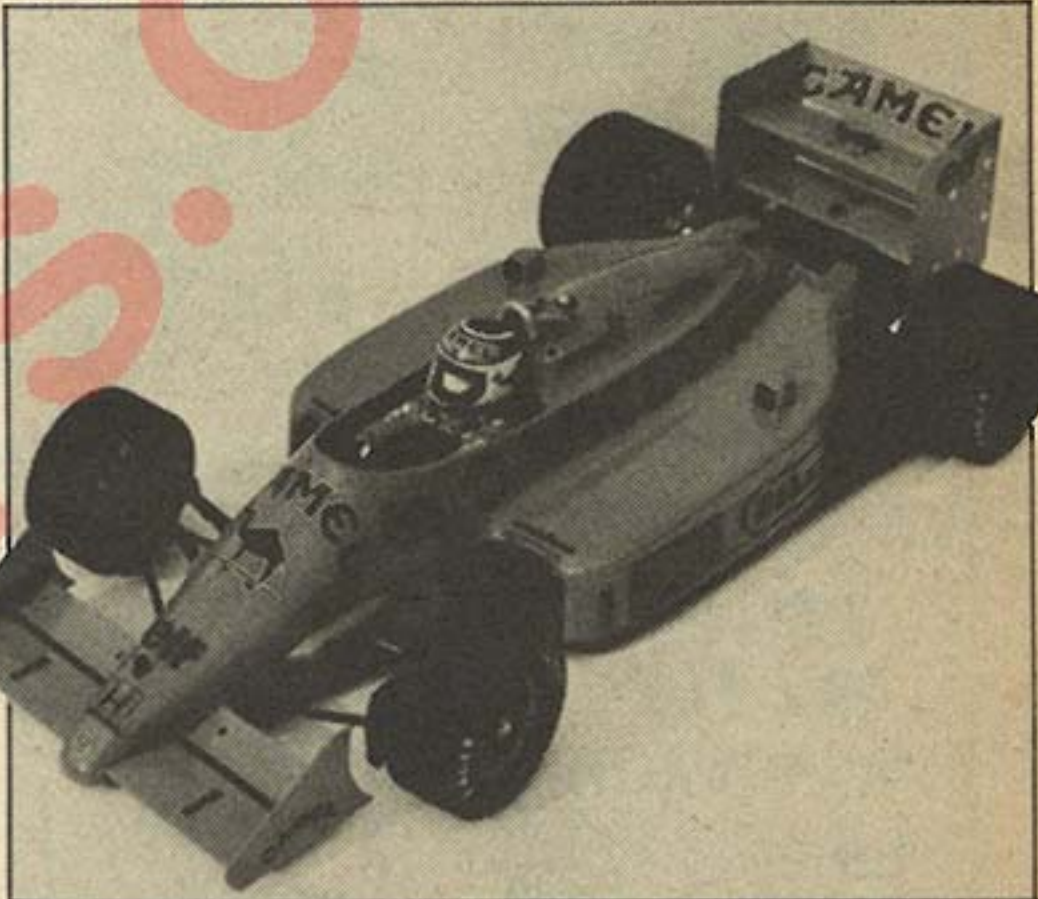
⇒ オフタイムミッドをベースに、ミッドシップ2WDを作った林靖夫氏の車。



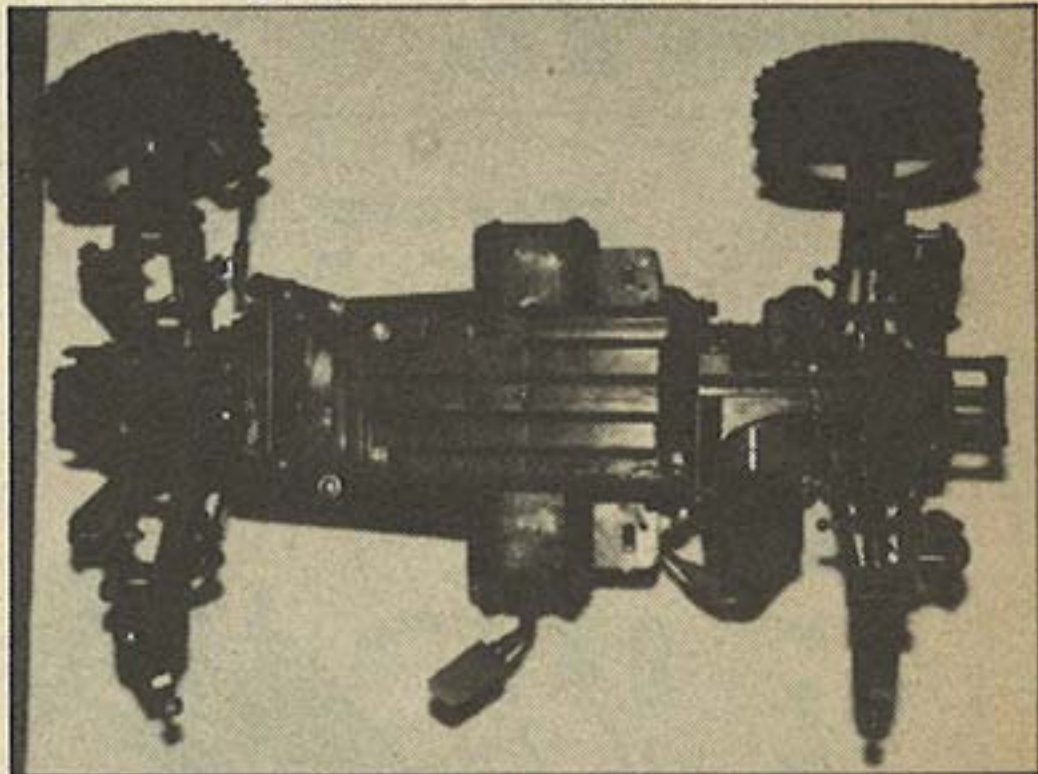
⇒ 同じく林靖夫氏のオンロード仕様バギー？独自のコンセプトがすごかった。



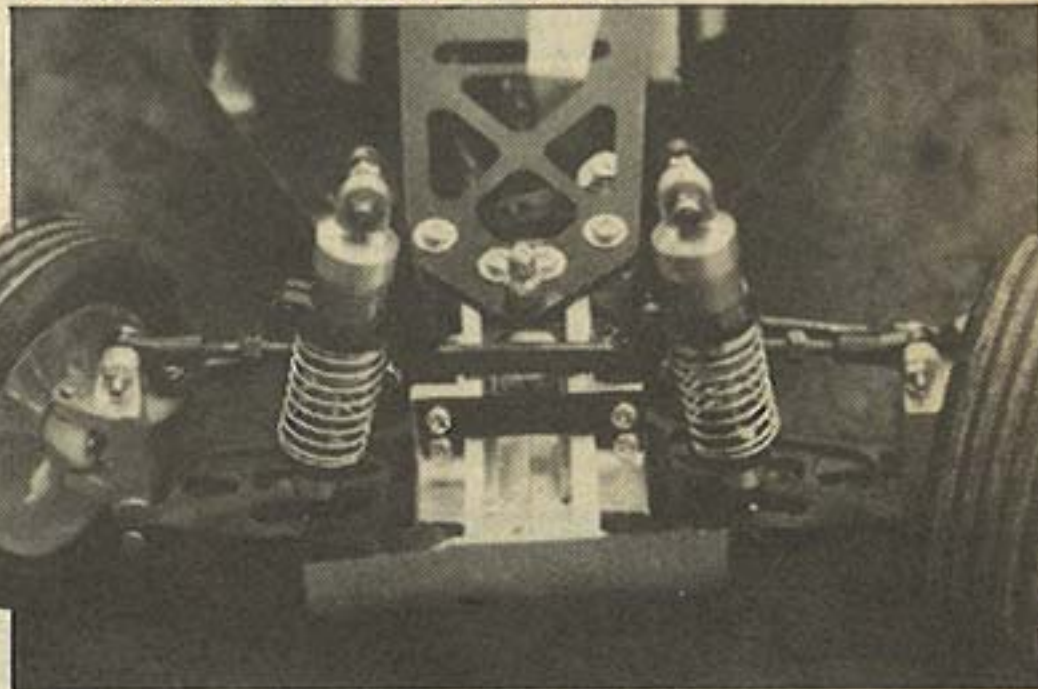
↓ 東京・江戸川区の関本政幸氏の超リアルなロータス99T。4独サス付きの超大作だ。



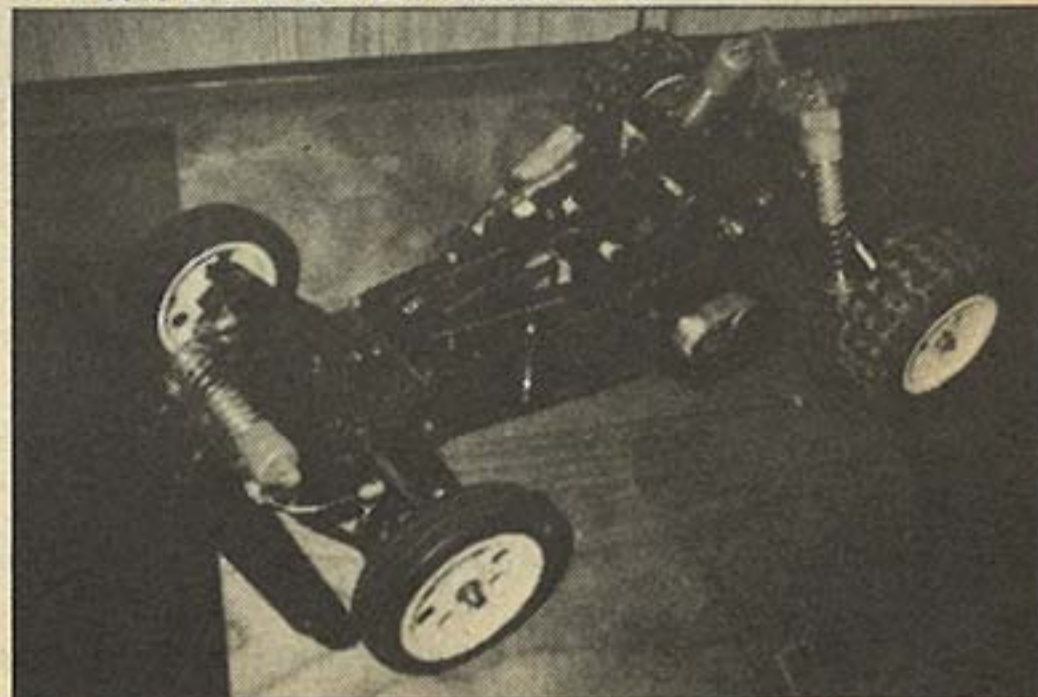
↓ 重心位置などを変更してサンダーショットを“理想”に近付けた岡山の中村憲一氏の車。



↓ 大船渡市の佐藤義樹氏の2WDマシン。アルミ削り出しパーツがすごかった。



↓ フォックスとブメ子をグラファイトシャーシに合体させた名古屋の築城君の車。



ない？ 強度ながら軽量でもある点がすごかった。

3位に入った中村憲一選手は、サンダーショット改をひっさげて、岡山県小田郡から'88年4月号にエントリーした。実戦的改良もさりながら、競技車はこうでなければならぬ…という強い信念で貫きとおされた文章もポイントアップの要因となったのだ。

2位は江戸川区からのエントリー、関本政幸選手。先月号で紹介したF1マシンは超リアル路線の四独サスカーだったね！メカの構成と小物パーツの充実したボディまわりの仕上がりはマニアック&ワンダフル。驚異の凝りように思わず120点あげてしまった次第。

さて、栄光の第1回感動王は…。'88年2月号と、同5月号の2回登場、既存のジャンルにとらわれない自由な造りながらも明確なコンセプトを持つクルマ造りが光った林靖夫選手。2回とも辛めの点数だったのだが、見事に数でかせいだ！? 2月号では、

オフ用ミッドのありかたを提案する変型ふり分けバッテリー用シャーシを持つオリジナル・ミッドシップカーを、5月号では、舗装路でのレース専用バギーを発表。超コンパクトシャーシは、オンローダーのエッセンス香る秀れもの。僕もあーゆーの1台欲しい！と思わせたニクイマシンだった。

なお感動王となった林選手には賞品を贈り、その功績は後々まで伝承される…かもしれない。楽しみに待っていてほしい。

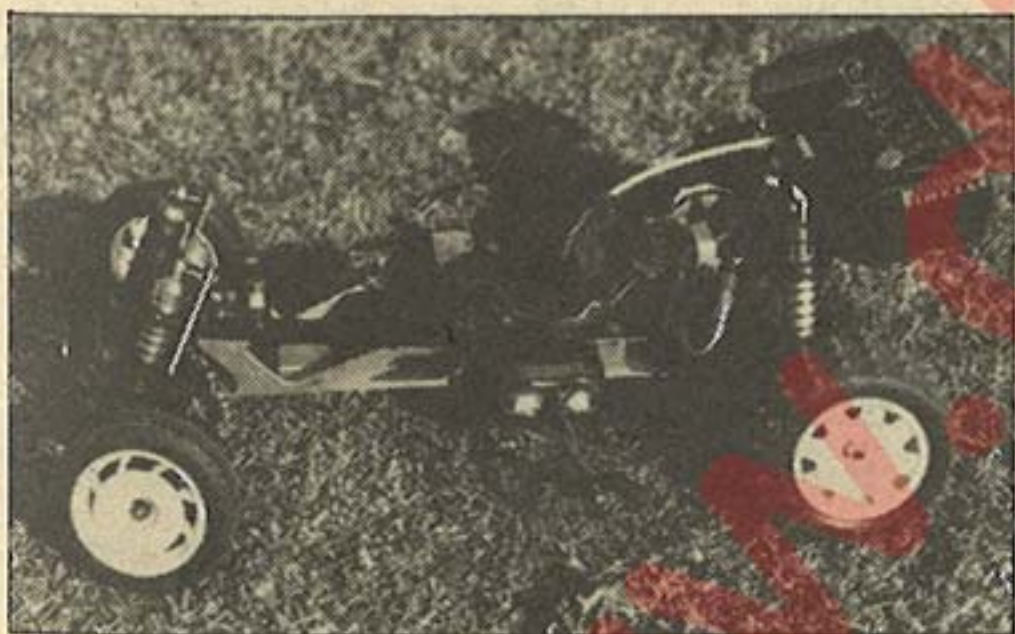
さて、未体験ゾーンだが、今年度からよりパワーアップすべく、'88改造RCカーGC戦となってスタートする。今まで以上にじっくり・たっぷりとキミのマシンを紹介できる新企画、ウデに覚えのあるキミ！いっちょこお〜い!! でした。

1次予選がやってきた!

またもや…のこの季節。全日本に出たい

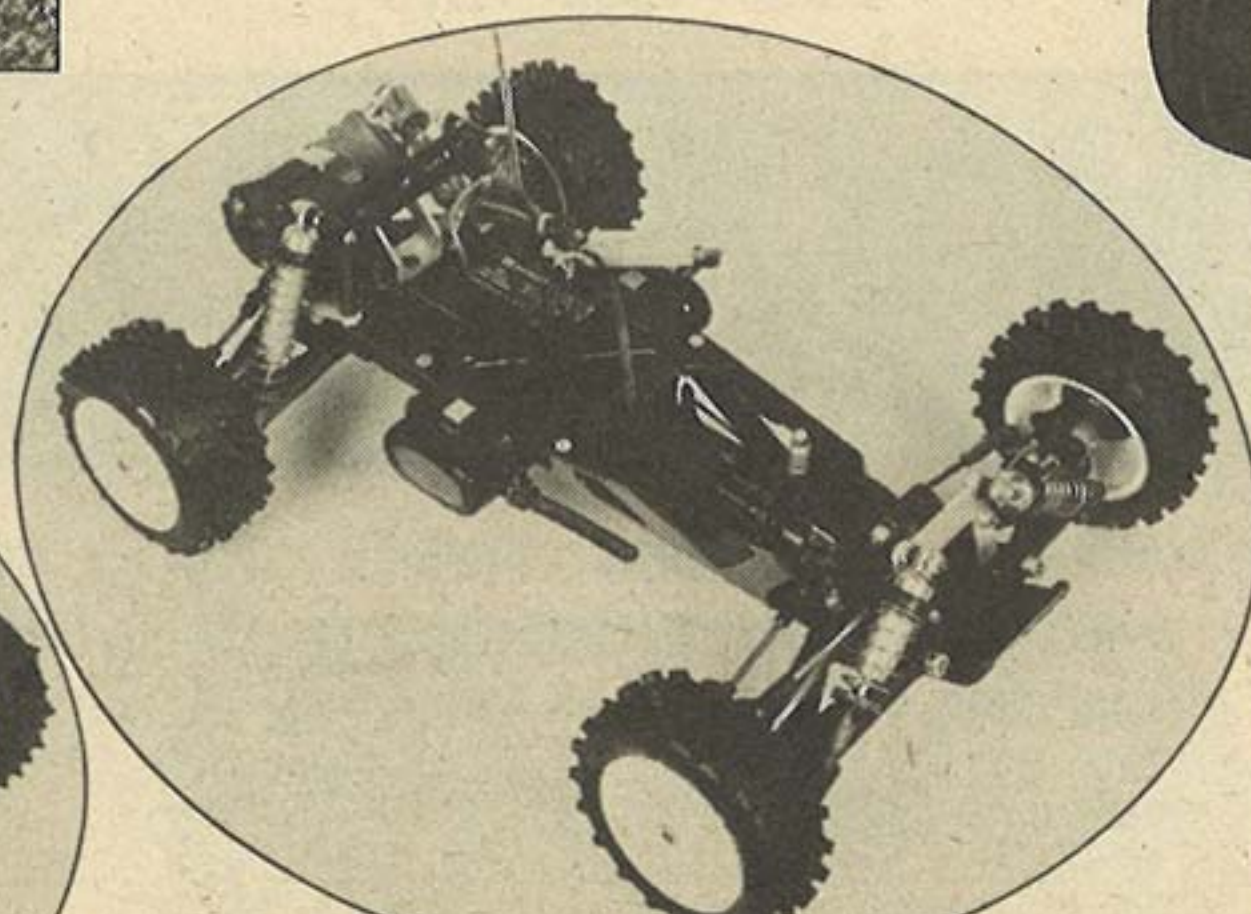


↑ トイラジ・ベースのナイト2000は札幌の十河雅行君の車。追力満点だった。

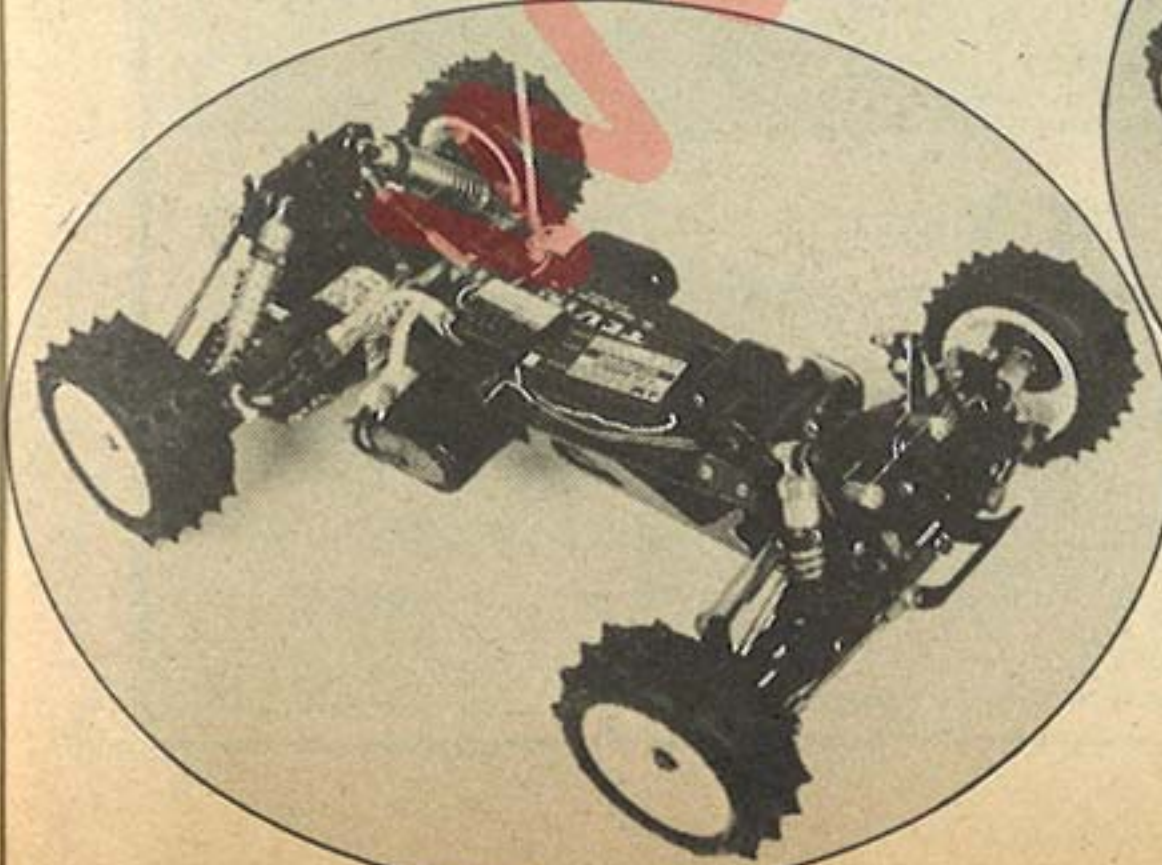


↑ アルティマベースのミッドシップ2WDは北九州の河原孝氏の車だ。

↓ アルティマのシャーシにホットショットのドライブ系を…の富山の後谷君のマシン。

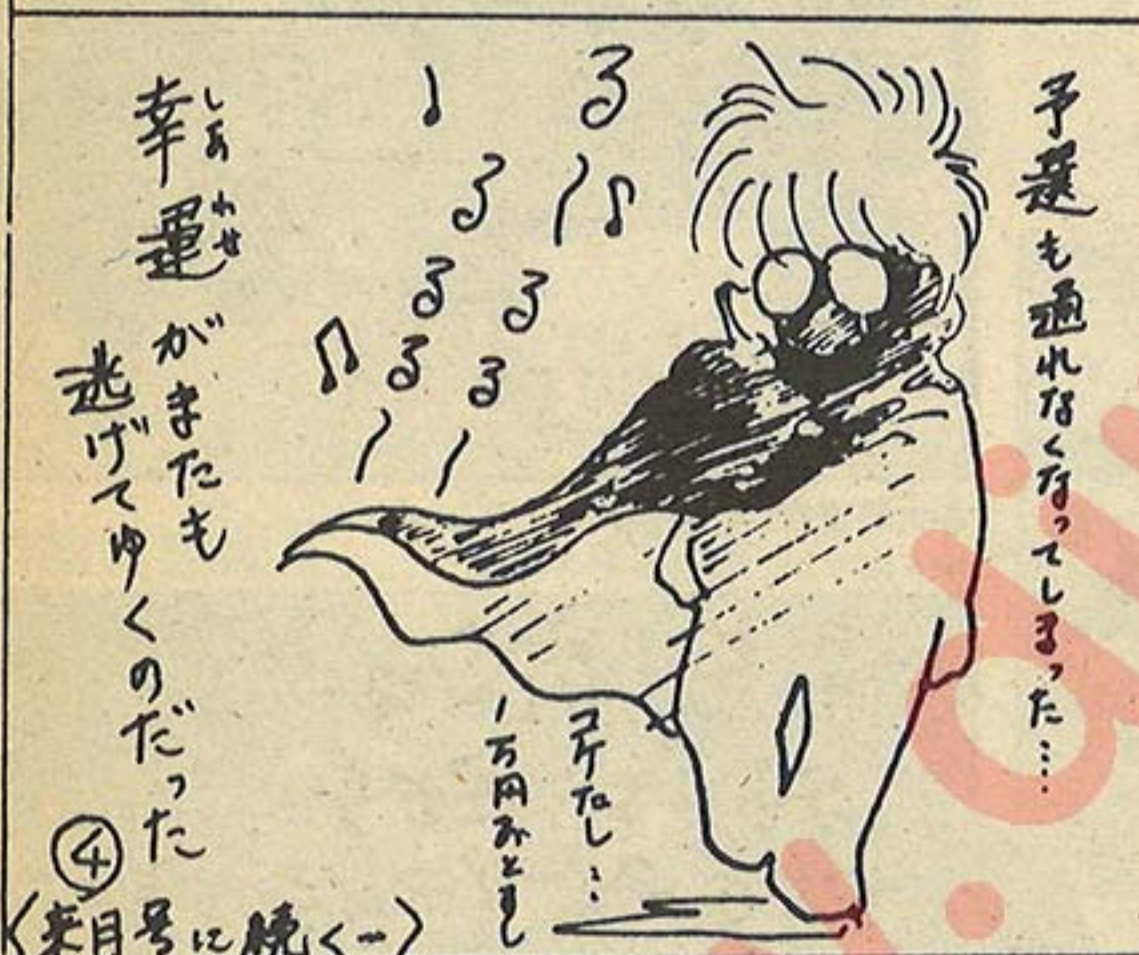
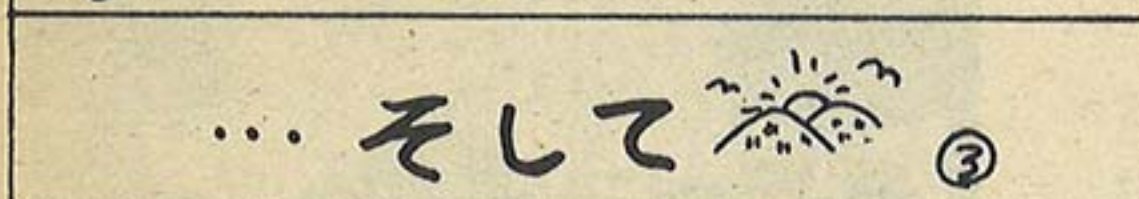


↑ ニンジャのドライブ系をアルティマに移植した富山の中平君のワンダースカズ。



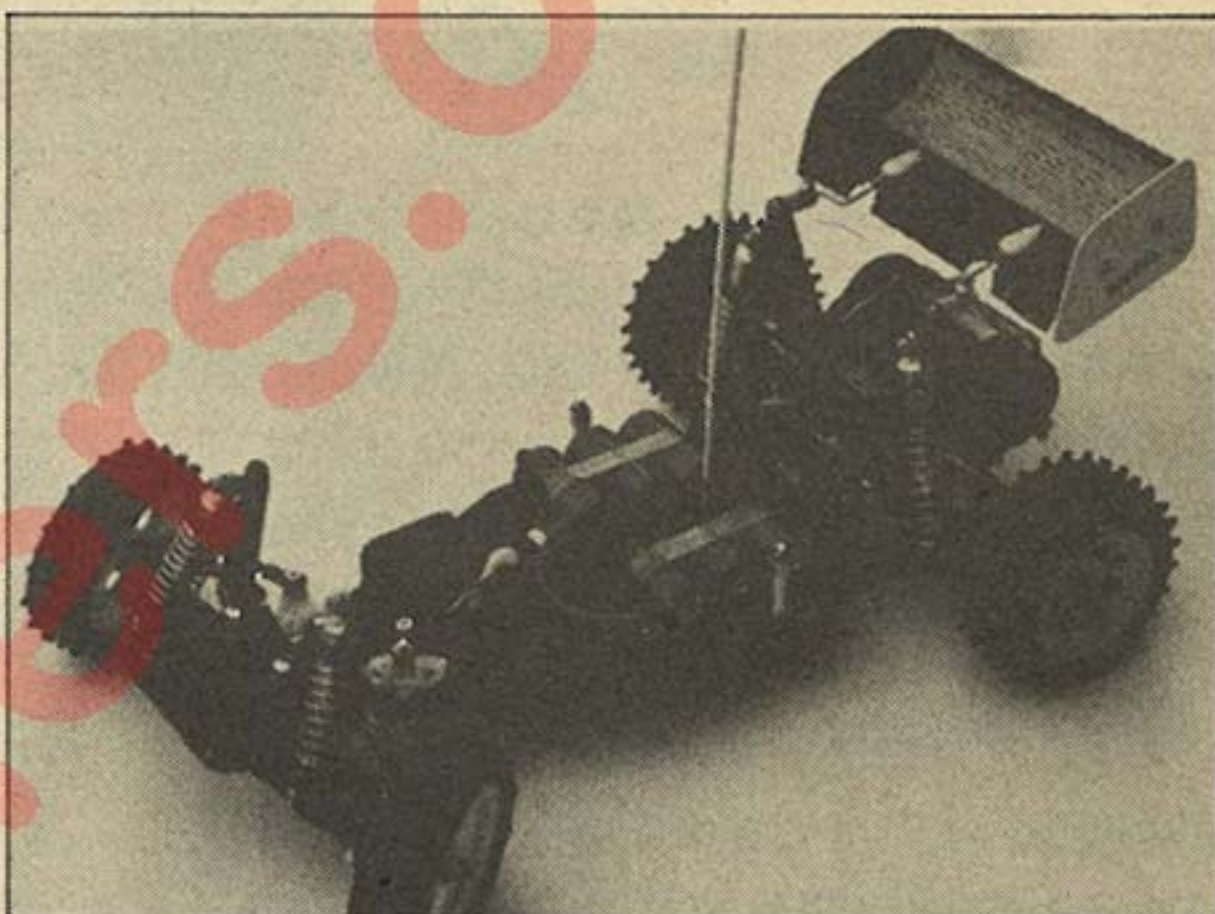
スパマ裏話レポート4コマ

期待に代えて復活。(期待しなけりゃね!!)



←キャットボディをマウントしたアルティマは名古屋の小津通雄君の愛車。

→カーボンシャーシに振り分けバッテリー仕様としたアルティマだ。



なア〜の“あかいやつ◎”としては、やはり予選通過は石にかじりついて果たさねばならないところ。マシンは、今年は2WDクラス1本に絞ったので、例の“ラクなFF”P・ロッドちゃんを使用することにしたのだが、さすがに僕のマシンだけあってトラブル続出。1次予選のトップをきって開催された西山では満足に走ることすらできず見事予選落ちを現実のものとしたのだった。

耐久性に難がある…というのは僕のマシンの常だが、そんなことを言っている1次の門は遠のくばかり。苦しまぎれの補強を施し、パワーユニットを多少おとして、とりあえずマシンをもたせることにしてフタバサーキットへと向かった。

ここでのP・ロッドは、なかなか速く、1ヒート終了時で、なんと4番手につくことができたが、そこまで。からみやなんやかやで、その1ヒートめのタイムを上回ることができず、9位となったのだが、とりあえず見事に予選通過することができた。んで、2次予選までにはMK-2が出来るはずなので、また頑張らねば。

美しいア…のアルティマ改

未体験ゾーンに載せるには多少毛色が違うマシンだったので(多少、僕の考える改造車の定義から外れるため)、どうしようか迷ったのだが、あまりに美しい仕上がりと実戦的なまとまり、そしてこれが中2の少年の手によって構成されていることなどから、ポツにするには惜しいので紹介しよう。赤人さんこんにちは! ぼくは名古屋に

大募集!! '88改造RCカーGC戦

「あかびとのRCカー雑記帳」に毎月たくさんの改造RCカーのレポートが来ているけど、今後から読者のキミたちが改造したRCカー(ジャンルは問わず)によるGC戦を募集することにした。そこでキミたち自慢の改造マシンの写真を2〜3枚(全体と改造部分のアップ、その他)と簡単なレポート&コメ

ントをつけて、封書で応募してほしい。この中から「これはスゴひ!」と感動したマシンは、編集部からキミに連絡をして、マシンを送っていただき、さらにくわしく身体検査(?)をして、よりスゴさを詳しく紹介したい…という企画。

また、年間を通じて「これはトンデモナイ!」

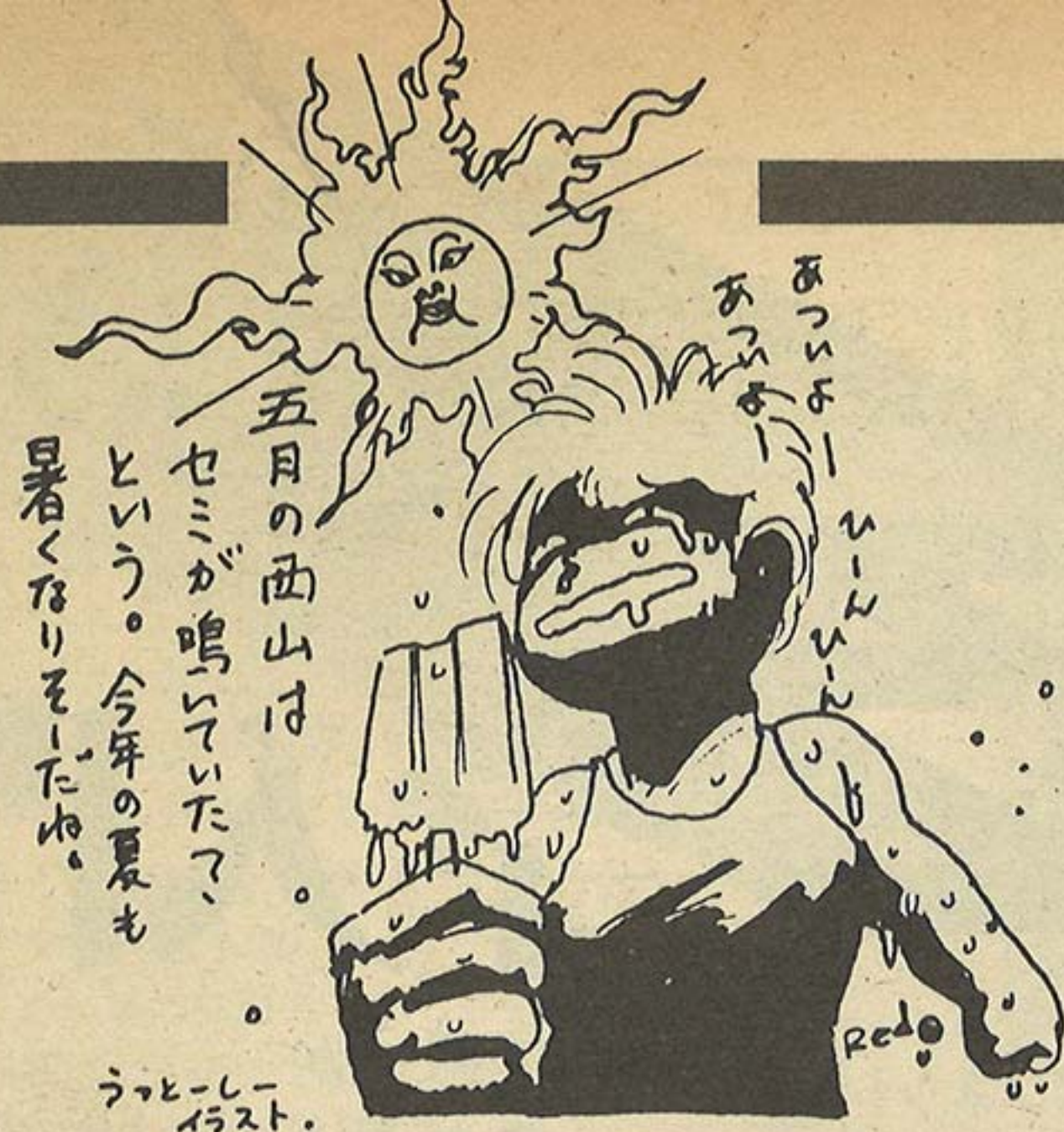
と超感動したマシンのオーナーには、最優秀賞としてゴージャスな賞品を予定している。応募のあて先は…

〒152 東京都目黒区鷹番2-15-18

パル学芸大2-B (株)DJ企画

スーパーマシーン編集部

「'88改造RCカーGC戦」係



住む中2のマニアです。今日はぼくのスーパーアルティマを紹介したいと思います。スーパーアルティマと言っても、カーボン仕様にして、そのカーボンシャーシをふり分けにしました。理由は、カッコイイし、カーボンをそのまま組んでも人と同じでつまらないと思ったからです。それにこれからは、EPバギーもふり分けバッテリーの時代になると思うからです。

メカはサンワでプロポはマシーンA、アンプはボルテックスに、サーボはスタントBB-HSで、モーターは手巻きなどいろいろ使っています。ふり分けにした結果、低重心化で安定性が増し、コーナーでは最初のたてづみに比べて、キビキビとしたコーナリング特性になりました。今ではセッティングも決まって、ほぼかんぺきの状態にあります。ぼくのアルティマ気に入ってくれましたか？

名古屋市は守山区の小津通雄君の作品である。市販チューニングパーツ主体で構成されており、その意味でのインパクトは低いものの、よく競技車を見ているね。

構成は、まさしく純レーサーで、そのまま全日本や世界戦の上位入賞車…といったイメージ。ボディにシュマッカー製を使っているのも良く、流れるようなカッコいいフォルムをモノにしている。ホイールは前

後色ちがいで「すみません」とのことだが、ボディのカラーに合っていて良いと思うよ。むしろリヤはこのまゝイエローの方がウィングとのマッチングという点でも（カラーリングの点で）ベターだね。

レースでの戦績の方はいかがなのかな？また教えてね。

今月のシメ

こないだ、家の近くのカワサキ・グリーンルートからツーリングへ行ってきました。

一応カワサキのお店なのですが、参加車はホンダ車2台、スズキ車2台、ヤマハ車2台、んでカワサキ車は残り6台の計12台という中編成。惜しむらく？は男ばかりな点で、まあそれだけにペースも良く、かなり気分良く走れたのは確か。もちろん



船団の最小排気量車は僕のSDRでしたが、べつに馬力競争してるわけでもなく、充分以上についてゆけました(さすがにZ250FTよりはパワーがあるしね)。

ワインディングではウチの軽飛行機のフットワークは頼もしいかぎりて、会長さんからおほめにあずかる次第(テングになるのは悪いクセ)。ひとつ残念だったのはTDRに乗ってた人なんですけど、道路左脇からいきなりUターンしようと飛び出してきた初心者マーク付きのサニーの側面に激突して病院に運ばれたことです。

現場には20m近いスリップの跡があったそうで、「バイクは止まれねーもんだ」という思いを新たにしました。僕自身、こないだカーブの途中で飛び出してきたお婆ちゃんをよけるために農家の庭先につっこんでしまったばかりなんですけどね。ケガは大したことなくてすみませんが、その瞬間を考えると、今でもゾッと背スジが寒くなります。

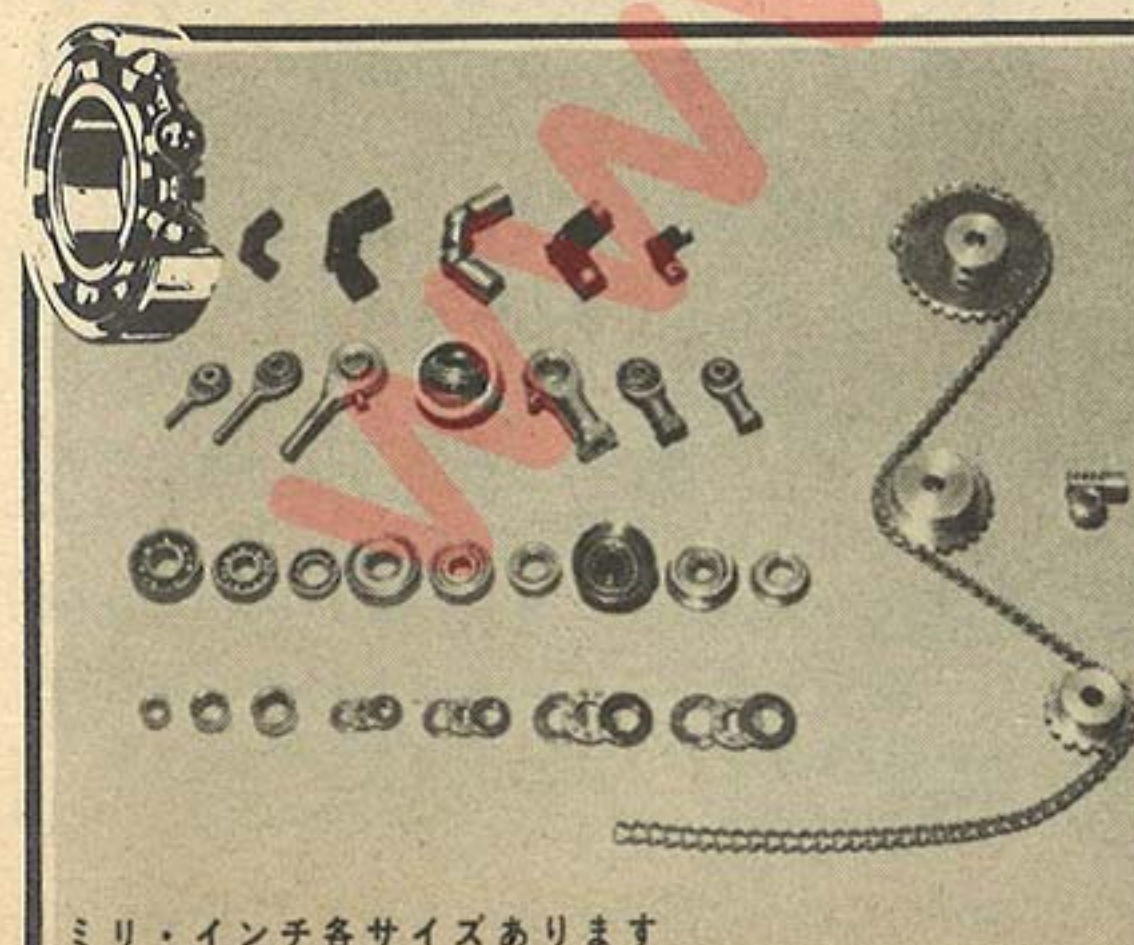
高性能バイクでカッ飛ぶのは確かに超がつく面白さですが、安全に減速するのは大変に難しいということをお忘れなく。バイクに乗る人が増えている今だからこそ声を大にしたい「あか」でした。お互いに気をつけましょうね。とりあえずSDR再び復活…のあかびと君でした。

そんじゃまた。

(西永正聡)

☆ レースレポート等も
まってるバー!!

☆ 最悪人間賞は
がゆいそうだから
やめたぜ!!

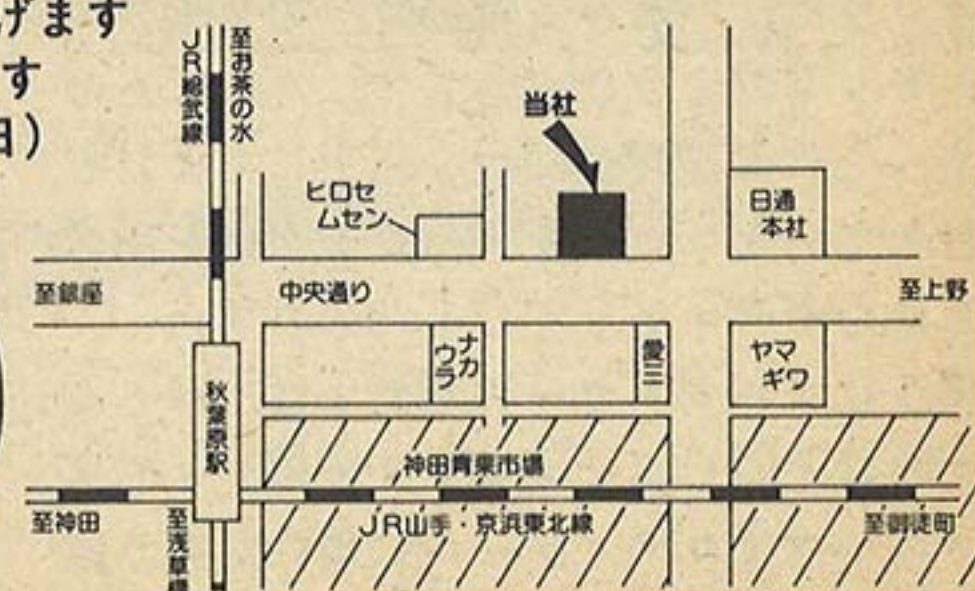


あなたのRCバギー、RCカーのチューンナップに秋葉原の 各種 高性能 ミネチュアーベアリング専門店

○全国通信販売いたします○サイズ表差上げます
ご希望の方は、送料(60円切手)同封願います
○営業時間/AM9:00~PM5:30(日祭休日)

株式会社 日産商会

〒101 東京都千代田区外神田1-11-8
TEL 03(255)1831(代) FAX 03(255)1835



みにが〜 ウン チク

独断と
へんけん

学入門

■今月はいすゞのボンネットバスをRC化しようと思っていたが、編集部がトンデモナイものを見つけてきてくれた。ムカ〜シのタミヤのスロットカー用ボディ「プリンスR380」だ。

書いて悪いか

…磯崎亜紀雄→さくしゃ

らくがきすんな

…無責任たろう→え

バス作るつもりだったのに…

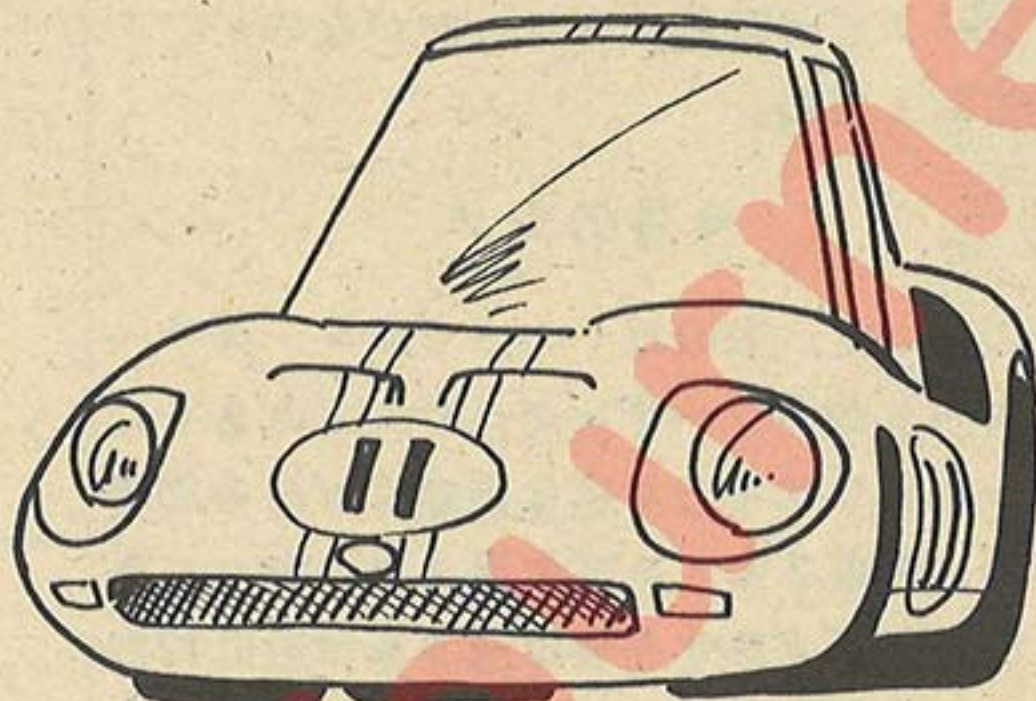
「そろそろRCメカを積んだの作ろうよ〜」今月の企画会議のとき、たろう君から出たセリフです。まあ、たろう君に言われずとも、今月はそのつもりだったのですが、毎度のことながら候補車選びが難航しました。

一応オニーサンの希望としては、内部スペースがたっぷりあって、そこにいろいろワケのわからんギミックがくっつけられるようなヤツを、タマにはやってみたいなあ〜と思っておりまして、あのアブナイパッケージアートで有名な、1/32スケールいすゞボンネットバスでもRC化しようと思っていたのですが、構想が8割がたまとまりかけたところで、編集部の山上君がトンデモナイモデルを持ってやってきました。それが今回とりあげる「プリンスR380」でして、コイツにメカ積んで走らせよ！とのキツイお達し。しょうがないのでバスのほうはいったんチャラにして、とりかかってみることにしました。

なんでこんなモンがあるのだ？

このキット、もう20年近く前にタミヤから発売されていたもので、単なるプラモデルとは違い、ボディパーツだけがアッセンブルされた、いわゆる電動カーのスペアボディセットのような内容です。それもそのはず、これは当時ラジコン以上にちまたで流行していたスロットレーシングカー用に作られたボディセットだったのです。

現在はスロットカーのボディは、ほとんどがRCと同じポリカのクリアボディですが、当時はよりディテールに優れたプラ製のものでした。もちろんその分重く、操縦



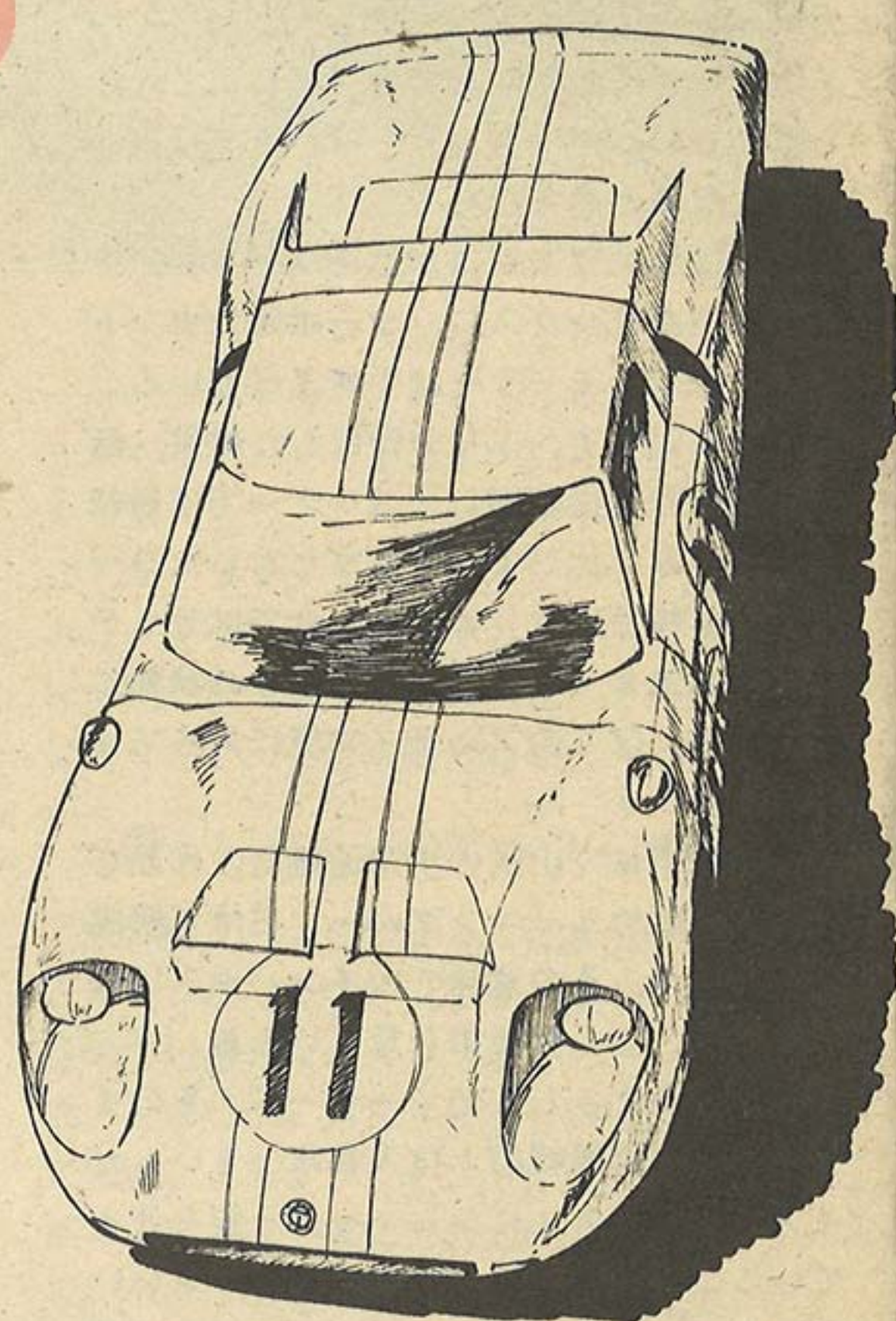
性もよくなかったのですが、通常のプラモカーのボディ型を流用して簡単に作れるため、バラエティに富んだマシンがコースを走りまわっていました。

各プラモメーカーからも競ってスロット用のボディ（シャーシも）が登場し、現在ハセガワから発売されているアメ車プラモも、この時期のスロット用ボディを手直したものです。これらのなかでも、特にタミヤのものはディテールも良く、人気があったものです。

ほとんど20年ぶりに対面した「R380」でしたが、パッケージの印刷も色あせたところがなく、はじめは再販品かと思ったくらいです。しかし中身のデカールは黄ばんでしまっていて、年月を感じさせてくれました。しかしこんなモンどこから出てきたんだろ？ 山上君は東京・恵比寿の「ミスタークラフト」で買ってきたそうなのですが、お値段は1,000円と当時の定価（200円）の5倍ということで、この間の物価上昇と稀少価値を考えれば、納得できるプレミアムといえるでしょう。

毎度おなじみ実車解説コーナー

ではこのモデルの原形である「プリンスR380」について少々解説してみましょう。



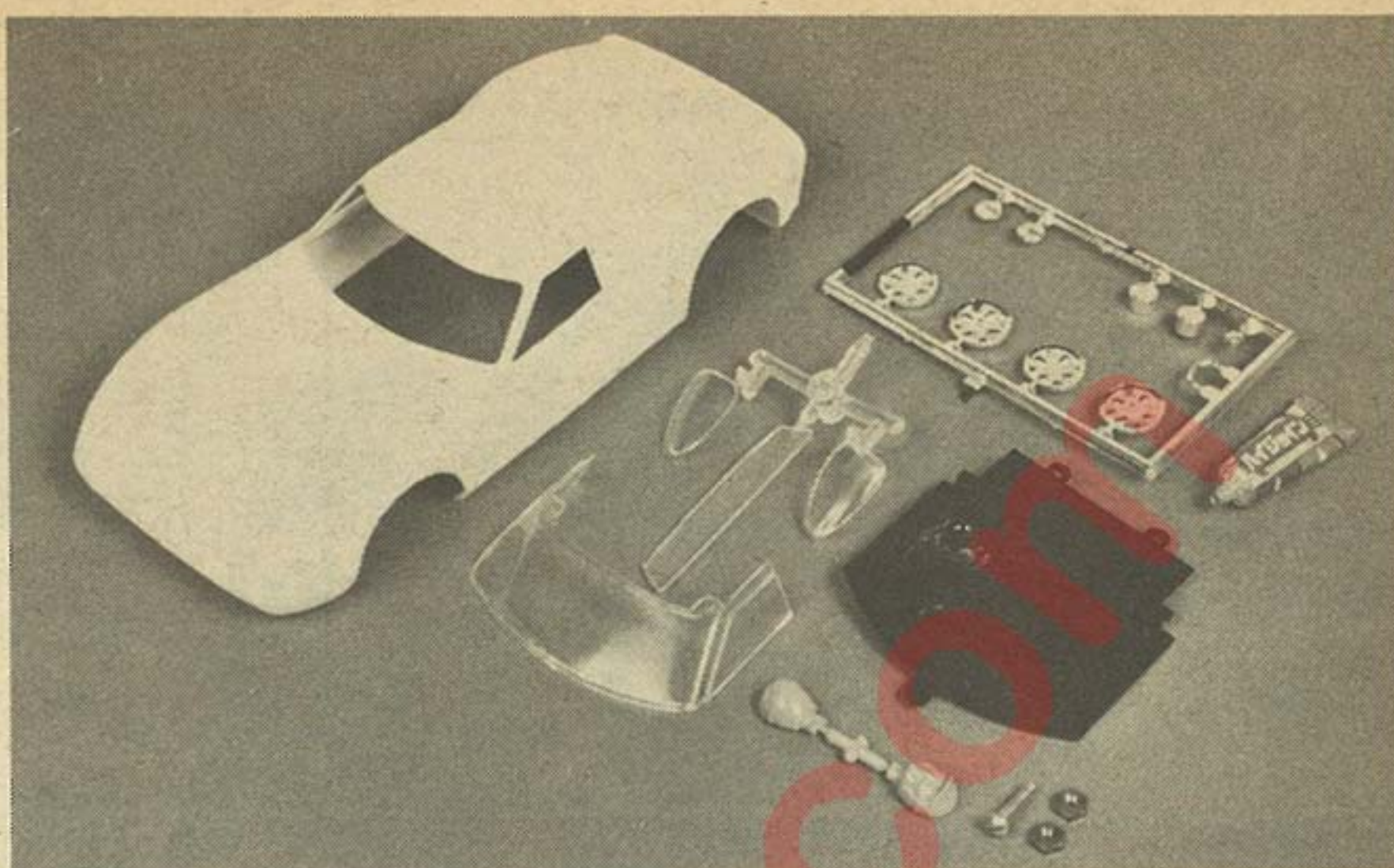
まだスパムの読者の大部分が生まれていない頃、プリンスという自動車メーカーがありました。「スカイライン」「グロリア」などの名車を生んだこの会社、いまでは日産と合併してしまいましたが、ここが第3回日本グランプリのために作った、日本初のミッドシップ・プロトタイプレーシングカーがこの「R380」です。

それまでのレースカーは、いわゆる市販の自動車を改造してレース仕様にしたものだったのですが、まったくのレース専用として開発された記念すべきマシンなのです。設計者はあの桜井トモ、もとい桜井真一郎氏で、前回の第2回GPでスカイラインが

ポルシェ904に敗れたことから、打倒ポルシェを目指して作られたといえます。

エンジンは直6DOHC1996ccで、のちのスカイラインGTRや、フェアレディZ432に搭載されたS20エンジンの原形ともいえるものでした。このR380、日本GPでは黒沢元治選手の操るマシンが期待に応え見事優勝し、2位にはポルシェ906（カレラ6）、3位にトヨタ2000GT、そして4位にも生沢徹選手のR380が入るという結果で、のちにニッサンと合併してからも「R380II」「R381」「R382」と発展し、ライバルのトヨタ7やポルシェ917といったマシンとともに、レースの立役者としてビッグバトルを繰り広げたものでした。

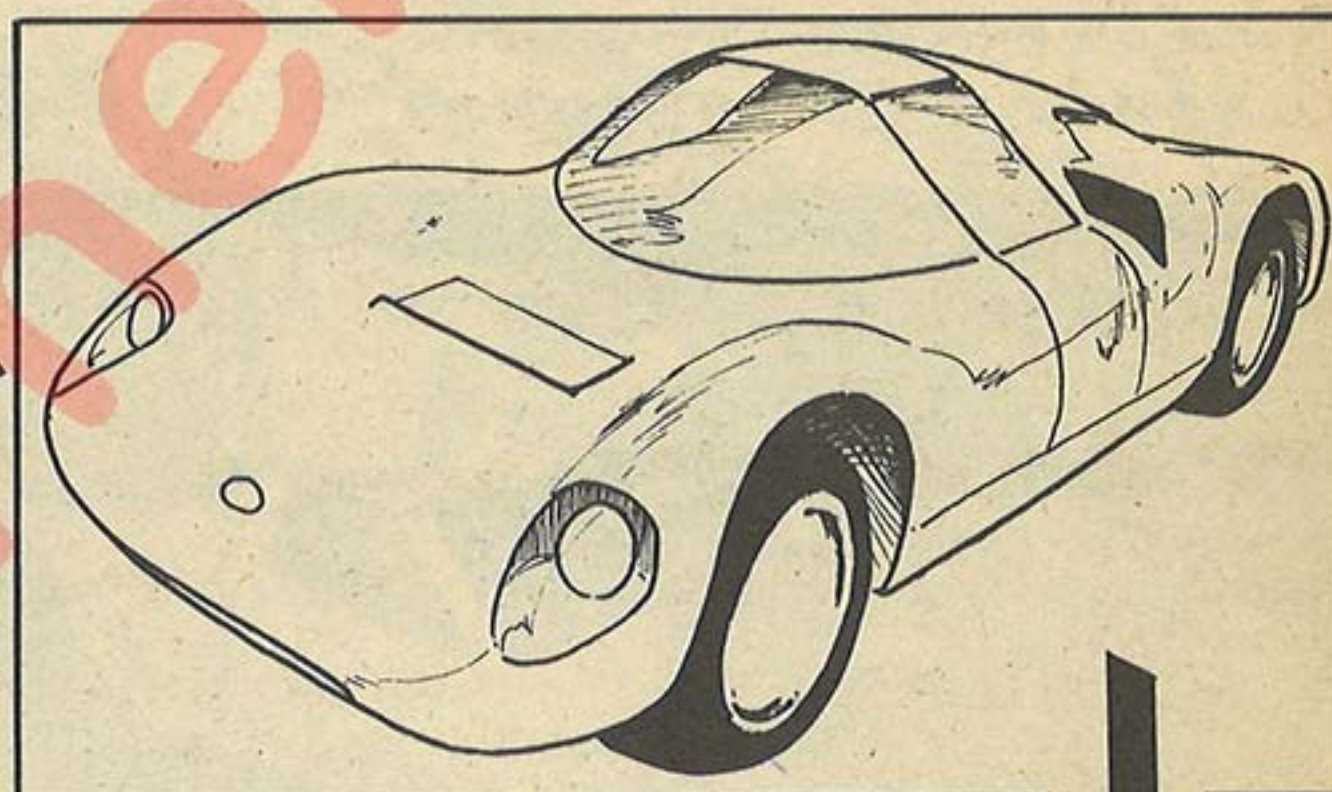
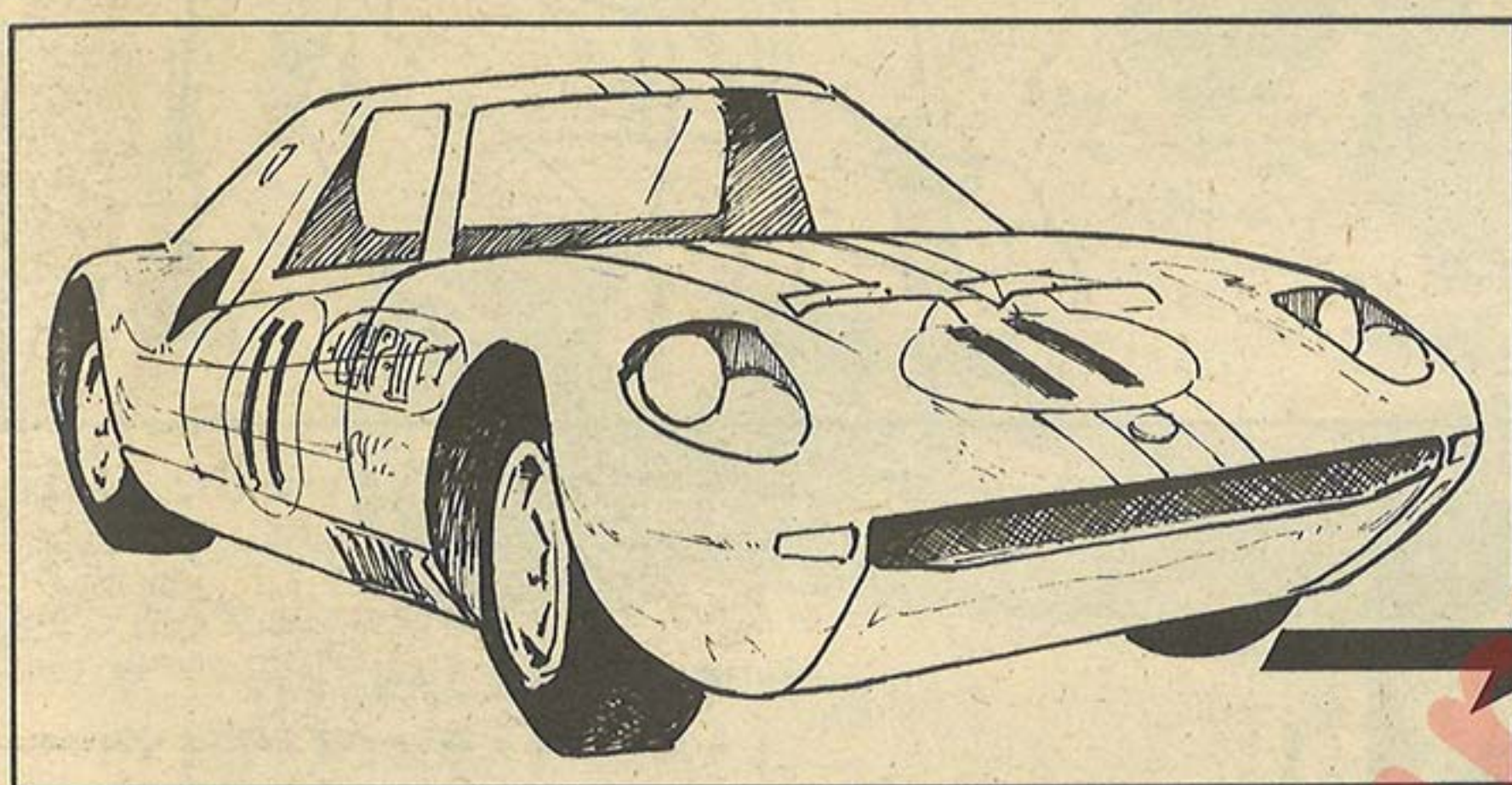
⇒スロットレーシングカー用スベアボディだけに、シャーシのパーツはない。



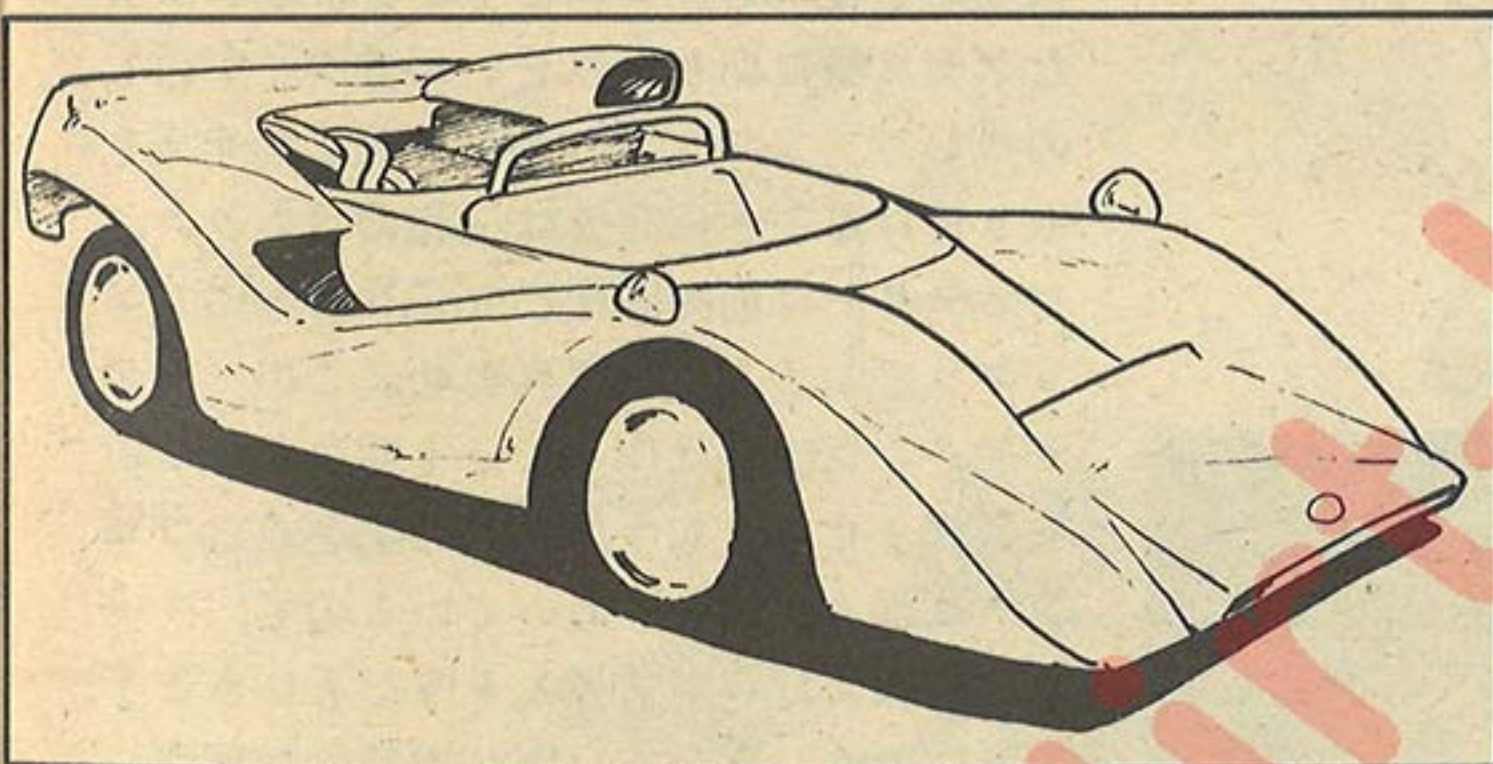
アルピーヌよりもたいへんかも？

さてモデルのほうはと言いますと、このグランプリ優勝車を再現していきまして、デカール等もしっかりと完備されています。

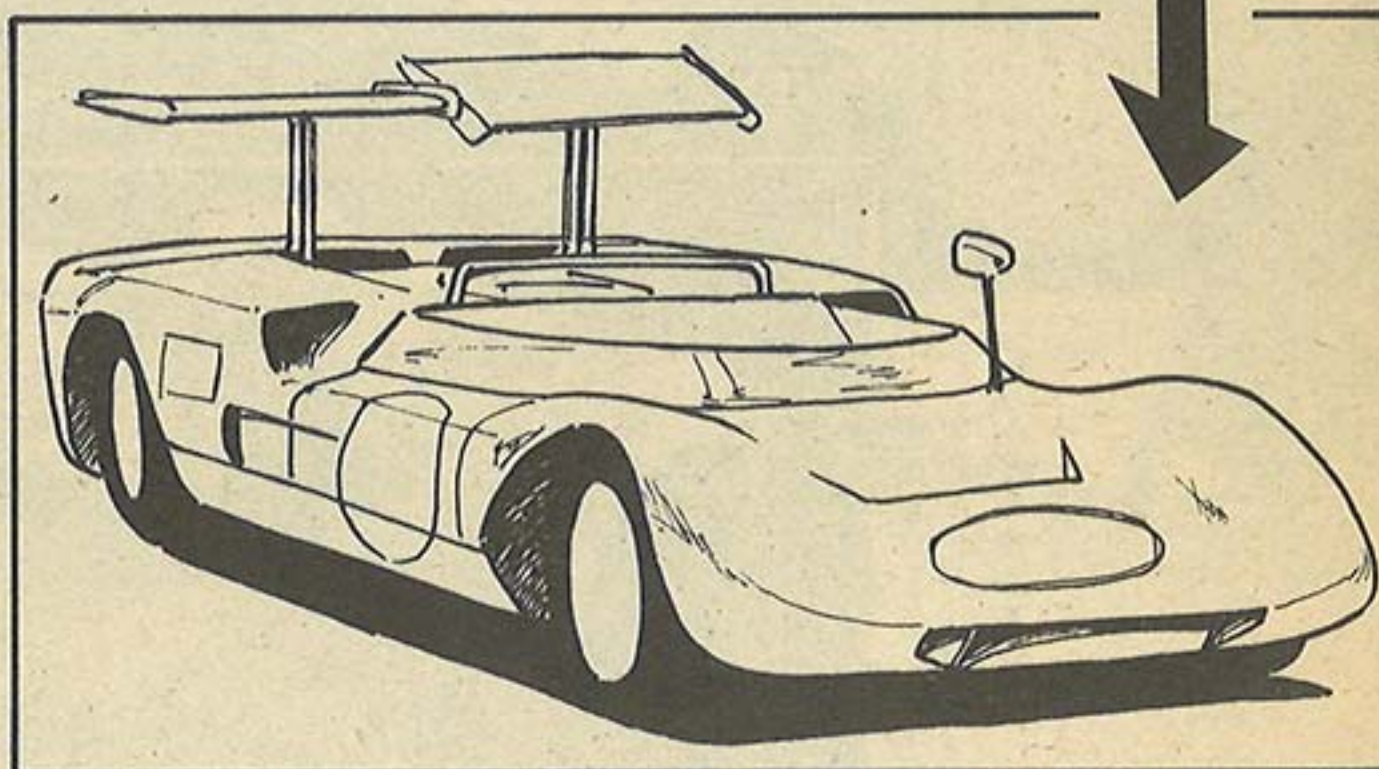
←黒沢元治選手が駆りカレラ6を破ったプリンスR380。国産初のプロトタイプレーシングカーだ。



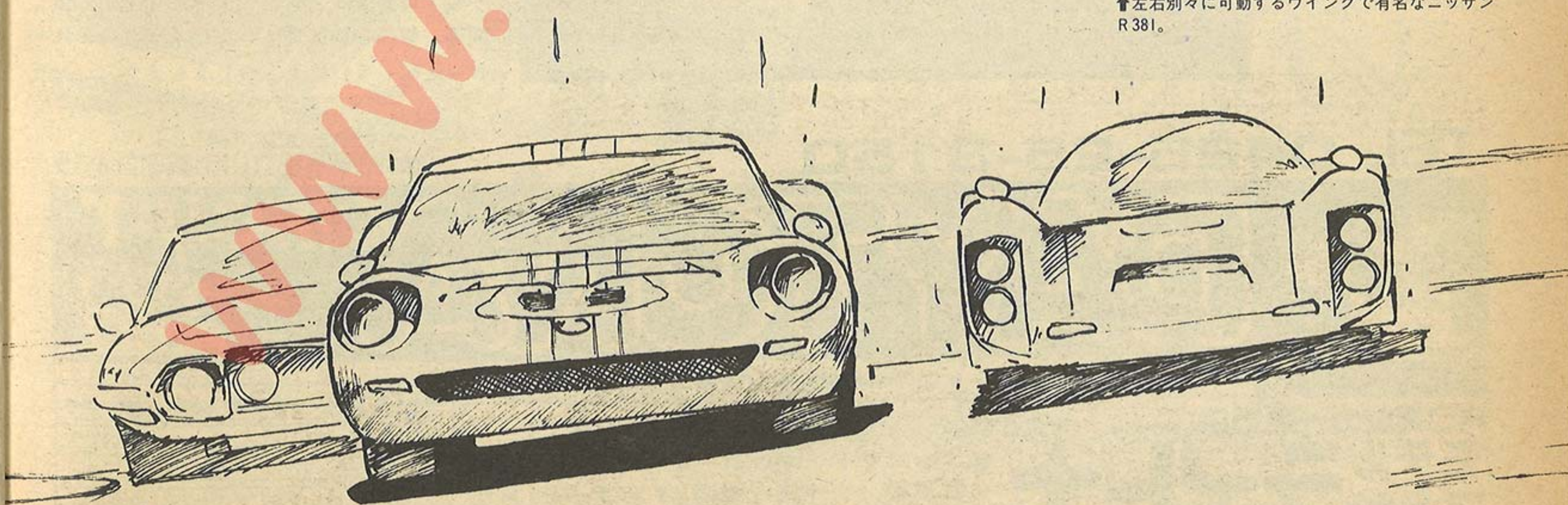
⇒プリンスが日産自動車と合併した後に改良されたニッサンR380II。あの高橋国光選手が駆った。



↑ポルシェ917やトヨタ7等と死闘をくり広げたニッサンR382。



↑左右別々に可動するウイングで有名なニッサンR381。



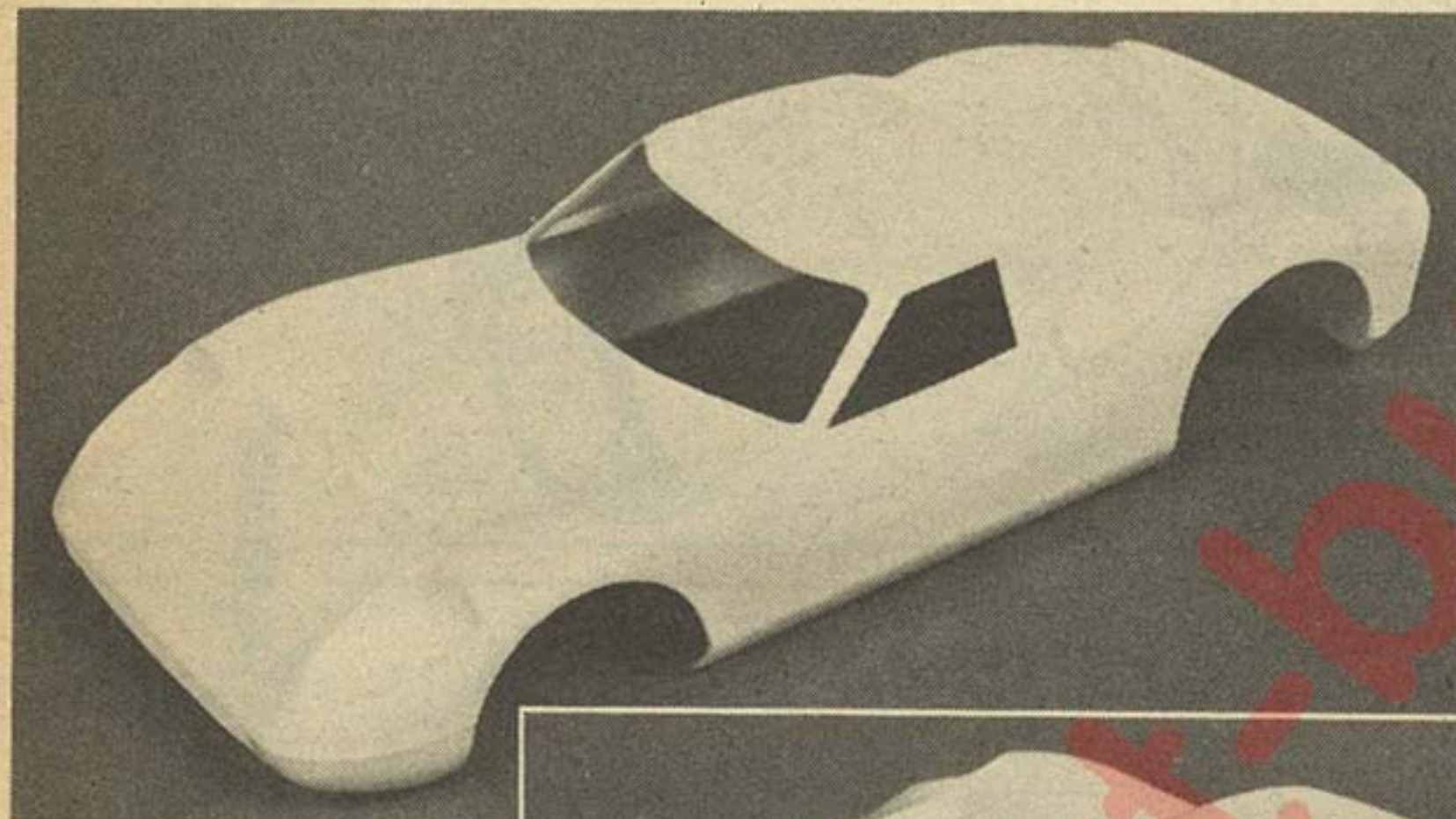
もっとも、さきに少しふれたようにデカールは変色してパリパリになっていますので、全部使うというわけにはいかないでしょう。部品構成として一体成形の丈夫そうなボディをメインに、クリアーのガラスパーツと各部のメッキパーツ、そしてドライバー人形（上半身のみ）をモールドしたコックピットパーツというものです。

部品点数は下回りのパーツがないために当然ながら少なく、組立そのものは簡単ですが、メカを積むとなると…。ホイールベース、トレッドの双方とも、以前苦労したアルピーヌを上回っているのですが、コックピット部が小さく、さらにはミッドシップのため後ろがスラントしておらず、切り立ったガケのようにになっているために、容積的にはむしろ少ないほどです。

しかもリヤ・オーバーハングが短いため、車軸より後ろにモーターをレイアウトすることができず、実車同様のミッドシップ配置にせざるを得ないので、「も～いったいどこにメカ積むの!」という感じで、目のま

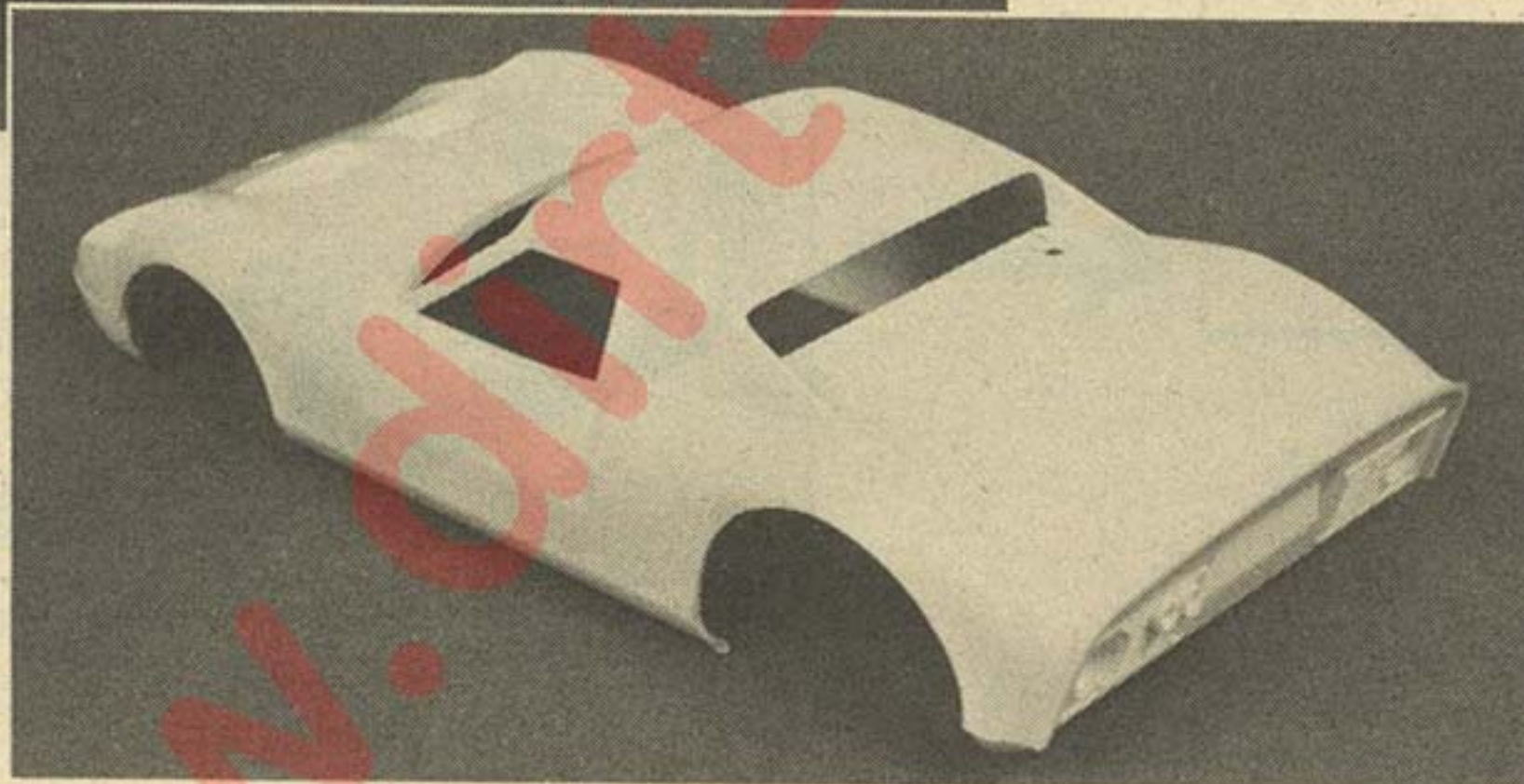
今月も似合わないけど今回は姫冴樹であ、ところでスーパーマジンにアイドルのページなほいいとは思わないか? ほしいと思ったら今あぐに『山上さんアイドルのページつくっておくれ』係まで。あハガキちゃんに。よろしくね! ちなみに姫冴樹は足もたいな。胸もごない。

Rika Himenagi



◀ホイールベースや全幅は以前作ったアルピーヌよりもあるが、メカスペースはかなり少ない。

▶オーバーハングが短く、コックピットも小さいので、メカが収まるかどうか不安。



えが真っ暗になってしまいました。とはいえ、ボディとメカをア～ダコ～だいじっているうちに、いちおうコンセプトらしきものが浮かんできました。

とりあえずサス形式ですが、まずTバーは場所とるからダメ。ごくオーソドックスなガラス板に切り込みをいれるタイプのものにして、フロントのみキングピンサスを取り付ける…。メカは三和のコムラス、バッテリーは前回同様150mAhのものでギリギリでしょう。いずれにせよこのへんのディメンションは作っていく間にかわるかもしれません。もうひとつの問題点はフロントに深くダクトがあいているので、サーボの搭載にだいぶ苦労しそうだということ。

とにかく、またまた同時進行的な展開になってしまいましたが、ボディを渡されてから1週間足らずでマシンを作れるほど、オニーサンは器用じゃあないもんで…。ど～もすいません。シャーシ等の加工の寸法図等、製作の詳細については次回以降おいおいと記していくことにしましょう。

TEL 0425-25-3150

〒190東京都立川市錦町2-4-15

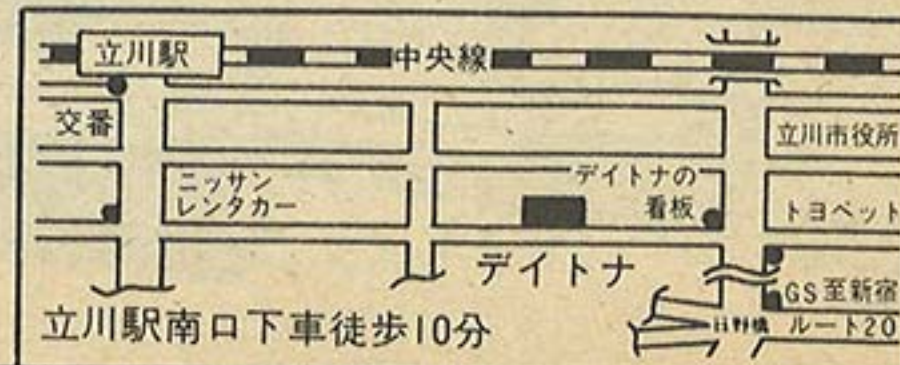


走行券プレゼント 当店でお買い上げの方にオフロードサーキット無料走行券を差し上げます。

RC電動カー専門店

モデルプラザ **デイトナ**

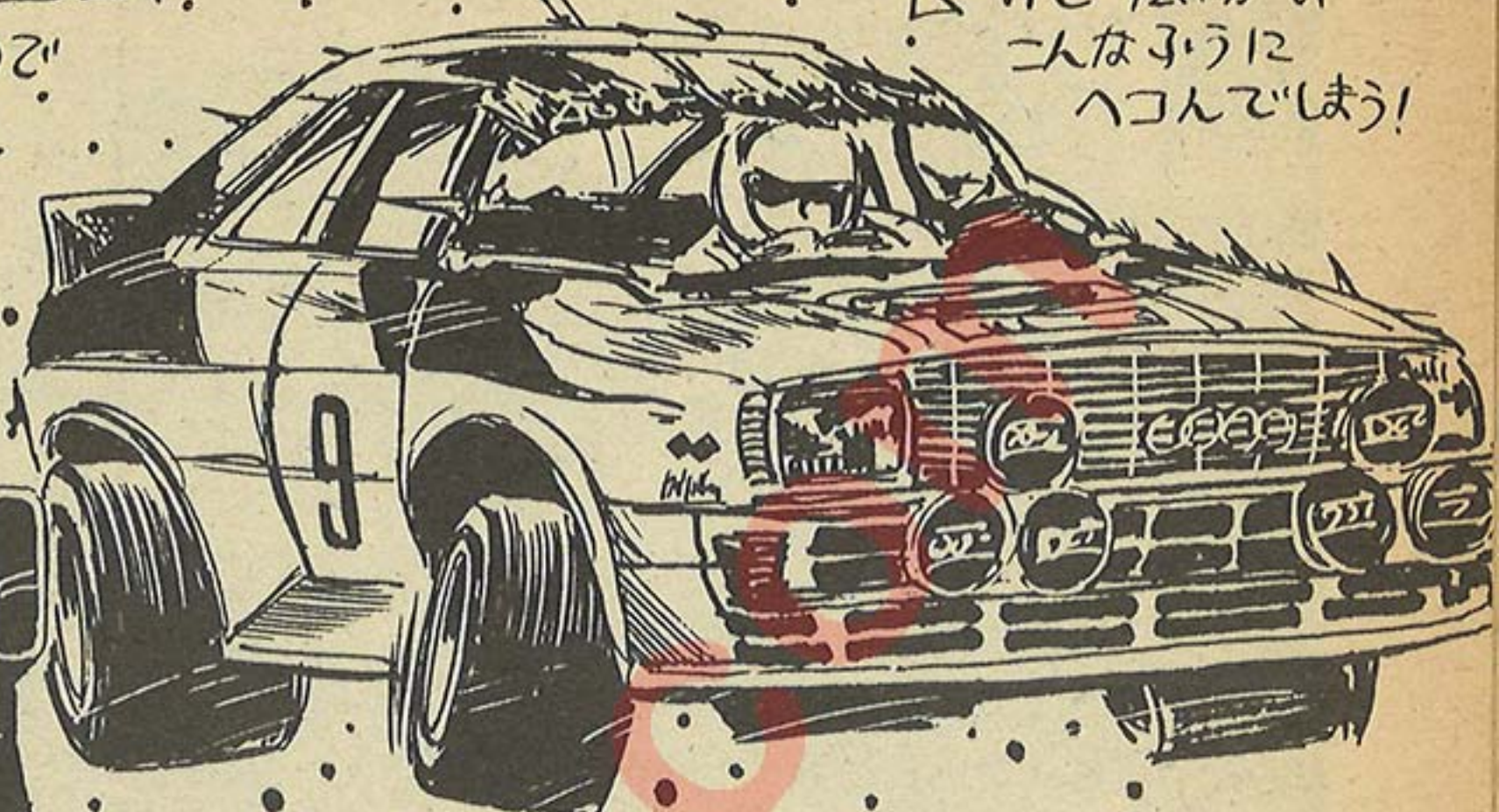
- チーム・デイトナ事務局
- オンロード・オフロードサーキット完備 駐車場、ナイター設備(オンロード)あり
- 定休日・木曜日 営業時間AM11～PM8



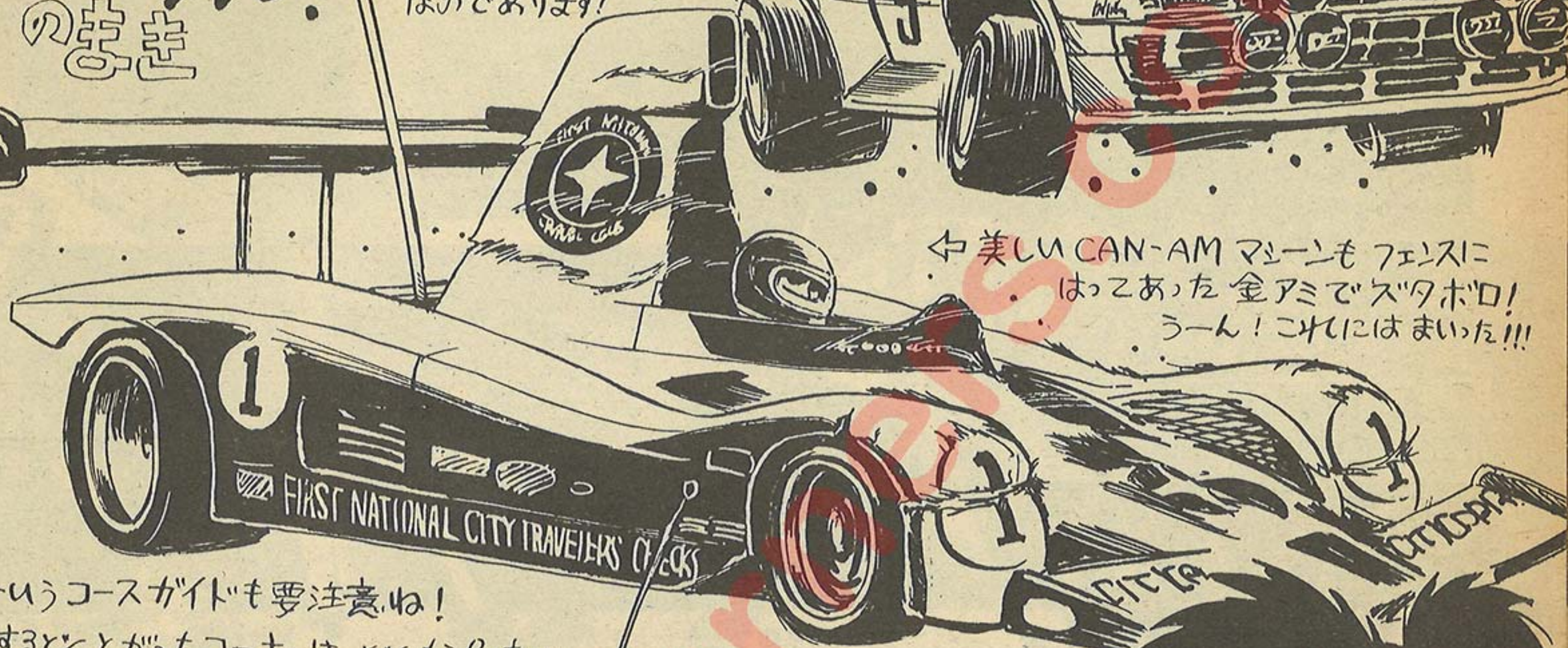
このクルマは
こわいんだよ!
のまき

▼地面とフェンスのあいだにはさまれて
しまった愛車のAUDIとLOLA!
ずいぶんと前のことなので!
たいしたアドボセツトを
使っていなかったのだ!
ま、ハッキリ言って
ノコンの大暴走の
なれのハテ
なのであります!

スピードにもお
けたいがい
こんなふうに
へこんでしよう!



←美しいCAN-AMマシンもフェンスに
はってあった金アミでズタボロ!
うーん!これにはまいった!!!



▼このコースガイドも要注意ね!

(するととがったコーナーは、どんな角度で
つっこんでもマシンは
コワしてしまう
のだ!!)

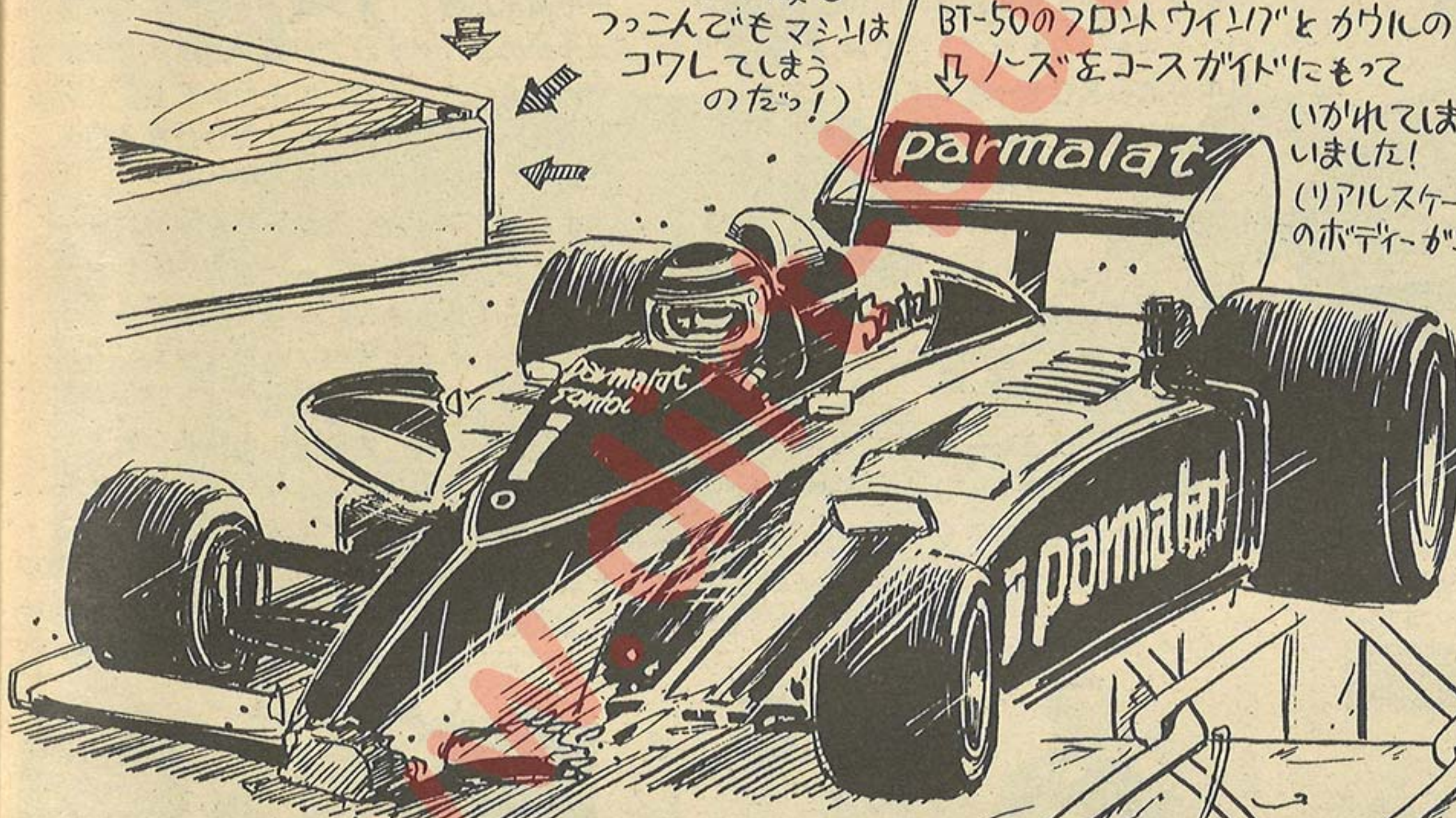
BT-50のフロントウィングとカウルの
↓ノーズをコースガイドにもって

いかれてしま
いました!
(リアルスケール
のボディが...)



「わっ...」

「わっ...
フェンス!」



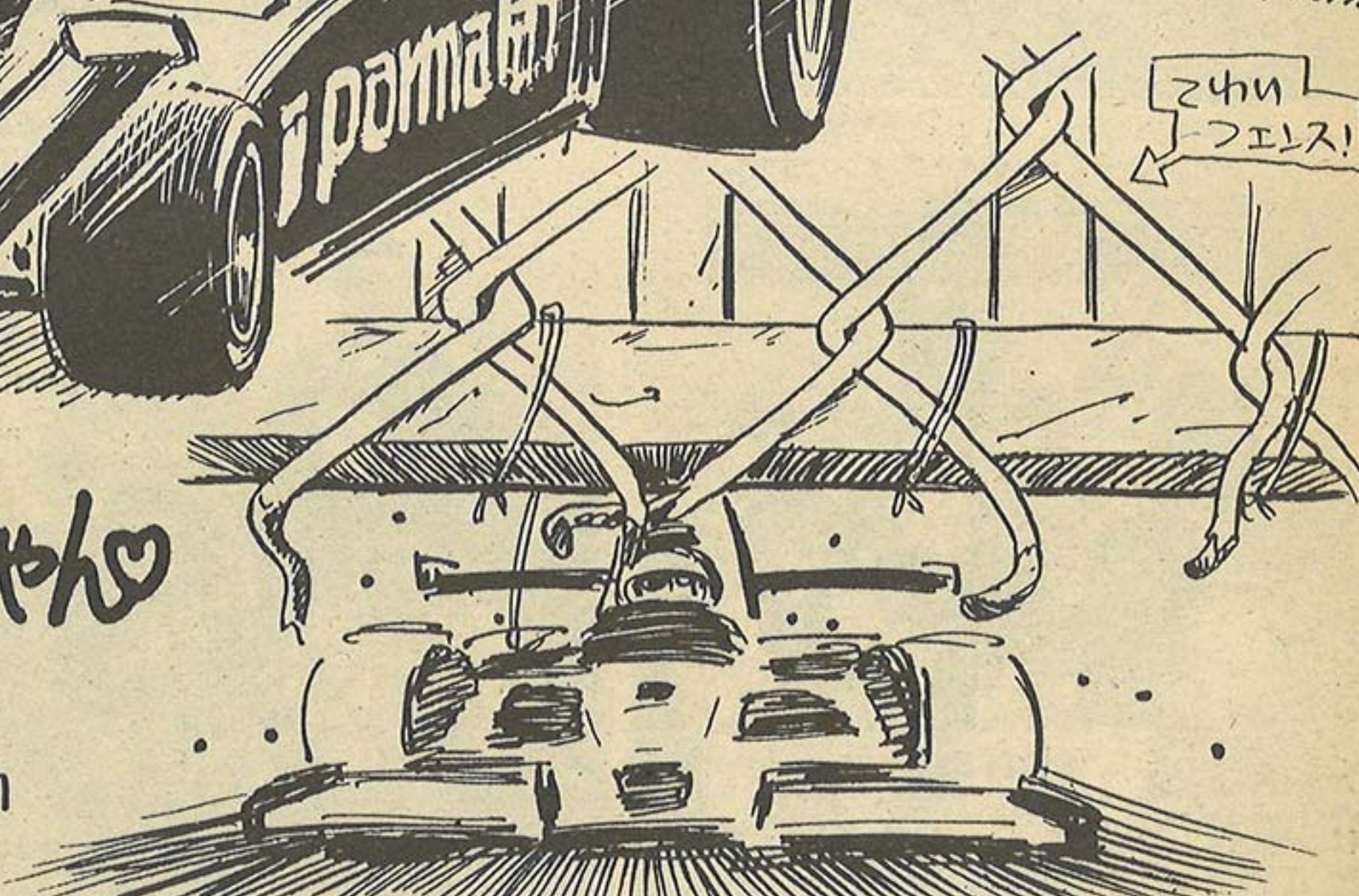
おなまのひなちゃん
VOL. 23

ま、こー言っでは
なんですけど...

by 睦月はいめ

うまいんってあんまし
ワッパはしないんですよ...

▲ハッキリ言ってこーゆーのはコワイですよ! ハイ! オニでもオツでも
車はこわいよ。学校の校庭やテニスコートで走る時は
注意しようね!



1/12レーシング



EP3ジャンル、
4種目に熱戦が展開!

京商オープン



↑第1コーナー付近におけるバトル。スタート直後は危険だ。

厚木に京商サーキットがオープンしてから、はや1年が過ぎ、何10回かのレースが行なわれた。すでに神奈川県中央部のRCサーキットとして定着し、愛好者をふやしている。

今回オープン1周年記念として、4月17日に電動RCカー・4種目を一挙に開催するレースが行なわれた。当日は各クラス合わせて200名を超えるエントリーがあり、レース以外の催しも企画され、たいへん楽しい1日となった。

レースは、1/12レーシング、1/8バイク、1/10オフロードの2WD、4WDの各クラスで行なわれ、それぞれ予選2回、決勝1回(4WDクラスはA、B2メイン)という



1/8バイク

4月17日(神奈川)

方式で進められた。快晴ではあったがやや南風が強く、オンロードコースにはホコリがのり、グリップが悪く、選手たちは苦勞していたようだ。このためEPファントムのパーツを流用した4WD仕様車が大活躍を見せ、上位を占めた。

RCバイクでは、コンマ差を争う接戦が展開し、決勝はフルコースで行なわれた。オフロードはさすがに一番参加者が多く、特に4WDクラスでは、急きょ決勝を2クラスに設定したほどである。

レース終了後、表彰式の前には、有名選手の愛車などがチャリティーオークションにかけられ、その売上金は厚木市に寄贈された。(石神純一)



↑1/12レーシング上位6名の入賞者たち。当日の悪条件にもかかわらずガンバッテ入賞。



↑1/8オートバイレース決勝のメンバー。ナント、モンゴルが4位に入った。



↑1/10オフロード2WDクラス決勝の入賞者たち。

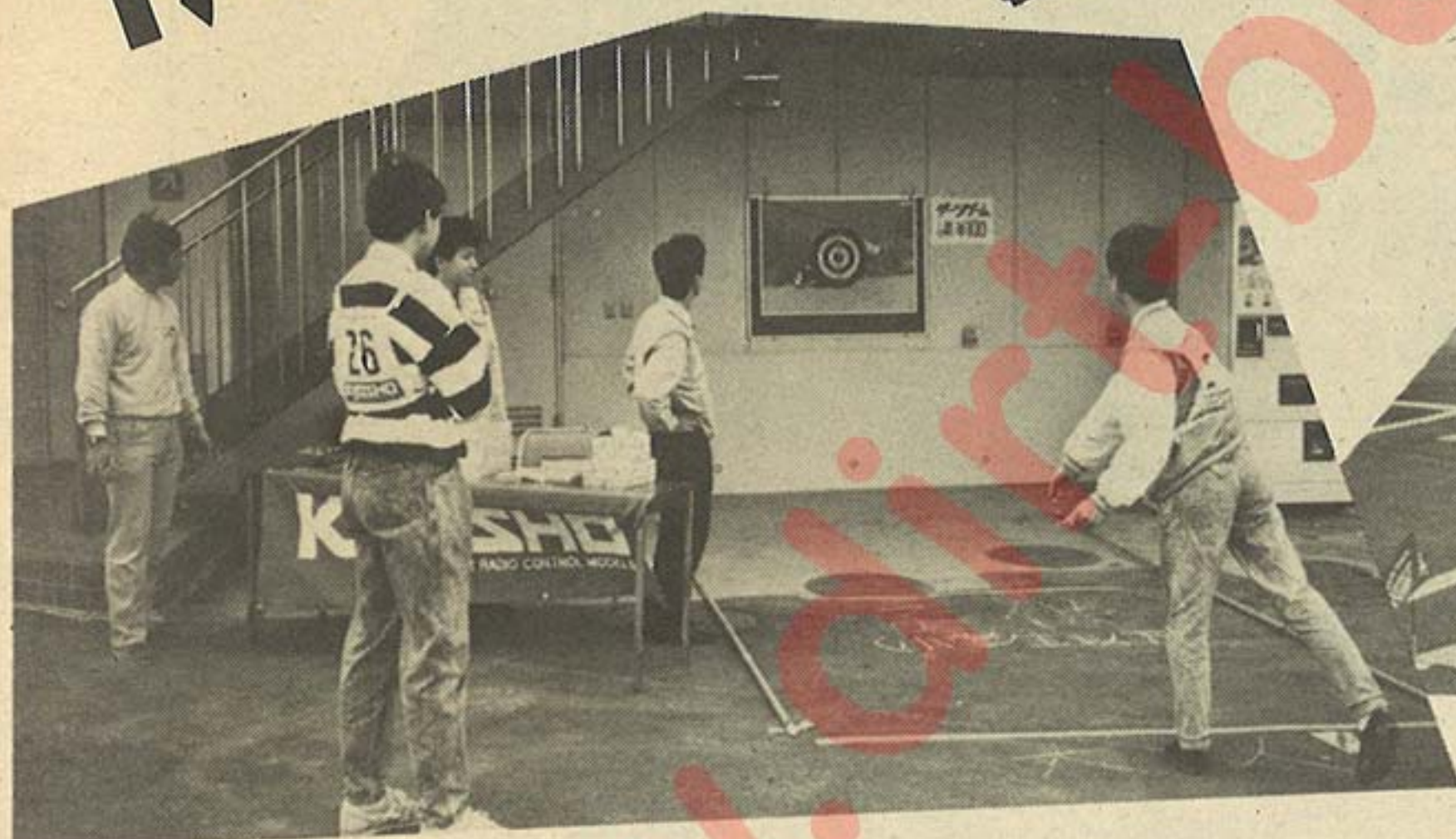
1/10 バギー

7 神奈川・厚木



↑2WD決勝のスタート。予選順にグリットにつく。

1周年記念



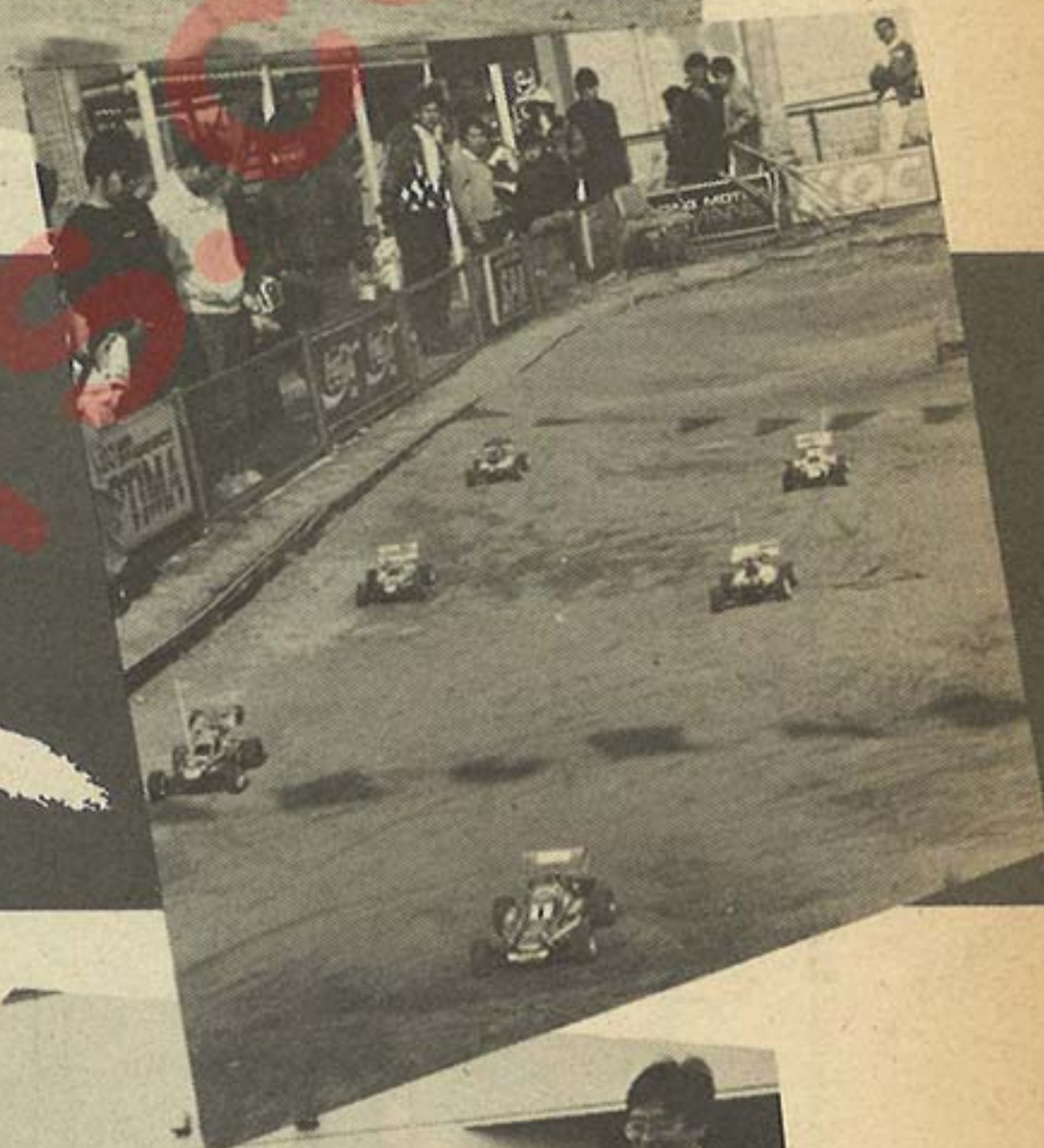
↑会場ではダーツゲームが行なわれ、1回100円で、命中するとすてきなグッズがもらえた。



↑1/10オフロード4WDクラスBメインの上位6名。



↑1/10オフロード4WDクラスAメインの上位6名。



↑会場のアトラクションとして、輪投げも行なわれ、うまく賞品をものにした選手も多かった。

リザルト

<1/12レーシング>

- ①佐藤一喜、②田中卓也、③後藤一幸、
④北條浩之、⑤小泉克之、⑥宮崎一也。

<1/8バイク>

- ①大熊康夫、②高橋喜久夫、③北條友康、
④水島仁、⑤石神純一、⑥岡部浩隆。

<1/10バギー2WD>

- ①戸田純一、②高橋秀昭、③佐藤剛、④
広仲、⑤坂尾弘之、⑥キシナミ

<1/10バギー4WD>

- Aメイン／①ミクルベヒロシ、②岩崎隆、
③水島仁、④各藤貴也、⑤尾身、⑥工藤仁。
Bメイン／①仲村善雄、②藤田宣雄、③
三田謙一郎、④森哲也、⑤内川義雄、⑥
鈴木義昭。

RCモデルカタログ3

カー&アクセサリー

'88年の新製品を満載して
新発売

価格 800円
送料 80円



■カー&アクセサリーには、
RCカー情報がイッパイ！

- '88年、ラジコン界をにぎわす新製品、マニアあこがれの人気車種をピックアップ。その解説とパーツの一覧表でキットの魅力を知ろう。
- 市販ラジコン・カー・キットのデータを満載。

○RCカー用の器機、用品、工具、バッテリー、燃料、その他の素材まで、カー用品のことなら、何でもわかるこの1冊です。

- 電動カー、エンジン・カーのチューンナップ・パーツを、メーカー単位でまとめて解説。
- RCカー用プロポとRC関係のアクセサリー。
- モーター、エンジン。その種類と特長を知ろう。

ご注文は

(株)電波実験社 ☎154 東京都世田谷区下馬6-15-4 ☎03-418-4111 振替/東京3-76758

御注文は全国有名書店か模型店、または、直接弊社にお申込み下さい。直接弊社にお申込みの場合は郵便為替で。

優れた耐久性と高品質

マニアに広がるワイドなバリエーション



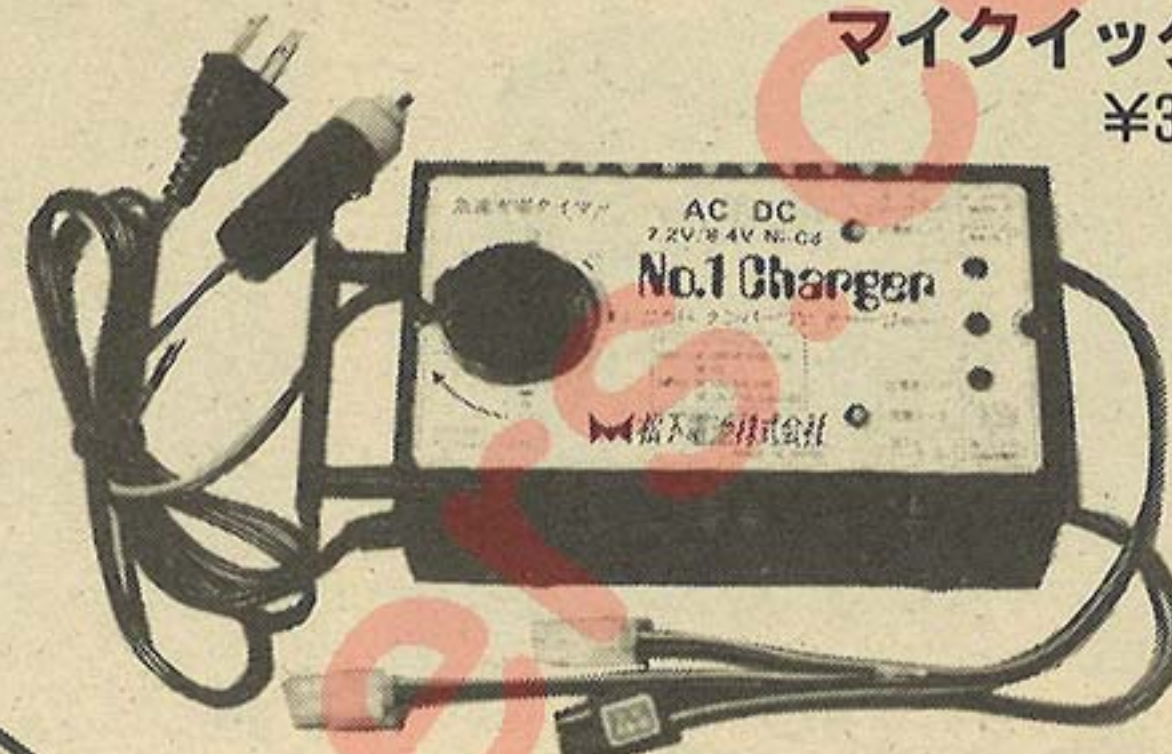
マイチャージ76
¥1,500



マイクイック87
¥35,000



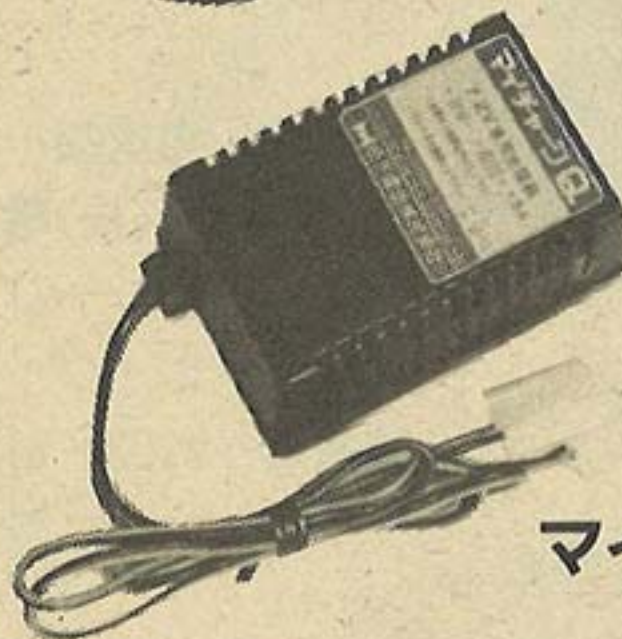
デュアルー40
¥4,800



ニカド ナンバーワン チャージャー
¥8,500



ニカド ツインリード
チャージャー
¥1,800



マイチャージQ
¥2,800



7.2Vバッテリー
¥5,800



イージー
デイスチャージャー
¥1,200

This part of the page was cut
from the magazine I have.

ラジコンは今、ファッションも楽しむ時代！

オリジナル・グッズを 実費でおわけします



↑③スーパーマシーン、ラジコン技術のロゴが入ったウエストポーチだよ。グレーとブルーの2色がある。



↑⑧ゴールド仕上げのオシャレなキーホルダー。JMR CAのロゴ入りだぜ。

→④「ラジコン技術ワッペン」5色のししゅうがされたもの。大きさは直径92mmだよ。



↑②ラジコン技術のステッカーで、4枚が1セットになっている。直径8cmのものと9cmのものが2枚ずつあるが、表面は耐グロー燃料性なので、工具箱なんかにベタッと貼っても、よろしいんじゃないですか。

ご希望の方は下の応募用紙を使用のうえ、下記へお申し込みください。

* *

〒154 東京都世田谷区下馬
6-15-4 (株)電波実験社
スーパーマシーン
オリジナル・グッズ係
問合せ ☎03-418-4111

This part of the page was cut
from the magazine I have.

好評発売中!!

知識のチューンUP

電動カーが大好きな君でも困った事、わからない事、つてたくさんあると思うけど、どうかな？ わからない事を友達に聞くのもいいけど、自分で正しい知識を学び友達にアドバイスしてあげる事も「メンタ」になろうと思う君には大切な事だと思ふよ。この本を読んで電動カーをもっともつと楽しんでほしい。

本書は ①組立編 ②走行編 ④チューンアップ編 ⑤一般編
⑥プロポ編に分かれ分りやすいQ&A形式の解説書です。



身近にあったたのしいやつ!

電動カー困ったときのQ&A

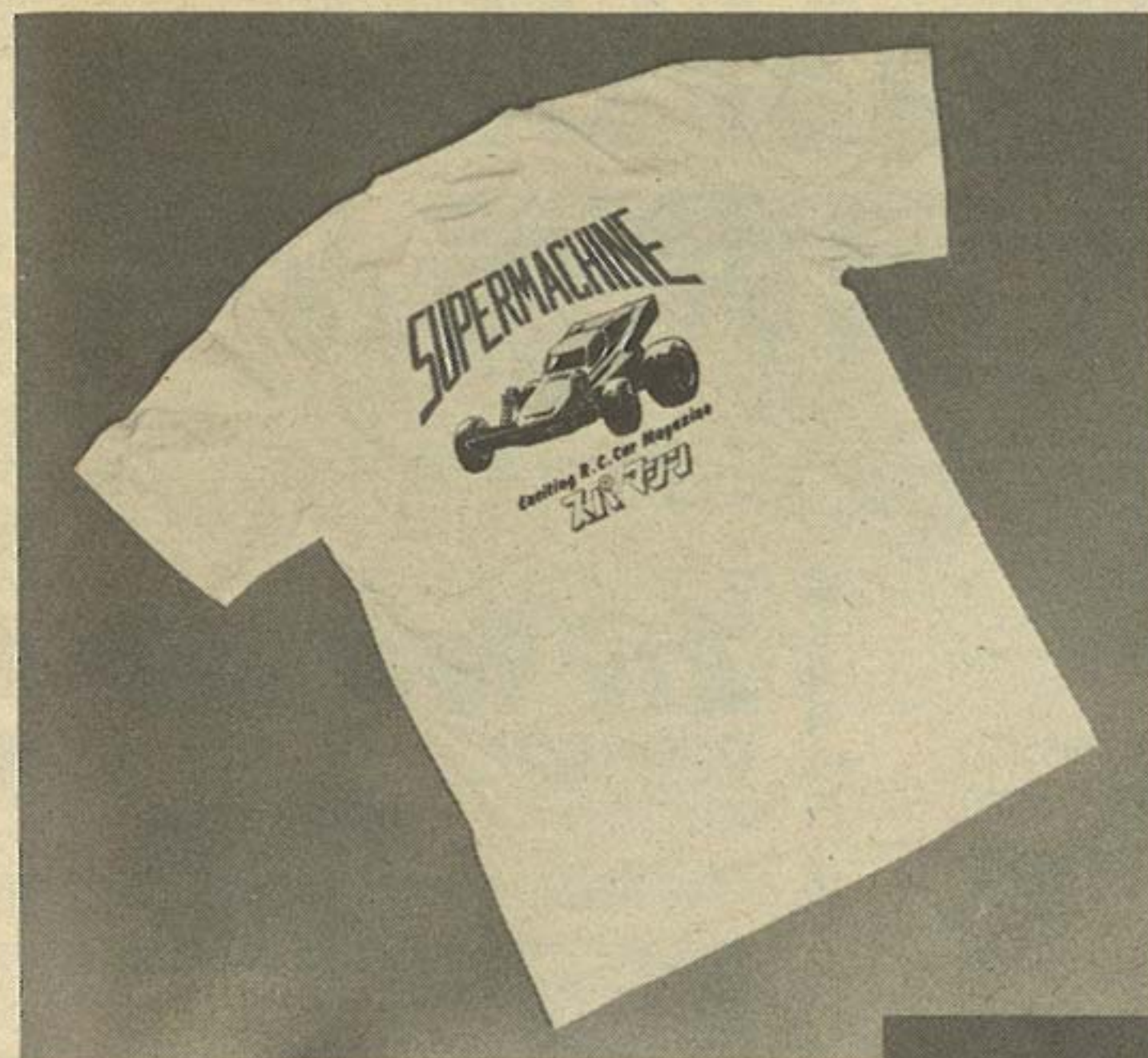
ラジコン技術 1987年3月号臨時増刊号
定価880円 送料75円



(株)電波実験社

〒154 東京都世田谷区下馬6-15-4
☎03-418-4111 振替/東京3-76758

もう、ありきたりのドレスアップでラジコンをプレイするのは、つまらない。キミも流行に乗りおくれなように、スーパーマシーン、ラジコン技術のオリジナル・グッズでエンジョイしてみないか。そこで、ナウいキミに、このオリジナル・グッズをお分けしよう。



⑤オフローダーをデザインしたスーパーマシーンのTシャツ。赤、青、黒の3色をプリントしてあるよ。サイズはMとLの2種類があるので、自分に合ったものに○をつけて申し込んでね。

⑦これからRCプレーンも楽しんじゃおう...と思っているキミにピッタシのラジコン技術Tシャツ。RCTの文字の上にヒコーキが飛んでるデザインだよ。これもMとLの2サイズがある。



⑥オフローダーがデザインされたラジコン技術Tシャツ。描かれているクルマはスーパーマシーンのTシャツのものと、少し異なり、フロントにモノショック・ダンパーを装備しているやつだよ。M、Lの2サイズ。

↓ラジコン技術のロゴの入ったカー・ナンバー。耐グロ燃料性なので、エンジン・カーのレースにも使用可能だ。

希望者は①住所、②氏名、③使用レース名、④開催日、⑤開催者名、⑥連絡先TEL、⑦希望枚数を明記し、送料(下写真が1枚分で、10枚170円、20枚240円。切手可)を同封して、(株)電波実験社ラジコン技術カーナンバー係へお申し込み下さい。ただ、このプレゼントはレースの写真をお送り下さることが条件となっています。



スピリット

BACK NUMBER

8月号は7月1日発売!!

★本誌を書店でご注文の場合は
"ラジコンカー・スーパーマシーン"と必ずご指名下さい。

●バックナンバーの御注文は、定価に送料を添え、誌名、月号を明記の上、直接小社へお申し込み下さい。御送金は、小額の場合、郵便小為替が便利です。郵便局に遠い方は、小額に限り郵便切手でお送り下さい。なお送料は省令などの改正により変更することがありますので御了承下さい。

また年間講読は6カ月で3,090円(送料含む)、1カ年で6,180円(送料含む)です。予約は、直接小社へ為替か振替口座でご注文下さい。

申し込み先

〒154 東京都世田谷区下馬6-15-4
㈱電波実験社
スーパーマシーンBN係
振替・東京3-76758 〆03(418)4111

'84年7月号～'84年11月号

450円(送料250円)

'84年12月号～'87年11月号

450円(送料65円)

('86年3, 4, 6, 7月号は売り切れ)

'87年12月号

450円(送料65円)

京商NSR500/タミヤ・ウィリアムズ
& ロータスF-1/ムゲン・マーキュ
リーX1-4/まるごとオブティマミッド
1/8エンジンバギー全日本選手権/
⑨のデミカ・チューニング/RC12L
グレードUP大作戦

'88年1月号

450円(送料65円)

1/10EPオフ全日本/AYKスーパー
パーセック/P.K.ニューコラリー/A
BCカレラ4WS/アルティマJJバ
ージョン/ヨコモYZ 870C/KO・
FETサーボ/ブービーバニーMK17

'88年2月号

450円(送料65円)

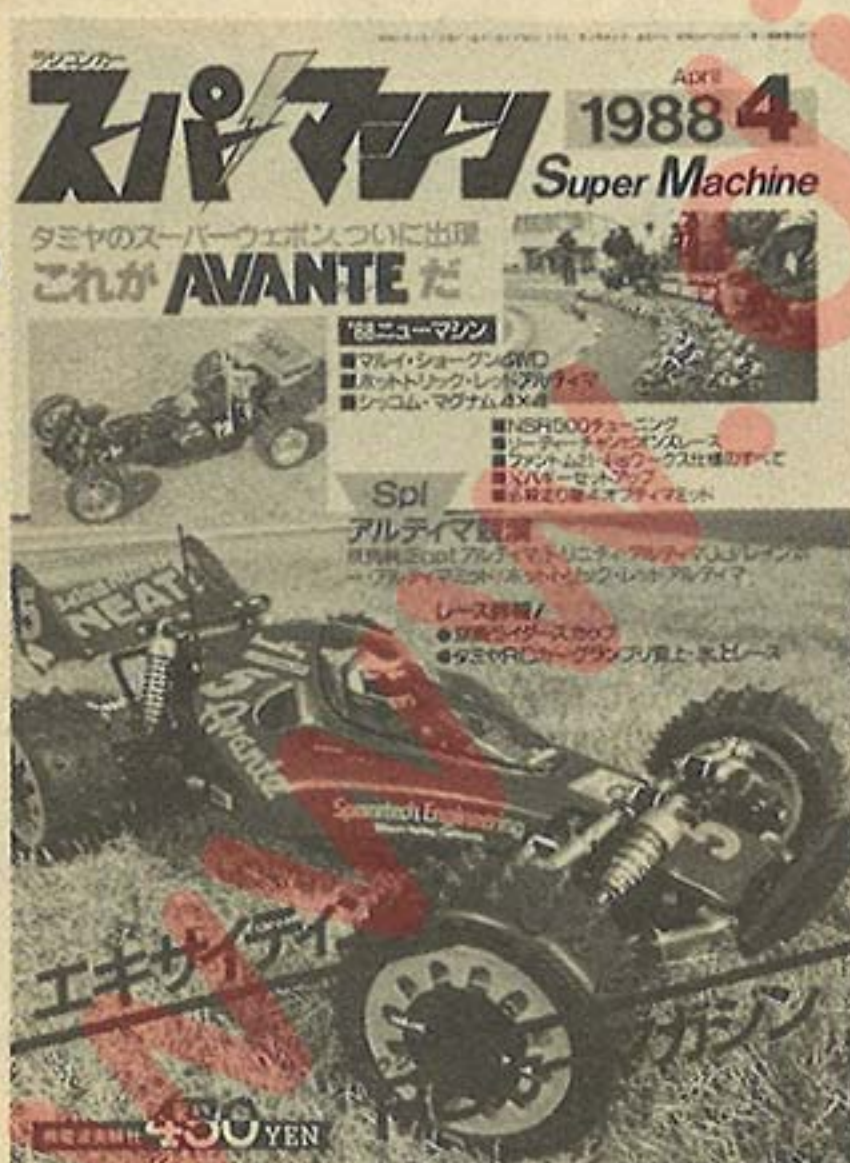
スーパースプリントVSターボオブ
ティマミッド/サンダーショット・タイ
ムアタック/NSR500の作り方&イ
ンプレ/トリニティ・アルティマJJ
バージョン/ニトロブルート/マーキ
ュリー

●3月号 450円(送料65円)



京商レイダーVSタミヤ・ソニックフ
ァイター/ムゲン・ストリーム21プロス
ペックII/京商・1/20ペンツGr. A/NS
R 500のチューニング/オブティマミ
ッド・バリバリアイテム/⑨のダブルウ
ィッシュボーンF-1/1/8ロータス99T

●4月号 450円(送料65円)



タミヤ・アバンテ/オブティマミッド走
行編/⑨のRCバイク走行理論とレース
参戦記/リーダー・チャンピオンズ・
レース/SPLアルティマ競演/シッコ
ム・マグナム4X4/ファントム21-4is
ワークス仕様改造パーツ

●5月号 450円(送料65円)



アバンテの開発コンセプトとは/AYK
+レースプレップ・レイジェント改ミ
ッド/トリニティ・オブミッドJJ/京商
ヤマハYZR 500/ヒロボー・ジェラシ
ー/ヨコモ・スーパードッグファイター
/サーバント・クワトロ/KO・エスプリ

●6月号 450円(送料65円)



AYK・ブンブンオフロード/1/10E
Pオンロードカー・デルタ・ビレイン/
アバンテ製作のポイント/ターボオブ
ティマミッド・スペシャル/京商・レー
シングフル/あかびとのFFマシン・
POP ROD MK.1/歯車のおはなし

7月号読者プレゼント

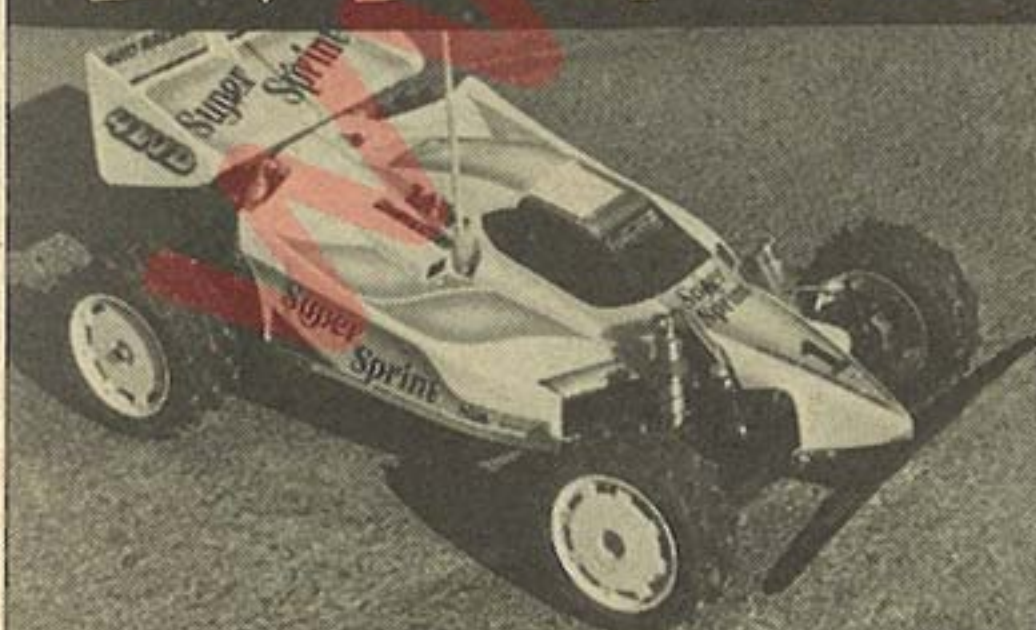


★今号はニッコー・トレーディングおよびサーパント社のご厚意により、ロディー・ローム氏の来日を記念したサイン入りトレーナー&キャップをプレゼントしよう。どちらもサーパント社特製のグッズだゾ！.....各1名



★海外のすぐれたキットやパーツを輸入・販売、また自らもスペシャルパーツを製造・発売し、RCカーマニアに親しまれているホビーショップ・スズキからは、PK社のオリジナルステッカーがプレゼントされるヨ。色は白、黒、黄、赤の4種類があるから、希望の色を書いて応募してくれ.....4名

今月の問題



このマシンは何でしょう？

官製ハガキに左のマシンの名称と、希望商品名、おもしろかった記事、おもしろくなかった記事、キミの愛車、住所、氏名、年齢、電話番号を明記して、下の応募券をはって下記までご応募ください。発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

★しめ切り '88年6月25日必着
★あて先 ㊞152 東京都目黒区鷹番2-15-8 パル学芸大2-B (株)DJ企画
スーパーマシーン編集部
「読者プレゼント」係

88年7月号プレゼント
応募券

電波実験社の最新刊

ラジコン

RCプラモのテクニク

手作り作品

その工作と楽しみ方

プラモとラジコンを

ドッキング

楽しさ十倍の模型の世界！

〔掲載作品〕

●ガンダム●四本足歩
行のクラブガンナー●コミカル・フエ

アレディ●M1エイブラムス戦車●超

小型ワイリスジープ●スーパースケ

ル・ムスタンク●ジエット方式魚雷艇



楽しくなければRCじゃない！

ご注文は
書店・模型店へ。
お問合わせは本社までどうぞ。

(株)電波実験社

㊞154 東京都世田谷区下馬6-15-4

㊞03-418-4111 振替/東京3-76758



2

→ライオン犬...ベツト改造計画もついにこ
まできたのか...。東京都の高橋聡選手(19点)。

1

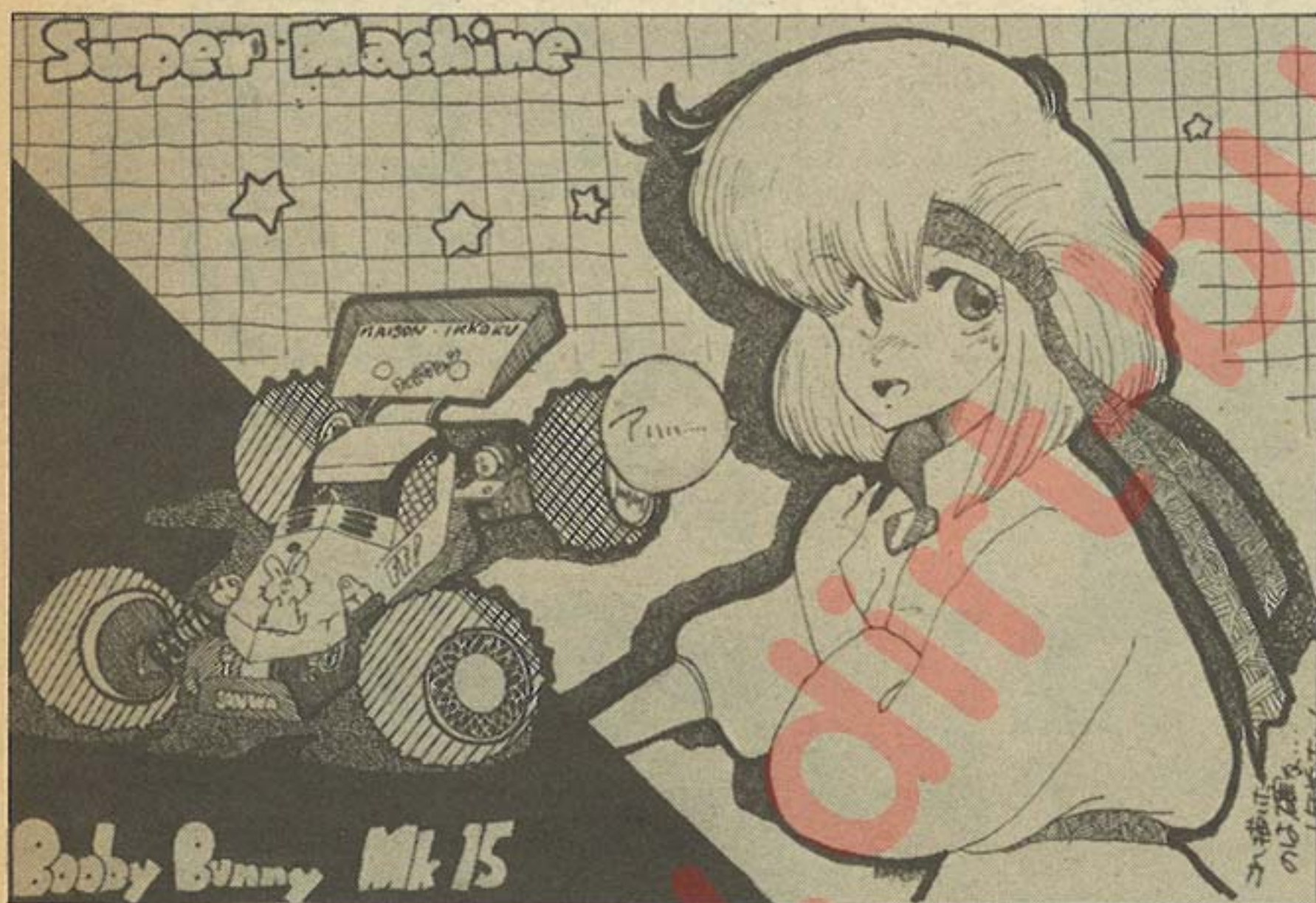
←「もあーい」ちゃんを描かせた
プロでも目指しているのか、ずい
分と気合いもの(20点)。



3

↑失敗とは言っても、なかなかし
ぶくまとめているじゃん! 神奈
川の川崎亜紀選手(18点)。

A
メイン



1

↑おっ、なつかしいFFダネ。キャラボディ
のラビ君がポイントになっていいネエ。宮
城県のKノ選手(15点)。

2

↑おおっと、いつもながらのイラスト。だ
ん常連と化しているなア。横浜市のめれお
ん選手(14点)。

B
メイン

'88イラスト

夏に向けてかキャラのファッシ
ョンやイラストのタッチがずいぶ
んとさっぱりしてきている今回。
やっぱりこの「季節」を感じさせ
る「...らしさ」は大切ダヨネ。

3

→(答え)②が一日おつきあいしてあげます
きた二代目選手(13点)。岩手県の帰って



イラストGC 第7戦

C
メイン

ノ
ビス

イラストGC戦応募方法

●イラストはハガキのうらに描いて、おもてに正確な住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、下記の要領で送って下さい。またイラストは毎月1人1枚有効です。締め切りは毎月20日必着とします。ペンネーム希望の場合はペンネームと本名を必ず明記して下さい。

切手

152-□□

東京都目黒区鷹番2-15-18
パール学芸大2-B DJ企画
スーパーマシーン編集部
イラストGC戦係

住所(郵便番号を忘れずに)
氏名・年齢・電話番号



1

◀何か新しいイメージのキャラがユニークだね。もう少しオリジナリティを強調したら。大分県の受動明日選手(10点)。



2

↑こういうのってあるよなア。だけど自分が基本的な原因なんだから、気をつけねば。兵庫県のばんぶ選手(9点)。



3

➡まだまだこれからだけど、少しずつ腕をみがいてがんばして下さい。栃木県のみみずく選手(8点)。

↓京都府のT・I・S選手



↑千葉県のコイコ選手

ラ

ンダム
ハウス

読

者

通

信

今年もまた“夏”が来たヨ。短パンはいてRCはもちろんだけど、やっぱり他にもいろいろTRYして、みんなで青春しちやいましょうヨネ。

こんにちは、マリエルさん。早速ですが聞いて下さい。おかげさまで志望していた公立高校に合格することができました。これもひとえにスパマのおかげです？

これが載るころには、僕は16才になっています(私の誕生日は5月です)。ということは、晴れて酒が飲める…わけねえだろ、このタコ。ええ、気をとり直して単車の免許を取りに行けるんです。小さい時から憧れていたバイクに乗れるわけです。

そこで、マリエルさんもバイクに乗られるそうなので、一番てっとり早い中型免許の取り方を教えて下さい。それと中型免許取得に必要な費用も教えて下さい。僕はNSR250RやCBR400RRなどのレーサーレプリカも好きですが、VTZ250なんかも好きです。マリエルさんが気に入っているバイクはなんですか？僕はホンダ党です。

いつの日か、マリエルさんや、あかびとさんとツーリングすることを夢んでいます。これからも単車で事故らないように気を付けて楽しいスパマにして下さい。

大阪府 荒野のライダー

●え〜っと、よく言われている「一発合格」を目指し、直接試験場に向かう手もあるが、やっぱり確実で安全な運転マナーが身に付く教習所に行くことをおすすめ。費用の

方は、入会金が2万3〜5千円ぐらいで、学科料金が8000円ぐらい、技能料金が1時間2800円×11時間(最低の場合)で30800円、それと卒検料が4000円ぐらいと、免許の交付料が2400円ぐらいで、しめて8万円前後だと思います。さらに運転がマズイとお金がかかります。学科20時間と技能11時間を3カ月の間でこなさなければボツです。出来ればバイク専門の教習所に行くことが一番早いと思います。車とバイクの両方をやっている所ですと、上手に学科と技能をこなしていくのはムズかしいようです。

好きなバイクは、メーカーではホンダとスズキファンです。ホンダでは僕もVTZ、VFR、BROS(僕ののってるやつ)、それからCRMの80なんかも好きです。スズキさんのはGSX-R750、400、250と、新しいガンマなんかいいと思います。と、基本的に4ストロークマシンが好きです。

それから最後に、バイク乗る(買う)時には、ずえ〜ったいに任意保険に入ってよね。最近たろう君も入り、よーやく仲間のみんなは安心しているのである。また免許取ったら手紙おくれ！ よろしく！

お初にお目にかかります(おっと会ってないか…)4月号の編集後記で(NANN Oさんのところ)大垂水で黄金の左腕をお

ってしまったピム×□●泉さんが、万がいち永眠されるか、意識不明になったりしたら(う〜ん、とても失礼だなー)、全国ネットでテレビに名前が出てRCファンはぶったまげただろーなど、とんでもないことを想像したりしています。

さて本題です(質問になります)。

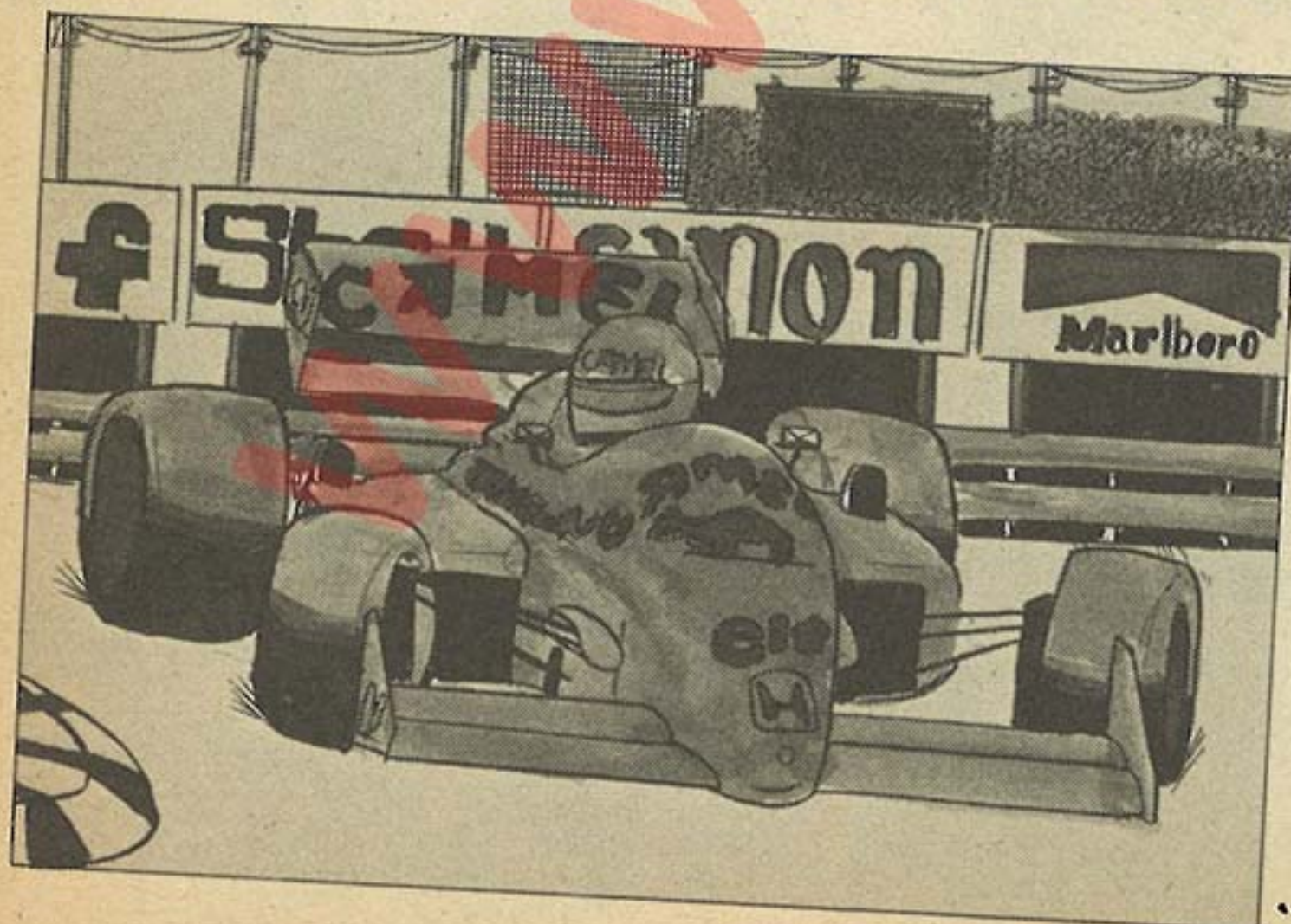
①959のオイルダンパーのオイルもれをふせぐ方法(タミヤレギュレーション以内)はありませんか。

②EX-9やマシーン1は、私のようなほぼビギナー(一応RC歴は3年)ぐらいの人でも使いこなせるでしょうか。

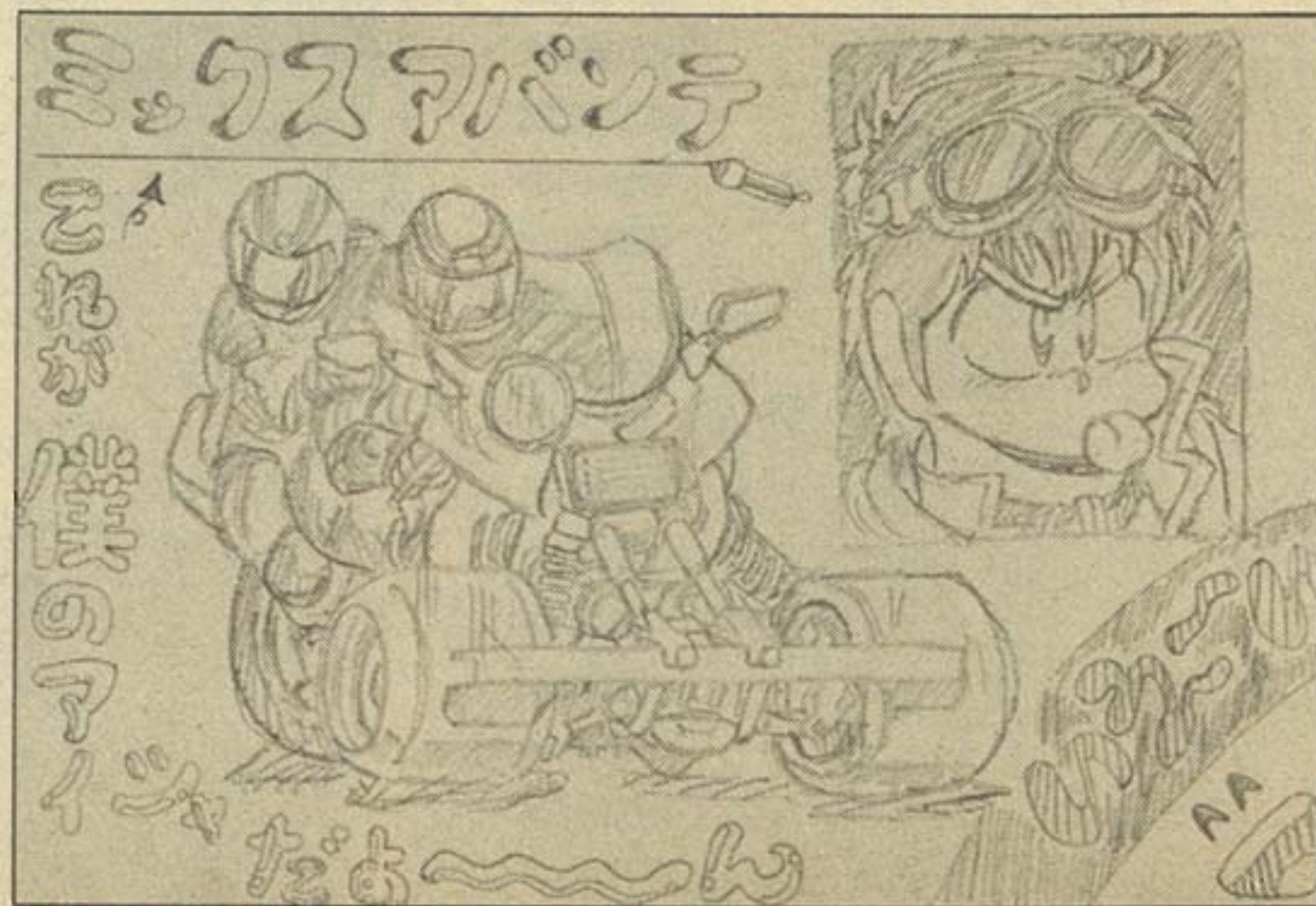
③レッドアルティマとレッドショットは、どちらが簡単に組めますか。以上です。P.S.すばまのマキちゃん単行本化して下さい。

千葉県 「なぜレッドファルコンは嶋大輔なの？」

●いやー○泉さんについてはまいったヨ、ホント。僕(マ)も◎石神さんとともにお見舞いに行ったんだけど、僕が「120Km(時速)のスピードで正面しょう突でよく元気になれたね！」と言ったら、○泉さんは人差し指を左右に4cmほどのストロークでふって、「チッ、チッ、チッ、チッ、シンカ(マのことをみんなこう呼ぶ)君、それは120kmじゃなくて130kmだよ、未体験ゾーンでの正



山口県の大谷亨選手



鹿児島県の山崎辰次郎選手

静岡県の大石選手

面衝突だよ！」と、やけに落ちついた表情で語ってくれタヨ。

まあそれはいいとして、質問の答は。

①は早め早めにパーツ交換するしかないでしょう。

②は逆にマシンを組み立てる時など、今までのプロボよりラクになると思うよ。

③はアルティマじゃない、やっぱし。

私、群馬県前橋市前橋高卒の水沢うどんこと〇野靖君と同じく一年間の〇人生活の後、やっと大学に入れた七味とうがらしと言うものです。スパマは創刊から買ってますが、たまりにたまったスパマに出てくる人々についての質問をしてみたいと思います。

Q① すばまのマキちゃんを描いている睦月せんせは何人いるのでしょうか。初めのうちはじゅん〇ちゃん先生が描いていたようですが、うどん君なんかも描いてるのでしょうか。

Q2 うどん君とたろう君は同一人物でしょうか、絵が似ている気がしますし、年も同じですし……。

Q3 あかびと君は私と同年のはずですが、1カ月にRCにつかうお金はいかほどでしょうか、そーとーいってるよーですが、SDRなんかももってるし、どんなバイトしてるの？

Q4 (これはわかんないだろうな) R-3さんはLPやIMなんかでよく見ますが、PROを目ざしているのでしょうか。もしデビューしたらSMに知らせて下さい。ぜったいみます。

Q5 RCMの大出さんは今どーしてるのですか。大阪へ行ったともききますが。

いやー睦月せんせはマニアですねー。アのヘルメット、アの車、まさしくGビルヌーブと312T5(T4かな)ではないですか、私はGビルヌーブのファンなので、うれしーです。㊦さん、私と同姓同名の女のアイドルがいるそーですが知ってます？

福岡市 七味とうがらし



●A① ひとりです。

A② ???

A③ それほど使ってはいないようです。

A④ LPでみかけるってのはあぶないネ。

A⑤ ちゃんと東京にいます。

YUPPIE/ マリエルさん、浅香唯がカネボウ夏のキャンペーンガールに選ばれたね。今年の夏は唯ちゃんの水着CMが見られるのでうれP。だけど唯ちゃんは大胆だと思いませんか。このままだと全部脱ぐかも、〇スト78から80になったし、まだ18歳だから5年近くはやっていけると思う。そのころ〇スト85かな。

それよりも、ファミコンが低迷しつつあると思う。ロールプレイングしかやらなくなったし、新しいのを買っても1週間以内でクリアしてしまうからです。土・日などはロールプレイングをやっても、友達がいると意見が分かれてもめるし、1人でしかやれないから他の子が退屈になり、結局は外で遊ぶことになる。僕たちはゴムまり野球をしたけど、そればかりではあきてしまう。

そこでこの前僕がデミカを持って行ったら、喜んで操縦していた。N君、A君、T君などは、以前RCを持っていたので、「もう1回RCをやろうかな」と言った。そして僕もさかんに「今度RCやろう」と言ったら、のってくれたので、チームを作ってしまった。その名は「Turn・Back・Troops」(出戻り軍団) 違うかな？ そしてNEWマシンにすると言うので、サンダーショットをすすめた。ダンディーダッシュは僕がもっているから教えなかった。

P.S. NANNNOと工藤静香が出る「熱っぽいの」と「時間ですよ再び」(第1

→北海道のエアーウルフ選手



回にNANNNOの入浴シーンが出ると思う)は絶対見よう。それからRCを持ってる子は、8.4Vで校庭を走らせよう。そうすればRCを始める子も増えると思うから(速さに見とれて)。それでは「あっ、弾けそう」で「とっておきスマイル」して「〇〇をひとりじめ」。改造講座(FF)とかいろいろなテストをしたことをたくさん載せてちょうだいね。ではほんとうにさよならだっP。

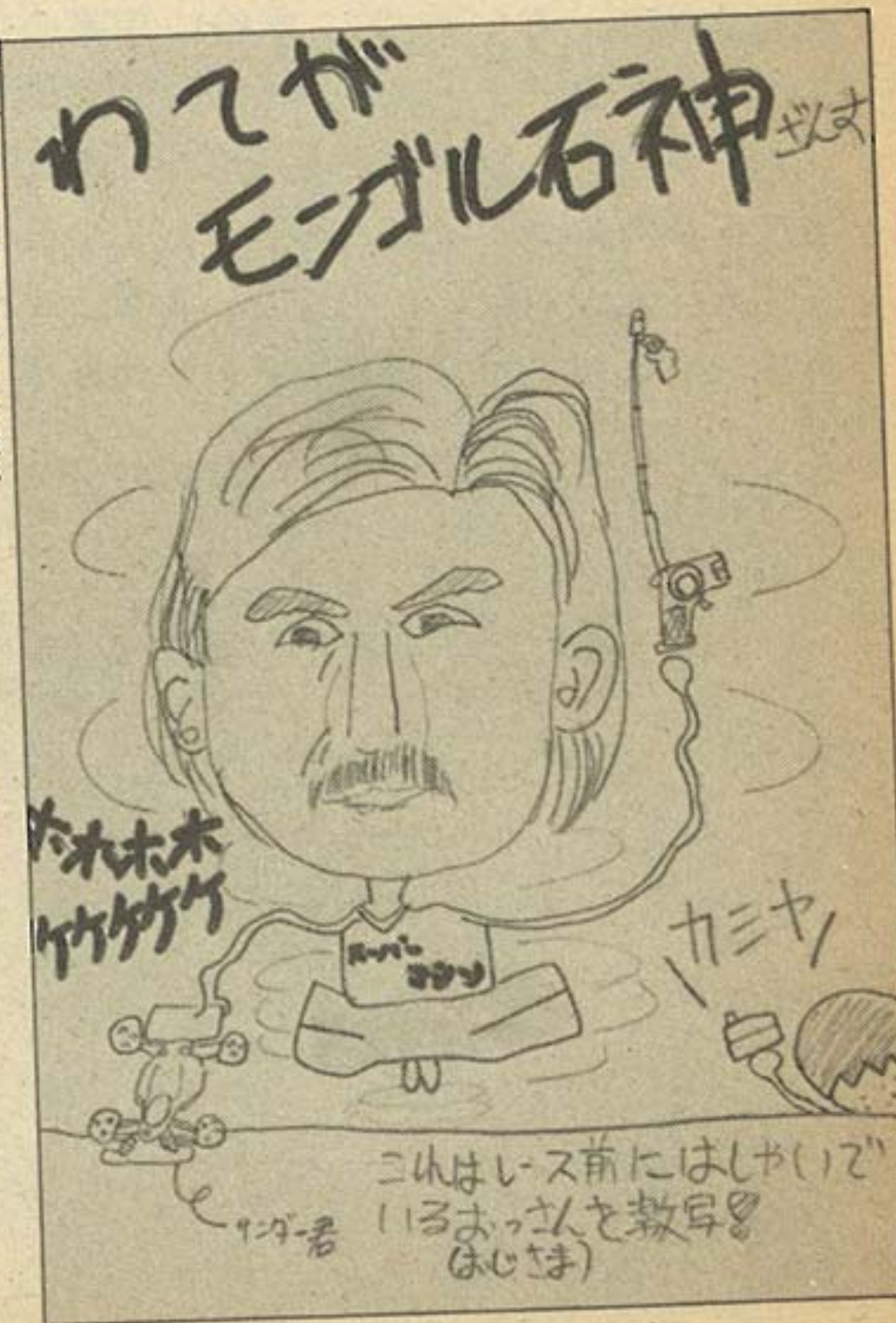
愛知 浅あそこが香唯

●確かにいろんな遊びの素材なんかはあっても、今イチRC並みに燃えるものは感じられないよネ。ゲームの場合って、「人が考えた物」であるから、すでに特定のパターンが設定されているワケで、ハブニングはまず起きないし、そのワク以上にはまず成長できない。ところがRCの場合は数限りない多くのヨウ素を上手にこなしていく、自分で造り上げていく楽しさがあるからネ。この楽しさを味わった人間は、他にないパワーをRCから感じ取るんじゃないかな？

お久しぶりです。マリエルさん、だいぶごぶさたしてました。もち、元気にすごしてます。RCの方は少々はなれていて(ヒマとお金が…)でも本は毎月買って読みはしています。ニューマシンがほしいのですが、他に買いたいものがあって、マシンが買えない状態なのです。

例えば、「CDプレーヤー」、「ビデオデッキ」です。冬のアルバイトにて「CDプレーヤー」を。そして春のアルバイトで「ビデオデッキ」を買っちゃいましたよ。定価14万円の品物を、3割引で買いました(多

→愛知県の井ノ口の百姓選手





千葉県のふりあれおす選手



東京都の麻唯唯紫選手



京都府のBOLD・OR選手

分、この手紙が本にのる頃には)。そして、
 昨年の夏には「バイク」(でも原チャリ)を
 買ってしまいました。マリエルさんといっ
 しょで、RCをしてるよりも楽しいのです。

マリエルさん同様、バイク雑誌が部屋に
 あります。毎月買ってしまってます。最近
 になって、バイクをいじってしまいたいと
 思ってますが。

次に「ラジオの公録」に行くことです。
 月に一度は必ず行ってしまっている始末。
 大変楽しくてたまりません。他には、「レン
 タルビデオ・レコード」や「バイクショッ
 プ」に出入りしたりと、今が楽しくてたまり
 ません。

話がかわりますが、高3になってしま
 いました。今年は「受験」と言いたいの
 ですが、「就職」することにしました(進学出
 来るほど頭良くないの)。学校の授業の中
 で、コンピューターの授業を受けています。
 この一年は、したいことも出来なくなりそ
 うで、少々いやだなあと思ってしま
 いますが、しかたないと思っています。また、
 今度(10月の終わりごろ)お会い出来るだ

ろうと思いますが、いろいろとお話をし
 たいと思いますので、ぜったい会いましょ
 うね。

P.S. 僕も「秋元ともみ」のファンで
 す。だってすごくかわいいんだもん。では
 10月の終わりに会える日を楽しみにしてま
 す。ちなみに「京都のRCショー」にてで
 す。サイナラー。

大阪府 米田直樹

●うーん、何かワカるような気がするなあ。
 何でも自分が興味持っているものをど
 ん手に入れる(入れられる)ことができる
 時期は、それが楽しくてしょうがないも
 ね。バイクも、ビデオもスポーツ用品等も、
 高価なものだから、やっとこれから手に入
 れられる時となったからにや、誰だって手
 をのばすよ。まあまた働き出してしまえば、
 もっと自分の使えるお金が増えてくるだ
 ろうから、次あたりはたぶん「自動車」と
 いうのがパターンだろうね。また秋に会える
 といいね。それじゃ元気でね。

マリエルさん、こんにちは。初めて手紙
 を書きます。ヨコモのワンダードッグを持
 っていますが、以前マリエルさんはワンダ
 ードッグを持っていたので、よければ
 スピードアップまたはここを改造すればよ
 いということをおしえてください。ドッグ
 には4000~8000円ぐらいのモーターで、ど
 れがありますか。ちなみにフルベア
 リング、モーターはスパ240WSを使用。あと
 ノーマル。

●とりあえず、ホビーショップスズキ製の
 フロント・デフ(ボールデフ)を入れ、シ
 ャーシをカーボン、またはFRPにするこ
 とをおすすめする。それから、センター
 ウェイベアリングもおすすめのパーツだ。
 モーターはスパよりも、今度発売されるエ
 スプリの方が合うと思う。ドッグファイ
 ターはトルク型のモーターが向いているので
 す。

マリエルさんコンニチハ、ボクは11才の
 RCマニアというほどでもない少年です。



大田区のしとさへ選手



和歌山県のー忍選手

①4月号のD・D・Libertyさんのしつ間で、Vマックス3000というアンプができましたね。それはどのくらいの性能なのですか。それから関係者以外の人でも手にはいるのですか。手にはいるのならどうすれば良いのですか、値だんはいくらですか。

②センバツ行進のとき、のりPがゲストにきていましたね。その時ののりPの顔どう思いましたか。ボクは自分の高校(のりPの)がでていたので、はれぱれとしていたように思いました。マリエルさんはどう思いましたか。

③マリエルさん、カーネル君をぼくにくださいませんか(たぶんだめだと思うけど)。ぼくはまだRC歴が短いので、またしつ問するかもしれませんが、その時はまたヨロシクおねがいします。

大阪府 CATが大好き

●①は以前、三和の東京営業所に1000アンプを持ち込んで改造していたようで、費用は3万円前後だったと思いますが、あくまでも以前のことで、今はやっているかわかりません。

②ごめんなさい、見てませんでした。

③やんないヨ!

こんばんわ(今は夜)。マリエルさん、編集部みなさん、他読者のみなさん。僕はマリエルさんからいただいた「元気なゴールドオプティマ」というペンネームがとても気に入っている元気なオプティマです。今月は4つの事を書きました(先に聞かれる前に。だれに聞かれるんだよ。マリエルさんに)。4月号にはあんな長い文を載せてくれてありがとうございます。あと3つ。マリエルさんの今シーズンの車はYZ870Cだったんですか。予感があたってしまった。マリエルさんが何をくれるのか楽しみだ。まだこないぞー。あと2つ。長崎でレースがあるのは知らなかった。3月号にのっていたのによく見てなかった。4月号を見てはじめて知りました。もう参加できま

せんが、見にいくのでレースの報告を今度しようと思います。

さあ最後の1つ。高校入試も終わり、今はホット(ホットショットではない)してラジコンで遊びまくっています。と今はこういう具合です。質問をさせて下さい。

TRIXのティアダウンモーター用の巻線で0.05きざみであります。この巻線で巻き方によりますが、φ0.45~φ0.9のシングルの場合、巻線の長さはたりますか。どうか教えて下さい。

P.S. これからも毎月手紙を書くのでよろしくお願いします。

長崎県長崎市 元気なゴールドオプティマ

●え〜と、0.7φ以上の場合は、僕が巻いた限りではモーター2個巻けましたヨ。だからどんなに太ったローターになっても1個は確実に出来ますから安心して作ってくださいな。

やっ! マリエルさん、そして他の方々こんにちは。僕は修羅場のような受験をくぐりぬけた高一の青少年です。5月号でマリエルさんが言っていたように、質問ばかりでなく別のことを書いてみたいと思います。

僕の学校のことを教えますと、なんと男子校なんです! 今まで小・中学校とも共学だったため、女子のいない学校なんて考えられません。男子校のイメージは、クサイ、汚い、不潔の3拍子そろった学校という感じです。マリエルさんはどうでしたか。でも僕には彼女がいます。中学の時の同級生(そういえば、こんなような名前のビデオが宇宙企画から出ていたような?僕は秋元ともみより、かとうみゆきの方がいい

ですよ、麻生も捨てがたいけど、「遊び足りない子供のように」はよかったな)で、髪の毛の短いとてもチャーミングな娘です(いいだろう)。彼女のおかげで僕は男子校に行く覚悟ができました。

今度は、高校でのごことand高校生になってからのレース、その後の彼女の事についてお手紙書きたいと思います。それじゃあ、Good.NIGHT!

P.S. NANNON 山上さんではなく、ゆっち山上さん!僕は南野ファンと言いたい、山上さんが大西結花のファンになるのはいいですけど、歌がなんのよりマシとか、そういう言い方をしなくてもいいと思うし、元なんのファンであつたら、そのへんは気をつかって書いてほしいと思いました。勝手なことを書いてほんとにすみません。

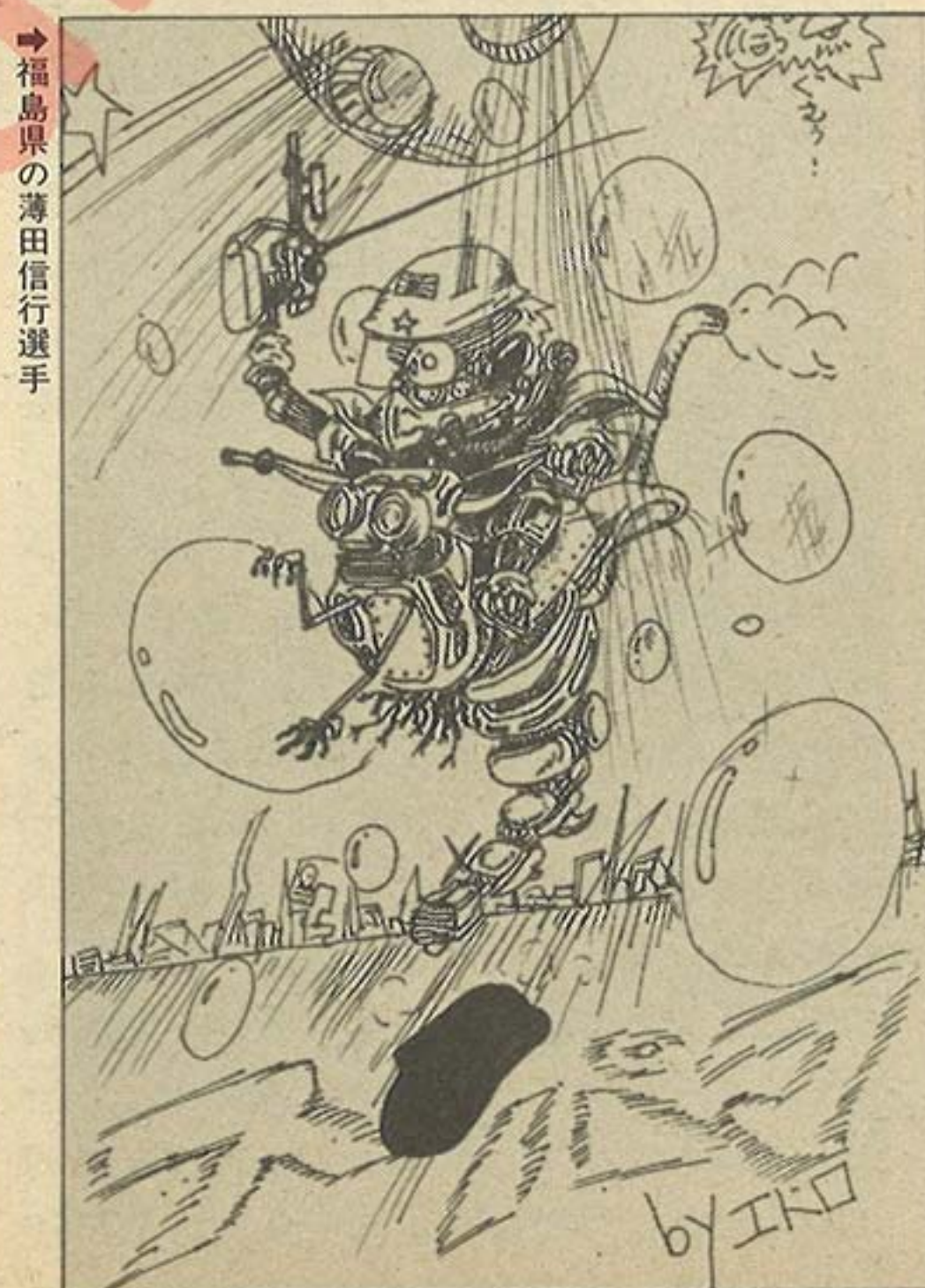
杉並区 リンゴ殺人事件

●僕もその男子校なるものに入っていましたから、よ〜くわかるような気がします。特に一番イヤだったのが、みんなそうじをまじめにやってくれない事です。僕はバイトやってたから、早く学校から帰るためにキチンとやろうとしても、決して他のヤツは手を貸そうとしなくて、いつも「キタネー教室」だもん、まいるよネ。

僕も彼女はいたけど、バイト先で知り合った子でした。というより、バイト先以外で女の子と会う機会など、ほとんどなく、これこそが男子校のキビしさなのです。キミも今の彼女とわかれたら、次の彼女見つけるのは大変だと思うから、くれぐれも大事に付き合っていこう。そしてまた報告く



↑沖縄県の源哲之選手



→福島県の薄田信行選手



→北海道の島坂ひさし選手



秋田県のアルティマ選手



茨木県の宮内信久選手



3人の内の1人なんだから。

これだけ書いて、僕が何を言いたかったかと言えば、だまされたと思ってダンディータッシュを使ってみて。絶対に気に入ると思うから、セカンドカーとしてでもいいから一度つかってみよう。今年の全日本、こいつでいってみようかなあ、CATには悪いけど。最後に、ダンディータッシュはいい車です。ニココさん、タイヤのオプションまっています。

P.S. ①1位だったライムグリーンのミッドのボディに、中山美穂のシールはあって、車に話しかけるんだぜ、アブネやつでしょ、ホントに。コーナーでさ、「みほちゃん、アンダーがでちゃん!」とかさ、やめよー、なあ寺岡!

② みんなはもうナムコのファイナルラップやったかな、このゲームは同時に1~8人までレースができる。なかなか燃えるゲームです。コースはスズカサーキット。僕の行っている所には4台しかないけど、それでもおもしろい。やってないなら早いとこやってみるといいよ。車もロータス、マーチ、マクラーレン、ウィリアムズとさまざま、4人でやったら手にあせにぎる好レースになったりして。僕はまだ2分36秒からタイムが上がらないけど、楽しいよ。アウトランも4分50秒でいどだし、ルマンが姿消すし、ま、いいか、君はもうファイナルラップのとりこになる。

それでは See You Later.

福岡 立花と一ペー

●ダンディータッシュはホントに気持ち良く走ってくれるよネ。あれこそマニアにおすすめのマシンと言えるんじゃないかな。次回のレースはがんばっておくれ。

ファイナルラップは、年末に10数名でめちゃくちゃやりに行っちゃった。今はやっぱり「グラディウス2」だよ。

こんにちはマリエルさん。ぼくはお年玉でオプティマプロをグレードUPしたんで

れや!

どうも、マリエルさん、BUGです。ホントはKYOSHIOオフロードカップ九州のレポートをしようかと思ったんですが、あいにくの雨で流れちゃったんです。車で3時間もかけていったのに、雨のバカヤロ一。

あ、すみません、こんなこと書いたってしょうがねーよね。実は、あの霜鳥さんおススメのダンディータッシュを買っちゃったんです。ホントによくできてるね、これは。組み立てていて、ついついニヤケちゃって、そばにいたアニキに「バカ」と一言いわれてしまった(コノヤロー!)。それで、テスト走行をやりました、次の日に。やっぱり霜鳥さんの言うとおりの、スプリングがかたく、ギャップではねちゃうんです。でも他の所はう〜んGood! 走りもかいいし、コリヤイケますよ。

ためしに3月29日の小さなレースに出ました。路面は土で、前日にふった雨のために鏡のようにツルツル。ヤッヤバイ、買ったばかりでタイヤがノーマルしかないよ。この不安どおりにオーシリフリフリ愛想をふりまきながら走ってく。

予選1ヒート目はボロボロ。ここでダンディータッシュの方を見せときましょう。プロボ、レーサーはサンワ・マシンA。サーボはフタバF P-S130SH、アンプはフタバMC-9、モーターはスバ240WSをピニオン13Tで進角3で使用、リヤのスプリングをストッパーをかえて、京商のプレッシャーのソフトスプリングに交換。フロント、リヤ共にダンパーオイルをソフトの4個穴でスカスカの状態。2ヒート目もちよっとタイムが上がっただけで、決勝はアブナイ。

3ヒート目、後はない。アンプのカーブコントロールをマイルドの方に。スタート! コーナーなんてタイヤのグリップあてにできないから、ヨコすべりさせてカウンターあてでゴーインに曲がってくヒヤヒヤもの、でも他車をラップするときは、この車だとさほど苦にならない、スツとぬける。やった。どーにかタイムが出て決勝へ。路面もかわいてきたし、セッティングもこれでよい。

モーターをスバからラジ技でもらった全日本用のウノへ、バッテリーもSCからSCRにかえて出走をまつ。グリッドにならぶダンディータッシュは、4番目の位置、ホントこーして見ると他車よりひとまわり大きい感じ。

さて、スタート! 僕はスタートはヘタなので、ドンペを行く。相手はミッド3台、ノーマルオプ1台、アルティマ1台(小さいレースだったし、雨のふった次の日だったんでクラス分けなし)。直線はさすがウノ、チュードーンとゴボウ抜きでいつのまにやらトップじゃん。ヤッピー、ノリピーてなもんで、そのままコースを周回してゆく。と中でアウトにふくらんだ時に、ライムグリーンのミッドにぬかれる(身内だけどネ)。まだ2位、ラスト1周、あれこれ、バッテリーがたれちゃったよ。ラスト1周でRT、悲ピー、リザルトは、ライムグリーンのミッドが1位、アルティマが2位、赤のミッドが3位、純正ターボミッドカラーが4位、そしてわがダンディータッシュが5位、6位のオプと僕は、共にバッテリー切れでRT。ま、初戦としちゃいい方でしょ、と自分ではまんぞくしてます。これ読んでアルティマにまけてなさけねーなーと思われないように。先の九州選手権で12周だした



千葉県のらいでる選手

すが、受験のため数回しかシェイクダウンができないで4月になり、RC禁止になっちゃった悲しい中3のマニアです。小六のころの僕の地区の男子は、全員RCをやっていました。ところが、中3になった今、あたりを見まわすと、やっているのは僕だけになってしまってるじゃありませんか！RCをチューンしても、競走できないっていうのはこの上ない悲しみでございます。レースも年に3、4回しかやんないし、しかも僕はコースでマシンを走らせたことが一回もありません（県内にコースがないため）。こんな条件下で1人さびしくRCをしている僕は「ヘンタイ」と世間様で呼ばれても、しょうがないかもしれません。それでは質問します。

①サンワのバトルチャンプの連続最大電流は80Aですが、ルマンH240Sのようなスプリントモーターや、しんかみみたいなチューンモーターを使用しても大丈夫でしょうか（ヒートシンクを付けて、オプティマ使用）。

②モーターのならし完了とはどういうとこ

ろがどうなれば完了なのですか。

③デルタピークってなんですか。

④FRP（2mm）を切るのみ必要な糸ノコ刃（できればノーカー名と商品名も）はどんなタイプですか？

⑤京商レイダーの足まわりをどう思いますか。

実に初歩的な質問ですが、どうぞよろしくお願いします。

栃木県 権田川秀麻呂

●①は以前、織田さんが使っていましたが、平気のよーでしたヨ。

②は走行後のコミュの変化が少なくなるまで当たりをとるのがいいヨ。

③はバッテリー充電中の電圧変化をグラフにしたとき、充電電圧のもっとも上昇したポイントのことをいい、その後少しずつ電圧降下していくので、ちょうど三角形の頂点のようになります。

④ヘラクレス刃の3番ぐらいを使おう。

⑤まあまあだネ。

マリエルさんこんにちは。一生思い出にのこるひさなお話をします。七月にバーンズとEX-9、その他をかった。そしてできあがってエンジンをかけたら調子がある、そして中古で売った。相手は九州の人で、「品物を先におくってくれ」といったので、おくれた。一カ月くらいこないででんわをしたら「いま入院中なので、もうすぐたったらおくる」といってきた。そうして一週間後一万円だけきた。全額の8分の1だ。またでんわをしたら「友達にうった」「もうおくれた」といいながら二カ月もすぎた。そうして、またでんわをしたら、エアクリーナーがおかしくてエンジンの修

理に七千円かかったといってきたので五千円まけた。そうしたらいきなりバーンズ本体のみおくってきた。「子供のつごうによりおかえしします」という手紙がはいっていた。それはすごくひどかった。プレッシャーダンパーのスプリングの位置をきめるところがわかれていたり、シャフトがまがっていたり、電池がなくなっていたり、その他ひどかった。EX-9のみこなかったで、でんわをしたら、「EX-9だけかいます」といった。しかし、すぐにEX-9もおくってきた。それもひどかった。サーボ2つともこわれていて、送信機がキズだらけ、それに充電器がなかった。このことで全く勉強に身がはいらなかった。このことで生きていくことがつらくなった。それに非常識にもほどがある。

埼玉県 マーフィ

●できれば、近県で直接手渡しでマシンとお金を交換するのがいいだろうね。お互い納得して取り引きをしよう。中古の購入に関しては充分に注意してもらいたいですね。

●もうすぐ夏休みだ。というわけで、今回は夏休み特別の宿題として「夏の思い出」的なものを秋ごろまでにこの通信あてにおくってもらいたい。ぼくが中から入賞作品を選んで、何かあげちゃおうかとも考えていますので、くれぐれもよろしく！



東京都のby・ASAMY選手



↑京都府のT・I・S選手



山形県の狛犬選手

ます

ンテナ、その他スペアパーツ、説明書付で2万円。〒993山形県長井市平山178-13 市川守

●タミヤ・タイヤ、2駆ピンスパイク前輪、2駆前輪金メッキホイールに4駆ピンスパイク前輪をはかせた物(穴あけ加工、スポンジ入り)、2駆金メッキホイールのピンスパイク後輪(穴あけ加工、スポンジ入り)を2500円。〒247神奈川県横浜市栄区公田町1082-36 渡辺祐

●京商・ターボオプティマミッドをリヤボールデフ、フロントワンウェイ、リヤユニバーサル付完成品で1万8800円。バラ売り可。ボディは無着色またはノーマル色がある。〒940-21新潟県長岡市高瀬町237 松浦敬真

●京商・オプティマプロ(新品)をプレッシャーダンパー(S、R)、京商・ベルトドライブユニット、フルベアリング、540モーター、YSP・フロントサポート他付で1万円。〒929-17石川県鹿島郡鳥屋町6-3-2 岡本一夫

●タミヤ・フォックス(ボディなし)をフタバ・マグナムジュニア、KO・リードIプロポ、フロント・スタビライザー、フロント・アームサポート、7.2Vバッテリー1本、充電器、フルベア、ヨコモ・ホットラップス・TFI、TRI、TR2、AYK・マグナム480Rモーター他付で2万5000円以上。〒939-03富山県射水郡小杉町中太閤山8-19 屋敷亮太

●タミヤ・ブーメラン(フルセット)をサンワ・ニューダッシュS・BECプロポ(サーボ2個付)、7.2Vバッテリー、充電器、フロント改造サス2本、ブラックモーター・スプリント(2回使用)、ボディ(ウイング、色シルバー・ステッカー)、ベアリング6個、説明書付で1万5000円。〒651-13兵庫県神戸市北区藤原台北町2-4-16 岡野隆昭

●カワダ・M-300をホイール、ギヤ付で1万4000円。〒191東京都日野市旭ヶ丘2-42-1長山団地2-103 大谷泰基

●ヨコモ・YZ720GSとパワーサプライをバッテリー2本付で1万5000円。タミヤ・ワイルドワンをフタバ・アタック(BEC)、ルマン600Eモーター、家庭用1時間急速充電器、バッテリー2本、その他付で1万円。〒281千葉県千葉市小深町589-7 荒尾進司

●タミヤ・フォックス(スピコンなし)をルマン240SB、スペアタイヤ、スペアビス、サイドガードウイング、説明書、ポリカラー、スペアパーツ付で5530円。タミヤ・ポルシェ959をタミヤ1時間急速充電器、7.2Vバッテリー、サンワ・ニューダッシュS、ポリカラー多数、説明書その他付で

1万7970円。〒740山口県岩国市青木町3-59-8 大川佳祐

●ヒロボー・エイリアンMID4SSをスペアパーツ(ボディ、タイヤ、その他)、モーター付で8000円。RCラインターナショナル・インシデントユンカーズをモーター付で7000円。〒146東京都大田区東矢口2-15-10 菊一剛

●京商・ターボオプティマミッドをサンワ・ダッシュSプロポ、ボルテックス・アンプ、ALFAモーター(スーパースプリント)、バッテリー4本、その他付で2万5000円。〒701-01岡山県岡山市平山712-2 大森弘二

●サンワ・スピコン300をバックブースター、ケース、説明書付で2500円。サンワ・チャンプを説明書、ケース、ドライバー付で3000円。またはコンテストHC、HBスタントBB-HSと交換。〒666-01 兵庫県川西市東多田字上深田258-6 町井輝之

●タミヤ・ビッグウィッグを540VZモーター、フルベアリング、スポンジタイヤ、強化済みフロントサス、その他スペアパーツ多数付で4000円。〒213神奈川県川崎市高津区坂戸100-4-B-612 大貫忠雄

●タミヤ・スーパーショットを7.2Vバッテリー2本、充電器(14時間)2個、サンワ・ダッシュS(BEC)付で1万6000円。〒929-03石川県河北郡津幡太田ホ230-2 鈴木康輔

●KO・EX-IIレーシングプロポをサンワ・サーボ、受信機、AYK・マグナム240REモーター、クリスタル(2バンド)、AYK・レーシングワッペン付で1万2000円。〒160東京都新宿区新宿1-29-12 狩俣修英

●京商・オプティマを6000円。〒003北海道札幌市白石区菊水元町三条一丁目 佐藤公俊

●京商・プレストとランドジャンプ(修理必要、ダンパーなし)を2IBRエンジン、サーボ2個、スターター、レシーバー用ニッカド電池、ブースターコード他付で4万5000円。〒500岐阜県岐阜市茜町138 赤塚伸幸

●タミヤ・ビッグウィッグをフルベアリング、スペアボディ、スペアタイヤ、フタバ・マグナム・ジュニア・プロポ、サーボ2個(修理あり)、バッテリー1本、その他付で1万6000円。〒500 岐阜県岐阜市茜町144 伊藤弘規

●タミヤ・ブーメランをフルベアリング、ヨコモ・360GTSモーター、プロポ(送・受信機)、8.4Vバッテリー、充電器付で1万5000円。〒861-41 熊本県熊本市御幸笛田町386-22 北村勲一

●京商・オプティマ用小型バンパー、ター

ボオプティマ用サスアームを500円。〒655 兵庫県神戸市垂水区上高丸3-13-4-205 小関浩司

●京商・オプティマをフタバ・アタック、ルマン360PT、スタビ前後、フルベアリング、タイヤ(ノーマルとホットショット・ピンスパイク)、急速充電器(15分用と1時間用)、15時間用充電器、バッテリー4本(7.2V、そのうち2本未使用)、その他多数の付属品付で3万9000円。〒538大阪府大阪市鶴見区横堤4丁目7-11 山口宣弘

●タミヤ・スーパーセイバー(新品)をサンワ・マシーンA、サーボ3個、受信機2個、バッテリー2本、充電器、スパイクタイヤ他パーツ多数付で1万2000~1万5000円。〒039-32青森県上北郡六ヶ所村大字倉内字切揚場131-2 鳥谷部忠幸

●京商・049タイフーンを始動用具付で7000円。またはプチバラード900と交換。〒036-15青森県中郡相馬村藤沢字野田123-8 成田守

●京商・ターボオプティマをバッテリー1本、単3乾電池8本、OCT・RB-505モーター、タイヤセット(4個)2~3種、AYK・マグナム480Rモーター、軽量パーツ、その他付で2万円。〒659兵庫県芦屋市伊勢町9-15 上島明

●ムゲン・ブルドッグをプロポ、7.2Vバッテリー、スペアタイヤ(新品)、フルベアリング、LS358モーター(新品)、メインフレーム、サイドプレート、アンダーガード、コントローラー他スペアパーツ多数付で1万3000円。バラ売り可。〒273千葉県船橋市金杉5-9-26 村山隆

●タミヤ・ブーメラン(フロントはビッグウィッグのものを使用)を7.2Vバッテリー3本、フルベア、7.2V家庭用急速充電器、ピンスパイクタイヤ(F)、ルマン360ST、M&Y240RSP、フタバ・アタックBF、FETアンプその他付で1万2000円~2万円。〒806福岡県北九州市八幡西区町上津役西3丁目12-24 久保田進一

●タミヤ・ブーメラン、ロードウイザードをプロポ、アンプ、ピンスパイクタイヤ、ルマン240SB、フルベア、その他付で9000円。〒444-13愛知県高浜市高取町北大根52-6 神谷知彰

●京商・スティンガーMKIIをフタバ・マグナムジュニア、受信機、サーボ、プレッシャーダンパー4本、フルベアリング、始動用バッテリー、ブースターコード、説明書、スペアパーツ他付で5000円。〒411静岡県三島市三好町16-30 藤田孝之

●タミヤ・トヨタトムス、ホーネット、マイティフロッグをタイヤ、スペアパーツ、トリックス・モーター、ルマン・480Tモ

ター、M & Y モーター、テクニパワー、説明書付で7000円。または京商・プラズマの新商品と交換。〒340埼玉県草加市旭町5-5-6 佐藤昭紀

●タミヤ・ホーネット、ヨコモ・ドッグファイター、フタバ・プロポー式を5000円。タミヤ・ブーメラン (フルベアリング)、ボルシェ956、サンワ・ダッシュ式を6000円。〒760香川県高松市花園町1丁目12-10 和田浩治

●O S・C Z II エンジンを4000円。アンサー・マニホールドを1000円。マフラーを2000円。スティンガー用ベルトライブ・ユニットを1000円。〒384長野県小諸市乗瀬2172-3 内堀弘

●タミヤ・ブーメランをフロント・デュアルショック、オプティマ用足まわり一式、プレッシャーダンパー4本、フルベア、タイヤ数種、スバ240WS、オプティマ用フルベア付で3000円~5000円。サンワ・ボルテックス (新品) を3000円。フタバ・マグナムジュニア・セットを1000円。タミヤ・タムテック・セットを2000円。全部なら9000円。〒890鹿児島県鹿児島市草牟田2-58-21 中村洋介

●タミヤ・ホットショットIIをルマン360ST、マグナム300B、スペアギヤ、サンワ・ニューダッシュS、KO・リードI、ビッグウィッグ用のフロントアーム上下、同じくフロント、リヤのダンパーステー、ベアリング20個、ユージ・ダンパー (フロント・モノショック、リヤ・デュアル)、タイヤ9個、サンワ・受信機2個、サンワ・SM-63Iサーボ1個、スペアギヤ・ボックスその他付で9800円。〒871大分県中津市殿町4-1408-10 梅田勝俊

●京商・NSR500をサンワ・ダッシュ、コムラスGP、バッテリー、充電器、モーター、ベアリング4個、箱、説明書付で1万7000円。タミヤ・ビッグウィッグをJR・ビートII、サンワ・チャンプ、バッテリー1本、トルクリミッター、スポンジタイヤ、テクニゴールド、フルベアリング、普通充電器付で3万1100円。〒895鹿児島県川内市木場茶屋8190 道岡育生

●タミヤ・ブーメラン (スピコンなし) をバッテリー・プレート固定シャフト、8.4Vゴールドパワー・バッテリー・セット、レギュレーター、ユージ・ホットショット・リヤダンパーセット、スーパーショット・スピコン、ベアリング4個、説明書付で8500円。京商・オプティマ (モーター、スピコンなし) をタミヤ・オーバルブロックタイヤ、オプティマプロ・ボディ付で5500円。ブーメランと両方なら1万3000円。またはニッコー商事・スーパースプリントと交換。

〒733広島県広島市西区井口台2-34-23 川原司

●AYK・ボクサーを6500円。ムゲン・ブルドッグを5000円。東京マルイ・サムライを5000円。タミヤ・ホーネットを5500円。タミヤ・ファルコンを6000円。タミヤ・マイティフロッグを6500円。タミヤ・フォックスを8500円。サンワ・ニューダッシュSを5000円。JR・ビート2を5000円。フタバ・アタックを5000円。フタバ・アタックBFを6000円。フタバ・ニューアタック (新品) を7500円。フタバ・ニューアタックBF (新品) を8000円。〒336埼玉県浦和市岸町4-10-17 棚瀬正和

●タミヤ・ブラックフットをプロポ、7.2Vバッテリー、モーター付で4000円。タミヤ・ボルシェ956をサンワ・マシーンA、テクニゴールド、240SB、トリックス・PRO、7.2Vバッテリー (2本)、デュアルチャージャー付で2万円。買ってくれた人にはドラゴンクエストII・IIIをプレゼントします (ボルシェの場合のみ)。〒987-21宮城県栗原郡高清水町小山田字荻生田手取39 北村達也

●京商・オプティマミッド (スピコンなし) をバッテリー1本、テクニゴールド、テクニパワー付で2万円。〒227神奈川県横浜市緑区あざみ野2-33-45 稲垣行信

●タミヤ・ブーメラン (フロント・ビッグウィッグサス仕様) をフタバ・ニューアタックBF、FP-S138サーボ2個、FP-R102GF受信機、スピコン、フェニックス・ユニバーサルジョイント (フロント)、ビッグウィッグ・エアロホイル、フルベアリング、エアーサプライ・スタビライザー、ルマン360ゴールドモーター、イーグル・ミニバンパー、スペアパーツ他付で1万8000円。〒875-02大分県大野郡野津町野口 平川友和

買います

●KO・CX-II Rアンプ、京商・オプティマ用銀メッキホイール (FとR)、ルマン240SBを5000円~6000円。〒433静岡県浜松市幸4-19-2-206 水谷征央

●各社12V用デルタピーク充電器、またはモーターならし器 (こわれていない物、できれば説明書付) を適価で。〒666-01兵庫県川西市東多田字上深田258-6 町井輝之

●京商・アルティマを3000円~5000円。〒956-01新潟県新潟市大鹿662 本望裕

●フタバ・FP-2LGXセット、マグナムレーザーセット (各バギー用、説明書付)

を各4000円で。〒144東京都大田区西糀谷3-14-3 吉沢克己

売ります RC以外

●ナショナル・ダブルカセット (説明書、リモコン、箱、保証書付) を1万5000円。任天堂・ファミコン (新品・トップガン付) を7000円。うしろ髪ひかれ隊のレコード (LP1枚とEP1枚) を1500円。すべて値引き可。またはRCバイクと交換可。〒671-25兵庫県栗原郡山崎町上比地245 藤木靖成

●任天堂・ファミリー・コンピュータ本体とカセット (女神転生など) 新旧10本を説明書、ケース、攻略法の本 (2冊ぐらい) 付で1万1500円。〒659兵庫県芦屋市伊勢町9-15 上島明

●トミー・ベーシックセットを3800円。〒003北海道札幌市白石区菊水元町三条一丁目 佐藤公俊

●ナムコ・ファミコンカセット・独眼竜政宗を箱、説明書付で5000円。またはファミコンソフト・ウィザードリー (箱・説明書付) との交換も可。ジャレコ・燃えろプロ野球、ヘラクレスの栄光、森田将棋、ウルティマ、桃太郎伝説、ファイナルファンタジーを箱、説明書付で各4000円。〒394長野県岡谷市湊1-11-19 山岡信一郎

●ハドソン・PCエンジンをカトちゃんケンちゃんと、ビックリマンワールド、アダプター付で3万円。ただし本体の説明書、箱なし (ソフトはある)。〒501-04岐阜県本巣郡北方町西町3222-3太洋ハイツ1-203 汲田義隆

●任天堂・ファミリーコンピュータ本体をドラゴンクエストIII、ファミリースタジアム87、ファミリーボクシング、バーディーラッシュ、ファイナルファンタジー、ディスクシステム、ACアダプター他カセット11本付で2万7000円。またはPCエンジンと交換。〒030青森県青森市桜川9-18-7 佐藤健介

買います RC以外

●テレホンカードを何度数でも買います。ただし未使用のもの。がらは問いません。1枚500円。ただし、西村知美、愛の夢'87・夏と浅香唯BOO / オリジナルは1枚2000円。〒039-32青森県上北郡六ヶ所村大字倉内字切揚場131-2 鳥谷部忠幸

売ります買いますUSED・RC情報 掲載申込用紙

売ります 買います										R C R C以外()									
メーカー名																			
商品名(キット名)																			
付属品																			
品物の程度(使用年数)																			
										希望価格 円									
住所		都道府県								市区郡									
氏名		年齢				歳		☎()											
保護者名 (未成年者のみ記入の事)										印									

キリトリセン

★規則

- ※「USED・RC情報」に掲載希望の方は、上の応募用紙に必要事項を記入の上、封書(手紙)にて下記へお申し込み下さい。
〒152東京都目黒区鷹番2-15-18 パル学芸大2-B DJ企画スーパーマシーン編集部「USED・RC情報」係
- ※右の記入例を参考に応募用紙に記入して下さい。商品名は応募用紙1枚につき1点とさせていただきます。
- ※応募いただく封筒は、他のコーナーにお申し込み下さる分とは必ず区別し、決して兼用にはせぬようお願いします。
- ※非常に多数の方がご応募下さるため、掲載は抽選で行なっています。記載事項の不明確なものは、すべて無効とさせていただきますので、ご注意ください。
- ※本誌は掲載するだけで、取引には一切責を負いませんが、トラブルを防ぐために、直接一方的に現金等を送り付けたりせず、事前に往復ハガキ等で必ず連絡を取るよう、お願いします。
- ※保護者名(未成年者の場合)の欄は、必ず保護者の方が記入して下さい。

★掲載申込用紙記入例

売ります買いますUSED・RC情報 掲載申込用紙

売ります 買います										R C R C以外()									
メーカー名 京商																			
商品名(キット名) ターボオアティマ																			
付属品 バルトドライブ、ウインク、三和マシーンA、バートルチャンポン、スパー240WSモーター、SCRバツテリ-2本、スパータイセ付																			
品物の程度(使用年数) 6ヵ月																			
										希望価格 2万 円									
住所		〒152 東京 都道府県 目黒 市鷹番2-15-18																	
氏名		大西 結仁				年齢		17歳		☎(03) 793 - 2020									
保護者名 (未成年者のみ記入の事)										大西 結三 (印)									

RACE GUIDE

6月5日

RC-1 電動オフロード GP 第5戦

1/10電動バギー

日時：6月5日。午前9時受付。

会場：愛知県名古屋市中川区・RC-1サーキット。

種目：1/10電動バギーで、4WDクラスと2WDクラス。モーター自由、バッテリー7.2V1200mAhまで。

競技：予選5周のタイムによりシード選手を選出。その他の者で勝ち上がり方式決勝を行なう。

会費：小・中学生500円。高校・一般1000円。

申込：当日会場で。

注記：①予備クリスタル持参。②彩色ボディ必着のこと。③天候その他の理由で競技内容の変更がある。

問合せ先：☎454名古屋市中川区戸田ゆたか2丁目701番地 ホビーショップRC-1 (☎052-303-1460 午後7時～9時)。

6月5日

'88 CPRT オフロード・シリーズ第4戦

1/10&1/8エンジン・バギー

日時：6月5日。午前8時30分受付。

会場：神奈川県秦野市・CPRT専用オフロード・コース。

種目：JMRC Aバギー規定による1/8と1/10オフロード・レース (エンジン21まで)。

競技：予選…A, B, C, フレッシュマンの自己申告制。決勝…各クラスともaブロック, bブロックに分け、各6名ずつで行なう。

資格：RC保険加入者 (保険証持参)。

会費：高校生まで1500円。一般2000円。

申込：当日会場で。

注記：予備バンドを必ず用意のこと。

問合せ先：☎114 東京都北区豊島4-5-6 イザワ模型内 CPRT事務局 (☎03-

919-2407)。

6月5日

第2回横浜グランプリ

1/8エンジン・レーシング

日時：6月5日。午前8時30分集合。

会場：横浜市中区・日産自動車本牧専用埠頭特設コース。

種目：1/8エンジン・レーシング・カー。

競技：全員決勝、全員予選の各メイン制。

会費：2000円。

申込：当日会場で。

注記：付近に飲食店がないので、昼食は各自持参のこと。レース当日、日産工場内には参加者および家族、関係者以外は原則として入場できない。

問合せ先：横浜市西区浅間町5-383-12 喫茶ダチ (☎045-314-3107 午後5時～8時) 古川。

主催：TEAM・FRY (フライ) レーシング。

6月5日

1988 デイトナ・チャンピオンレース第3戦

1/12電動レーシング

日時：6月5日。午前8時30分受付。

会場：東京都立川市・モデルプラザ・デイトナ・サーキット。

種目：JMRC A1/12電動レーシング・カー規定に準ずる。エキスパート・クラスとフレッシュマン・クラス。

競技：エキスパート…予選8分耐久2ラウンド、決勝8分耐久1ラウンド。フレッシュマン…予選4分耐久2ラウンド、決勝8分耐久1ラウンド。

会費：エキスパート1000円。フレッシュマン800円。

申込：当日会場で。

問合せ先：モデルプラザ・デイトナ (☎0425-25-3150)。

6月5日

第102回イーグル・グランプリ 8分間レース

1/12電動レーシング

日時：6月5日。午前9時受付。

会場：豊橋市岩屋町・イーグル模型内イーグル・サーキット。

種目：1/12電動レーシングカー (モーター

自由、動力電源 Sub-Cタイプ6本7.2Vまで、他はROARルールに準ずる)。

競技：8分間周回レース。3ラウンド中のベスト・スコアで順位を決定する。

会費：一般1000円。小・中学生800円。チーム・イーグル会員500円。

申込：当日会場で。

問合せ先：☎440愛知県豊橋市岩屋町岩屋下62-79 イーグル模型 (☎0532-61-1554)。

6月5日

第4回キセイグランプリ

1/12電動レーシング

日時：6月5日。受付・午前9時～9時30分。

会場：大阪府寝屋川市・キセイサーキット。

種目：JMRC A規定に準ずる1/12電動レーシングカー。

競技：初心者クラスは予選スプリントレースを2～3ヒート。中・上級クラスは4～8分レースを2～3ヒート。決勝は各メインに分けて行なう。

会費：初心者クラス700円。中上級クラス1000円。

申込：当日会場で。

注記：予備クリスタル持参。車での来場は不可。

問合せ先：ホビープラザ・キセイ (☎0720-33-8536)。

6月11日

'88 KIW 1/24 インドアレース

1/20～1/24電動レーシング

日時：6月11日。午後7時受付、同7時30分競技開始。

会場：名古屋市緑区・成海神社前・鳴海商工会館2階 (名鉄「白山バス停」下車)。

種目：①7.2Vクラス (マブチ180モーターまでの無改造)。②6Vクラス (同上、ツーリング・カー・ボディのみ)。③F1クラス (6V, 1/20)。

競技：予選2分間ヒート、決勝4分間1ヒート。

会費：1000円 (ダブルエントリー1500円)。

申込：レースの3日前までに、専用申込書 (フクシマヤ内) に会費をそえて下記問合せ先へ。先着40名で締め切る。

注記：①12Vバッテリーの持込禁止。②ゴミは各自で持ち帰る。③タイヤはグリップ剤およびカラータイヤの使用禁止。違反の場合は失格。④ボディは塗装済みのもの。クロード・ボディのみ人形なしでも可。クリヤ・ボディ可。⑤予備クリスタルを持参。⑥申込書の裏に小売店の印を捺印のこと。

1/12電動レーシング全日本選手権2次予選のお知らせ

●中国支部

日時：6月5日。午前9時受付。

会場：岡山市福成・プラトピア・サーキット。

会費：1000円。

問合せ先：☎700 岡山県岡山市奉還町1-12-15 プラトピア (☎0862-54-2020)。

●北陸支部

日時：6月5日。午前8時30分受付。雨天中止の場合、6月12日に順延。

会場：犀川緑地公園・特設コース。

会費：1500円

問合せ先：☎921 石川県金沢市野町4-6-13 チャンピオン金沢模型 (☎0762-42-3316)。

●マルセンオフロードGC第1戦のお知らせ/日時：6月5日。午前9時受付。会場：マルセンオフロードサーキット。種目：1/10電動バギー。競技：予選4分3ヒート、決勝はA, B, Cメインに分け全員で1ヒート。会費：高校生以下800円、一般1000円 (会員割引あり)。

問合せ先: ☎458 名古屋市緑区鳴海町本町83
フクシマヤ内 TEAM-KIWI (☎
052-621-0124 夜間☎052-621-2706)。

6月12日

'88F-1ホビーGC&F-1第5戦

1/10&1/12電動レーシング

日時: 6月12日。午前8時30分受付。

会場: F-1ホビー専用サーキット。

種目: 1/10電動フォーミュラ・カーと1/12
電動レーシング・カーの2クラス。バ
ッテリー7.2V1200mAh以下、フォー
ミュラは無改造のRS540SHモータ
ーにかぎる。

競技: レーシング…予選8分ヒート以上,
決勝8分。F-1…予選6分間2ヒ
ート以上, 決勝8分(当日変更あり)。

会費: 各クラス一般800円。小学生500円。
ダブルエントリー…一般1000円。小学
生800円。

申込: 当日会場で。

注記: 予備クリスタル持参。

問合せ先: ☎485 愛知県小牧市南外山1914-
12 F-1ホビー (☎0568-76-7838)。

6月12日

D-DAYロング・ディスタンス第3戦

&F-1 GP in Futaba

1/10~1/12電動レーシング

日時: 6月12日。午前8時30分受付。

会場: 千葉県船橋市・フタバ・レースウエ
イ。

種目: スーパーエキスパート, エキスパ
ート, フレッシュマンの1/12電動レー
シングカーと1/10F-1クラス。F-1ク
ラスはマブチのノーマルモーター使用。

競技: フレッシュマン…予選4分, 決勝8
分。F-1…予選4分, 決勝6分。他は
予選4~8分, 決勝はA~Dメインに
わかれ8分レース。

会費: F-1クラス500円。フレッシュマン
800円。その他1000円。

申込: 当日会場で。

問合せ先: フタバ模型専門店 (☎0474-25-
2034)。

6月12日

'88第6回101オフロードレース大会

1/10電動バギー

日時: 6月12日。

会場: 大阪府和泉市・101サーキット。

種目: 1/10電動バギー。一般2WD, 一般
4WD(以上8.4V以下), エキスパ
ート4WD(7.2V以下)の3クラス。

競技: 予選4分間2ヒート。決勝は一般4
WDだけA, Bメインに分ける。他は
Aメインのみ。

会費: 1000円。Wエントリーは500円増し。

申込: 当日会場で。

申込: 当日会場で。注記: 予備クリスタルは極力持参。オートラップカウンター用の発振器を取付可能にしておくこと。問合せ先: ☎016秋田
県能代市鳥小屋10-1 マルセン模型 (☎0185-55-0395)。

1/10電動オフロードカー全日本選手権2次予選のお知らせ

●中京支部

日時: 2WD…6月5日(予備日・6月
12日, 19日), オープン…6月29日(予
備日・7月3日, 10日)。午前9時受
付終了。

会場: ミワRCオフロード・サーキット。

会費: 1クラス1000円。

問合せ先: ☎458 愛知県名古屋市緑区鳴海
町字本町83 フクシマヤ (☎052-
621-0124)。

●中国支部

日時: 6月19日。午前9時受付。

会場: 岡山市伊福町・プラトピア・バギ
ーコース。

会費: 1クラス1000円。

問合せ先: ☎700 岡山県岡山市奉還町1-
12-15 プラトピア (☎0862-54-
2020)。

●九州支部

日時: 6月26日。

会場: RCハウス・オフロードサーキッ
ト。

会費: 1クラス2000円。

問合せ先: ☎830 福岡県久留米市本町2-
11 マルエス模型センター (☎0942

-32-5667)。

●北陸支部

日時: 7月3日(予備日・7月10日)。午
前8時30分受付。

会場: 金沢市和町・児童公園・特設コー
ス。

会費: 1クラス1000円。

問合せ先: ☎921 石川県金沢市野町4-6
-13 チャンピオン金沢模型 (☎
0762-42-3316)。

●関西支部

日時: 7月10日(予備日・7月31日)。午
前9時受付。

会場: 大東市竜間・関西RCバギーラン
ド。

会費: 1クラス2000円。

問合せ先: ☎562 大阪府箕面市桜3-11-
3佐藤純一 (☎0727-22-7960)。

●北海道支部

日時: 6月5日。午前9時受付。

会場: 札幌市・月寒公園・自由広場。

会費: 1000円。

問合せ先: ☎062 北海道札幌市豊平区平岸
3-14 オーム模型 (☎011-821-
1367)。

6月12日

6thのうてんきオフロードレース in 大阪

1/10電動バギー

日時: 6月12日。午前8時30分受付開始。

会場: 大阪府・JR学研都市線・住道駅下
車・徒歩8分(駅に係員を配置)。

種目: 1/10電動バギー。4WDと2WDの
2クラス。

競技: 当日発表。

会費: 1000円。ダブルエントリー1500円。

申込: 午後7時~9時の間に, 電話へ下記
問合せ先へ申し込む。

問合せ先: ☎574 大阪府大東市大野1-15-4
チームのうてんき大阪・奥出祐之 (☎
0720-74-9351)。

6月12日

'88ART1/12オンロードレース第3戦

1/12電動レーシング

日時: 6月12日。

会場: 千秋ホンダ内・ベルノサーキット。

種目: JMRC A規定に準ずる1/12電動レ
ーシングカー。

競技: 予選8分間レースを3回以上行ない,
上位から適数をA, B, Cメインに分
け決勝を行なう。順位はAはそのまま,
Bはマイナス2周, Cはマイナス3周
して決定。

会費: 高校生以下800円。一般1000円。

JMRCA電動RCカー全日本選手権大会

●1/12レーシングカー

日時：8月19日～21日。

会場：新潟県北蒲原郡黒川村胎内パーク
ホテル・スポーツセンター内・特設
コース（室内）。

競技：8分間耐久レース。8名ずつ、A
～Cメインの決勝を行なう。

参加資格：各地区予選通過者および昭和
60、61、62年の優勝者。所属地区統
括団体の承認を受けた外国選手。

参加費：10,000円。

申込締切：6月30日。

●1/10オフロードカー

日時：8月26～28日。

会場：岡山県岡山市日応寺31-10 藤ヶ

鳴フルーツパーク内・特設コース。
競技：4分間レース。10名ずつA～Cメ
インの決勝を行なう。

参加資格：各地区予選通過者および歴代
チャンピオン。JMRCA本部が認
めた者。

参加費：1クラス7,000円。ダブルエント
リー12,000円。

申込締切：7月20日

問合先：☎154 東京都世田谷区下馬6-
15-4 ㈱電波実験社内・JMRCA
A事務局（☎03-418-4111）。

*

*

大会特別規定など、詳細については本
誌6月号17ページをご覧下さい。

申込：当日会場で。

問合先：野村教材社（☎0188-62-6470）、井
上模型（☎0188-39-5591）。

6月12日

ブリッチ・オフロード・レース

1/10電動バギー

日時：6月12日。午前9時30分受付。

会場：埼玉県所沢市・ブリッチ・オフロー
ドコース。

種目：1/10電動オフロード・カー。フレッ
シュマン、2駆、オープン3クラス。

競技：2分3ヒートの予選の後、決勝を行
なう。

会費：一般1000円、中学生以下800円。

申込：店頭、あるいは電話で申し込む。当
日受付は不可、先着60名で締め切る。

問合先：☎359埼玉県所沢市美原町1-2903-
4 モデルプラザ・ブリッチ（☎0429-
42-2625）。

6月12日

第2回宝島オンロード・シリーズ戦

1/10～1/12電動レーシング&1/8バイク

日時：6月12日。午前9時受付。

会場：岩手県水沢市・宝島サーキット。

種目：1/12電動レーシング、1/10フォーミ
ュラ、1/8バイク。

競技：当日発表。

会費：500円。会員無料。

申込：当日会場で。電話でも受け付ける。

注記：予備クリスタル持参のこと。駐車場
完備。

問合先：☎023岩手県水沢市真城北上野46-
3 宝島模型（☎0197-25-4129）。

6月19日

TEAM・KEオフロードGC第5戦

1/10&1/8エンジン・バギー

日時：6月19日。午前9時受付開始。

会場：静岡県沼津市・ヨコタ・オフロード
サーキット（東名高速・沼津ICから
約10分）。

種目：JMRCA規定に準ずる1/10、1/8エ
ンジン・バギー。

競技：①10エンジンクラス…ショートコー
ス使用の1/10バギー。予選の上、エキ
スパート、ジュニアにクラス分けを行
ない、準決勝を行なう。決勝はエキス
パート上位8名、ジュニア上位12～16
名で行なう。

②1/8フレッシュマン…オーバルコース
使用。予選の上、6～8名で決勝を行
なうノンタイトルレース。

③1/8オープン…フルコース使用。予選後
各メイン8名により全員決勝を行なう
GC戦。

会費：ジュニアクラス…1000円。高校生以
下1000円。一般2000円。

申込：当日会場で。

注記：予備クリスタルを必ず持参。

問合先：☎410-13 静岡県駿東郡小山町生
土471-2 小玉克幸（☎0550-76-2421）。

6月19日

FUTABA GP'88盛岡シリーズ

1/10電動バギー第2戦

1/10電動バギー

日時：6月19日。

会場：北上川児童公園内・特設コース。

種目：1/10電動バギー。フレッシュマンと
エキスパートの2クラス。バッテリー
7.2V、1200mA以下。

競技：エキスパート…4戦中4戦の合計ポ
イントでシリーズ・チャンピオンを決
める。最終戦1～3位を表彰。フレッ
シュマン…レース毎に1～3位を表彰。

会費：小・中学生500円。高校・一般800円。

注記：2戦以上出場したフタバ・プロポ使
用者に最終戦でFUTABA賞を贈呈。

問合先：やなぎや模型（☎0196-22-7844）

または双葉電子工業・東北地区ラジコ
ン・サービスセンター（☎022-231-7025）。

6月19日

第66回イーグル・オフロードグランプリ

1/10電動バギー

日時：6月19日。午前9時受付。

会場：愛知県豊橋市・イーグル・サーキッ
トのオフロード・コース。

種目：'82イーグル・オフロード・グランプリ
大会規定による1/10電動バギー。動
力電源Sub-Cタイプ6本（7.2Vま
で）、モーター自由。

競技：スプリント・レース。砂地によるコー
ナーその他の悪路を走行。3周2ヒ
ートを行ない、好タイム者で決勝を行
なう。

会費：一般1000円。小・中学生800円。チー
ム・イーグル会員500円。

申込：当日会場で。

問合先：イーグル模型（☎0532-61-1554）。

6月19日

1988桑山RCオフロードレース第9戦

1/10電動バギー

日時：6月19日。午前9時受付。

会場：愛知県常滑市・桑山ラジコン・サー
キット。

種目：1/10電動バギー。モーター自由、バ
ッテリー7.2V1200mAh以下。

競技：当日発表。

会費：一般1000円。中学生以下500円。

申込：レース開催日の1週間前から、下記
問合先で受け付ける。

注記：予備クリスタル持参のこと。

問合先：☎479 愛知県常滑市大和町1-162
桑山ラジコン（☎05693-5-5370）。

6月19日

KYOSHOライダーズカップ

1/8電動バイク

日時：6月19日。午前8時30分受付。

会場：神奈川県厚木市・京商サーキット。

種目：京商製1/8電動オートバイ。ホイールベ
ース175mm±10mm。改造自由。ただし京
商製パーツをベースとし、スケール感
を十分に保つこと。塗装済みライダー
人形必着。モーターはルマン20シリー
ズに限る。

競技：Aコンクールドエレガンス、Bテク
ニカルレース、Cオーバルレース、D
ジャストタイムレース、Eスラローム
レース、Fスロータイムレースのうち、
Aを含め3～6種目行なう。各種目、
1位を3ポイント、2位2ポイント、
3位1ポイントとし、トータルで順位

●第6回タミヤグランプリ北海道大会のお知らせ/日時：6月19日。午前8時～9時受付。会場：札幌そごう屋上特設サーキット。種目：
1/10～1/12電動バギー。ストック2WD、同4WD、スーパースtock2WD、同4WD、ビッグタイヤの各クラス。競技：予選2ヒート、

を決定（同点の場合はAを優先する）。
会費：500円（KOC会員は無料・会員証提示のこと）。

申込：当日会場で。

注記：予備クリスタルは2個以上持参。

問合せ先：☎243 神奈川県厚木市船子長ヶ町
153 京商アフターサービス部（☎0462-29-4115）。

6月19日
'88ひつじや・ART合同

オフロード大会第3戦

1/10電動バギー

日時：6月19日。

会場：秋田県仙北郡・ひつじやオフロードサーキット。

種目：JMRC A規定に準ずる1/10電動バギー。

競技：2分間の予選を2回以上行ない、A、B、Cのメインにわかれ、4分間の決勝を1ヒート行なう。

会費：500円。

申込：当日会場で。

問合せ先：☎014-03 秋田県仙北郡角館町横町1番町 おもちゃのひつじや・日辻比呂樹（☎0187-53-3429）。

6月19日
Yuge Buggy GC第4戦

1/10&1/8エンジン・バギー

日時：6月19日。午前9時。

会場：岡山県赤磐郡・Yuge Buggy コース。

種目：1/10&1/8エンジン・バギー。1/10クラス、1/8エキスパート、1/8オープンの各クラス。

競技：1/10、1/8フレッシュマンは5分間、1/8エキスパートは10分間の予選2～3ヒートの後、勝ち上がり方式の決勝を行なう。

会費：2000円。

申込：当日会場で。

注記：予備クリスタルを必ず用意。スターター用の12Vバッテリーは各自で準備。昼食は各自持参（買い出し係に注文可）。

問合せ先：☎705 岡山県備前市坂根146-7 Yuge Buggy 事務局・松本裕三（☎0869-66-7228 午後9時～10時）。

6月19日
1988南房総オフロードGC第5戦

1/8エンジン・バギー

日時：6月19日。午前9時受付。

会場：千葉県夷隅郡・ワタナベ模型オフロードコース（JR外房線・御宿駅より大多喜方面へ約2km）。

種目：1/8エンジン・バギー。

競技：全員決勝形式。

会費：大人2000円。高校生1500円。中学生

1/8エンジン・バギー全日本選手権大会

日時：10月8日～10日。8日…18時～20時まで受付および車検。9日…予選、10日…決勝トーナメント。競技は午前8時開始。

会場：受付・車検…大東市立市民会館・2F大会議室。競技…大東市・生駒山・関西RCバギーランド。

参加資格：各地区予選を通過したJMRC A会員。協会が認めた国外エントリー選手。

参加費：12,000円（昼食2食分を含む）。

申込：専用申込書に必要事項を明記し、参加費を添えて所属支部長に7月22日までに申し込む。

以下1000円。

申込：当日会場で。

注記：予備クリスタル持参。出場者はRC保険加入者であること。

問合せ先：ワタナベ模型（☎047068-3276）、アドベンチャーラリーズ・石井ヒロオ（午後8時以降）。

6月19日
'88チャンピオン・オフロードカップ第4戦

1/10電動バギー

日時：6月19日。午前9時受付。

会場：金沢市平和町・児童公園・特設コース。

種目：1/10電動バギー。2WD、4WD、フレッシュマンの3クラス。

競技：フレッシュマンは3～5周2ヒート。他は予選4分間レースを3ヒート行ない、ベストタイムでメイン別の全員決勝を行なう。

会費：1種目1000円。会員は500円（会員証提示）。

申込：当日会場で。

注記：ダブルエントリー可。予備バンドを必ず用意。

問合せ先：☎921 石川県金沢市野町4-6-13 チャンピオン金沢模型（☎0762-42-3316）。

6月19日
第2回宝島オフロード・シリーズ戦

1/10電動バギー

日時：6月19日。午前9時受付、10時競技開始。

会場：岩手県水沢市・宝島オフロードサーキット（コンディションによってはオンロードコース使用の可能性あり）。

種目：1/10～1/12電動オフロードカー。2WD、4WDに区分。

競技：予選2分間3ヒート。決勝4分間1ヒート。

（各支部は、各出場選手の氏名、住所、会員番号、車名、使用周波数などの記入事項を承認の上、参加料とともに一括して下記事務局へ8月5日までに送付する）

注記：宿泊に関する案内状は後日配布。

支部割当：北海道5名、関東35名、関西25名、北陸5名、四国5名、東北5名、中京15名、新潟5名、中国5名、九州5名。以上の他に歴代チャンピオンを加えた120名。

問合せ先：☎154 東京都世田谷区下馬6-15-4 ㈱電波実験社内・JMRC A事務局（☎03-418-4111）。

会費：500円。会員無料。

申込：当日会場で。電話でも受け付ける。

注記：予備クリスタル持参のこと。

問合せ先：☎023 岩手県水沢市真城北上野46-3 宝島模型（☎0197-25-4129）。

6月19日
'88アリババオフロードGCカップ前期第6戦

1/10電動バギー

日時：6月19日。午前9時競技開始。

会場：岐阜県大垣市・アリババ・オフロードサーキット。

種目：1/10電動バギー。2WDと4WDに区分の上、各エキスパート、セニア、フレッシュマンに分ける（合計6クラス）。モーター自由。8.4V使用可能。

競技：エキスパート…予選4分間2ヒート以上、決勝は上位6名で4分間1ヒート。セニア…予選10周2ヒート以上、決勝上位6名で10周1ヒート。フレッシュマン…予選2周2ヒート以上、決勝上位6名で5周1ヒート。

会費：エキスパート1000円。セニア800円。フレッシュマン500円。

申込：レース前日までに下記問合せ先へ。

注記：充電器は各自持参。予備クリスタルは必ず持参。

問合せ先：☎503-22 岐阜県大垣市赤坂東町37-1 ホビーハウス・アリババ（☎0584-71-3563）。

6月26日
ミワ・オフロードグランプリ'88第6戦

1/10電動バギー

日時：6月26日。午前8時受付開始。

会場：愛知県海部郡・ミワRCオフロードサーキット。

種目：JMRC A規定に準ずる1/10電動バギー。2WD、オープン、オープンビギナー、フレッシュマンの4クラスおよびモンスタービートル（ビッグタイ

決勝は上位6名で1ヒート。会費：無料。申込：模型店備え付けの用紙に必要事項を明記し、6月6日（必着）までに下記問合せ先へ郵送のこと。申込多数の場合は抽選等により人数を制限する。問合せ先：☎422 静岡県静岡市小鹿628 田宮模型（☎0542-83-0002）。

ヤ) クラス。

競技：オープンビギナー、フレッシュマンは予選2分間、決勝3分間。他は予選4分間、決勝5分間。

会費：小中学生500円(2WD, オープンは除く)、高校生・一般1000円(ダブルエントリー1500円)。

申込：当日会場で。

注記：予備クリスタル持参。

問合せ先：☎490-12 愛知県海部郡美和町小橋方字杵ノ口376 ミワホビー (☎052-441-1310 午前10時～午後8時)。

6月26日

'88TRRエンジンバギーGC第5戦

1/10&1/8エンジン・バギー

日時：6月26日。午前9時受付終了。

会場：埼玉県加須市・加須オフロードサーキット。

種目：JMRC A規定に準ずる1/10&1/8エンジンバギー。

競技：1/10フレッシュマン…予選5周3ヒート以上。1/10エキスパート…予選6周2ヒート以上行ない、Aメイン15周、Bメイン10周の決勝を行なう。1/8フレッシュマン…予選5周2ヒート以上、決勝10周。1/8ノービス…予選6周を2ヒート以上行ない、Aメイン25周、Bメイン20周の決勝を行なう。1/8エキスパート…予選7周を2ヒート以上行ない、Aメイン35周、Bメイン30周の決勝を行なう。

会費：高校生以下1000円。一般2000円。会員1500円。ダブルエントリー1000円増し。

申込：当日会場で。

注記：予備バンド持参。出場者はRC保険加入者であること。当日昼食の注文を当クラブで受け付ける。

問合せ先：TRR・落合英美(☎0480-32-0222 午後8時以降)、スカイホビー(☎0480

-58-8100)。

6月26日

KYOSHOL・マンカップ北陸

1/12電動レーシング

日時：6月26日。

会場：石川県・緑地公園。

種目：JMRC A規定に準ずる1/12電動レーシング。GI(オープンエキスパート)、GII(オープンノービス)の2クラス。ニッカド7.2V1200mAh以下、モーター制限なし。車体重量880g以上。

競技：8分間レース。

会費：500円(KOC会員無料・会員証提示)。

申込：往復ハガキに①住所、②氏名、③年齢、④出場クラス、⑤バンド数、⑥使用車種、⑦使用モーター、⑧使用ニッカド、⑨大会名(ルマンカップ北陸)を明記して、6月10日までに下記問合せ先へ送付。

日 時	競 技 会 名	会 場	主 催 者	問 合 先
5日	フタバ杯争奪レーシング・カー大会	兵庫・西脇	2者共催	06-976-0007CMC朝田廣一
5日	昭和63年度JMRC A1/10電動バギー全日本選手権 第1次予選	愛媛・新居浜	NRT	0897-33-1309ホビーショップ・コモダ
5日	昭和63年度JMRC A1/10電動バギー全日本選手権 第1次予選	埼玉・入間	なかのラジコンクラブ	0492-64-1898なかの模型店
5日	RC-1電動オフロードGP 第5戦	愛知・各古屋	レーシングT. RC-1	052-303-1460ホビーショップRC-1
5日	昭和63年度JMRC A1/10電動バギー全日本選手権 中国地区予選	岡山・岡山	JMRC A中国支部	0862-54-2020プラトピア
5日	昭和63年度JMRC A1/12電動レーシング全日本選手権 北陸地区予選	石川・金沢	JMRC A北陸支部	0762-42-3316チャンピオン金沢模型
5日	昭和63年度JMRC A1/10電動バギー全日本選手権 中京地区予選	愛知・海部郡	JMRC A中京支部	052-621-0124フクシマヤ
5日	昭和63年度JMRC A1/10電動バギー全日本選手権 北海道地区予選	北海道・札幌	JMRC A北海道支部	011-821-1367オーム模型
5日	第102回イーグル・グランプリ 8分間レース	愛知・豊橋	チーム・イーグル	0532-61-1554イーグル模型
5日	88神栖オフロードGC 第5戦	茨城・鹿島郡	神栖模型	0229-96-0711
5日	88ARC F-1&ストック 第6戦	大阪・堺	アオキレーシングクラブ	0722-53-0077青木模型
5日	KBCU・GCレース(エンジン) 第4戦	大阪・大東	KBCU	0720-81-1436藤田博久
5日	KYOSHOオフロード・カップ	神奈川・厚木	京商	0462-29-4115京商サービス部
5日	88CPRTオフロード・シリーズ 第4戦	神奈川・秦野	CPRT	03-919-2407イザワ模型
5日	西山模型電動オフロードGC第4戦	神奈川・横浜	西山模型	045-842-4381
5日	第2回横浜GP	神奈川・横浜	T. FRYレーシング	045-314-3107喫茶ダチ
5日	1988デイトナ・チャンピオン・レース 第3戦	東京・立川	チーム・デイトナ	0425-25-3150モデルプラザ・デイトナ
5日	ヨコタ1/8&1/12レーシング・カーGC 第3戦	静岡・沼津	ヨコタ・ホビー	0559-24-3010
5日	レーシングクラブKIDS1/12電動レーシング・レース 第6戦	群馬・前橋	RACING CLUB KIDS	
5日	第2回長崎日産杯電動カー大会	長崎・北松浦郡	RCランドはやぶさ	0950-57-1777
5日	88おおはら模型電動オフロード大会 第3戦	鳥取・米子	おおはらレーシングT.	0859-32-5919
5日	ミネヤ・オフロード大会	新潟・新潟	ミネヤ有明店	025-232-0277
5日	1988スプリント・サーキット1/8エンジン・レース 第4戦	福井・	スプリント	0776-24-4139
5日	MRCレーシング・カーGC戦 第5戦	宮城・石巻	マッハ模型	0225-95-7206
5日	第4回キセイ・グランプリ	大阪・寝屋川	キセイレーシングクラブ	0720-33-8536ホビープラザ・キセイ
11日	88KIWI1/24インドア・レース	愛知・名古屋	チームKIWI	052-621-0124フクシマヤ
11~12日	1988年タミヤF1グランプリ・イン青山	東京・港区	田宮模型	0542-86-5105
12日	88TRR電動レーシングGCシリーズ 第3戦	埼玉・加須	チームロードランナー	04803-2-0222落合英美
12日	チームD-Day ロング・ディスタンスGC&F1グランプリ	千葉・船橋	チームD-Day	0474-24-2034フタバ模型
12日	JRCC88GCシリーズ 第5戦	神奈川・津久井郡	JRCC	03-764-4883森田正
12日	KYOSHOオフロード・カップ千葉	千葉・夷隅郡	京商	0462-29-4115京商サービス部
12日	1988TBC・GC戦	東京・西多摩郡	トリオバギークラブ	0422-52-3249トリオ商会
12日	あすか倶楽部オフロード・レース	静岡・浜松	あすか倶楽部	0534-74-2300あすか模型
12日	RC-1オフロード・レース 第4戦	愛知・名古屋	レーシングT. RC-1	052-303-1460ホビーショップRC-1
12日	第6回101オフロード・レース大会	大阪・和泉	作品No101	0725-44-6567
12日	ブリッチ・オフロード・レース	埼玉・所沢	モデルプラザブリッチ	0429-42-2625
12日	SBRT・GC 第4戦	群馬・渋川	SBRT	0279-56-8061SBRT津久井
12日	88ORFCオフロード・レース 第3戦	群馬・太田	2者共催	0276-45-6648太田ラジコンセンター
12日	HRCオフロード・レース 第6戦	神奈川・逗子	八風堂	0468-72-0570
12日	西山模型電動オンロードGC 第4戦	神奈川・横浜	西山模型	045-842-4381
12日	RCM電動オフロード・レース	新潟・西蒲原郡	ラジコンショップ巻	0256-72-5142
12日	モデルメートヒルトップ電動バギー・レース 第3戦	神奈川・川崎	モデルメートヒルトップ	044-988-0370
12日	RCメカドック・グランドシップ・シリーズ 第6戦	山梨・甲府	RCメカドックレーシング	0552-51-4477ホビーショップ・メカドック
12日	6thのうてんきオフロードレースin大阪	大阪・	チームのうてんき大阪	0720-74-9351奥出祐之
12日	63年度マリオン・オフロード・シリーズ 第3戦	石川・金沢	ホビーハウスマリオン	0762-49-8995
12日	88ART1/12オンロード・レース 第3戦	秋田・	ART	0188-62-6470野村教材社
12日	福岡RCプラザ1/10電動OFFロードレース 第6戦	福岡・筑紫郡	福岡RCプラザ	092-953-3283

●CECA'88第2戦のお知らせ/日時：6月19日。午前8時30分受付。会場：愛知県豊田市・ひよこサーキット。種目：エキスパート、オープン、オープンビギナーの1/12電動レーシングおよびターボ、ノンターボの1/10F-1クラス。競技：1/12クラス…予選8分2ヒート(オ

先へ申し込む。返信用ハガキの表にも自分の住所、氏名を記入のこと。
 注記：予備バンドは2個以上持参のこと。
 申込多数の場合は抽せんとなる。
 問合せ先：☎243 神奈川県厚木市船子長ヶ町153 京商サービス部 (☎0462-29-4115)。

6月26日
 '88 ARC レース第6戦
 1/8エンジン・レーシング
 日時：6月26日。午前9時受付。
 会場：神奈川県津久井郡・相模湖ピクニックランド内・SPL。
 種目：1/8エンジン・レーシングカー。A、B、C、Fの各クラス。
 競技：10分間レースを3～5ヒート行ない、ベストラップで順位を決定する。
 会費：2500円。
 申込：当日会場で。
 問合せ先：☎146 東京都大田区千鳥2-23-2

タキスピード (☎03-756-4359)。
 6月26日
 '88 IRBC オフロード GP 第6戦
 1/10電動バギー
 日時：6月26日。
 会場：長野県・塩尻 IRBCサーキット(中央自動車道・長野線わき)。
 種目：1/10電動バギー。ジュニア、フレッシュマン、エキスパートの各クラス。フレッシュマンとエキスパートは2WD、4WDに分ける。ジュニアはRCカー全般(ビッグタイヤやデミカなども出場可能)。
 競技：ジュニア…ショートコース3周。フレッシュマン…ミドルコース使用の2分間レース。エキスパート…フルコース(1周130m)使用の4分間レースでGC戦の形式を採る。
 会費：500円。ダブルエントリー800円。トリプルエントリー1200円。

申込：下記問合先で申し込む。
 問合先：☎399-07 長野県塩尻市広丘吉田2903-14 伊藤RC模型 (☎0263-86-4855)。
 6月26日
 昭和63年度セイワGC第2戦
 1/10電動バギー
 日時：6月26日。
 会場：山形県米沢市・セイワ・オフロードコース。
 種目：1/10電動バギー。小学生部門、中学生部門、一般部門、二駆部門の各クラス。二駆部門は事務局がエキスパートと認めた選手のみが出場可能。車重は四駆1500g以上、二駆1400g以上。
 競技：当日発表。
 会費：A級ライセンス所持者200円。B級ライセンス所持者300円。ライセンス不所持者600円。二駆部門出場者400円。一般の部A級者300円。一般の部B級者

日 時	競 技 会 名	会 場	主 催 者	問 合 先
12日	ポイント制オフロード・バギー予選 第5戦	宮城・石巻	マッハ模型	0225-95-7206
12日	88F-1ホビーGC&F1グランプリ 第5戦	愛知・小牧	レーシングチームF-1	0568-76-7838 F-1ホビー
12日	TMRC月例レース	福岡・田川	ナガノ模型	0947-42-1644
12日	宝島第2回オンロード・シリーズ戦	岩手・水沢	TAKARAJIMA レーシングT	0197-25-4129宝島模型
12日	BAN BAN 南大分店バギー・レース 第5戦	大分・	2者共催	
19日	昭和63年度JMRC A1/10電動バギー全日本選手権 中京地区予選	愛知・海部郡	JMRC A中京支部	052-621-0124フクシマヤ
19日	昭和63年度JMRC A1/10電動バギー全日本選手権 中国地区予選	岡山・岡山	JMRC A中国支部	0862-54-2020プラトピア
19日	1988/24シリーズ・カップ 第6戦	大阪・大阪	TRT	
19日	KYOSHOライダーズ・カップ	神奈川・厚木	京商	0462-29-4115京商サービス部
19日	1988桑山RCオフロード 定期第9戦	愛知・常滑	桑山ラジコン	05693-5-5370
19日	1988南房総オフロードGC 第5戦	千葉・夷隅郡	2者共催	047068-3276ワタナベ模型
19日	昭和63年度JMRC A1/12電動レーシング全日本選手権 関西地区予選	兵庫・西脇	2者共催	0727-22-7960佐藤純一
19日	第66回イーグル・オフロードGP	愛知・豊橋	チーム・イーグル	0532-61-1554イーグル模型
19日	1988電動レーシング・カーGC仙台シリーズ 第4戦	宮城・仙台	ぐらんぷり、RC太田	022-258-7049ぐらんぷり
19日	88東関東GCシリーズ 第5戦	茨城・鹿島郡	神栖模型、水郷レーシング	0229-96-0711神栖模型
19日	KBCU・GC(電動)レース 第3戦	大阪・大東	KBCU	0720-81-1436藤田博久
19日	YUGE Buggy GC 第4戦	岡山・赤磐郡	YUGE Buggy	08696-6-7228
19日	TAKAMI GP in SUZUKA	三重・鈴鹿	タカミ・プラホビー	0593-86-2573
19日	88ナカヤホビー・グランプリ GC 第2戦	福井・福井	ナカヤホビー福井	0776-23-5484
19日	1988関口模型オフロード・レース 第4戦	埼玉・富士見	関口模型	0492-51-1988関口模型
19日	88TEAM・KE オフロードGC 第5戦	静岡・沼津	TEAM・KE	0550-76-2421小玉克幸
19日	FUTABA GP88盛岡シリーズ 第2戦(1/10電動)	岩手・盛岡	双葉電子工業	0196-22-7844やなぎや模型
19日	昭和63年度JMRC A1/10電動バギー全日本選手権 第1次予選	群馬・前橋	RACING CLUB KIDS	
19日	プラセン・オフロード・エキスパート大会	山形・鶴岡	プラセン	0235-23-4188
19日	88ひつじや、ART合同オフロード大会 第3戦	秋田・角館	ひつじや	0187-53-3429
19日	88WRT1/10電動バギーGC 第3戦	埼玉・杉戸	ウイングレーシングT	0480-34-5967モデルショップWING
19日	88アリババ・オフロードGCカップ 前期第6戦	岐阜・大垣	ホビーハウスアリババ	0584-71-3563
19日	88おおはら模型電動レーシング・グラチャン 第3戦	鳥取・米子	おおはら模型	0859-32-5919
19日	チャンピオン金沢模型1/10電動オフロードカップ 第4戦	石川・金沢	チャンピオン金沢模型	0762-42-3316
19日	宝島第2回オフロード・シリーズ戦	岩手・水沢	TAKARAJIMA レーシングT	0197-25-4129宝島模型
26日	昭和63年度JMRC A1/10電動バギー全日本選手権 九州地区予選	福岡・福岡	JMRC A九州支部	0942-32-5667マルエス模型センター
26日	昭和63年度JMRC A1/10電動バギー全日本選手権 第1次予選	東京・立川	チームデイトナ	0425-25-3150モデルプラザ・デイトナ
26日	88TRRエンジン・バギーGCシリーズ 第5戦	埼玉・加須	チームロードランナー	04803-2-0222落合英美
26日	KYOSHOホルマン・カップ北陸	石川・金沢	京商	0462-29-4115京商サービス部
26日	プラセン・オフロード 初心者大会	山形・鶴岡	プラセン	0235-23-4188
26日	ミワ・オフロード・グランプリ88 第6戦	愛知・海部郡	ミワホビークラブ	052-441-1310ミワホビー
26日	PHOENIX(川崎RCクラブ)電動バギー・レースGC 第6戦	神奈川・川崎	川崎RCクラブ	044-211-3058ミユキホビー
26日	ムライホビー・オフロード・レース 第2戦	奈良・磯城郡	ムライホビー	07454-4-4610
26日	HRC・GP88 第5戦	神奈川・逗子	八風堂	0468-72-0570
26日	ARC1/8レース 第6戦	神奈川・津久井郡	アクティブレーシングC	03-756-4359タキスピード
26日	フレンド・オフロード・レース88	福岡・	RCハウス・フレンド	
26日	RCメカドック・グランシップ(オンロード) 第6戦	山梨・甲府	RCメカドックレーシング	0552-51-4477ホビーショップ・メカドック
26日	IRBC1988年度レース 第6戦	長野・塩尻	伊藤RC模型	0263-86-4855
26日	88F-1ホビー・オフロード・グランプリ 第5戦	愛知・小牧	レーシングチームF-1	0568-76-7838 F-1ホビー
26日	ダイエー・SCカップ電動バギー・レース	大阪・京橋	ダイエー・SC	06-262-6982日本アソビプランズ
26日	昭和63年度セイワGC 第2戦	山形・米沢	ホビーショップセイワ	0238-21-4912
26日	'88メディアパークRCレース 第5戦	千葉・夷隅郡	メディアパーク	047086-3608

オープンビギナー6分)。決勝8分1ヒート。F-1クラス…予選10周、決勝15周。会費：一般2000円(F-1は1000円)。協力店会員は1000円(F-1は500円)。申込：当日会場で。問合先：モデルショップひよこ (☎0565-27-3755) 他のCECA協力店。

600円。一般の部ライセンス不所持者
1000円。

問合せ先：☎992 山形県米沢市中央1-8-23
ホビーショップ・セイワ (☎0238-21-
4912)。

6月26日

'88メディアパークRCレース第5戦

1/8~1/10電動&エンジン・バギー他

日時：6月26日。午前9時。

会場：千葉県夷隅郡・メディアパークいす
み店サーキットコース。

種目：1/10電動バギー、1/10&1/8エンジン
バギー。①ジュニア…初心者及び小学
生による電動クラス、②2WD…電動
クラス、③オープン4WD…電動クラ
ス、④1/8、1/10エンジン・クラス、⑤
1/12電動オンロード・クラス。ただし
④、⑤はエントリーが5台以上集まっ
た場合に開催。

競技：予選は①3分間2ヒート、②③4分
間2ヒート、④5分間1ヒート、⑤2
分間2ヒート。決勝は勝ち上がり形式。

会費：小学生300円。中学生500円。一般700
円。

申込：当日会場で。

問合せ先：☎298-01 千葉県夷隅郡夷隅町弥
正161 メディアパーク (☎047086-
3608)。

6月26日

ダイエーSCカップ電動バギーレース

1/10電動バギー

日時：6月26日。午前9時受付。

会場：大阪・ダイエー京橋店1階センター
プラザ。

種目：1/10~1/12電動バギー。ジュニアと
シニアをそれぞれ2WDと4WDに分
ける。モーター自由、バッテリー7.2
V。

会費：無料。

申込：6月17日までに、往復ハガキの往信
用の裏面に、①希望出場レース日、②
2WDか4WDの区別、③ジュニア
(小・中学生) かシニア (高校生・一
般) の区別…を、返信用ハガキ表には
自分の住所、氏名…を明記し下記問合
先へ。ハガキは1枚で1エントリーに
かぎる。先着120で締め切る。

注記：①参加者多数の場合は先着順とする。
②車のメーカーは問わない。③車の改
造は自由。④バッテリーの充電サービ
スあり。急速充電器をなるべく持参。
⑤予備バンド持参。⑥当日受付は不可。

問合せ先：☎542 大阪市南区南船場1-3-14
ストークビル802 日本アソビプラン
ズ(株) (☎06-262-6982)。

7月3日

KYOSHIOフロードカップ中京

1/10電動バギー

日時：7月3日。

会場：愛知県・イーグル模型サーキット。

種目：1/10電動バギー。2WD-J, 4WD-J, 2WD-O, 4WD-O, ビ
ッグタイヤの各クラス。Jはジュニア
(中学生以下), Oはオープンの略。電
源は7.2V1200mAh以下。モーターは
ジュニア・クラスに限り2000円以下の
無改造モーター使用。オープン・ボデ
ィの場合はドライバー人形搭載のこと。

競技：当日発表。

会費：500円(KOC 会員無料・会員証提示。)

申込：6月10日までに①住所、②氏名、③
年齢、④出場クラス、⑤バンド数、⑥
使用車種、⑦使用モーター、⑧使用ニ
ッカド、⑨大会名(オフロードカップ
中京)を明記し、往復ハガキで下記問
合先へ申し込む。返信用ハガキの表に
も自分の住所、氏名を記入のこと。

注記：予備バンドは2個以上持参のこと。
ダブルエントリーはできない。申込者
多数の場合は抽せんとなる。

問合せ先：☎243 神奈川県厚木市船子長ケ町
153 京商アフターサービス部(☎0462
-29-4115)。

ラジコン・モニター大募集中!

メーカーの商品をあなたの手でテスト

"モニター"をやってみよう

「少年老いやすく…」な～んてお
かたい話をするつもりはないが、時
が経つのは実に早いもの。お年玉を
もらってニュー・マシン買ったのは
ついこのあいだ、と思っているでし
ょう。でも本誌はもう7月号。夏は、
というより夏休みはもうすぐそま
で来ているのだ。

ところで、本誌の姉妹誌『ラジコ
ン技術』では、この夏休みシーズン
にターゲットをしばった、一大特集
を組んでいるのでお知らせしよう。

『ラジコン技術・夏休み特集!ラ
ジコン・モニター大募集』がそれで、
RC関連メーカー40余社の協賛のも

とに、各社のキットや周辺機器を実
際に使ってもらうモニターを募集し
ているのだ。

相次いで発表される各社のニュー
・モデル、モデラーなら「アレも
ほしい、コレもほしい」といった心
境だろう。しかし予算の関係でその
すべて買うのはなかなか難しい。

この企画は、各メーカーから提供
された商品を一定期間使用してもら
い、その商品に関する使用感や意見、
要望などをそのメーカーへレポート
してもらう、というもの。モニター
になってもらったモデラーのあなた
の声が、今後のより良い商品作りに

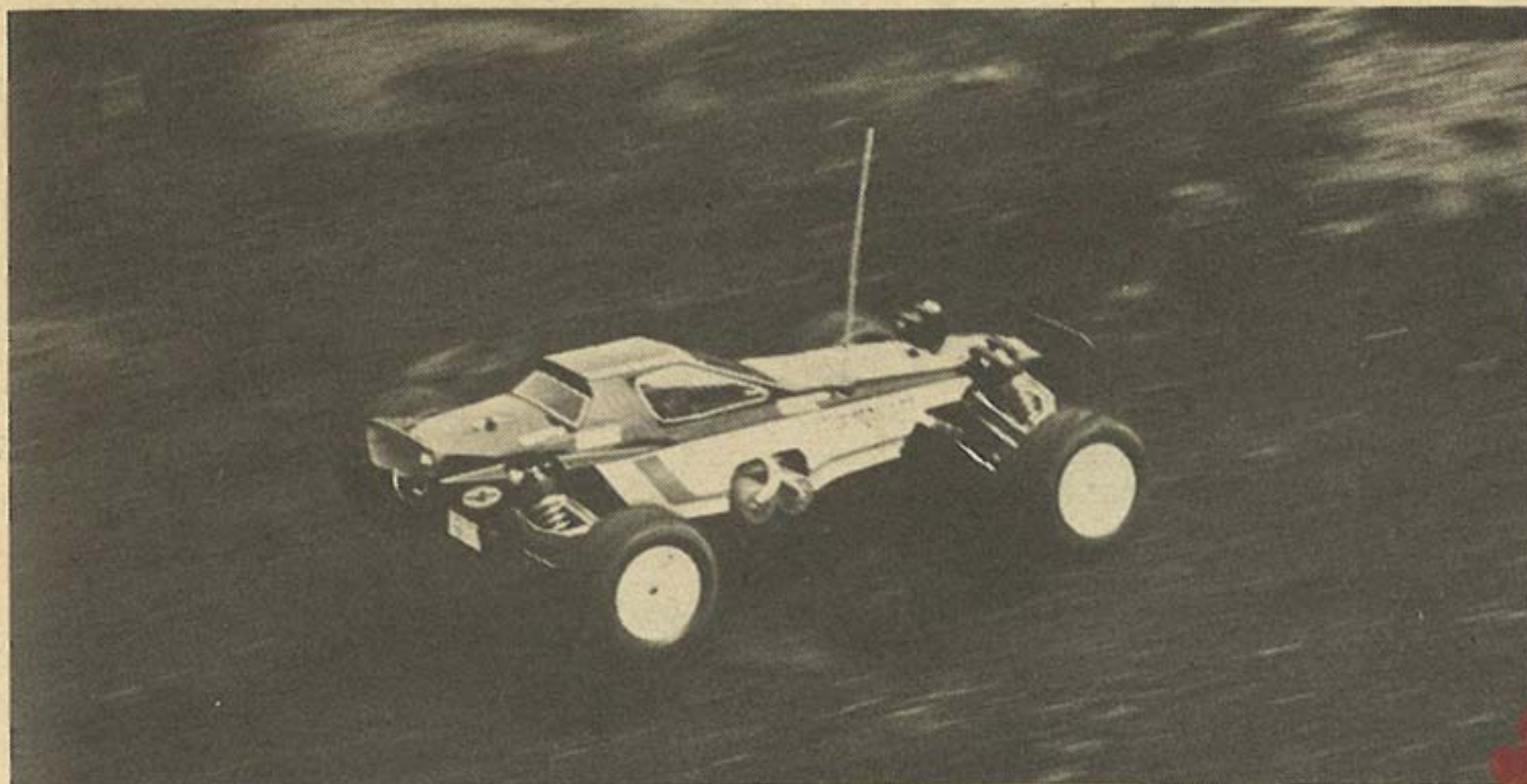
貢献すると思うので、応募へチャレ
ンジしてみては…。

『ラジコン技術』誌はRC総合雑
誌なので、RCカー以外の商品も発
表されているが、ちなみに6月号で
は(注・申込締切日は5月31日)、青柳金属
工業のスーパーパーセック、京商の
ターボオプティマミッド、三和電子
機器のM-SANC COMRAS GP,
HPI ジャパンのUNO540H 他が発
表された。

次号以降もモーターその他、RCカ
ー関連商品がスタンバっている。詳
細は『ラジコン技術』'88年7、8月
号を参照。

姉妹誌「ラジコン技術」の夏休み大特集

スーパーマシーン8月号は7月1日発売!



●すばまと同じ、このDJ企画に引っ越して来てから、はや1カ月、マリエル君急用のため、急きょピンチヒッターに立ったラジ技のツノやんです。ああ、なんという因果な運命だろう。若いヤツらの毒気に当たり、とてもまともな頭でない今日このごろ…。そんな状態ではありますが、まずは自己紹介とまいりましょう。年齢34歳、血液型B型、身長172cm、全備重量73kg、排気量4200cc、趣味ラジコン、フロントグリルいいオトコ(ノ)、配偶者なし(ワオ、ナンテコッタ、チームアリババの野崎さん、ウラヤマP=103ページ参照)、週末活字を忘れる(ナンチャッテ! 本当はカメラを持ってSPLへ行っているよ、悪かったな)。

by the way、6月号のJRCCの記事の中で、鼻の穴にティッシュを詰めて操縦している写真が、本人の了解なしに掲載されましたが、あれは私本来の姿ではありません…。キミのお姉さんにそう言って下さい。(KT)

●記事内容についてのお問合せは
☎03-793-2020 (株)DJ企画内
スーパーマシーン編集部へ

●購入して1カ月もたっていないSR23とともに、初夏の信州へソロツーリングへ(SR23とは、ホンダRC30に対抗して私がGSX-R750に命名したもので、23とは私の年齢)。天気は大変良く、全○日の日程中、雨に降られたのはたったの30分だけ…。という絶好のツーリング日和。そしてまたまた知り合いました、女性ライダーと。今回知り合ったのは信州の白樺湖で、何と同郷人(私の田舎は、あのチバラギにもまぜてもらえない“栃木県”なのだ)だったため、より以上に話が盛り上がった。今回はパンスト(あの忌まわしい過去が一瞬…)ははいていないし、まだ日も高く、暖かかったため温泉に行くこともなかった。しかし、何と知り合った2人は、とんでもない飛ばし屋かつ長距離派で、一日で約1700kmも走ってしまうとか。私は一緒に走ることを断念し、電話番号だけ聞いてその場を後にしたのであった…。(ヒロ)

●広告掲載とバックナンバー購入
については ☎03-418-4111
(株)電波実験社内 営業部へ

●ストレートが青春だ! これが最近身内での流行言葉。つーのも64ページのとおり、ここ1カ月ほど1/8バギーの方にもおじゃましているわけで、あの迫力に夢中になってしまった…という次第。特にケムールやブンチンは全日本に出られてしまうので、もう“マジ”になっているほど。私はと言うと“大事”な1ヒート目にメンテナンス不足による“タイヤころりん”をやってしまい、見事に落選。それでも1日中仕事を忘れ(ヤバイ)楽しくレースが出来ただけでも、良い経験をしたと思っている。

話はかわって最近の昼の楽しみは、学芸大学駅前のパチンコ屋下のゲーセンにある『ファイナルラップ』である。相手はヒロとラジ技のツノやんであるが、日増しにテクを上げてきたツノやんと、鈴鹿を知りつくしたヒロの速さには負けそう。でも、リヤからプッシュすれば私の勝ち! と低レベルの争いをしている毎日だ。(Yucchi 山上)

●キョーイのオイソガシ月間もヨーヤク終わりに近づいた。4~5月の連休も我々雑誌屋さんにはまったく関係がない上に、逆に日程がキビシクなおまけがつく。

この間、山梨の韮崎市でラジコンフライトショーがあったが、このショーで飛ばす電動の6発機を作っていたので、イソガシさもなみたいなのではなかったのだ。この6発機の話は近号のラジコン技術で紹介されるから見てちょーだい。

さて久しぶりに会ったロディーローム君は、いちだんと落ち着きを増し、世界チャンプらしい風格をそなえてきた。私は行けなかったが、サーパント杯争奪レースでは、初めて走るSPLで、もうちょっとでコースレコードを出すところだったらしい。さすがに各地を転戦しているだけのことはある。(モンゴル)

広告索引

ア. 青柳金属工業 ……………111	三和電子機器株式会社…………カラー
イ. いちむら模型 ……………19	テ. デイトナ ……………72
イリサワ ……………13	ニ. 日産商会 ……………69
オ. 小川精機……………表4	ヒ. ヒロボー……………11
オーム模型 ……………43	フ. 双葉電子工業……………表3
カ. 川口サーキット ……………57	マ. 松下電池 ……………77
キ. 京商……………表2	レ. レインボー……………42
コ. 近藤科学 ……………18	
サ. サーティプロダクト ……………19	

ザ・マシーン

1988年7月号
定価450円

印刷 昭和63年6月25日 発行 昭和63年7月1日
企画・編集 株式会社DJ企画
〒152 東京都目黒区鷹番2-15-18 パル学芸大2-B ☎03-793-2020
発行所 株式会社電波実験社
〒154 東京都世田谷区下馬6-15-4 ☎03-418-4111
発行人 増田 勉
印刷 神谷印刷(株) 製本 古宮製本(株)

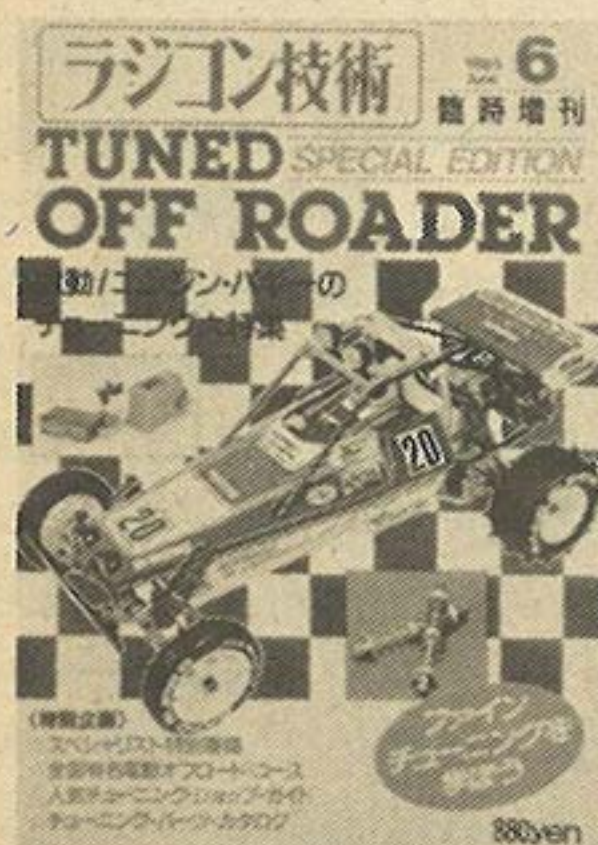


■エンジン&電動バギー入門から実戦まで

RC ザ バギー

B5判 定価880円 送料80円

主な内容 [カラー] 確実なオイル・ダンパーの作り方とベスト・セッティング/電動バギー用モーターのすべて/楽しく出来るボディのカラーリング/リンケージのセッティング・ポイント [エンジン・バギーの基礎編] パワー・トレインのレイアウトと駆動方式 フレーム構造とサスペンション/確実な組立ポイント/パワーソースの徹底研究/バギーの基本から実戦テクニック/実戦で役立つセッティング [市販パワフル・バギー] RCバギー22台を徹底解剖、その秘めたポテンシャルを写真で詳解 [電動バギーのため...] 組立の注意/ベスト・セッティング/モーターの原理と取り扱いまで/ベスト・セッティング/モーターの原理と取り扱いまで/モーターのブレイク・イン/ニッカド電池の100%活用法/スペシャルパーツ一覧、Q&A



■君のチューンド魂を刺激するド迫力マシンが集結

チューンド・オフローダー

B5判 定価880円 送料75円

主な内容 ●カラー 究極マシン6車種を徹底的に追求/Bran-New Off-Roader4車種/1/8エンジン・バギー6車種のド迫力 ●改造マシン4WD&RWD11車種 ●これから期待のニューマシン軍団 ●ファインチューニングその基本から応用まで。メンテナンスサスペンション/フレーム/タイヤ/モーター/チャージャー&バッテリー/コントローラー ●SELECT YOUR PROPO ●人気チューニング・ショップ・ガイド ●チューニングパーツカタログ ●オフロード・コース・ガイド



■電動カー愛好者必携の1冊!

電動バギー総合ガイド

B5判 定価880円 送料75円

主な内容 [カラー] ●市販電動バギー48車種 その特徴、スペック、価格紹介 ●テクニカル・コーナー [本文] ●市販電動バギー12車種の組立総合ガイド 組立とメカ積みポイントを紹介 ●市販RCカー用プロポ総覧 その特徴、スペック、価格紹介 ●電動カー用モーターのすべて オプション・モーター40数種の紹介と、モーターの基礎知識 メンテナンスの方法等を紹介 ●電動バギー用急速充電器&周辺機器 ●電動バギー用のニッカド電池のすべて



■身近にあったたのもしいやつ!

電動カー困ったときのQ&A

B5判 880円 送料75円

主な内容 組立編/市販キットを組み立てる時に出てくる素朴な疑問に答えます。 走行編/車を組み立て終わり、初走行の時にフタ出てくる問題に答えます。 メンテナンス編/走行後、レーシング・カーでもバギーでも汚れます。この汚れを上手に清掃する方法などは過去にあまり誌面では紹介されていません。また、ダンパー・オイルが漏れる、ナイロン・ナットがゆるくなった...など、単純な疑問に答えます。 チューンアップ編/ノーマルのままでは満足しない/人よりも少しでも速く走りたい...という人のためのチューンアップを教えましょう。 一般編/この項では特に電動カー用ニッカド電池、充電、放電について各種疑問にお答えします。 プロポ編/はじめてカー用プロポを購入する時、スティック式とバンドル式(ホイール式)のどちらがよいかなど、アドバイスをしましょう。 その他/電動カーではありませんが、電動カーからのステップアップとして09-10クラスのエンジン・バギーを紹介します。

第4回アリババ・タムテックナイト大会 野崎選手の結婚祝いレース!

さる3月12日、大垣市のホビーハウスアリババにて、野崎選手の結婚(32歳! おめでとう)を祝い、タムテックナイト大会が行なわれた。今まで一度も優勝のなかった野崎氏は、めでたくCメイン優勝を果たし、美しい奥様に面目が立った…というところ。さて、Aメインは予選でベストラップを出した高木氏が、小林君のマジック走法(本当にうまい!)に負け、おしくもV

2を逃した。またBメインはダーティー走法(本当にきたない!)の榊原選手が優勝。

〔レース結果〕A…①小林秀行、②高木正宏、③荒田純一/B…①榊原正己、②河合謙治、③河本康幸/C…①野崎澄雄、②仲野孝一、③渡辺和義。



←各メイン優勝者。左から⑧榊原、⑦小林、⑥野崎の各選手。



↑画面左端、つまらなそうにしているのが、野崎夫人。

←美しいヨメサンもらって、ごめんなさい…と野崎氏。このお。

1987年度RCU・GC最終戦 森田選手が178ポイントでチャンプに…

山口県のロイヤル・サーキットUBEにおいて、防府、徳山、柳井からの遠征組も含め、さる3月13日、上記レースが25名の選手によって行なわれた。今回はレース経験の浅い選手の健闘が目立ち、新旧交代を思わせる素晴らしい走りを見せてくれた。

〔レース結果〕①森田栄俊、②宮野真沙品、③伊藤哲也/[GCトータルポイント] ①森田178P、②山根140P、③穂田112P、④岡村95P、⑤宮野95P、⑥木村92P。



↑広大な敷地に広大なコース。ここがロイヤルサーキットです。

←各車スタート地点に並んで、今や遅しとGOのサインを待つ。

'88アリババ・オフロードGCカップ前期第3戦 2駆、4駆あわせて延べ103名が参加!

さる3月22日、大垣市のアリババ・オフロード・サーキットにて、上記レースが開催された。この日は第1次予選を目前にひかえているとあって、103名の選手が足らしをかねて参加、2WD、4WDの合計6クラスにわかれて、熱戦を展開した。

〔レース結果〕2WD・エキスパート…①後鳥利明、②小谷英雄、③国枝憲一、セニア…①近藤繁俊、②杉山貴幸、③久富和仁。フレッシュマン…①上村武彦、②役隆行、③桑原智紀/4WD・エキスパート…①仲野孝一、②荒田純一、③川添崇。セニア…①久富安仁、②児島裕二、③今村博。フレッシュマン…①長崎幸司、②さとうはるを、③川島始。



↑4WDエキスパート。①仲野、②荒田、③川添の各選手。



↑4WDセニア。①久富、②児島、③今村の各選手。



↑これが第1コーナーのバンク!

←毎度おなじみの全員集合の図でやんす。

第2回&3回早朝アリババ・オフロードカップ 早おきは3モンのトクでありんす

タムテックナイト大会など、ユニークなレースを行なっている、ホビーハウス・アリババの“もうひとつの名物”は早朝オフロードカップだ。朝7時にスタートというこの催しは、さすがにオジンにはつらく、3月13日に行なわれた第2回大会は小学生ばかり、そして30日の第3回大会は、春休み中ということもあって、高校生も多数が参加した。

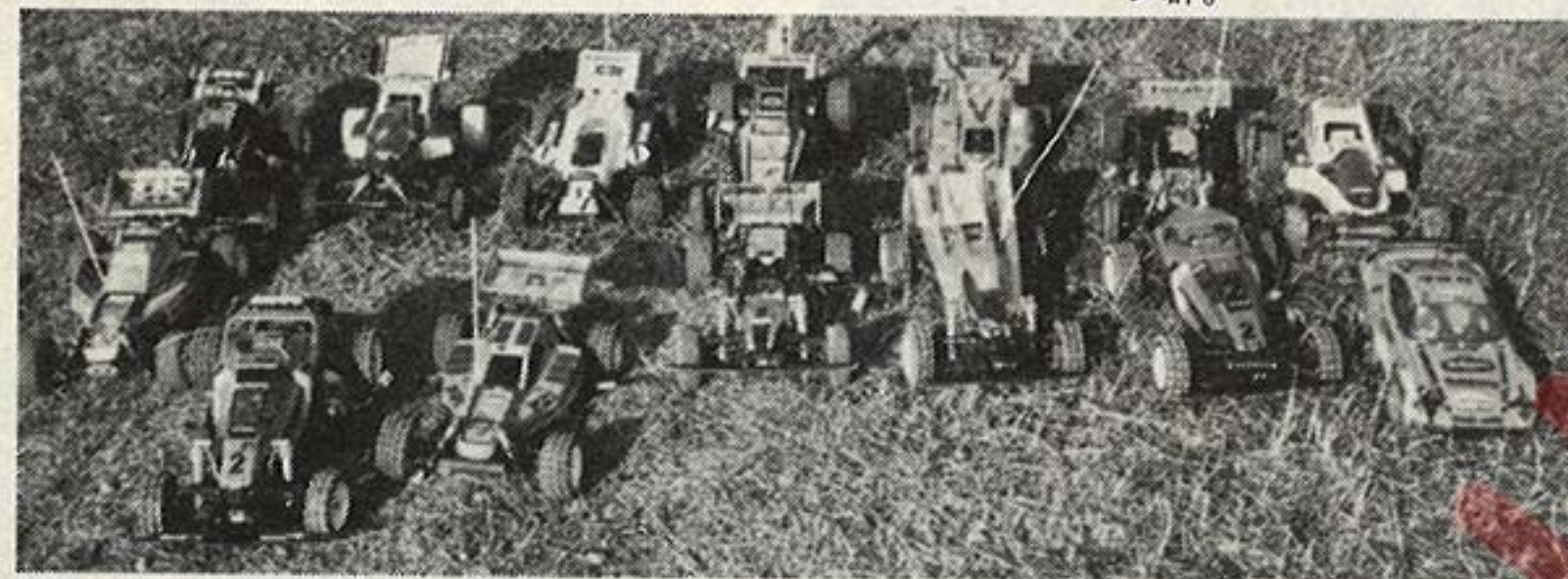
〔レース結果〕第2回大会…①番孝博、②竹中恒詞、③田中俊、④田中裕晃、⑤成瀬奏士／第3回大会・Aクラス…①仲野孝一、②高木正宏、③小谷英雄、④小谷徹、⑤荒田純一、Bクラス…①杉山貴幸、②河本康幸、③多賀哲也、④野崎澄雄。

→こちらは第2回大会に出場した“風の子”たち。

↓第3回大会に出場した早起きさんたち。



↓第2回大会を激走したマシン群。



↓第2回Aメイン。①河本氏の代理の田中君、②香、③竹中の各選手。



↑第3回小学生の部。①渡部、②成瀬、③竹中の各選手。

プロポオフロードCUP88第2戦 榎寺選手、自作FFで2位に食い込む

福岡のフレンズのレイアウトを模した1周80mの右回りコースを熊本市の子飼橋下、白川河川敷に特設し、さる3月27日、34名の選手を集めて、上記オフロードカップが開催された。レースはいつものように2WD車にはプラス1周のハンデキャップ方式で争われたが、オプティマミッドが上位にひしめく中、自作FFマシンを駆る榎寺選手が、終始安定した走りで2位に入る活躍を見せた。

〔レース結果〕Eメイン…①河本篤志、②榎寺敦己、⑤高澤真、④津野和信、⑤荒木聖也、⑥増永達哉／Aメイン…①本田将悟、②三浦正樹、③戸館和也、④池田仁、⑤野口浩平、⑥鬼釜功一。



↑福岡のフレンズもどきのコースレイアウト。

↓Eメイン決勝がスタートま近。

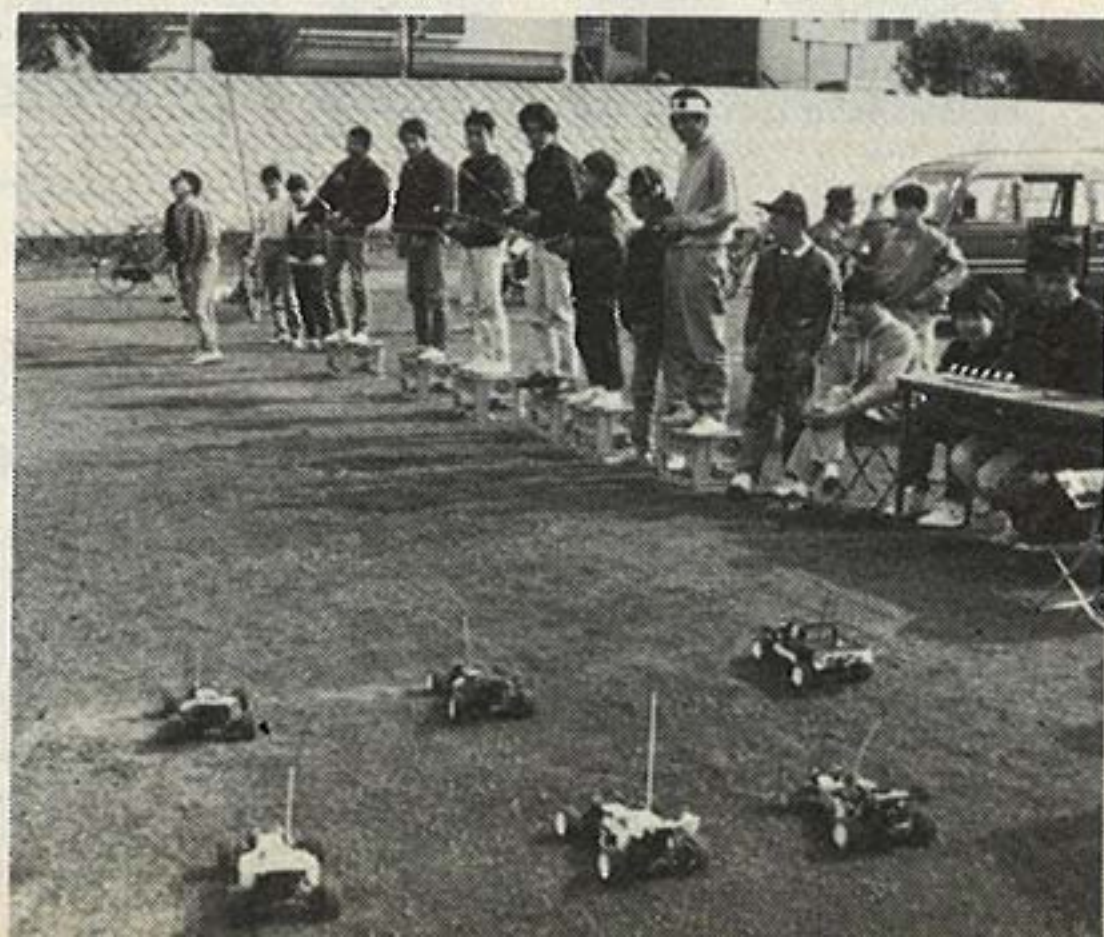


↑Aメイン入賞者。左から①ジョーズ、②リック、③カズの各選手。



↑Bメイン入賞者。左から①ジュニア、②タケチャン、③ナッサンの各選手。

←全員まじめに記念写真におさまる。



↑Eメイン入賞者。左から①ニコチン、②マキチャン、③タカメ。

'88チャンピオン電動オフロードカップ第1戦

雨の影響、2時間遅れのスタート



さる3月27日、チャンピオン金沢模型主催の上記大会が、67名のエンタラントにより行なわれた。当日は朝まで雨が降りつづき、グラウンドはぐちゃぐちゃ。スタッフ全員バケツで水を取ったり、砂を入れたりして、2時間遅れの11時スタート。レースはフレッシュマン、2WD、4WDの3ク

↑水抜き作業、ご苦労様でした。

ラスで、3分間耐久の予選から行なわれたが、それぞれ長山、三芳、松島選手が見事優勝を果たした。

〔レース結果〕フレッシュマン…①長山

↓4WDクラス入賞者。左から①松島、②米倉、③菊地の各選手。



↑2WDクラス入賞者。左から①三芳、②井上、③田中の各選手。



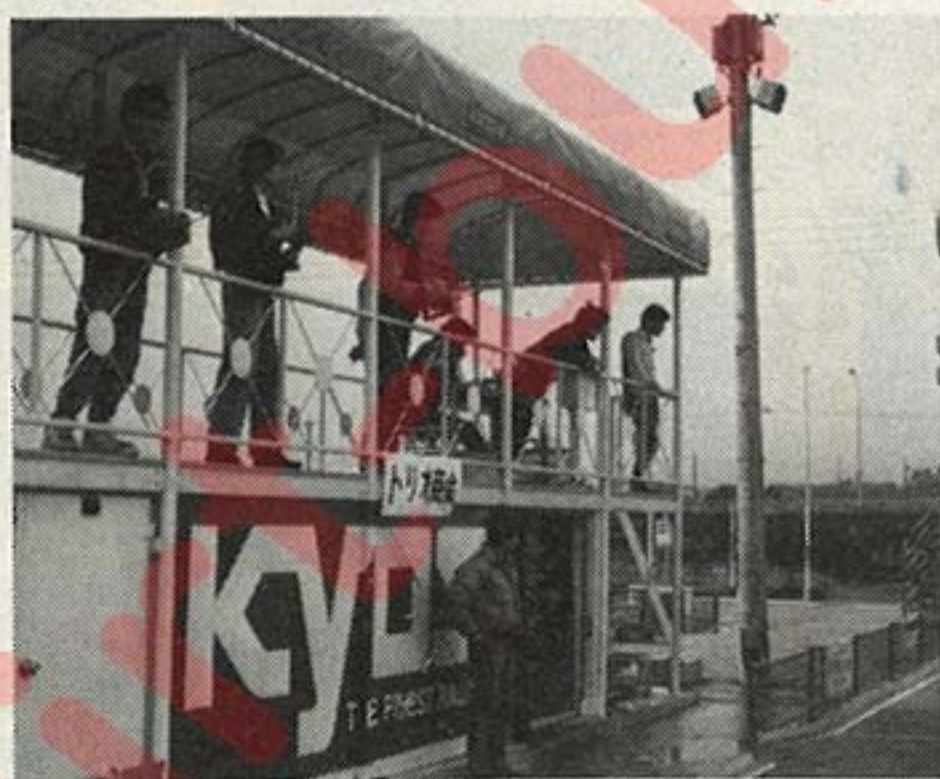
太郎、②有松茂治、③釜谷辰也/2WD・Aメイン…①三芳哲、②井上純一郎、③田中繁樹/4WD・Aメイン…①松島秀行、②米倉浩二、③菊地伸一。

トリオ電動オフロードG.C.第1戦

"オンロード"をかつ飛ぶEPバギー

さる3月24日、京商サーキットの"オンロードコース"において、上記電動バギーレースが行なわれた。この日はバイクのレースも合わせて行なわれたが、平日とあって参加人数はイマイチ。また2WDクラスにはFF車も多数参加したが、オンロードコースのため、リヤ駆動車との差はほとんどなかった。

〔各クラス優勝者〕2WD…小松崎、4WD…秋山、バイク…猪又。



←オンロードコースにジャンプ台を設けてバギーレースノ

→少数精鋭で楽しい一日を過ごしました。



←特設ジャンプ台をかつ飛ぶマシン。

第7回&8回はやぶさバギーレース

永安(ジュニア)、石井(オープン)両選手が大活躍



←第7回大会は京商の協賛レースでした。

→こちらは第8回大会に出場した選手たち。



長崎県北松浦郡のRCランドはやぶさが主催するバギーレースも第8回目を数え、好天に恵まれたさる4月3日、23名のエントリーにより開催された。レースはジュニ

ア、オープンの両クラスが行なわれ、それぞれ永安選手(9歳)と石井選手(17歳)が優勝し、ヤングパワーを見せつけたが、オープンの2位、3位の両選手はともに31

歳。成年パワーも負けてはいなかった。

〔レース結果〕ジュニア…①永安勇騎、②末竹里志、③浜田晃/オープン…①石井和嘉、②谷川富夫、③錦戸信幸。

第16回タミヤグランプリ愛知大会 名城公園にくりひろげた大熱戦

今回で16回目を数える伝統の一戦、タミヤグランプリ愛知大会が、さる3月27日に開催された。前日の雨も上がり、好天となった名城公園には、早朝から選手が集まり始め、結局6クラスに320名が参加。特にストック4WD、スーパーストック4WDの人気は高く、全体の半数に達したほど。レースは午前10時にスタートし、予選2ラウンドが終了したのが午後5時30分。その後各クラスの決勝も無事終わり、表彰式、お楽しみ抽せん会と、すべてが終了したときは、すっかり日の暮れた午後7時となっていた…というフィーバーぶりだった。

〔各クラス優勝者〕ストック2WD…小野貴康／Sストック2WD…林三郎／ストック4WD…福島徳雄／Sストック4WD…松波広光／ラリーS…鈴木政義／ビッグタイヤ…山田努。



↑女性タイムキーパーも大活躍の日でした。



↑名古屋城をバックに熱戦が展開した。



↑グリッド式スタートにつくビッグタイヤクラス。

←先頭でゴールを駆け抜けるのは誰。ドライバーは真剣だ。

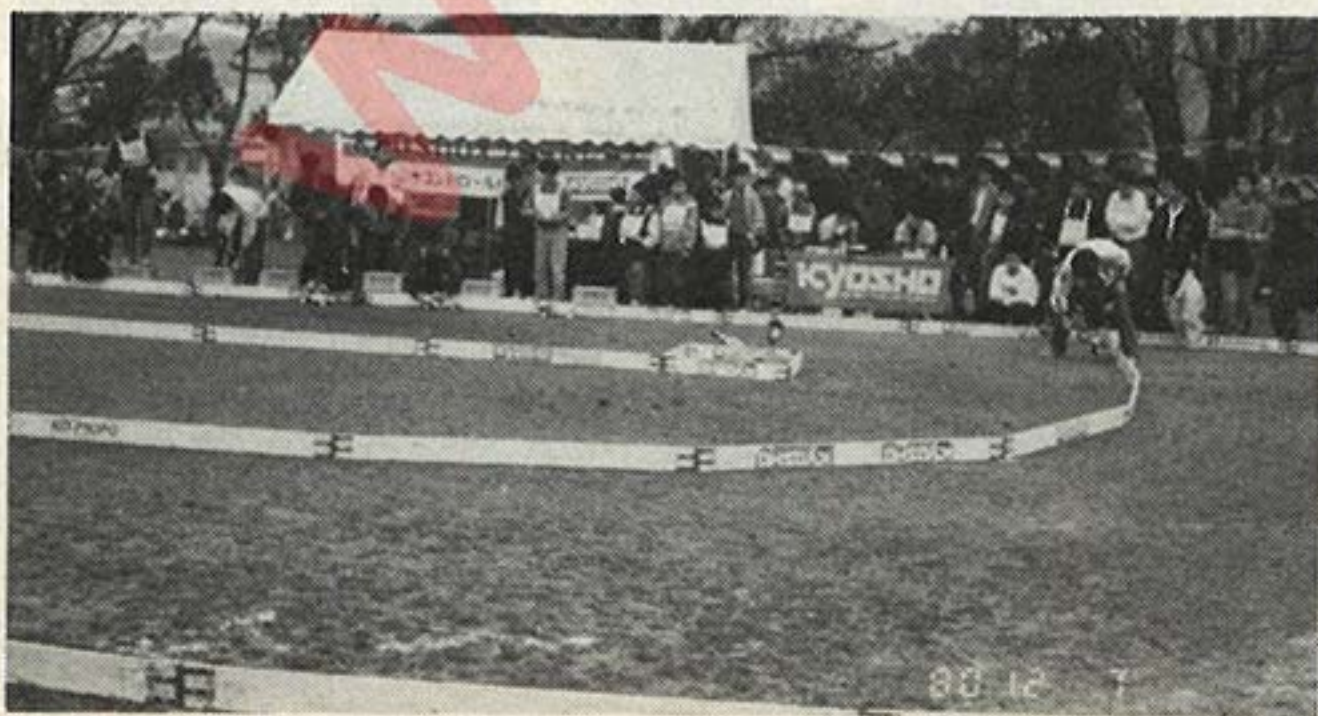


KYOSHOオフロードカップ長崎 芝生のコースに熱戦展開!

さる3月20日、ブンカ福岡の協力により、長崎市立商業高校の跡地で、上記オフロードカップが、57名の選手を集めて開催された。レースは午前中に2分間の予選を2ラウンド行ない、午後に決勝を行なう…という段取りで進められ、2WD、4WDのそ

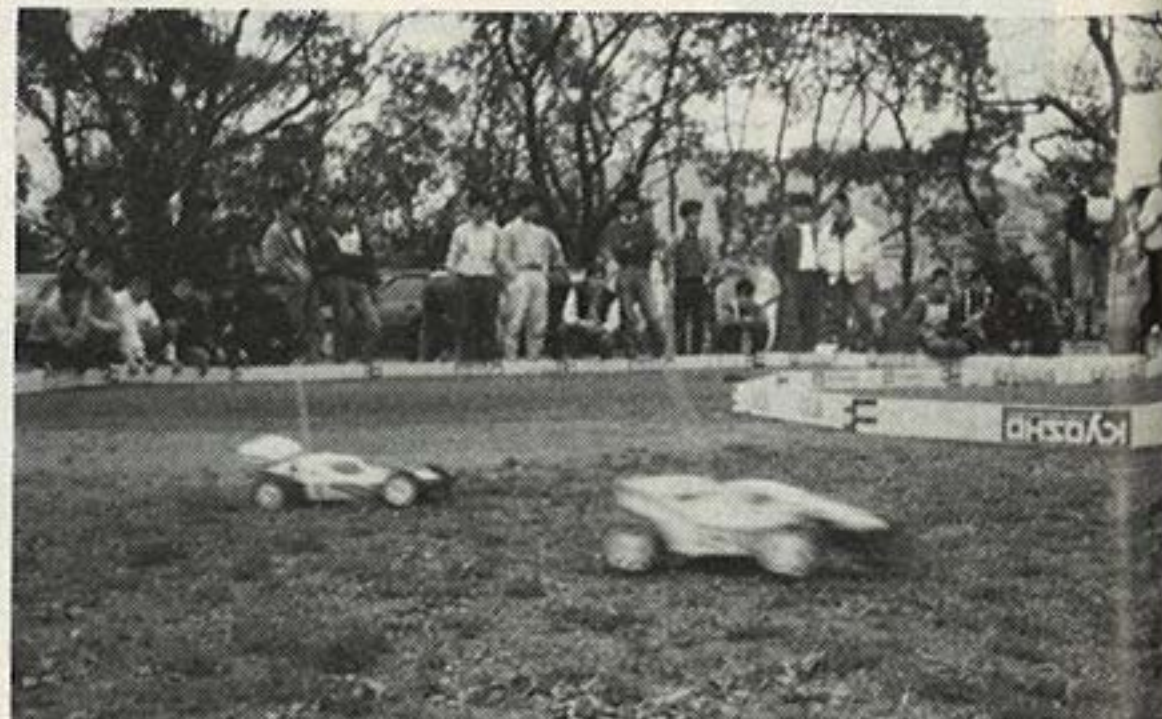
れぞれ、ジュニアとオープンの4クラスにわたり、熱戦が展開した。

〔レース結果〕2WD-J…①中道友和、②高橋宏和／2WD-O…①北島雄二、②宮崎良介／4WD-J…①田中滋寛、②源城雄／4WD-O…①豊里慎哉、②植木貴志。



←路面はバツグン。スピード感あふれるレースが展開。

→全員で記念写真。



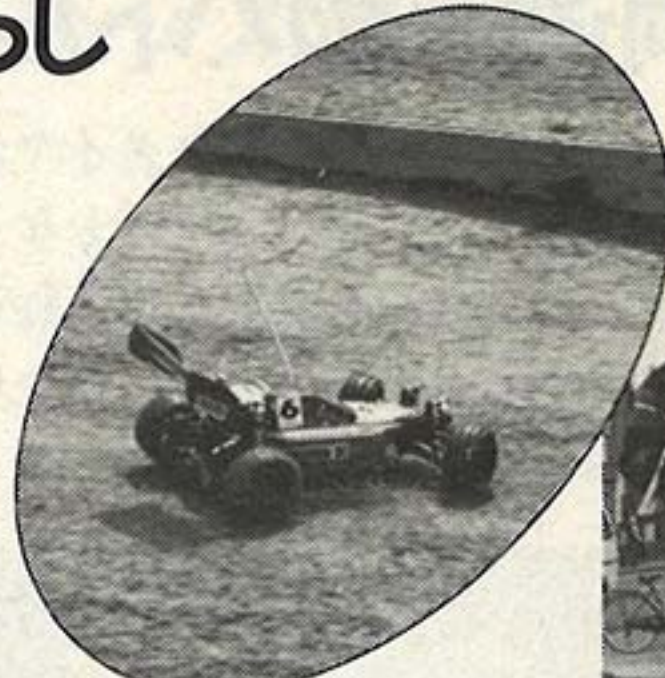
↑スーパースプリントとオプティマミッドの一騎打ちか?

'88第3回フレンドオフロードレース 第1次予選を前に軽く足ならし

福岡市のホビーショップ・フレンドが主催する上記オフロード・レースが、晴天に恵まれた3月27日、74名の選手を集めて開催された。レースは各クラスとも4分間の予選を2ラウンドの上、メイン別の決勝を行なう…という方式がとられたが、第1次予選の前とあって、気合いの入った熱戦が展開した。

〔レース結果〕2WDクラスAメイン…

- ①田村光治、
- ②諸永義弘、
- ③河野光一／
- オープンクラスAメイン…
- ①島田雅貴、
- ②山口徳司、
- ③前田賢二。



↑快走するオプティマミッド。



←OPENクラス優勝者たち。中央がAメインを制した島田選手。



←2WDクラス優勝者たち。右から二人目がAメインの田村選手。

'88IRBCオフロードレース第3戦 季節外れの大雪に四苦八苦でした

↓周囲に雪が残る朝のミーティング風景。



↑数々のカップが並べられ、表彰式の準備が…。

→今日のレースはオレがもらった！

長野県塩尻市の伊藤RC模型に事務局を置くIRBCの主催により、上記レースがさる4月10日に開催された。このレースは当初3月27日予定されていたが、季節はずれの大雪のため、この日になったもの。しかし、今回も3日前に雪が降り、またも延期かと思われたが、クラブ員らの努力で、何とかショート・コースが使用できる状態となり、きわどく開催にこぎつけた…というレースだった。

〔レース結果〕ジュニア…①高橋信明、②上条健司／FRM2WD…①山崎浩明／FRM4WD…①野村和彦、②小松稔／EXP2WD…①赤津和利、②渡辺誠司／EXP4WD…①樽沼雅弘、②渡辺誠司。

全国
津々浦々
京商協賛レース

1/8電動RCオートバイレース



さる2月14日、福岡市の和白模型主催により、1/8電動オートバイの走行会が「カルチャーランド恋ノ浦」で開催された。参加者は13名とやや少なかったが、全員楽しいひとときを過ごした。

'88みさきFEB オフロードGP



山梨県の竜王町のみさきオフロードコースに36名の選手を集め、上記レースが行なわれた。2WD、4WDの2クラスにわかれ、熱戦が展開し、次のとおりの成績となった。〔レース結果〕2WD…①上野剛、②小林弘幸、③桜林賢／4WD…①小沢一幸、②土屋誠至、③奥山一人。

いしやまGC第1戦

さる2月28日、沼津市のモデルショップいしやまに集う27名の精鋭がタミヤ第2サーキットに遠征して、上記



レースを行なった。〔レース結果〕レーシング…①石山強志、②石山寿一、③栗田／オフロード…①石山強志、②石山寿一、③後藤章弘／NSR500…①石山強志、②後藤章弘、③林修央。

THE RC RACE SCENE

1988年度デイトナ・チャンピオンレース第2戦 激烈! 萱野、井達両選手のバトル

春休みの最後の日曜となった4月3日、チームデイトナの主催による1/12EPレーシングのGC第2戦が、東京・立川市で開催された。エキスパート予選では、高麗、井達、萱野の3選手が43周をマークし、フレッシュクラスも含めて好タイムが続出。高麗選手はつづく2ラウンドめには、コースレコードの43周8分01秒9をマークし、見事にTQをマーク。決勝でも圧倒的な速さで、4分過ぎまで2位にほぼ1周の差を

つけたが、突然リヤタイヤがホイールよりハク離し、スピンの連続となってしまった。その間に常に安定した走行を見せた萱野選手がこれを抜き去り、ついに優勝の栄冠を勝ちとった。

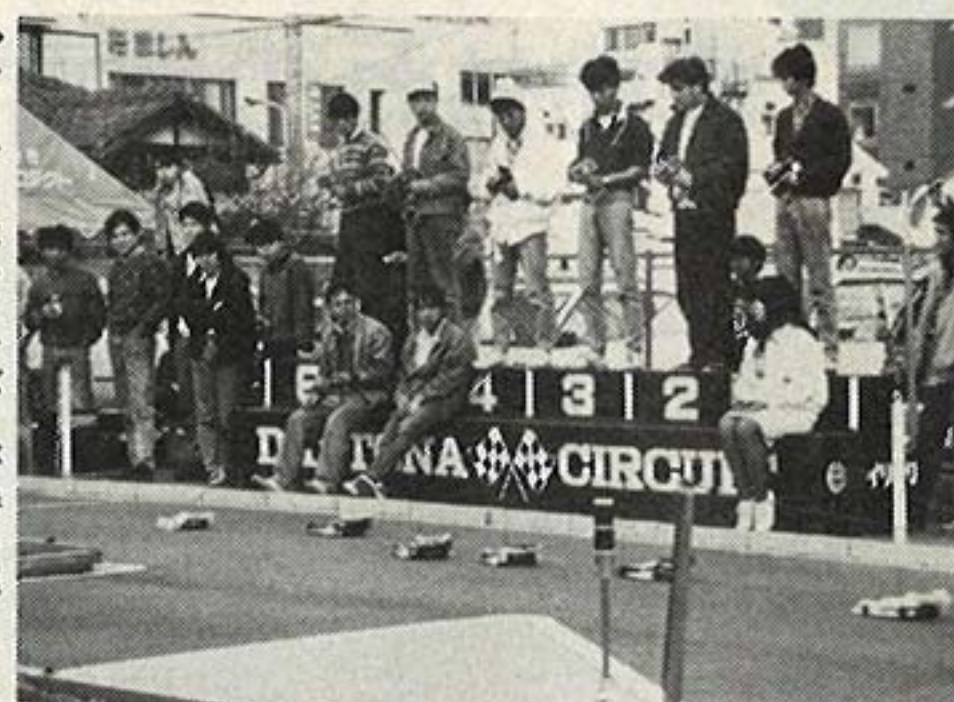
〔レース結果〕フレッシュマン…①芦川正一、②鈴木直人、③中村剛、④和泉健、⑤広瀬洋三、⑥佐藤英／エキスパート…①萱野聡史、②井達六男、③北出、④榎本道行、⑤高麗淳一、⑥堀正宏。

→高麗選手、無念のタイヤ剝離

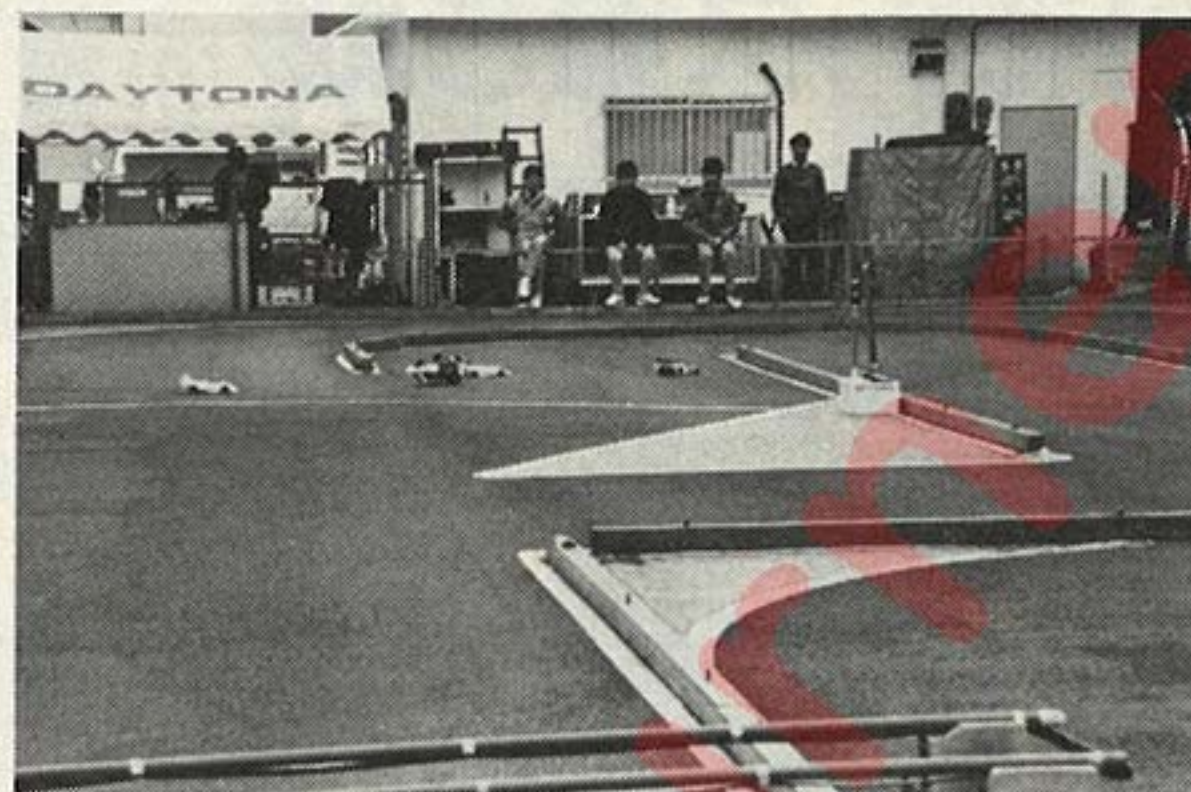
↓激烈Aメイン、ヘアピンの攻防。



→そうそうたるメンバーが勝ち進んだAメイン決勝。

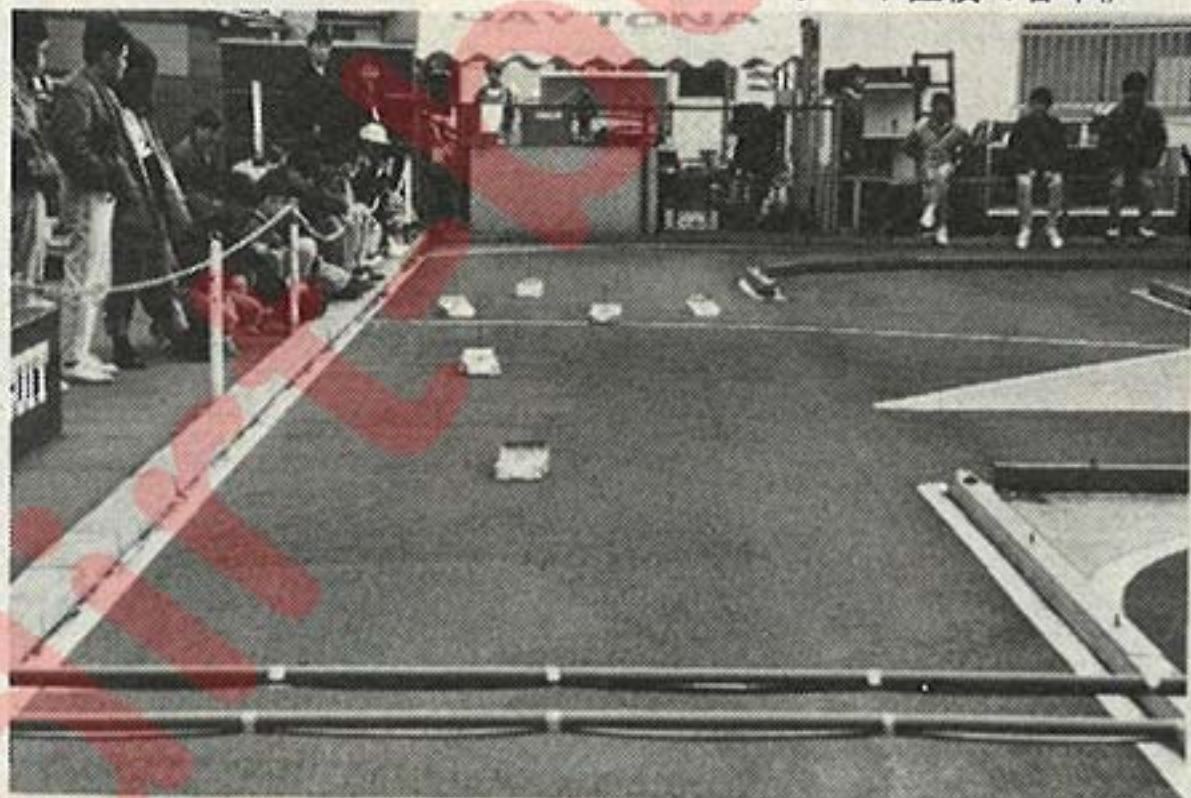


←フレッシュマンクラス決勝レースの操縦台上。



↑フレッシュマン決勝。4コーナーでのクラッシュ。

↓エキスパートAメイン。スタート直後の各車。



←エキスパート入賞者。左から②井達、①萱野、③北出の3選手。

選手。川、③中村の3

→フレッシュマン入賞者。左から②鈴木、①芦

川、③中村の3

選手。

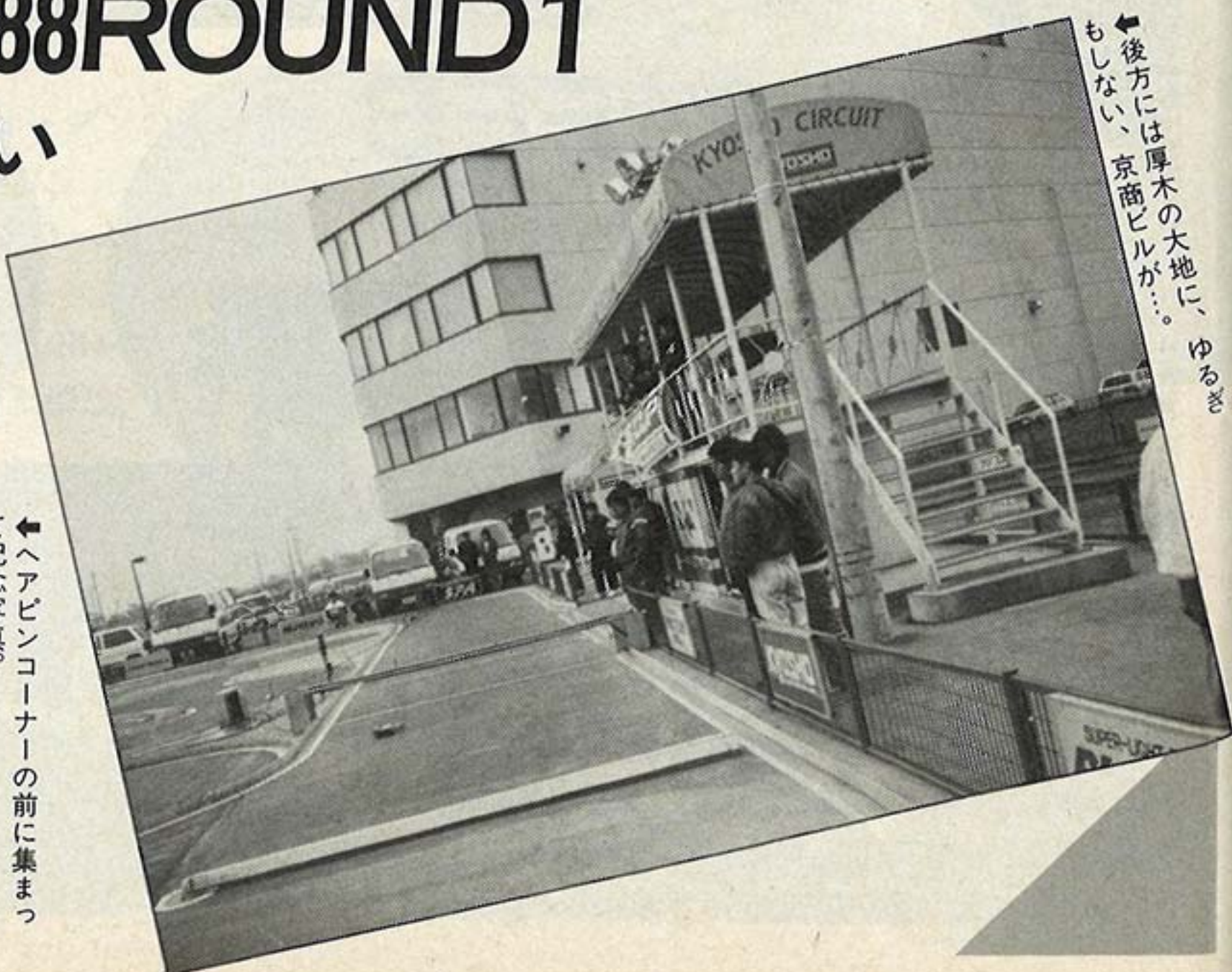
KYOSHOルマンカップ'88ROUND1 あこがれの京商サーキットでい

'88年の緒戦となる上記ルマンカップが、さる3月27日、京商サーキットに43名の選手を集めて開催された。レースはおなじみの8分間方式で行なわれたが、セッティング不良のためか、完走できない車が目立っ

た。〔レース結果〕G-1…①三廻部治、②田中卓巳／G-II…①植山英弘。



←ヘアピンコーナーの前に集まって記念写真。



←後方には厚木の大地に、ゆるぎもしない、京商ビルが…。

1/12電動レーシングカー第1次予選 in プロポ

ハチ巻き河本、気合い走りでトップ通過

さる4月10日、少数ながらもツブぞろいの選手たちが集まり、熊本における1/12E Pレーシングの第1次予選が行なわれた。レースは4ヒートの上位2ヒートの合計で順位が争われたが、特設コースの路面には

砂が浮き、ラインを一步まちがえるとコースアウト...というコンディション。選手たちはいつになく無言で周回を重ねたが、第1ラウンドからハチ巻き姿の河本選手が、M-300を快調に走らせ、トップ通過を果たした。

〔第1次予選通過選手〕①河本篤志、②西山美臣、③三浦正樹、④那須喜代二、⑤菅鉢孝治、⑥吉田圭介、⑦福沢弘剛、⑧稲田衛昭、⑨榎寺敦己、⑩大麻洋資。

↑これがコース全景。



→さあ、がんばるぞ。心は早くも新湯の室内コースだ！



→まずは1次予選を無事通過。九州地区はオレが代表する！



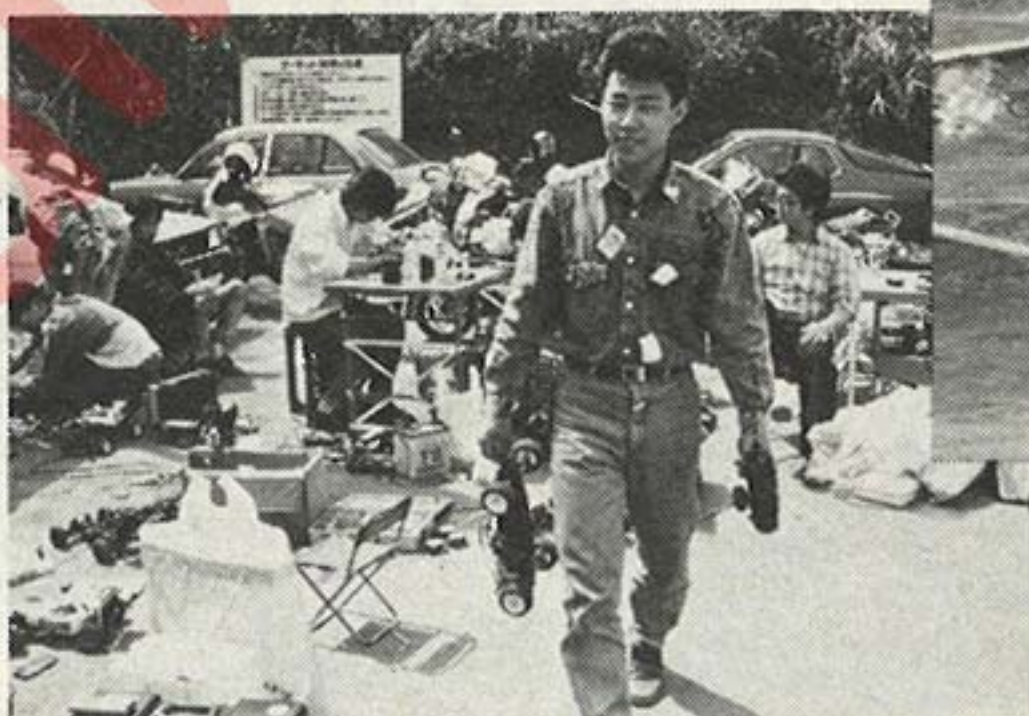
西山模型電動オフロードレース 最悪のグリップに四苦八苦

さる4月17日、神奈川県横浜市の西山模型オフロードコースにおいて、シリーズ第2戦が行なわれた。当日はいつもより参加者は少なく、約80名が参加した。クラスは2WDとオープンで、それぞれ2分間の予選を2ヒート行ない、上位10名により4分間の決勝レースで順位を決定した。

コースコンディションはいつもとは異なり中途半端な状態で、スポンジカロープロ・ハードしか使えずに、選定を間違えると全く走れない...という有様。4WD車はまだしも、2WD車は“ガマン大会”となり、いかにパワーをおさえるか...が勝負のわかれ目となった。車は相変わらずアルティマとオプティマミッドが多かった。

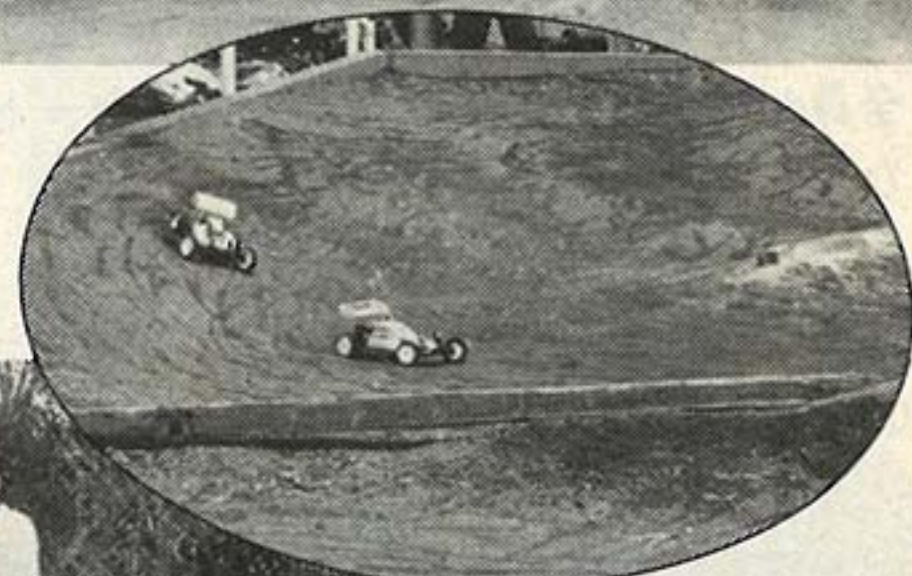
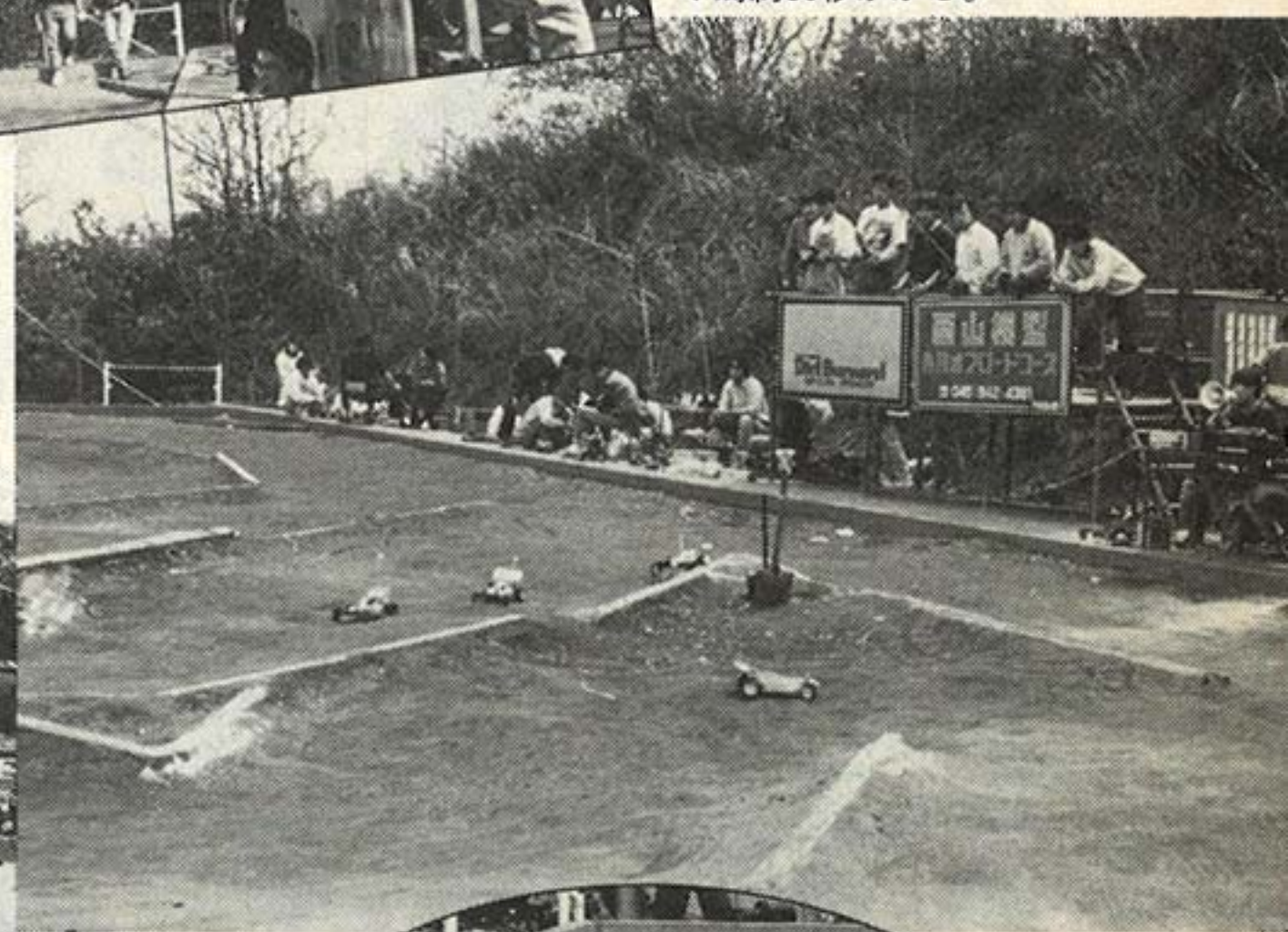


↑オプティマミッドの中で、ニューマシン・アバンテも早くも参戦。



←今ひとつのグリップで、悪戦苦闘する各選手。

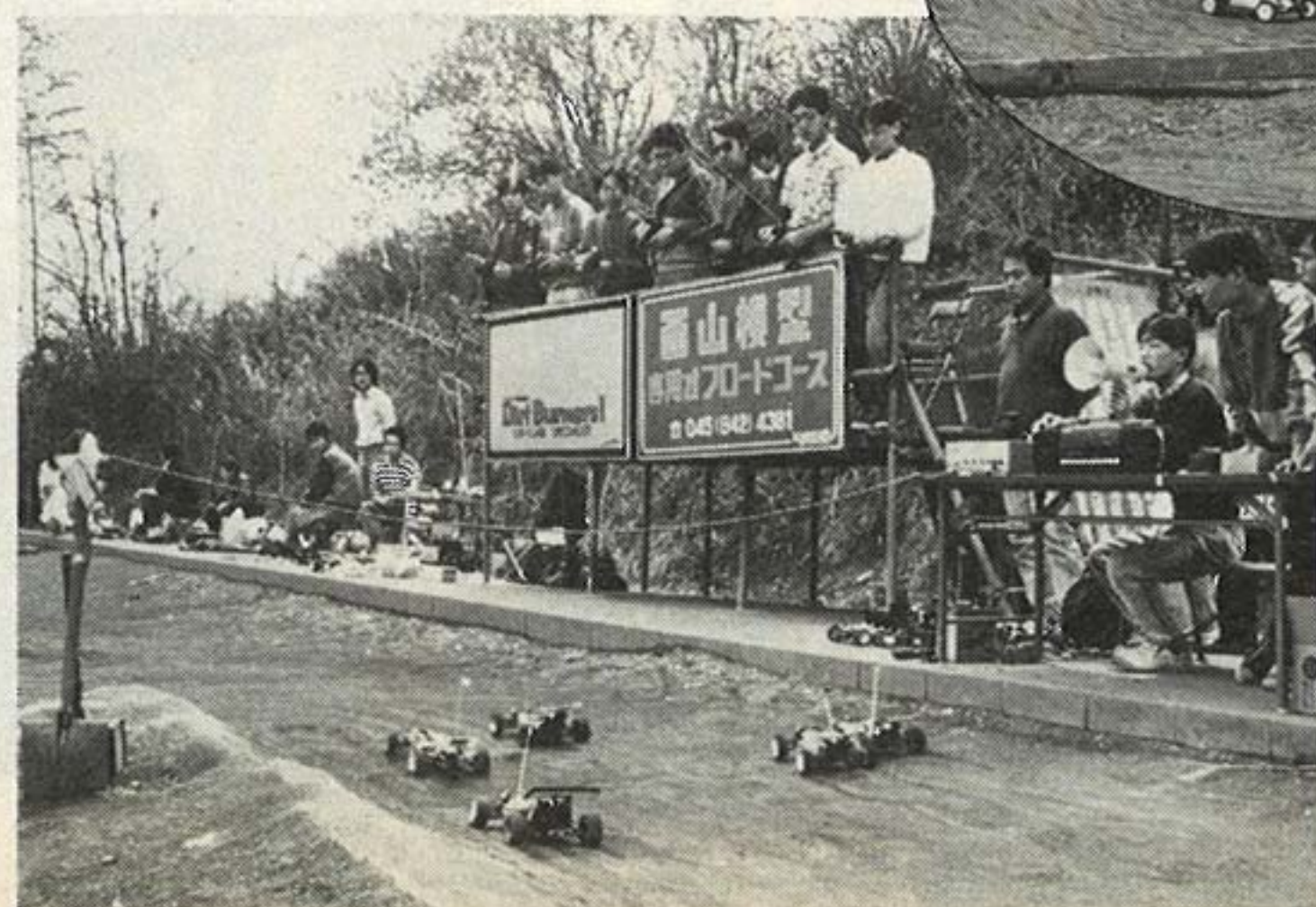
↓トリッキーなレイアウトになった西山サーキット。1周約30秒かかる。



↑2WD車はパワーをおさえた走りに徹しないとペケ。

←ややコース幅がせまいので、スタートは用心しないとイケない。

↑鋭いダッシュを見せるオプティマミッド。



第22回オール今治オフロード大会&春休み大会 平均年齢14歳! ヤングパワーの炸裂だ



←第22回RCカー大会に参加した選手たち。



↓春休み特別レースに参加した選手たち。



↑豪快なジャンプを見せる矢野選手のスーパーセイバー。



↑春休み特別RCカー大会のスタート風景

愛媛県の今治模型社が主催する上記電動オフロードカーのレースが、さる3月31日、20名の選手により行なわれた。マシンのほうはおブMが多数を占め、上位を独占したが、ホットショットの大山選手が4位に喰い込む健闘を見せた。また4月5日には春休み特別レースが30名の選手により開催。



→第22回大会で活躍した選手。右から大山、村上、越智、岡田の各選手。



↓春休みレース入賞者。右から矢野、岡田、村上、玉井の各選手。

こちらもおブMが絶対優位に立ったが、スーパーセイバーの矢野、エイリアンの中川選手が、それぞれ4位、5位に入賞した。

〔レース結果〕3月31日…①村上和司、

②越智潔、③岡田光伸、④大山勝也、⑤海野尾武志、⑥玉井俊成 / 4月5日…①村上和司、②岡田光伸、③玉井俊成、④矢野竜大、⑤中川豊和。

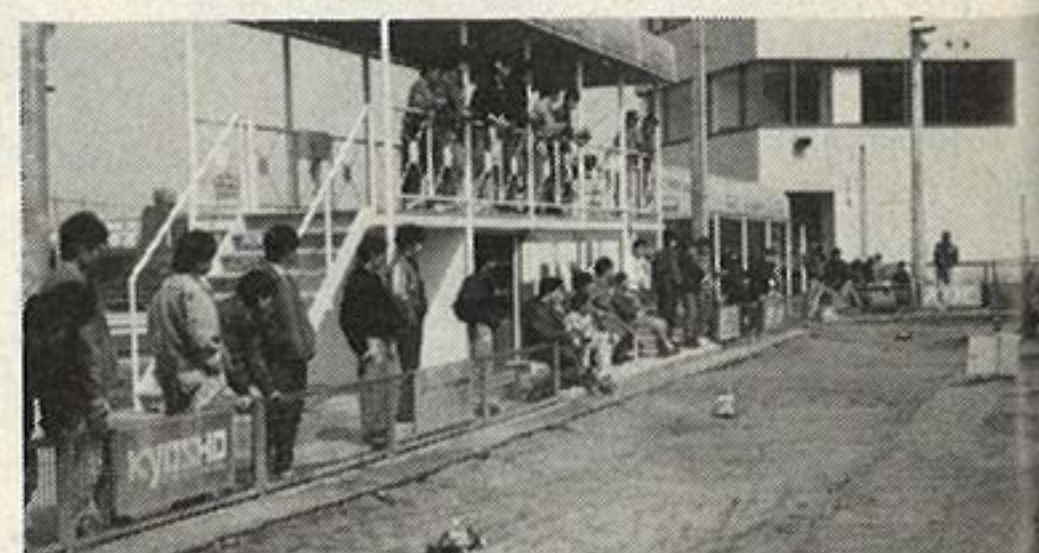
KYOSHOオフロードカップGC第2戦 レースは前日の雨の排水作業から

さる4月3日、京商サーキットで行なわれた1/10EPバギーによるオフロードカップ第2戦は、4WD、2WDの両クラス合わせて105名の選手が参加。コースには前日の雨のため水たまりができており、まずは全員が協力して、排水作業からスタートとなった。

〔レース結果〕4WD…①吉川隆雄、②細田、③田中昌雄 / 2WD…①戸田裕一、②うちかつおき、③小島亮。



↓こんなにたくさんのファンが集まった。



↑目下、ホームストレッチを激走中ノ



←スリリングなレースが展開したオフロードコース。

→4WDクラス入賞の各選手。



→2WDクラス入賞の各選手。



ミッド4WDルーキー AYKブースト新登場!

ニューコンセプト4WDオフロードレーサー「ブースト」はいよいよスタート。ミッドシップマウントのモーター、最少の前後オーバーハングが語る敏捷性。従来からのデュアルチェーン駆動システムにもさらに磨きをかけてレスポンス、トップエンドのひもグンと向上させている。オフロードーらしいフォルムのボディに大型ウイング、スタビ(PI)、ボールデフ、16ベアリングを秘めて超大型ルーキースタンバイOK!

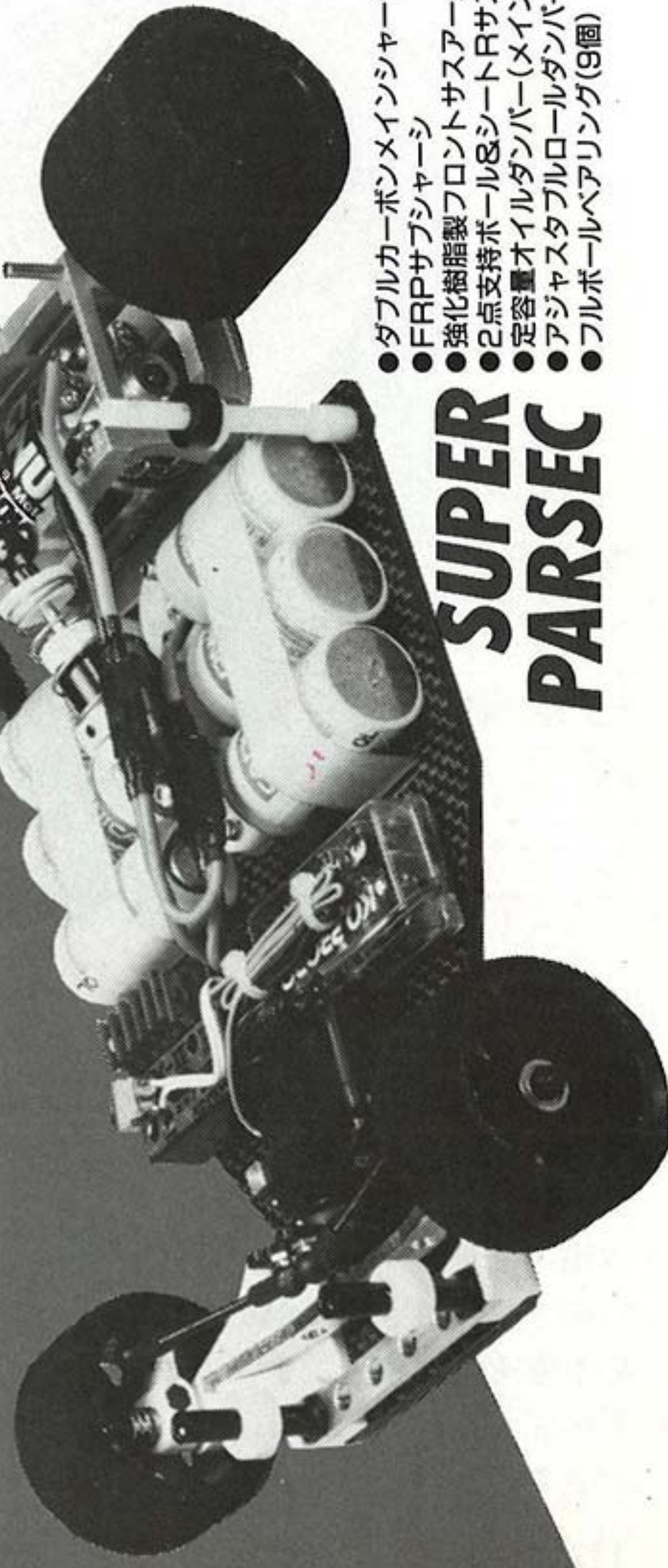


NEW ¥24,800

1/10 電動オフロードモーターコントローラー別売

ロードの熱い嵐。
スーパーパーセック快走中!

1/12 電動レーシングカー
モーターコントローラー別売
¥29,800



- ダブルカーボンメインシャーシ
- FRPサブシャーシ
- 強化樹脂製フロントサスアーム
- 2点支持ボール&シートRサス
- 定容量オイルタンパー(メイン)
- アジアスタフルローリングダンパー
- フルボールベアリング(9個)

**SUPER
PARSEK**

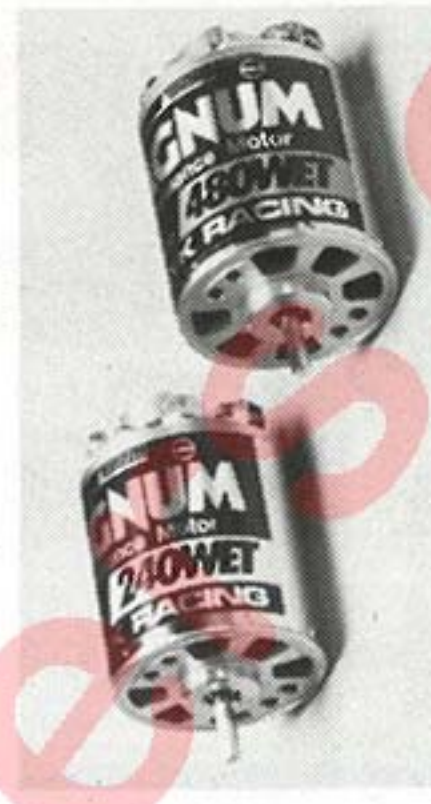


¥14,800

タイヤバランサー
オン・オフ用タイヤ、モーターのチューニングに。 ¥6,800

**ブンバ
レーサー**

マグナムWETシリーズ
強力WETマグネット 新型ローターで高性能。アルミエンドベアリング。240WET、480WET 各¥7,200



ディーノ・コネクター
面接触の新型コネクター。抵抗をグンと低減。——¥500

スーパースラップ
スポンジタイヤ用トラクションオイル。タイムアップに。TT100A/OUT、TT100B/IN——各150cc ¥800

マグナムAP用パーツ
カーボンブラシ ¥300 ノイズキラーコンデンサー ¥300
RS500タイヤカッター
AYK用アダプター付(各社用別売¥1,000)——¥16,800

シャーシグリーナー
汚れたRCカーもシュッと一発でグリーニング。——¥1,500
アルミエンドベアリング
マグナムシリーズ用。高精度削り出しで真円度抜群。¥4,200

ayk RACING
青柳金属工業株式会社
東京都江戸川区北小岩
5-22-7 〒133



マグナムAP

人気上昇中の電動ブレーンをさらに楽しくする高性能型。進角調整可能、ベアリング、アルミエンドベアリング——¥4,000



Dino(ディーノ)FET

瞬間最大電流1280A、連続で408Aの最高レベルを実現/コンバクトで効率のよい新型コネクター付——¥34,800

Race Prep

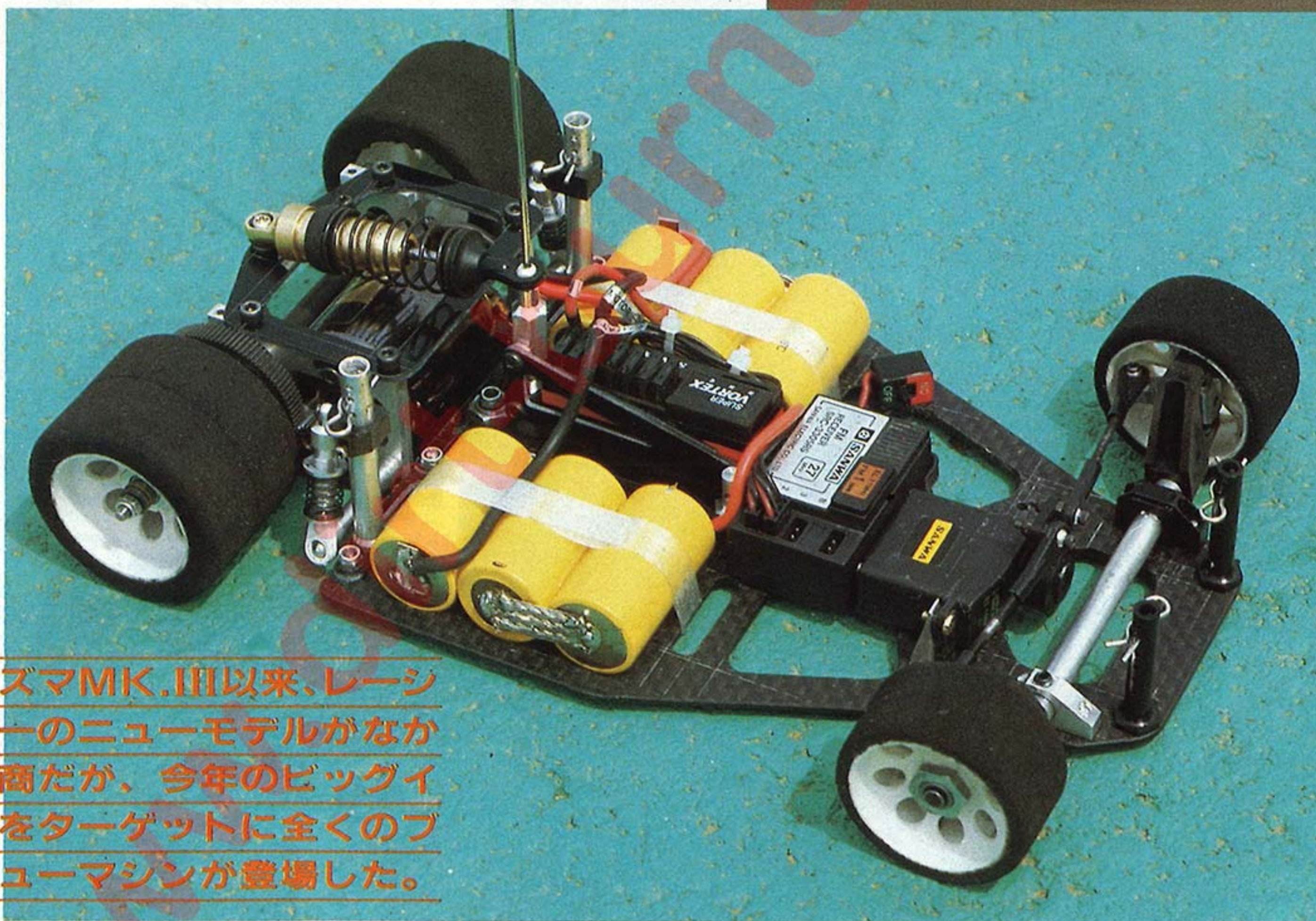
The E.P. RACING '88

Part 1

AXIS EX

by KYOSHO

アクシス



■プラズマMK.III以来、レーシングカーのニューモデルがなかった京商だが、今年のビッグイベントをターゲットに全くのブランニューマシンが登場した。

一時はワンメイクレースか…と思われたほどの人気であった京商の1/12 E.P.レーサー・プラズマ・シリーズ。ほとんど“完熟”したとも思えるMK.IIIは、ついこの間までリーダーシップをとっていたのだが、他社や輸入モデルが採用したボール・サスカーの前では、いささか影がうすくなってきたのも事実で、京商ファンのレーシング屋たちの間では、“早くニューマシンを…”の声がささやかれていた。

そんな声に応えるように、全くのブランニューマシンがいよいよデビューする。それが『アクシスEX』なのだ。アクシスとは“中心”とか“核”といった意味で、再びE.P.レーシング界の“中心”に返り咲くことを期待させるネーミングだ。全くのブランニューマシンではあるが、ホイールやタイヤ、ボディといったところは互換性があるので、プラズマ・ユーザーにはありがたいマシンと言えよう。

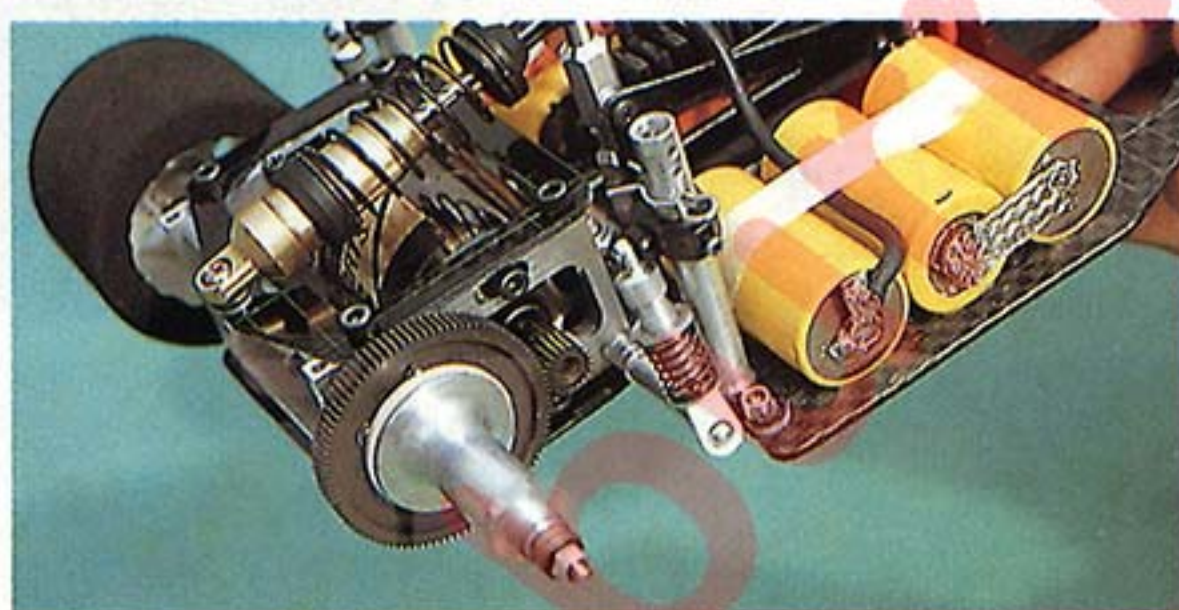
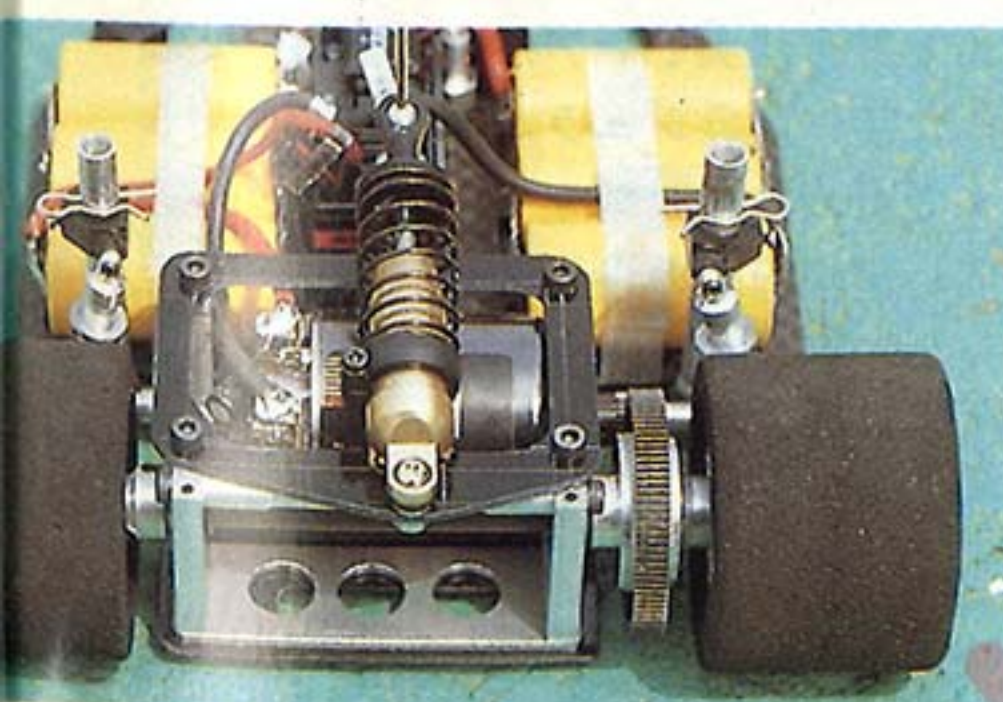
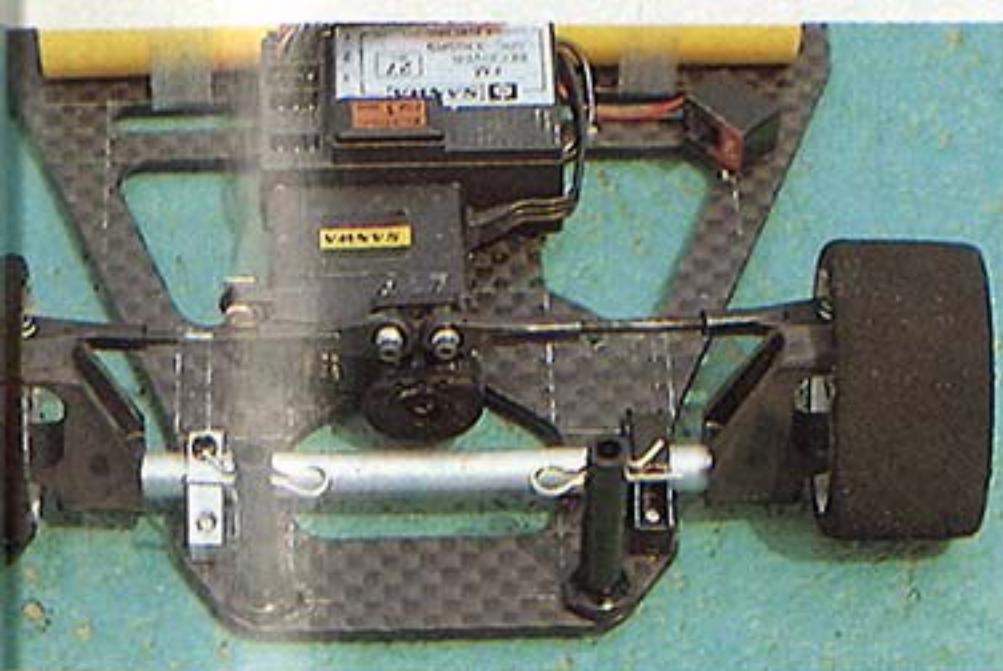
基本的アウトラインは、流行のボールコネクティング式のリヤサス、左右振り分けのセパレートバッテリー採用のワイドシャーシ…といったところを余すことなく取り入れ、新世代のシャーシ…といったイメージを持っている。各部のマテリアルはまだ流動的であるが、C-FRPや17Sジュラルミン削り出しパーツが各部に採用されるのは間違いないところ。

シャーシは1.9mm厚のC-FRP材を採用。

◀ワイドトレッド化とナックル部の変更がされたフロントサス。

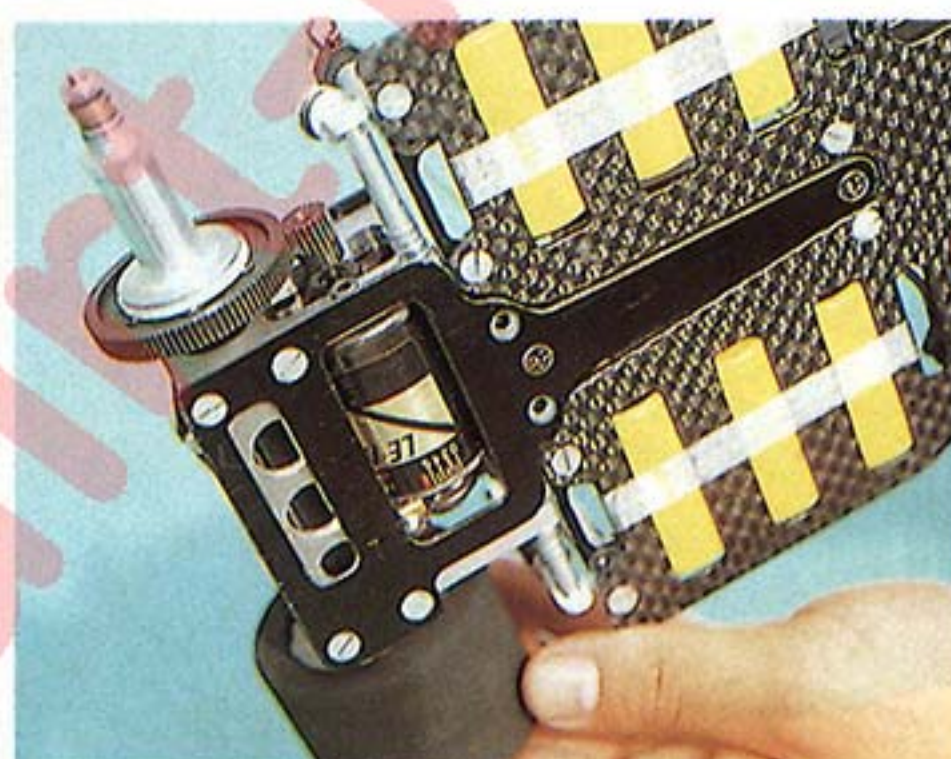
▶17Sジュラルミン材から削り出されたモーターマウント。

ウワサのブランニューマシン、 いよいよ発売

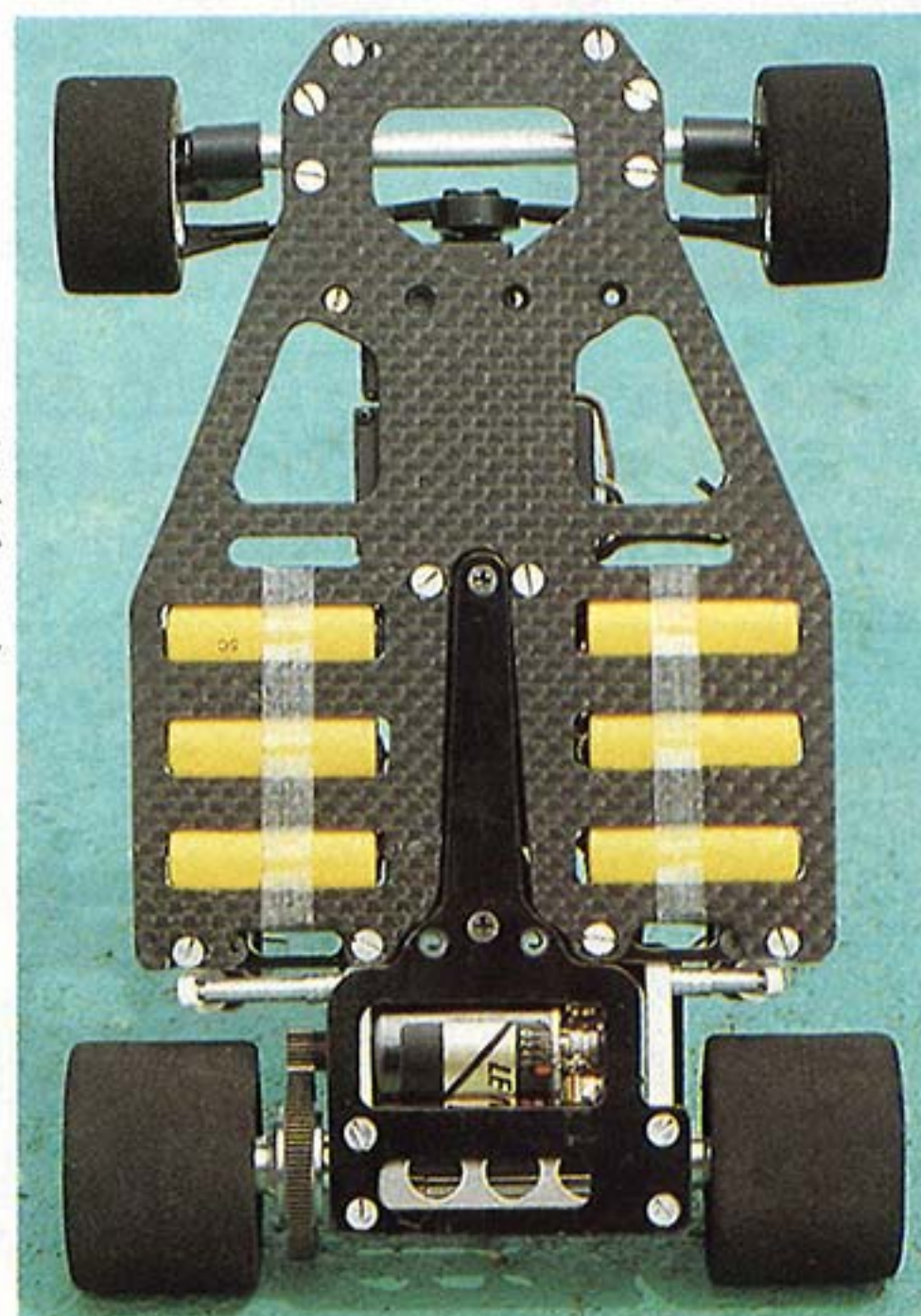


↑超小型フリクションダンパーでロールを規制。デフはセラミック材パーツを...

→モーターマウントはTバーのリヤ寄りに取り付けて、ピッチングをソフトに...



→メインシャーシはカーボン材からカットされる。モーターは中央より...



リヤサスをつかさどるTバーはFRPとなる。Tバーは流行のボールコネクトだがリヤ側のみにボール使い、Tバーのフロント部はシャーシにスペーサーを介して固定する方式をとる。モーターマウントは17Sジュラルミン材をフライス加工した高い精度をほこるもの。さらにマウント自体のネジレを防ぐためにジュラ製のブリッジプレートを入れているのも目新しい。

リヤサスはピッチングをプレッシャーダンパーで、ロールは超小型フリクションダンパー2基でコントロールし、剛性の高いメインシャーシとボールコネクトTバーとが相まって、限界の高いコーナリングを実現している。

フロントまわりは一見してプラズマと共通のように見えるが、サスアームシャフトが長くなりワイドトレッド化され、さらにナックルを新設計し、キングピンオフセット等の変更も実施された。これによりリヤサスとのマッチングも良好となっている。

リヤアクスルは6φのカーボン製となり、強度的にも大幅に向上。デフはボールデフとなり、プレッシャープレート（デフリング）にファインセラミックを採用するなど、新しい試みもされている。今までのボールデフはホコリ等でスムーズさを欠くことがあり、けっこうメンテナンスが重要であったが、このセラミック製のプレッシャープレートの採用により、メンテナン

ス・サイクルを大きく引き伸ばすことが可能となったのだ。また、スパーギヤは0.4モジュールを採用し、よりスムーズな走りを約束をしてくれよう。

バッテリーは振り分けタイプを使うが、京商から専用のサドルパック（7.2V1700mAh）が発売されるので、こちらを使いたい。このパックはプラ製のハードケースに収まっていて、低重心化をそこねることなく、今まで扱いづらかった振り分けバッテリーのイメージは解消されている。

ボディは新デザインのローラT530となっているが、従来のボディも当然使用可能である。キット価格はモーターレスで予価33,000円となっている。

The E.P. RACING 188

Part 2

PK CORALLY

SPII

by TEAM SUZUKI

コラリー

■前回の世界戦でもファイナルに進出したPKコラリーのニューバージョンが、国内に登場した。オランダ選手権制覇の実績を引っさげて…。

来たる8月15～18日、オランダにて1/12 E Pレーシングカーによる第4回世界選手権が行なわれる。もちろんディフェンディ

ングチャンプのアソシはもちろん、デルタやTRC、パーマといったアメリカ勢、そしてシュマッカーやPKなどのヨーロッパ

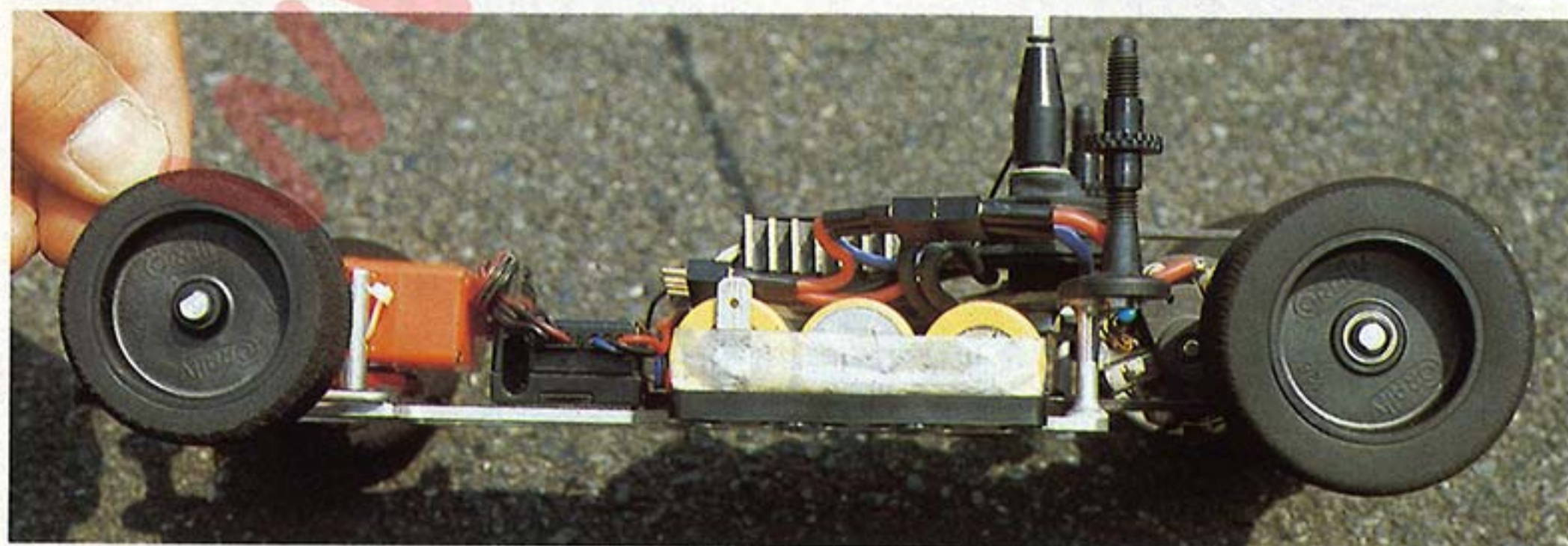
勢の力の入れようは想像をはるかに超えるものと思われる。特にオランダのPKは地元ということもあり、いつもにも増して気合いがはいつているという。

PKと言えば美しいアルマイト表面処理がされた70-75Sジュラルミン材削り出しパーツで固められたシャーシ『コラリー』で有名だが、前回の世界戦（アメリカ・ラスベガス）でもファイナルに1台を送り込む等、シャーシのポテンシャルの高さはすでに実証済みである。

このコラリーのNEWバージョンが、PKの国内代理店であるホビーショップ・スズキに入荷された。『コラリーSPII』と名付けられたこのマシンは、オランダ・ナショナルチャンピオンレースで圧勝したもので、今年の世界戦がオランダで行なわれるだけに、期待は充分である。アソシやシュマッカー、TRCといった有力ワークスと“タメセン”になることは確実と言える。

今回入荷したSPIIは、1月号で紹介したモデルと一見して大差ないように思えるが、2台ならべて比較してみると全く別物であるのがわかる。流行のボールコネクト式リヤサスこそ採用されていないが、Tバーの取付位置を変更してロールポイントの移動と、それにともなうシャーシカット形状の変更が主なちがいである。

メインシャーシは従来車同様、70-75S

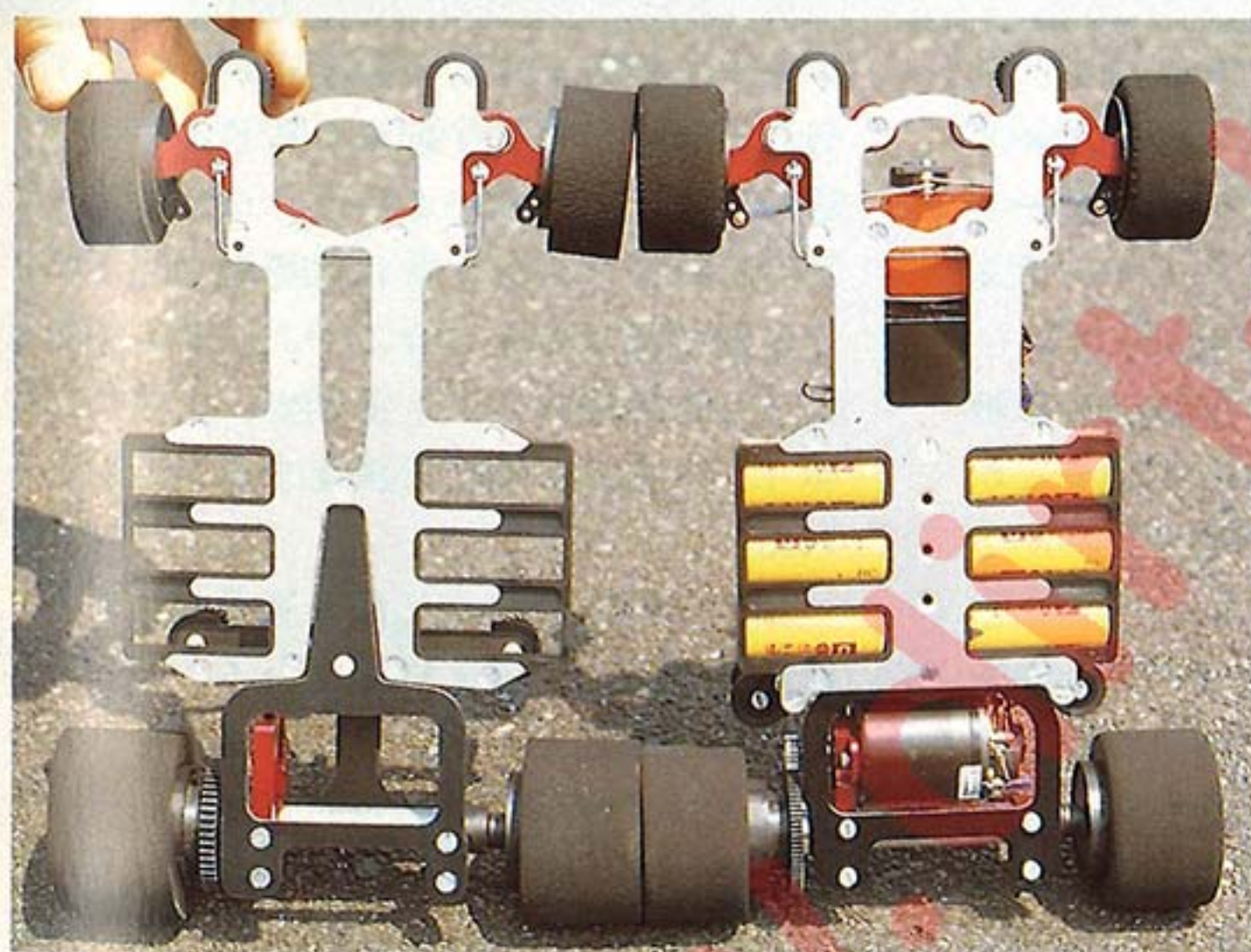
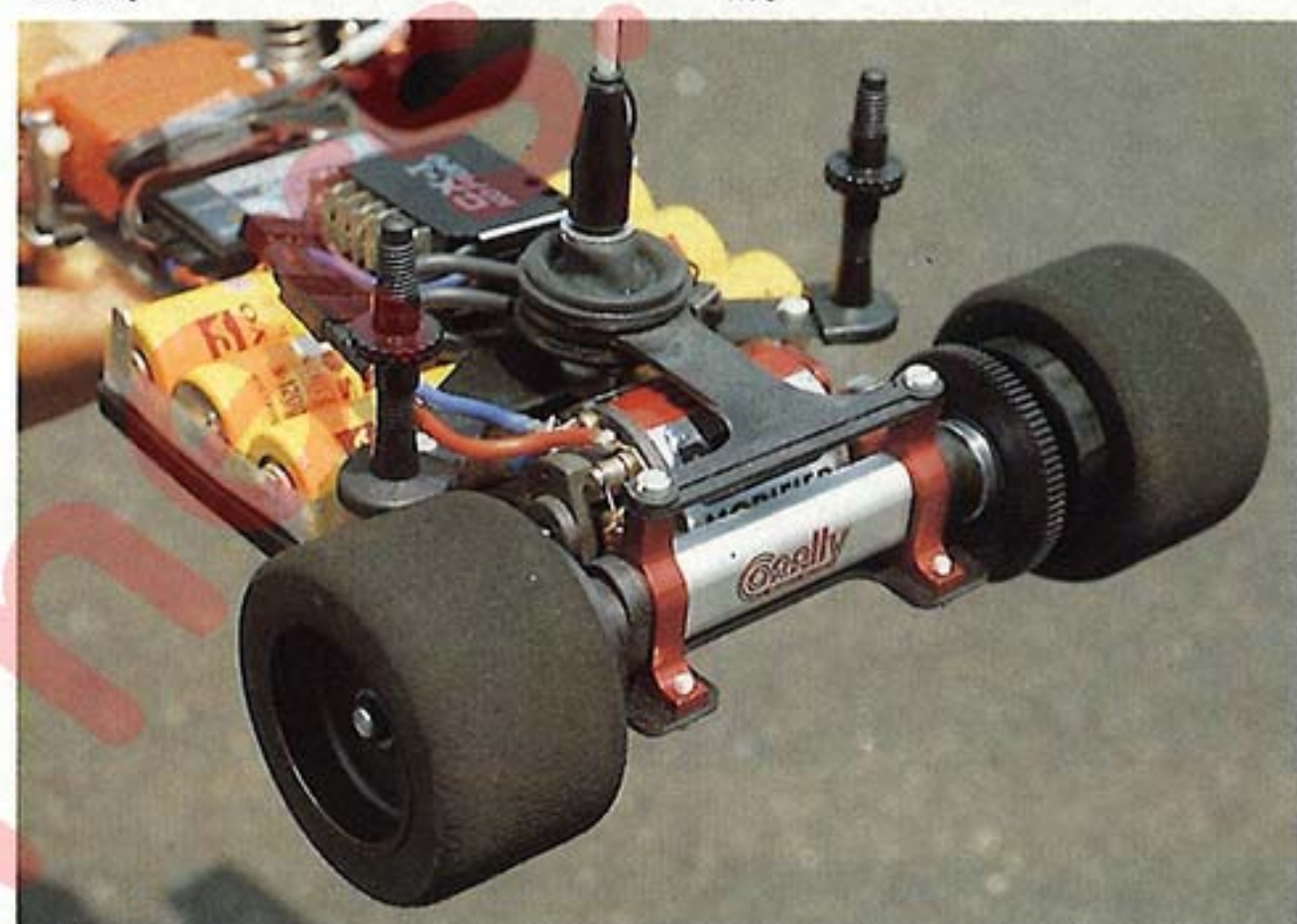


手権制覇が物語る ハイポテンシャル



↑スイングアーム式のフロントサス。このへんは従来車とほぼ同じである。

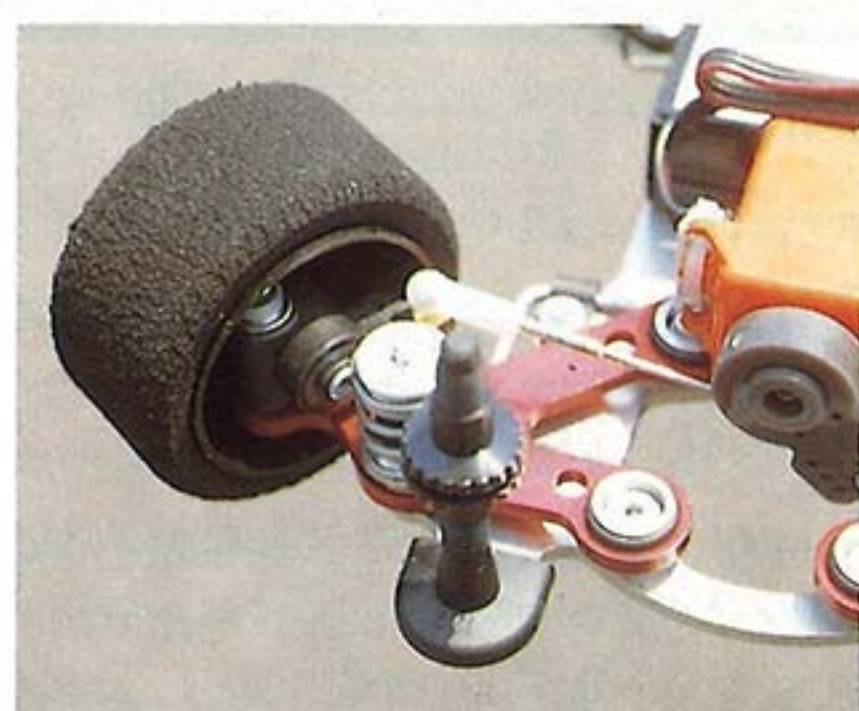
↓いつもながら美しいリヤボッドまわり。モーターマウントは新設計。



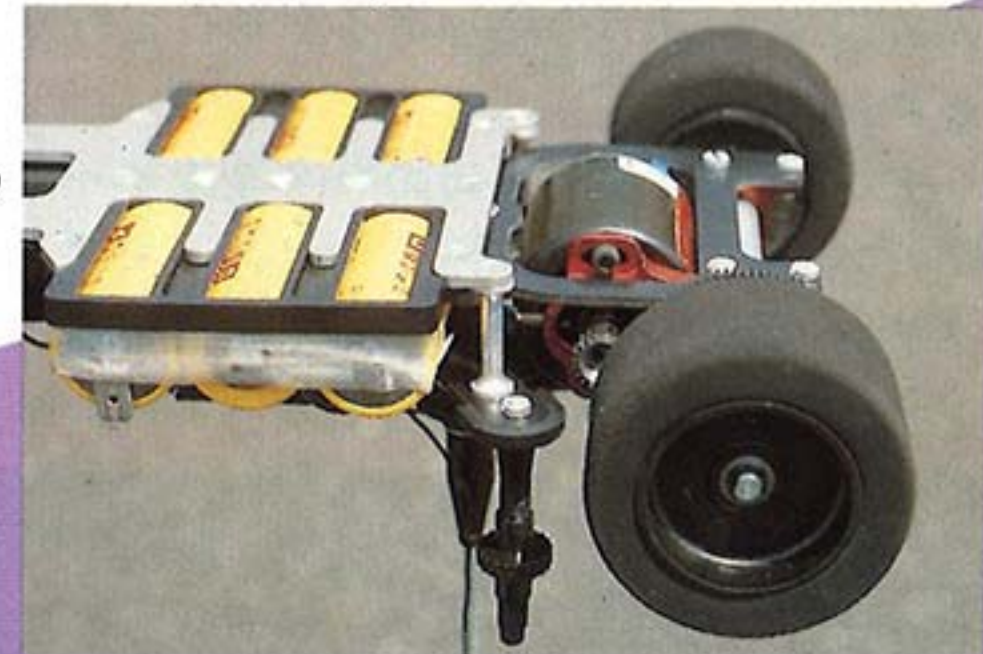
↑歯厚をおさえたスパーギヤは0.5モジュール。デフは超スムーズなボールデフだ。

←左が前作で右がS P II。シャーシ形状が異なるのが良くわかる。

→Tバーから飛び出してモーターがマウントされている。



↑ナックル内でアクスルが回転するユニークなシステム。



ジュラルミン材をNCカットしたもので、仕上がりの良さは芸術品を思わせるほどで、走らせるのがもったいないと感じてしまう。TバーはFRP製で、メインシャーシ上にコネクトされている。モーターマウントも形状が改められ、なんとTバーの下面よりもモーターの方が低くマウントされており、Tバーからモーターが飛び出した形となっているのだ。このへんは他車にはないユニークなところで、いかにもコラリーらしいと思ってしまう。

このモーターマウントとフロントのパタフライ式のスイングアーム（これも70-75S）は美しいレッドにアルマイト処理がされて、シルバーに輝くメインシャーシと相

まって、そのスタイルはまさに機能美という言葉がぴったり。C-FRP材の「黒い」シャーシが流行しているなか、キラリと光る存在と言えよう。

フロントサスは前作と同じスイングアームを採用。このへんはシュマッカーと似たレイアウトであり、ヨーロッパのレースの主流となっている室内のカーペット・サーフェイスとのマッチングを重視しているようだ。

デフはウルトラスムーズなボールデフで、とにかく作動はボールデフとは思えぬほど軽い。スパー&ピニオンギヤは全くオリジナルの0.5モジュールを採用。0.4モジュールよりも耐久性を増した独自のものと言え

る。ギヤ自体の歯厚も非常にうすくしているので、パワーロスは極限まで少なそうである。

キット価格は従来車と同じ49,800円にすえ置かれたが、円高により手軽になったアメリカン・マシンと比べると、やや高価な気がするが、コラリーはそれを打ち破るほどの魅力を持っていることはマニアならわかると思う。問合せは☎0489-25-1737まで。



REEDY SPRING INTERNATIONAL

April 13~17 Romsey England

↑完全優勝をばたした広坂選手と
お父さん、そしてM.リーディー氏。



広坂正美選手パーフェクトウェイ 2WD、4WDともに他を寄せつけず

■M.リーディー氏が主催するレースに、日本の広坂正美選手と石川幸一選手が参加。その模様をレポートしてみよう。

昨年の電動オフロード世界選手権の会場となったイギリスのロムジーオフロードサーキットにおいて、「リーディー・スプリング・インターナショナル・レース」が、世界各国より130名の参加選手を集めて行なわれた。

主な選手は、アメリカの'88年全米チャンプのブッチ・クローバー、クリス・モア、クリフ・レット、ユーステース・モア、アンディー、ドイツからは1/12ヨーロッパチ

ャンプのクリスチャン・ケイル、イギリスからは1/10ヨーロッパチャンプのフィル・デービス、イギリスチャンプのジャミー・ブース、ロリー・クール、ピート・ステイブンスら強剛選手ばかりが参加。

そして、日本からはチームヨコモの広坂正美、石川幸一両選手が参加して、さながら世界戦を再現するような豪華メンバーとなった。

ロムジーのコースはよりテクニカルなレイアウトに変更されて、少し長くなったようだ。操縦台も左に90度移動された。

ルールは昨年の世界選手権と同じで、6セルの5分間で行なわれた。4月11日から13日まではフリープラクティス（練習走行）、14日から16日までは午前と午後各2回

ずつ、2WDと4WDの予選が計6回ずつ行なわれ、17日は午前に2WD、午後に4WDの決勝レース…というスケジュールで行なわれた。Aメインは世界選手権と同じく3回で戦うことになるが、タイムの合計ではなく着順のポイント制で、上位2回のポイント合計で順位を決定する方式がとられた。

13日の練習最終日には全選手が集まり、最後の調整に一段と熱がはいっている。練習にはバンド待ちの長い列ができ、多いときにはコースに15台くらいの車が走っているという状態。

14日 予選1日目

朝8時より受付が始まり、9時きっかりに第1レースがスタート。2WDクラスは全10レースが組まれており、第9、10レースに有力選手がシードされている。やはり後半になると記録がどんどん伸び、有力選手は15周の前半を出してきた。注目の2WD最後の第10レースでは、広坂選手がいきなり16周をたたき出し、さいさきの良いスタートを切った。

午後からの4WDは全15レースが組まれていて、14レースでクリフ・レットが17周を出して注目をあびた。そして最後の15レースは、広坂選手にクリス・モア、フィル・デービス、ジャミー・ブース、ピート・ス



↑このレースの主催者・M.リーディー氏(左)とB.ジョーンズ氏。

←現地にてチーム・アソシエイトと合流したヨコモの面々。



← 2WD・Aメイン決
勝。ポールが広坂選手
のRC-10。

↓ 新設された高速シケ
イン。ベストラインは
一本しかない。



ティーブンスの各選手が走る最大の見せ場である。広坂選手は後列のスタートからトップに出たが、ピニオンギヤが抜けてリタイア。続く2回目、世界チャンプの意地にかけても負けられない広坂選手は、カンペキとも言える走りを見せ、2位以下を大きく引き離し、17周の前半タイムを出し、トップに立った。

15日 予選2日目

この日は、朝から小雨がパラつき、コン



ディションは良くない。だがコースは少しぬれているが走れない状態ではなく、8時きっかりに4WDの3回目の予選が始まった。コースのグリップは悪く、各選手はタイヤの選定に相当なやんでいる様子で、タイムも伸びなやんでいる。小雨は降りやまず、路面が少し光ってきた。

4WDの最後のレースに出走する広坂選手は思いきってスポンジタイヤを使用した。外国選手はほとんどスポンジタイヤを使用したことがないらしく、信じられないようであった。みんなの注目をあびて、他の選手がグリップになやむ中を広坂選手は驚異的なスピードで走った。おしくもクラッシュでマシンをこわしてしまいリタイアとなったが、各選手はスポンジタイヤを求めて

パニックが起こったほどだ。

午後から2WDの予選が始まったが、小雨はいつこうに降りやまず、コースはだんだんとぬれていった。第9レースのクリフ・レット、ジャミー・ブースはスポンジタイヤを使用した。全くグリップせずにまるで氷の上を走っているようだった。ちょうどそのとき、地元の選手が段ボールにいっぱいのスポンジタイヤを持って、ピットに得意げに走ってきたが、後の祭…。

16日 予選最終日

朝から強い雨が降り、コースも水びたしで、とてもレースが行なえるような状態ではなかった。コースの低いところでは20センチも水がたまっているほど。しかし、9時には雨もやみ、コース整備が始まった。

← 世界戦同様、スタートは2列にて行なわれた。ヒートごとに入れかわる。



→ 2WD予選のスタート。スタンド左側が広坂選手。



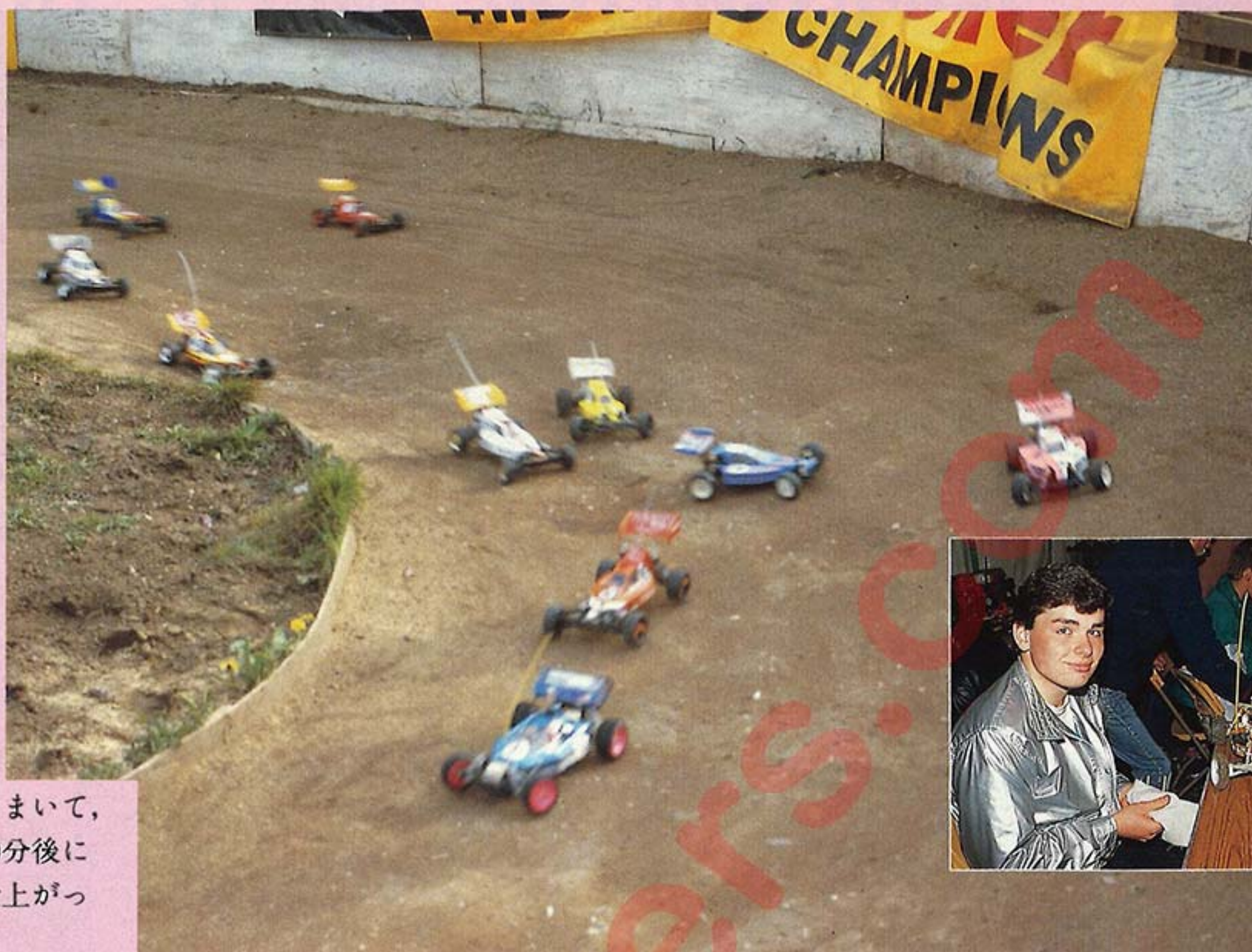
↑ セッティングに関して打ち合わせる広坂選手とお父さんの正明氏。



←おなじみのボーズでマシンをコントロールする広坂選手。



←4WD決勝。ブッチ・クローバーと広坂選手のバトル。



←4WD・Bメイン。トップは石川選手のスーパードッグ。

↓今回はじめてスーパードッグを走らせて、Aメイン6位のジェイソン・バーレイ(16歳)。



ポンプで水をくみ出し、おがくずをまいて、またたく間にコースが整備され、40分後には全くレースに支障がないほどに仕上がったのには驚くばかりだ。

さて、10時より2WDのレースが始まったが、予選最終日とあってみんな気合いが入っているようだ。コースもグリップが上がり、好記録が続出。第5ヒート目の広坂選手はダメ押しとも言える16週の4秒をたたき出した。1回目より一度もトップをゆずることなくTQを獲得。しかもコンマ1秒を争うAメインの中において、2位に14秒もの大差をつけた。

続く4WDでも快走を見せ、2位に10秒の大差をつけTQを獲得、チャンプのカンロックを見せた。

夜にはロムジーでバンケットが行なわれ、全選手が参加してお互いの親睦を高め、全選手の参加賞とTQの表彰が行なわれた。

17日 決勝日

8時よりファイナルプラクティスが行な

→4WD決勝で激走した地元・ジャミー・ブリスと握手する広坂選手。



←ジャミーとアンディー、そして広坂、石川の両選手。

われ、全メインの決勝レースが行なわれた。

2WD・Aメインの1回目、広坂選手はポールポジションからキレイに飛び出し、他車を寄せつけず1位で10ポイントを獲得。2回目もあぶなげなく1位でゴールし、3回目を待たずして20ポイントで優勝を決めてしまった。3回目はチームメイトのクリフ・レットにコースをゆずる余裕さえみせたが、クラッシュでおくれでしまい、ほぼ最後尾になってしまった。しかし、それから全車を抜いてトップでゴールするという見せ場まで作って、観客を喜ばせた。このような広坂選手の圧倒的な速さに、みんなから“速すぎる!”と苦情(?)が飛んだほど。

午後からは注目の4WD決勝が始まった。Aメインには広坂選手をはじめとするヨコモ・スーパードッグが、ブッチ、ジェイソンの3台。ジャミー、クリフ他のシュマッカー・キャットが7台と、まさに“ドッグ”と“キャット”の争いになった。

1回目、スタート良く飛び出した広坂選手は他車をぐんぐんリードし、ただ1人17周をマークして、優勝に王手をかけた。2回目はやはりうまく飛び出してトップを走るが、途中で転倒。クリフに抜かれたが、

その後クリフと抜きつ抜かれつのもものスゴイデッドヒートをくりかえし、観客からすごい声援をうける。クリフが先行し、その後10センチくらいにつけてむかえた最終ラップ、ゴール手前30メートルのところで転倒し、おしくも2位となり、優勝に待ったがかかった。

さていよいよ3回目。あと広坂選手以外では、優勝の可能性はクリフに残されているが、1位になる他はない。スタートでトップとなった広坂選手は1周目でクラッシュし、ジャミーがトップにたつ。広坂選手は追い上げを見せるが、少し届かずに3位でゴール。しかし、クリフは4位だったために脱落し、広坂選手の優勝が確定した。

最後にチャンプに一矢を報いたジャミーは、地元の観客に拍手喝采を浴びた。しかし、レースが終わってみると、2WD、4WDの両クラスでTQと優勝、そして総合優勝と賞を1人占めにしてしまった広坂選手の圧倒的な速さと、ヨコモ・スーパードッグファイターの仕上がりの良さを、まざまざと見せつけられたレースであった。来年のオフロード世界選手権では、大いに期待がもてそうである。

(写真・ヨコモ/レポート・広坂正明)

リザルト

2WDファイナル		4WDファイナル	
1…広坂正美	(日)	1…広坂正美	(日)
2…ビート・スティープンス	(英)	2…ジャミー・ブリス	(英)
3…クリフ・レット	(米)	3…ブッチ・クローバー	(米)
4…クリス・モア	(米)	4…クリフ・レット	(米)
5…スティープ・ハynes	(英)	5…クラウス・ウィルヘルム	(独)
6…ブッチ・クローバー	(米)	6…ジェイソン・バーレイ	(英)
7…クラウス・ウィルヘルム	(独)	7…ヨーゲン・メッツ	(独)
8…ミッシェル・ブリッチ	(英)	8…ヨーゲン・ラテンバック	(独)
9…ローランス・ハリス	(英)	9…ケビン・モア	(米)
10…ドロン・ハリス	(英)	10…グレイン・ペグラー	(英)



←バンケットで、両クラスTQの表彰をうけた広坂選手とリーダー氏。

ニュー・ホイルが加わった Futaba 2ch プロポシステム

卓越したドライバビリティはもちろんのこと、
1人1人のフィーリングにピッタリのフルシ
ステムが選べるのも、Futaba 2chプロ
ポシリーズの大きな魅力。メガテック・ジュ
ニアの登場も見のがせない。

SYSTEM:1

(ベアシック仕様)信頼性の高い入門用フルセット
MEGATECH JUNIOR/¥12,800(27MHz帯) ● NEW ATTACK/¥12,500(27MHz帯)
R102JE×1 S148×2 ● R102GR×1 S148×2



FP-S148 ¥5,500

SYSTEM:2

(バギー仕様)手軽にFETアンプのハイパフォーマンスを
MEGATECH JUNIOR/¥15,800(27MHz帯) ● NEW ATTACK/¥15,500(27MHz帯)
R102JE×1 S148×1 MC112B×1 ● R102GR×1 S148×1 MC112B×1



FP-MC112B ¥8,500

SYSTEM:3

(レース仕様)オフロードを限界まで攻めるエキスパート向け
MEGATECH JUNIOR/¥15,800(27MHz帯) ● NEW ATTACK/¥15,500(27MHz帯)
R102JE×1 S148×1 MC110×1 ● R102GR×1 S148×1 MC110×1



FP-MC110 ¥8,500

SYSTEM:4

(レーシング仕様)エキサイティングなオンロードレース専用セット
MEGATECH JUNIOR/¥16,300(27MHz帯) ● NEW ATTACK/¥16,000(27MHz帯)
R102JE×1 S135×1 MC110×1 ● R102GR×1 S135×1 MC110×1



FP-S135 ¥6,000

SYSTEM:5

(40MHz仕様)混信に強いナローバンド採用
NEW ATTACK/¥14,500(40MHz帯)



FP-R102JE ¥6,000(40MHz帯)
¥5,500(27MHz帯)



MEGATECH JUNIOR
¥12,800



NEW ATTACK
¥12,500

Futaba RCカタログ

■Midnight Transfer 最新号No.19/ 話題の1024A/Hの詳細と'87世
界選手(F3A、F3C、IFMR)のインサイドレポートを特集。
"Midnight Transfer"をご希望の方は、ハガキに住所、氏名、年齢、職
業(または学年)、現在使用中のプロポ名を明記のうえ、下記の宛先までお
申し込みください。
[宛先] 〒101 東京都千代田区神田須田町1-21-3 稲垣ビル3F
双葉電子工業株式会社 無線機器営業部M・R係

ORIGINAL GOODS

RCの本場アメリカで活躍していた著
名女性デザイナー「DEMISUN」の
デザインによるPCM1024オリジナル
アイテム。フルゾンとキャップが
揃いました。お申し込みは最寄りの
模型店までどうぞ。

¥7,000(M.L.LL)



¥1,500
(赤/青フリーサイズ)

DESIGN BY
DEMISUN

世界最大のラジオコントロールシステムメーカー

Futaba®

全国に広がるFutabaラジオコンサービスセンター●無線機器営業部 ☎03-255-6811 ●東京支店ラジオコンサービス係 ☎03-255-6811 ●無線機器工場サービス課 ☎0475-32-2151代 ●北海道地区ラジオコンサービスセンター ☎011-831-6180 ●東北地区ラジオコンサービスセンター ☎022-231-7025 ●中部地区ラジオコンサービスセンター ☎052-563-1671 ●関西地区ラジオコンサービスセンター ☎06-327-5301 ●中国地区ラジオコンサービスセンター ☎082-227-7320 ●九州地区ラジオコンサービスセンター ☎092-473-1816

〒299-43 千葉県長生郡長生村蔵塚1080 ☎0475-32-2151代
●京支店 〒101 東京都千代田区神田須田町1-21-3 稲垣ビル3F ☎03-255-6811

1988-7

月刊ラジコンカー

電波実験社

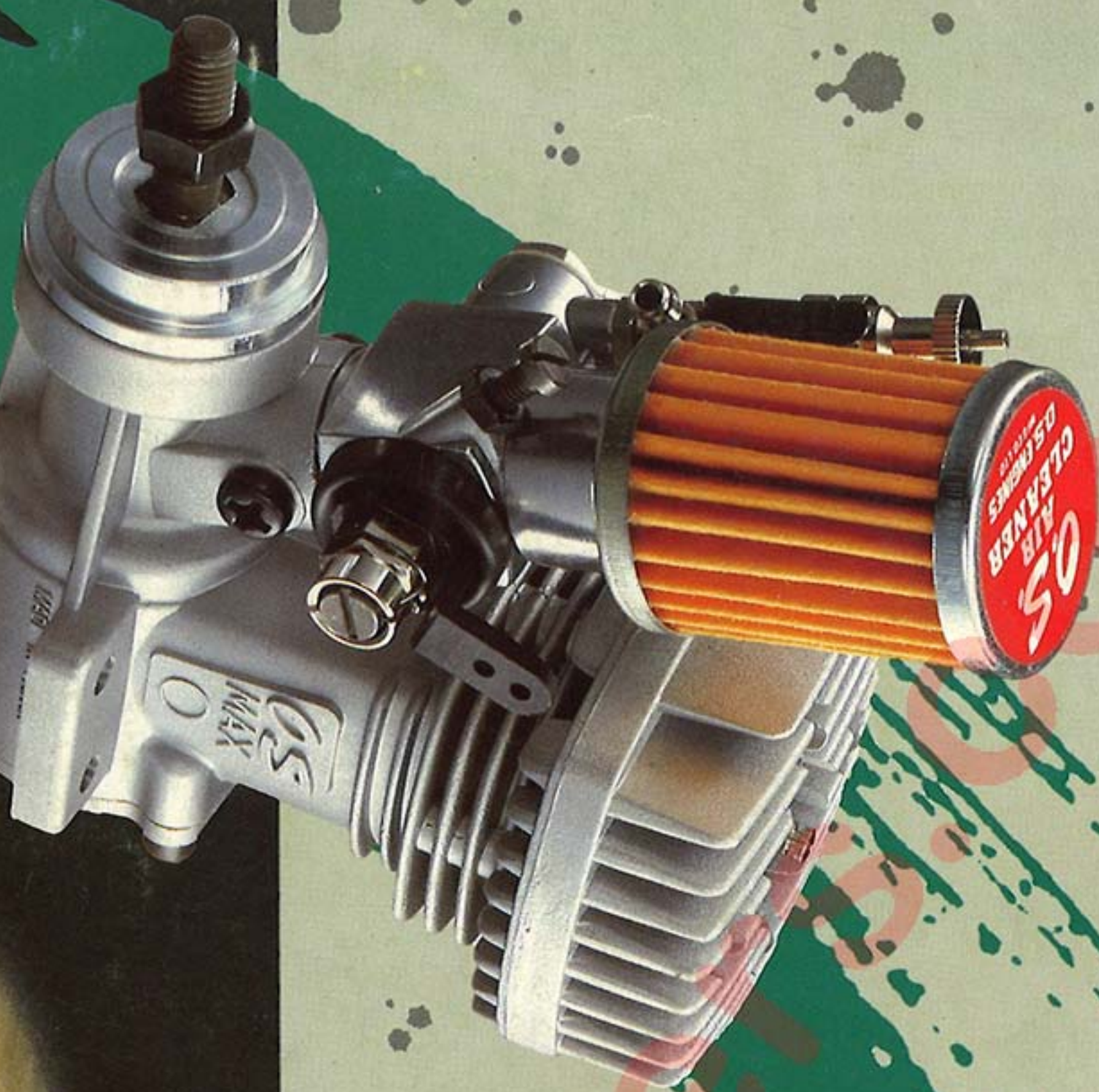
昭和六十三年七月一日発行（毎月一回一日発行）
昭和五十九年十月十九日・第三種郵便物認可

電波実験社

定価 四五〇円
送料 六五円

実力派、CZ-11

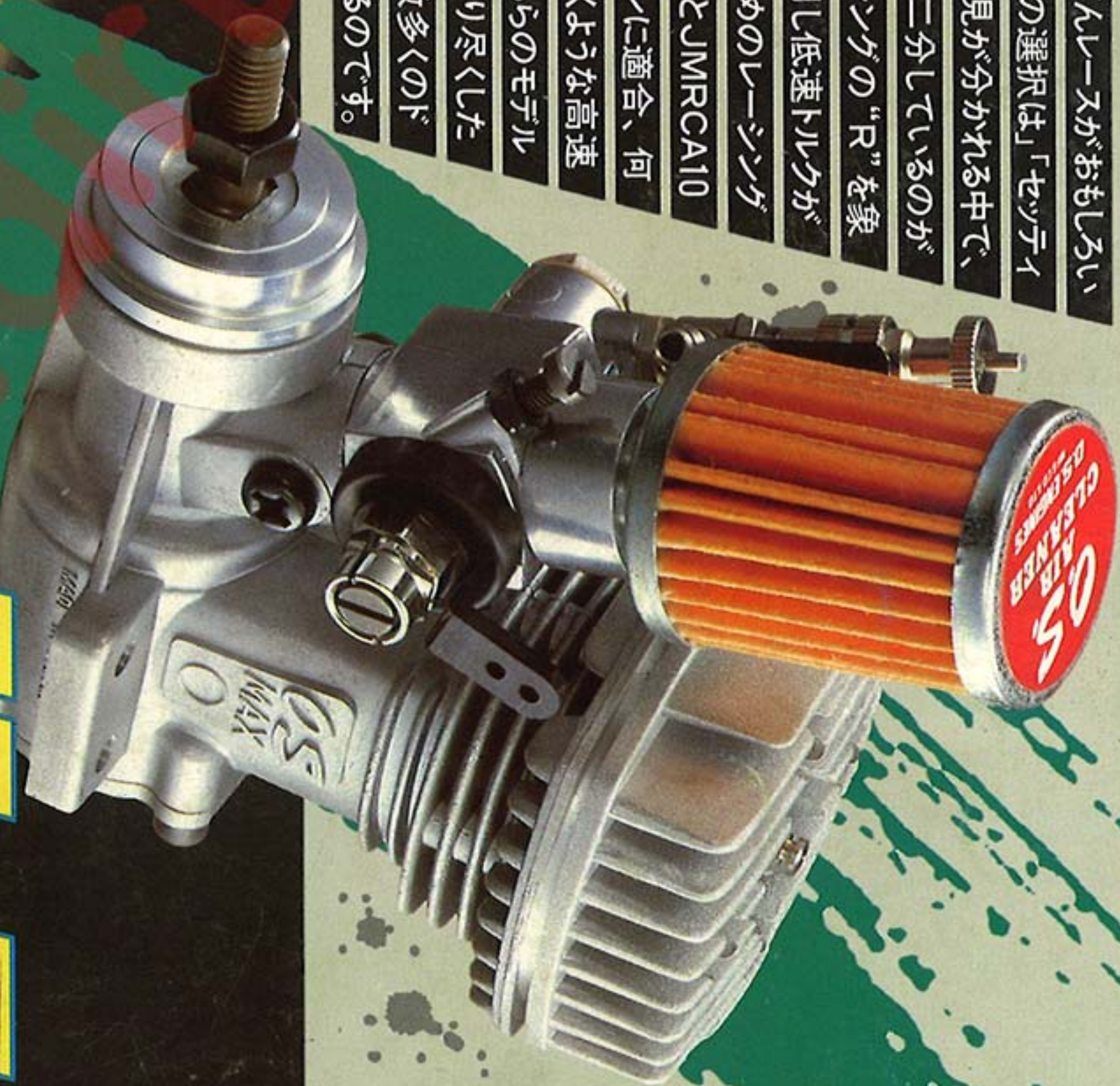
実力派マシンの登場で、がぜんレースがおもしろい10クラスオフロダー。「マシンの選択は」「セッティングの方法は」とドライバーの意見が分かれる中で、圧倒的に意見が一致し、人気を二分しているのが「CZ-R」、そして「CZ-11」。レーシングの「R」を象徴とし、充分なキャパシティを利用し低速トルクが力強い、より多くのドライバーのためのレーシングエンジン「CZ-R」。行程体積1.79ccとJMRCA10クラスオフロードレースレギュレーションに適合、何よりもレーシングエンジンとして胸のすくような高速域での伸びがすばらしい「CZ-11」。どちらのモデルも21クラスオフロードレースを席巻し、知り尽くしたOSがお届けする純レーシングエンジン。数多くのドライバーが選ぶのはそれなりの理由があるのです。



MAX-CZ-R

- OS ABC方式シリリダー-エストン
- 2BB方式
- 行程体積：2.11cc
- ボア：14.0mm
- ストローク：13.7mm
- 実用回転数：3,000~29,000・r.p.m.
- 重量：179g（エアクリーナ付）

¥9,500



MAX-CZ-11

- OS ABC方式シリリダー-エストン
- 2BB方式
- 行程体積：1.79cc
- ボア：12.9mm
- ストローク：13.7mm
- 実用回転数：3,000~30,000・r.p.m.
- 重量：181g（エアクリーナ付）

¥9,800

時代を超えた 世界のブランド

小川精機株式会社
〒546 大阪市東淀川区今川3丁目6-15
☎06-702-0225代